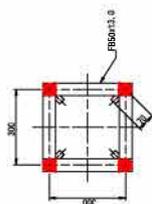
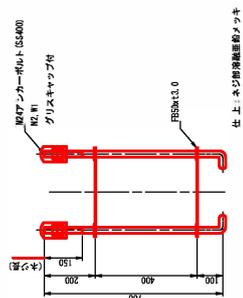


M24アンカーボルト 参考図

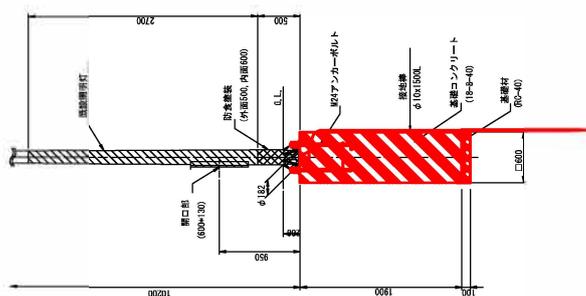
アンカーフレーム詳細 ⑤-1:1.0



アンカーボルト詳細図 ⑤-1:1.0

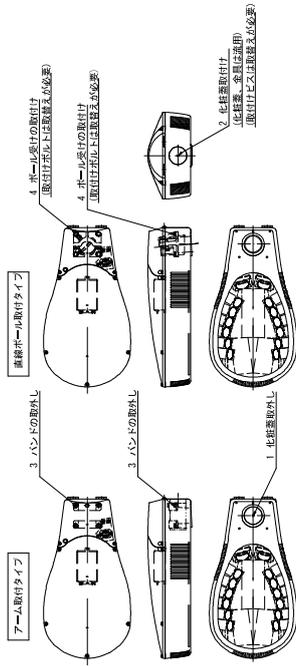


(参考) 照明灯基礎部 ⑤-1:3.0

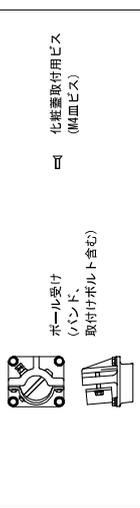


照明柱参考姿図 S=1/80

アーム直線 金具詳細図

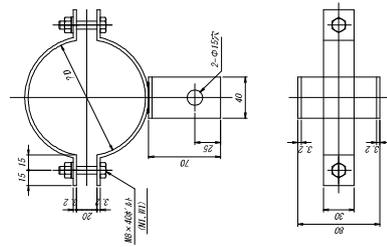


アームタイプから直線ボールタイプへの変更に必要な部品

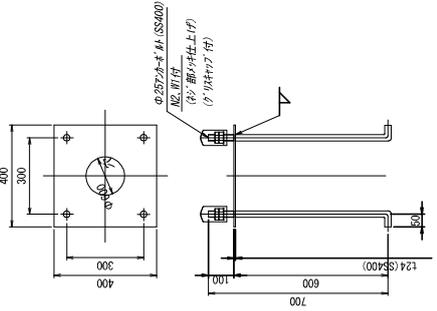


アンカーボルト

コ型バンド詳細図 S=1/5



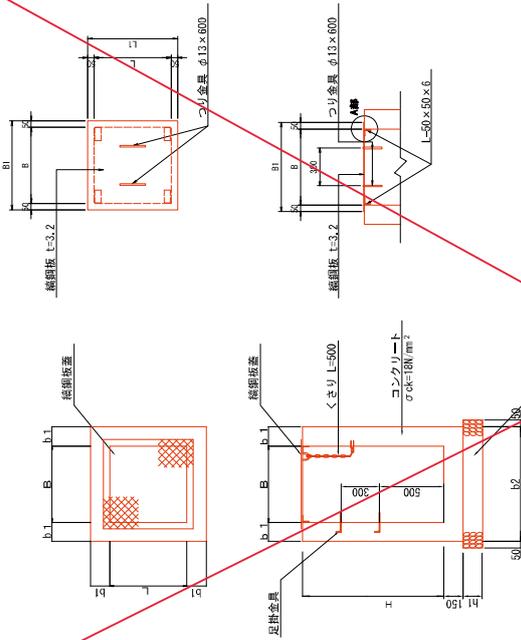
アンカーボルト詳細図 S=1/20



※仕上：溶融亜鉛メッキ (HDZ55)
※ベースピッチ・開口部の向き、高さ・ニッブル・カップリングは、参考とする

排水工構造図 (8) S=1:20

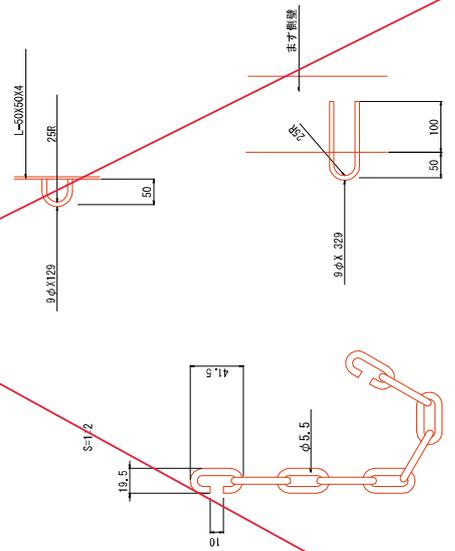
集水桝 G2 型



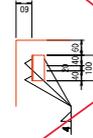
鉄網板蓋寸法表

記号 (L-B)	B	L	B1	L1
GP-F500-L-500-H	500	500	600	600
GP-F800-L-800-H	800	800	900	900

くさりの詳細図 S=1:5



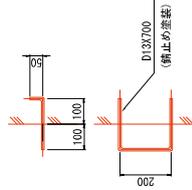
A部詳細図 S=1:10



つり金具 S=1:10



足掛金具 S=1:10

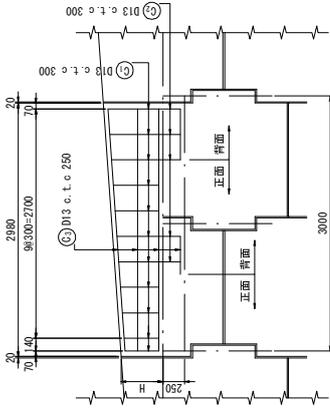


H=1.0m以上に使用

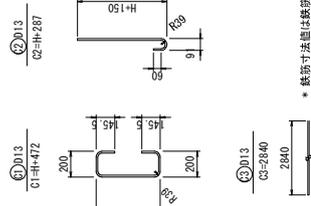
1号補強土壁工詳細図(2)

参考図

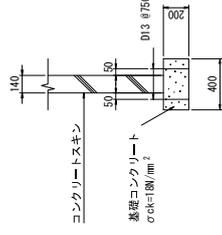
笠石コンクリート配筋図 S=1:30



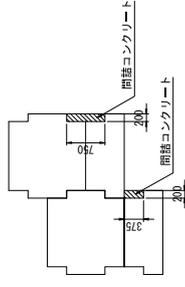
鉄筋加工図 S=1:20



基礎詳細図 S=1:20

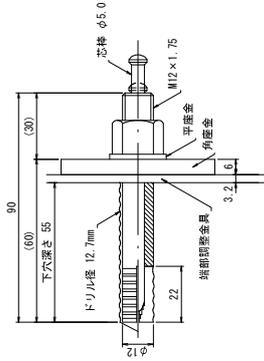


間詰コンクリート詳細図 S=1:50



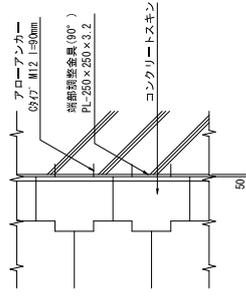
アローアンカー Cタイプ S=1:1

(M12-90 HDZ35)
公称重量 91g/セット

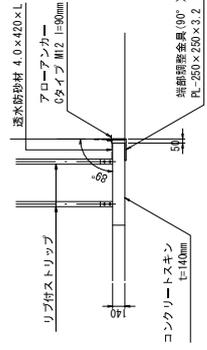


橋台取合い詳細図 S=1:30

正面図

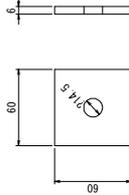


平面図 S=1:30



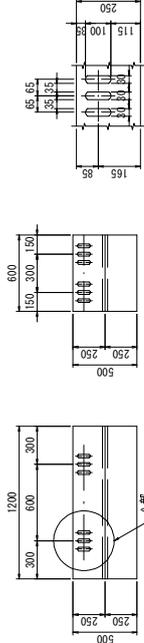
角座金 S=1:2

(PL-6×60×60 SS400 HDZ35)
公称重量 169g/枚



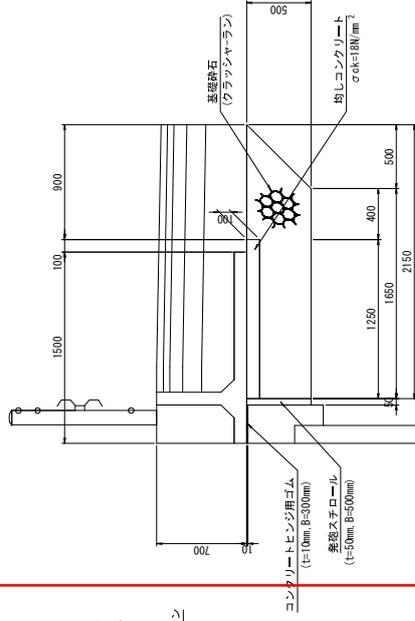
端部調整金具 S=1:20

(PL-250×250×3.2×L SS400 HDZ35)



独立防護柵基礎断面図 S=1:20

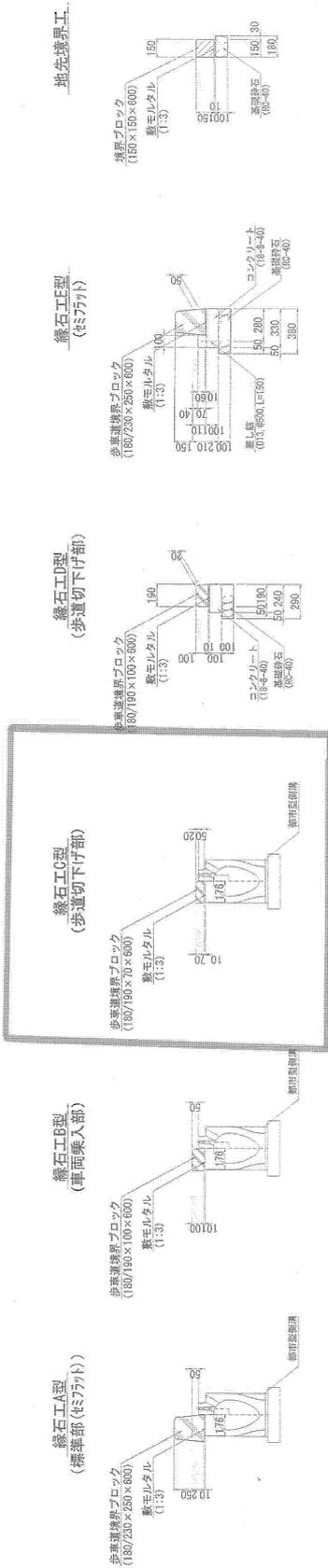
Gベース工 (0種)



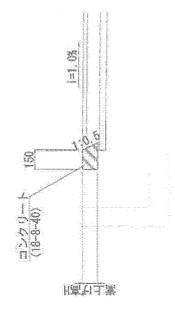
年度	H29~30年度	図面番号	11/67
河川名	安威川ダム		
工事名	左岸運送路工事(左岸工区H29-2)		
施工位置	茨木市大学生保地内		
図面名	1号補強土壁工詳細図(2)		
縮尺	1:100	作成年月日	平成29年5月
大阪府安威川ダム建設事務所			

道路施設詳細図(3)

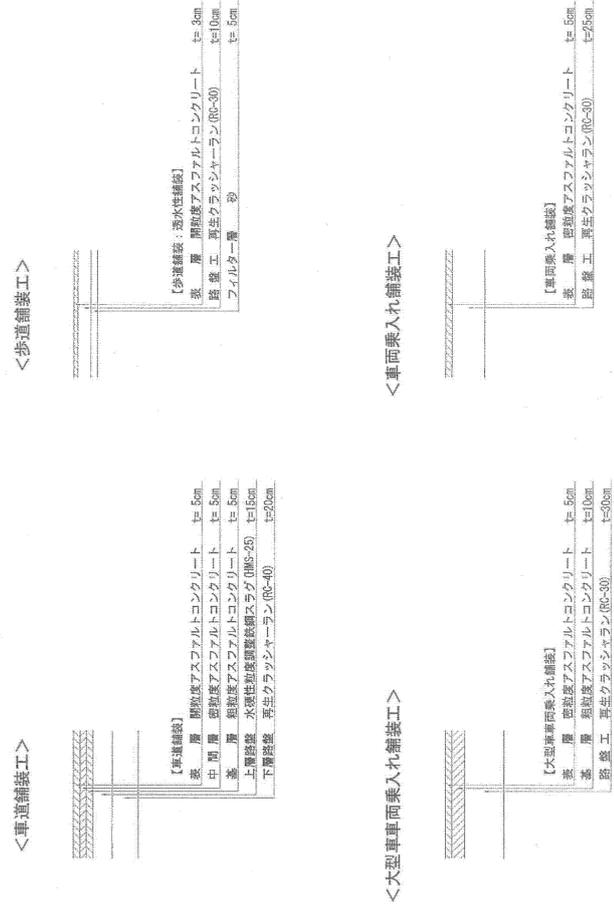
S=1:20



嵩上げコンクリート



舗装構成図



測点	H	L
No.7~No.7+10.7付近(左)	0.118	10.7
No.9+0.8~No.10+0.5付近(左)	0.071	21.6
No.15~No.16+7.3付近(左)	0.064~0.140	27.3
No.2+16.5~No.3+12.5付近(右)	0.032	15.9
No.5+19.2~No.6+7.2付近(右)	0.069	8.0

年度	平成28年度
路線名	主要地方道 岸和田港沿岸線
工事名	
地名	岸和田市生野町内
測量	測量施設詳細図(3)
作成	平成28年3月
図	全 21 号
頁	第 21 号
所	大阪府岸和田土木事務所
日	09/12/14

作成年月 1975年12月 改訂 1984年3月 1995年5月 2000年3月

コンクリート製品一覽表

図面番号 0-0-1

区分	区分	型式	摘要
歩道境界	150/190x200x600	0-1型	一般部(セミフラット形式)
	180/230x250x600	0-2型	・フラット形式)
	180/240x300x600	0-3型	歩道すりつけ部
	150/190x200x600	0-4型	"
	180/230x250x600	0-5型	(端部)
	180/240x300x600	0-6型	"
	150/170x200x600	0-7型	一般部(マウンドアップ形式)
	180/205x250x600	0-8型	"
	150/190x200x600	0-9型	一般部の集水側部
	180/230x250x600	0-10型	"
歩道すりつけ部	150/190-170) x(200-100)x600	0-11型	歩道切下げすりつけ部
	180/(230-200) x(250-190)x600	0-12型	車道出入口すりつけ部(端部)
	150/(170-168) x(200-180)x600	0-13型 (1)	歩道すりつけ部
	150/(168-166) x(180-160)x600	0-13型 (2)	"
	150/(166-164) x(160-140)x600	0-13型 (3)	"
	150/(164-162) x(140-120)x600	0-13型 (4)	"
	150/(162-160) x(120-100)x600	0-13型 (5)	"
	180/(205-202) x(250-225)x600	0-14型 (1)	歩道すりつけ部
	180/(202-200) x(225-200)x600	0-14型 (2)	"
	180/(200-197) x(200-175)x600	0-14型 (3)	"

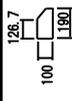
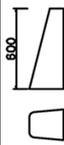
区分	区分	型式	摘要
歩道境界	180/(197-195) x(175-150)x600	0-14型 (4)	歩道すりつけ部
	180/(195-192) x(150-125)x600	0-14型 (5)	"
	180/(192-190) x(125-100)x600	0-14型 (6)	"
歩道切下げ部	180/190x100x600	0-15型	歩道切下げ部
	40/180x100x600	0-16型	車道出入口部
境界	180/180x100x600	0-17型	車道出入口部境界 中央分離帯切下げ部
	150/150x150x600	0-18型	官民境界JISA5307
管	150/150x150x600	0-19型	植樹帯根固め
	φ200~φ2000 φ1000~φ3000		ソケット管 (第1種管) JISA5303 ソケット管 (第2種管) JISA5303
側溝			PU型側溝JISA5305
	点状 300x300x66 線状 300x300x66	点状ブロック 線状ブロック	

工種	
種別	
図面名	コンクリート製品一覽表

作成年月 1975年12月 改訂 1984年3月 1995年5月 2000年3月 2004年5月 2017年10月

図面番号 0-0-2

コンクリート製品一覧表

区分	区分	形式	摘要
歩車道境界	126.7/190×100×600	 O-20型	車両出入口部
	(126.7~150)/190 ×(100~200)×600	 O-21型	車両出入口口すり付け部(端部)
	(126.7~180) /(190~230) ×(100~250)×600	 O-22型	"

ETCSY006 平成20年 10月1日 G20080605--6 SY

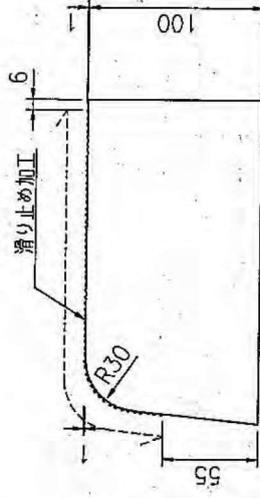
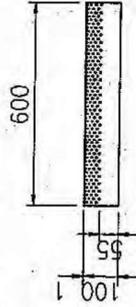
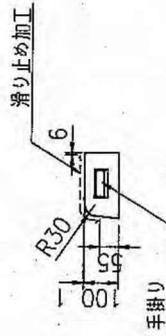
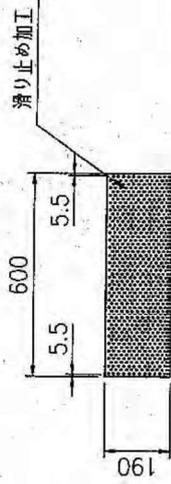
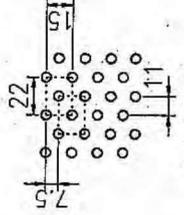
設計条件

荷重条件 T-25 (平行)

片面歩車道境界ブロックB(切下げ)

S=1/20

滑り止め加工 詳細図
S=1/5



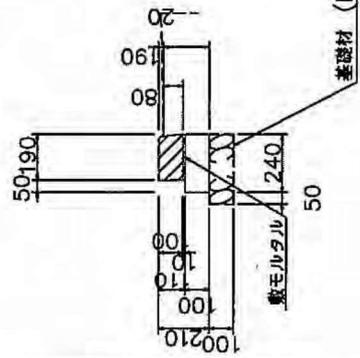
製品立積 0.011 (m³)

作成年月 1975年12月 改訂 1984年3月 2000年3月 2004年5月 2008年10月

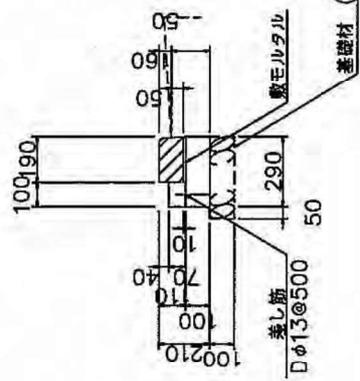
歩道切下げ部、車両出入口部

図面番号 1-2-1

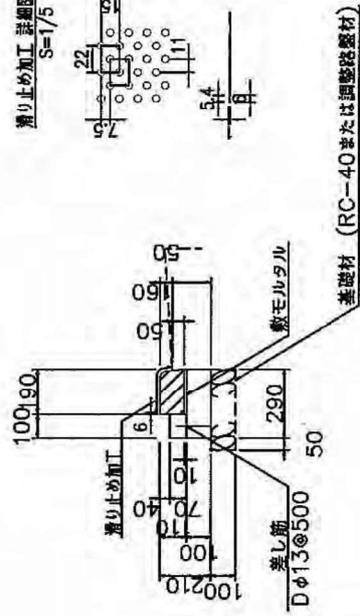
E型 (歩道切下げ部)



F型 (車両出入口部)



H型 (車両出入口部)



材料表

(10m当り)

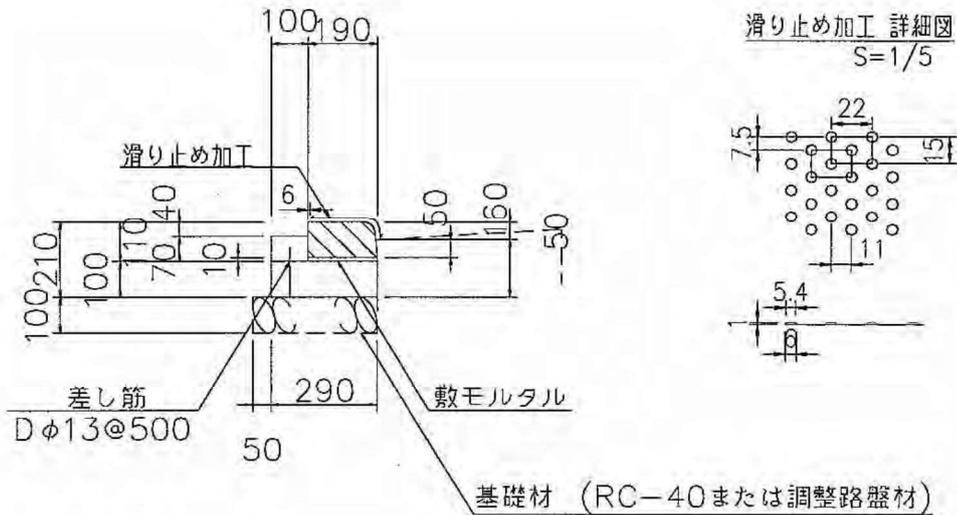
名称	規格	単位	数量			摘要
			E型	F型	H型	
基礎材		m ²	2.90	3.40	3.40	
型枠		m ²	2.00	2.70	2.70	
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.24	0.36	0.36	
敷モルタル	1:3	m ²	1.90	1.90	1.90	据付
コンクリートブロック	180/190x100x600	個	16.5	16.5	16.5	0-15型
差し筋	Dφ13 L=150	kg	—	3.0	3.0	20本/10m
伸縮目地	目地板 t=10	m ²	0.02	0.03	0.03	

- 注) 1. E型は歩道切下げ部、F型、H型は車両出入口部にそれぞれ使用。
 2. 基礎材はRC-40(厚み100mm)又は調整路盤材とする。
 数量はRC-40の場合で表示する。
 3. 伸縮目地は瀝青繊維質目地を使用するものとする。

工種	歩車道境界工
種別	縁石
図面名	E型 F型 H型
大阪府都市整備部	

算式根拠となる構造図

種別及び細別：歩車道境界工 縁石 H型 (車両出入口部)



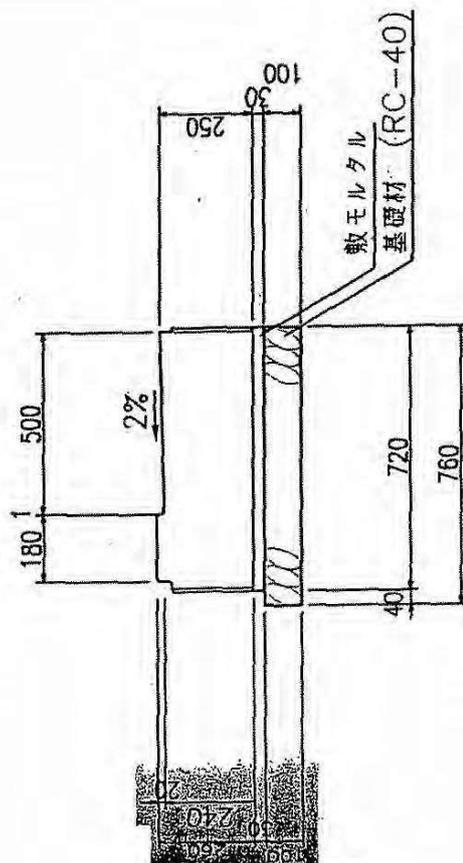
図面番号1-2-1

(10m当たり)

名称	規格・形状	算式	単位	数量
基礎材	RC-40又は調整路盤材	0.34×10.0	m ²	3.400
型枠		$(0.17+0.10) \times 10.0$	m ²	2.700
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$(0.10 \times 0.29 + 0.07 \times 0.10) \times 10.0$	m ³	0.360
敷モルタル	1 : 3	0.19×10.0	m ²	1.900
コンクリートブロック	180/190×100×600	10.0/0.605	個	16.529
差し筋	Dφ13 L=150	$0.15 \times 0.995 \times 20$	kg	2.985
伸縮目地	目地板 t=10	0.10×0.29	m ²	0.029

(横断歩道部)

B4型

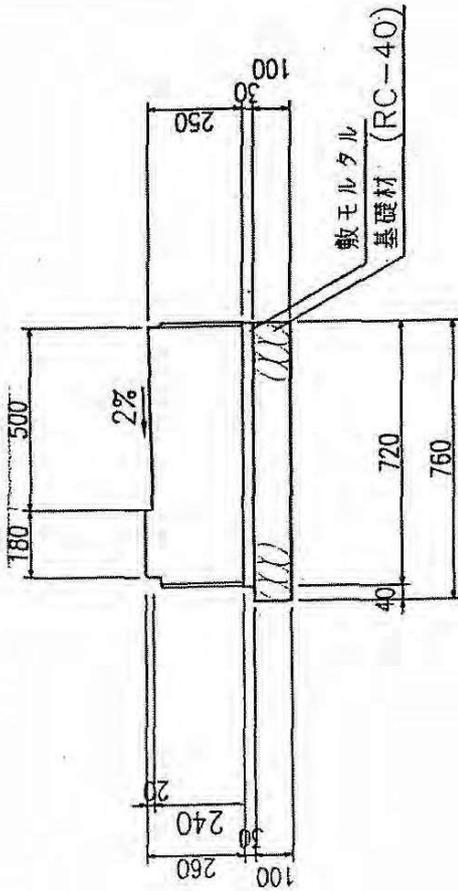


(10m当り)

材料表

名称	規格	単位	数量	摘要
基礎材		m ²	7.60	
特殊エプロン	L=2000	個	5	
敷モルタル	1:3	m ²	7.20	

注) 1. 基礎材はRC-40(厚み100mm)又は調整路盤材とする。
数量はRC-40の場合で表示する。



材料表

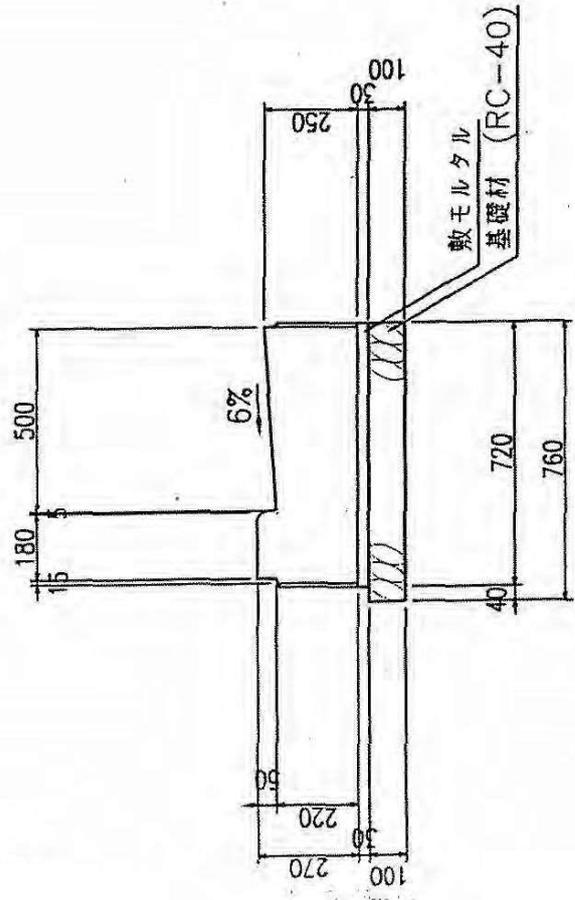
(10m当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
基礎材		m ²	7.60	
特殊エプロン	L=2000	個	5	
敷モルタル	1:3	m ²	7.20	

注) 1. 基礎材はRC-40(厚み100mm)又は調整路盤材とする。
数量はRC-40の場合で表示する。

(車両出入口部)

B2型



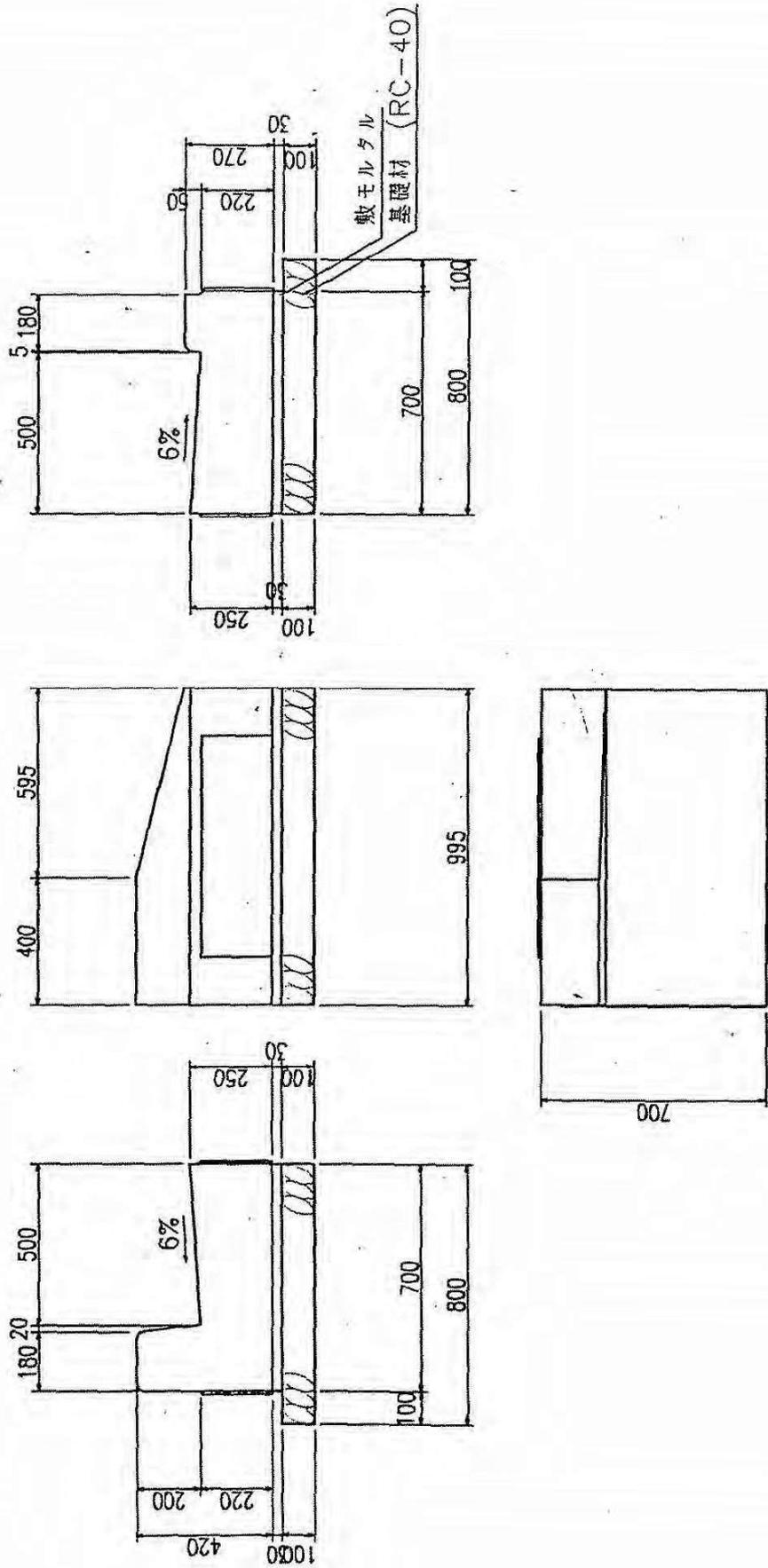
材料表

(10m当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
基礎材		m ²	7.60	
特殊エプロン	L=2000	個	5	
敷モルタル	1:3	m ²	7.20	

注) 1. 基礎材はRC-40(厚み100mm)又は調整路盤材とする。
数量はRC-40の場合で表示する。

歩車道境界ブロック詳細図
B3型(PGF)



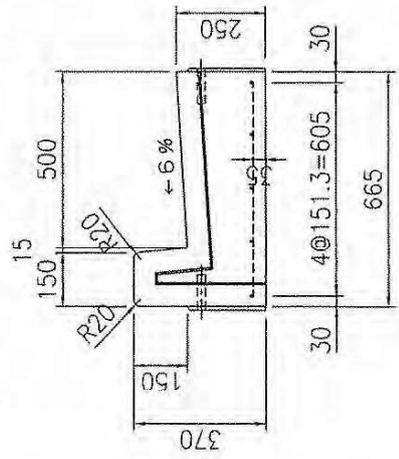
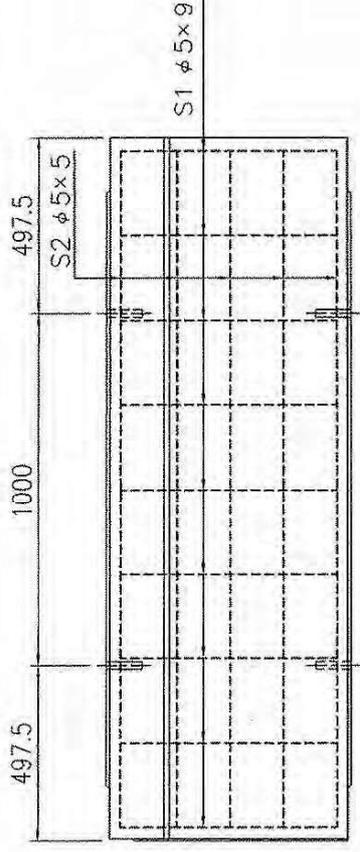
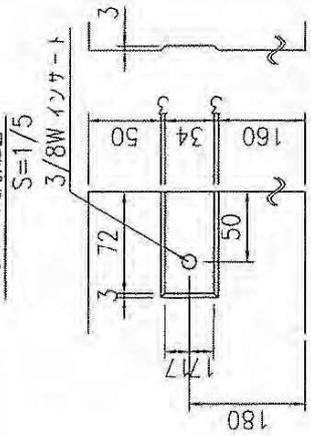
市場製品図集タイプ

エプロン PGF525-A (基本)

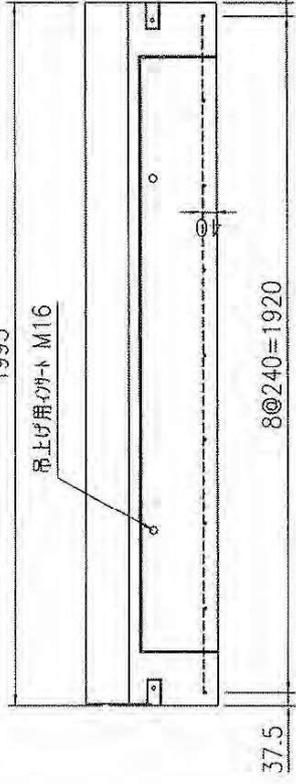
設計条件

荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SWM-BXはSWM-P

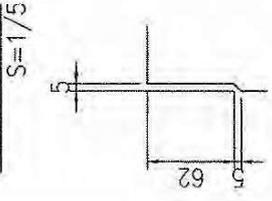
インサート部詳細図



1995



パッキン部詳細図



(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています<L-4>。

記号	鉄筋径	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	φ5	0.154	9	0.610	0.8
S2	φ5	0.154	5	1.925	1.5
鉄筋総重量				2.3	(Kg)
製品立積				0.354	(m ³)

市場製品図集タイプ

PGF525A-1 平成19年 1月 5日 ***

設計条件

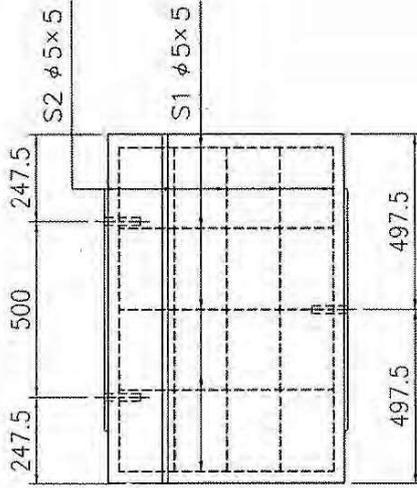
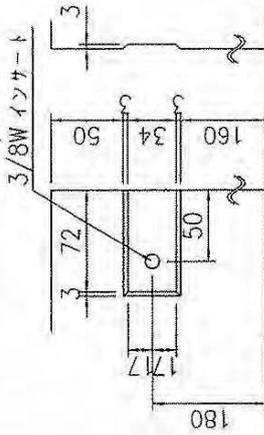
荷重条件	I-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24$ (N/mm ²)
筋	SWM-BXはSWM-P

エプロン PGF525-A (基本)

l=1.0 (m) S=1/20

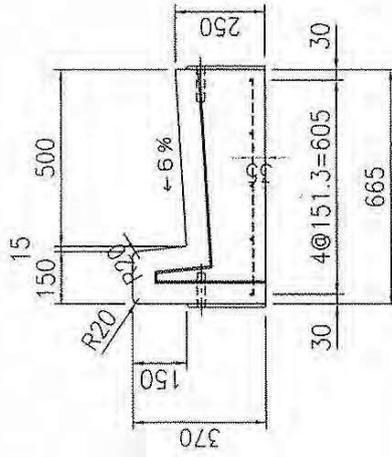
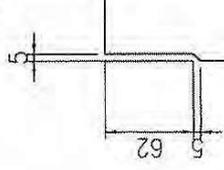
インサート部詳細図

S=1/5



ハッキン部詳細図

S=1/5



(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています。 <L-4>。

記号	鉄筋径	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	φ5	0.154	5	0.610	0.5
S2	φ5	0.154	5	0.925	0.7
鉄筋総重量				1.2	(Kg)
製品立積				0.176	(m ³)

市場製品図集タイプ

PG525NA-2 平成19年 1月 5E ****

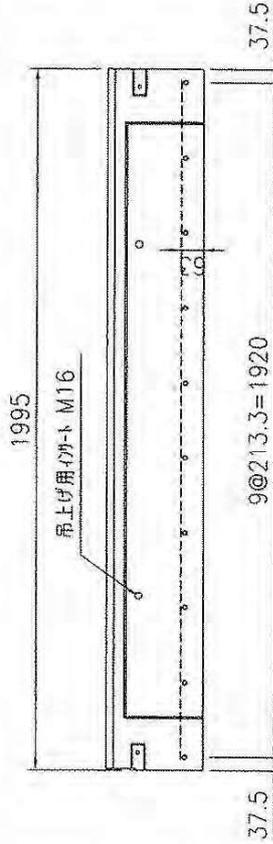
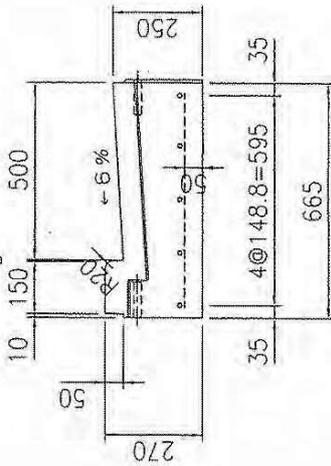
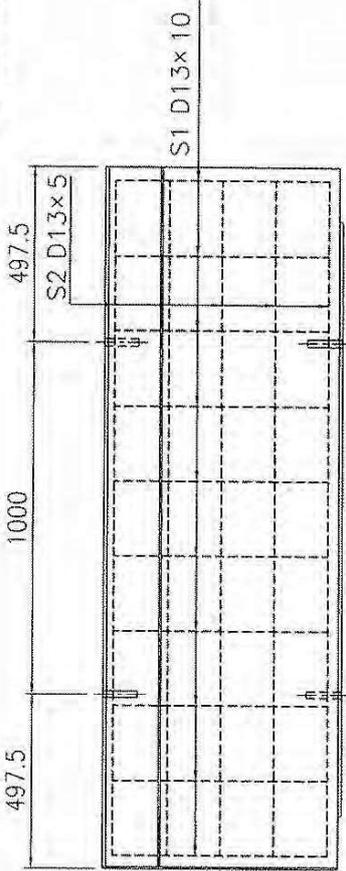
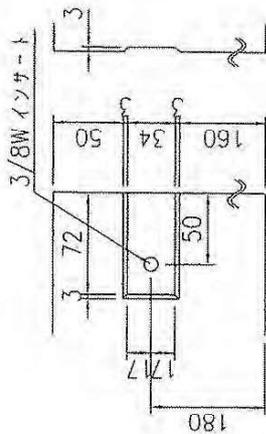
Iプロン PG525-N-A (乗入用)

設計条件

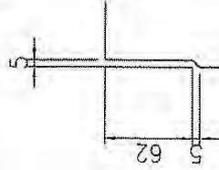
荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SD295*

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

インサート部詳細図
S=1/5



ハッキン部詳細図
S=1/5



(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています<シ-4>。

記号	鉄筋径	単位重量 (kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (kg)
S1	D13	0.995	10	0.610	6.1
S2	D13	0.995	5	1.935	9.6
		鉄筋総重量		15.7	(kg)
		製品立積		0.322	(m ³)

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

市場製品図集タイプ

エプロン PGUF-A (基本)

S=1/20

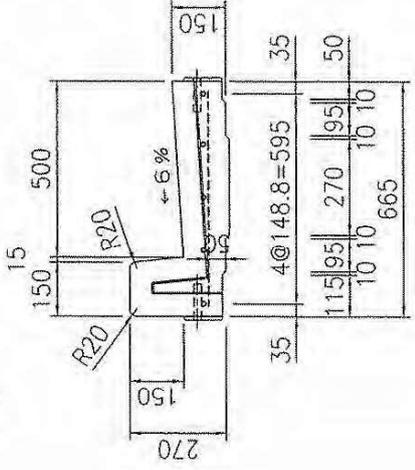
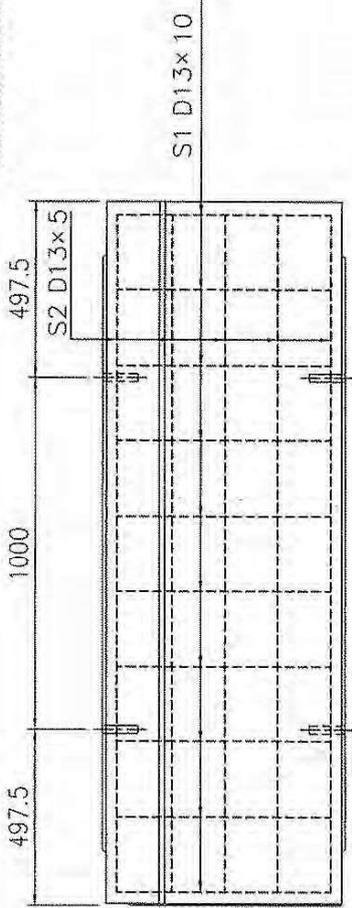
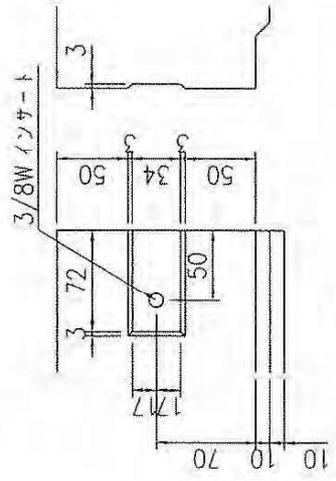
設計条件

荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SD295*

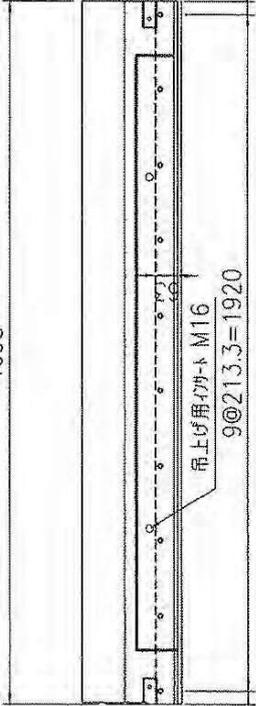
*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

インサート部詳細図

S=1/5

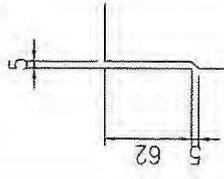


1995



バッキング部詳細図

S=1/5



(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています<L-2>。

記号	鉄筋径 (SD295*)	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	10	0.610	6.1
S2	D13	0.995	5	1.935	9.6
鉄筋総重量					15.7 (Kg)
製品立積					0.223 (m ³)

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

市場製品図集タイプ

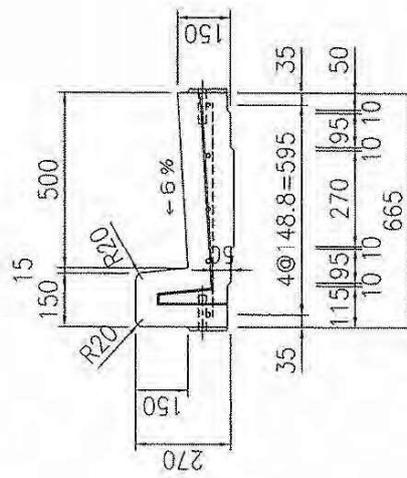
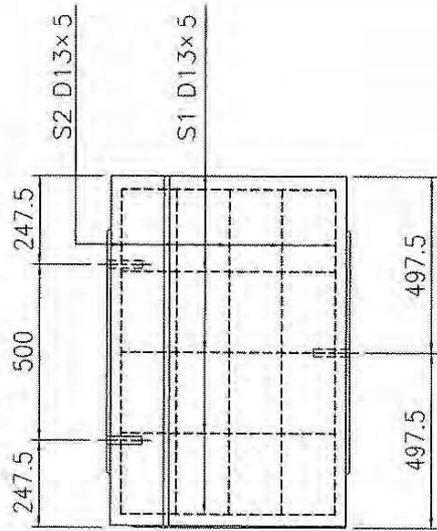
設計条件

荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SD295*

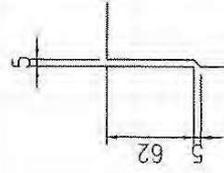
*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

イブロン PGUF-A (基本)

幅 1.0(m) S=1/20



パッキン部詳細図
S=1/5



(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています<L-2>。

記号	鉄筋径 (SD295*)	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	5	0.610	3.0
S2	D13	0.995	5	0.935	4.7
鉄筋総重量					7.7 (Kg)
製品立積					0.111 (m ³)

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

市場製品図集タイプ

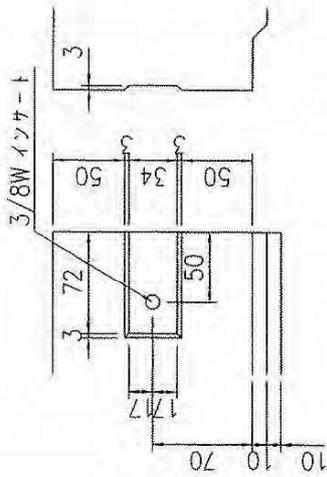
エプロン PGU-N-A (乗入用)

設計条件

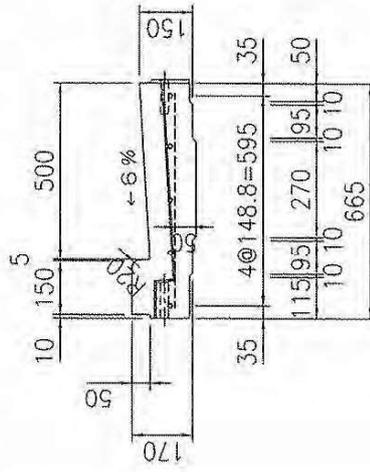
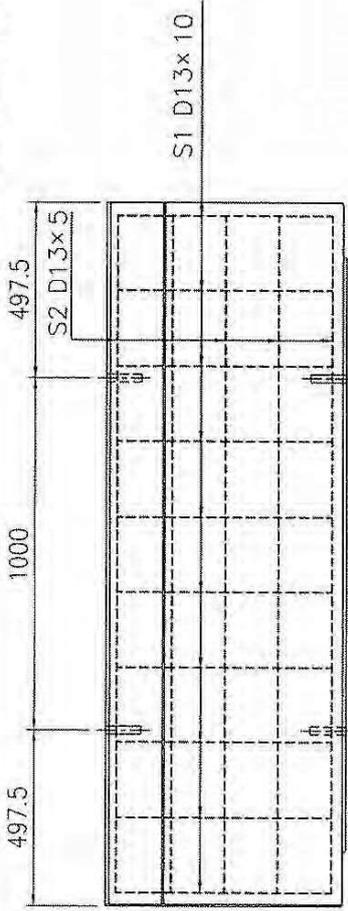
荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SD295*

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

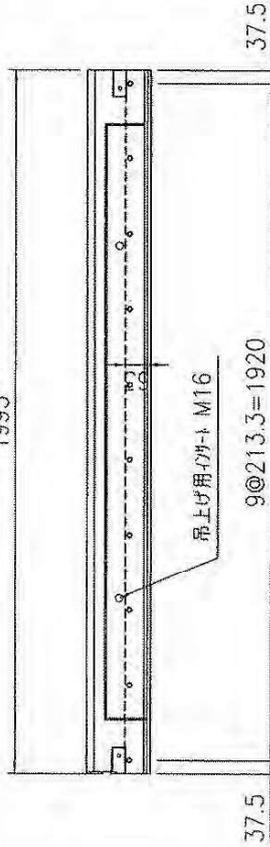
インサート部詳細図
S=1/5



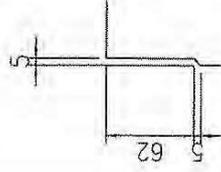
S=1/20



1995



ハッキン部詳細図
S=1/5



(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています。 <L-2>。

記号	鉄筋径	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	10	0.610	6.1
S2	D13	0.995	5	1.935	9.6
鉄筋総重量					15.7 (Kg)
製品立積					0.189 (m ³)

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

エプロン PGU-NG-A (乗入用G付)

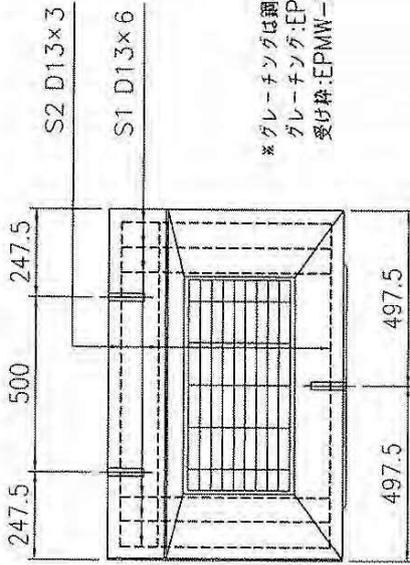
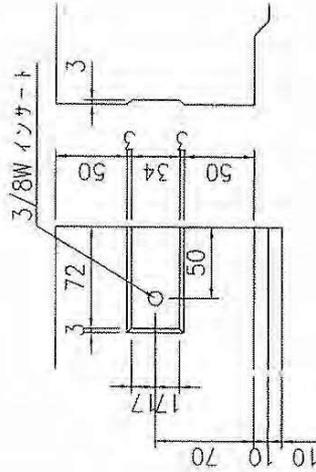
l=1.0(m) S=1/20

設計条件

荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SD295*

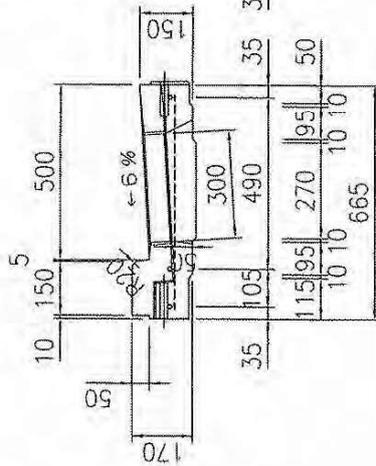
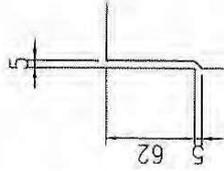
*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

インサート部詳細図
S=1/5



*グレーチングは鋼製を標準とする。
グレーチング: EPMG-35
受け枠: EPMW-35

ハッキング部詳細図
S=1/5



(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています<L-2>。

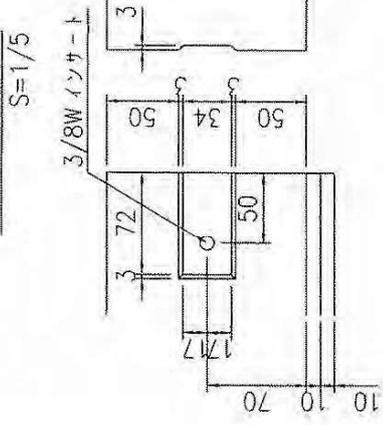
記号	鉄筋径	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	6	0.610	3.6
S2	D13	0.995	3	0.935	2.8
鉄筋総重量				6.4	(Kg)
製品立積				0.066	(m ³)

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

市場製品図集タイプ

エプロン PGUF-G-A (G付)

インサート部詳細図



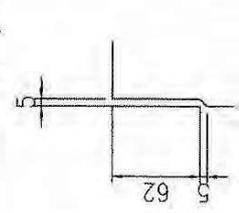
設計条件

荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SD295*

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

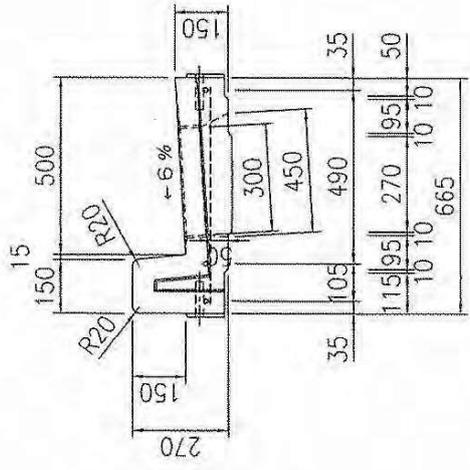
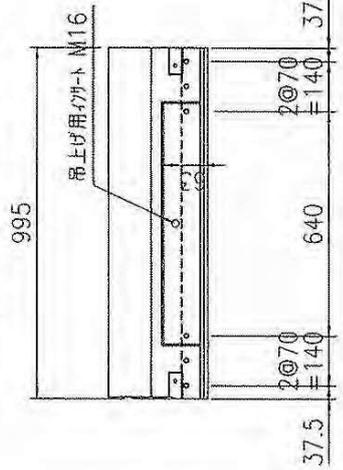
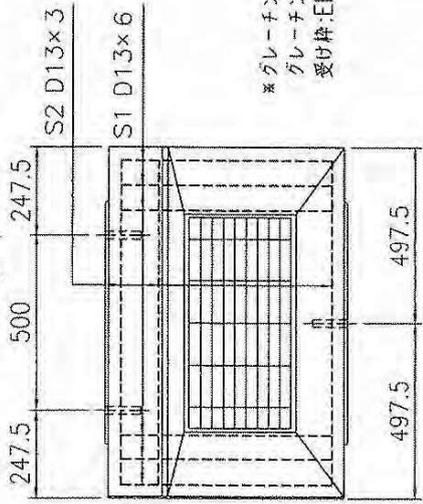
*グレーチングは鋼製を標準とする。
グレーチング: EPMG-35
受け枠: EPMW-35

パッキン部詳細図



l=1.0(m)

S=1/20



(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています<シ-2>。

記号	鉄筋径 (SD295*)	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	6	0.610	3.6
S2	D13	0.995	3	0.935	2.8
鉄筋総重量					6.4 (Kg)
製品立積					0.095 (m ³)

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

市場製品図集タイプ

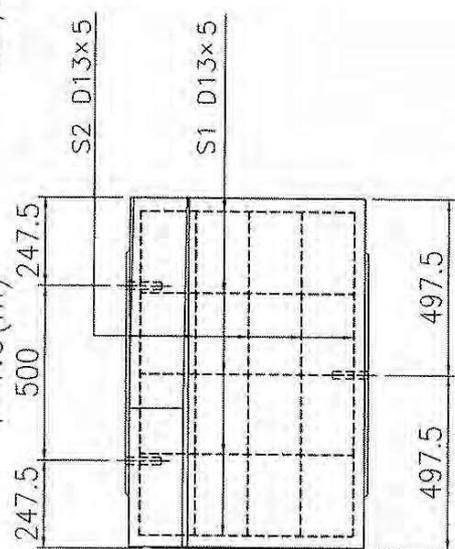
エブロン PGUF-S-A (斜用・左用)

設計条件

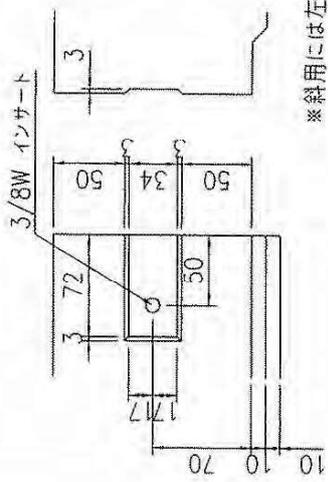
荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$f_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SD295*

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

l=1.0(m) S=1/20

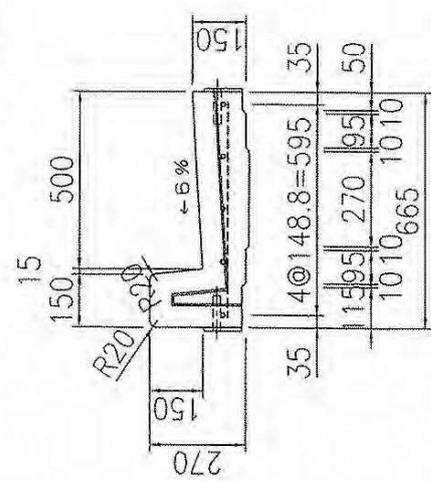
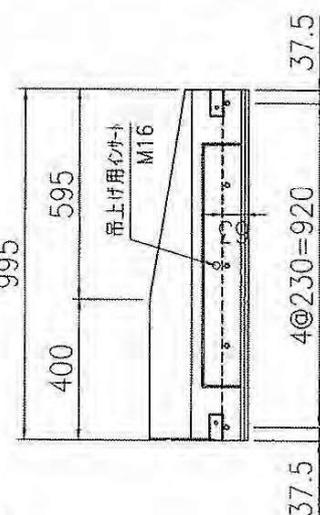
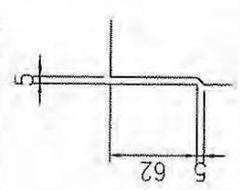


インサート部詳細図
S=1/5



※斜用には左右があり、車道から見ると左を左用と呼ぶ。(図は左用)

バックキン部詳細図
S=1/5



(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています。L-2。

記号	鉄筋径 (SD295*)	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	5	0.610	3.0
S2	D13	0.995	5	0.935	4.7
		鉄筋総重量		7.7	(Kg)
		製品立積		0.107	(m ³)

※鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

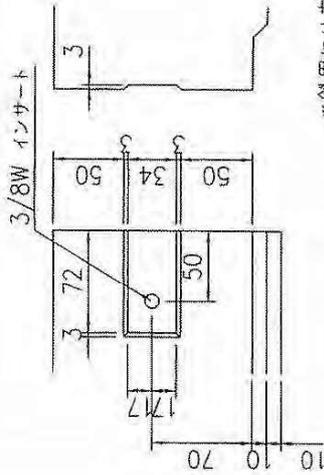
エブロン PGUF-S-A (斜用・右用)

設計条件

荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$f_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SD295*

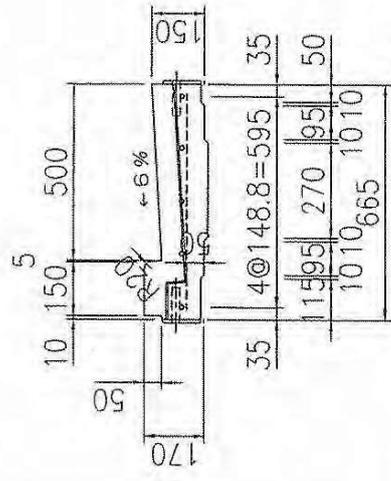
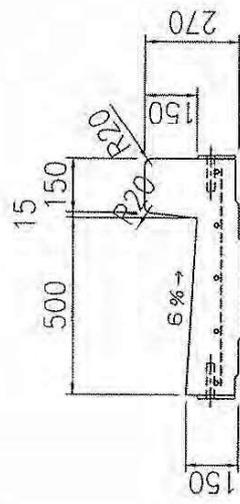
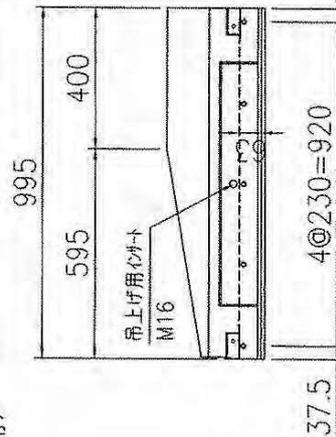
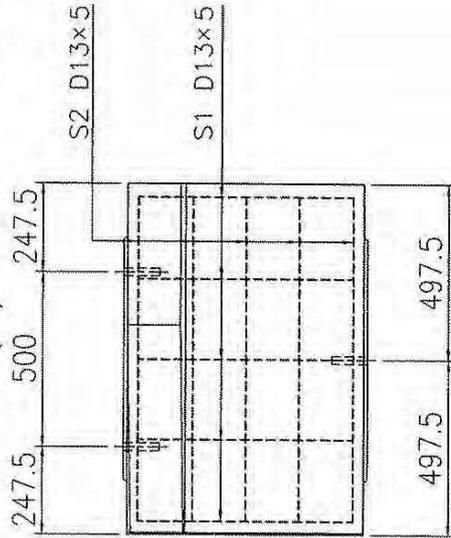
*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

インサート部詳細図
S=1/5



※斜用には左右があり、單
道から見ても左上がり左
用と呼ぶ。(図は右用)

l=1.0(m) S=1/20



(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に
掲載されています<L-2>。

記号	鉄筋径 (SD295*)	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	5	0.610	3.0
S2	D13	0.995	5	0.935	4.7
鉄筋総重量				7.7	(Kg)
製品立積				0.107	(m ³)

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

エプロン PGU (役物用)

設計条件

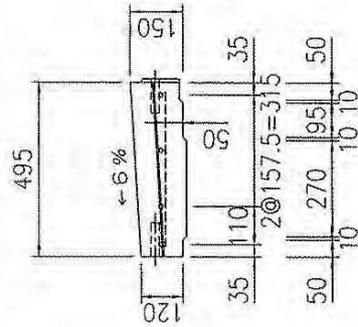
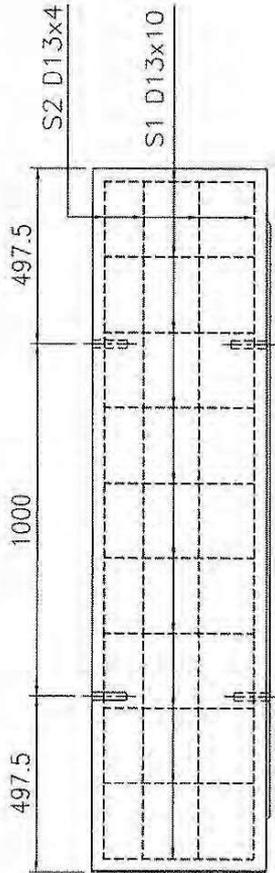
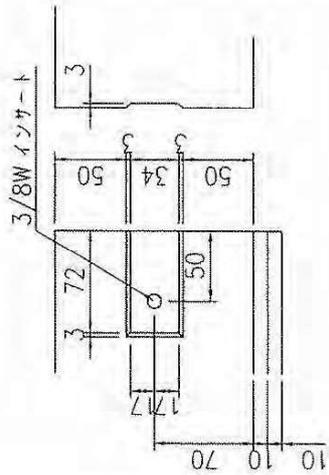
荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SD295*

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

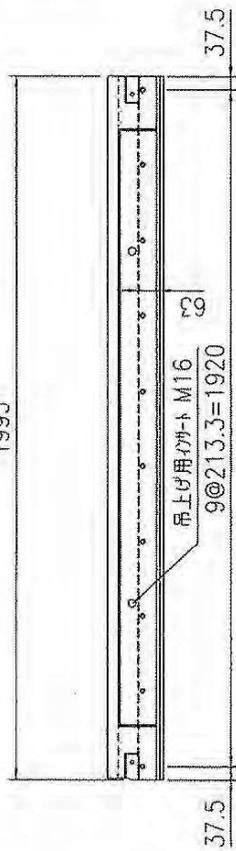
S=1/20

インサート部詳細図

S=1/5

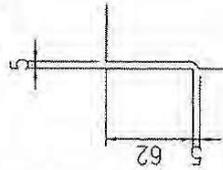


1995



ハッキン部詳細図

S=1/5



記号	鉄筋径 (SD295*)	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	10	0.435	4.3
S2	D13	0.995	4	1.935	7.7
鉄筋総重量					(Kg)
製品立積					(m ³)
					12.0
					0.138

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

エプロン PGU (役物用)

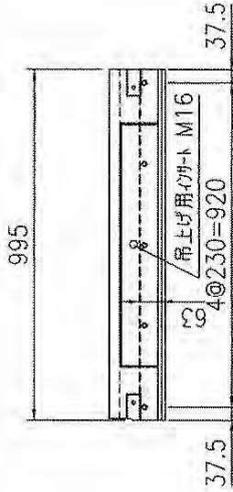
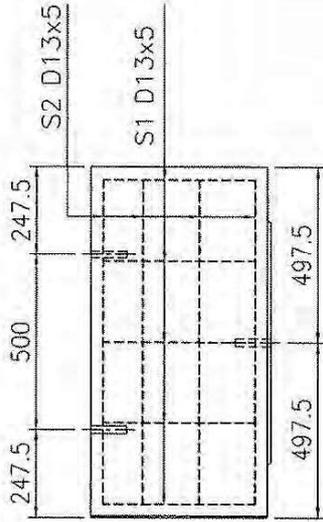
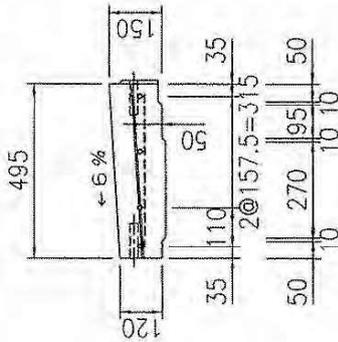
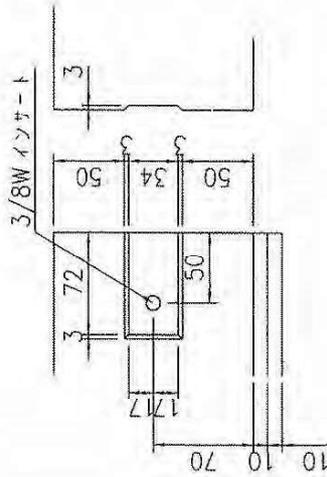
l=1.0(m) S=1/20

設計条件

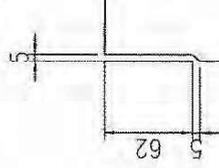
荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24 (N/mm^2)$
鉄筋	SD295*

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

インサート部詳細図
S=1/5



バッキン部詳細図
S=1/5

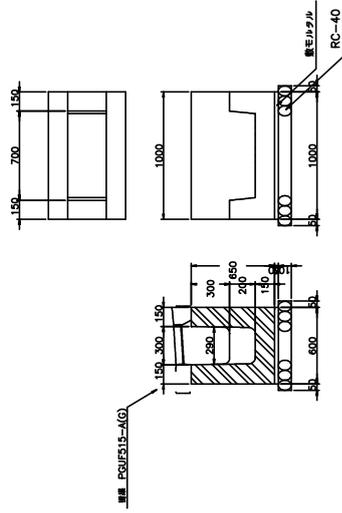


記号	鉄筋径 (SD295*)	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	5	0.435	2.2
S2	D13	0.995	4	0.935	3.7
鉄筋総重量					5.9 (Kg)
製品立積					0.069 (m³)

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

構造図 (その1) S=1:20

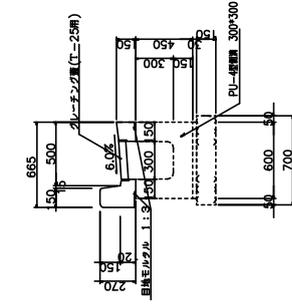
U型側溝樹 PGU型



材料表 (10箇所当り)

名称	規格	単位	数量	積算
運搬材	L=1000	㎡	7.00	
樹		個	10	PGUM-30
敷モルタル	1:3	㎡	6.00	

街渠工 PGUF515-A(G)

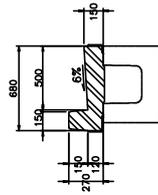


材料表 (10m当り)

名称	規格	単位	数量	積算
PGUF515-A(G)	L=2000	個	5	一般部

注) 1.連続して設置する場合、10m以内に1箇所水抜きブロックタイプを使用。

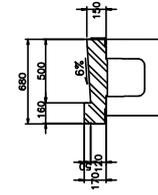
街渠工 PGUF515-S-A



材料表 (10箇所当り)

名称	規格	単位	数量	積算
PGUF515-S-A	L=1000	個	10	敷設材部(10箇所)

街渠工 PGU515-N-A (敷設兼入用)



材料表 (10m当り)

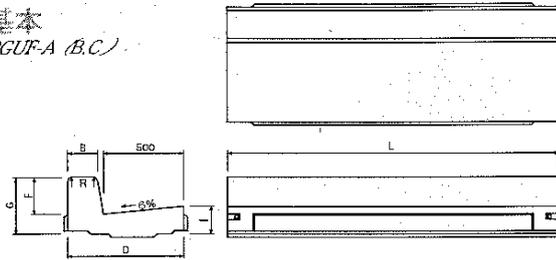
名称	規格	単位	数量	積算
PGU515-N-A	L=2000	個	5	敷設兼入用

年度	番号
設計名	主要地方道枚方大和郡山線
工事名	
所屬地名	交野市番治2丁目境内
図面名	
縮尺	1:20
作成	平成
年月	年 月
大阪府枚方土木事務所	

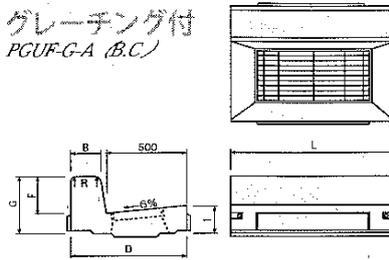
PGUF型 T-25 A/B/C

ロングUの上にて使用するプレキャスト街渠で歩道部がセミフラット型

基本 PGUF-A (B,C)

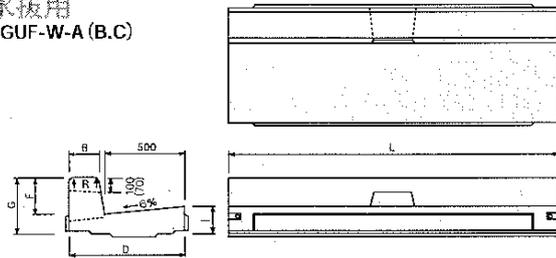


グレーチング付 PGUF-GA (B,C)



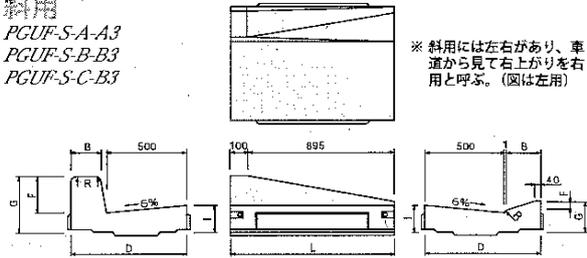
※ グレーチングは鋼製を標準とする。
グレーチング: EPMG-35
受け枠: EPMW-35

水抜用 PGUF-W-A (B,C)



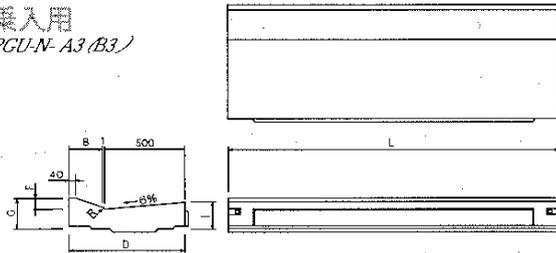
※ ()内はAブロック

斜用 PGUF-SA-A3 PGUF-S-B-B3 PGUF-S-C-B3

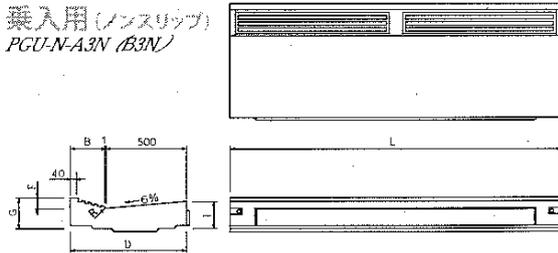


※ 斜用には左右があり、車道から見て右上がりを用と呼ぶ。(図は左用)

乗入用 PGU-N-A3 (B3)



乗入用(ノンスリップ) PGU-NA3N (B3N)



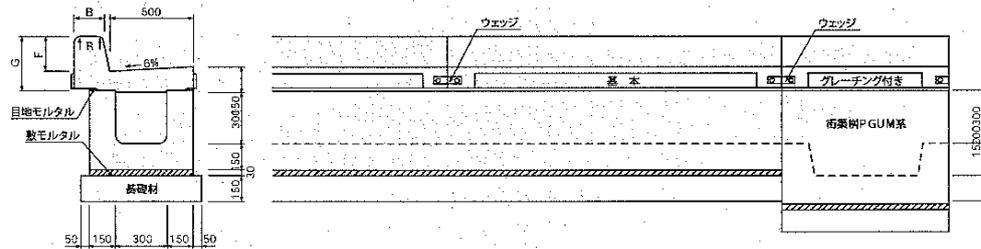
(10mあたり)

種別	呼び名	寸法 (mm)						参考質量 (kg)		L=1995 製品標準歩掛				L=995 製品標準歩掛			
		B	D	F	G	I	R	L=1995	L=995	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン
基本	PGUF-A	150	665	150	270	150	20	533	265	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-B	180	700	200	320	150	30	617	307	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-C	180	705	250	370	150	30	667	332	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
G付	PGUF-G-A	150	665	150	270	150	20	—	227	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-G-B	180	700	200	320	150	30	—	269	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-G-C	180	705	250	370	150	30	—	294	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
水抜用	PGUF-W-A	150	665	150	270	150	20	519	251	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-W-B	180	700	200	320	150	30	597	287	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-W-C	180	705	250	370	150	30	643	308	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
斜用	PGUF-S-A-A3	150~164	665	150~50	270~170	150	20~10	—	246	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-S-B-B3	180~199	700	200~50	320~170	150	30~10	—	275	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGUF-S-C-B3	180~199	705~700	250~50	370~170	150	30~10	—	288	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
乗入用	PGU-N-A3	164	665	50	170	150	10	443	221	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-N-B3	199	700	50	170	150	10	466	232	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-N-A3N	164	665	50	170	150	10	442	220	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGU-N-B3N	199	700	50	170	150	10	465	232	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30

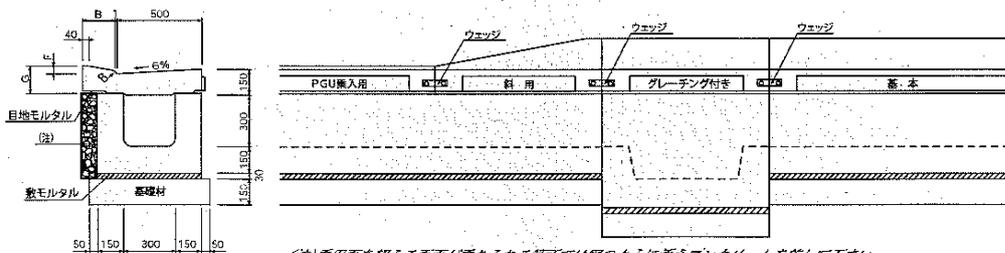
諸雑費率:3% (A) (A) (A) (B) (A) (A) (A) (B)

- A1 歩道は道幅1.5m以上の歩道を含む標準的な設計であり、床面、基礎、埋戻し等は含まれません。
- A2 歩道幅が1.5m未満の場合は、目地モルタルの厚みとして、右図表、トラッククレーンの厚みの合計に上乗せの量を算定して算出します。
- A3 扉を自由に使用するトラッククレーンは油圧式8~9.9tを標準とします。ただし、設置条件によりその規格を定めることができます。

標準施工図

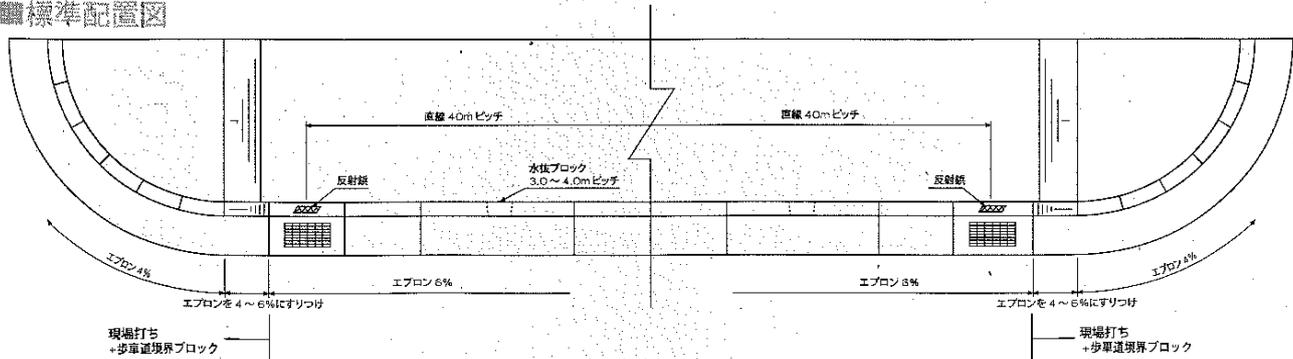


自動車乗入部施工図



(注) 乗入部を越える車両が乗り入れる箇所で歩道のように高さコンクリートを盛って下さい。歩道幅に合わせた厚みは別図として提出します。

標準配置図

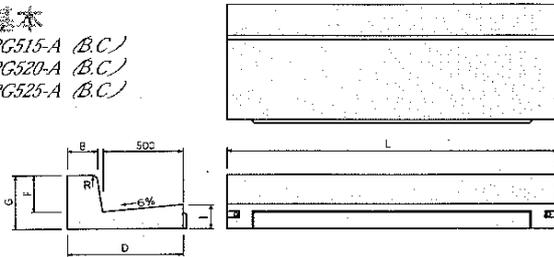


PG型 T-25 型

路面に直接設置するプレキャスト街渠で歩道部がマウンドアップ型

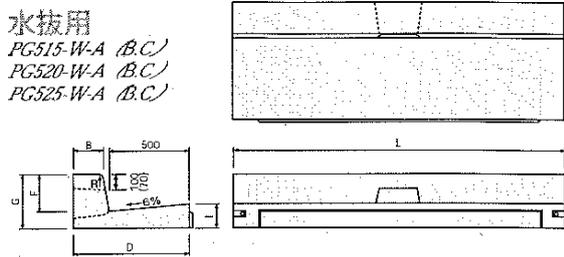
基本

PG515-A (B.C.)
PG520-A (B.C.)
PG525-A (B.C.)



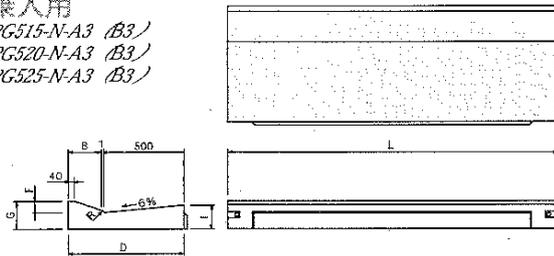
水抜用

PG515-W-A (B.C.)
PG520-W-A (B.C.)
PG525-W-A (B.C.)



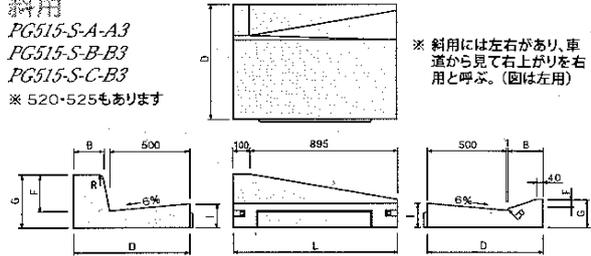
乗入用

PG515-N-A3 (B3)
PG520-N-A3 (B3)
PG525-N-A3 (B3)



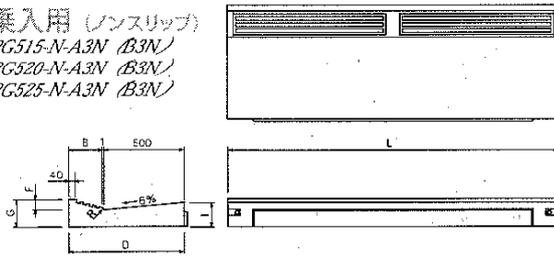
斜用

PG515-S-A-A3
PG515-S-B-B3
PG515-S-C-B3
※ 520・525もあります



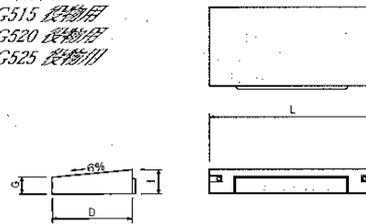
乗入用 (ノンスリップ)

PG515-N-A3N (B3N)
PG520-N-A3N (B3N)
PG525-N-A3N (B3N)



役物用

PG515 役物用
PG520 役物用
PG525 役物用



■エプロン厚 150mm

(10mあたり)

種別	呼び名	寸法 (mm)						参考質量 (kg)		L=1995 製品標準布設歩掛				L=995 製品標準布設歩掛			
		B	D	F	G	I	R	L=1995	L=995	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン
基本	PG515-A	150	665	150	270	150	20	522	260	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-B	180	700	200	320	150	30	609	304	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-C	180	705	250	370	150	30	659	329	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
乗入用	PG515-N-A3	164	665	50	170	150	10	439	219	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-N-B3	199	700	50	170	150	10	463	231	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-N-A3N	164	665	50	170	150	10	438	218	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-N-B3N	199	700	50	170	150	10	462	230	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
水抜用	PG515-W-A	150	665	150	270	150	20	511	248	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-W-B	180	700	200	320	150	30	592	285	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-W-C	180	705	250	370	150	30	638	306	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
斜用	PG515-S-A-A3	150~164	665	150~50	270~170	150	20~10	—	242	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-S-B-B3	180~199	700	200~50	320~170	150	30~10	—	271	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-S-C-B3	180~199	705~700	250~50	370~170	150	30~10	—	285	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
PG515役物用		—	495	—	120	150	—	—	157	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
										諸雑費率:3%				諸雑費率:3%			
										(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)

■エプロン厚 200mm

(10mあたり)

種別	呼び名	寸法 (mm)						参考質量 (kg)		L=1995 製品標準布設歩掛				L=995 製品標準布設歩掛			
		B	D	F	G	I	R	L=1995	L=995	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン
基本	PG520-A	150	665	150	320	200	20	679	339	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-B	180	700	200	370	200	30	774	386	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-C	180	705	250	420	200	30	826	412	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
乗入用	PG520-N-A3	164	665	50	220	200	10	596	297	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-N-B3	199	700	50	220	200	10	628	313	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-N-A3N	164	665	50	220	200	10	595	296	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-N-B3N	199	700	50	220	200	10	627	313	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
水抜用	PG520-W-A	150	665	150	320	200	20	669	326	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-W-B	180	700	200	370	200	30	758	368	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-W-C	180	705	250	420	200	30	805	389	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
斜用	PG520-S-A-A3	150~164	665	150~50	320~220	200	20~10	—	320	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-S-B-B3	180~199	700	200~50	370~220	200	30~10	—	353	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-S-C-R3	180~199	705~700	250~50	420~220	200	30~10	—	367	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
PG520役物用		—	495	—	170	200	—	—	216	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
										諸雑費率:3%				諸雑費率:3%			
										(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)

※エプロン厚180mmタイプも対応可能です。

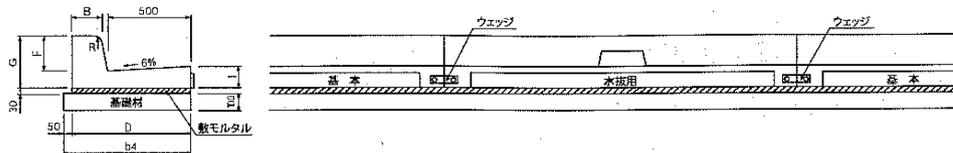
■エプロン厚 250mm

(10mあたり)

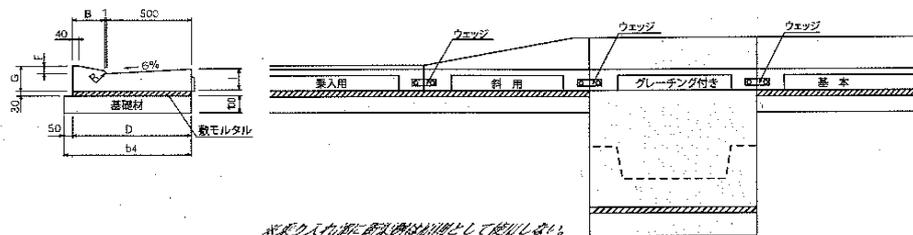
種別	呼び名	寸法 (mm)						参考質量 (kg)		L=1995 製品標準布設歩掛				L=995 製品標準布設歩掛			
		B	D	F	G	I	R	L=1995	L=995	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン
基本	PG525-A	150	665	150	370	250	20	836	417	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-B	180	700	200	420	250	30	939	468	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-C	180	705	250	470	250	30	992	494	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
乗入用	PG525-N-A3	164	665	50	270	250	10	753	375	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-N-B3	199	700	50	270	250	10	794	396	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-N-A3N	164	665	50	270	250	10	752	374	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-N-B3N	199	700	50	270	250	10	793	395	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
水抜用	PG525-W-A	150	665	150	370	250	20	827	405	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-W-B	180	700	200	420	250	30	924	450	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-W-C	180	705	250	470	250	30	973	473	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
斜用	PG525-S-A-A3	150~164	665	150~50	370~270	250	20~10	—	398	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-S-B-B3	180~199	700	200~50	420~270	250	30~10	—	436	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-S-C-B3	180~199	705~700	250~50	470~270	250	30~10	—	450	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
PG525役物用		—	495	—	220	250	—	—	274	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
										諸雑費率:3%				諸雑費率:3%			
										(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)

PG型

標準施工図



自動車乗入部施工図



エプロン厚 150mm

(10mあたり)

呼び名	寸法 (mm)							基礎 b4	敷モルタル ()	基礎材 ()
	B	D	F	G	I	R	L			
PG515-A	150	665	150	270	150	20	1995	715	0.20	0.7 (0.72)
PG515-B	180	700	200	320	150	30	1995	750	0.21	0.8 (0.75)
PG515-C	180	705	250	370	150	30	1995	755	0.21	0.8 (0.76)

エプロン厚 200mm

(10mあたり)

呼び名	寸法 (mm)							基礎 b4	敷モルタル ()	基礎材 ()
	B	D	F	G	I	R	L			
PG520-A	150	665	150	320	200	20	1995	715	0.20	0.7 (0.72)
PG520-B	180	700	200	370	200	30	1995	750	0.21	0.8 (0.75)
PG520-C	180	705	250	420	200	30	1995	755	0.21	0.8 (0.76)

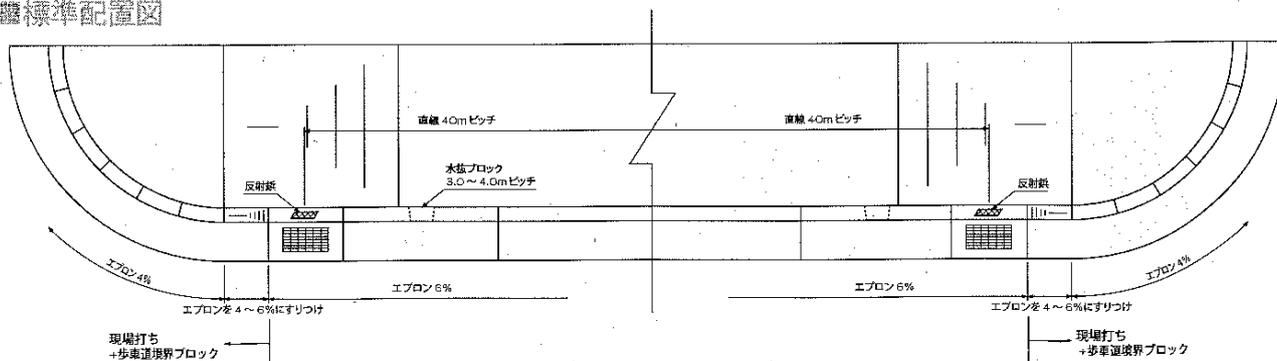
エプロン厚 250mm

(10mあたり)

呼び名	寸法 (mm)							基礎 b4	敷モルタル ()	基礎材 ()
	B	D	F	G	I	R	L			
PG525-A	150	665	150	370	250	20	1995	715	0.20	0.7 (0.72)
PG525-B	180	700	200	420	250	30	1995	750	0.21	0.8 (0.75)
PG525-C	180	705	250	470	250	30	1995	755	0.21	0.8 (0.76)

※基礎材の()内の数値は標準コンクリートの割合に使用します。

標準配置図

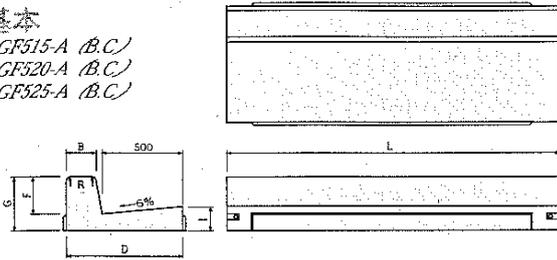


PGF型 T-25 1/25

路面に直接設置するプレキャスト街渠で歩道部がセミフラット型

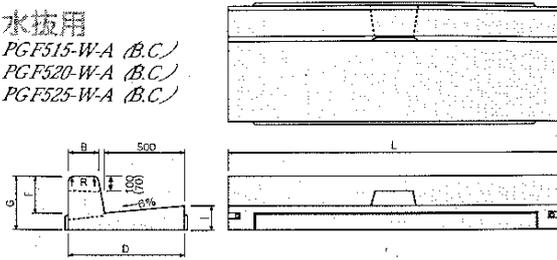
基本

PGF515-A (B.C.)
PGF520-A (B.C.)
PGF525-A (B.C.)



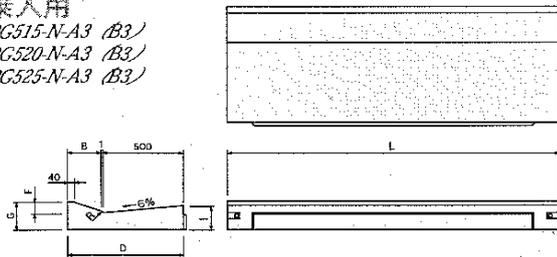
水抜用

PGF515-W-A (B.C.)
PGF520-W-A (B.C.)
PGF525-W-A (B.C.)



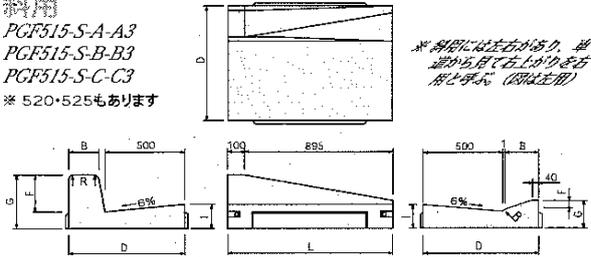
乗入用

PGF515-N-A3 (B3)
PGF520-N-A3 (B3)
PGF525-N-A3 (B3)



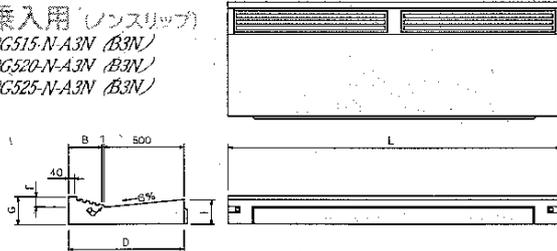
斜用

PGF515-S-A-A3
PGF515-S-B-B3
PGF515-S-C-C3
※ 520・525もあります



乗入用 (ノンスリップ)

PGF515-N-A3N (B3N)
PGF520-N-A3N (B3N)
PGF525-N-A3N (B3N)



■エプロン厚 150mm

(10mあたり)

種別	呼び名	寸法 (mm)						参考質量 (kg)		L=1995 製品標準布設歩掛				L=995 製品標準布設歩掛			
		B	D	F	G	I	R	L=1995	L=995	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン
基本	PGF515-A	150	665	150	270	150	20	529	263	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF515-B	180	700	200	320	150	30	615	306	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF515-C	180	705	250	370	150	30	665	331	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
水抜用	PGF515-W-A	150	665	150	270	150	20	515	249	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF515-W-B	180	700	200	320	150	30	595	286	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF515-W-C	180	705	250	370	150	30	641	307	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
斜用	PGF515-S-A-A3	150~164	665	150~50	270~170	150	20~10	—	244	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF515-S-B-B3	180~199	700	200~50	320~170	150	30~10	—	273	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF515-S-C-B3	180~199	705~700	250~50	370~170	150	30~10	—	287	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
乗入用	PG515-N-A3	164	665	50	170	150	10	439	219	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-N-B3	199	700	50	170	150	10	463	231	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-N-A3N	164	665	50	170	150	10	438	218	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG515-N-B3N	199	700	50	170	150	10	462	230	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
										諸雑費率:3%				諸雑費率:3%			
										(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)

■エプロン厚 200mm

(10mあたり)

種別	呼び名	寸法 (mm)						参考質量 (kg)		L=1995 製品標準布設歩掛				L=995 製品標準布設歩掛			
		B	D	F	G	I	R	L=1995	L=995	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン
基本	PGF520-A	150	665	150	320	200	20	688	342	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF520-B	180	700	200	370	200	30	783	389	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF520-C	180	705	250	420	200	30	834	415	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
水抜用	PGF520-W-A	150	665	150	320	200	20	674	328	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF520-W-B	180	700	200	370	200	30	763	369	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF520-W-C	180	705	250	420	200	30	810	391	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
斜用	PGF520-S-A-A3	150~164	665	150~50	320~220	200	20~10	—	323	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF520-S-B-B3	180~199	700	200~50	370~220	200	30~10	—	357	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF520-S-C-B3	180~199	705~700	250~50	420~220	200	30~10	—	371	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
乗入用	PG520-N-A3	164	665	50	220	200	10	596	297	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-N-B3	199	700	50	220	200	10	628	313	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-N-A3N	164	665	50	220	200	10	598	296	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG520-N-B3N	199	700	50	220	200	10	627	313	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
										諸雑費率:3%				諸雑費率:3%			
										(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)

※エプロン厚180mmタイプも対応可能です。

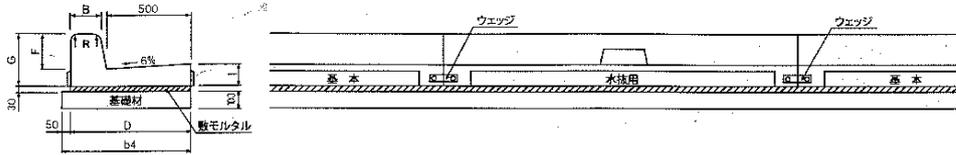
■エプロン厚 250mm

(10mあたり)

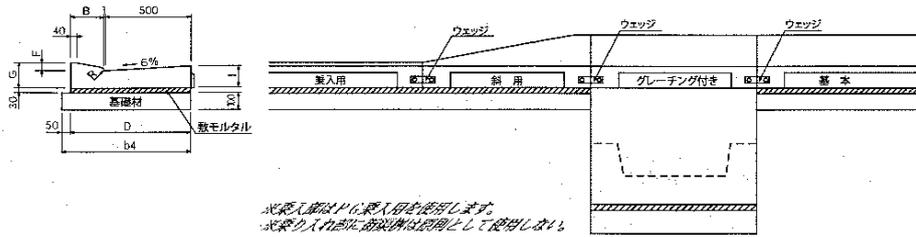
種別	呼び名	寸法 (mm)						参考質量 (kg)		L=1995 製品標準布設歩掛				L=995 製品標準布設歩掛			
		B	D	F	G	I	R	L=1995	L=995	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン
基本	PGF525-A	150	665	150	370	250	20	848	422	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF525-B	180	700	200	420	250	30	951	473	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF525-C	180	705	250	470	250	30	1004	499	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
水抜用	PGF525-W-A	150	665	150	370	250	20	834	407	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF525-W-B	180	700	200	420	250	30	931	452	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF525-W-C	180	705	250	470	250	30	979	475	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
斜用	PGF525-S-A-A3	150~164	665	150~50	370~270	250	20~10	—	403	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF525-S-B-B3	180~199	700	200~50	420~270	250	30~10	—	440	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
	PGF525-S-C-B3	180~199	705~700	250~50	470~270	250	30~10	—	455	—	—	—	—	0.30	0.30	0.80	0.30
乗入用	PG525-N-A3	164	665	50	270	250	10	753	375	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-N-B3	199	700	50	270	250	10	794	396	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-N-A3N	164	665	50	270	250	10	752	374	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
	PG525-N-B3N	199	700	50	270	250	10	793	395	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30
										諸雑費率:3%				諸雑費率:3%			
										(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)

PGF型

標準施工図



自動車乗入部施工図



エプロン厚 150mm

(10mあたり)

呼び名	寸法 (mm)							基礎 b4	敷モルタル ()	基礎材 ()
	B	D	F	G	I	R	L			
PGF515-A	150	665	150	270	150	20	1995	715	0.20	0.7 (0.72)
PGF515-B	180	700	200	320	150	30	1995	750	0.21	0.8 (0.75)
PGF515-C	180	705	250	370	150	30	1995	755	0.21	0.8 (0.76)

エプロン厚 200mm

(10mあたり)

呼び名	寸法 (mm)							基礎 b4	敷モルタル ()	基礎材 ()
	B	D	F	G	I	R	L			
PGF520-A	150	665	150	320	200	20	1995	715	0.20	0.7 (0.72)
PGF520-B	180	700	200	370	200	30	1995	750	0.21	0.8 (0.75)
PGF520-C	180	705	250	420	200	30	1995	755	0.21	0.8 (0.76)

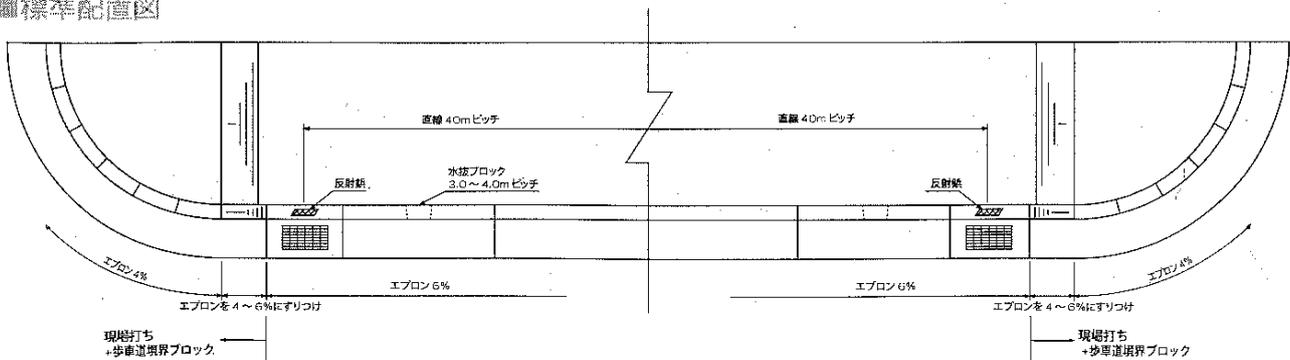
エプロン厚 250mm

(10mあたり)

呼び名	寸法 (mm)							基礎 b4	敷モルタル ()	基礎材 ()
	B	D	F	G	I	R	L			
PGF525-A	150	665	150	370	250	20	1995	715	0.20	0.7 (0.72)
PGF525-B	180	700	200	420	250	30	1995	750	0.21	0.8 (0.75)
PGF525-C	180	705	250	470	250	30	1995	755	0.21	0.8 (0.76)

※基礎材のC10以上の強度はすべてコンクリートに使用します。

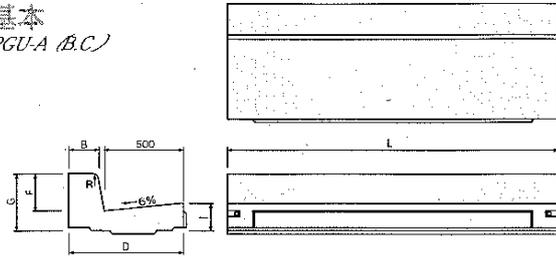
標準配置図



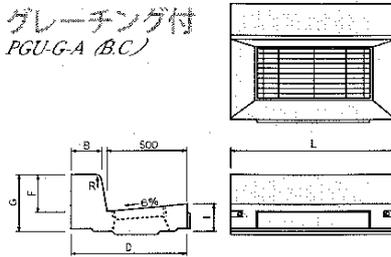
PGU型 T-25 A/B

ロングUの上のせて使用するプレキャスト街渠で歩道部がマウンドアップ型

基本 PGU-A (B,C)

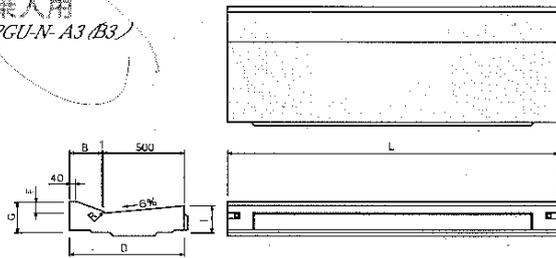


グレーチング付 PGU-G-A (B,C)

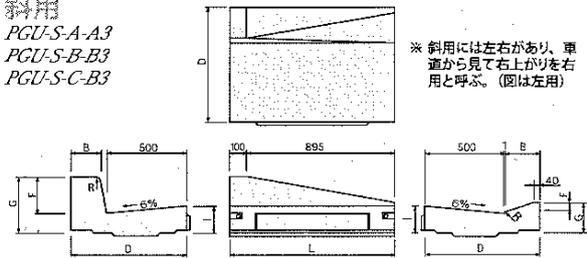


※ グレーチングは鋼製を標準とする。
グレーチング: EPMG-35
受け 枠: EPMW-35

乗入用 PGU-N-A3 (B3)

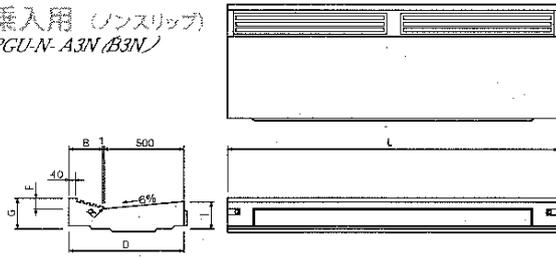


斜用 PGU-S-A-A3 PGU-S-B-B3 PGU-S-C-B3

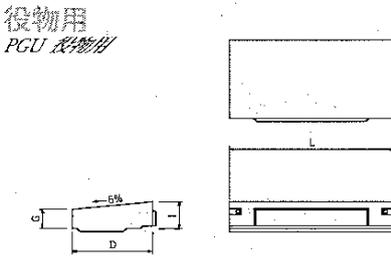


※ 斜用には左右があり、車道から見て右上がりを右用と呼ぶ。(図は左用)

乗入用 (ノンスリップ) PGU-N-A3N (B3N)



役物用 PGU 及び物用



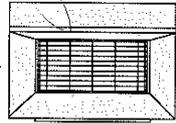
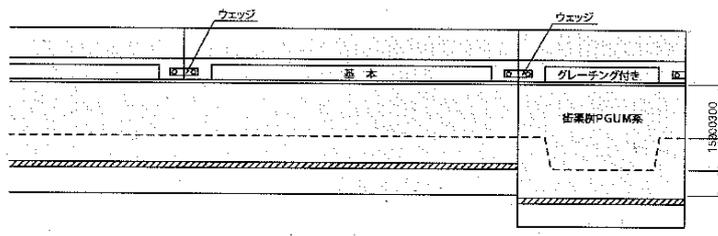
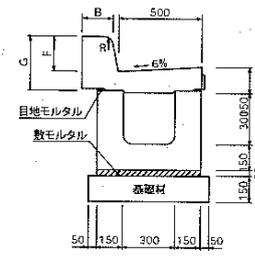
(10mあたり)

種別	呼び名	寸法(mm)						参考質量(kg)		L=1995 製品標準布設歩掛					L=995 製品標準布設歩掛				
		B	D	F	G	I	R	L=1995	L=995	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン		
基本	PGU-A	150	665	150	270	150	20	527	263	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30		
	PGU-B	180	700	200	320	150	30	612	305	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30		
	PGU-C	180	705	250	370	150	30	662	330	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30		
乗入用	PGU-N-A3	164	665	50	170	150	10	443	221	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30		
	PGU-N-B3	199	700	50	170	150	10	466	232	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30		
	PGU-N-A3N	164	665	50	170	150	10	442	220	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30		
	PGU-N-B3N	199	700	50	170	150	10	465	232	0.10	0.10	0.30	0.10	0.30	0.30	0.80	0.30		
G付	PGU-G-A	150	665	150	270	150	20	-	225	-	-	-	-	0.30	0.30	0.80	0.30		
	PGU-G-B	180	700	200	320	150	30	-	267	-	-	-	-	0.30	0.30	0.80	0.30		
	PGU-G-C	180	705	250	370	150	30	-	292	-	-	-	-	0.30	0.30	0.80	0.30		
斜用	PGU-S-A-A3	150~164	665	150~50	270~170	150	20~10	-	244	-	-	-	-	0.30	0.30	0.80	0.30		
	PGU-S-B-B3	180~199	700	200~50	320~170	150	30~10	-	272	-	-	-	-	0.30	0.30	0.80	0.30		
	PGU-S-C-B3	180~199	705~700	250~50	370~170	150	30~10	-	286	-	-	-	-	0.30	0.30	0.80	0.30		
PGU投物用		-	495	-	120	150	-	-	163	-	-	-	-	0.30	0.30	0.80	0.30		

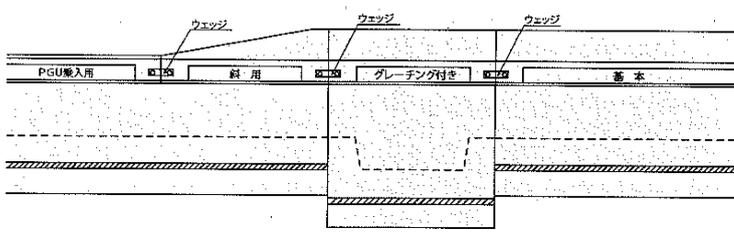
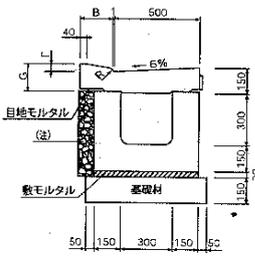
- *A1 歩掛は距離が30mを超えたり歩掛が異なる場合は別作業であり、水溝基礎、型架し等は含まれません。
- *A2 高圧管は小断面管の材料、自動付根付はるよび管をL型として、水溝用トラッククレーンの費用の上乗せを要しは必要を上乗せとして計上します。
- *A3 高圧管に用いるトラッククレーンは油圧式A3-A9用を標準とします。ただし、現場条件によりその規格を変更することができます。

諸雑費率:3% (人) (人) (人) (日) (人) (人) (人) (日)

標準施工図

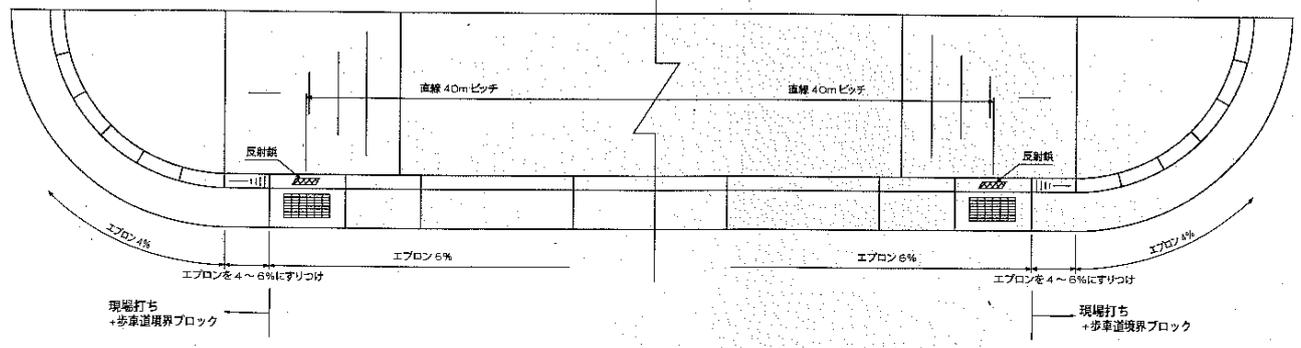


自動車乗入部施工図

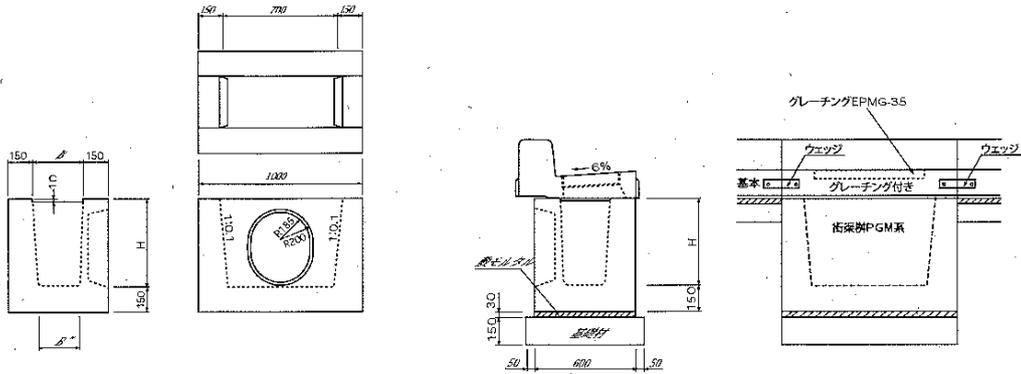


(注) 乗入部を越える部分が乗り入れる箇所では図のように高さコンクリートを設置して下さい。
※乗り入れ部に高圧管は斜用として使用しない。

標準配置図



街渠樹PGM系 T-25.446 (ロソ先と蓋なしタイプ)

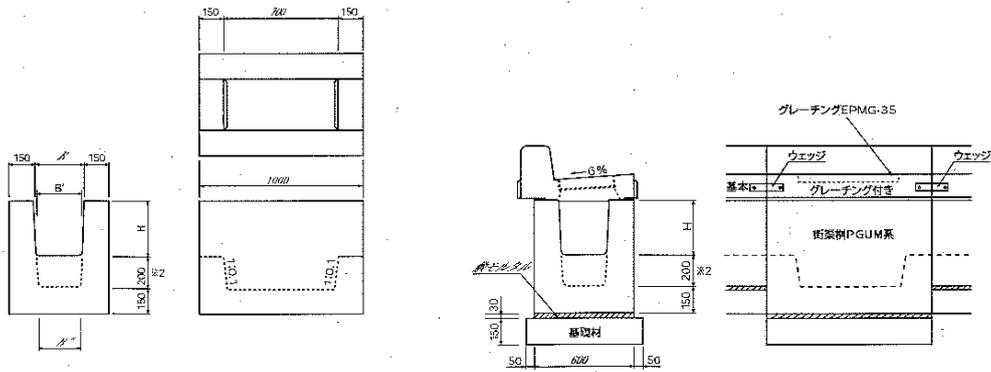


(10基あたり)

呼び名	寸法 (mm)					参考質量 (標準) (kg)	標準布設歩掛			
	B	B'	H	L	土木 世話役		特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	
PGM-50	300	283	500	1000	680	0.4	0.4	1.0	0.6	
PGM-60	300	280	600	1000	795	0.4	0.4	1.0	0.6	
PGM-70	300	272	700	1000	910	0.6	0.6	1.1	0.7	
PGM-80	300	270	800	1000	1,135	0.7	0.7	1.5	0.8	

※配水管取付用孔は一方が標準です。
諸雑費率：3%
(人) (人) (人) (日)

街渠樹PGUM系 T-25.446 (ロソ先と蓋なしタイプ)



(10基あたり)

呼び名	寸法 (mm)					参考質量 (標準) (kg)	標準布設歩掛			
	B	B'	B''	H	L		土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン
PGUM-30	300	290	283	300	1000	625	0.4	0.4	1.0	0.6
PGUM-40	300	287	280	400	1000	755	0.4	0.4	1.0	0.6
PGUM-50	300	280	272	500	1000	860	0.6	0.6	1.1	0.7

※1 配水管取付用孔なしを標準とする。
別添指示により開孔します。
※2 PGUM30の泥溜め500タイプもあります。
諸雑費率：3%
(人) (人) (人) (日)

■街渠樹(集水樹)設置間隔

(単位:m)

集水幅	縦断勾配	0.3%	0.5%	1.0%	1.5%	2.0%	2.5%	3.0%	3.5%	4.0%	5.0%	6.0%	7.0%	8.0%
3.0m		16	20	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
4.0m		12	16	24	28	32	32	32	32	32	32	32	32	32
5.0m		8	12	16	20	24	28	32	32	32	32	32	32	32
6.0m		8	8	16	16	20	24	28	28	32	32	32	32	32
7.0m		4	8	12	16	16	20	24	24	24	28	32	32	32
8.0m		4	8	12	12	16	16	20	20	24	24	28	32	32
9.0m		4	4	8	12	12	16	16	20	20	24	24	28	28
10.0m		4	4	8	8	12	12	16	16	16	20	20	24	24
11.0m		4	4	8	8	12	12	12	16	16	16	20	20	24
12.0m		4	4	8	8	8	12	12	12	16	16	16	20	20
13.0m		4	4	8	8	8	8	12	12	12	16	16	16	20
14.0m		4	4	4	8	8	8	12	12	12	12	16	16	16
15.0m		4	4	4	4	8	8	8	12	12	12	12	16	16
16.0m		4	4	4	4	8	8	8	8	12	12	12	16	16
17.0m		4	4	4	4	8	8	8	8	8	12	12	12	16
18.0m		4	4	4	4	4	8	8	8	8	12	12	12	12
19.0m		4	4	4	4	4	8	8	8	8	8	8	12	12
20.0m		4	4	4	4	4	4	8	8	8	8	8	12	12

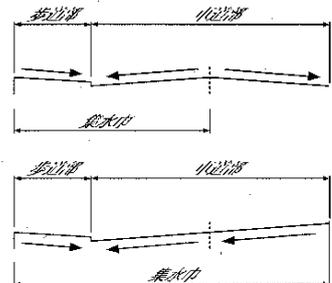
- ※1 集水幅は右側となる向きと樹(集水樹)に接する道路側集水樹の間隔です。
- ※2 設置間隔は最大4m、最小3m以内とします。
- ※3 水溝の長さ等については、集水幅について別途下図とします。
- ※4 歩道の側面に並列して設置する場合は、原則として使用しません。

■街渠樹 PGM系(ロングUと接続しない樹)

県記号	下部記号	上部記号	
		PGU系	PGUF系
PGM(F)-50-A	PGM-50	PGU-G-A	PGUF-G-A
PGM(F)-50-B		PGU-G-B	PGUF-G-B
PGM(F)-50-C		PGU-G-C	PGUF-G-C
PGM(F)-60-A	PGM-60	PGU-G-A	PGUF-G-A
PGM(F)-60-B		PGU-G-B	PGUF-G-B
PGM(F)-60-C		PGU-G-C	PGUF-G-C
PGM(F)-70-A	PGM-70	PGU-G-A	PGUF-G-A
PGM(F)-70-B		PGU-G-B	PGUF-G-B
PGM(F)-70-C		PGU-G-C	PGUF-G-C
PGM(F)-80-A	PGM-80	PGU-G-A	PGUF-G-A
PGM(F)-80-B		PGU-G-B	PGUF-G-B
PGM(F)-80-C		PGU-G-C	PGUF-G-C

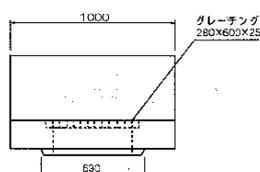
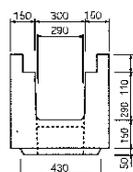
■街渠樹 PGUM系(ロングUと接続する樹)

県記号	下部記号	上部記号	
		PGU系	PGUF系
PGUM(F)-30-A	PGUM-30	PGU-G-A	PGUF-G-A
PGUM(F)-30-B		PGU-G-B	PGUF-G-B
PGUM(F)-30-C		PGU-G-C	PGUF-G-C
PGUM(F)-40-A	PGUM-40	PGU-G-A	PGUF-G-A
PGUM(F)-40-B		PGU-G-B	PGUF-G-B
PGUM(F)-40-C		PGU-G-C	PGUF-G-C
PGUM(F)-50-A	PGUM-50	PGU-G-A	PGUF-G-A
PGUM(F)-50-B		PGU-G-B	PGUF-G-B
PGUM(F)-50-C		PGU-G-C	PGUF-G-C

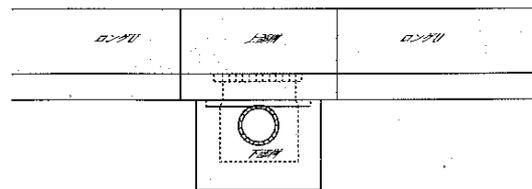


ロングU 会所樹

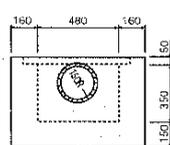
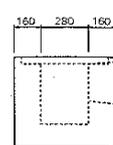
■上部樹



■標準施工図



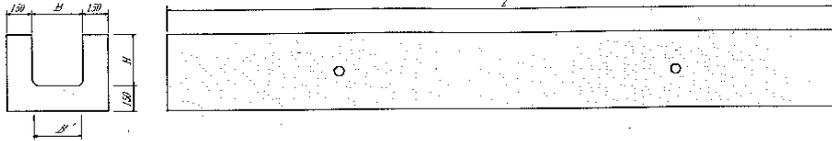
■下部樹



呼び名	参考質量	土木世帯役	特殊作業員	普通作業員	トラッククレーン	対応する倒溝
上部樹	420	0.3	0.3	0.7	0.5	PU234
下部樹	450	0.3	0.3	0.7	0.5	PU534
	(kg)	(人)	(人)	(人)	(日)	

(10基あたり)

ロングU PU1型 T-25.4/65



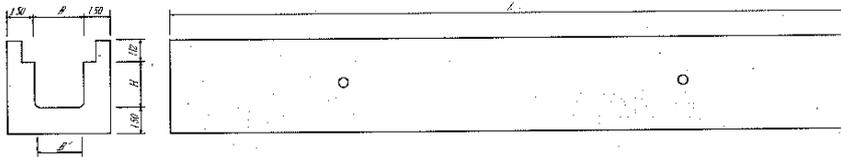
■PU1/蓋掛けなし

エブロンと併用して使用可能です。

(10mあたり)

呼び名	寸法 (mm)					参考質量 (標準) (kg)	標準長製品標準布設歩掛				L=2000製品標準布設歩掛				L=1000製品標準布設歩掛			
	B	B'	H	H2	L (標準)		土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン
PU133	300	290	300	—	4000	1,750	0.14	0.14	0.42	0.14	0.20	0.20	0.80	0.20	0.40	0.40	1.00	0.40
PU134	300	287	400	—	4000	2,040	0.15	0.15	0.45	0.15	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.00	0.40
PU135	300	280	500	—	4000	2,330	0.15	0.16	0.45	0.15	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.00	0.40
PU136	300	280	600	—	3000	1,970	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
PU144	400	387	400	—	4000	2,190	0.15	0.15	0.45	0.15	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.00	0.40
PU145	400	380	500	—	3000	1,860	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
PU146	400	380	600	—	3000	2,080	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
PU147	400	380	700	—	3000	2,280	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
PU155	500	480	500	—	3000	1,970	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
PU156	500	480	600	—	3000	2,180	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
PU157	500	480	700	—	3000	2,400	0.26	0.52	1.04	0.26	0.30	0.30	1.10	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
							諸雑費率:4%				諸雑費率:9%				諸雑費率:9%			
							(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)

ロングU PU2型 T-25.4/65

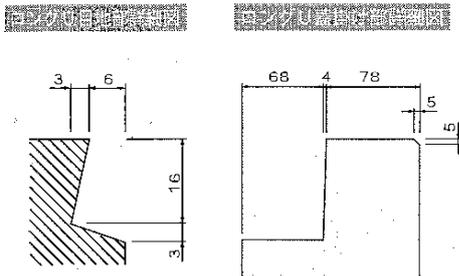


■PU2/蓋掛けあり

蓋 (NC2系) と併用して使用します。

(10mあたり)

呼び名	寸法 (mm)					参考質量 (標準) (kg)	標準長製品標準布設歩掛				L=2000製品標準布設歩掛				L=1000製品標準布設歩掛				
	B	B'	H	H2	L (標準)		土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	土木 世話役	特殊 作業員	普通 作業員	トラック クレーン	
(旧PU434)	PU234	300	290	290	110	4000	1,890	0.15	0.15	0.45	0.15	0.20	0.20	0.80	0.20	0.40	0.40	1.00	0.40
(旧PU435)	PU235	300	287	390	110	4000	2,190	0.15	0.15	0.45	0.15	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.00	0.40
(旧PU436)	PU236	300	280	490	110	4000	2,470	0.15	0.16	0.45	0.15	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
(旧PU444)	PU244	400	390	280	120	4000	2,020	0.15	0.15	0.45	0.15	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.00	0.40
(旧PU445)	PU245	400	387	380	120	4000	2,320	0.15	0.16	0.45	0.15	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.00	0.40
	PU246	400	380	480	120	3000	1,960	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
	PU247	400	380	580	120	3000	2,160	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
(旧PU455)	PU255	500	487	370	130	3000	1,830	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
(旧PU456)	PU256	500	480	470	130	3000	2,050	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	0.80	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
	PU257	500	480	570	130	3000	2,270	0.24	0.48	0.96	0.24	0.30	0.30	1.10	0.30	0.40	0.40	1.60	0.40
							諸雑費率:4%				諸雑費率:9%				諸雑費率:9%				
							(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)	(人)	(人)	(人)	(日)	



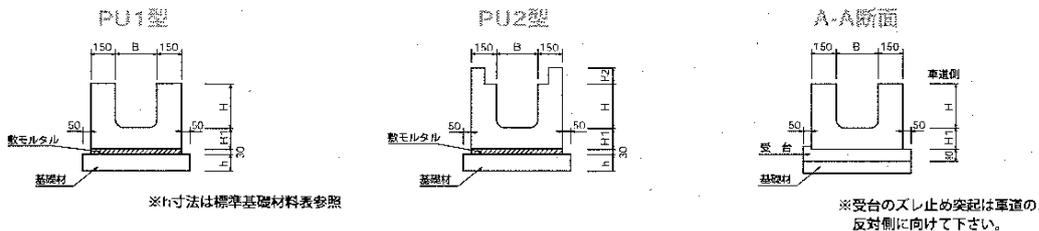
- *11 公差は基礎および標準の規格値の(標準)とは、寸法表に適用している(仮寸)のものとなります。
- *12 鉛垂は、基礎の厚さの公差を含む標準的な取り付け作業であり、床面、基礎、壁の戻し等は含まれません。
- *13 基礎材は、高強度繊維の繊維、巨型モルタルおよび数モルタルの混合物として、乾燥後、トランプクリーン原料の混合物に表中の率を乗じた割合を上限として計上します。
- *14 取り付けに使用するトランプクリーンは油圧式0.81~1.91倍の倍率となります。ただし、基礎条件によりその倍率を変えることができます。

標準基礎材料表 (10mあたり)

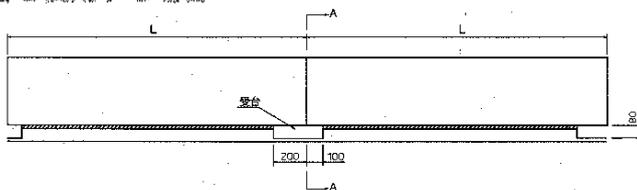
呼び名	基礎厚 h (mm)	数モルタル ()	基礎材 ()
PU133	150	0.18	1.1 (1.05)
PU134	150	0.18	1.1 (1.05)
PU135	150	0.18	1.1 (1.05)
PU136	150	0.18	1.1 (1.05)
PU144	150	0.21	1.2 (1.20)
PU145	150	0.21	1.2 (1.20)
PU146	150	0.21	1.2 (1.20)
PU147	150	0.21	1.2 (1.20)
PU155	150	0.24	1.4 (1.35)
PU156	150	0.24	1.4 (1.35)
PU157	150	0.24	1.4 (1.35)
PU234	150	0.18	1.1 (1.05)
PU235	150	0.18	1.1 (1.05)
PU236	150	0.18	1.1 (1.05)
PU244	150	0.21	1.2 (1.20)
PU245	150	0.21	1.2 (1.20)
PU246	150	0.21	1.2 (1.20)
PU247	150	0.21	1.2 (1.20)
PU255	150	0.24	1.4 (1.35)
PU256	150	0.24	1.4 (1.35)
PU257	150	0.24	1.4 (1.35)

- *11 基礎材の () 率は全てコンクリートの場合に使用する。
- *12 数モルタルの材料及び施工の厚さは小断面積に付す。

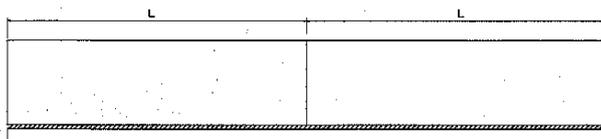
標準施工図



受台を使用する場合



受台を使用しない場合

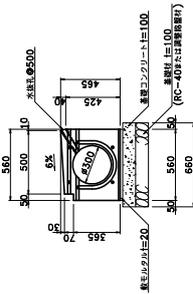


路面排水工詳細図 1/4 S=1/20
側溝工・街渠樹工

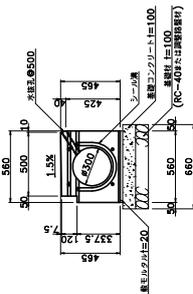
側溝工
L型側溝

街渠樹工

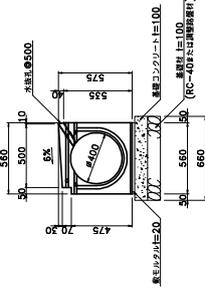
L1φ300型



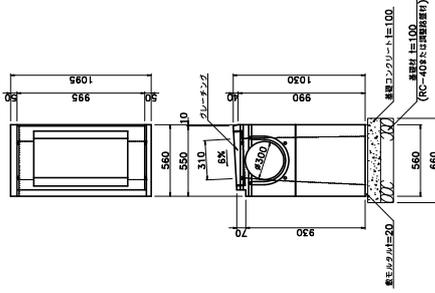
L2φ300型



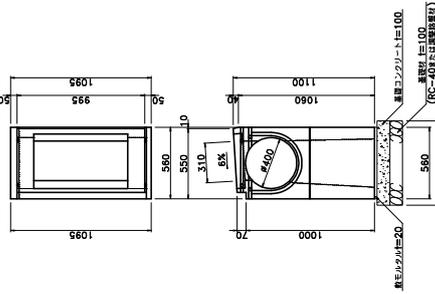
L1φ400型



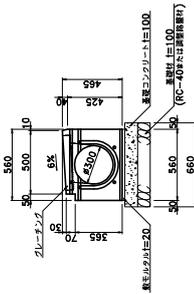
街渠樹Lφ300型



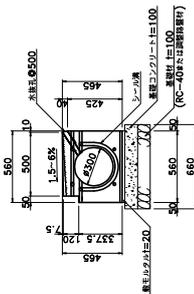
街渠樹Lφ400型



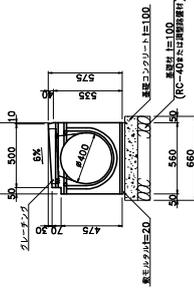
L5φ300集水型



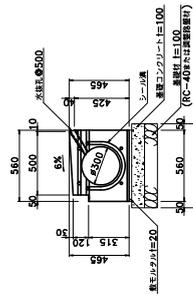
L3φ300型



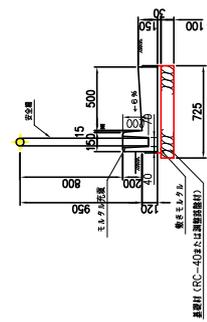
L5φ400集水型



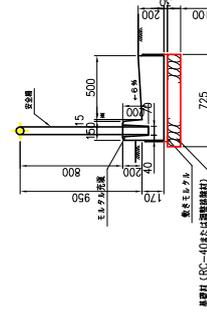
L4φ300型
(挿入部)



PGF515B型
(B交通用)



PGF520B型
(C交通用)



※ 蓋板の幅は、規格200mm以上です。

年度	平成14~15年度	番号	66/73
図様名	都市計画道路 枚方大和田田線 外		
工事名	枚方市 遊子集積町 外		
所在地名	路面排水工詳細図 1/4		
図面種別	作図	年月	平成16年 3月
縮尺	大阪府枚方土木事務所		

市場製品図集タイプ

PGF520A-2 平成19年 1月 5日 *****

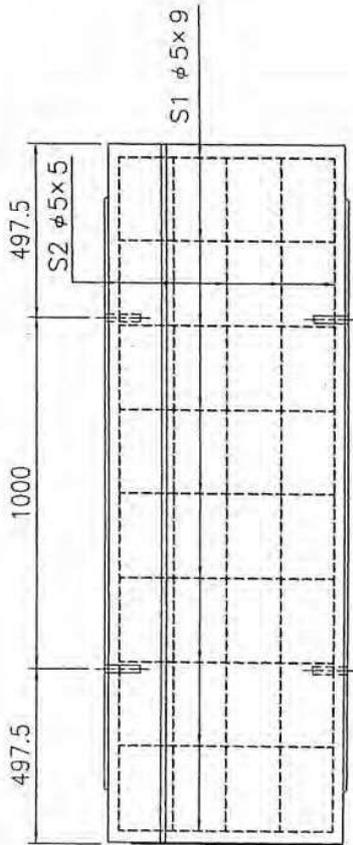
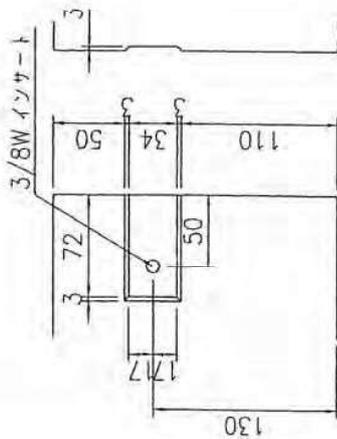
イプロン PGF520-A (基本)

設計条件

荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SWM-BXはSWM-P

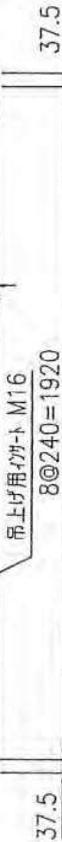
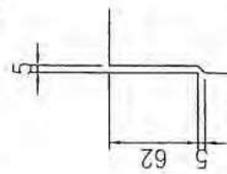
インサート設計細図

S=1/5



1995

ハッキン設計細図
S=1/5



(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています<L-4>。

記号	鉄筋径	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	φ5	0.154	9	0.610	0.8
S2	φ5	0.154	5	1.925	1.5
鉄筋総重量				2.3	(Kg)
製品立積				0.287	(m')

市場製品図集タイプ

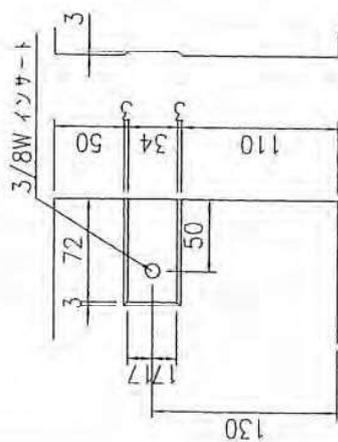
エプロン PG520-N-A (乗入用)

設計条件

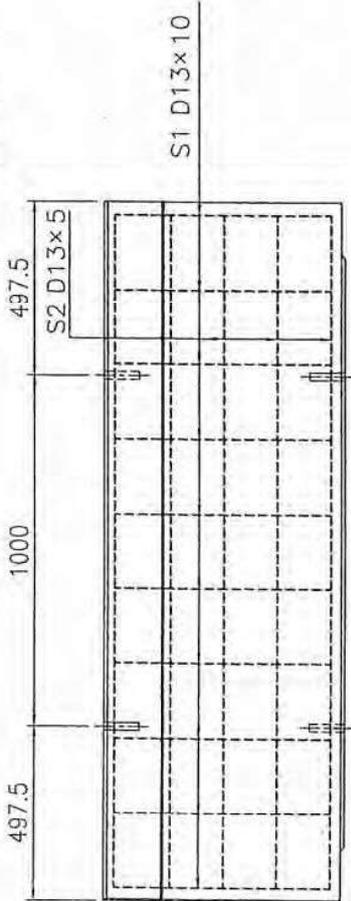
荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SD295*

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

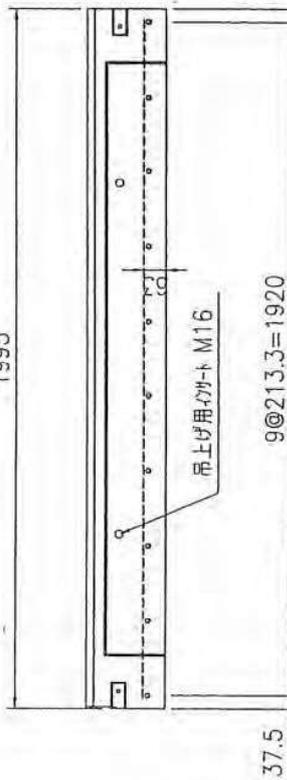
インサート部詳細図
S=1/5



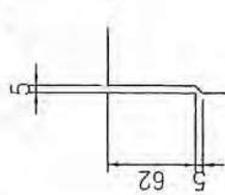
S=1/20



1995



パッキン部詳細図
S=1/5



(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています<L-4>。

記号	鉄筋径	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	10	0.610	6.1
S2	D13	0.995	5	1.935	9.6
鉄筋総重量				15.7	(Kg)
製品立積				0.255	(m ³)

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

市場製品図集タイプ
大図タイプ

イプロンPG520-N 2%-B (横断歩道部)

-2m-

S=1/20

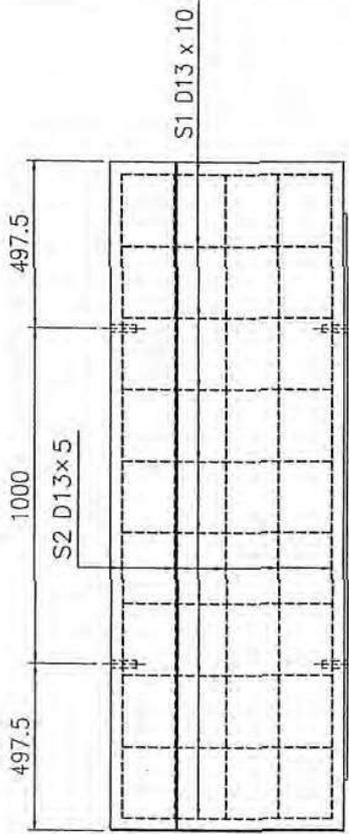
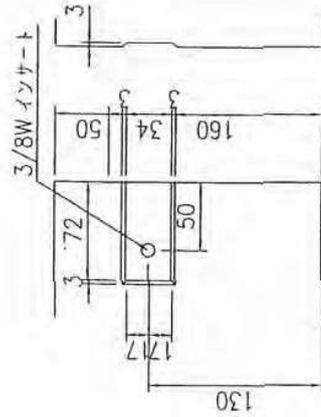
設計条件

荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SD295*

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

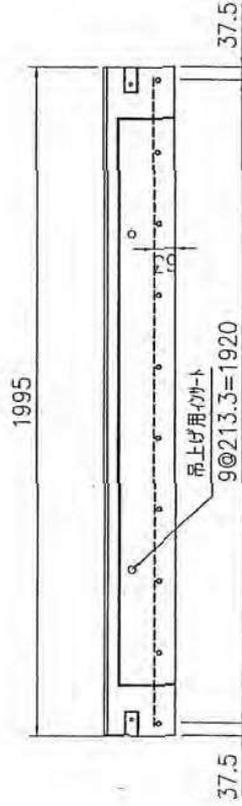
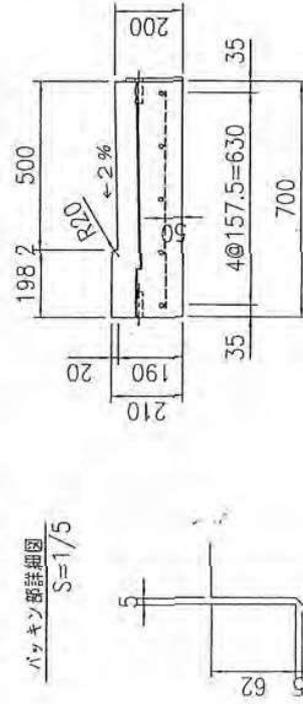
インサート部詳細図

S=1/5



ハッキン部詳細図

S=1/5



記号	鉄筋径	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	D13	0.995	10	0.645	6.4
S2	D13	0.995	5	1.935	9.6
鉄筋総重量				16.0	(Kg)
製品立積				0.281	(m ³)

*鉄筋の種類はSD295同等品以上とする。

市場製品図集タイプ
京都府・滋賀県仕様
(バリアフリー)

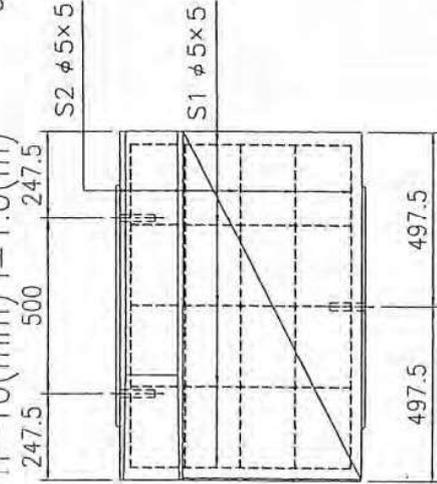
エプロン PGF520-2%DS-A (斜用・右用)

設計条件

荷重条件	T-25 (平行)
コンクリート設計基準強度	$\sigma_{ck}=24$ (N/mm ²)
鉄筋	SWM-B又はSWM-P

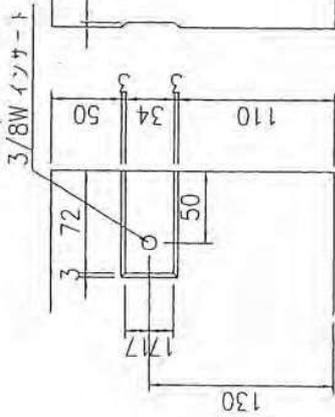
H-10(mm) l=1.0(m)

S=1/20



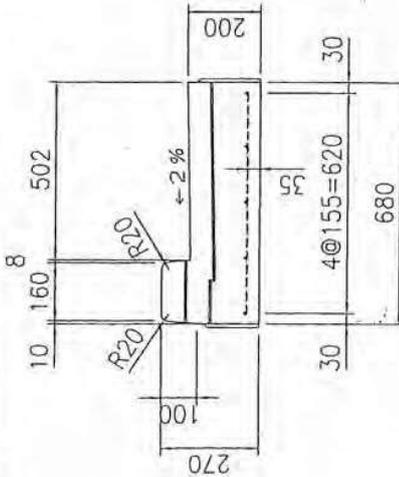
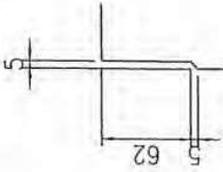
インサート部詳細図

S=1/5



バックイン部詳細図

S=1/5



*斜用には左右があり、車道から見て右上がりを右用と呼ぶ。(図は右用)

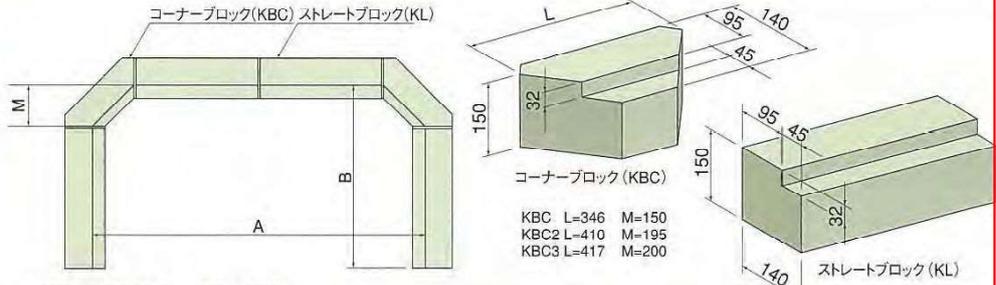


(注記)

この製品は、「コンクリート二次製品 市場製品図集 (国土交通省近畿地方整備局)」に掲載されています<しー4>。

記号	鉄筋径	単位重量 (Kg/m)	本数	長さ (m)	重量 (Kg)
S1	φ5	0.154	5	0.625	0.5
S2	φ5	0.154	5	0.925	0.7
鉄筋総重量					1.2 (Kg)
製品立積					0.146 (m ³)

ルーツグレート用
コンクリート
ブロック

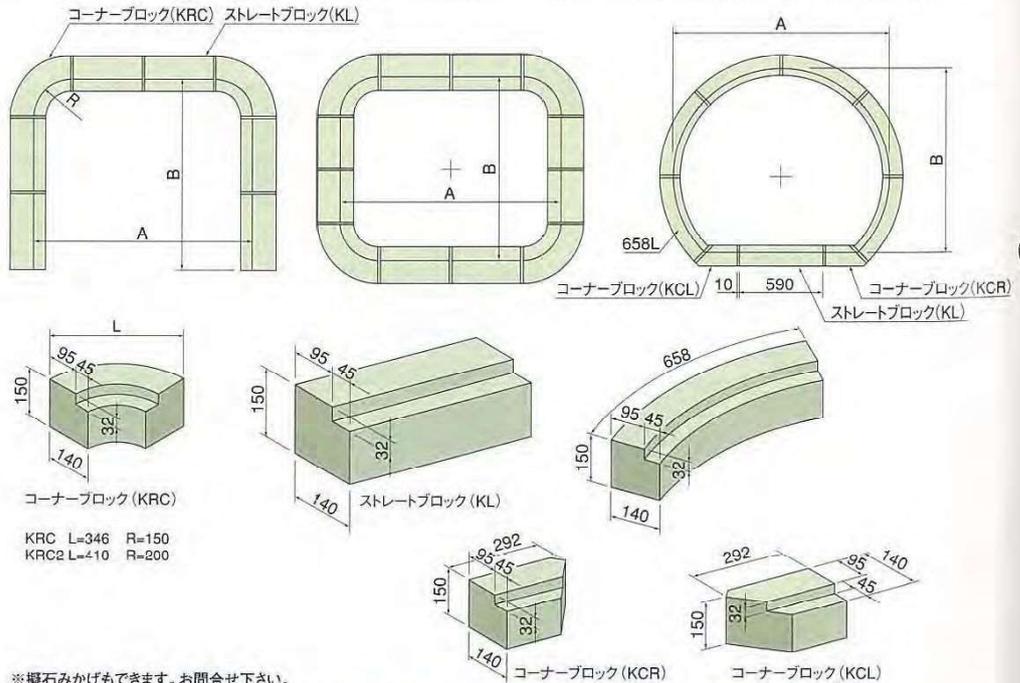


KBC L=346 M=150
KBC2 L=410 M=195
KBC3 L=417 M=200

ストレートブロック (KL)

※擬石みかけもできます。お問合せ下さい。

ルーツグレートの形状	ルーツグレート外寸	コーナー	A×B	コンクリートブロックの種類と個数
	900×745	C150	910×750	KBC×2, KL-590×3
	1050×330	C150	1060×305	KBC×2, KL-145×2, KL-740×1
	1080×430	C150	1090×400	KBC×2, KL-240×2, KL-380×2
	1080×640	C150	1090×655	KBC×2, KL-380×2, KL-490×2
	1200×745	C150	1210×750	KBC×2, KL-440×2, KL-590×2
	1200×1030	C150	1210×1000	KBC×2, KL-340×2, KL-440×2, KL-490×2
	1300×550	C150	1310×550	KBC×2, KL-490×2, KL-390×2
	1300×1100	C150	1310×1100	KBC×2, KL-440×2, KL-490×4
	1500×330	C150	1510×305	KBC×2, KL-145×2, KL-590×2
	1500×450	C150	1510×450	KBC×2, KL-290×2, KL-590×2
	1500×520	C150	1510×520	KBC×2, KL-590×2, KL-360×2
	1500×745	C150	1510×750	KBC×2, KL-590×4
	1500×750	C150	1510×750	KBC×2, KL-590×4
	1500×930	C150	1510×900	KBC×2, KL-590×2, KL-740×2
	1500×1000	C150	1510×1000	KBC×2, KL-340×2, KL-490×2, KL-590×2
	1500×1150	C150	1510×1150	KBC×2, KL-590×2, KL-490×4
	1560×790	C200	1570×790	KBC3×2, KL-570×4
	1770×995	C195	1780×995	KBC2×2, KL-370×1, KL-490×2, KL-340×2, KL-440×2
1800×300	C150	1810×305	KBC×2, KL-145×2, KL-490×3	
1800×745	C150	1810×750	KBC×2, KL-490×3, KL-590×2	
2100×525	C150	2110×530	KBC×2, KL-590×3, KL-370×2	
2100×745	C150	2110×750	KBC×2, KL-590×5	
2200×800	C150	2210×800	KBC×2, KL-590×1, KL-640×4	
2210×890	C195	2220×895	KBC2×2, KL-460×1, KL-590×1, KL-340×4, KL-740×1	
2210×1100	C195	2220×1100	KBC2×2, KL-460×1, KL-590×1, KL-740×1, KL-395×2, KL-490×2	



KRC L=346 R=150
KRC2 L=410 R=200

※擬石みかけもできます。お問合せ下さい。

ルーツグレートの形状	ルーツグレート外寸	コーナー	A×B	コンクリートブロックの種類と個数
	900×745	R145	910×750	KRC×2, KL-590×3
	1000×800	R200	1010×800	KRC2×2, KL-590×3
	1200×750	R195	1214×750	KRC2×2, KL-395×2, KL-540×2
	1200×800	R195	1214×850	KRC2×2, KL-395×2, KL-590×2
	1600×800	R195	1610×800	KRC2×2, KL-590×4
	1520×1240	R145	1530×1250	KRC×4, KL-460×6, KL-740×2
	1680×1520	R145	1690×1530	KRC×4, KL-370×2, KL-460×2, KL-490×4, KL-740×2
	1500×1280	—	1510×1290	KCL×1, KCR×1, M-1500×6, KL-590×1



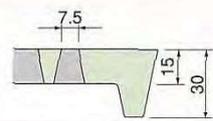
TG-UH-12746F

P195の製品共通特徴

- ヒール、タバコを通さない7.5mm幅スリット。
- スリットは逆テーパーなので小石、ゴミ等が目づまりしません。
- シャープで繊細な印象を与えるルーツプレート。
- 支柱穴の設置も可能です。ご相談ください。
- FCD素材をご希望の場合はご指定ください。



断面 A

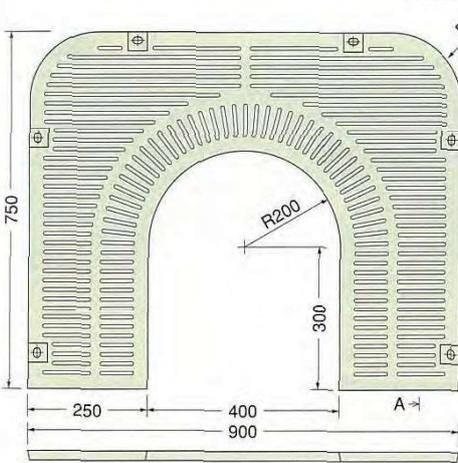


歩道シリーズ

↑細目↓

スリット
7.5

TG-UH-90754F

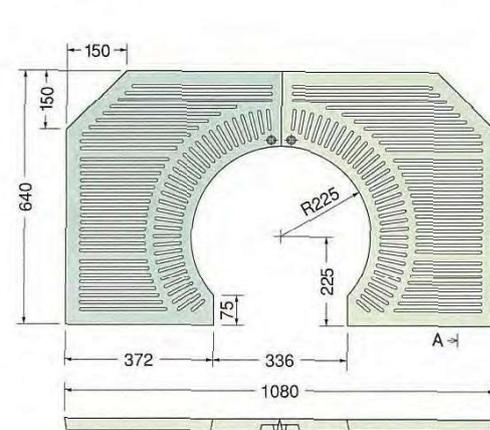


細目

- 構成 1P
- 質量 49 kg
- 材質 FC 200
- 支柱穴可

●外周ボルト固定タイプです。

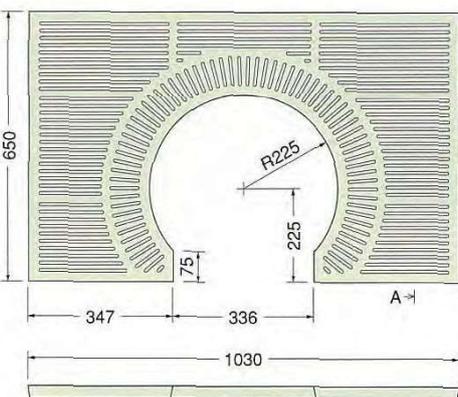
TG-UH-10644F



細目

- 構成 2P
- 質量 36 kg
- 材質 FC 200
- 支柱穴可

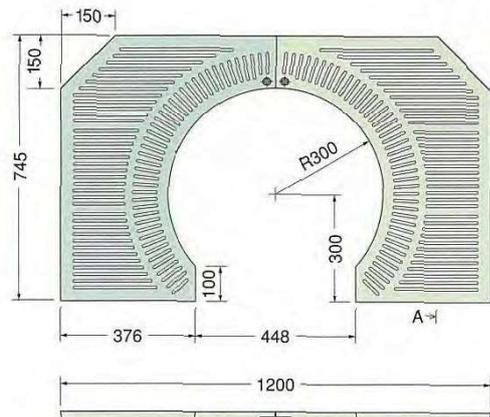
TG-UHC-10654F



細目

- 構成 1P
- 質量 36 kg
- 材質 FC 200
- 支柱穴可

TG-UH-12746F

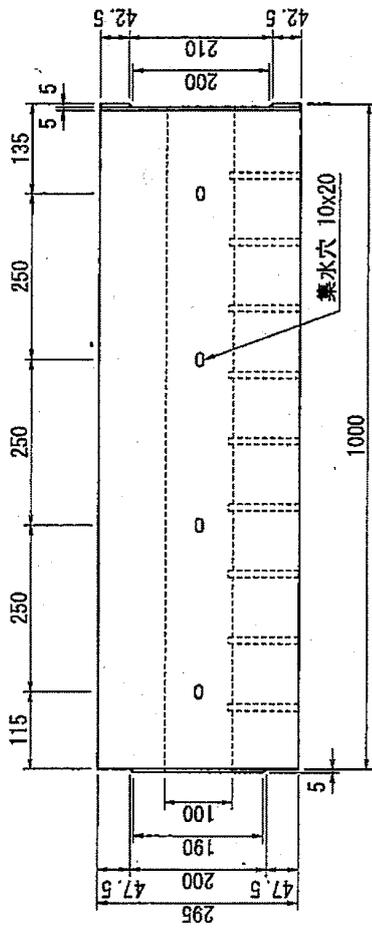


細目

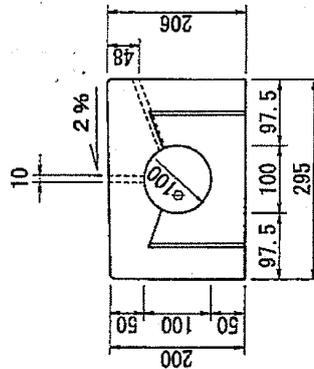
- 構成 2P
- 質量 48 kg
- 材質 FC 200
- 支柱穴可

ライン導水ブロックG型 製品図
車道用 φ100

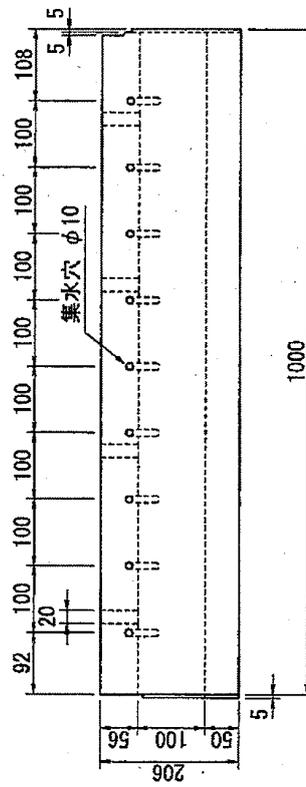
平面図



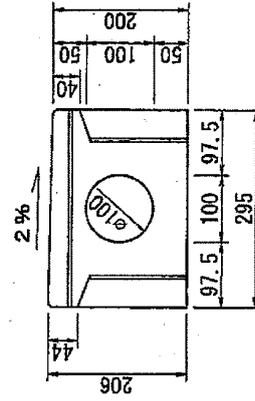
左側面図



正面図



右側面図



ライン導水ブロックG型 製品図

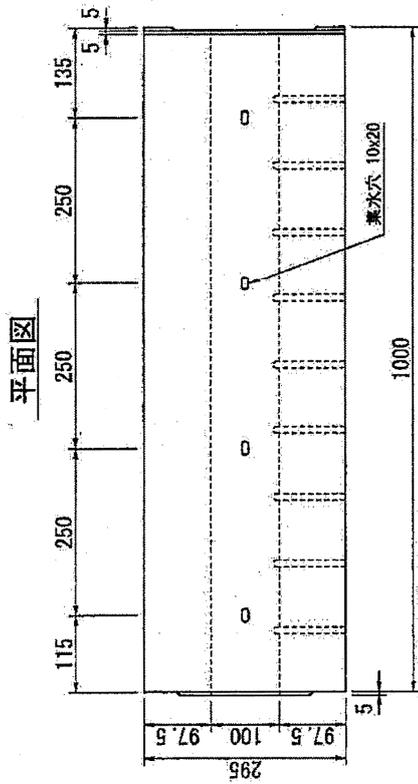
車道用 φ100
(LG-004)

図面番号

参考質量
バイコン / ポーラス 116kg

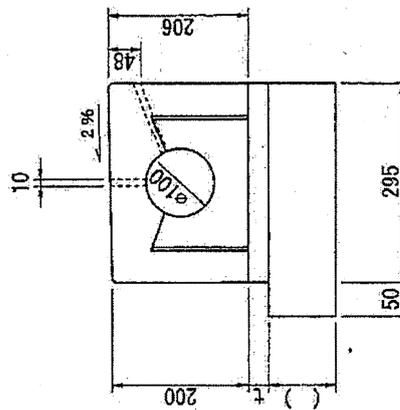
製図 検図 縮尺 年月日 2010年 04月 01日

【参考図】 ライン導水ブロックG型 構造図
車道用 φ100

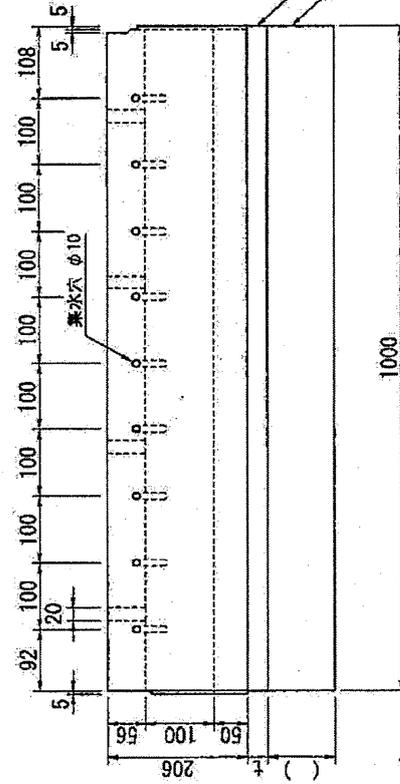


平面図

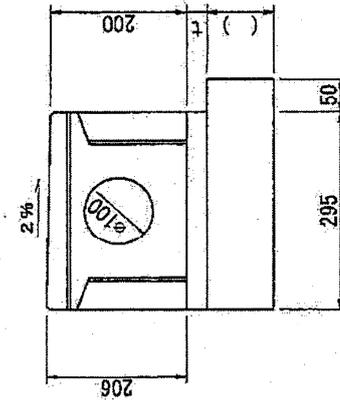
左側面図



正面図



右側面図



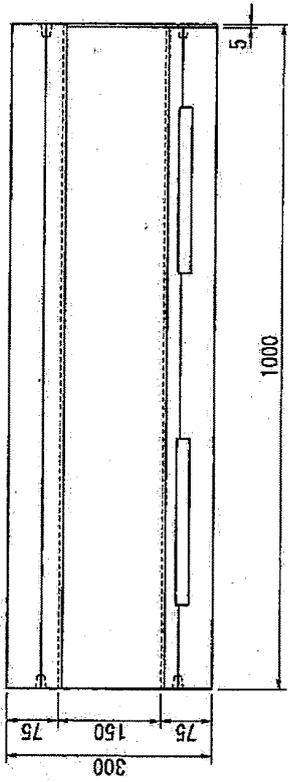
名	【参考図】 ライン導水ブロックG型 構造図			図面番号
称	車道用 φ100 (LG-004)			
製図	後回	編尺	年月日	2010年 08月 01日

参考質量
バイコン / ポーラス 116kg

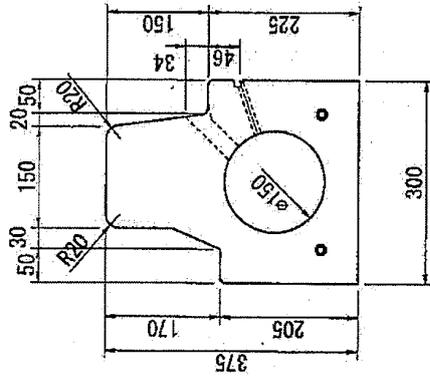
注記) 基礎材については、地盤状況に応じて基礎コンクリート等を適宜ご検討下さい。

ライン導水ブロックF型 製品図
標準A (-P)

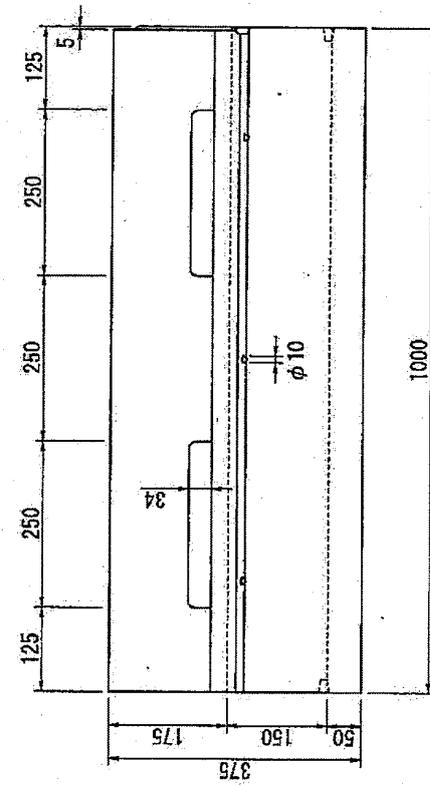
平面図



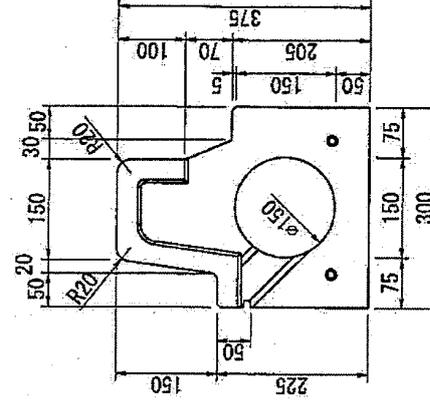
左側面図



正面図



右側面図



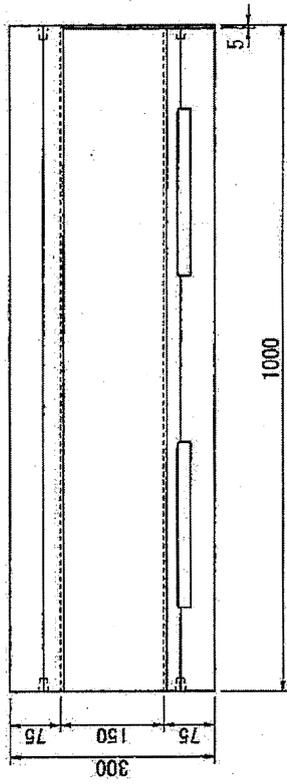
名	ライン導水ブロックF型 製品図			図面番号
料	標準A (-P)			
製	(LF-002, LF-004 (-P))			
図	抜図	縮尺	年月日	2010年 04月 01日

参考質量
ハイコン 172kg
ポーラス 148kg

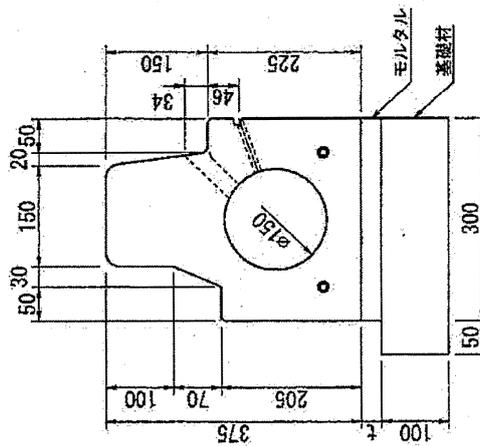
【参考図】 ライン導水ブロックF型 構造図

標準A (-P)

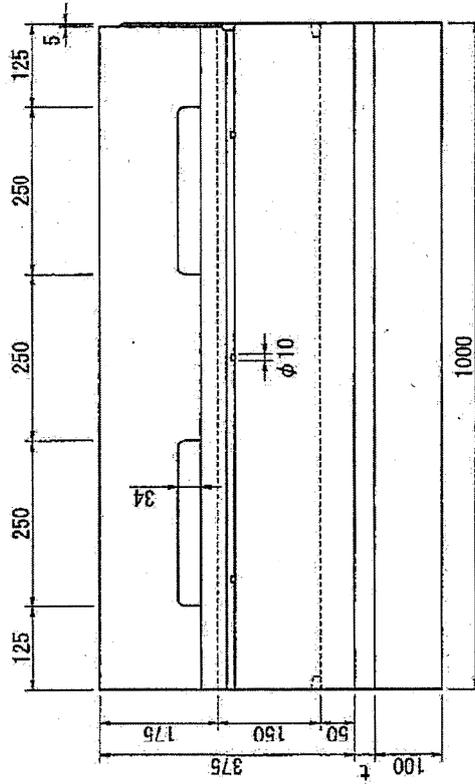
平面図



側面図



正面図

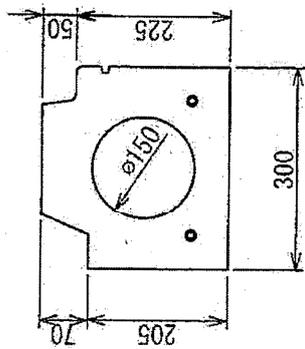


名	【参考図】 ライン導水ブロックF型 構造図			図面番号
作	標準A (-P)			
	(LF-002, LF-004 (-P))			
製	製図	検尺	縮尺	年月日
				2010年 08月 01日

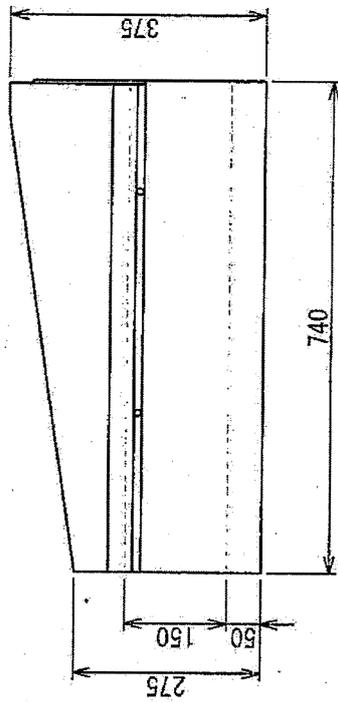
参考質量
 バイコン 172kg
 ポーラス 148kg

擦付A 車乗 フラット5 右

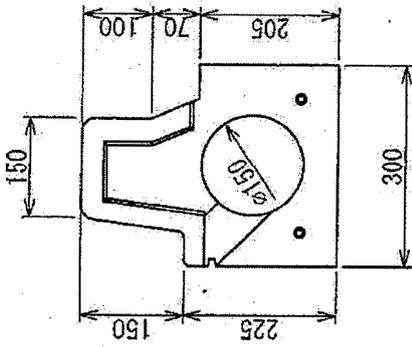
側面図



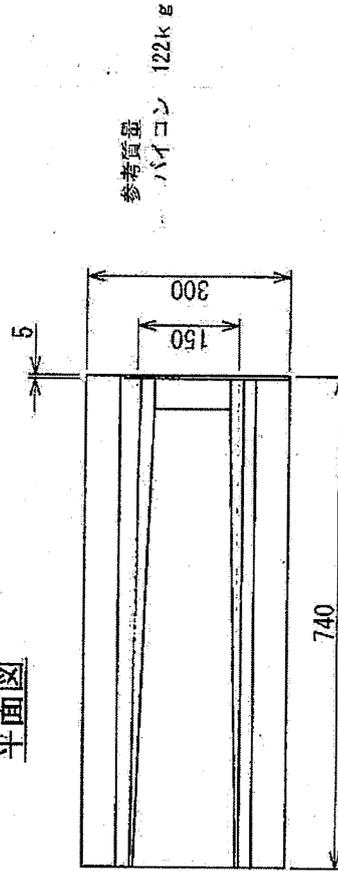
正面図



側面図



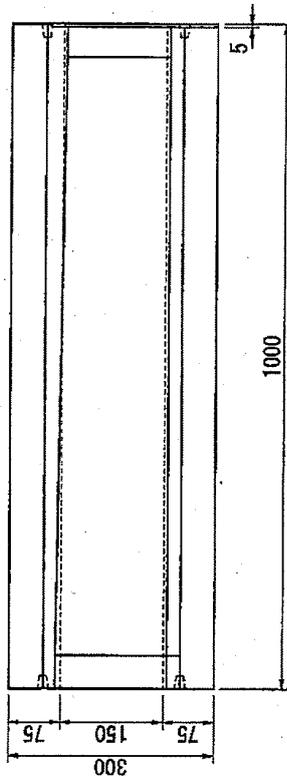
平面図



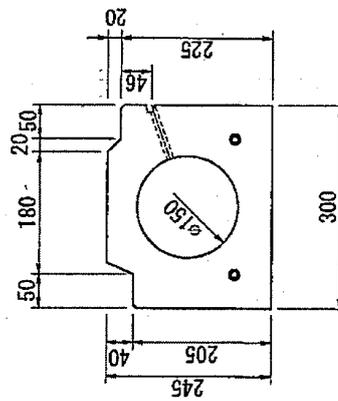
名称 (title)	ライン導水ブロック型 擦付・車乗用		
平成	21年	1月	12日
Scale	1/10		

ライン導水ブロックF型 製品図
 擦付A 歩切 フラット2 右

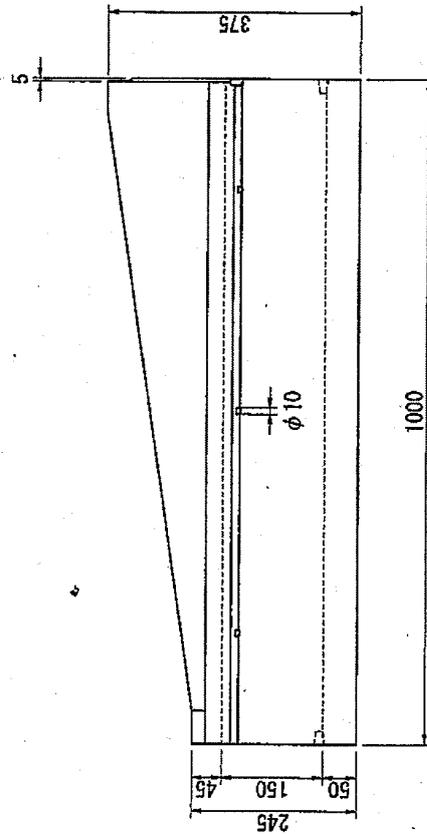
平面図



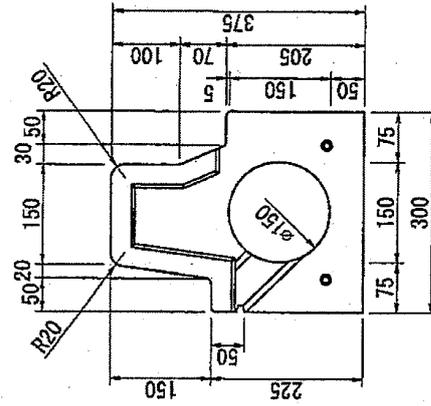
左側面図



正面図



右側面図

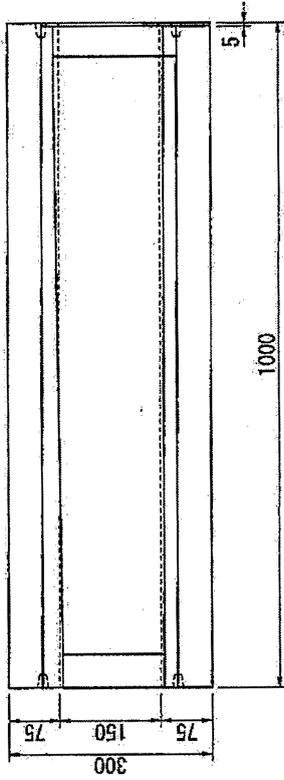


参考質量 154kg
 バイコン

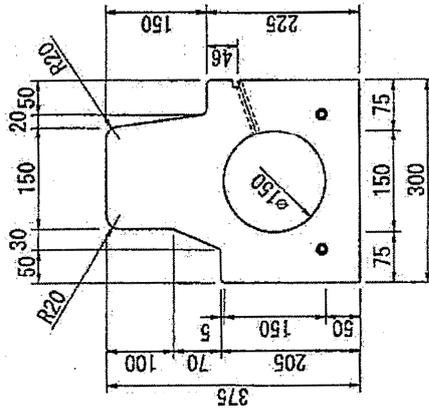
名	ライン導水ブロックF型 製品図			図面番号
株	擦付A 歩切 フラット2 右			
	(LF-424)			
製図	後図	縮尺	年月日	2010年 04月 01日

ライン導水ブロックF型 製品図
 擦付A 歩切フラット2 左

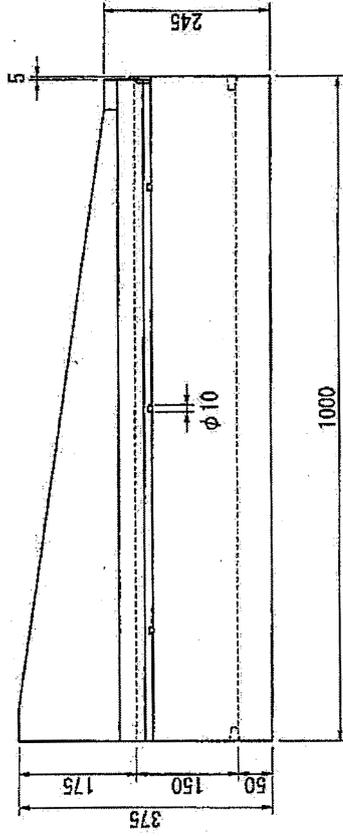
平面図



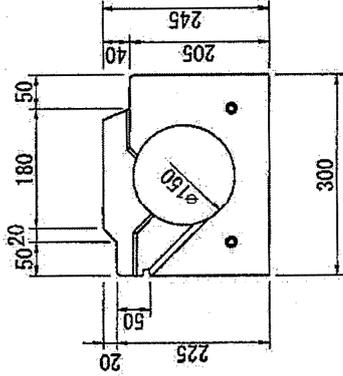
左側面図



正面図



右側面図

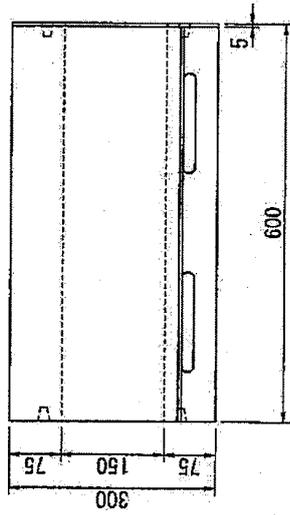


名	ライン導水ブロックF型 製品図	図面番号	
種	擦付A 歩切フラット2 左		
製図	株 氏	年月日	2010年04月01日

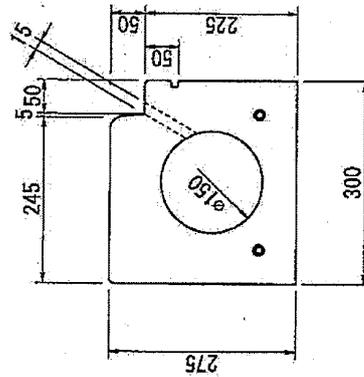
参考質量
 ハイコン 154kg

ライン導水ブロック F型 製品図
車両乗入フラット5CM

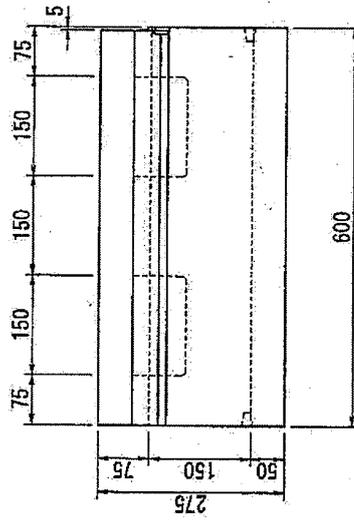
平面図



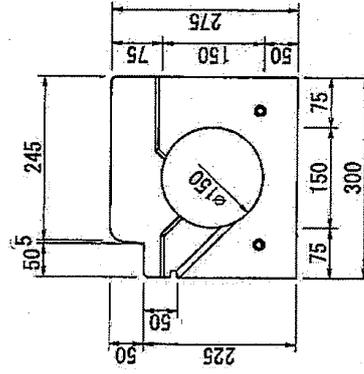
左側面図



正面図



右側面図

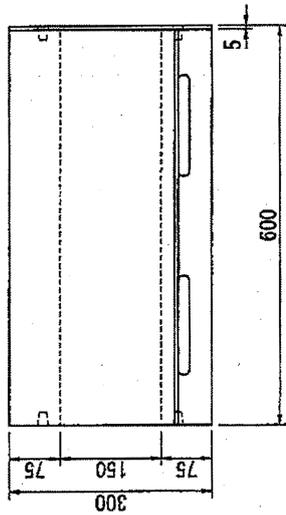


参考質量
バイコン 88kg

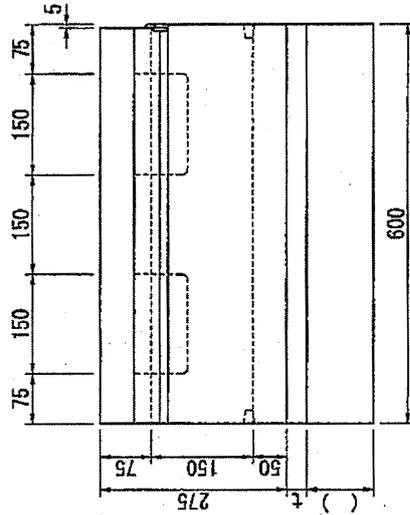
名	ライン導水ブロック F型 製品図			図面番号
株	車両乗入フラット5CM			
製図	検図	縮尺	年月日	2010年 04月 01日
				1

【参考図】 ライン導水ブロックF型 構造図
 車両乗入フラット5CM

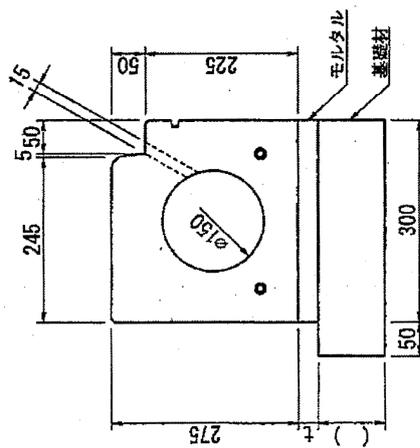
平面図



正面図



側面図



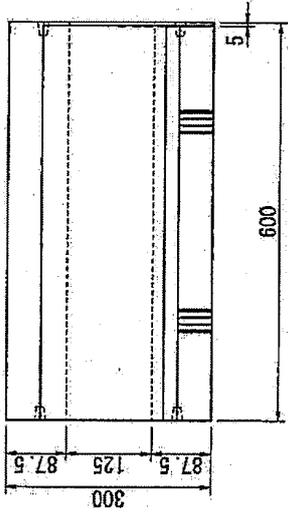
参考質量
 バイコン 88kg

名	【参考図】 ライン導水ブロックF型 構造図			図面番号
株	車両乗入フラット5CM			
製図	株図	縮尺	年月日	2010年08月01日

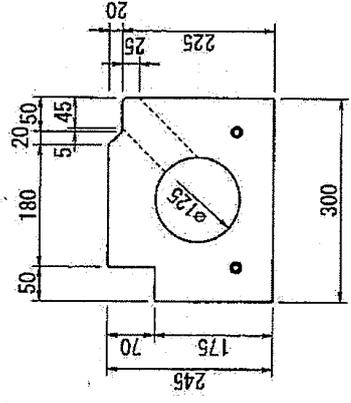
注記) 基礎材については、地盤状況に応じて基礎コンクリート等を適宜ご検討下さい。

ライン導水ブロック F型 製品図
 歩道切下フラット2CM 直線 VP (P3 P)

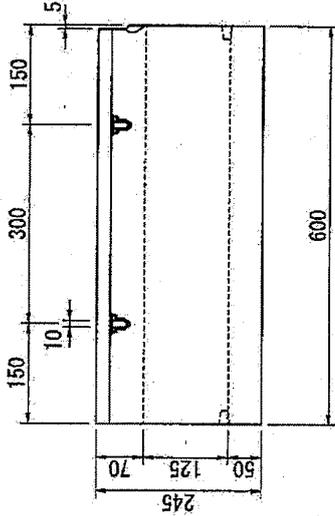
平面図



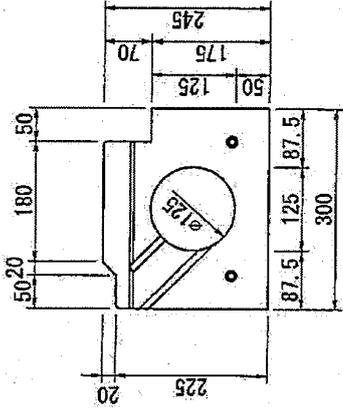
左側面図



正面図



右側面図

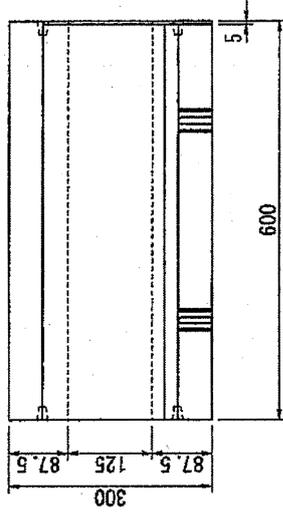


参考質量 77kg
 バイコン
 ポーラス 72kg

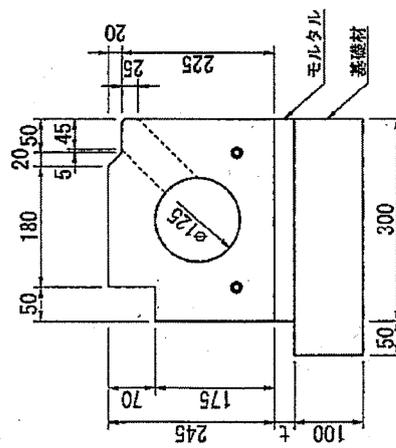
名	ライン導水ブロック F型 製品図			図面番号
株	歩道切下フラット2CM 直線VP (P3 P)			
	(LF-298, LF-258 (P3 P))			
製	製	縮	年	日
図	図	尺	月	月
			2010	04
			年	01

【参考図】 ライン導水ブロック F 型 構造図
 歩道切下フラット 2CM 直線 VP (P3 P)

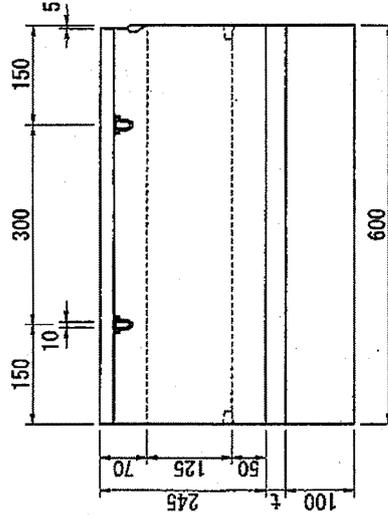
平面図



側面図



正面図

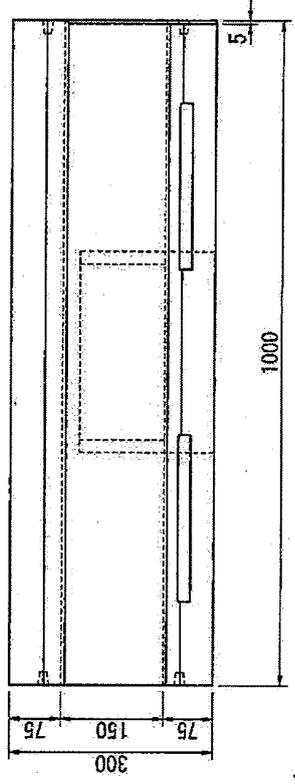


参考質量
 バイコン 77kg
 ポーラス 72kg

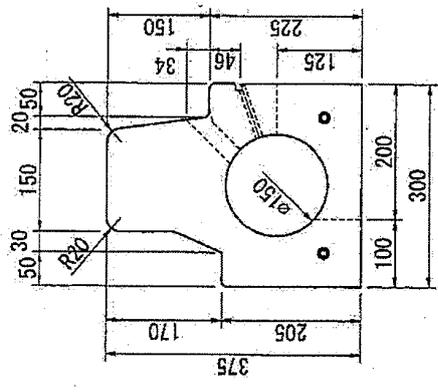
名	【参考図】 ライン導水ブロック F 型 構造図			図面番号
称	歩道切下フラット 2CM 直線 VP (P3 P)			
	(LF-298, LF-258 (P3 P))			
張図	棟図	縮尺	年月日	2010 年 08 月 01 日

ライン導水ブロックF型 製品図
車道柵 縁石A (-P)

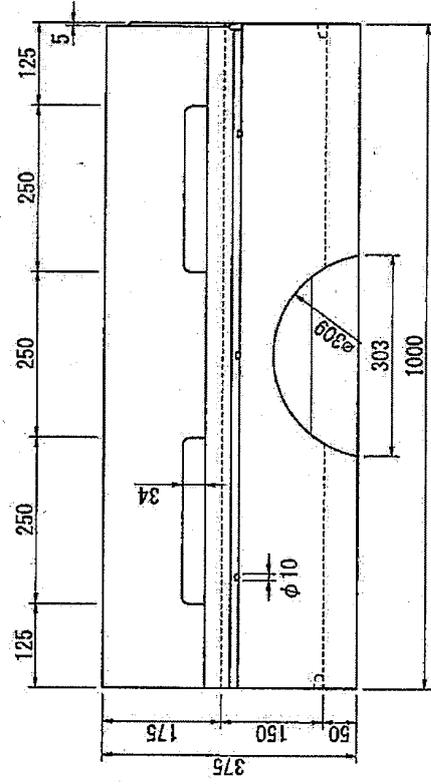
平面図



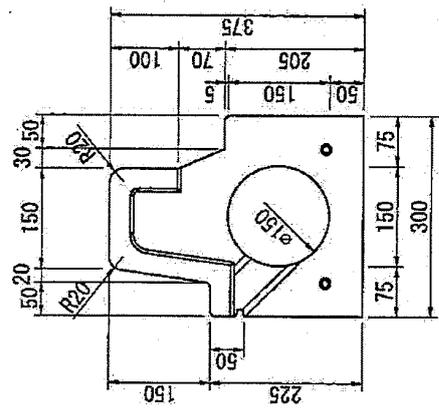
左側面図



正面図



右側面図

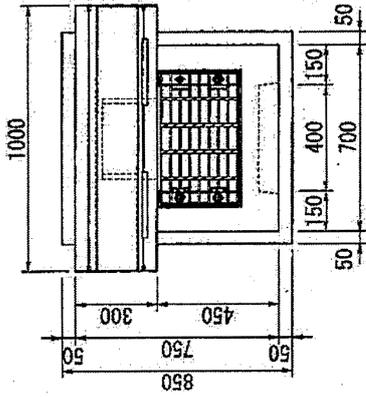


名	ライン導水ブロックF型 製品図			図面番号
称	車道柵 縁石A (-P)			
	(LF-664, LF-661 (-P))			
製国	検図	縮尺	年月日	2010年 04月 01日

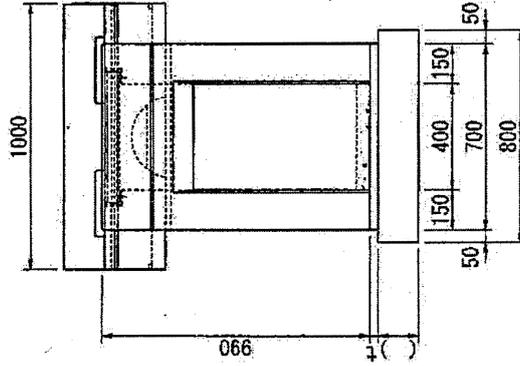
参考質量
ハイコン 156kg
ポーラス 134kg

【参考図】 ライン導水ブロックF型 構造図
車道樹A

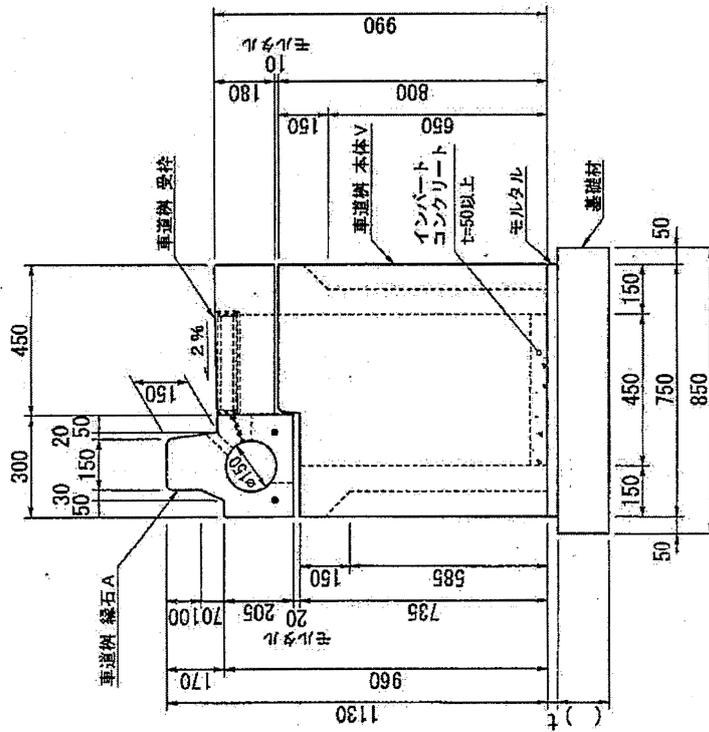
平面図 S=1/25



正面図 S=1/25



側面図 S=1/20



参考質量

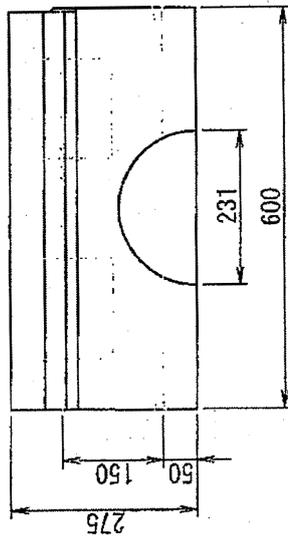
車道樹本体V	バーバイコン	560kg
車道樹縁石A	バーバイコン	156kg
車道樹受控	バーバイコン	77kg
車道樹受控蓋	SS	14kg
		合計 807kg

名	【参考図】 ライン導水ブロックF型 構造図			図面番号
称	車道樹A			
製図	検尺	年月日	2010年 08月 01日	

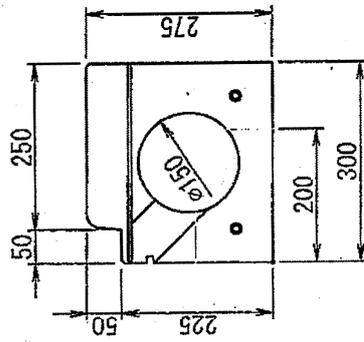
注記) 基礎材については、地盤状況に応じて適宜ご検討下さい。

車両乗入 フラット 5cm段差 φ231穿孔加工品

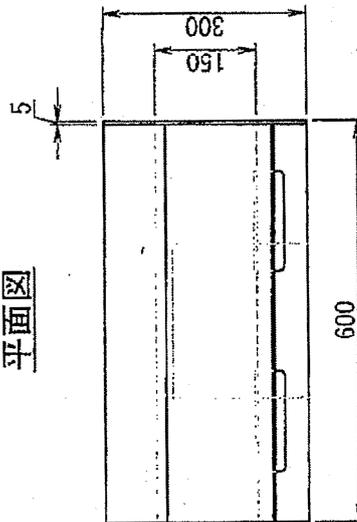
正面図



側面図



平面図

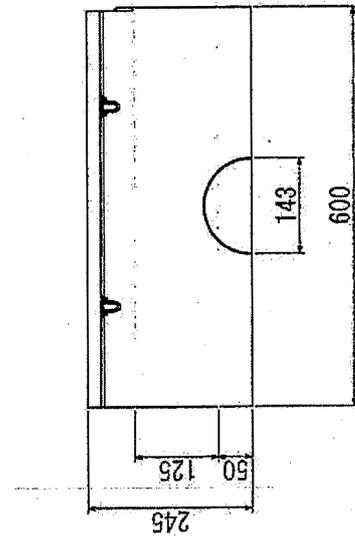


参考質量 81kg

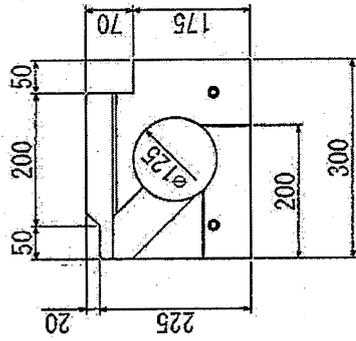
名称 (title)	ライン導水ブロックF型 車両乗入		
平成	20年	1月	15日
Scale	1/10		

歩道切下フラット2cm 直線 $\phi 143$ 穿孔加工品

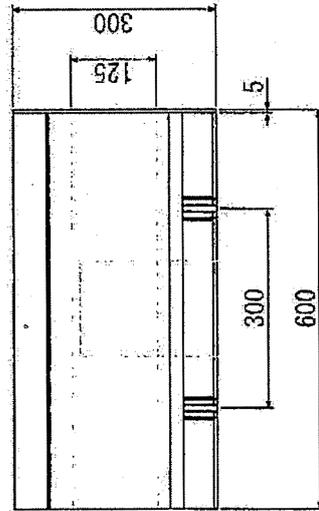
正面図



側面図



平面図

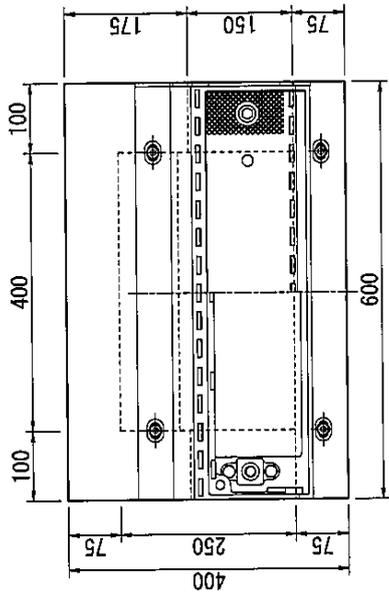


参考質量 73kg (V(コロンナ)仕様)

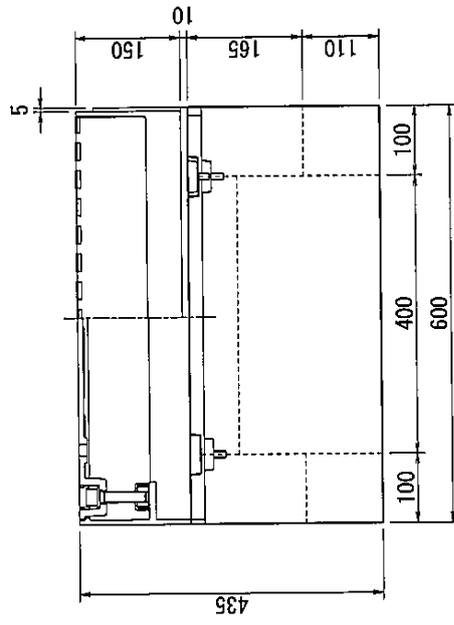
名称 (title)	ライン導水ブロック切下 F2 直線
平成	20年 8月 21日
Scale	1/10

ライン導水ブロックF型 製品図
縁石柵A 点検 (加・ケレ)

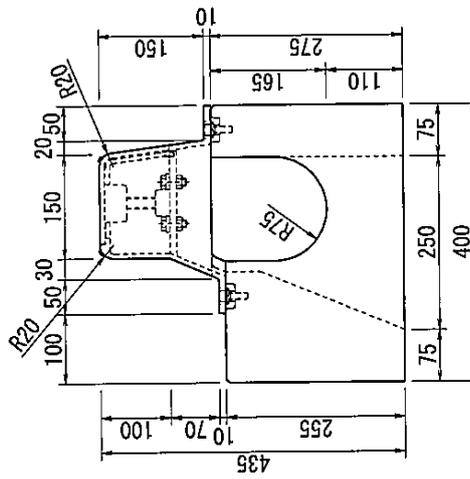
平面図



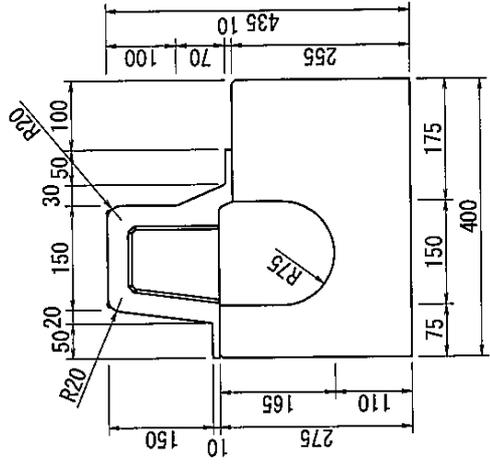
正面図



左側面図



右側面図



参考質量
本体 ーハイコン 88kg
点検蓋ーFCD 25kg
合計 113kg

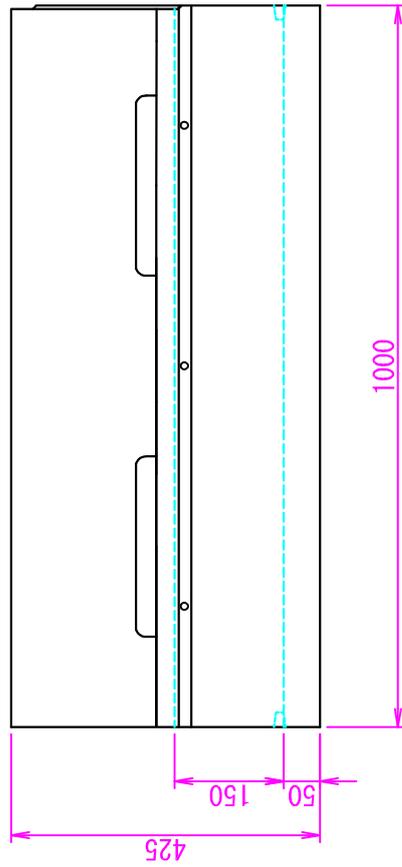
名	ライン導水ブロックF型 製品図			図面番号
称	縁石柵A 点検 (加・ケレ) (LF-670(加), LF-671(ケレ))			LS-0601
製図	換図	縮尺	年月日	2010年 04月 01日
宮崎	開野	1/10	株式会社 アイ・エー・エー	

(品目C : 10670(加), 10671(ケレ))

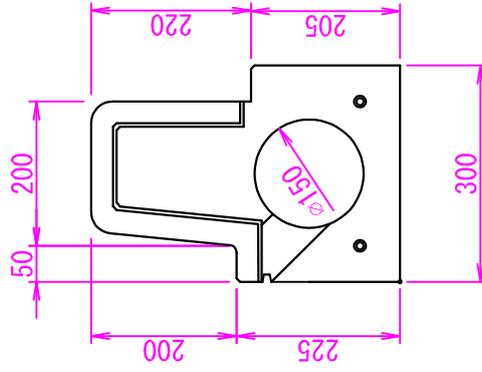
標準B

参考質量
 バイコン 205kg
 ポーラス 176kg

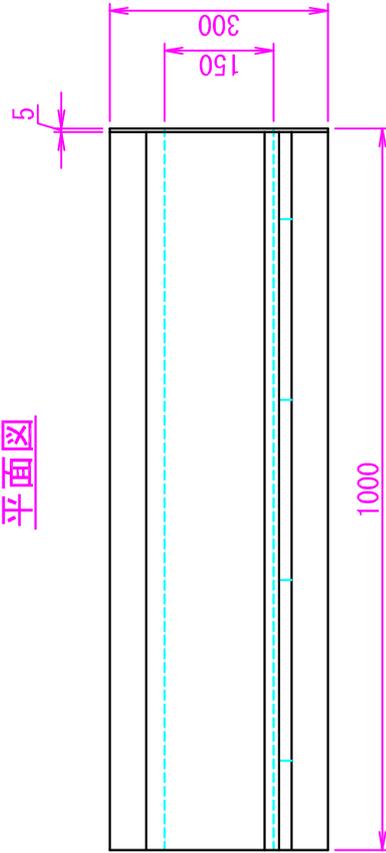
正面図



側面図

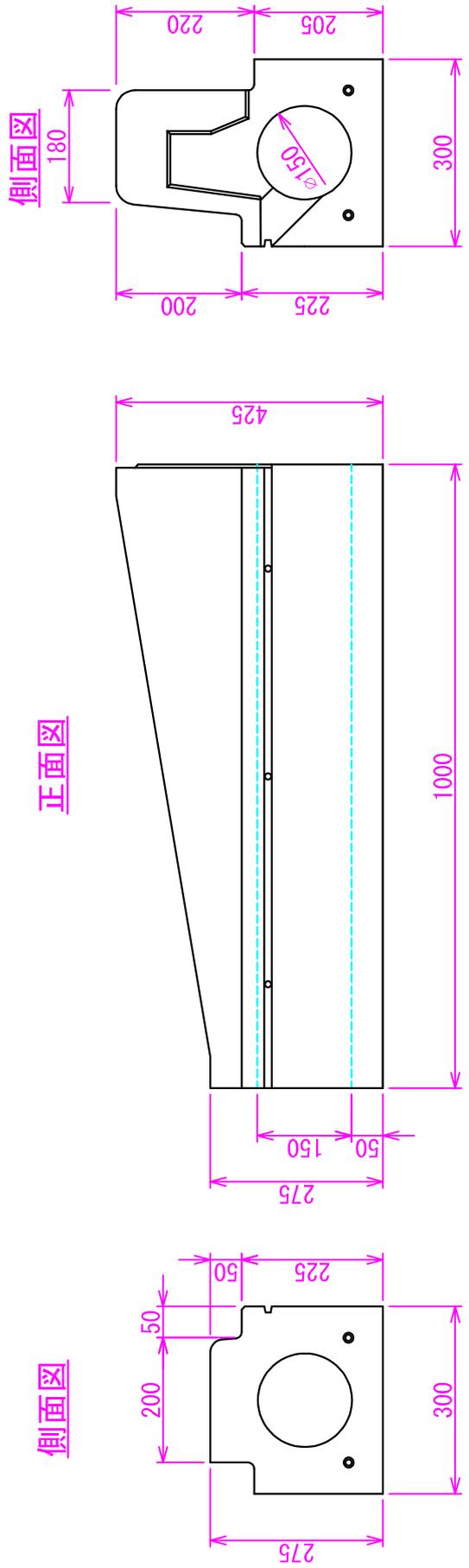


平面図

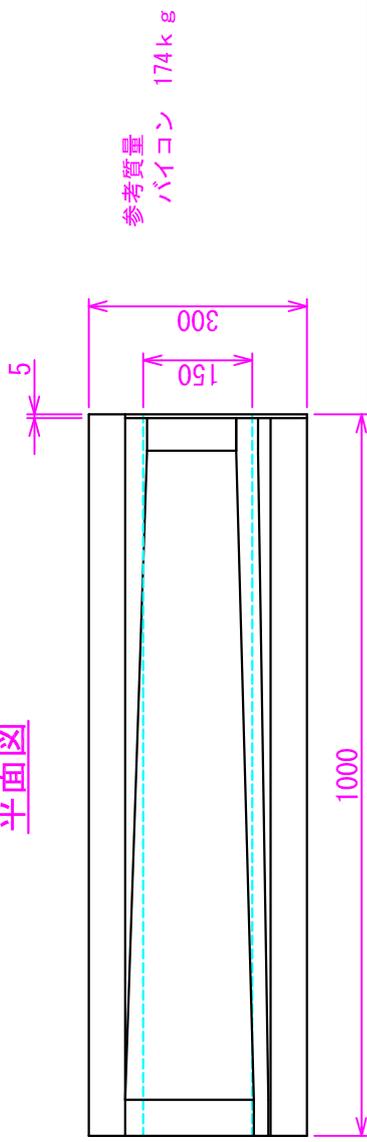


名称(title) ライン導水ブロックF型 標準	図面番号(Draw.No) LS-0006
平成 17年 7月 1日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

擦付B 車乗 フラット5 右



平面図

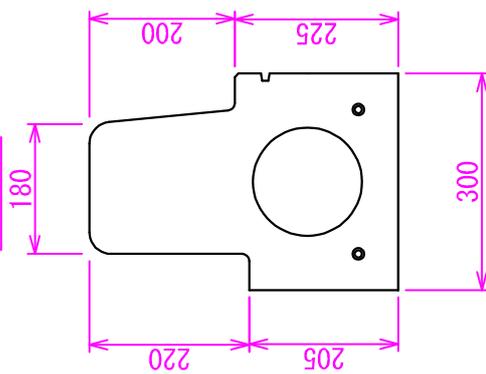


参考質量
バイコン 174k g

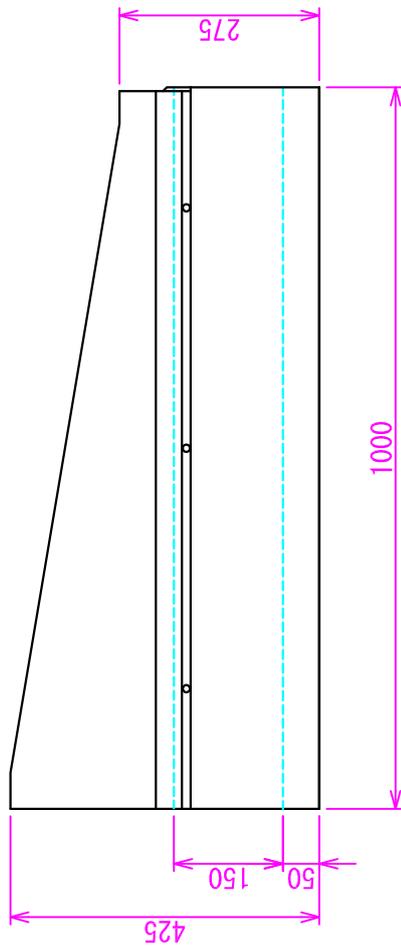
名称 (title) ライン導水ブロックF型 擦付・車乗用	図面番号 (Draw.No) LS-0407
平成 18年 7月 10日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

擦付B 車乗 フラット5 左

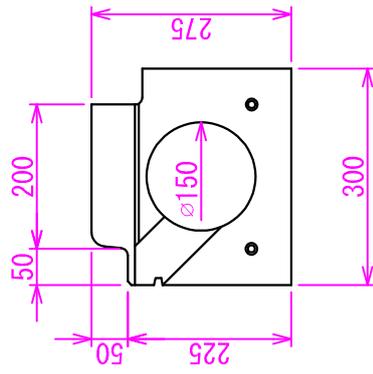
側面図



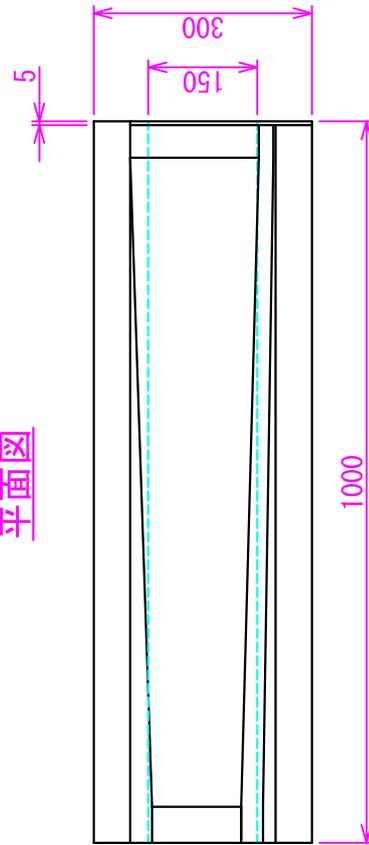
正面図



側面図



平面図

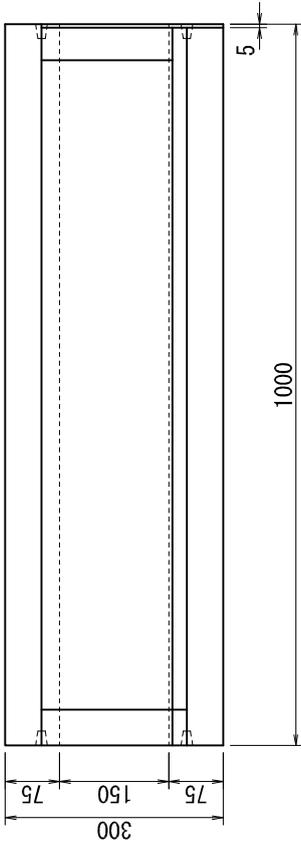


参考質量
バイコン 174kg

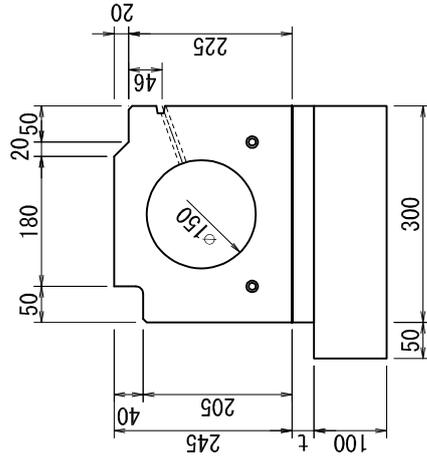
名称 (title) ライン導水ブロック型 擦付・車乗用	図面番号 (Draw.No) LS-0409
平成 18年 7月 10日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

【参考図】 ライン導水ブロックF型 構造図
 擦付B 歩切 フラット2 右

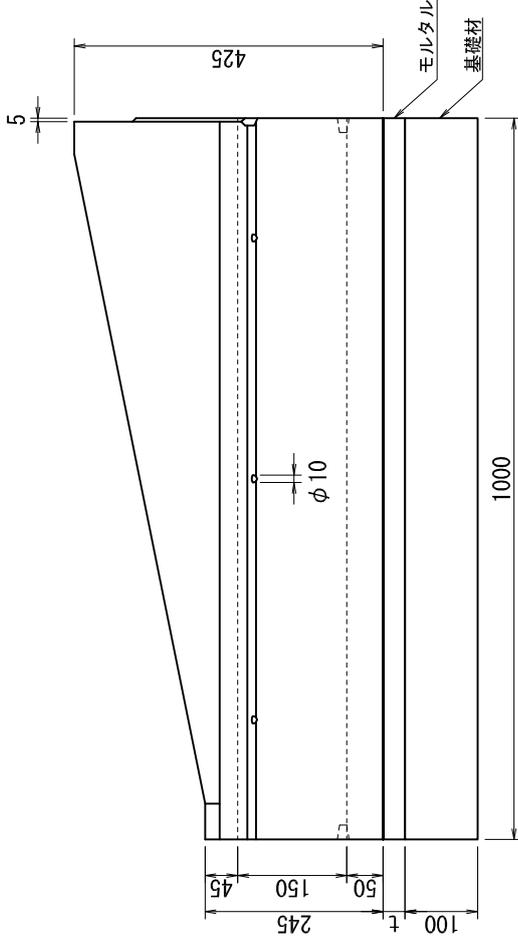
平面図



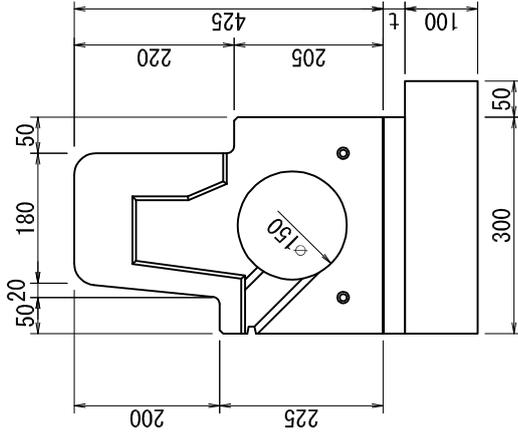
左側面図



正面図



右側面図



参考質量
 バイコン 170kg

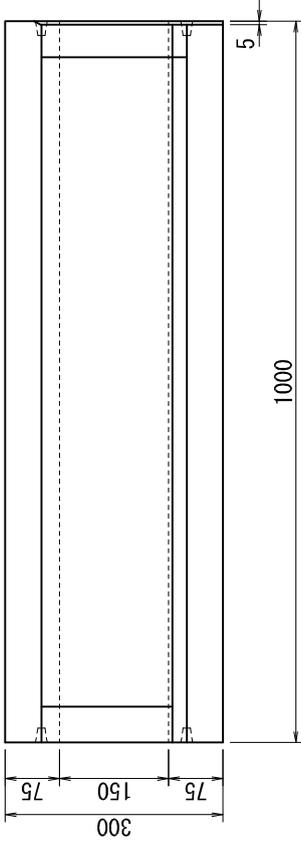
名	【参考図】ライン導水ブロックF型 構造図			図面番号
称	擦付B 歩切 フラット2 右			LK-0403
製図	検図	縮尺	年月日	2010年 08月 01日
宮崎	関野	1/10		



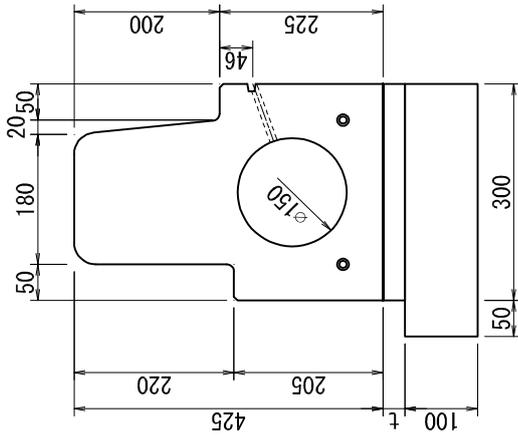
(品目C : 10426)

【参考図】 ライン導水ブロックF型 構造図
 擦付B 歩切フラット2 左

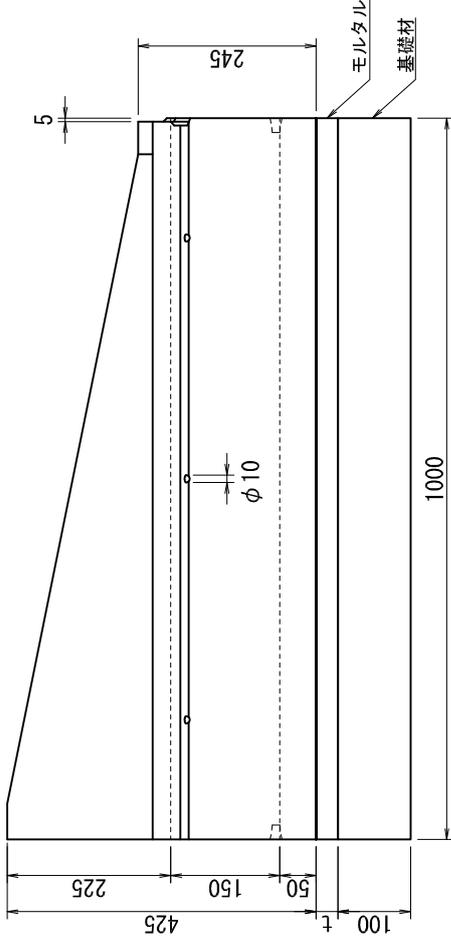
平面図



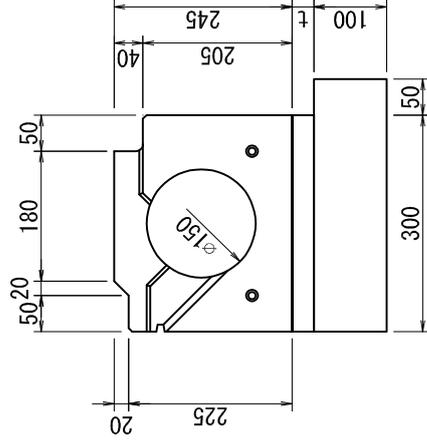
左側面図



正面図



右側面図



参考質量
 バイコン 170kg

名	【参考図】ライン導水ブロックF型 構造図			図面番号
称	擦付B 歩切フラット2 左			LK-0419
製図	検図	縮尺	年月日	2010年 08月 01日
宮崎	関野	1/10		



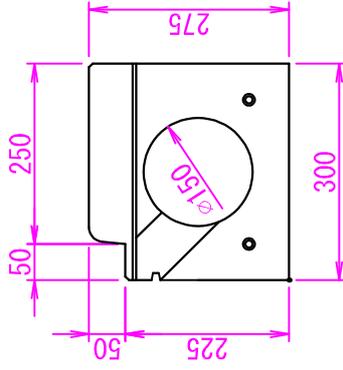
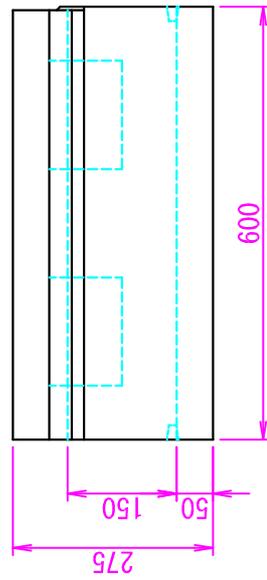
(品目C : 10427)

車両乗入 フラット 5cm段差

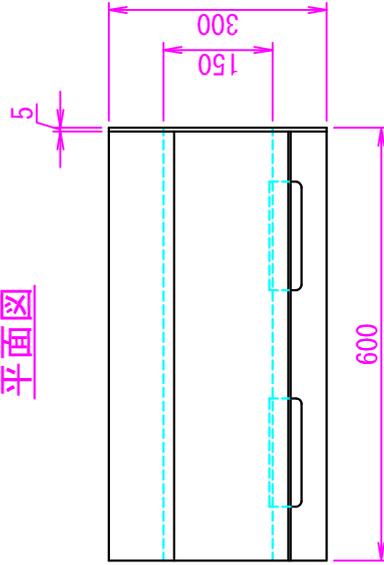
正面図

参考質量 88kg

側面図



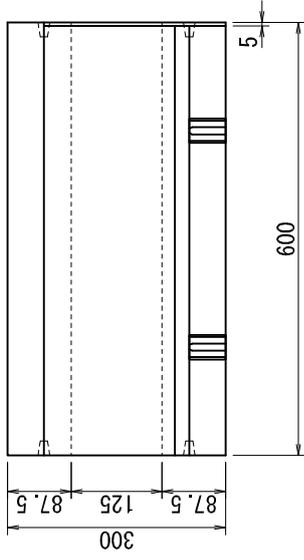
平面図



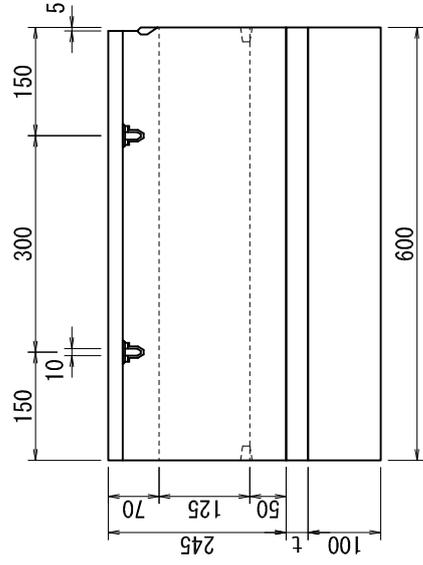
名称(title) ライン導水ブロック型 車両乗入	図面番号(Draw.No) LS-0101
平成 18年 11月 1日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

【参考図】 ライン導水ブロックF型 構造図
 歩道切下フラット2CM 直線 VP

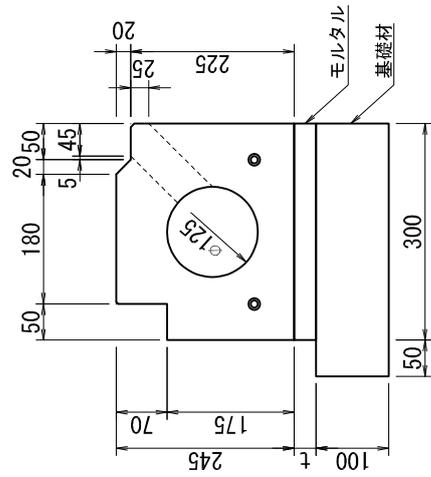
平面図



正面図



側面図



参考質量
 バイコン 77kg

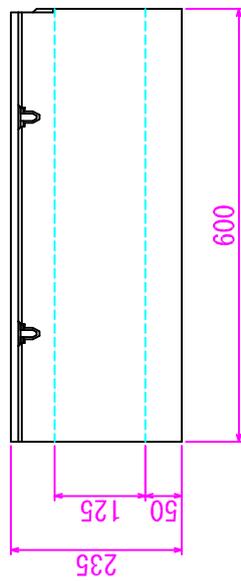
名	【参考図】ライン導水ブロックF型 構造図			図面番号
称	歩道切下フラット2CM 直線 VP			LK-0202
製図	検尺	年月日	(LF-298)	
宮崎	縮尺	2010年08月01日		
	関野	1/10		
	株式会社 アイ・エー・シー			

(品目C : 10298)

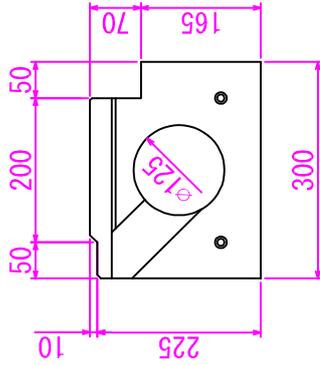
歩道切下 フラット 1cm段差 直線

参考質量 バイコン74kg
 ポーラス70kg

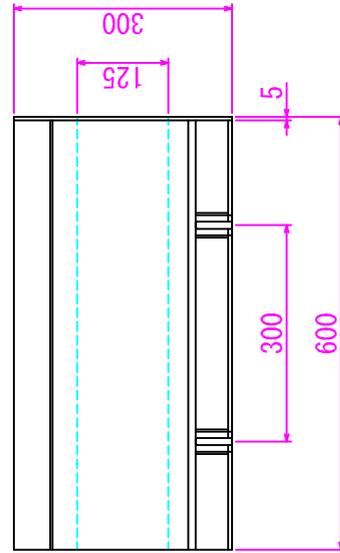
正面図



側面図



平面図

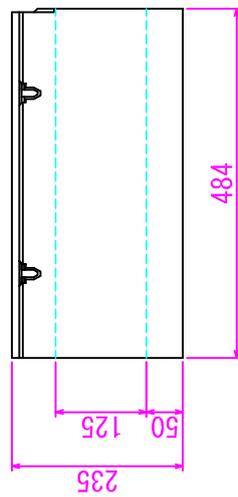


名称 (title) ライン導水ブロック切下 F1	図面番号 (Draw.No.) LS-0201
平成 18年 11月 1日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

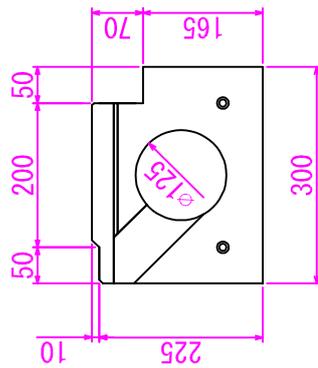
歩道切下 フラット 1cm段差 R1.5

参考質量 バイコン55kg
ポラス51kg

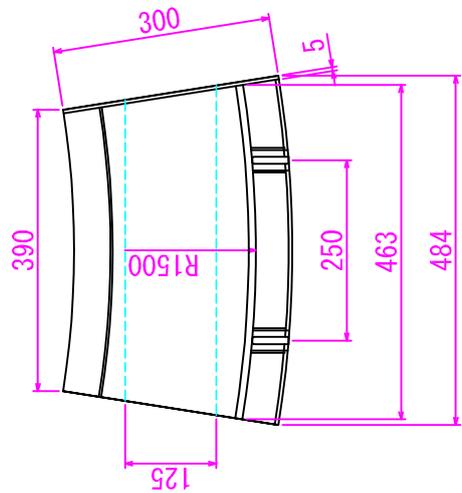
正面図



側面図



平面図

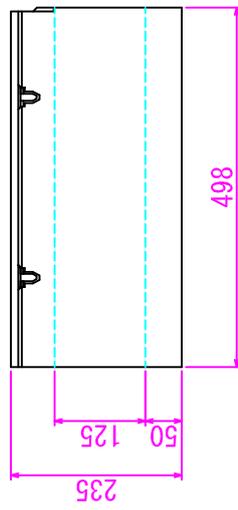


名称(title) ライン導水ブロック切下 F1	図面番号(Draw.No) LS-0208
平成 20年 8月 1日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

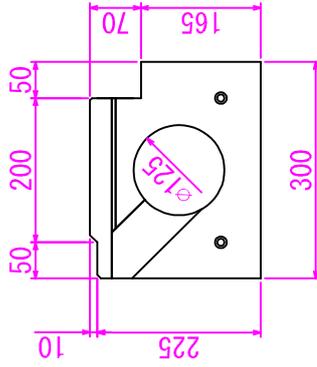
歩道切下 フラット 1cm段差 R2.5

参考質量 バイコン58kg
ポラス54kg

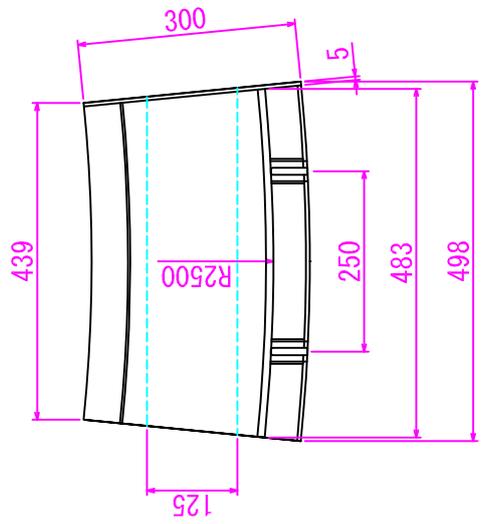
正面図



側面図



平面図

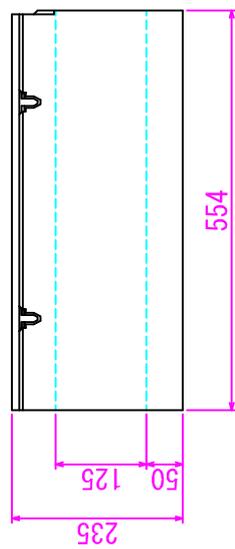


名称(title) ライン導水ブロック切下 F1	図面番号(Draw.No) LS-0209
平成 20年 8月 1日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

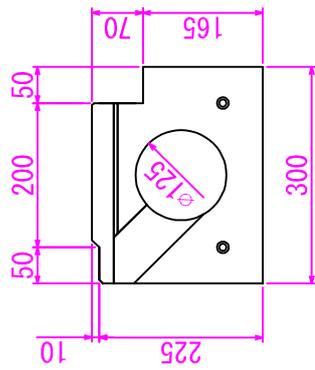
歩道切下 フラット 1cm段差 R3.5

参考質量 バイコン66kg
 ポーラス62kg

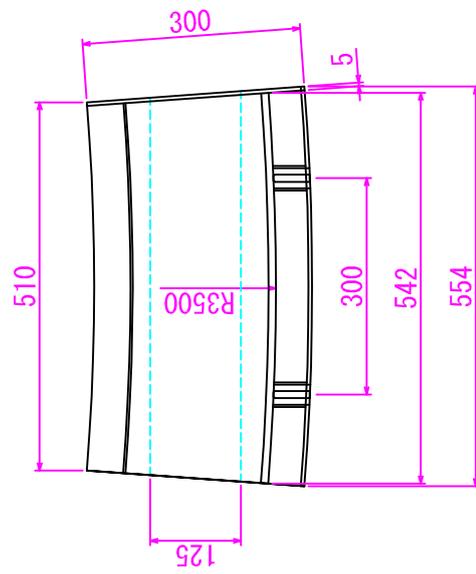
正面図



側面図



平面図

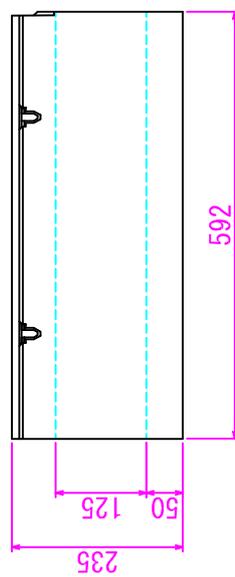


名称 (title) ライン導水ブロック切下 F1	図面番号 (Draw.No.) LS-0210
平成 20年 8月 1日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

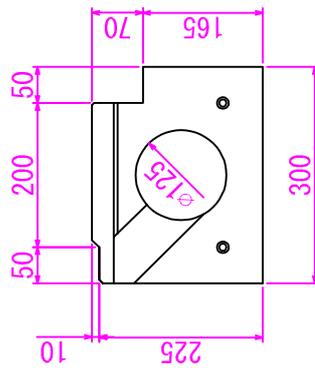
歩道切下 フラット 1cm段差 R4.5

参考質量 バイコン69kg
ポラス65kg

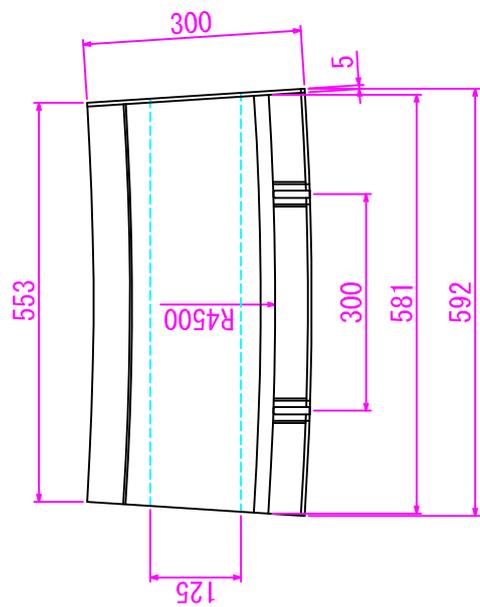
正面図



側面図



平面図

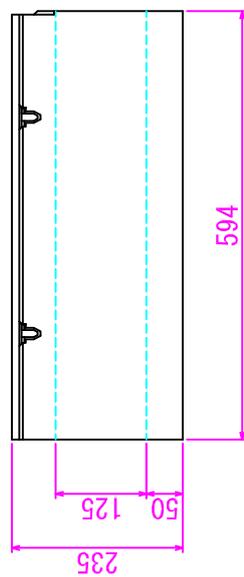


名称(title) ライン導水ブロック切下 F1	図面番号(Draw.No) LS-0218
平成 20年 8月 1日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

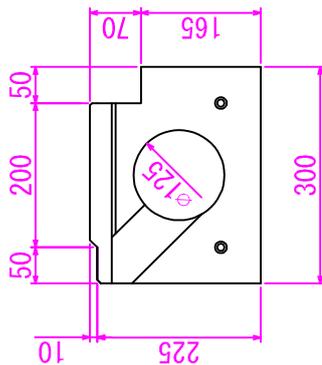
歩道切下 フラット 1cm段差 R6.0

参考質量 バイコン73kg
ポラス69kg

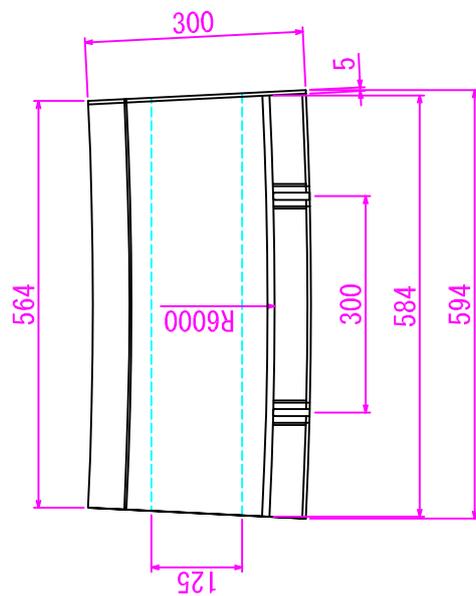
正面図



側面図



平面図

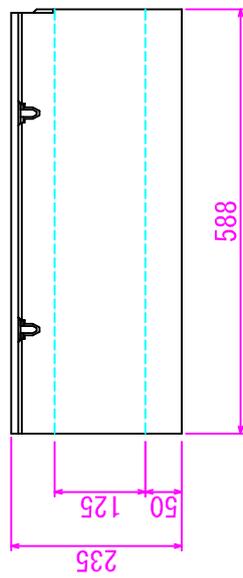


名称 (title) ライン導水ブロック切下 F1	図面番号 (Draw.No) LS-0211
平成 20年 8月 1日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

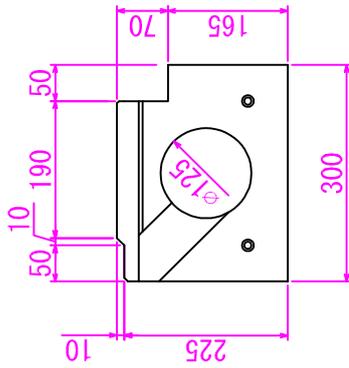
歩道切下 フラット 1cm段差 R12.0

参考質量 バイコン74kg
 ポーラス70kg

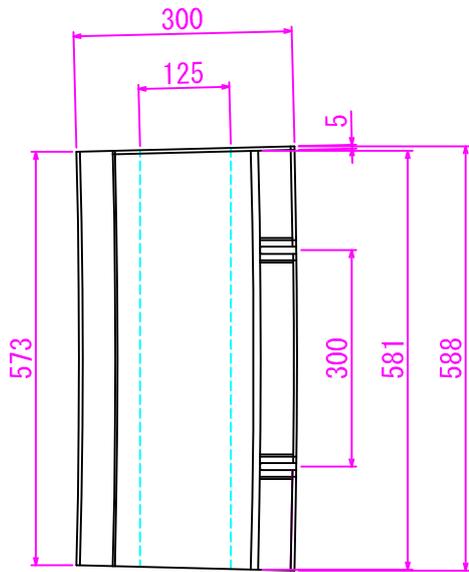
正面図



側面図



平面図



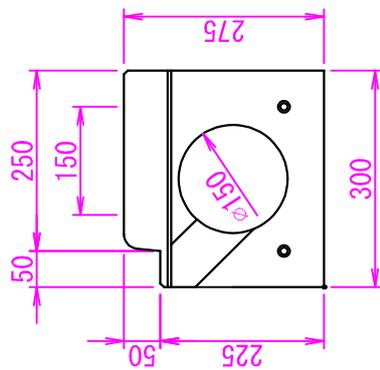
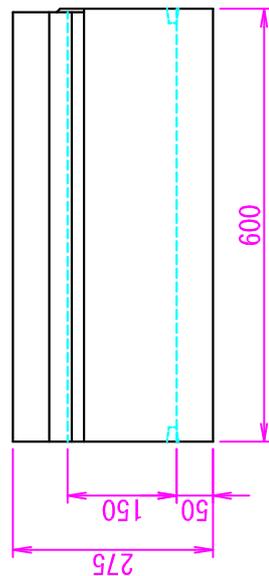
名称 (title) ライン導水ブロック切下 F2	図面番号 (Draw.No) LS-0230
平成 20年 8月 1日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

車両乗入 フラット 5cm 点検口

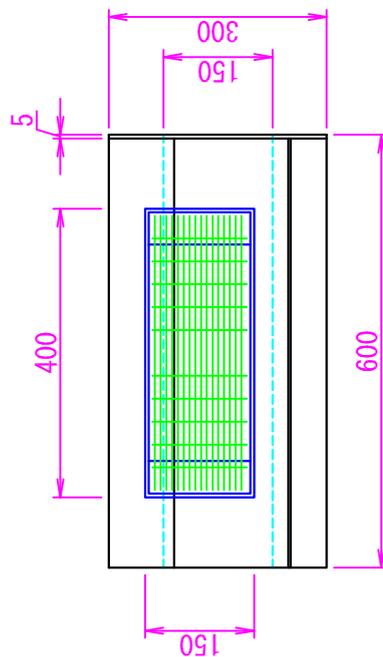
正面図

参考質量 84kg

側面図



平面図



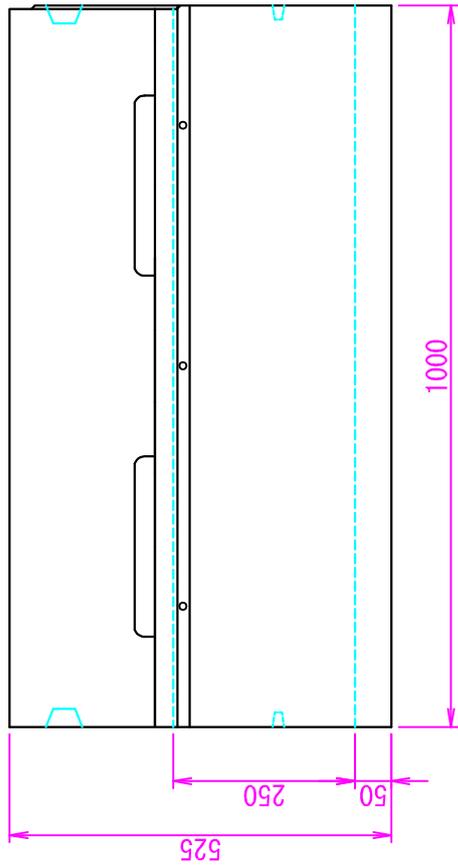
名称(title) ライン導水ブロック型 車両乗入	図面番号(Draw.No) LS-0110
平成 20年 10月 1日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

標準B 200相当

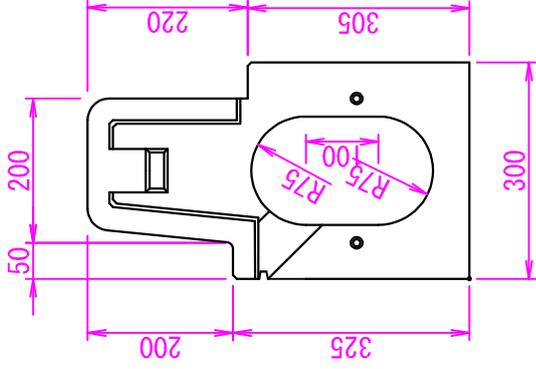
参考質量

バイコン 236kg
ポラス 203kg

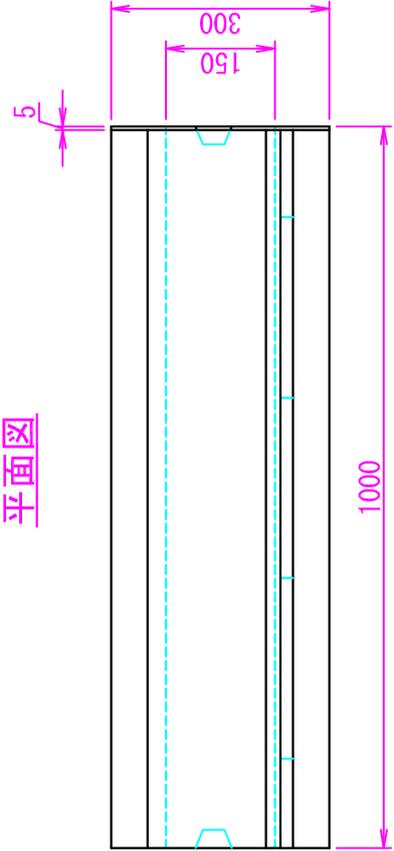
正面図



側面図



平面図

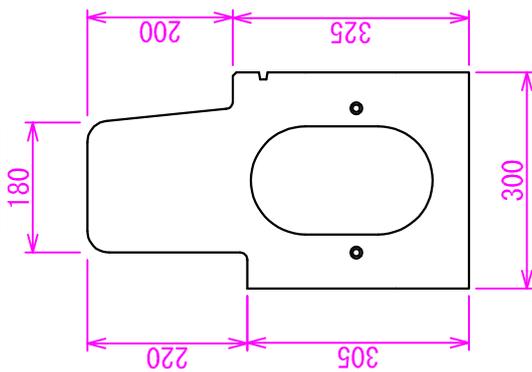


名称(title) ライン導水ブロックF型 標準	図面番号(Draw.No) LS-0007
平成 18年 11月 1日	Scale 1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)	

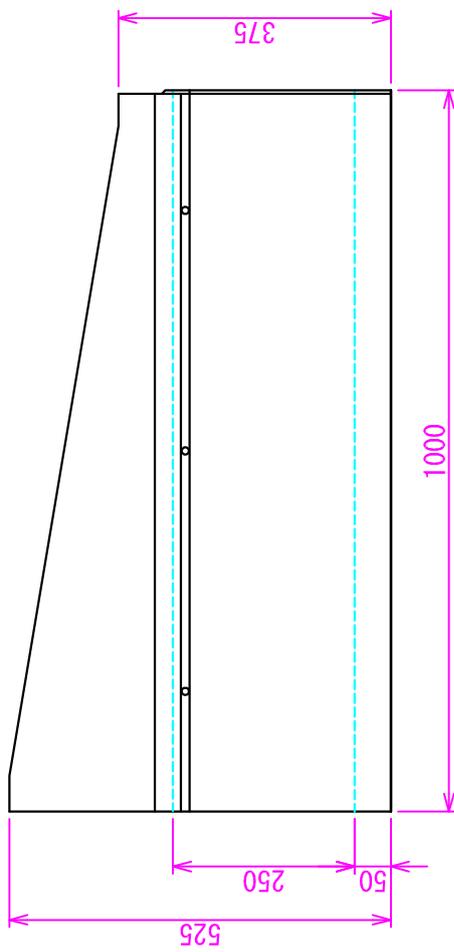
擦付B 車両乗入 フラット5 cm段差 200相当 左

参考質量 210kg

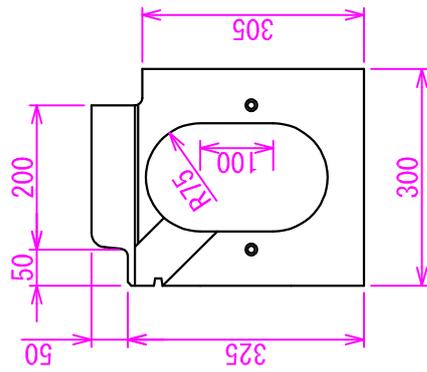
側面図



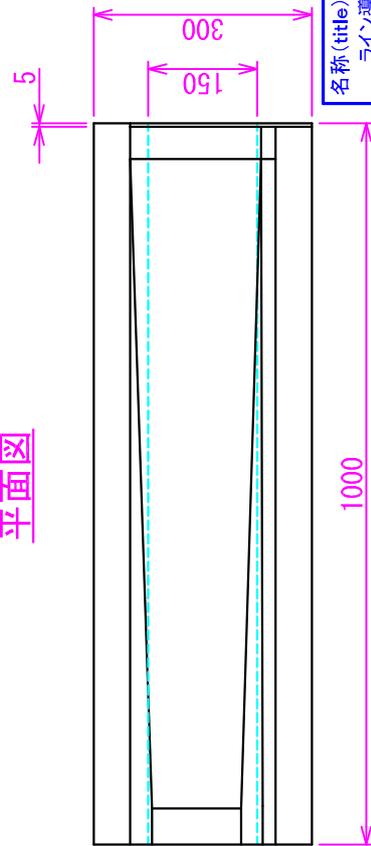
正面図



側面図



平面図

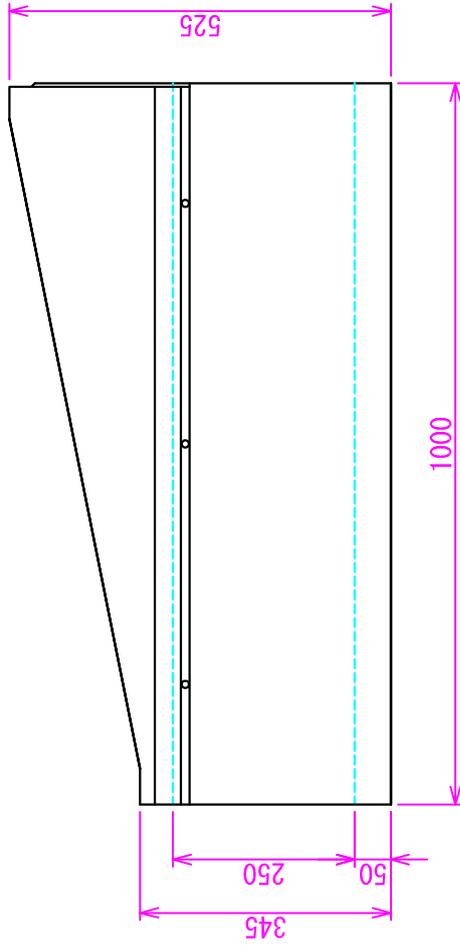


名称(title)	ライン導水ブロックF型 擦付・車乗用	図面番号(Draw/No)	LS-0432
平成	18年 11月 1日	Scale	1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)			

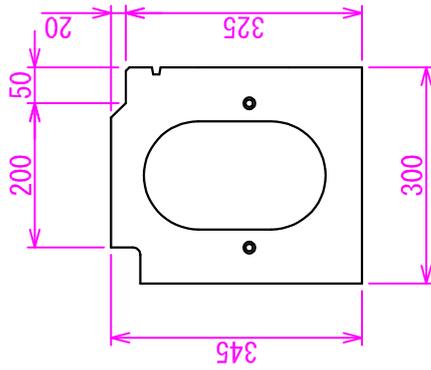
擦付B 車両乗入 フラット2cm段差 200相当 右

参考質量 198kg

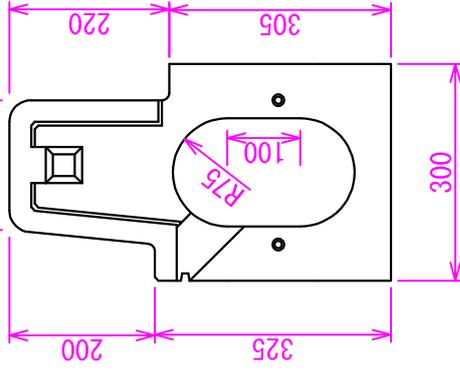
正面図



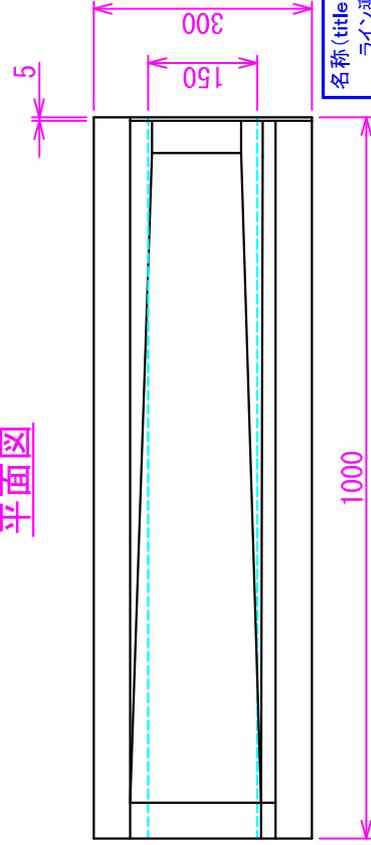
側面図



側面図



平面図

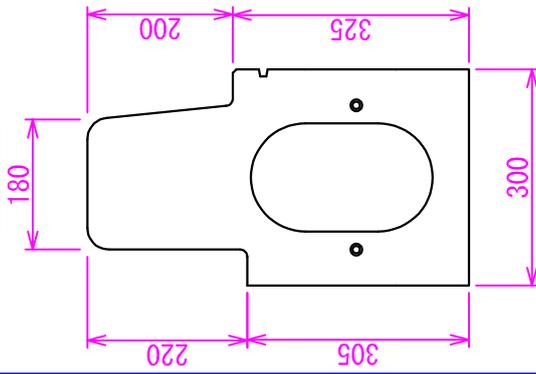


名称(title)	ライン導水ブロックF型 擦付・車乗用	図面番号(DrawlNo)	LS-0415
平成	18年 11月 1日	Scale	1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)			

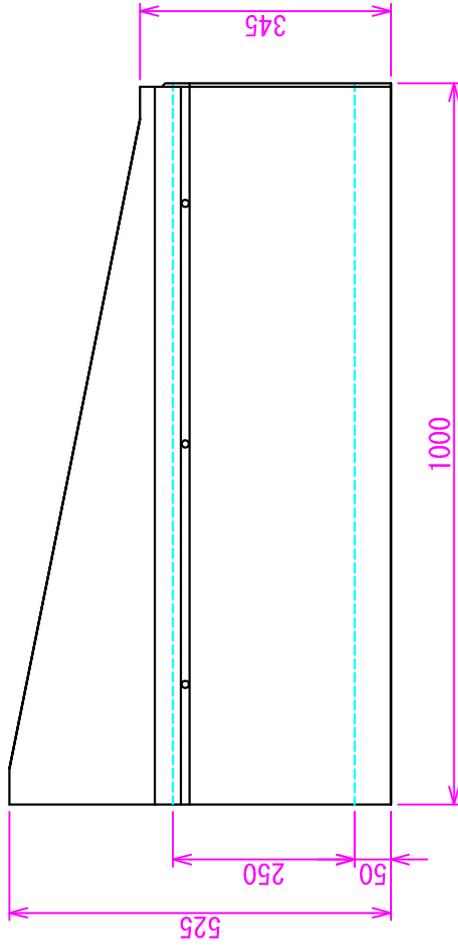
擦付B 車両乗入 フラット2cm段差 200相当 左

参考質量 198kg

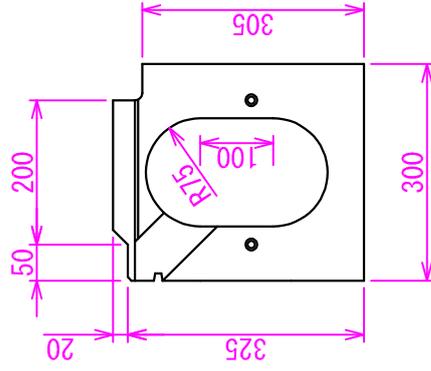
側面図



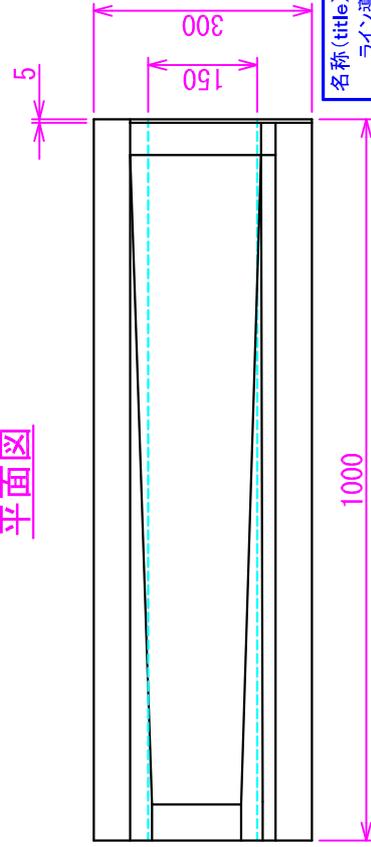
正面図



側面図



平面図



名称(title)

ライン導水ブロックF型 擦付・車乗用

平成 18年 11月 1日

Scale 1/10

図面番号(Draw/No)

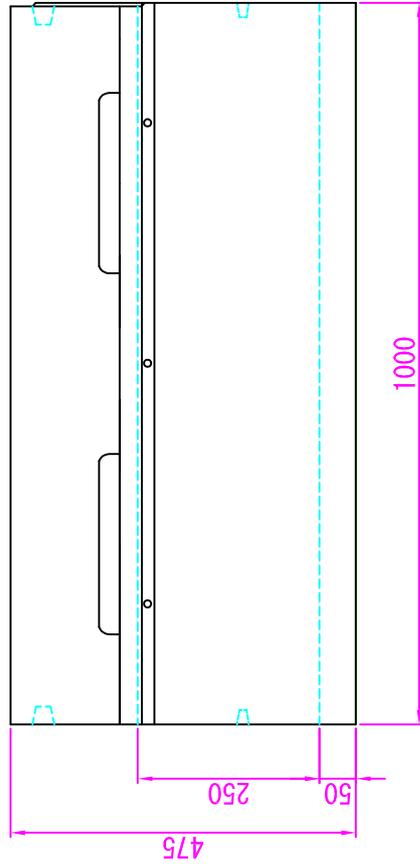
LS-0410

イトーヨーギョー
(ITO YOGYO CO.LTD)

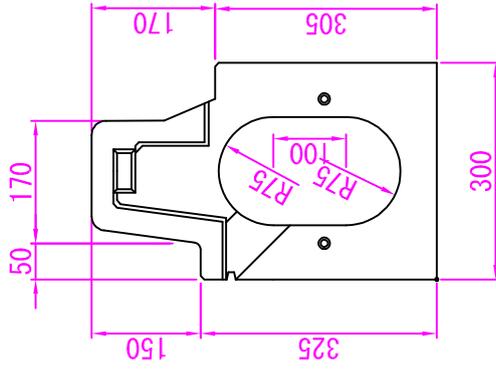
標準A 200相当

正面図

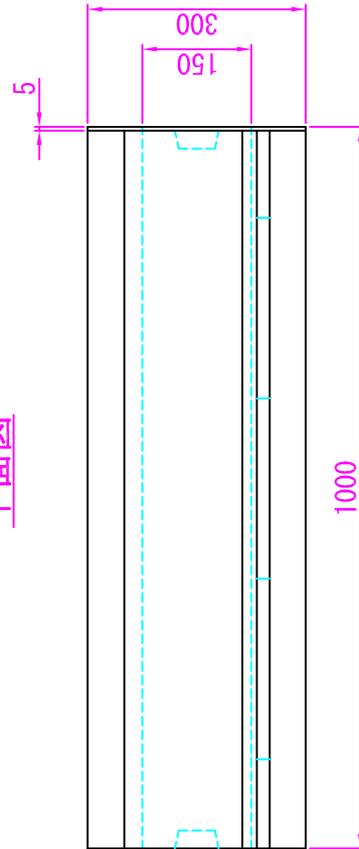
参考質量
 バイコン 203kg
 ポーラス 175kg



側面図



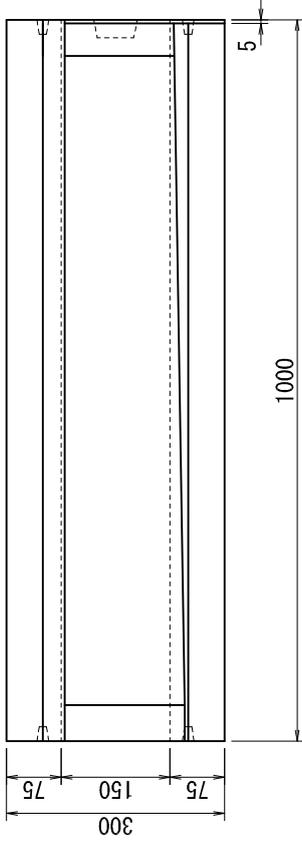
平面図



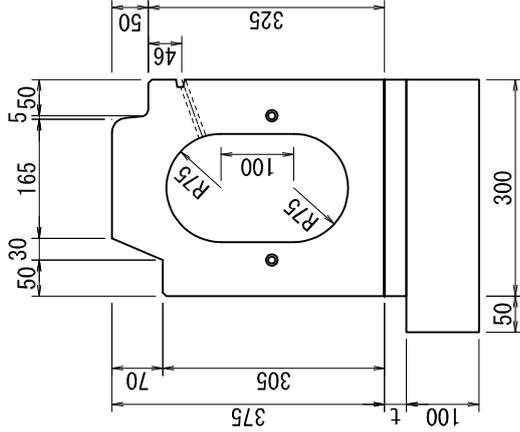
名称 (title)	ライン導水ブロック型 標準	図面番号 (Draw.No)	LS-0012
平成 18年 11月 1日		Scale	1/10
イトーヨーギョー (ITO YOGYO CO.LTD)			

【参考図】 ライン導水ブロックF型 構造図
 擦付A 車乗フラット5 200相 右

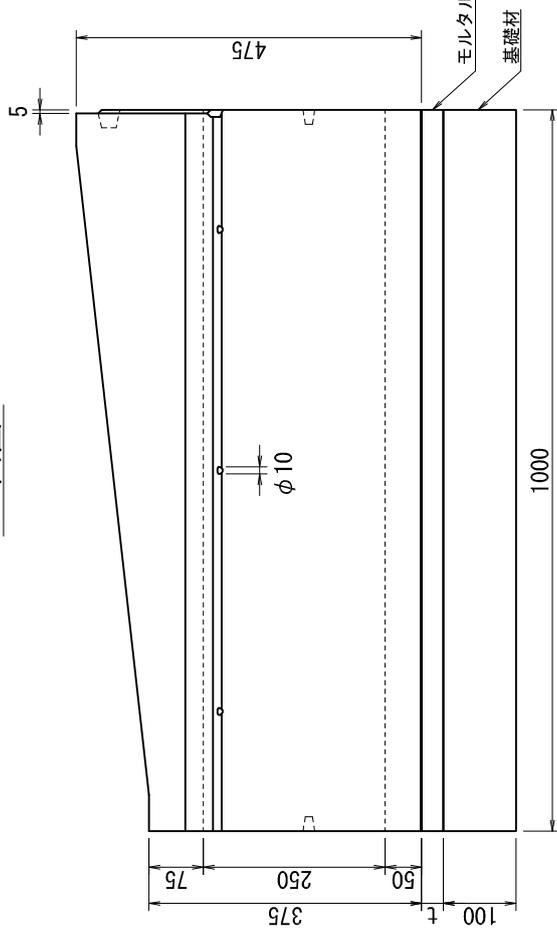
平面図



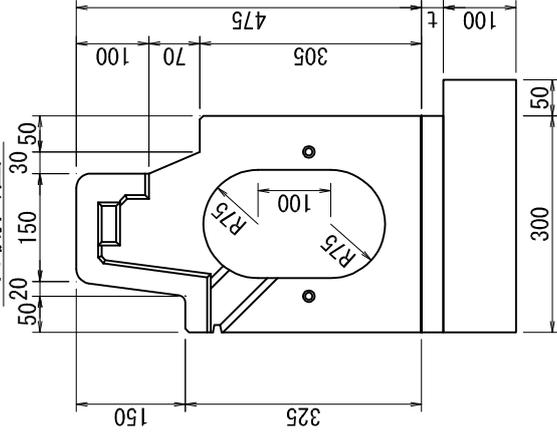
左側面図



正面図



右側面図



参考質量
 バイコン 193kg

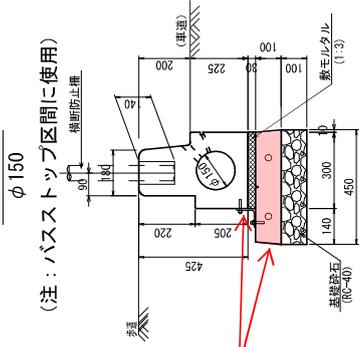
名	【参考図】ライン導水ブロックF型 構造図	図面番号	LK-0433
称	擦付A 車乗フラット5 200相 右		
製図	宮崎	年月日	2010年 08月 01日
検図	関野	縮尺	1/10
			株式会社



(品目C : 10494)

小構造物図(1/2)

ベース板A(取付金具込み)



ベース板A + 取付金具

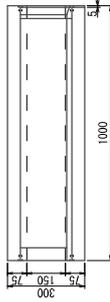
材料表 (100m当り)

名称	規格	単位	数量	備考
基礎材	RC-40	m ²	4.50	
排水材	3.0	m ²	3.00	
排水層の厚み	50	mm	10.0	1=1.00, 2=2
取付金具	取付金具	個	10.0	1=1.00
基礎砕石	RC-40	m ³	10.0	1=10.00, 2=20.00

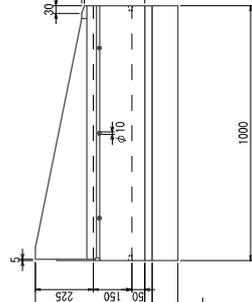
ライン導水ブロック擦付B(左)

φ150

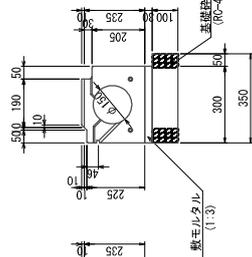
平面図



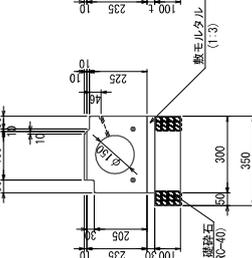
正面図



右側面図



左側面図



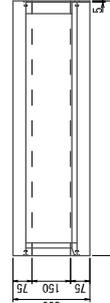
材料表 (100m当り)

名称	規格	単位	数量	備考
基礎材	RC-40	m ²	3.50	
排水材	RC-40	m ²	3.00	
傾溝	傾溝	個	10.0	1=10.00

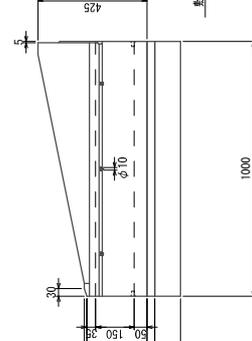
ライン導水ブロック擦付B(右)

φ150

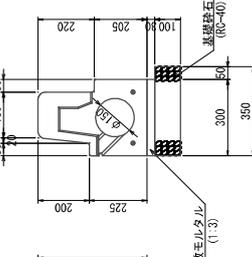
平面図



正面図



右側面図

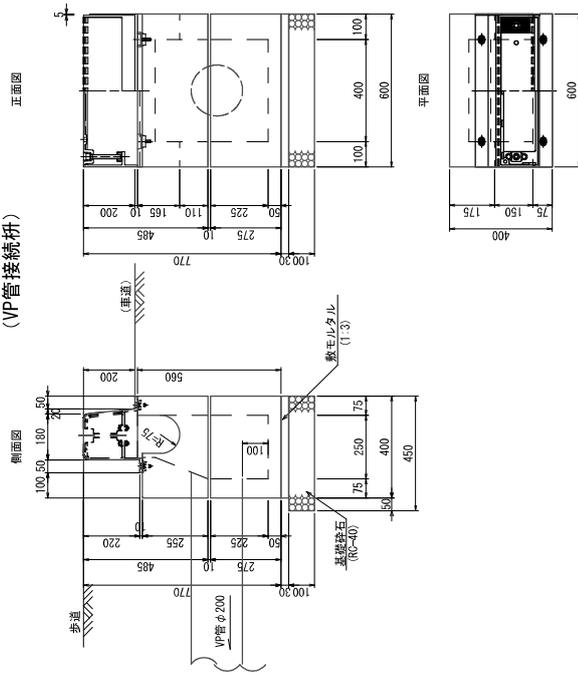


材料表 (100m当り)

名称	規格	単位	数量	備考
基礎材	RC-40	m ²	3.50	
排水材	RC-40	m ²	3.00	
傾溝	傾溝	個	10.0	1=10.00

小構築物図(2/2)

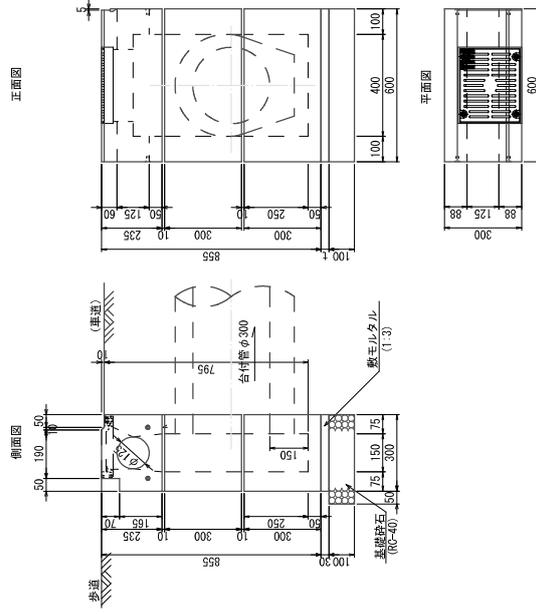
縁石柵B
(VP管接続柵)



材料表 (10箇所当り)

名称	規格	単位	数量	換算
表層材	RC-40	m ²	2.70	
敷石材	1:3	m ²	2.40	
上部ブロック	150用	個	10.0	
下部ブロック	調整ブロック	個	10.0	
下部ブロック	底付	個	10.0	

歩道切下柵・調整ブロック
(台付管接続柵)



材料表 (10箇所当り)

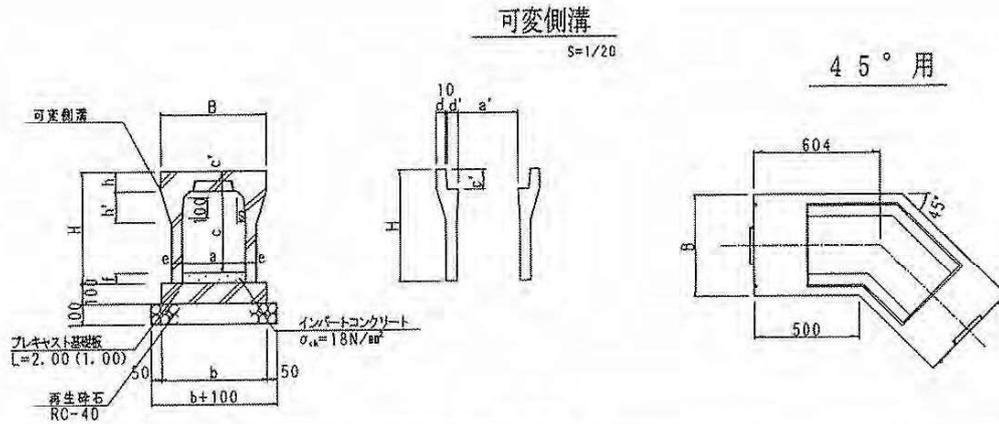
名称	規格	単位	数量	換算
表層材	RC-40	m ²	2.10	
敷石材	1:3	m ²	1.80	
上部ブロック	150用	個	10.0	
下部ブロック	歩道切下柵用	個	10.0	
下部ブロック	調整ブロック	個	10.0	
下部ブロック	底付	個	10.0	

算式根拠となる構造図

種別及び細別

可変側溝300×300 (45° 用)

10箇所当り

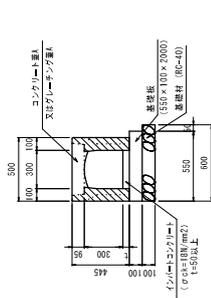


呼び名 (A×C)	規格寸法 (mm)													
	H	B	b	a	a'	c	c'	d	d'	e	f	h	h'	s
300×300	445	500	500	300	287	300	95	45	51.5	50	50	95	100	25
300×400	545	500	500	300	285	400	95	45	52.5	55	150~70	95	150	30
300×500	645	500	500	300	285	500	95	45	52.5	55	170~50	95	150	30

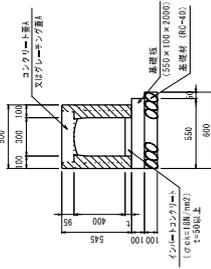
名称	規格	算式	単位	数量
再生砕石	RC-40 t=100	$0.60 \times 0.604 \times 2 \times 10$	m ²	7.248
プレキャスト基礎板	t=100	$(0.604 \times 2 \times 10) \div 2.00$	枚	6.040
インバートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$0.30 \times 0.05 \times 0.604 \times 2 \times 10$	m ³	0.181
可変側溝	300×300 45° 用		個	10.000

1工区 自由勾配側溝構造図(1)

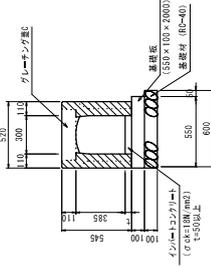
自由勾配側溝A型
(縦断面 B300×H300) S=1/20



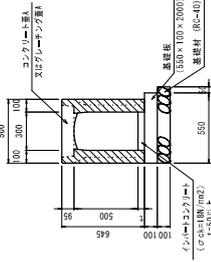
自由勾配側溝B型
(縦断面 B300×H400) S=1/20



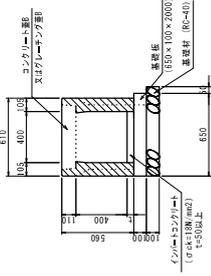
自由勾配側溝C型
(横断面 B300×H400) S=1/20



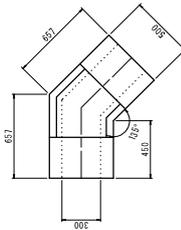
自由勾配側溝D型
(縦断面 B300×H500) S=1/20



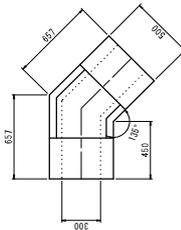
自由勾配側溝E型
(縦断面 B400×H400) S=1/20



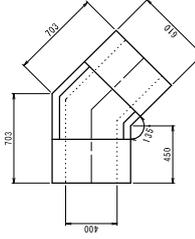
自由勾配側溝F-1型
(コーナー品 B300) S=1/20



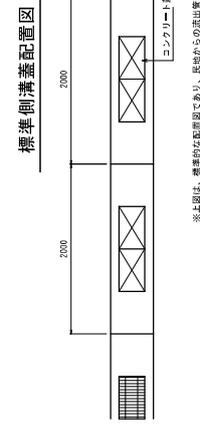
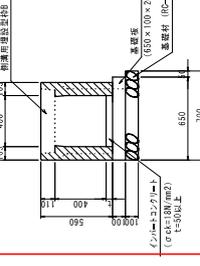
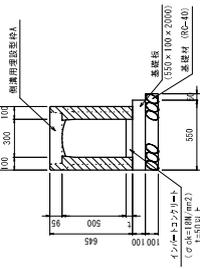
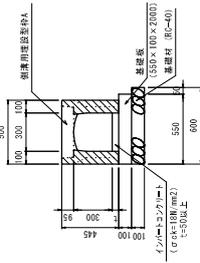
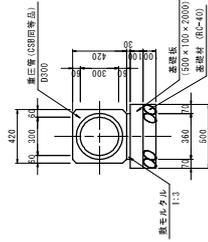
自由勾配側溝F-2型
(コーナー品 B300) S=1/20



自由勾配側溝G型
(コーナー品 B400) S=1/20



道路横断管渠
(重圧管 D300) S=1/20



標準側溝蓋配置図
S=1/30

※上記図は、標準的な配置図であり、現場からの引出管がある場合は現場に応じて配置すること。

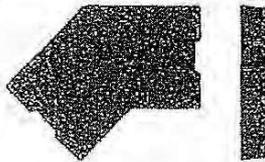
年度	平成30年度	番号	15	20
発注者	父業和成機			
工事名				
所轄地区				
発注日	平成30年3月			
大阪府国土事務所				

隔切製品用蓋板45度用
(水路巾250~600mmのもの)

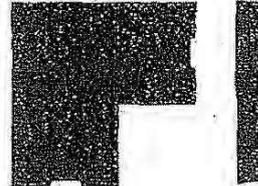
隔切製品用蓋板90度用
(水路巾300~600mmのもの)

VS
自由勾配側溝

●45度用 鉄筋コンクリート蓋板



●90度用 鉄筋コンクリート蓋板

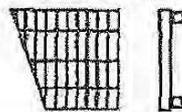


寸法・配筋および重量など詳細は、参考断面をご参照下さい。

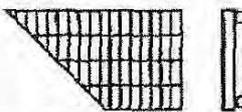
呼び名	参考重量 (kg)	取 柄 (mm) (a×b×c)
350用	22	330×414-282×80
400用	35	400×421-271×95
450用	52	450×460-272×110
500用	75	500×525-275×125
600用	137	710×527-277×140

呼び名	参考重量 (kg)	取 柄 (mm) (a×b×c)
300用	14	300×404×55
400用	23	400×415×70
500用	36	500×418×85
600用	55	600×435×100

●45度用 グレーティング蓋板



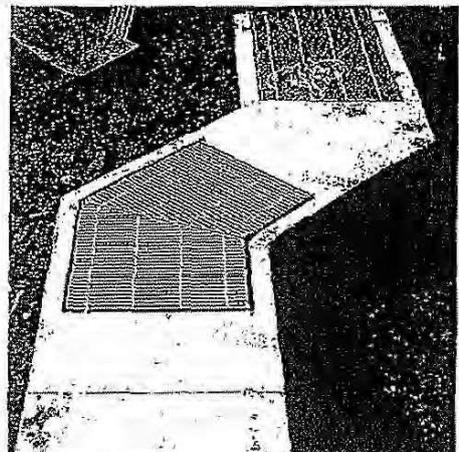
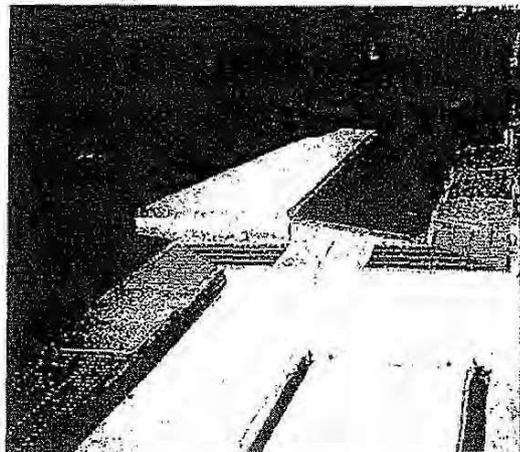
●90度用 グレーティング蓋板



寸法および重量など詳細は、参考断面をご参照下さい。
※勾配側溝共に1枚1組になります。

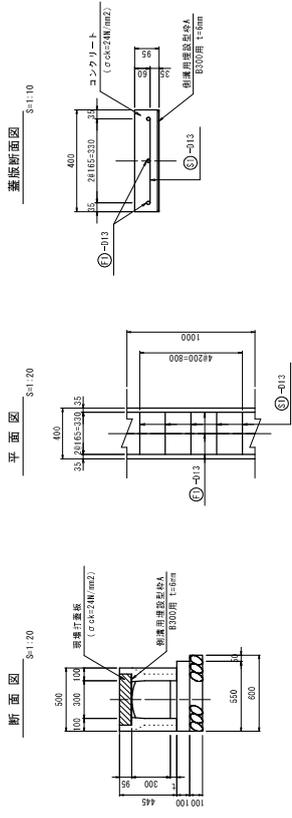
呼び名	参考重量 (kg)		取 柄 (mm) (a×b×c)
	T-25	T-6	
350用	8.7	7.5	260×410-285×80
400用	11.7	11.6	380×421-280×95
450用	13.8	12.0	450×425-287×110
500用	23.7	18.3	500×525-286×125
600用	41.7	24.2	700×522-286×140

呼び名	参考重量 (kg)		取 柄 (mm) (a×b×c)
	T-25	T-6	
300用	16.0	12.4	300×605-281×95
400用	21.1	13.1	400×790-300×110
500用	48.5	30.0	500×795-305×125
600用	61.3	37.1	600×1,000-310×140



1工区 自由勾配側溝構造図(2)

側溝用埋設型枠A B300用

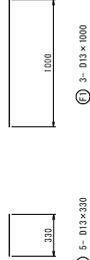


側溝用埋設型枠A 鉄筋数量表

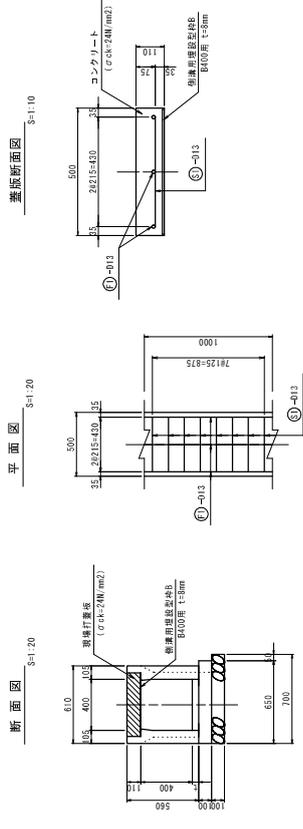
記号	径 (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	体積 (m³)	重量 (kg)	形状	備考
S1	D13	330	0.995	0.228	1.64	—	—
F1	D13	1000	0.995	0.995	2.99	—	—
計					4.63 kg		

① 3-φ13×1000
② 3-φ13×330

鉄筋加工図



側溝用埋設型枠B B400用

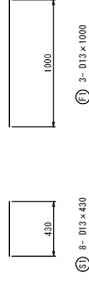


側溝用埋設型枠B 鉄筋数量表

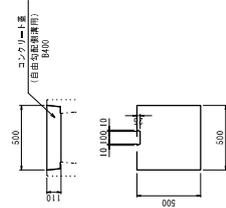
記号	径 (mm)	本数	単位重量 (kg/m)	体積 (m³)	重量 (kg)	形状	備考
S1	D13	420	0.995	0.420	3.42	—	—
F1	D13	1000	0.995	0.995	2.99	—	—
計					6.41 kg		

① 3-φ13×1000
② 8-φ13×420

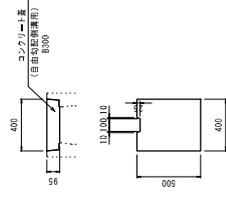
鉄筋加工図



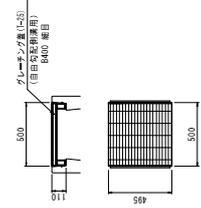
コンクリート蓋B



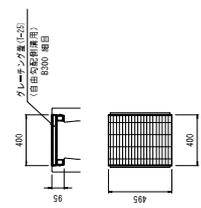
コンクリート蓋A



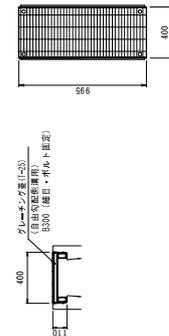
グレーチング蓋B



グレーチング蓋A



グレーチング蓋C

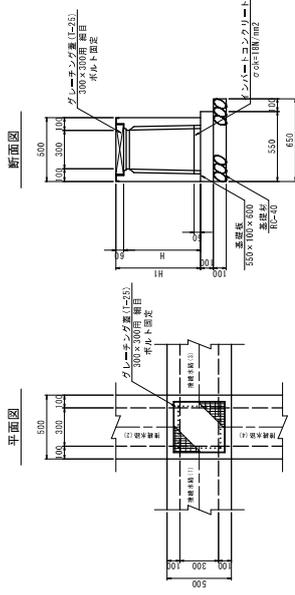


年度	平成29年度	番号	15	20
発注者	父業和成様			
工事名				
所轄支				
変更名	1.正設 自由勾配側溝構造図(2)			
発注	図示	作成日	平成30年3月	
大阪府農工土木事務所				

1工区 集水樹構造図

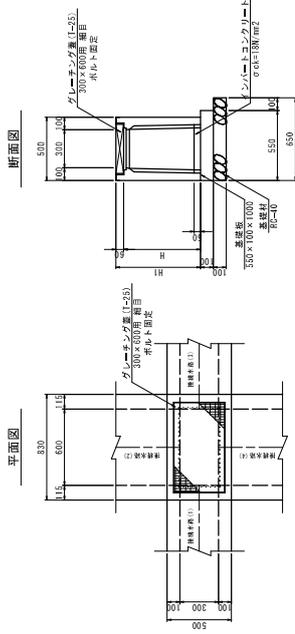
集水樹工A型 S=1:20

300×300



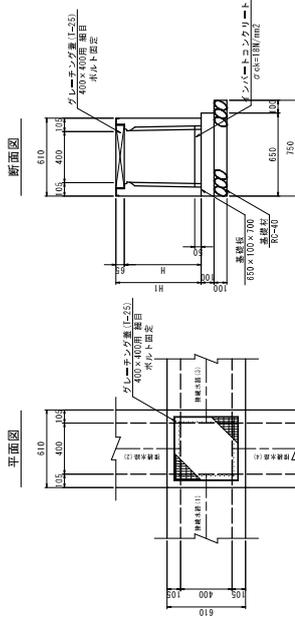
集水樹工B型 S=1:20

300×600



集水樹工C型 S=1:20

400×400



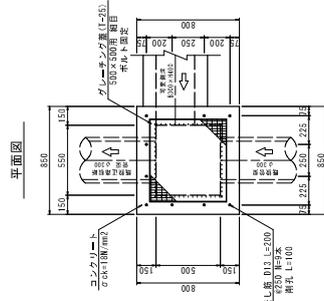
型番	湧点	左右	集水樹規格 (mm)	H (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	(1)	(2)	(3)	(4)
A-1型	NO.2042.4	左	300×300×600	800	800	800	可変側溝 B300×H500 既設水路 B200×H1000 ▽92.47 湧点 ▽92.39 流出	既設水路 B200×H1000	-	-
A-2型	NO.2154.5	左	300×300×600	600	600	600	可変側溝 B300×H500 既設水路 B300 ▽92.60 湧点 ▽92.52 流出	既設水路 B300×H500	-	運送側溝 B300
A-3型	NO.2004.5	右	300×300×600	800	600	600	可変側溝 B300×H500 運送側溝 B300 ▽92.55 湧点 ▽92.47 流出	運送側溝 B300×H500	-	既設水路 B300×H200 ▽92.95 湧点 可変側溝 B500×H200 ▽92.95 湧点
A-4型	NO.2004.2	右	300×300×600	800	600	600	可変側溝 B300×H500 運送側溝 B300 ▽92.49 湧点 ▽92.41 流出	運送側溝 B300×H500	-	既設水路 B300×H200 ▽92.95 湧点 可変側溝 B500×H200 ▽92.95 湧点
A-5型	NO.2004.0	右	300×300×600	600	600	600	可変側溝 B300×H500 運送側溝 B300 ▽92.68 湧点 ▽92.60 流出	運送側溝 B300×H500	-	既設水路 B300×H200 ▽92.95 湧点 可変側溝 B500×H200 ▽92.95 湧点
A-6型	NO.2034.9	右	300×300×800	800	800	800	可変側溝 B300×H500 運送側溝 B300 ▽92.40 湧点 ▽92.32 流出	運送側溝 B300×H500	-	既設水路 B300×H200 ▽92.95 湧点 可変側溝 B500×H200 ▽92.95 湧点
A-7型	NO.2064.8	右	300×300×800	800	800	800	可変側溝 B300×H500 既設水路 B200×H300 ▽92.70 湧点 ▽92.62 流出	既設水路 B200×H300	-	運送側溝 B300×H200 ▽92.95 湧点
A-8型	NO.2064.4	右	300×300×800	800	800	800	可変側溝 B300×H500 既設水路 B200×H300 ▽93.09 湧点 ▽92.99 流出	既設水路 B200×H300	-	運送側溝 B300×H200 ▽92.95 湧点
A-9型	NO.2084.7	右	300×300×800	800	800	800	可変側溝 B300×H500 既設水路 B200×H300 ▽92.90 湧点 ▽92.82 流出	既設水路 B200×H300	-	運送側溝 B300×H200 ▽92.95 湧点
A-10型	NO.2084.1	右	300×300×800	800	800	800	可変側溝 B300×H500 既設水路 B200×H300 ▽92.98 湧点 ▽92.90 流出	既設水路 B200×H300	-	運送側溝 B300×H200 ▽92.95 湧点

型番	湧点	左右	集水樹規格 (mm)	H (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	(1)	(2)	(3)	(4)
B-1型	NO.2032.4	左	300×600×1200	1200	1200	1200	既設水路 B300×H500 運送側溝 B300 ▽92.92 湧点 ▽92.84 流出	既設水路 B400×H900	-	運送側溝 B300 ▽92.91 湧点
B-2型	NO.2054.7	左	300×600×600	600	600	600	既設水路 B300×H500 運送側溝 B300 ▽92.93 湧点 ▽92.85 流出	既設水路 B400×H900	-	運送側溝 B300 ▽92.91 湧点
B-3型	NO.2064.11.2	右	300×600×800	800	800	800	可変側溝 B300×H500 運送側溝 B300×H500 ▽92.93 湧点 ▽92.85 流出	可変側溝 B300×H500	-	既設水路 B500×H200 ▽92.95 湧点 可変側溝 B500×H200 ▽92.95 湧点
B-4型	NO.2084.17.7	右	300×600×1000	1000	1000	1000	可変側溝 B300×H500 運送側溝 B300 ▽92.89 湧点 ▽92.81 流出	可変側溝 B400×H900	-	運送側溝 B300 ▽92.89 湧点

型番	湧点	左右	集水樹規格 (mm)	H (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	(1)	(2)	(3)	(4)
C-1型	NO.2104.18.1	右	400×400×600	600	600	600	可変側溝 B300×H400 運送側溝 B300 ▽92.14 湧点 ▽92.06 流出	可変側溝 B400×H400	-	既設水路 B300×H200 ▽92.95 湧点 可変側溝 B500×H200 ▽92.95 湧点
C-2型	NO.2124.5.5	右	400×400×600	600	600	600	可変側溝 B400×H400 運送側溝 B400 ▽92.92 湧点 ▽92.84 流出	可変側溝 B400×H400	-	既設水路 B300×H200 ▽92.95 湧点 可変側溝 B500×H200 ▽92.95 湧点
C-3型	NO.2154.4.4	右	400×400×600	600	600	600	可変側溝 B400×H400 運送側溝 B400 ▽92.89 湧点 ▽92.81 流出	可変側溝 B400×H400	-	既設水路 B300×H200 ▽92.95 湧点 可変側溝 B500×H200 ▽92.95 湧点

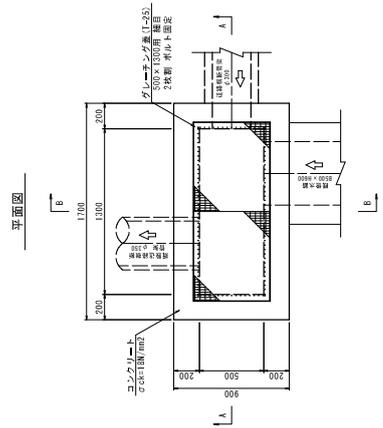
集水樹高上工 S=1:20

500×550 h=100

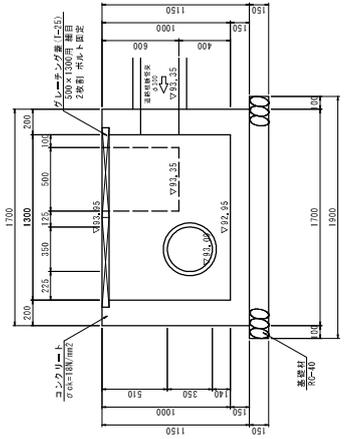


集水樹工D型 S=1:20

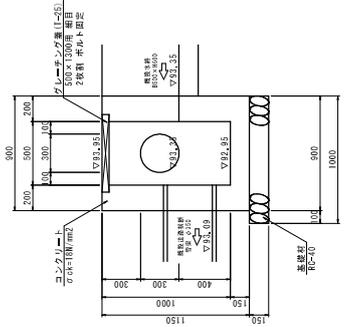
500×1300×1000



A-A断面図

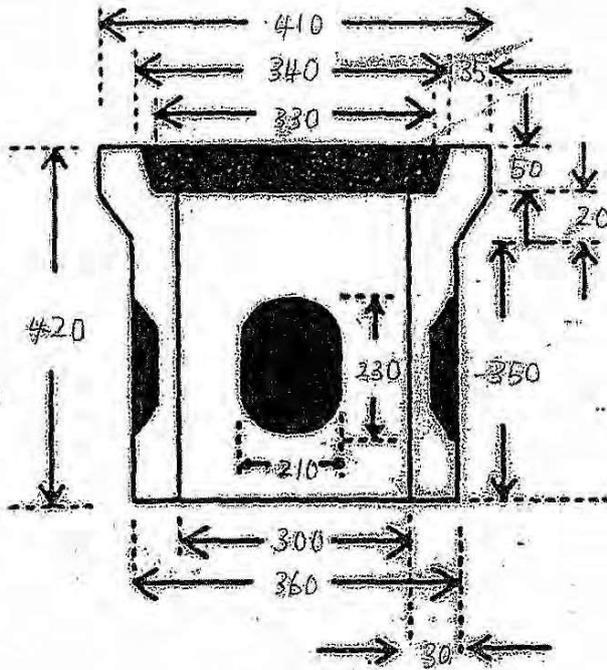


B-B断面図



年度	平成28年度	番号	17-20
発注者	父業和気機		
工事名			
所轄地	江匠 集水樹構造図		
発注者	大阪府国土事務所		
図示	作成日	平成30年3月	

集水桝 300×300

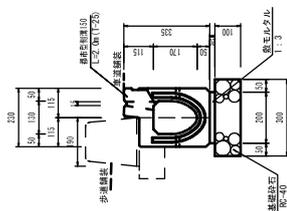


※ 同等品以上のものとする。

構造物詳細図(1)

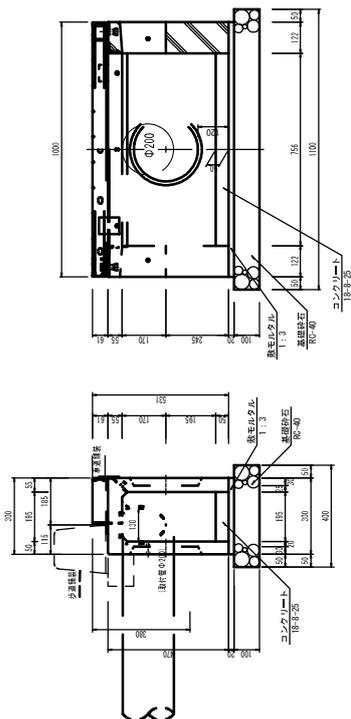
都市型側溝150

S=1:10



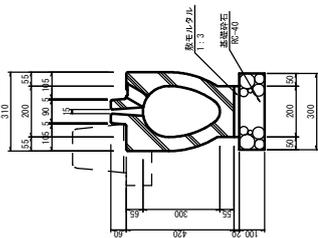
都市型側溝150用樹

S=1:10



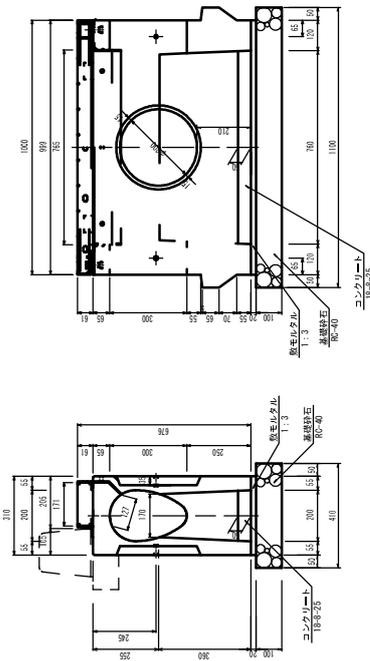
都市型側溝250

S=1:10



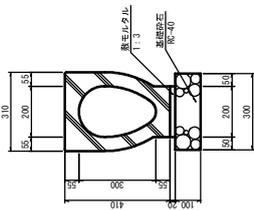
都市型側溝250用樹

S=1:10



都市型側溝250 (横断面)

S=1:10

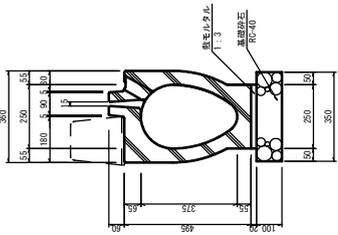


年度	平成30年度	番 号	/
路線名	一般府道 号既路線		
工事名	岸和田市上野市東地区内 外		
図面名	構造物詳細図(1)		
編 尺	図 示	定 頁	平成30年6月
大阪府 岸和田土木事務所			

構造物詳細図(2)

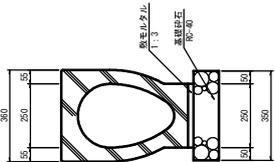
都市型側溝300

S=1:10



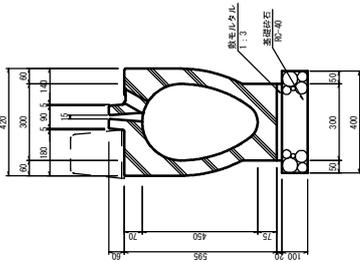
都市型側溝300(横断面)

S=1:10



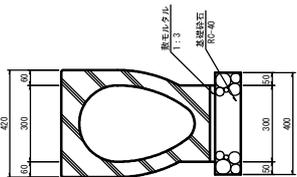
都市型側溝350

S=1:10



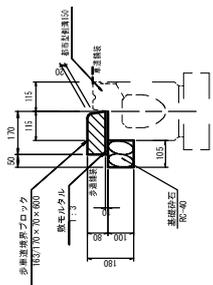
都市型側溝350(横断面)

S=1:10



緑石 E型 (150用)

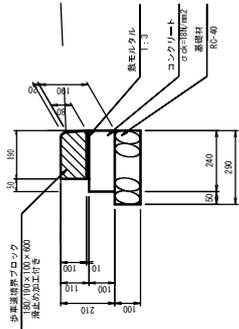
S=1:10



緑石 E型

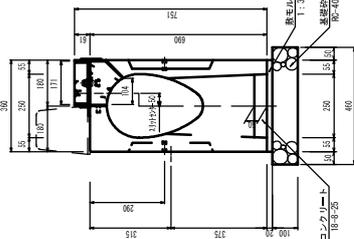
(歩道切下げ部)

S=1:10



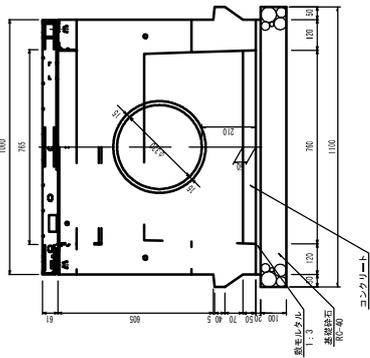
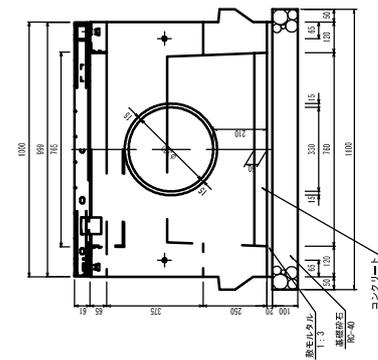
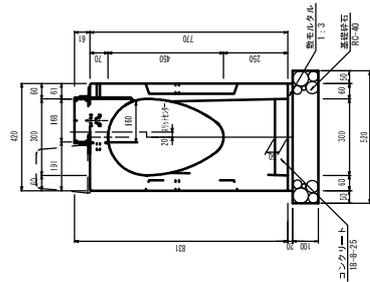
都市型側溝300用斜

S=1:10



都市型側溝350用斜

S=1:10



年度	平成30年度	番号	/
路線名	一般府道 号既路線		
工事名	岸和田市上野田東地内 外		
図面名	構造物詳細図(2)		
縮尺	図示	年月	平成30年5月
大阪府 岸和田土木事務所			

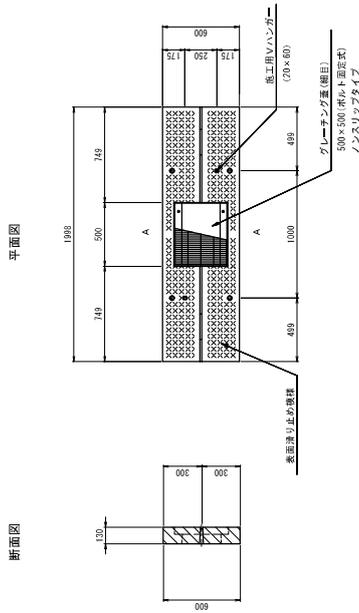
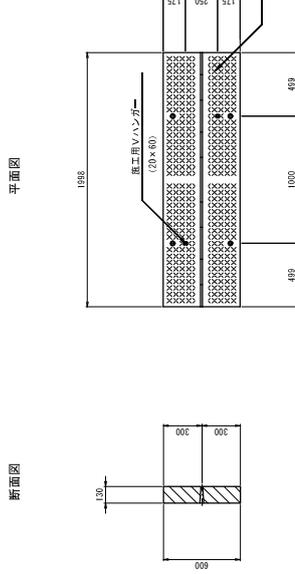
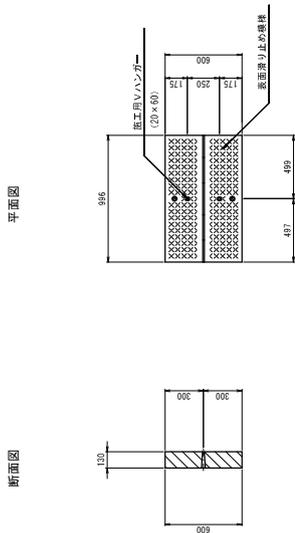
排水構造物構造図

S=1:20

コンクリート蓋(スリット式) B300 L1000標準

コンクリート蓋(スリット式) B300 L2000標準

コンクリート蓋(スリット式) B300 L2000管理孔付



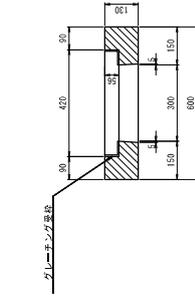
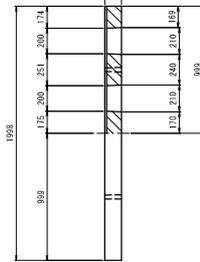
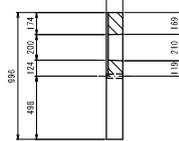
側面図 (断面図)

端部詳細図 S=1:10

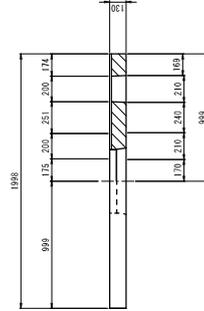
側面図 (断面図)

端部詳細図 S=1:10

端部詳細図 S=1:10



側面図 (断面図)



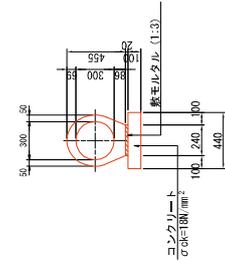
設計条件

規格	標準型断面 (準入型)
形状	蓋形蓋式
自動車荷重	245 kN
軸重	50 kN
軸間距離	$l=0.3$
設計標準強度	35 N/mm ²
設計せん断応力	15.5 N/mm ²
設計せん断応力	0.52 N/mm ²
材質	S D 295-A 同等以上
許容引張応力	170 N/mm ²
許容せん断応力	70 N/mm ²

- 1. 0m=製品標準質量 133 kg
- 2. 0m=製品標準質量 367 kg
- 管理孔付: 製品標準質量 315 kg (グレーニング層は含まず)

排水工構造図 (3) S=1:20

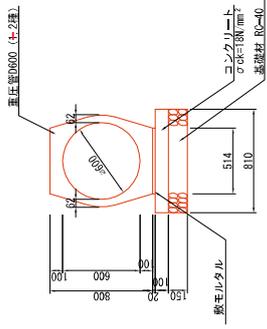
台付管 φ300



材料表

名称	規格	単位	数量	備考
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.44	
型枠		m²	2.00	
モルタル	1:3 t=20	m²	2.40	
台付管	D300	本	5.0	

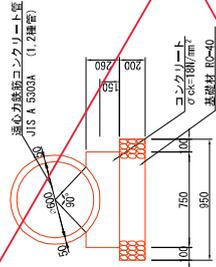
重圧管 (4, 2種) D600



材料表

名称	規格	単位	数量	備考
基礎材	RC-40 t=150	m²	8.10	
型枠		m²	2.00	
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.81	
モルタル	1:3 t=20	m²	5.14	
重圧管	D600 (4, 2種)	本	5.0	

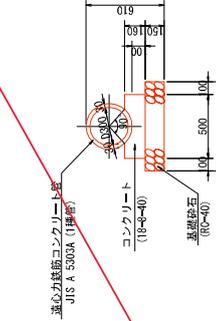
PI-RC-(1, 2)-D600



材料表

名称	規格	単位	数量	備考
基礎材	RC-40 t=200	m²	9.50	
型枠		m²	5.20	
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	1.50	
管の埋筋(コンクリート)	D600 (1, 2種)	本	4.1	JIS A5303A

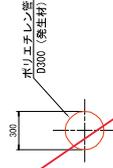
PI-RC-(1)-D300



材料表

名称	規格	単位	数量	備考
基礎材	RC-40 t=150	m²	9.50	
型枠		m²	5.20	
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	1.50	
管の埋筋(コンクリート)	D300 (1種)	本	4.1	JIS A5303A

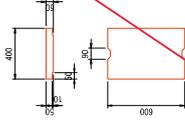
ポリエチレン管 D300



材料表

名称	規格	単位	数量	備考
ポリエチレン管	D300	m	10.00	10m当り 第2種材

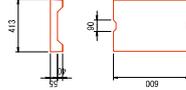
たて溝蓋



材料表

名称	規格	単位	数量	備考
コンクリート蓋	FC-300	枚	16.7	10m当り

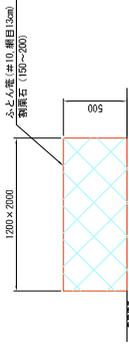
側溝蓋



材料表

名称	規格	単位	数量	備考
コンクリート蓋	FC-300	枚	16.7	10m当り

ふとん管

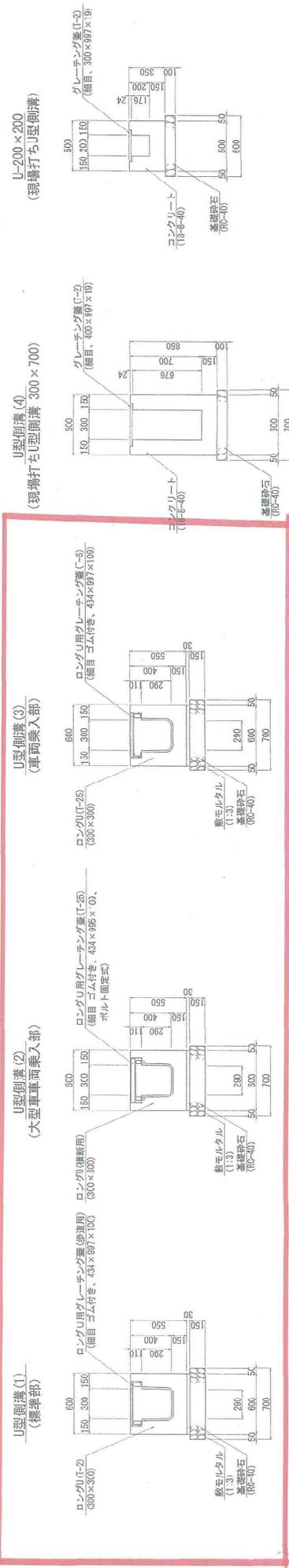


材料表

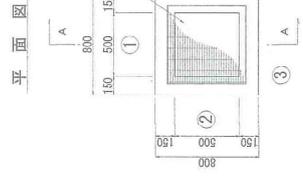
名称	規格	単位	数量	備考
ふとん管	150~200	m	2.00	1箇所当り
積層石	150~200	m³	1.20	

道路施設詳細図 (2)

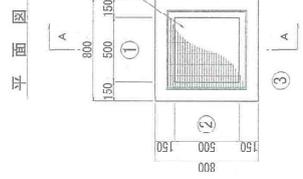
S-1:20



集水枳 (1)



集水枳 (2)

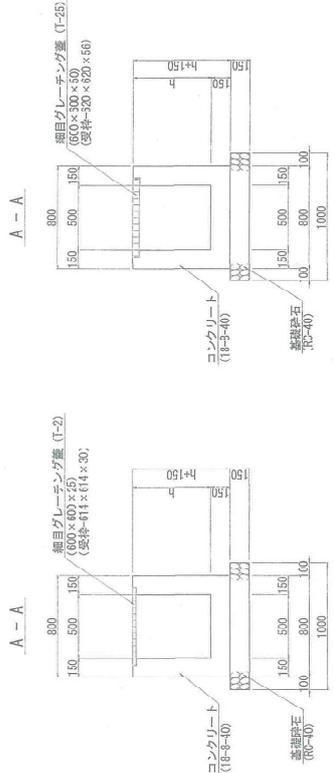


集水枳 (1)

枳脚点	呼び寸法	枳天端高 (m)	h (m)	開口部				概要
				種類	種頭 (底高)	種類	種頭 (底高)	
No. 6+7.65 (右側)	500×500×600	25.470	0.600	管渠工 HF 4-30C (24.670) 下流	② U型側溝 (1) U-200×200 (27.362) 下流	③ 種類 (底高)	④ 種類 (底高)	U型側溝 (1) 300×300 (24.670) U型側溝 (4) 300×700 (24.952) 下流 現場打ち側溝 U-200×200 (27.362)
No. 8+8.83 (右側)	500×500×600	25.462	0.900	管渠工 HF 4-30C (23.034)	② 既設側溝 U-200×200 (27.362) 下流	③ 種類 (底高)	④ 種類 (底高)	U型側溝 (1) 300×300 (23.223) 下流
No. 15+5.92 (右側)	500×500×600	27.862	0.500		② U型側溝 (1) 300×300 (29.223) 下流	③ 種類 (底高)	④ 種類 (底高)	現場打ち側溝 U-200×200 (27.462) 下流
No. 20+17.84 (右側)	500×500×600	28.623	0.600		② U型側溝 (1) 300×300 (29.223) 下流	③ 種類 (底高)	④ 種類 (底高)	既設側溝 U-300×300 (27.358) 下流 (27.358)

集水枳 (2)

枳脚点	呼び寸法	枳天端高 (m)	h (m)	開口部				概要
				種類	種頭 (底高)	種類	種頭 (底高)	
No. 8+5.09 (右側)	500×500×600	25.599	0.900	管渠工 HF 4-30C (24.899) 下流	② 現場打ち側溝 U-200×200 (27.462) 下流	③ 種類 (底高)	④ 種類 (底高)	U型側溝 (4) 300×700 (24.899) 既設側溝 U-200×200 (27.462)
No. 15+12.83 (右側)	500×500×600	27.462	0.500		② 既設側溝 U-300×300 (27.358) 下流	③ 種類 (底高)	④ 種類 (底高)	現場打ち側溝 U-200×200 (27.462) 下流
No. 15+17.14 (右側)	500×500×600	27.758	0.600		② 既設側溝 U-300×300 (27.358) 下流	③ 種類 (底高)	④ 種類 (底高)	既設側溝 U-300×300 (27.358) 下流 (27.358)

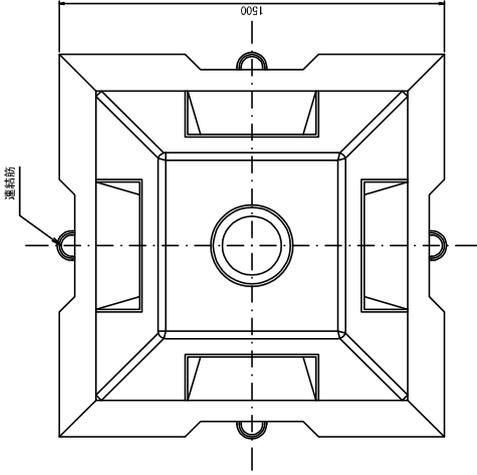


年度	平成29年	事業名	岸和田市土庄町内
路線名	主要地方道 岸和田港京橋		
工事名	岸和田市土庄町内		
図面名	道路施設詳細図 (2)		
作図	平成29年 9月	縮尺	1:20
検査		図面番号	S-1
設計		作成者	大阪府岸和田土木事務所
監理		図面番号	09/11

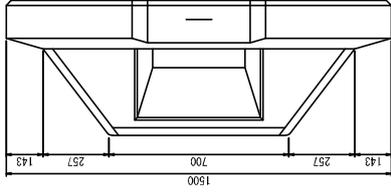
スクエア製品図

1T型 1010kg

平面図

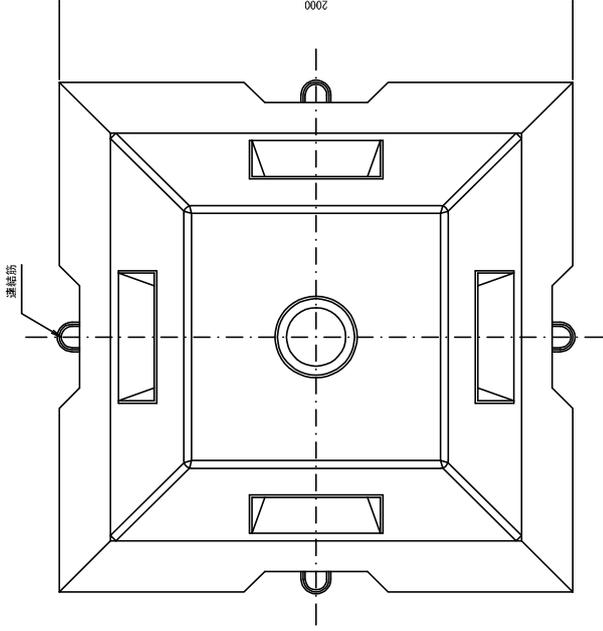


側面図

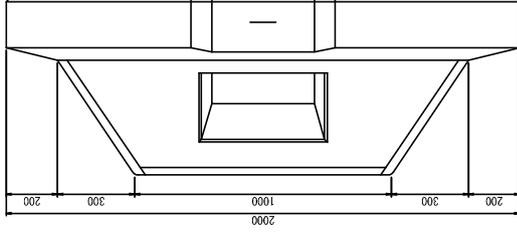


2T型 2010kg

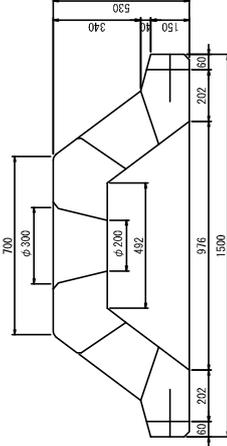
平面図



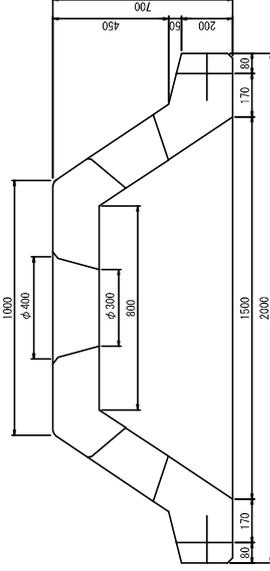
側面図



断面図



断面図



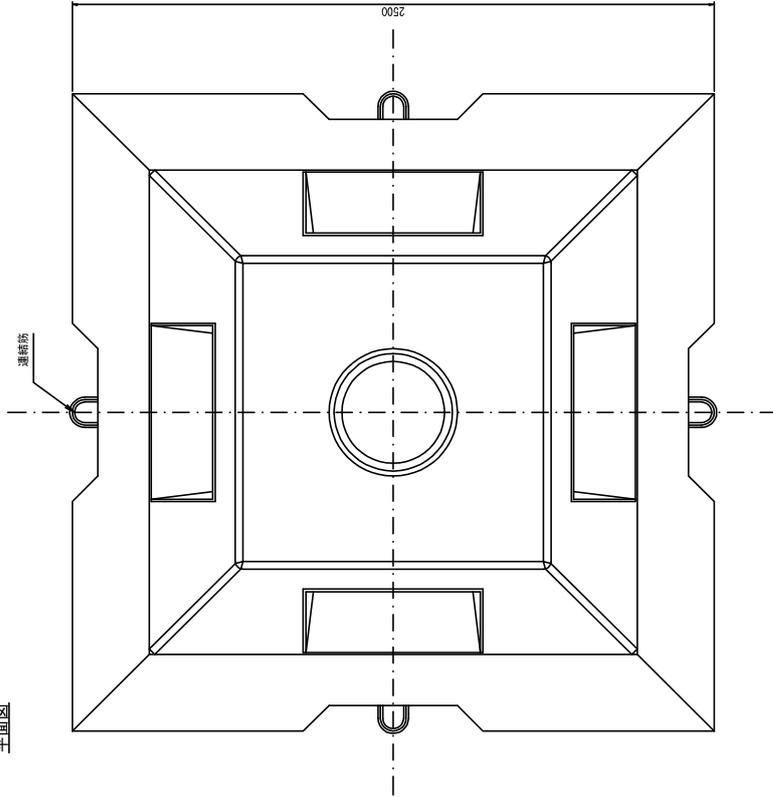
製品名	スクエア 1T型・2T型		
図面名	製品図		
尺度	1:20		
年月日	2010年1月	図面番号	1
会社名	ランデス株式会社		
提供元	会員CADダウンロードサービス		

※予告なく形状変更する場合があります。

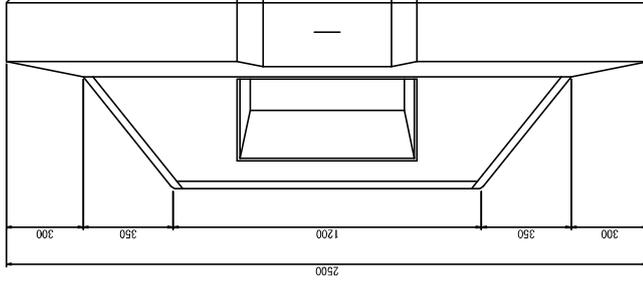
スクエア製品図

3-T型 3260kg

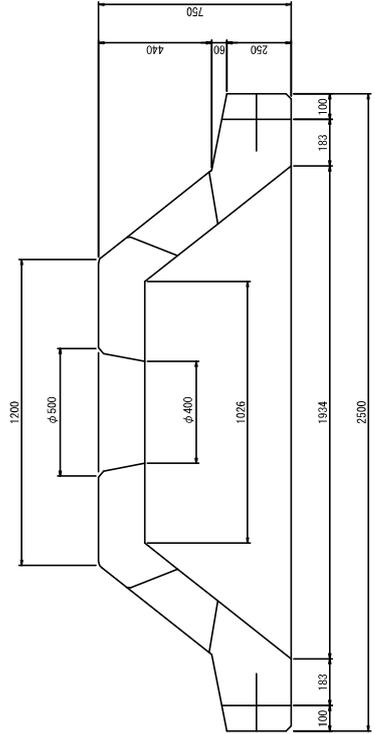
平面図



側面図



断面図



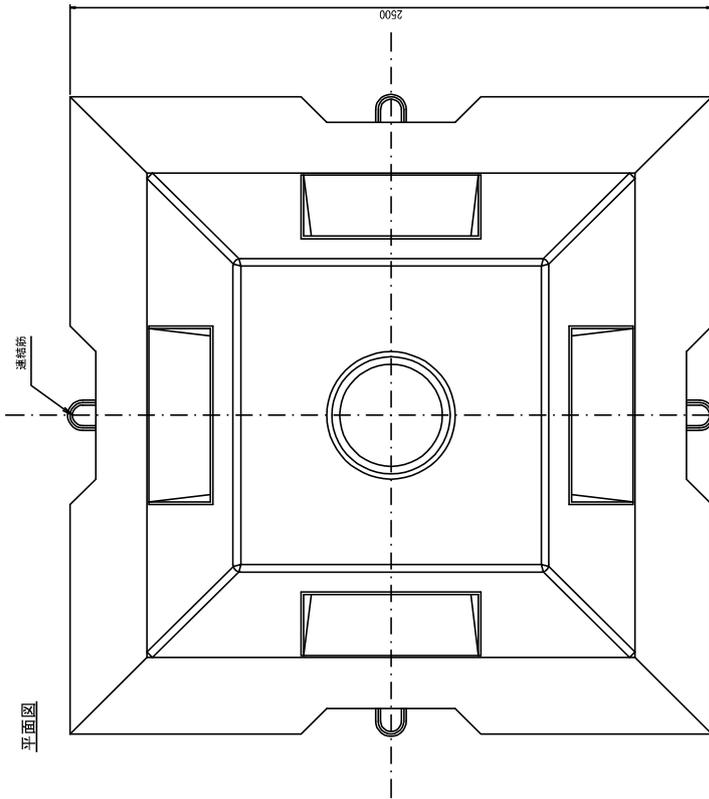
製品名	スクエア 3T型		
図面名	製品図		
尺度	1:20		
年月日	2010年1月	図面番号	1
会社名	ランデス株式会社		
提供元	会員CADダウンロードサービス		

※予告なく形状変更する場合があります。

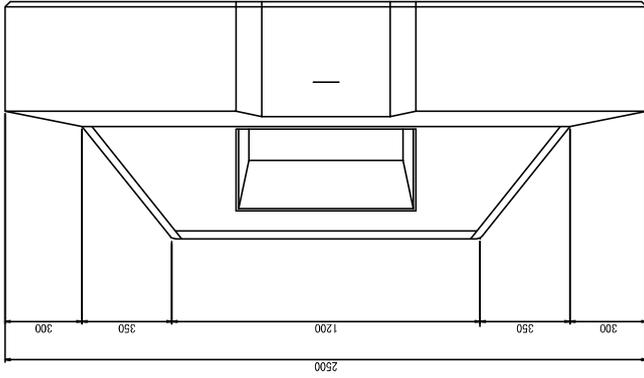
スクエア製品図

4T型 4120kg

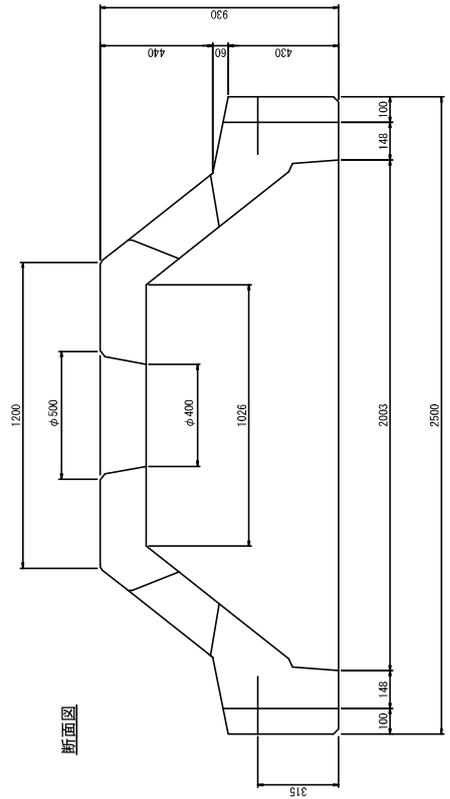
平面図



側面図



断面図



製品名	スクエア 4T型		
図面名	製品図		
尺度	1:20		
年月日	2010年1月	図面番号	1
会社名	ランデス株式会社		
提供元	会員CADダウンロードサービス		

※予告なく形状変更する場合があります。

ストーンブロッック1t突型 単体図

S=1:30

標準型

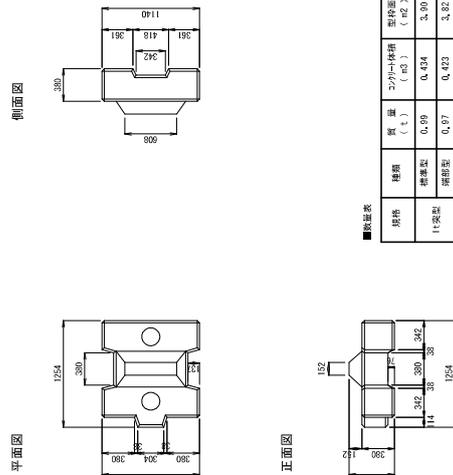
吊込用鉄筋詳細図



■吊込用鉄筋仕様表

種別	鉄筋の規格	長さ (mm)	単体質量 (kg)	質量 (kg)	質量 (kg)
標準型	D16	16	1.228	1.56	1.92
吊込用	D16	16	1.228	1.56	1.92

端部型



■数量表

規格	種類	単体質量 (kg)	標準型	吊込用	重量 (kg)	重量 (kg)	重量 (kg)	重量 (kg)
1t突型	標準型	0.99	0.09	0.434	3.90	3.90	3.90	3.90
吊込用	吊込用	0.97	0.07	0.423	3.52	3.52	3.52	3.52

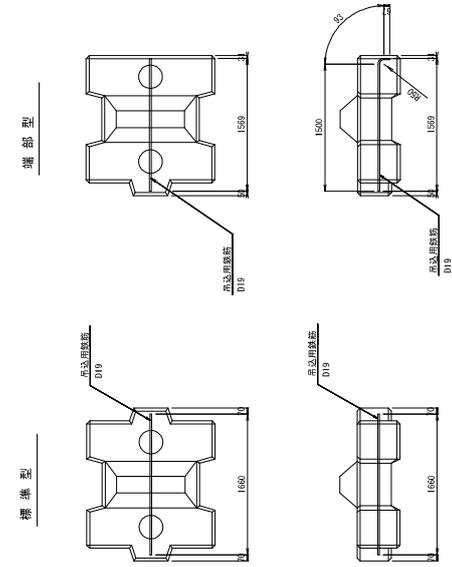
年度	図番	番号	/
河川名			
工事名			
所属地名			
図面名	ストーンブロッック1t突型 単体図		
縮尺	作成年月		
大阪府富田土木事務所			

ストーンブロック2t突型 単体図

S=1:30

吊込用鉄筋詳細図

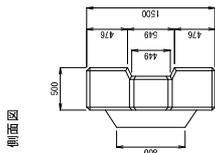
標準型



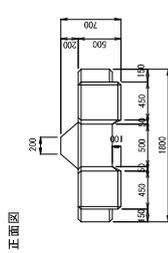
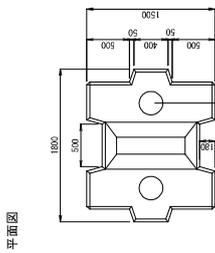
■引張強度表

鉄筋の種類	径 (mm)	鉄筋長 (m)	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)
縦筋	19	1,660	2,25	3,74

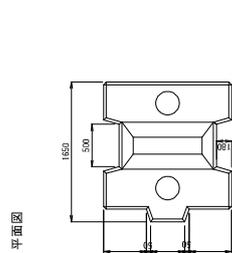
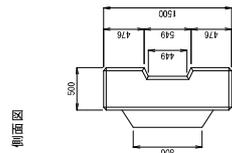
標準型



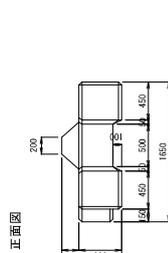
端部型



標準型



端部型



■質量表

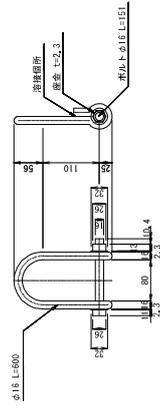
規格	種類	質量 (kg)	コウロク体積 (m ³)	空積質量 (kg)	実積質量 (kg)
2t突型	標準型	2,29	0,177	7,01	3,74
	端部型	2,16	0,150	6,86	3,74

年度	図面番号	/
河川名		
工事名		
所属地		
図面名	ストーンブロック2t突型 単体図	
縮尺	S=1:30	作成年月
大阪府富田土木事務所		

ストーンブロック用連結金具詳細図 φ16

※突型・平型とも連結方法は同じです
 ※埋部型は挿入鉄筋の本数は3本となります

●連結金具詳細図 S-1.5

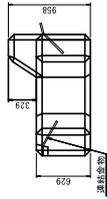
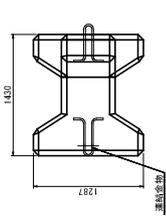


工 番 名	ストーンブロック用連結金具詳細図φ16		
部 品 名	ストーンブロック用連結金具詳細図φ16		
作成年月日			
階 尺	図号	図説番号	/
会 社 名	大塚信濃田土木事務所		
担当者名			

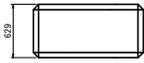
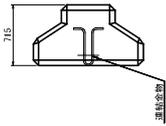
アクモン (十字平型・下半型)

S=1:30

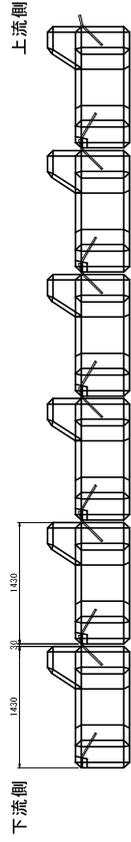
十字平型



下半型



断面図

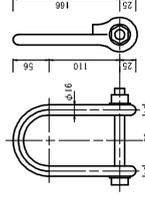
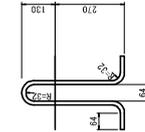


アクモン (連結金具)

U2金具
φ16、L=990mm、W=1.565kg

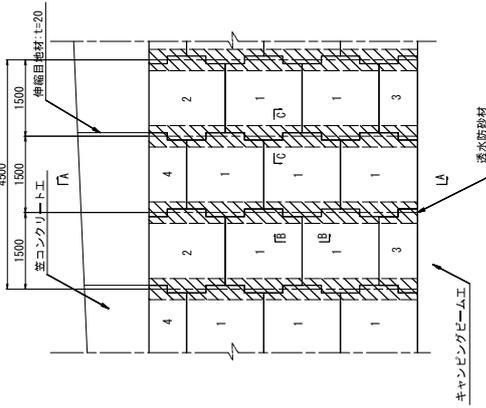
S=1:10

シャックル
φ16 S=1:4

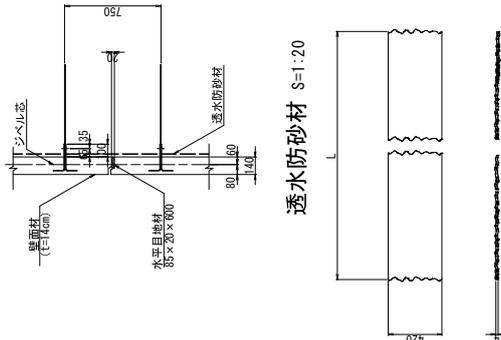


2号帯鋼補強土壁工構造図 (1)

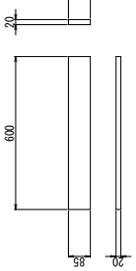
スキン組合せ一般図 S=1:50



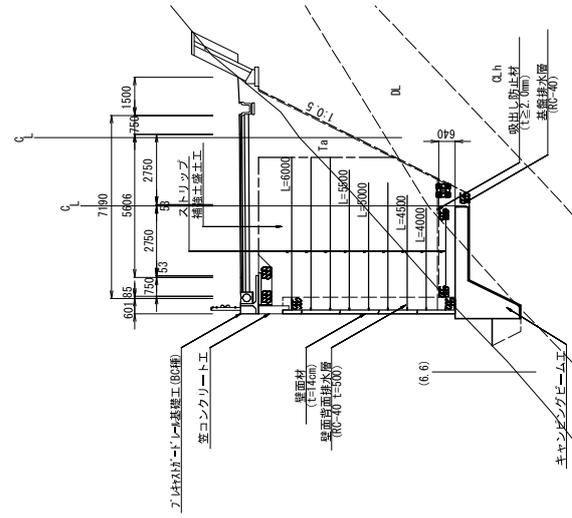
B-B断面図 S=1:20



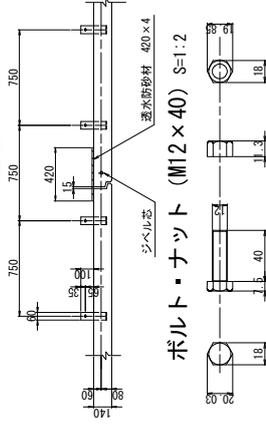
水平目地材 S=1:10



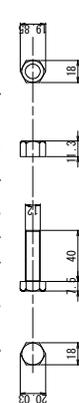
A-A断面図 S=1:100



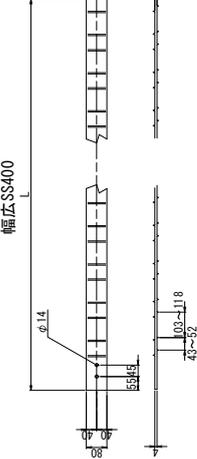
C-C断面図 S=1:20



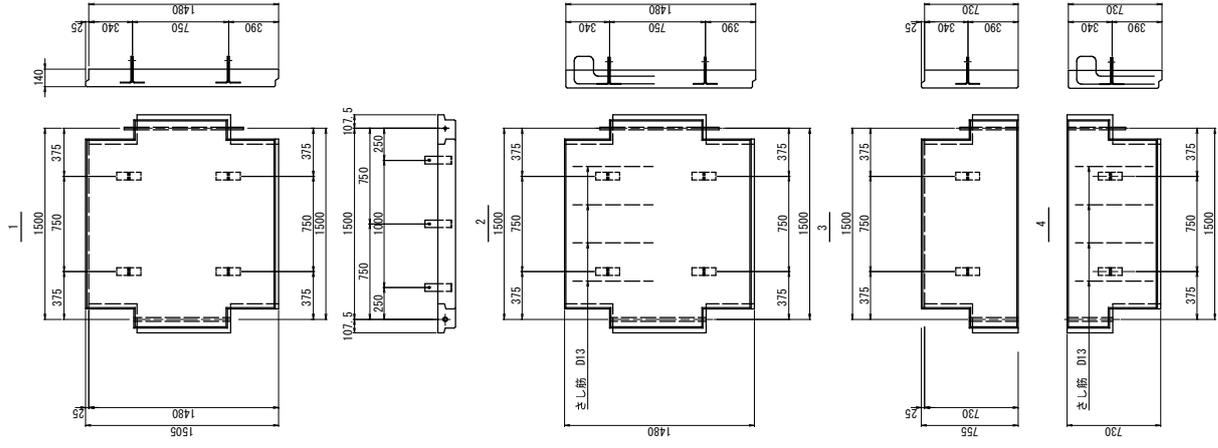
ボルト・ナット (M12×40) S=1:2



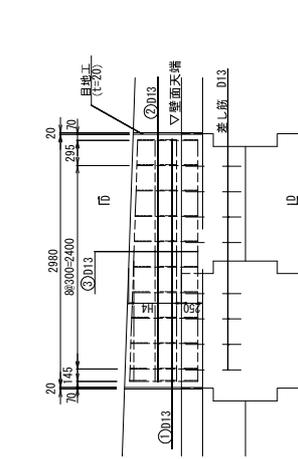
リップ付きストリップ 幅広SS400



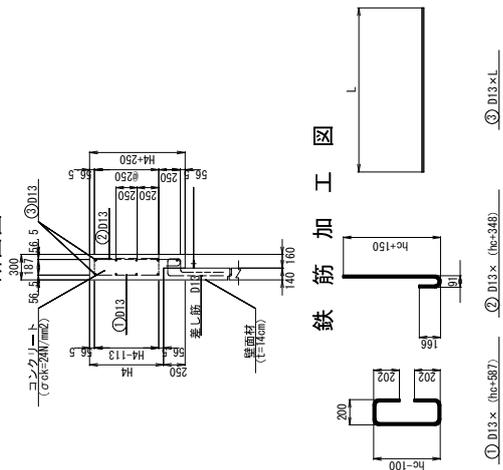
標準スキスタイプ S=1:20



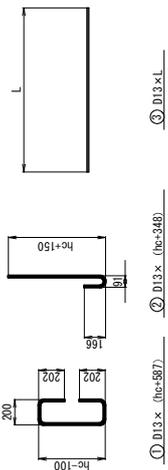
笠コンクリート工配筋図 (背面) S=1:30



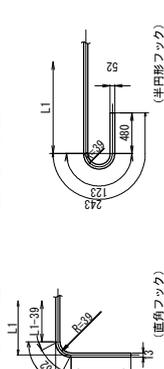
D-D断面図



鉄筋加工図



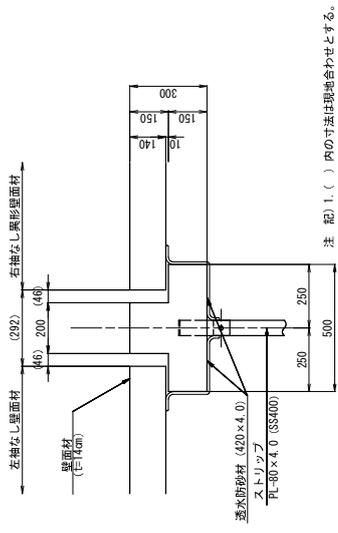
鉄筋曲げ加工図 (参考図)



補強土設計詳細設計	図面番号	16 / 27
平成 28 年度	安威川ダム左岸道路	
河川名	安威川ダム左岸道路詳細設計委託	
工事名	茨木市大字生除地内 外	
施工地	2号帯鋼補強土壁工	
図面名	構造図 (1)	製 図示
	大阪府安威川ダム建設事務所	

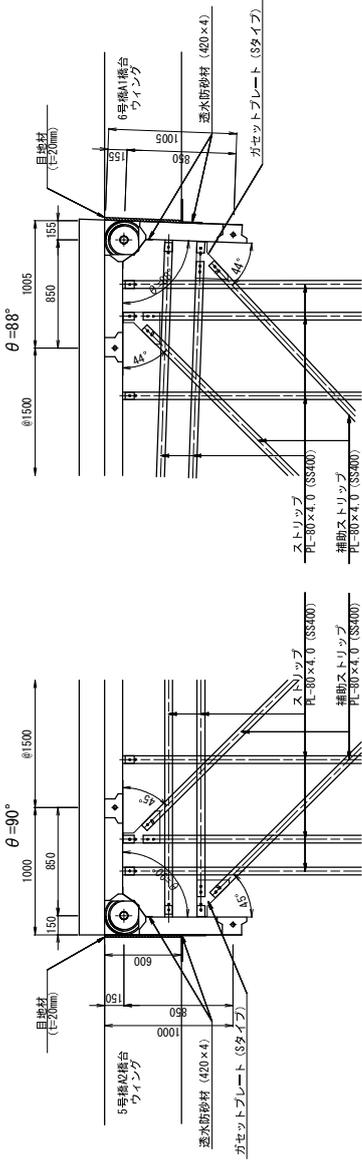
2号帯鋼補強土壁構造図 (2)

鉛直目地材用壁面材詳細図 S=1:10

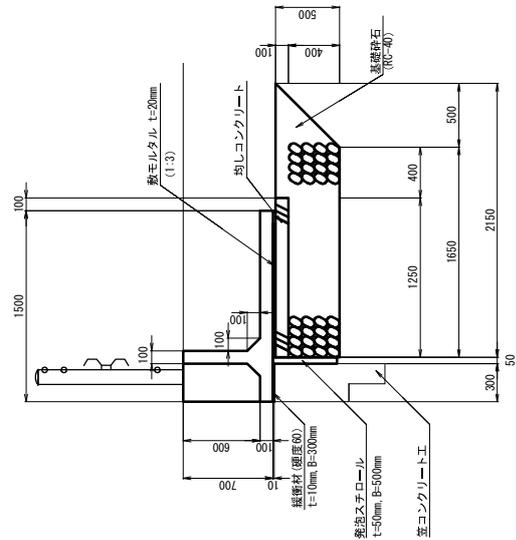


注) 1.() 内の寸法は取増合わせとする。

コーナー壁面材詳細図 S=1:20

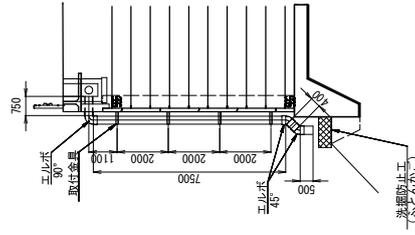


プレキャストガードレール基礎工詳細図 S=1:20

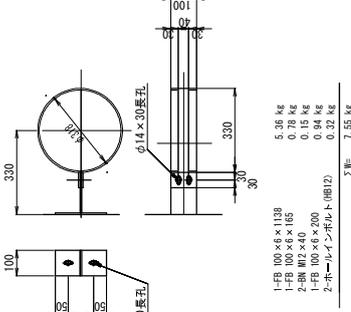


縦排水工詳細図

断面図 S=1:100



取付金具部材図 S=1:10



寸法・材料表

ブロック長	均しコンクリート (m3)		コンクリート		材料表 (10㎡当り)		防壁構造別 R、C1壁	
	σ _{ok} =18N/mm ²	型枠 (m ²)	RC-40	t=10mm, B=300mm	コンクリート (m ³)	発泡スチロール (m ²)	発泡スチロール (m ²)	レシキ青龍舞瓦 (枚)
2000	5.0	1.25	1.00	8.25	3.00	0.25	0.22	

数量表

名称	規格	単位	数量	単位	概要
直管	VP φ300	m	9.2	0.75×7.50×0.40×0.50	
エルボ	VP φ300用	個	1		
取付金具	45°	個	2		
ストレンガー	高さ100mm×幅1200mm	m	30.2	4箇所	

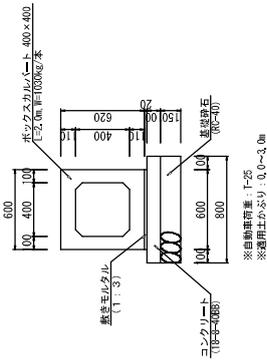
※ 鋼材に依りて重量メッキ処理を施す

補強土壁詳細設計

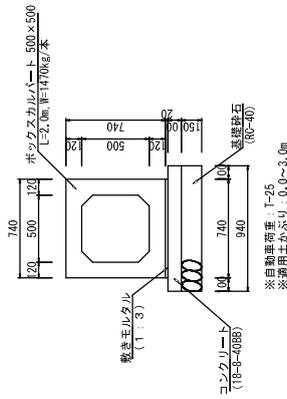
河川	安城川ダム左岸道路	図面番号	17 / 27
事業名	安城川ダム左岸道路詳細設計委託		
施工地	茨木市大字生原地区内		
実施者	2号帯鋼補強土壁工 構造図(2)	製	図示
図面名	大阪府安城川ダム建設事務所		
年度	平成 28 年度		

道路施設構造図

ボックスカルバート S=1:20
(400×400)

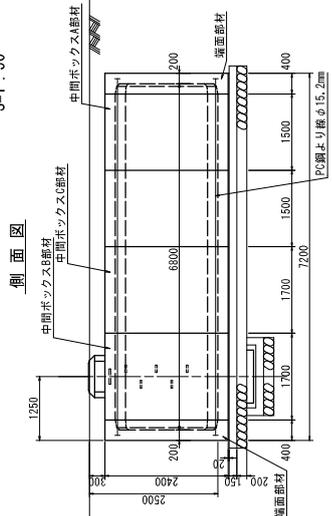


ボックスカルバート S=1:20
(500×500)

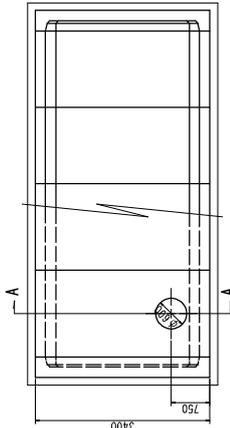


防火水槽構造図

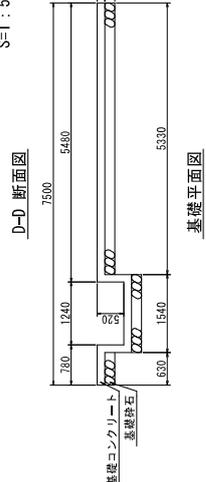
組立図 S=1:50



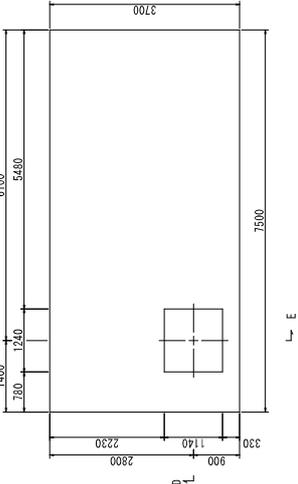
側面図



基礎図 S=1:50



D-D断面図



E-E断面図



止水仕様(防水工)材料表

種別	算式	数量
コーティング材	$(2.80 \times 21.60 + 4.67 \times 20.1) \times 6.40 \times 24.20 + (2.80 \times 21.60 + 4.67 \times 20.1) \times 5.00 \times 24.20 + 2.7 \times 1.42$	61.0 m ²
水	$0.02 \times 21.60 \times 1.5 + (2.80 \times 21.60 + 4.67 \times 20.1) \times 5.00 \times 24.20 + 2.7 \times 1.42$	49.7 m
体	$(2.80 \times 21.60 + 4.67 \times 20.1) \times 5.00 \times 24.20 + 2.7 \times 1.42$	51.3 m
シール材	$(2.80 \times 21.60 + 4.67 \times 20.1) \times 2 \times 1$	3.6 m
調整用部材	$(2.80 \times 21.60 + 4.67 \times 20.1) \times 2 \times 1$	4.7 m
コーキング材1	$(2.80 \times 21.60 + 4.67 \times 20.1) \times 2 \times 1$	0.001 m ³
ハックン材		47ヶ

基礎数量表

種別	算式	数量	備考
基礎コンクリート	$(2.80 \times 21.60 + 4.67 \times 20.1) \times 1.44 \times 10.15 \times 0.20 \times 20.15$	4.581 m ³	σck=18.0 N/mm ²
基礎基石	$2.1 \times 3.5 \times 3.0 \times 0.15 \times 4.67 \times 1.44 \times 10.15 \times 0.20 \times 20.15$	8.934 m ²	
基礎基石	1.80×1.70	27.750 m ²	t=0.20m
敷モルタル	$(2.80 \times 21.60 + 4.67 \times 20.1) \times 1.44 \times 10.15$	0.461 m ³	

防火水槽明細書

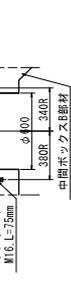
型式番号	防-00001-1号		
型式記号	140-1-A-3,0,1/1.0		
容量	40.16 m ³		
設計所重	10.0 kN/m ²		
設置場所	1型		
土被り厚	0.300 m		
形状	縦横ボックスカルバート型		
材	規格または算式	数量	備考
中間ボックスB部材	3.4m x 2.4m x 1.5m	2個	
中間ボックスC部材	3.4m x 2.4m x 1.7m	1個	
中間ボックスE部材	3.4m x 2.4m x 1.7m	1個	
基礎部材	3.4m x 2.4m x 0.4m	2個	
集水ビット部材	PH50 (1.04m x 1.04m x 0.50m)	1個	
調整用部材	φ0.83m, R1/200	1個	
PC鋼より縁	φ15.2mm, L=7.8m	4本	SNPRT3
定着具	アンカープレート、グリッド	8組	基礎部材用
グラウト	$0.123 \times 1.0 \times 0.74 \times 0.08 \times 0.07 \times 0.07 \times 18$ $-0.02 \times 0.08 \times 24 \times 0.80 \times 0.74 \times 0.07 \times 18$	0.047 m ³	σck=30 N/mm ²
緊締ボルト	M16 L=0.300m(ナット、垫金付)	3組	
人孔鉄蓋	φ600	1組	
六角ボルト	M20 L=200mm(ワッシャー付)	4組	
GキャップE	-	8組	

※内面防水は、コーティング仕様とする。
※日本消防設備安全センターの認定品である。

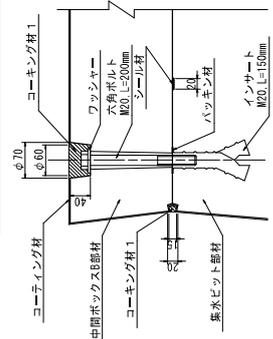
継手部詳細図 S=1:5



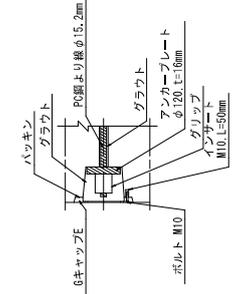
B部詳細図 S=1:20

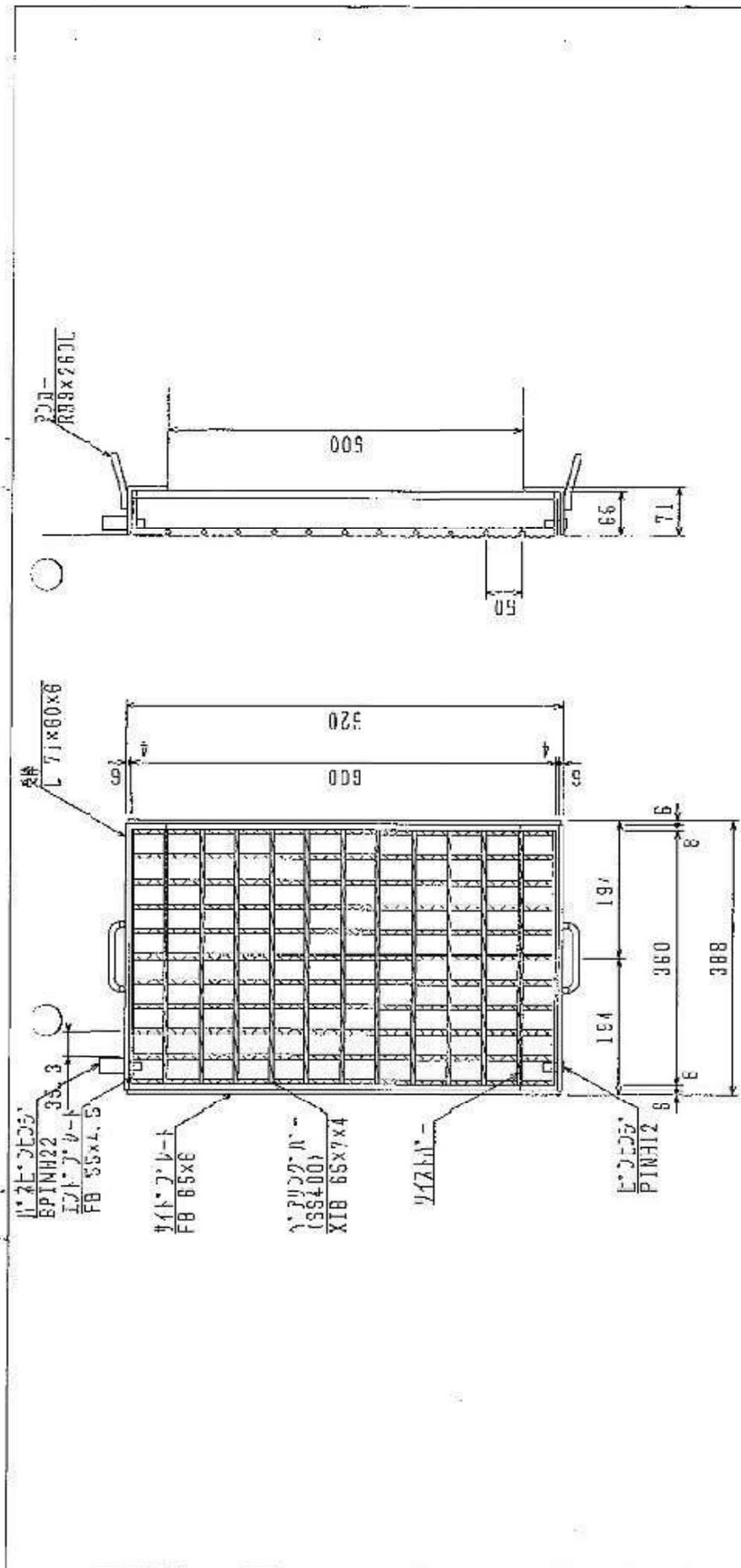


C部詳細図 S=1:20



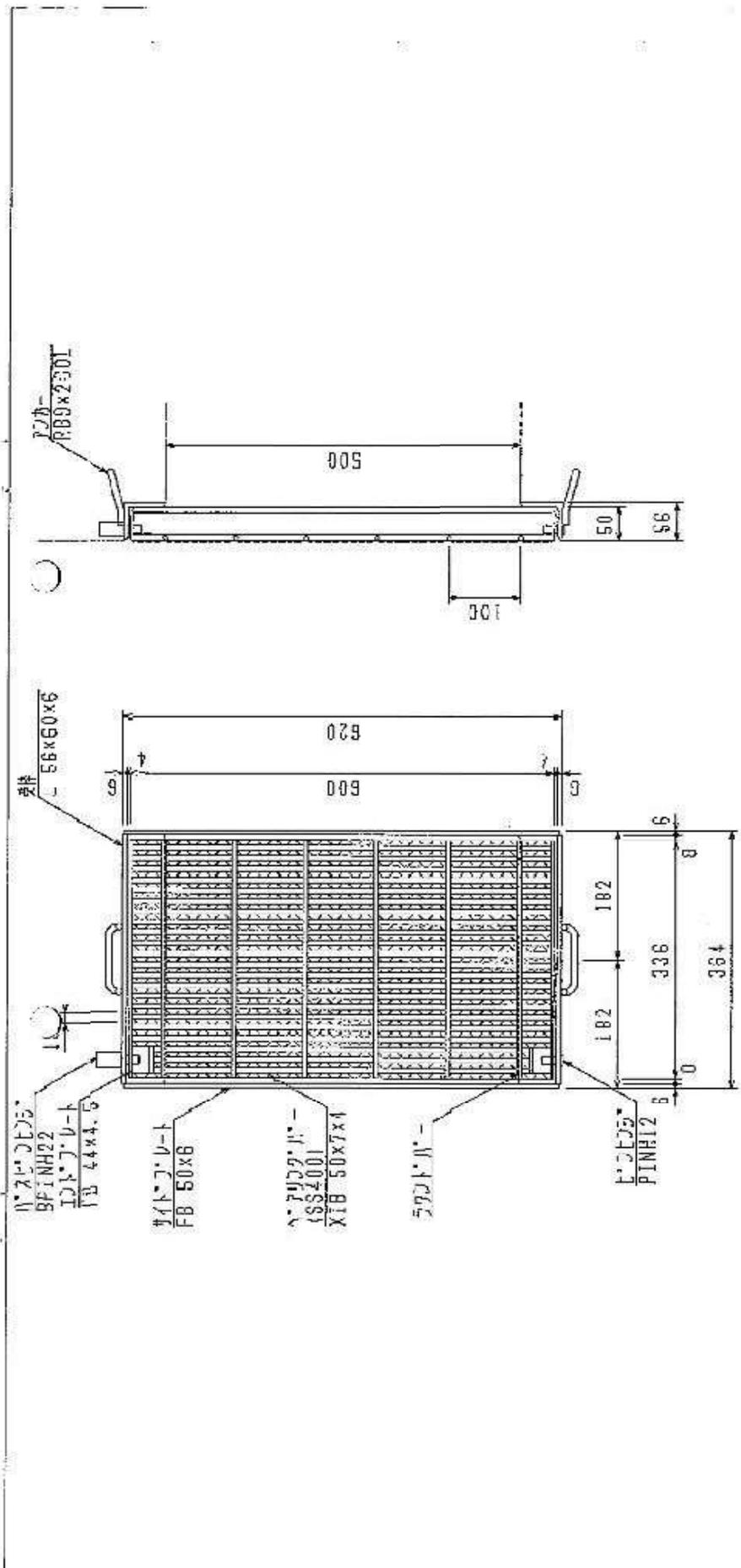
PC鋼より縁定着部詳細図 S=1:10





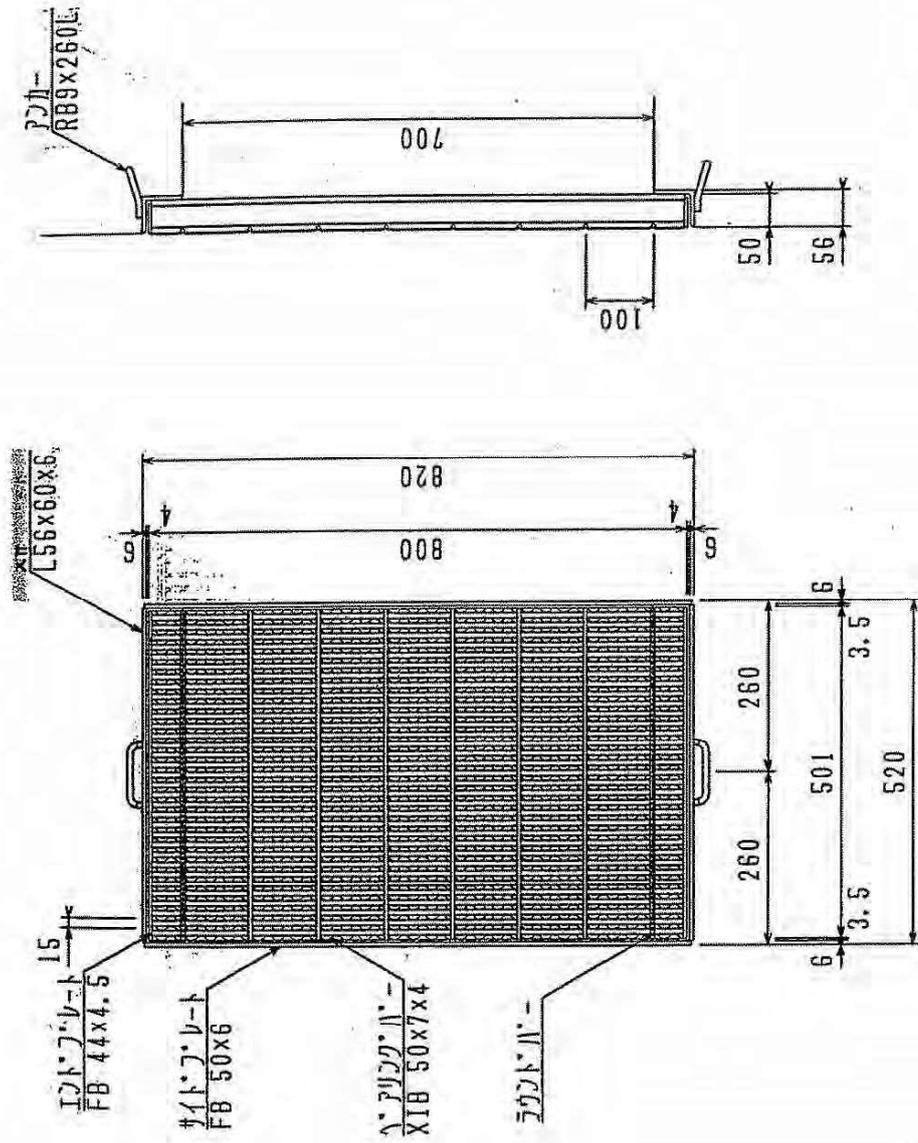
記 号
 1. 型式 XSXE65 イボイボ50
 2. 製造会社
 グレーチンク：亜細ヤツキ
 受 付 : 黒ペイント

採 取 者		三 事 番 号
換 受 者		網 匠 番 号
作 図 者		荷 重 : T-25 材 穴 : 350×500 用 110° 閉 閉 式
製 図 日	2013/03/02	
尺 度	1/3	
採 取 所 図 号		株 式 会 社 ダ イ ク ロ



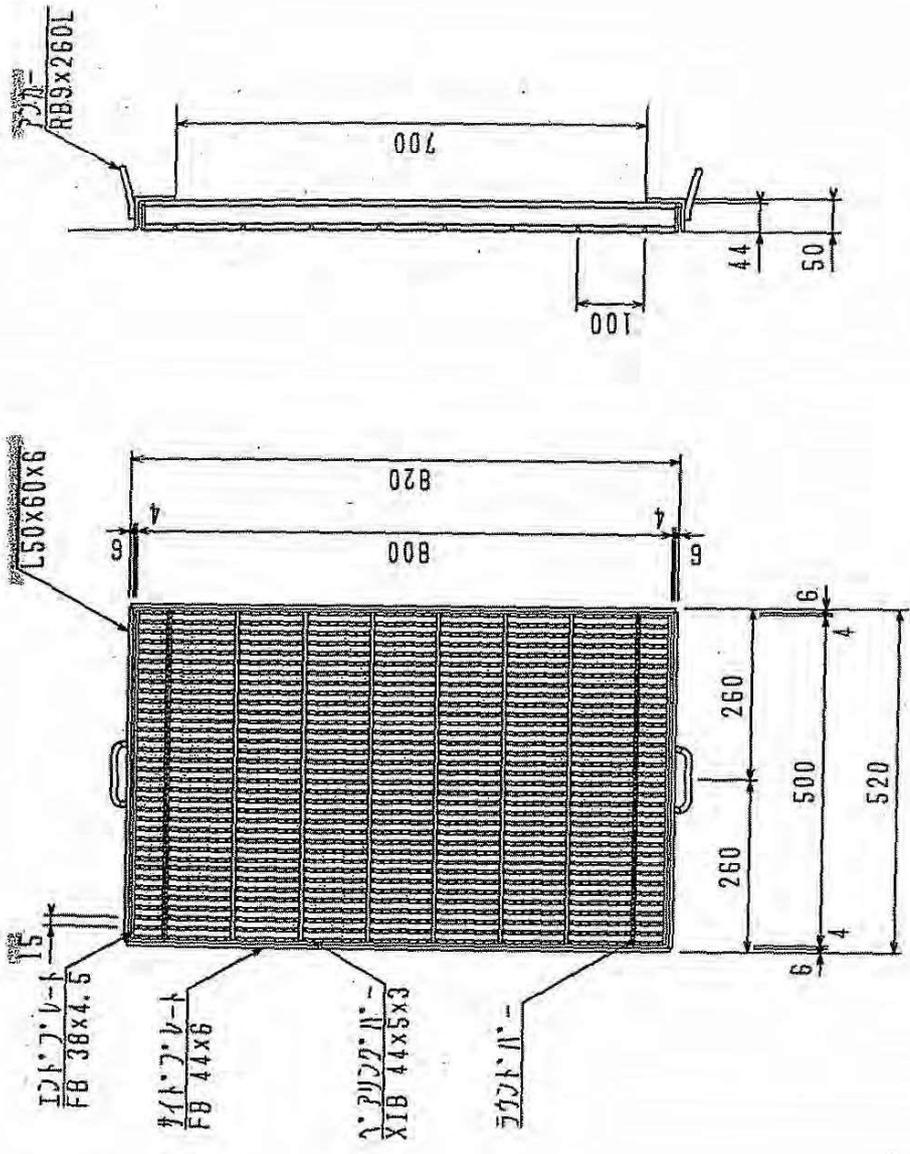
1. 型式 HMSO イホイホ 細目
 2. 家内処理
 プレーンア : 亜鉛メッキ
 受 付 : 黒ペイント

承認者		工番番号	
検図者		区画番号	
作図者		荷重 : T-25	
製図日	2013/09/02	柱穴 : 50×500 用	
尺度	1/8	110° 閉閉式	
管業所四番		株式会社	ダイヤル



記事
 1. 型式 HD50 イボイボ細目
 2. 表面処理
 グレーチング：亜鉛メッキ
 受 枠：黒ペイント

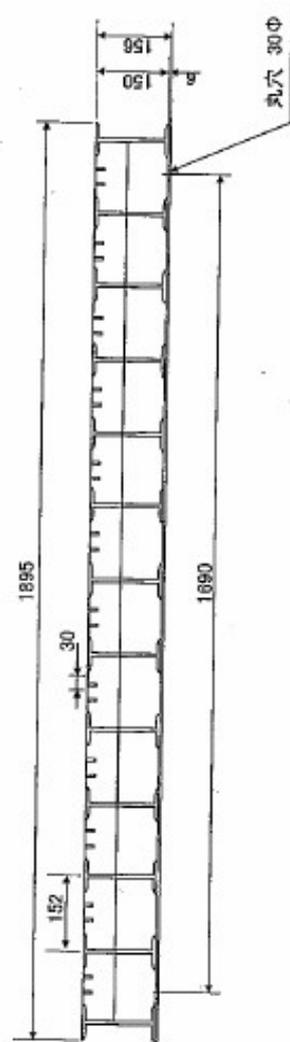
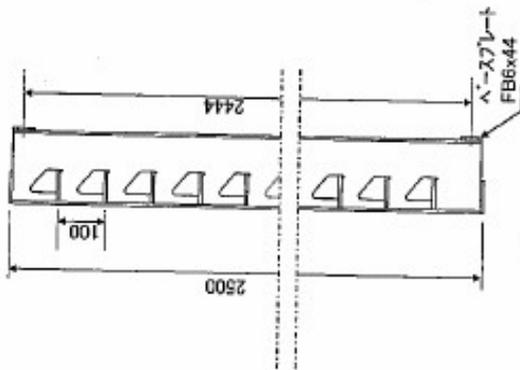
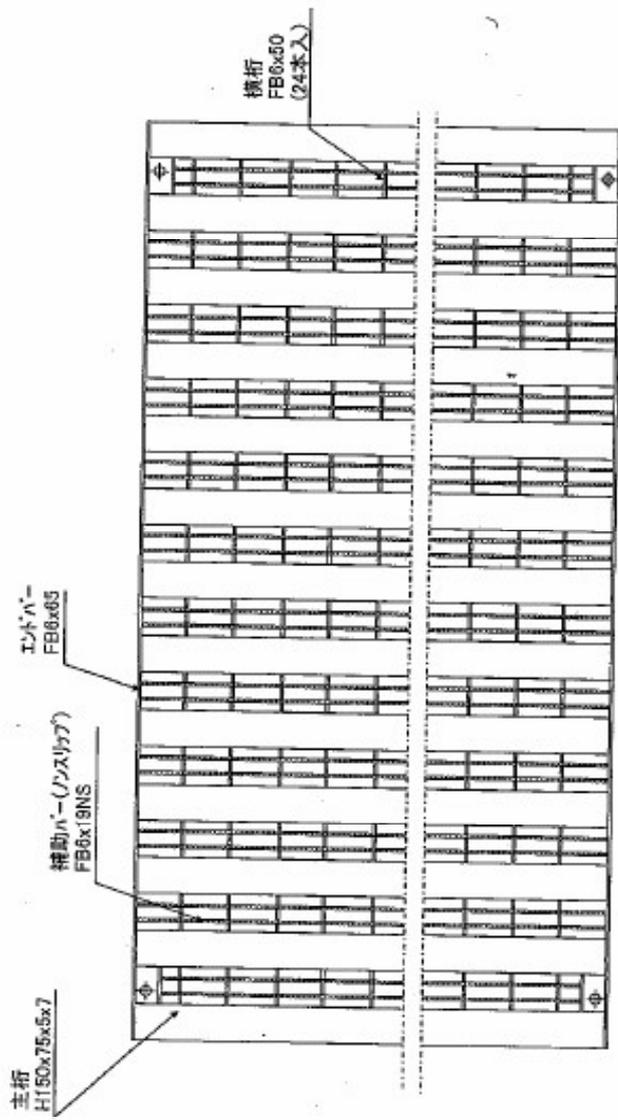
承認者		工事番号	
検図者		図面番号	
作図者		料穴 500 x 700 用	
製図日	2005/07/22	T-25 落とし込み	
尺度	1/11	受枠 = 2CA2FB	
営業所図番		株式会社 ダイワ	



記事
 1. 型式 HD44 イボイボ細目
 2. 表面処理
 グレーチング：亜鉛メッキ
 受 枠 : 黒パイント

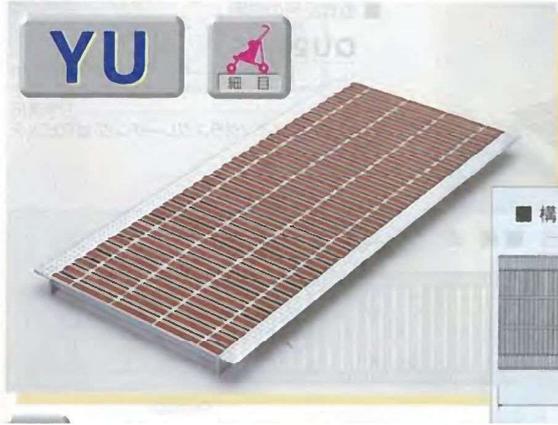
承認者		工事番号	
検図者		図面番号	
作図者		樹穴500x700用	
製図日	2005/07/22	T-6 落とし込み	
尺度	1/11	受枠=2CA2FB	

営業所図番 株式会社 ダイワレ



仕様	T-20 Hプレート補助バーノンスリップ
サイズ	2500x1895x150/156

U字溝 細目



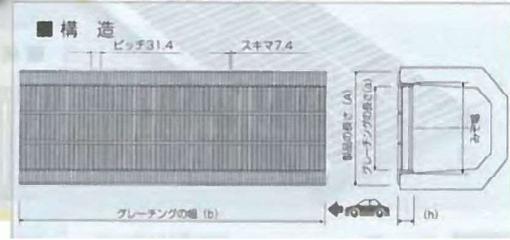
YU



■ 型式記号の説明

YU25-15

- みぞ幅 = 150mm
- ペアリングバー高さ
- U字溝用
- ウイングラスグレーティング 細目ピッチ



みぞぶた 細目 ボルト式エコノミー



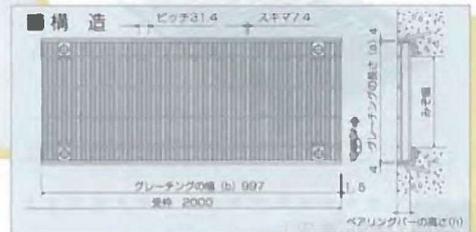
■ 型式記号の説明

YC32R20

- みぞ幅=200mm
- 騒音低減用ゴム
- ベアリングバー高さ
- ボルト固定
- ワイングラスグレーチング 細目ピッチ

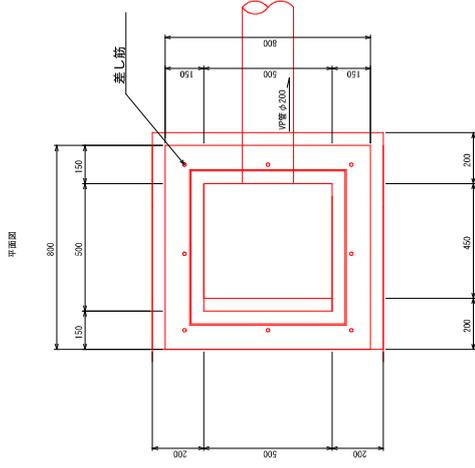
WY32R

- h=32mm
- ボルト固定式受枠

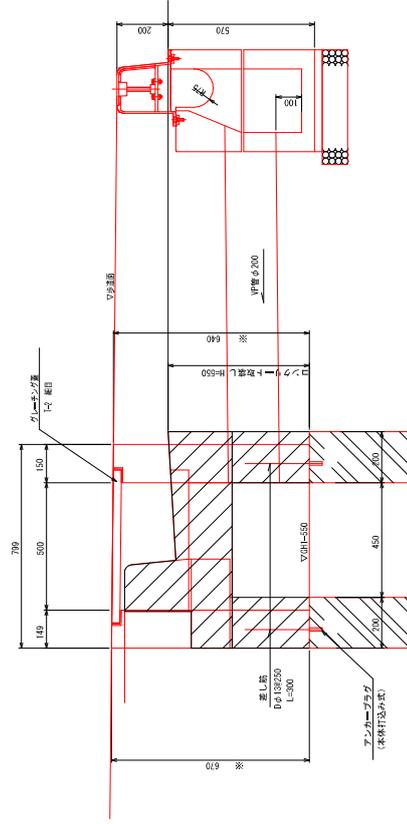


グレーチング蓋 参考図

高上げ専用グレーチング蓋
500×500（標準）



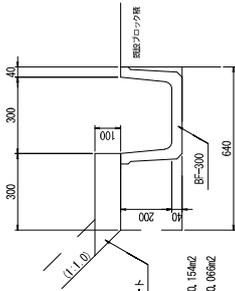
前断面 (参考)



※は参考値 (状況及び寸面より確認)

排水工構造図

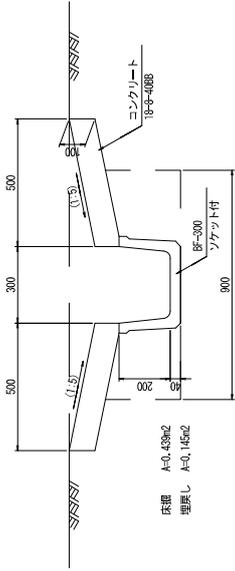
法尻排水工 S=1:10
BF-300



材料表 (10m当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
BF-300		m	10	JIS-A-5372
コンクリート	18-φ-40BB t=100	m ³	0.35	
型枠		m ²	1.0	
床面	土砂	m ³	1.5	
埋戻し	土砂	m ³	0.7	

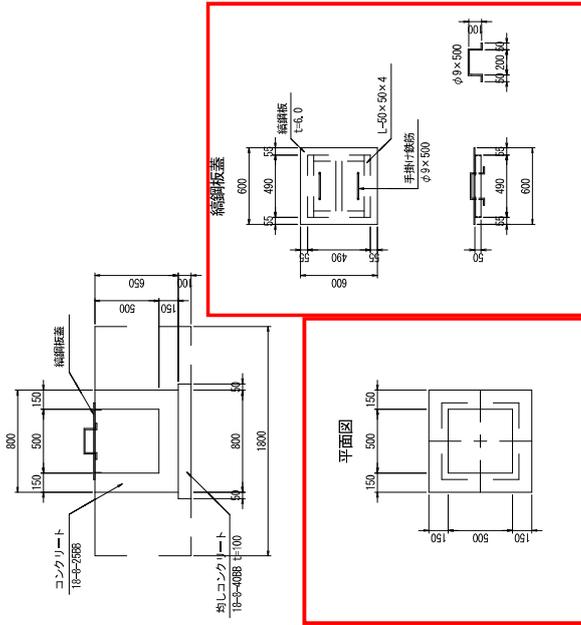
縦排水工 S=1:10
BF-300



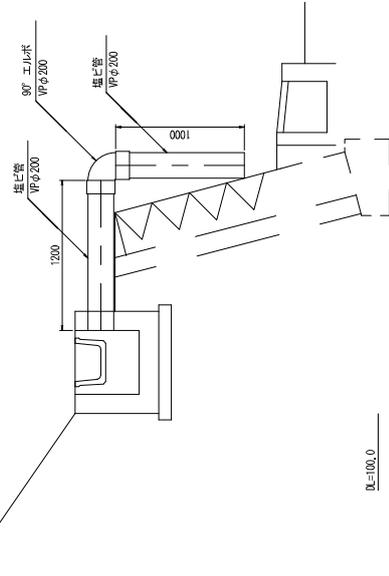
材料表 (10m当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
BF-300(11型)		m	10	JIS-A-5372
コンクリート	18-φ-40BB t=100	m ³	1.0	
型枠	式(m ²)	m ²	1.0(2.0)	
床面	土砂	m ³	4.4	
埋戻し	土砂	m ³	1.5	

集水枡 S=1:20
G2-B500-L500-H600



排水管構造図 S=1:20
NO. 0-5. 0付正



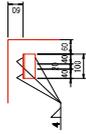
D=100.0

数量表 (1箇所当り)

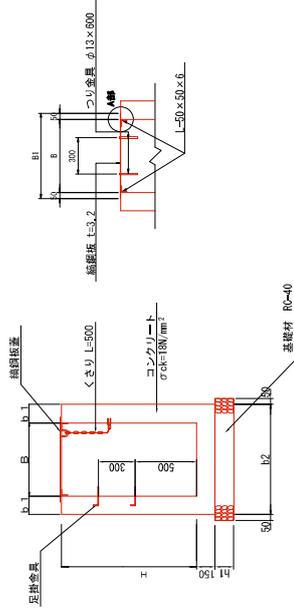
名称	規格	単位	数量	摘要
コンクリート	18-φ-20BB	m ³	0.29	
型枠		m ²	3.1	
かしコンクリート	18-φ-40BB t=100	m ²	0.81	
鋼筋板蓋	500×500明	枚	1	滑り止めメッキ
床面	土砂	m ³	2.4	
埋戻し	土砂	m ³	1.0	

排水工構造図(8) S=1:20

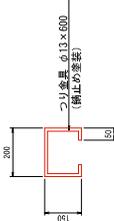
A部詳細図 S=1:10



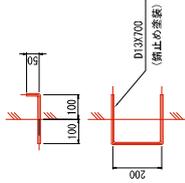
集水柵 G2型



つり金具 S=1:10



足掛金具 S=1:10

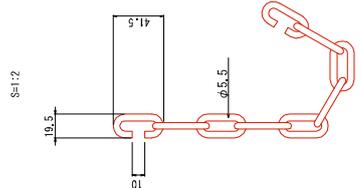
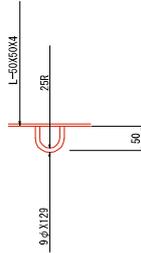


H=1.0m以上に使用

鉄鋼板寸法表

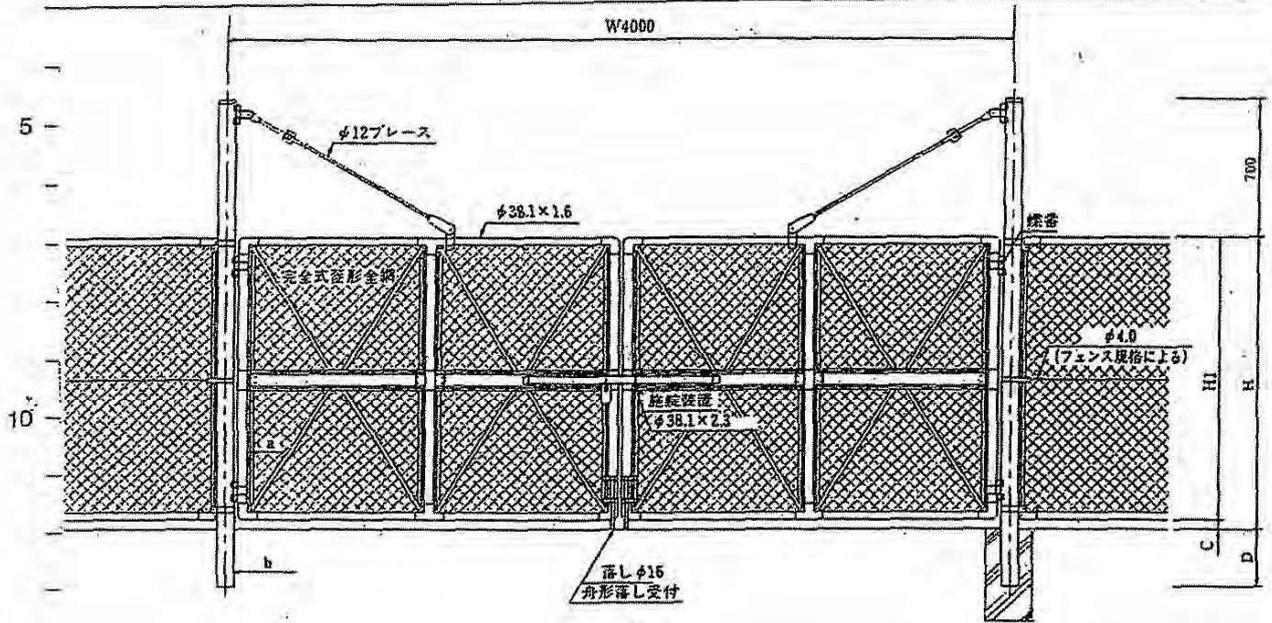
部号 (L-B)	B	L	BI	LI
G2-B500-L500-H	500	500	600	600
G2-B800-L800-H	800	800	900	900

くさりの詳細図 S=1:5



年度	平成29年度	番 号	79 / 133
路線名	安福川ダム左岸道路		
工事名	安福川ダム 左岸道路詳細設計委託		
工事場所	茨木市大字生身地区内 外		
図面名	排水工構造図(8)		
縮 尺	1:20	発行 年度	平成 30年 3月
大阪府安福川ダム建設事務所			

○ 門扉部 (W=4000mm)



$H = 1800 \text{ mm}$

基礎部 1500mm X 700mm

$H_1 = 1750 \text{ mm}$

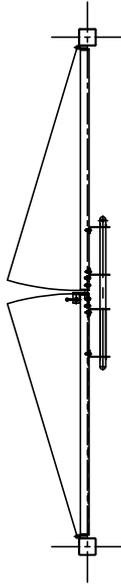
$a = \phi 50.8 \times 1.6$

$b = \phi 89.1 \times 3.2$

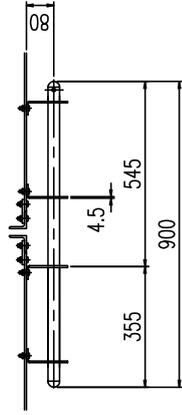
$C = 50 \text{ mm}$

$D = 500 \text{ mm}$

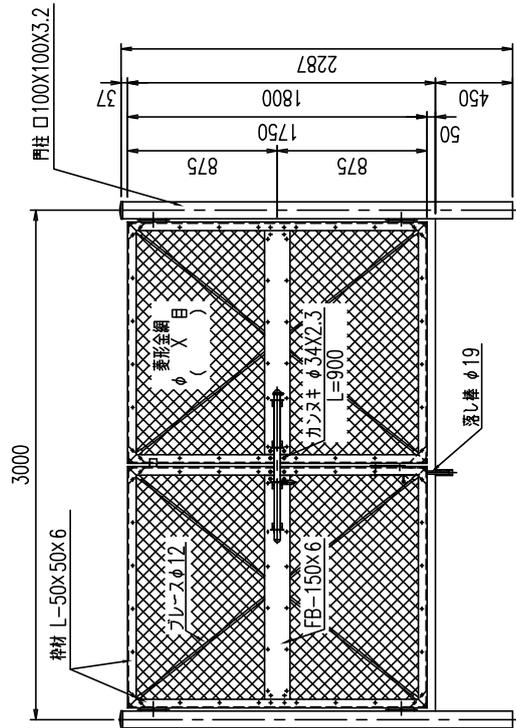
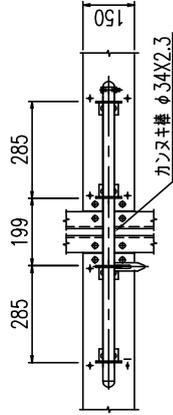
平面図 S=1/20



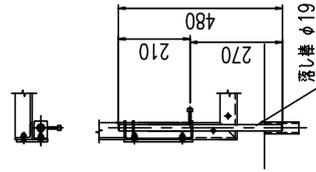
カンヌキ取付図 S=1/10



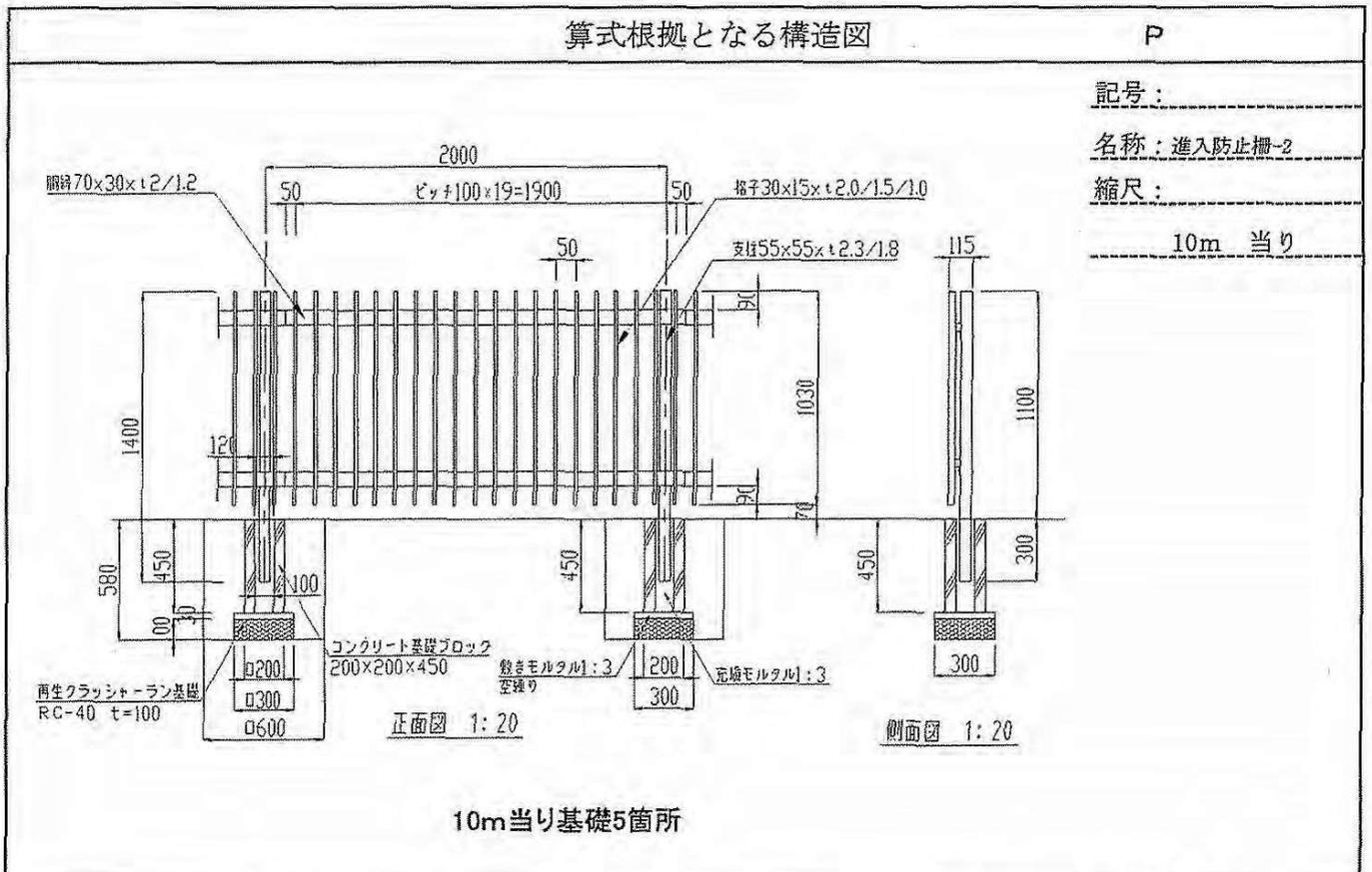
正面図 S=1/20



落し棒取付図 S=1/10



材料計算書

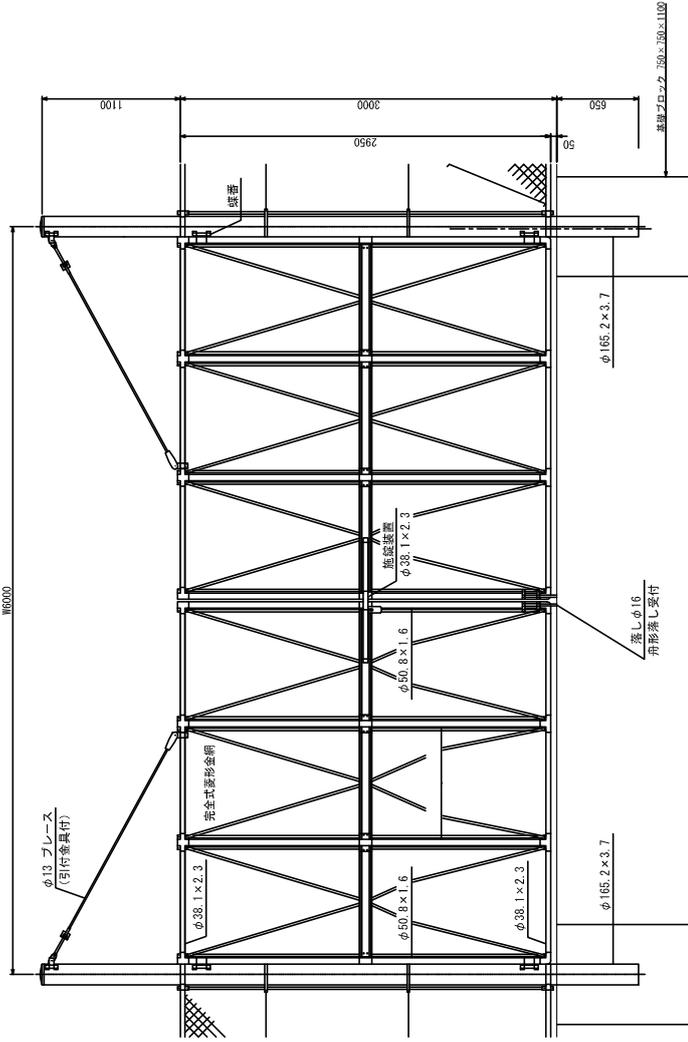


記号: _____
 名称: 進入防止柵-2
 縮尺: _____
 10m 当り

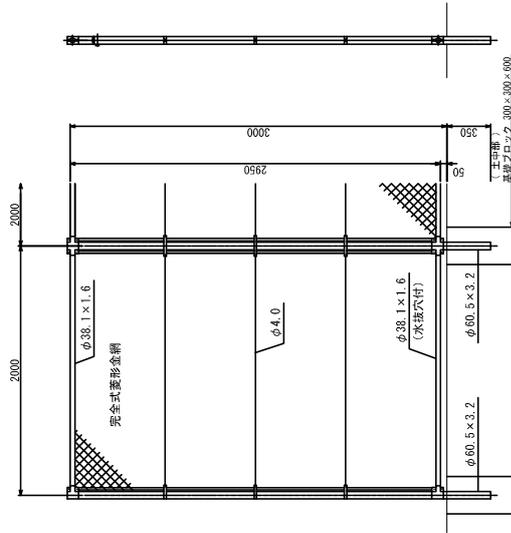
名 称	規 格	算 式		単 位	数 量
床掘り		$0.6 \times 0.6 \times 0.58 \times 5 =$	1.044	m ³	1.04
埋戻し		床-残		m ³	0.90
残土処分		$(0.3 \times 0.3 \times 0.13 + 0.2 \times 0.2 \times 0.45) \times 5 =$	0.149	m ³	0.14
床付け		$0.3 \times 0.3 \times 5 =$	0.450	m ²	0.45
再生クラッシャーラン基礎	RC-40 t=100	$0.3 \times 0.3 \times 5 =$	0.450	m ²	0.45
敷モルタル	1:3空練り	$0.3 \times 0.3 \times 0.015 \times 5$	0.0068	m ³	0.006
コンクリート基礎ブロック	200 × 200 × 450	$10 / 2.0 =$	5.000	個	5.00
充填モルタル	1:3	$((0.1 \times 0.1 + 0.12 \times 0.12) \times 0.45 / 2 - (0.055 \times 0.055 \times 0.3)) \times 5$	0.023	m ³	0.02
柵本体	アルミ製 H=1100	10	10.00	m	10.00

構造図 S=1:20

両開き門扉 H300×W600



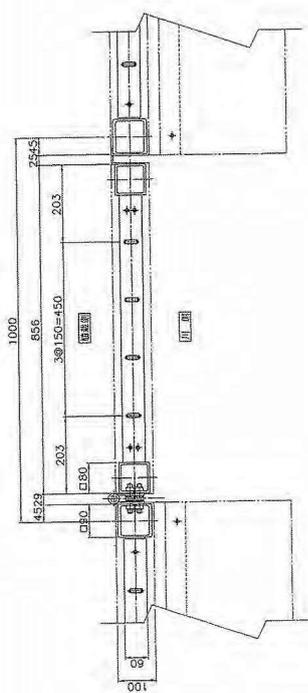
ネットフェンス (H=3000)



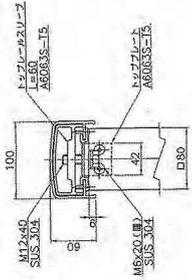
年度	事業名
所属社名	
路線名	
工事名	道路改良工事
図面種別	
縮尺	1:20
設計	
監工	
大阪府枚方土木事務所	

門扉詳細図 S=1/6.

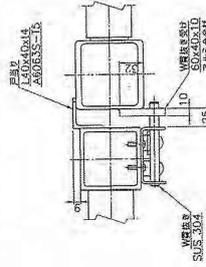
断面B-B



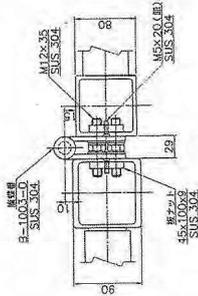
断面C-C S=1/3



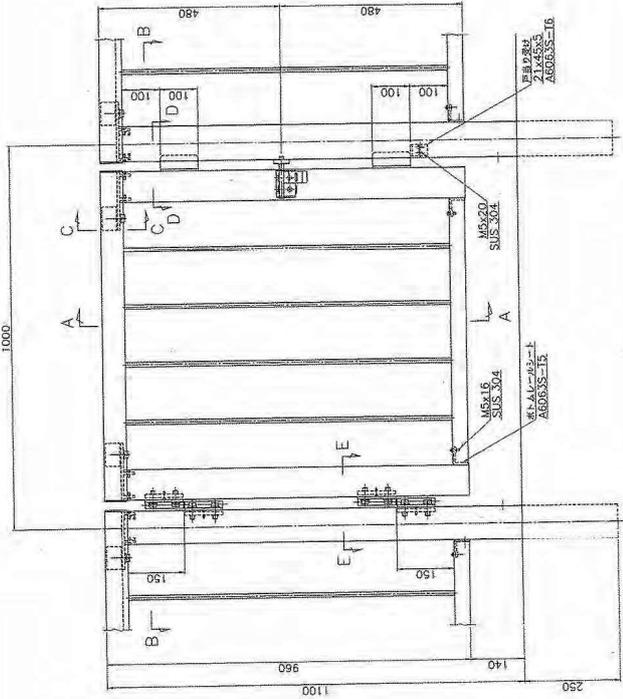
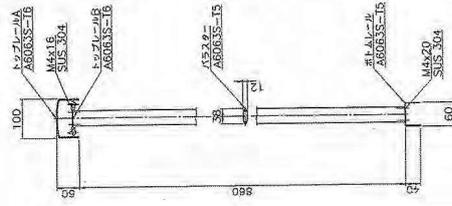
断面D-D S=1/3



断面E-E S=1/3



断面A-A



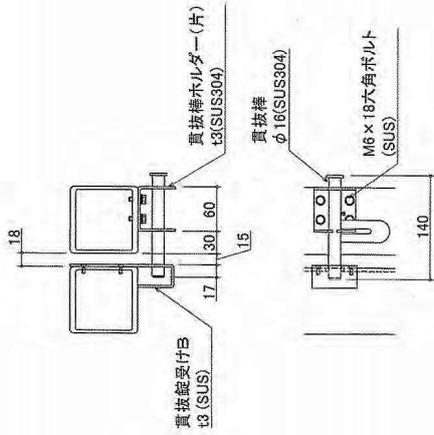
注 1. 本門扉の取付に際しては、取付位置に誤差が生じないよう、必ずしも取付位置を厳密に調整する。また、SUS304製の取付金具を使用する。

KIF 門扉

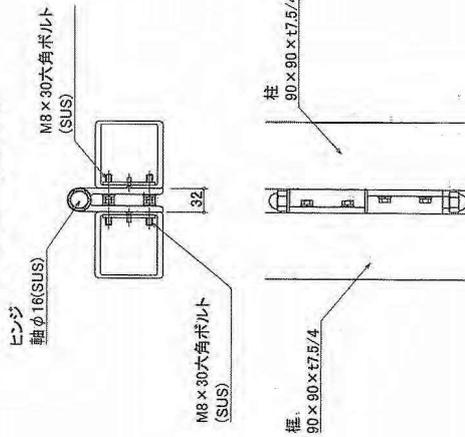
(片開き・内開き・外錠・内落とし棒)

部材名	規格・材質
縦框	JIS H 4100 A6061S-T6
上棧	JIS H 4100 A6063S-T5
下棧	JIS H 4100 A6063S-T5
格子	JIS H 4100 A6063S-T5
門柱	JIS H 4100 A6061S-T6
ボルト類	JIS B 1180

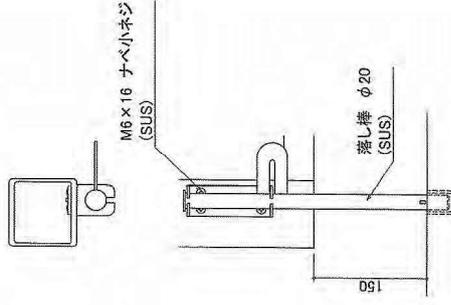
錠部詳細図



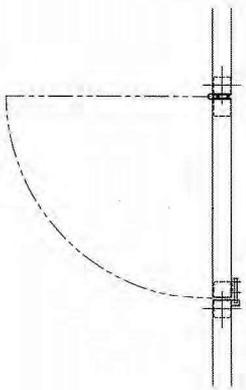
ヒンジ部詳細図



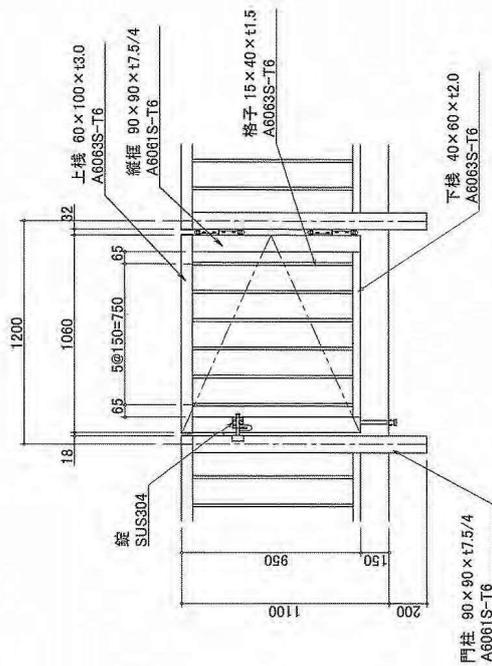
落とし棒部詳細図 (内観)



平面図

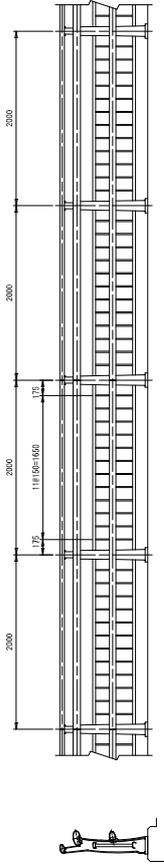


正面図

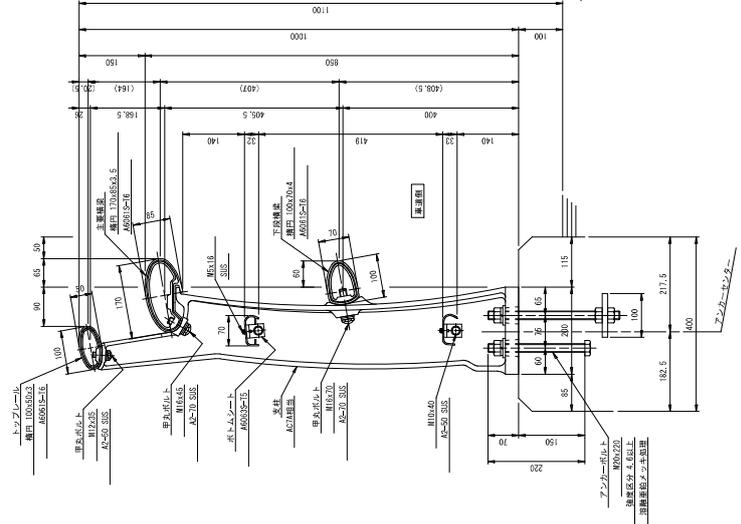


防護柵詳細図 (その2)

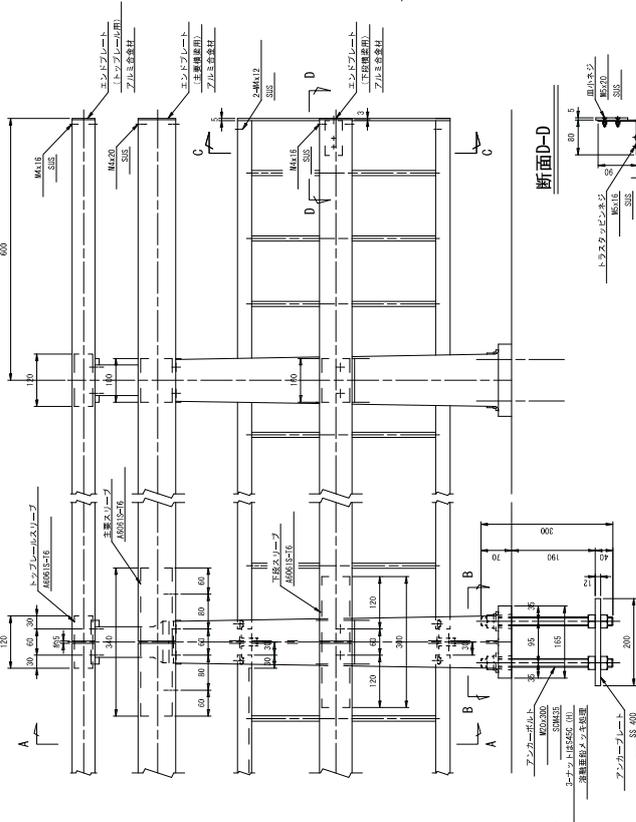
姿図 S=1/30



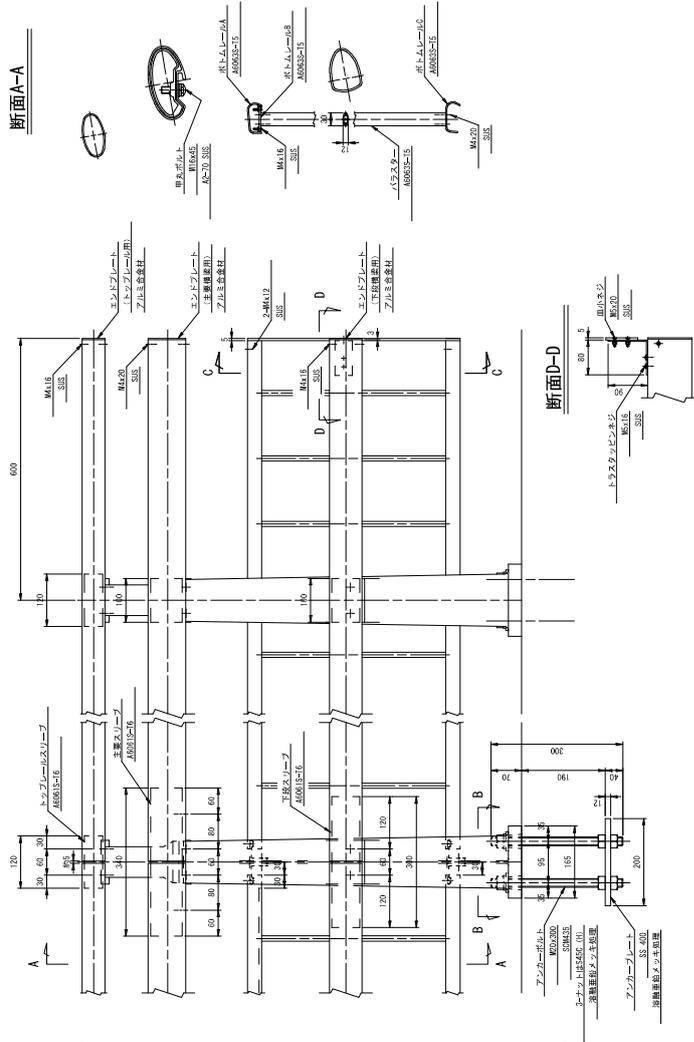
高欄兼用
車両防護柵取付詳細図 S=1/6
種別 C種 NO-12EB-10



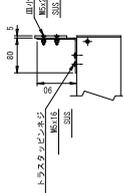
継手部



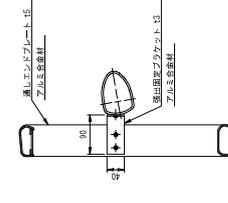
端部



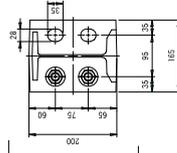
断面D-D



断面C-C



断面B-B



- 註記
1. 表面仕様
主梁側面、上下面は黒色、主要スクリュー、下段スクリュー用、引付器具はジヤコット製をとし、
支柱は亜鉛めっき鋼管、ボールジョイントは黒色、フェリスクリュー用のはねは亜鉛めっき鋼管とし、引付具は亜鉛めっき鋼管とする。
 2. 支柱径は本図記載の通りとし、フェリスクリュー用のはねはフェリスクリュー用のはねと同一の径とする。
 3. 本図記載のフェリスクリュー用のはねは、フェリスクリュー用のはねと同一の径とする。
 4. 本図記載のフェリスクリュー用のはねは、フェリスクリュー用のはねと同一の径とする。
 5. 本図記載のフェリスクリュー用のはねは、フェリスクリュー用のはねと同一の径とする。

防護柵詳細図(その1)

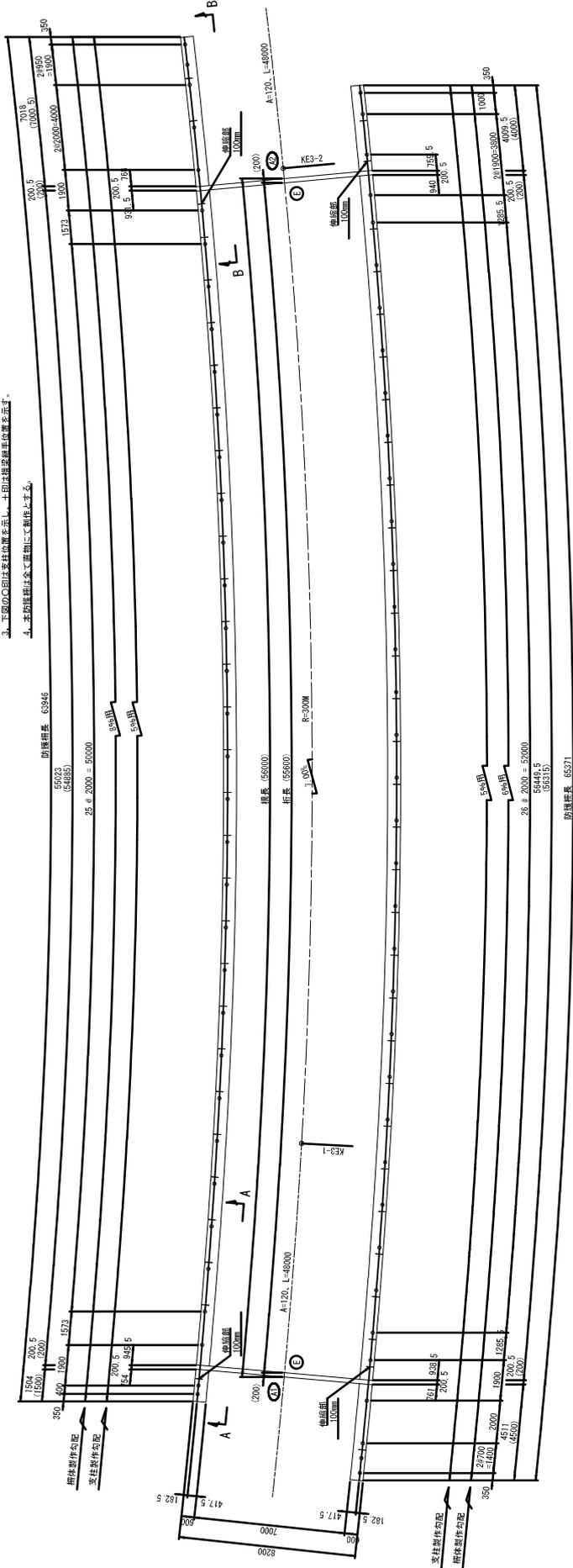
平面図 S=1/100

注記 1. 記入は頂上はアンカーボルト埋込みとし、要裏で表示。

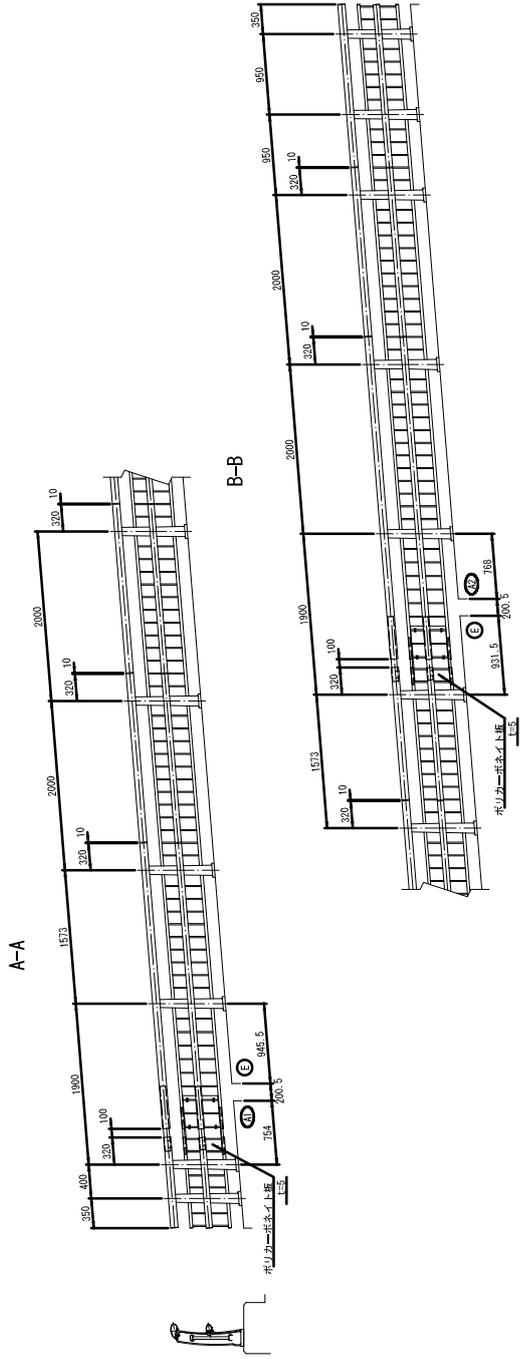
2. () 内寸法は水直長を示す。

3. 工面の日付を詳細図書に示し、上印は設置標準仕図を示す。

4. 本図詳細は全て量物にて制作とする。



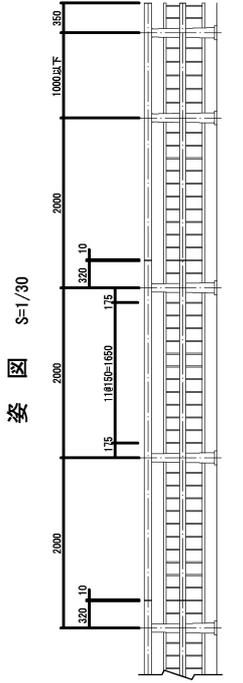
姿図 S=1/30



防護柵詳細図(その2)

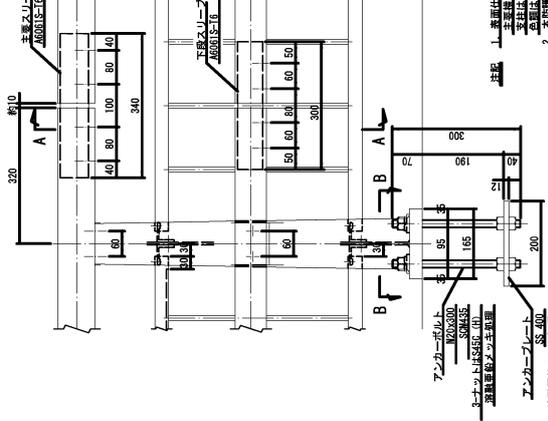
材料表

部番	名 称	寸 寸	数 量	規 格	JIS 別	材 質	備 考
1	主要部材	φ320	3890.0	3	4.881	18.5Z	170x85x8.5
2	主要部材	φ175	3890.0	3	3.384	13.4Z	89x48x4
3	支柱	φ60	60	6	10.0Z	60.1	407x40x16
4	主要スリーブ	φ340	340.0	3	4.867	1.59	407x40x16
5	下段スリーブ	φ300	300.0	3	3.195	0.98	407x40x16
6	ポトスレール	φ800	6	1.145	2.7Z	19.3	409x35-15
7	ポトスレール	φ800	6	0.851	0.81	5.2	409x35-15
8	ポトスレール	φ800	6	0.824	1.80	19.4	409x35-15
9	ポトスレール	φ800	6	0.894	0.18	11.3	409x35-15
10	ポトスレール	φ800	6	1.171	0.11	11.0	409x35-15
11	ポトスレール	φ800	6	0.141	0.05	0.6	409x35-15
12	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
13	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
14	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
15	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
16	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
17	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
18	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
19	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
20	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
21	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
22	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
23	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
24	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
25	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
26	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
27	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
28	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
29	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
30	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
31	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
32	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
33	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
34	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
35	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
36	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
37	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
38	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
39	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
40	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
41	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
42	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
43	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
44	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
45	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
46	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
47	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
48	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
49	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
50	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
51	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
52	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
53	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
54	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
55	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
56	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
57	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
58	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
59	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
60	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
61	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
62	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
63	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
64	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
65	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
66	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
67	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
68	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
69	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
70	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
71	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
72	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
73	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
74	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
75	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
76	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
77	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
78	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
79	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
80	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
81	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
82	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
83	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
84	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
85	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
86	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
87	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
88	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
89	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
90	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
91	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
92	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
93	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
94	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
95	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
96	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
97	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
98	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
99	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15
100	ポトスレール	φ800	6	0.137	0.20	2.4	409x35-15

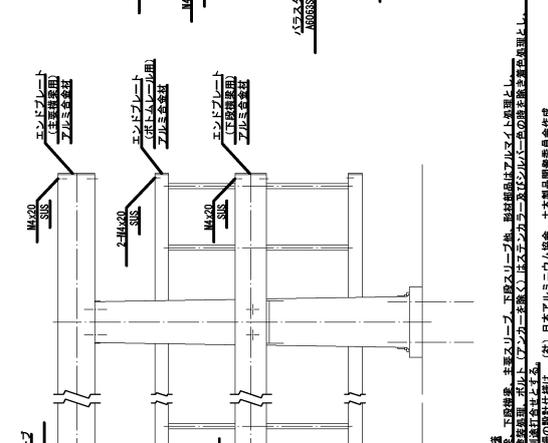


高欄兼用
車両防護柵取付詳細図 S=1/6
種別 C種

継手部



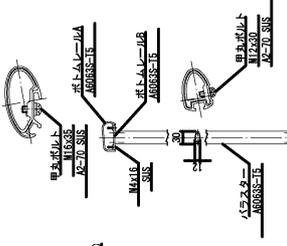
端部



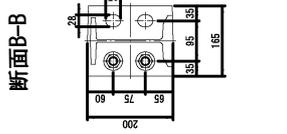
- 注記
1. 主要部材は、主要スリーブ、下段スリーブ、支柱は鋼管(ポトスレール)に、ポトスレールはアルミ合金(ポトスレール)にて製作される。ポトスレールの材質は鋼管(ポトスレール)とアルミ合金(ポトスレール)とで異なる。ポトスレールの材質は鋼管(ポトスレール)とアルミ合金(ポトスレール)とで異なる。
 2. 主要部材の取付は、(株)日本アルミニウム工業(株)に依頼する。本工場の取付作業員が作業する。
 3. 主要部材の取付は、(株)日本アルミニウム工業(株)に依頼する。本工場の取付作業員が作業する。

コンクリート強度 20.0MPa以上

断面A-A



断面B-B

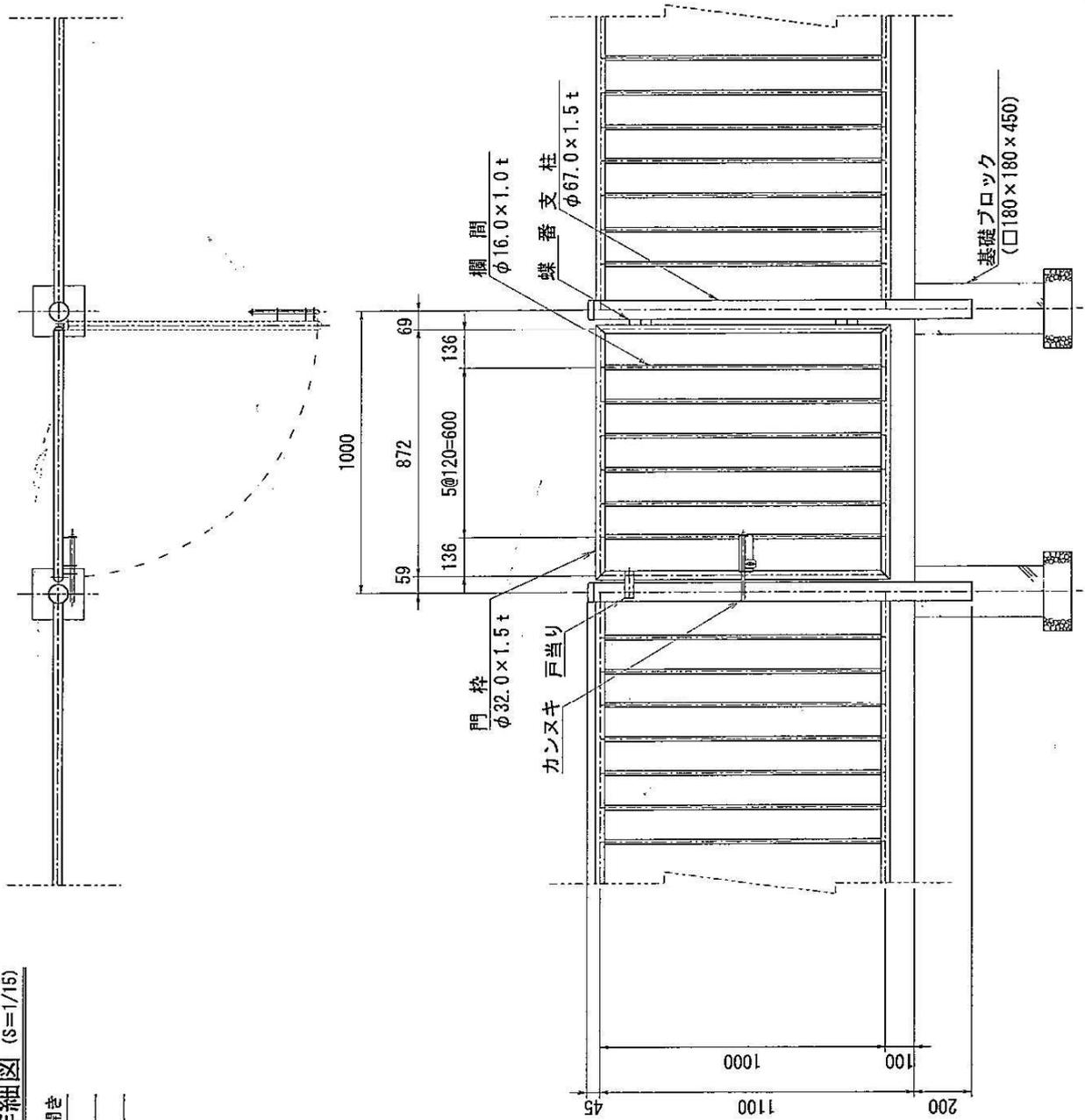


片開き門扉 取付詳細図 (S=1/15)

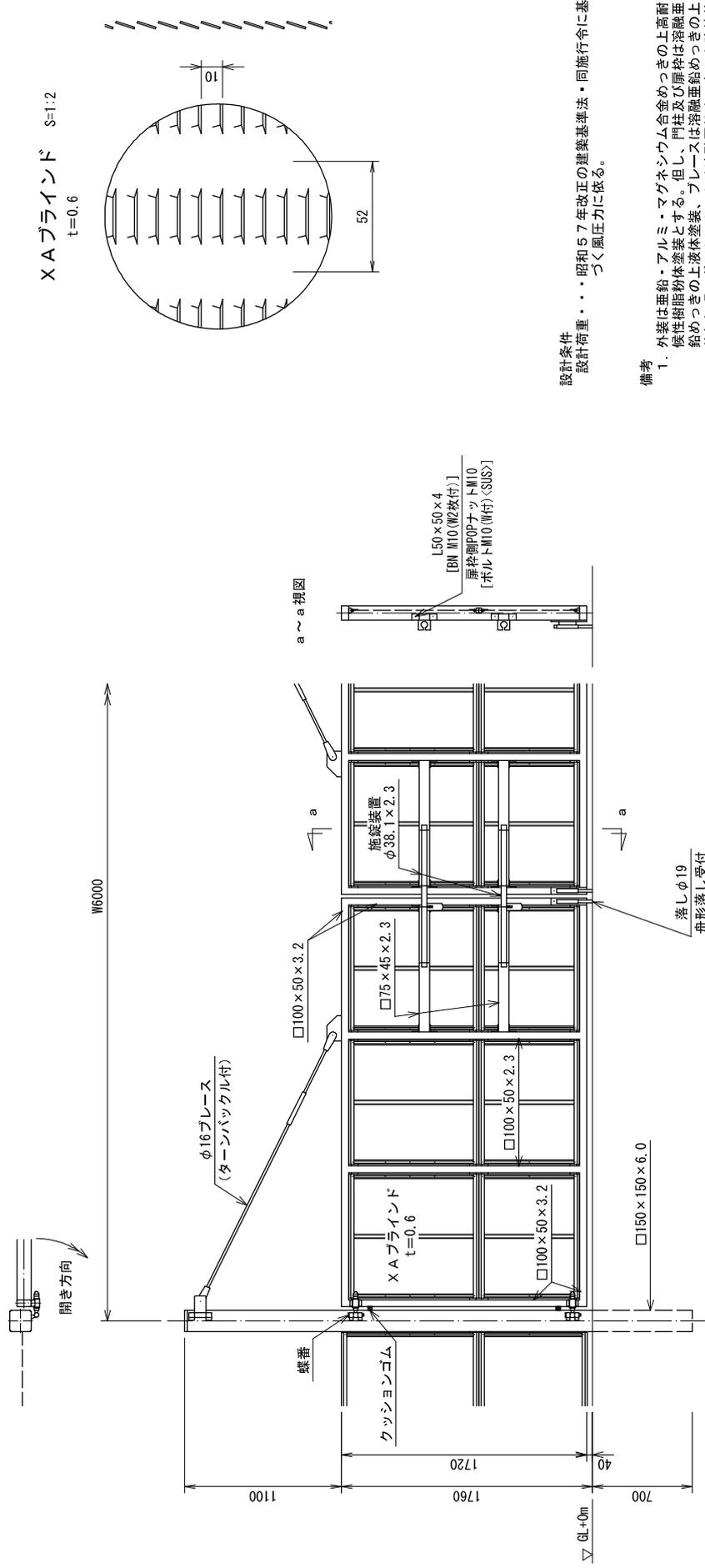
型式 : NAS-SF-101 (H110) 片開き

材質 : ~~SS400~~ 鋁合金

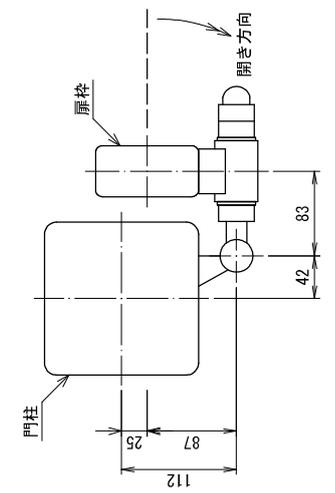
仕上 : パフ研磨#400



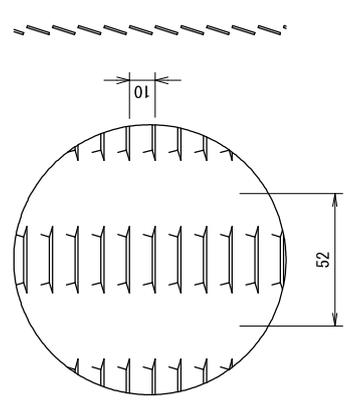
目かくしフェンス両開き門扉 H1800 x W6000 S=1:30
 (昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)



門柱・扉枠位置関係図



XAブラインド S=1:2
 t=0.6



設計条件
 設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づき風圧力に依る。

- 備考
1. 外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上蓋耐候性樹脂粉末塗装とする。但し、門柱及び扉枠は溶融亜鉛めっきの上蓋塗装、ブレースは溶融亜鉛めっきの上蓋着色処理とし、一部のホルト・ナットは溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理とし、一部のホルト・ナット、施錠装置、落し及びホルト式螺塞は溶融亜鉛めっきのみとする。
 2. 本図門扉は施錠側180°開き、施錠側落しとする。
 3. 扉枠にはめっきの為、湯抜きを適所（見苦しくない位置）に設けるものとする。

ロードスクリーン

ロードスクリーンは、夜間走行の際、対向車のヘッドライトが運転者に眩惑を与え、衝突・接触事故などを誘発するのを防止するための施設です。本体にエキスパンドメタルを使用し、優れた遮光効果を発揮する経済的な遮光板です。

■ すぐれた遮光効果を発揮します。

ロードスクリーンの形状は、遮光効果を十分に考えた設計で、運転者を対向車のヘッドライトから守ります。また、運転者の視野を妨げず、圧迫感も与えません。

■ 遮光角度に応じた使い分けができます。

エキスパンドメタルを使い分けることにより、直線区間、曲線区間の必要遮光角度に応じた使用ができるように設計されています。

■ 価格は低廉、維持管理も経済的です。

ロードスクリーンは、ほかの遮光板に比べて低廉です。そのうえ、溶融亜鉛めっきを施してありますから、耐久性に富み、維持管理がきわめて容易です。

■ 美しい外観です。

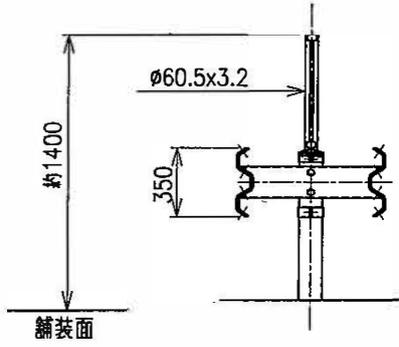
外観は優美で周囲の環境にマッチし、風致を害することはありません。

記号	分類	遮光板本体 板厚 x 幅 x 長さ (mm)	中間支柱 板厚 x 径 x 長さ (mm)	端末支柱 板厚 x 径 x 長さ (mm)	参考重量 (kg/m)
RS-A1	片面ガードレールとの併用型 (φ139.8との取付用)	2.3x575x4,000	3.2xφ60.5x925	3.2xφ60.5x925	9.31
RS-A2	片面ガードレールとの併用型 (φ114.3との取付用)				9.26
RS-B1	両面ガードレールとの併用型 (φ139.8との取付用)		3.2xφ60.5x930	3.2xφ60.5x930	9.15
RS-B2	両面ガードレールとの併用型 (φ114.3との取付用)				9.09
☆ RS-C	コンクリート建込用	2.3x1,100x4,000	4.2xφ89.1x1,550	4.2xφ89.1x1,550	13.90

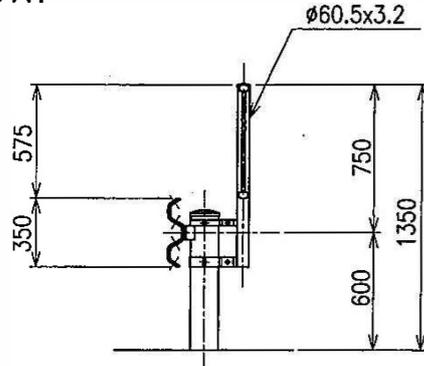
☆ 遮光高さ H=1150

形状・寸法図

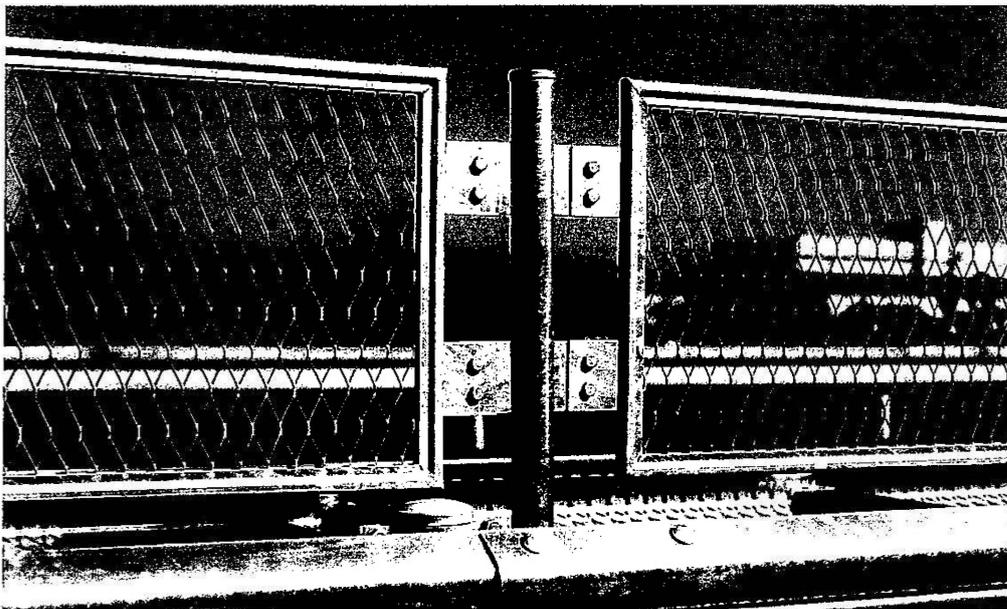
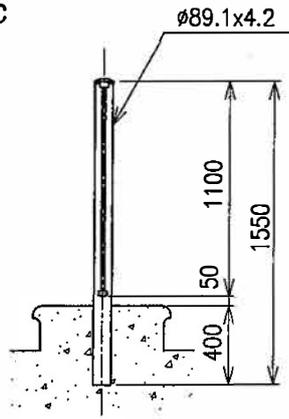
RS 中分用



RS-A1



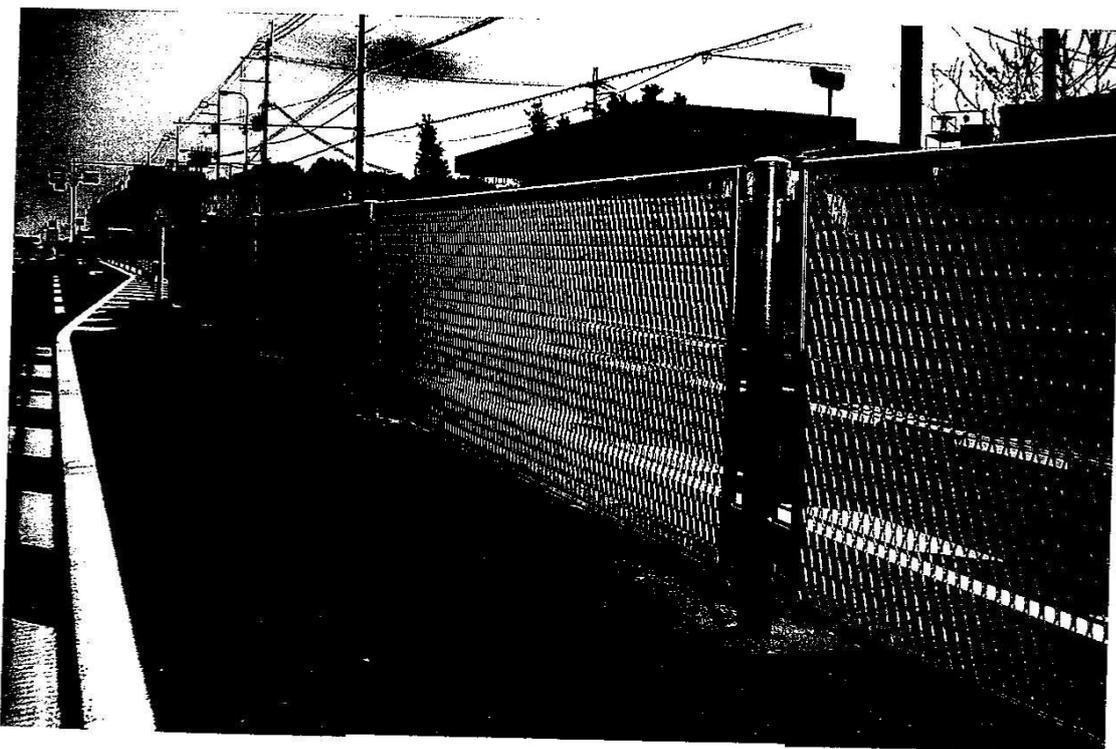
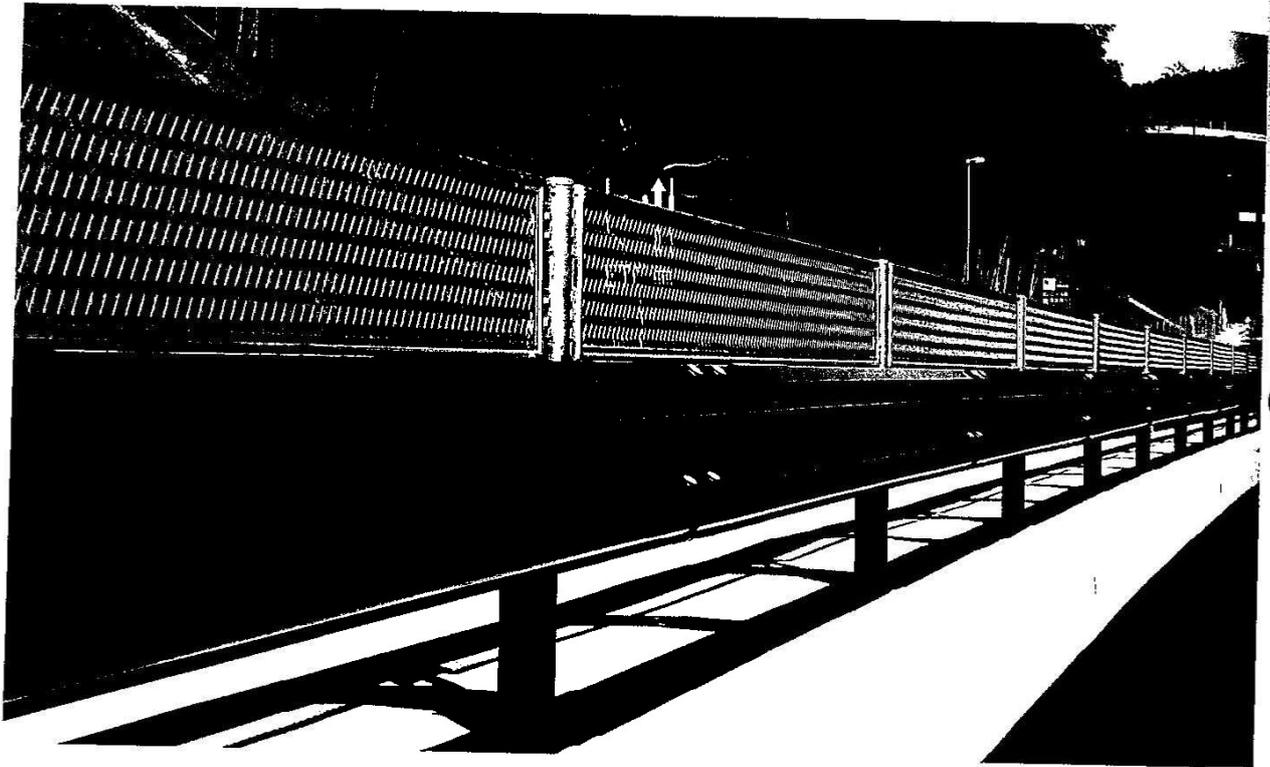
RS-C



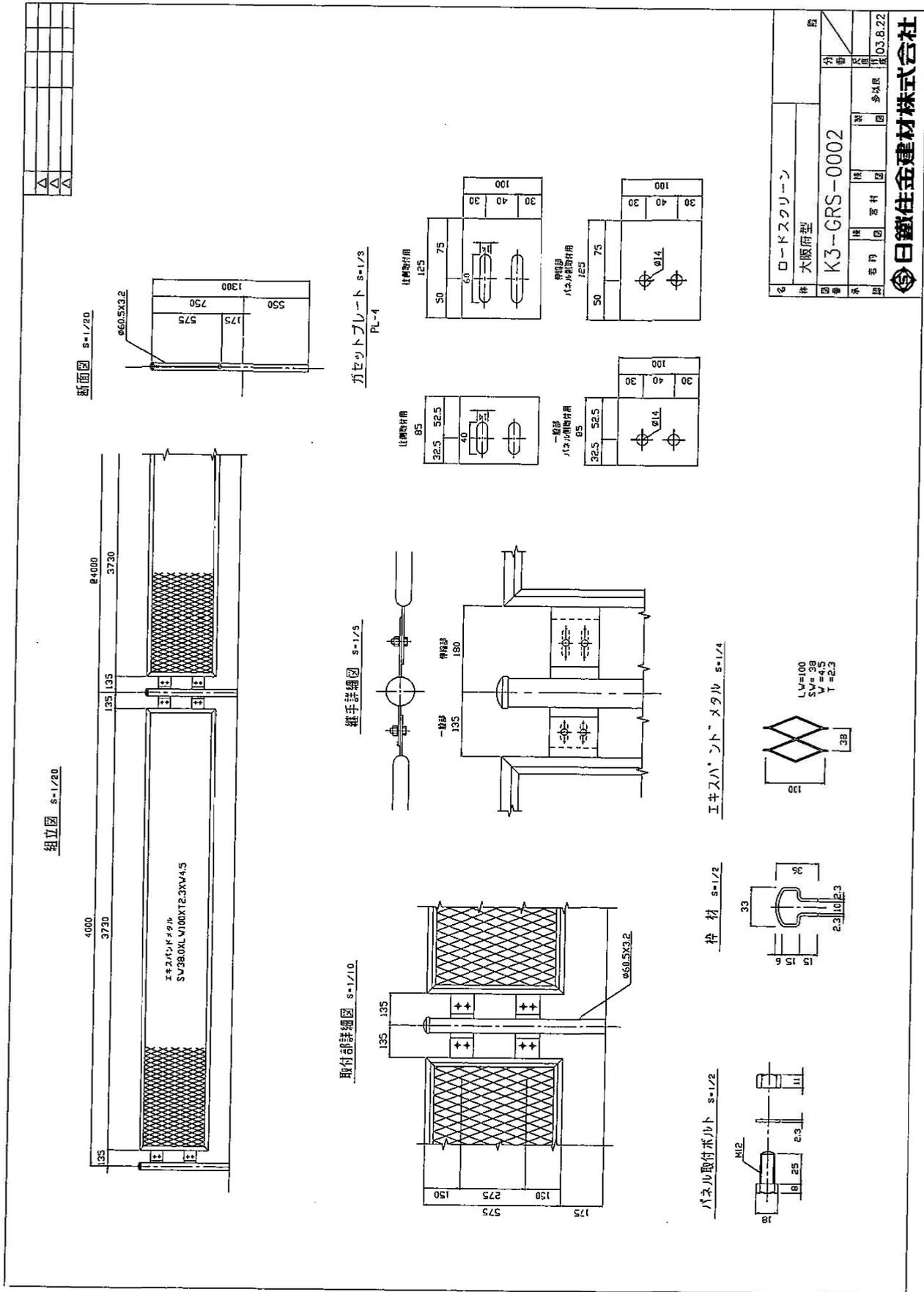
その他商品
ロードスクリーン

ロードスクリーン

施工例



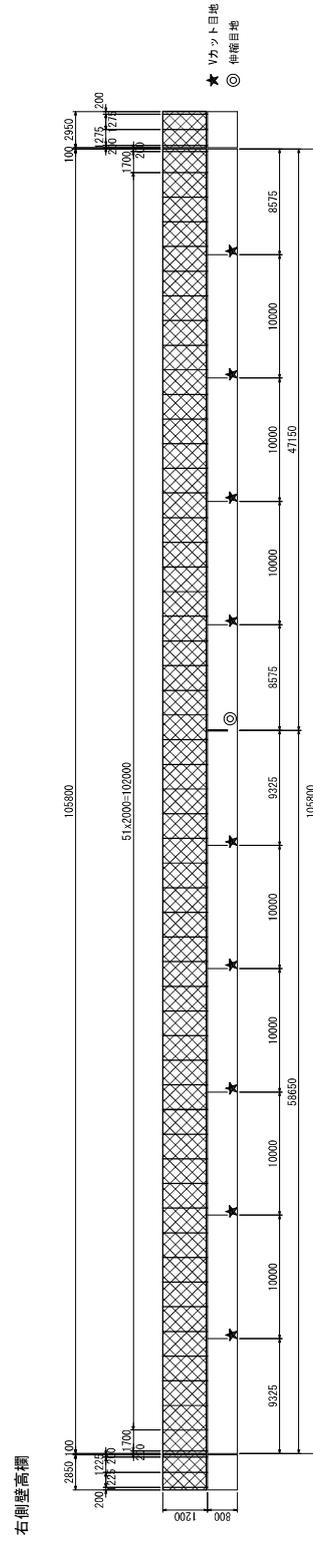
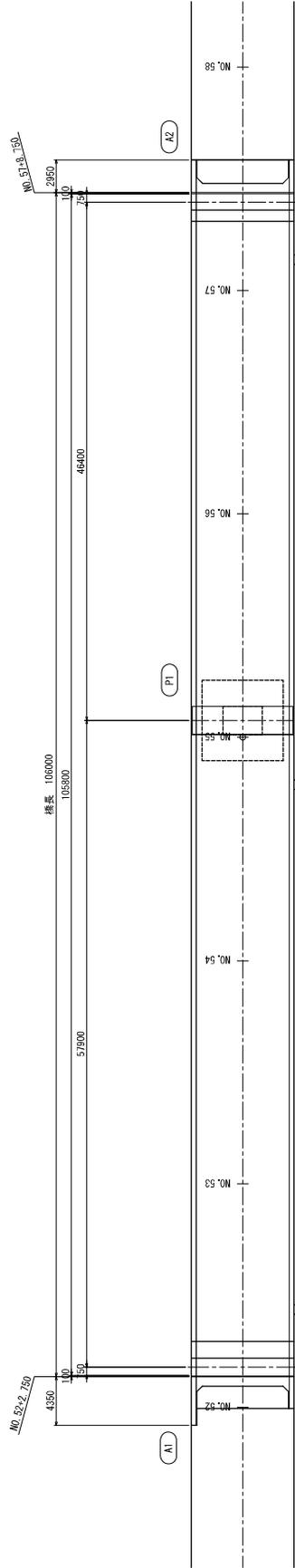
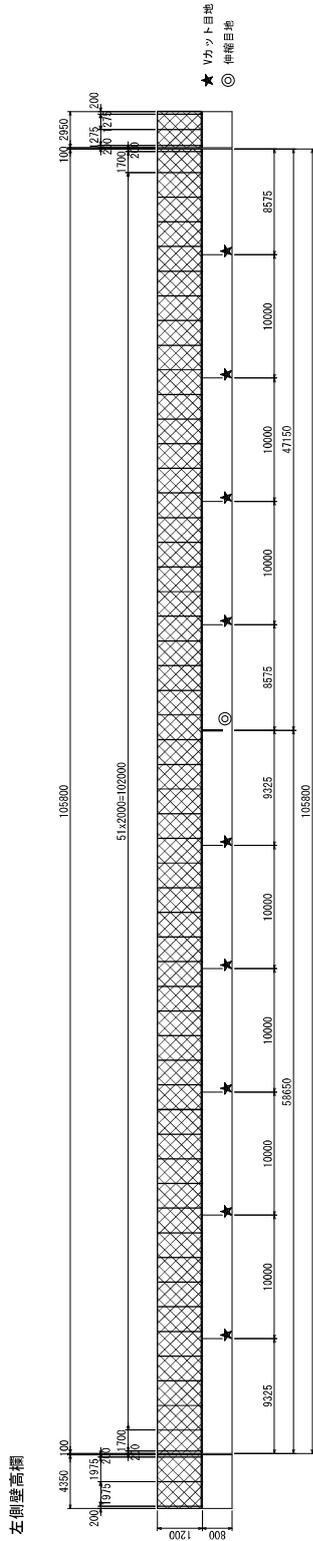
(参考図) 価格調査はH=850で行うこととしている。



名	ロードスクリーン	部	
株	大阪府型	分	
図番	K3-GRS-0002	部	
承	株 団 宮 村 団	製	
図		図	
日		年	103.8.22

日鐵住金建材株式会社

落下物防止柵詳細図(その1) S=1:200

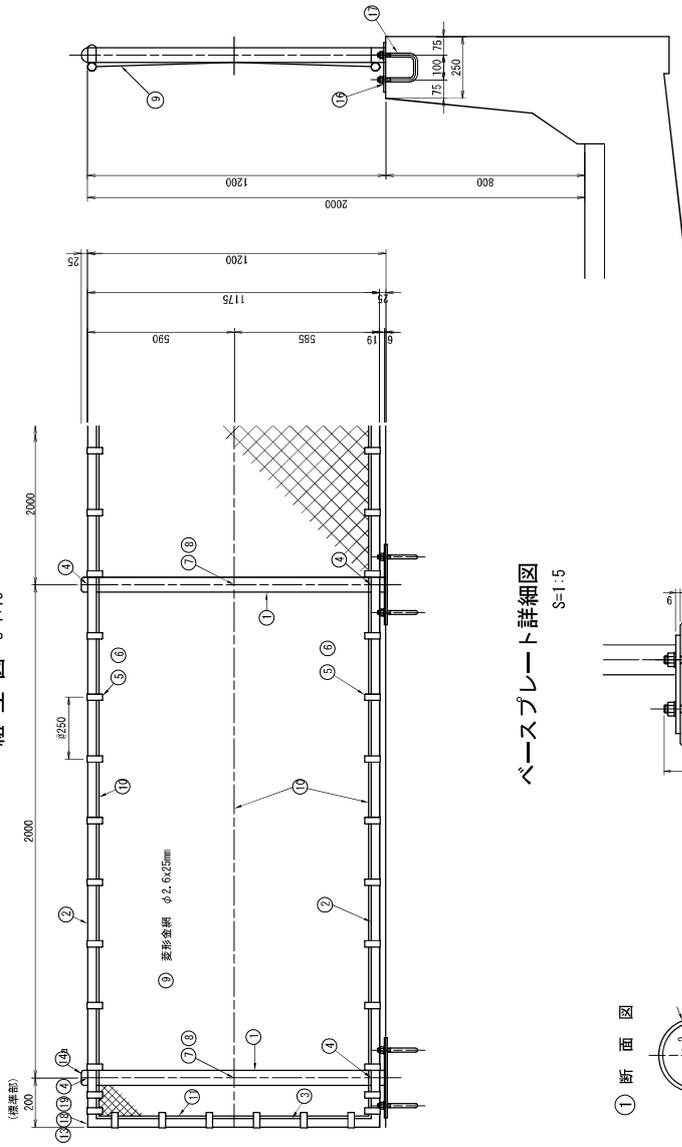


平成 25 年度	変更番号	79 / 115
事業名	京都府立総合技術センター 京大附属 京大附属 京大附属	
路線名	(主) 京大附属 京大附属 京大附属	
工事名	高槻市江草町地内外	
施工地名	京大附属(40) 京大 附属	
図面名	大阪府京大土木事務所	

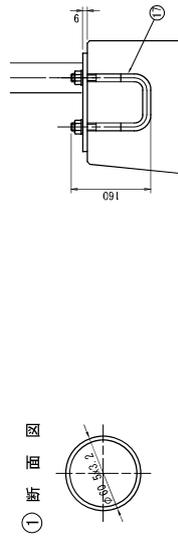
上部工事高欄		
左側	支柱	木
アンカーボルト(0型)	本	54
アンカーボルト(0型)	本	108
橋台壁高欄		
左側	支柱	木
アンカーボルト(0型)	本	6
アンカーボルト(0型)	本	12
右側	支柱	木
アンカーボルト(0型)	本	6
アンカーボルト(0型)	本	12

落下物防止柵詳細図(その2)

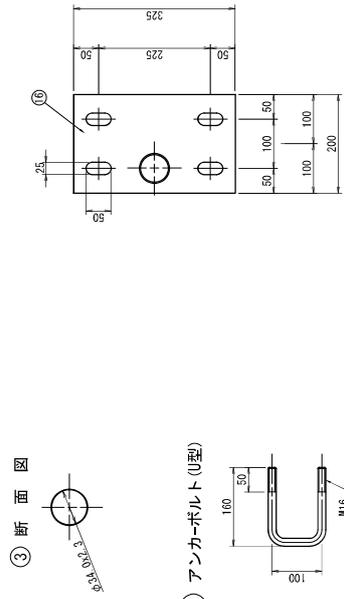
組立図 S=1:10



ベースプレート詳細図 S=1:5



① 断面図

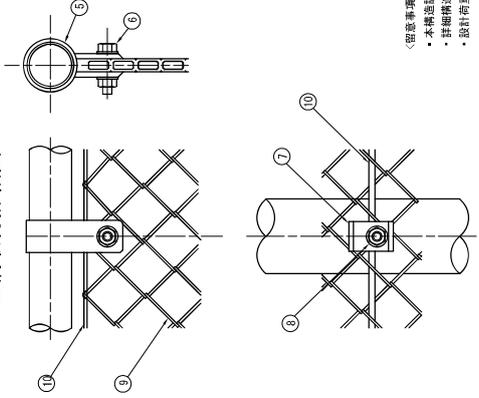


③ 断面図

⑬ アンカーボルト(U型)

縦断方向に示しては、ベースプレートで調整する

金網取付詳細図



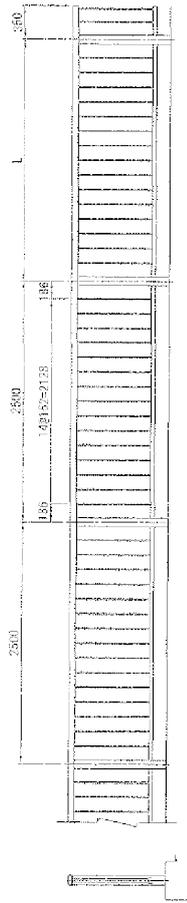
交差道路用.G1タイプ

区分番号	名称	規格	材質	外装	備考
1	中間支柱	φ60.5x3.2	STK400	HDZ55	A=5.760cm ² Z=1.84cm ³
2	脚線	φ34.0x2.3	"	"	A=2.291cm ² Z=1.70cm ³
4	開縁取付ボルト	M8	SUS304		W.SW付
5	金網取付バンド	t=2.3	SS400	HDZ35	
6	ボルト、ナット	M8x30	SUS304		WZ取付
7	金網止め金具	t=2.3	SS400	HDZ35	
8	ボルト、ナット	M8x90	SUS304		WZ取付
9	菱形金網	φ2.6x2.5mm	Z-4S7		垂裕付重量 450g/㎡以上
10	抵抗力骨線	φ4.0	SWMS-7		"
12	開縁継手	φ27.2x2.3	STK400	HDZ35	
13	ボルト、ナット	M8x50	SUS304		WZ取付
14a	キヤップ	t=2.3	SS400	HDZ55	
16	ベースプレート	t=9	"	"	
17	アンカーボルト(U型)	M16	4T	HDZ35	W付
3	横脚後	φ34.0x2.3	STK400	HDZ55	
11	抵抗力骨線	φ5.0	SWMS-7		垂裕付重量 450g/㎡以上
18	開縁継手	t=3.2	SS400		
18	取付金具	φ27.2x2.3	STK400	HDZ35	
19	ボルト、ナット	M10x30	SUS304		WZ取付

平成 29 年度	図面番号	80	115
事業名	本市地方道路の交通安全対策 道路改良工事 (原案) 国土・建設計画部 建設設計課		
路線名	(主) 伏見御所高線 (高槻東遷路)		
工事名	高槻市立草野町内外		
施工地名	高槻市立草野町内外		
図面名	落下物防止柵(40) 扉付 図示		
大阪府茨木土木事務所			

(留意事項)
 ・本構設計は国土交通省近畿地方整備局 土木工事標準設計図集に基づく。
 ・詳細構造上の場合は、G1タイプと同等品とすること。
 ・設計荷重は、風荷重3kN/m²を考慮。

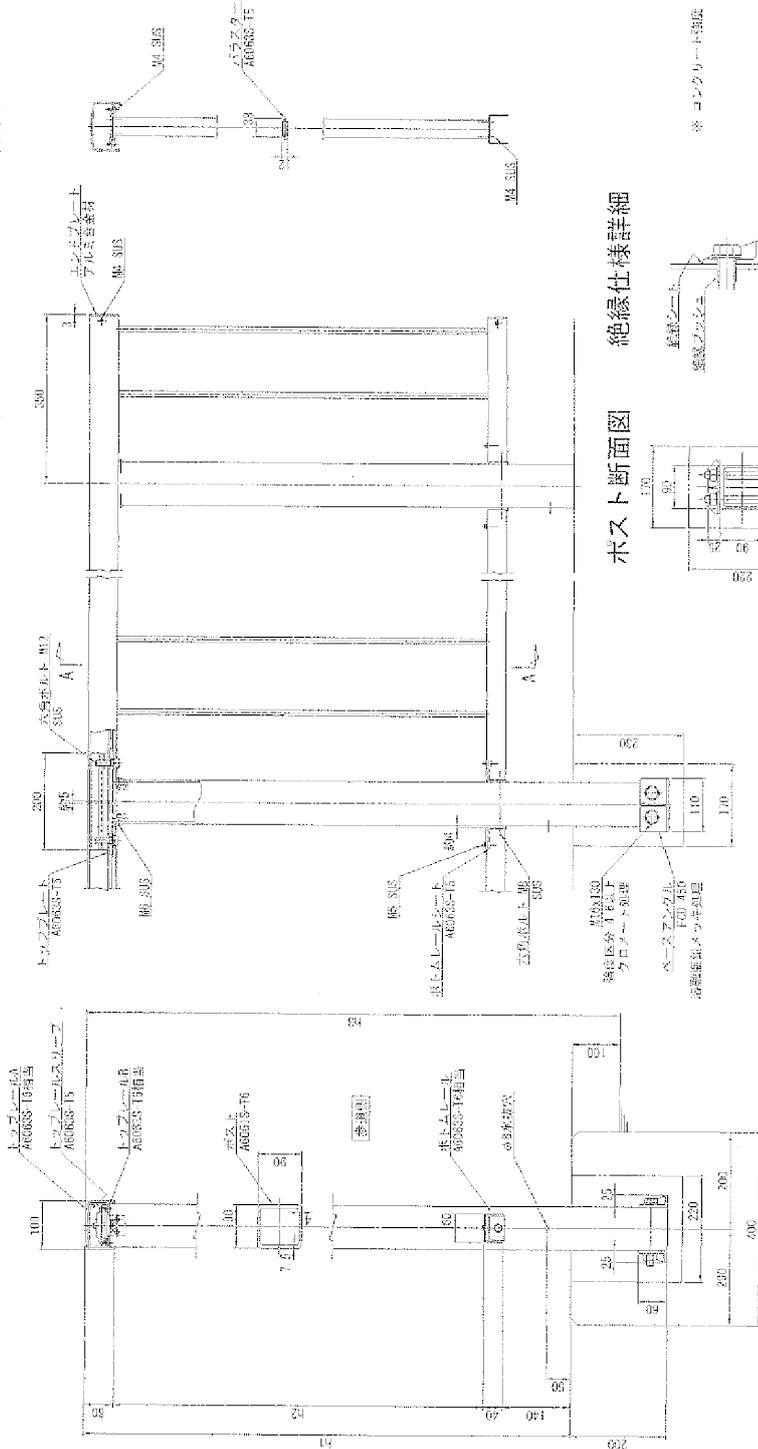
姿図



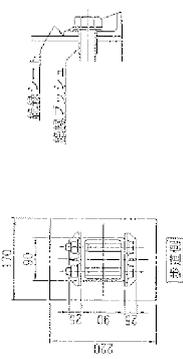
歩行者自転車用柵取付詳細図

製品番号	h1	h2	h3
KR-1031-10	1000	760	1100
KR-1031-11	1100	660	1200

継手部 端部 断面A-A



ポスト断面図 絶縁仕様詳細



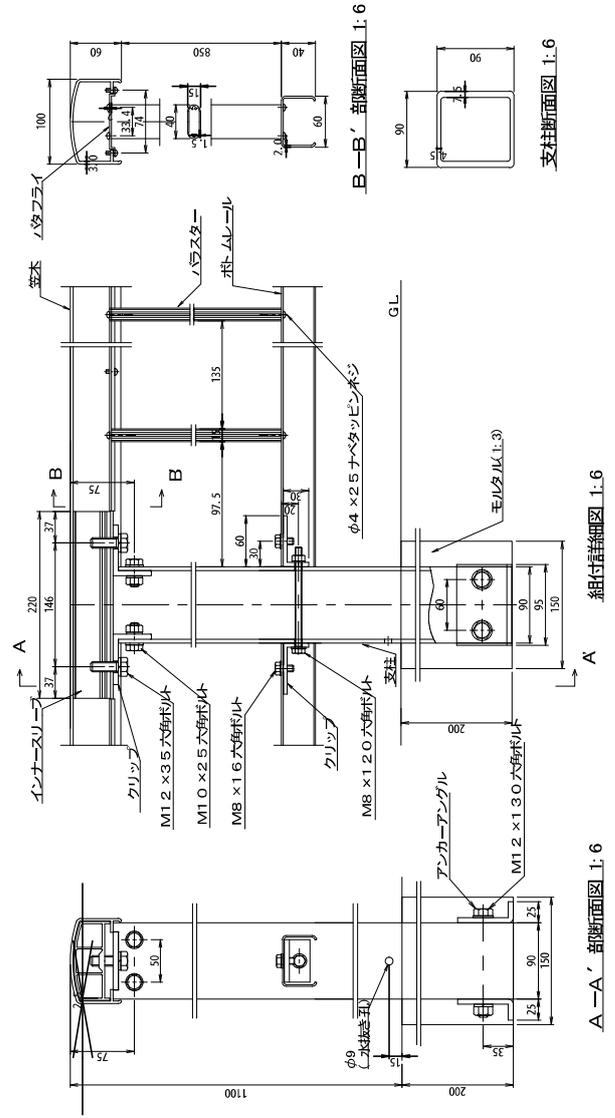
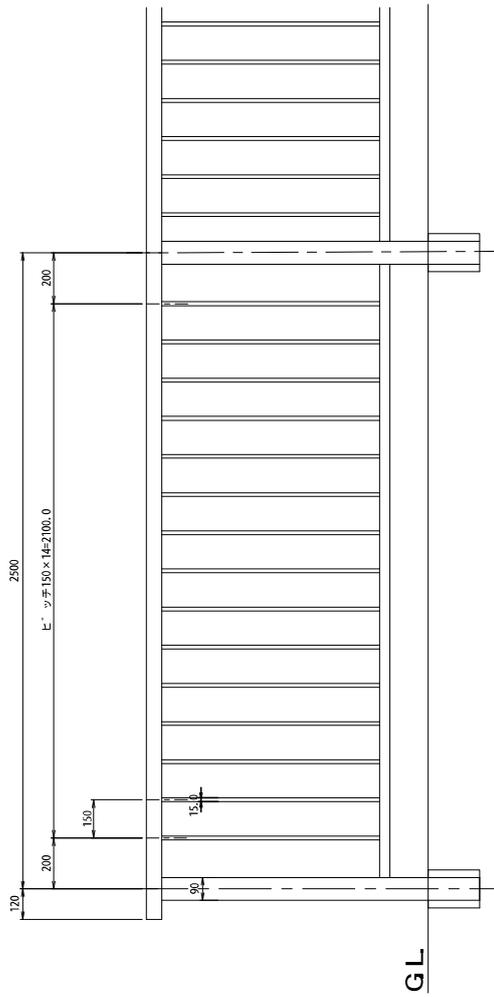
※ コンクリート強度 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 以上

S. N. R. KR-1031-10
S. N. R. KR-1031-11

転落防止柵構造図

正面図

S=1:20



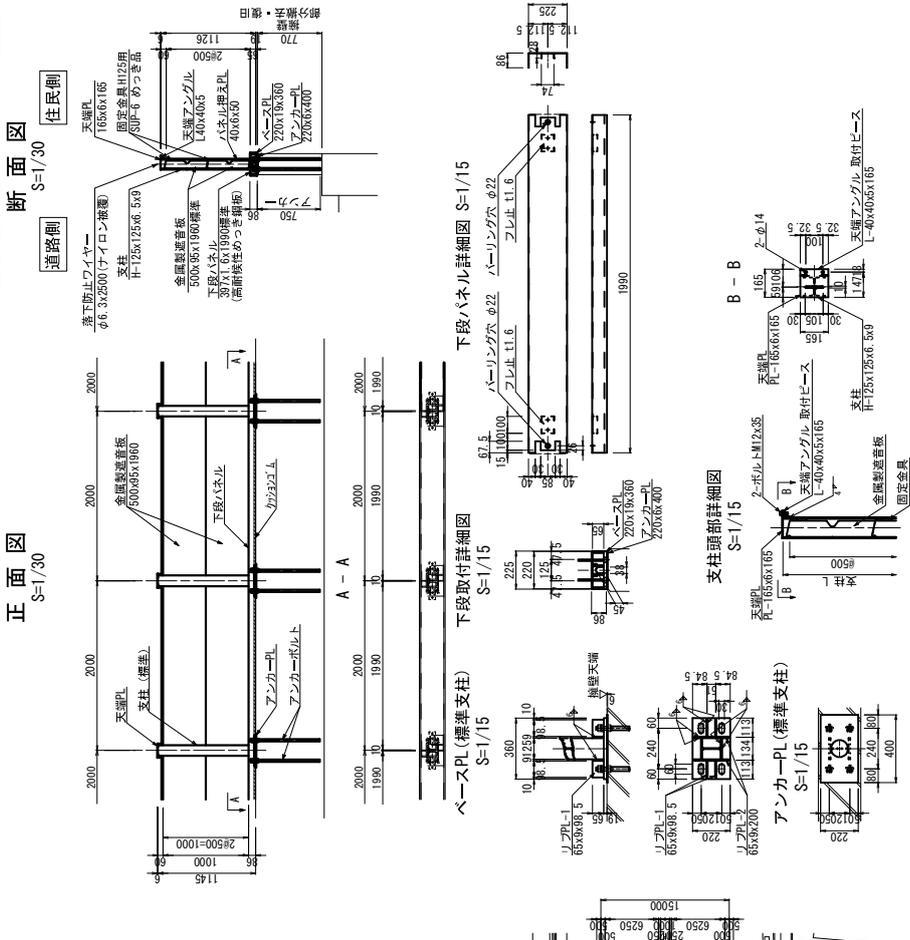
色	転落防止柵 (S形種) 単送タイプ
部材名	9-77792系 (7x21塗装)
変種	規格・材質
支柱	JIS H 4100 A60635-16
支柱	JIS G 310 S400
支柱	JIS H 4100 A60635-16
支柱	JIS B 1180
支柱	JIS B 1122

(参考図)

年度	番号
路線	
区間	
工事名	
工事場所	
図面名	
縮尺	図示

補修図【遮音壁設置工】

遮音壁A型(H=1.0m)構造図

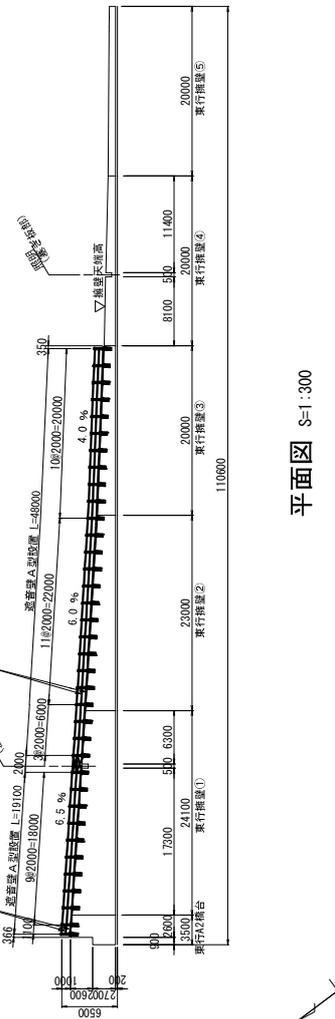


国土交通省 遮音壁A型(H=1.0m)		(積当り)	
種別	材料・表面処理	単位重量	質量
鋼材	SS400	1913.3 kg/m	1913.3 kg
コンクリート	コンクリート	24.0 kg/m ²	24.0 kg
遮音材	遮音材	65.4 kg/m ²	65.4 kg
鋼板	鋼板	12.56 kg/m ²	12.56 kg
鋼管	鋼管	12.56 kg/m ²	12.56 kg
鋼角	鋼角	10.9 kg/m ²	10.9 kg
鋼丸	鋼丸	22.2 kg/m ²	22.2 kg
鋼線	鋼線	10.5 kg/m ²	10.5 kg
鋼管	鋼管	137.8 kg/m ²	137.8 kg
鋼板	鋼板	39.44 kg/m ²	39.44 kg
鋼丸	鋼丸	380.8 kg/m ²	380.8 kg
鋼管	鋼管	63.6 kg/m ²	63.6 kg
鋼板	鋼板	4.4 kg/m ²	4.4 kg
鋼丸	鋼丸	2.1 kg/m ²	2.1 kg

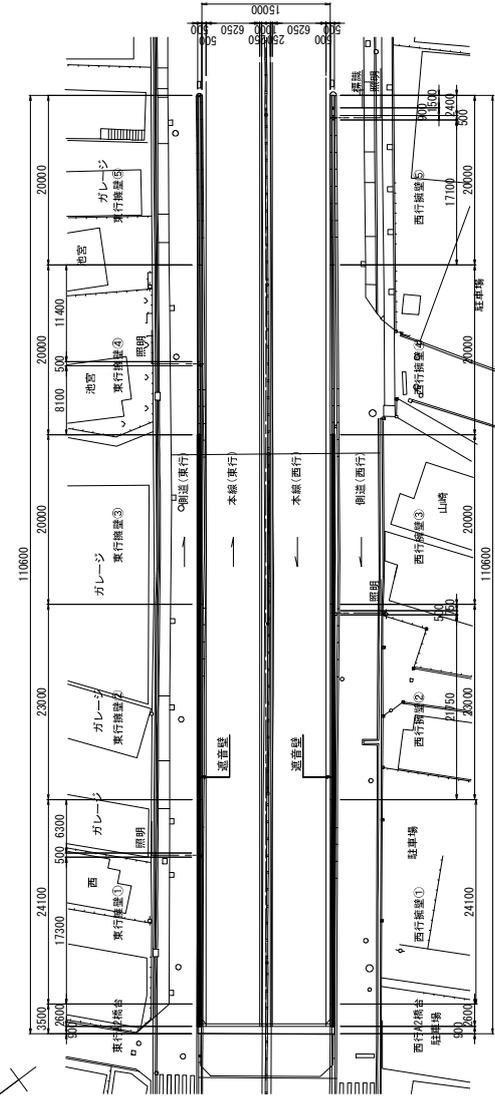
注) 1. 施工時においては、現地特種検査を行う計画とすること。
 2. 本工程では、現場特種検査を行う計画とすること。
 3. 遮音壁の長さは、標準的な長さ(1.0m)に合わせて変更すること。
 4. 遮音壁の構造は、標準的な構造とすることが、現場の状況に合わせて変更すること。
 5. 鋼材の表面は、防錆処理を施すこと。
 6. 鋼材の表面は、防錆処理を施すこと。
 7. JIS H8041 H8055とする。
 8. JIS H8041 H8055とする。
 9. JIS H8041 H8055とする。

年度	図面番	図面名	作成年月日	補修区	補修区【遮音壁設置工】
					R1.5

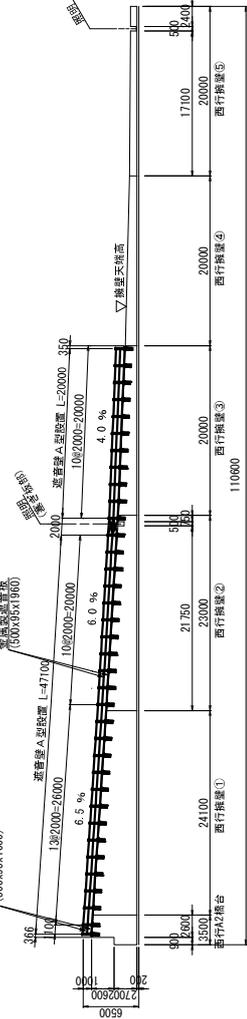
東行側面図 S=1:300



平面図 S=1:300



西行側面図 S=1:300



遮音壁設置工

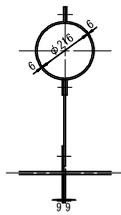
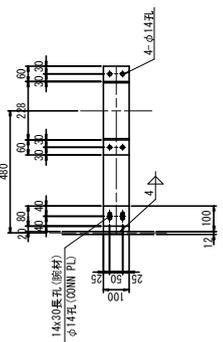
名称	仕様・寸法	数量		備考
		単位	数量	
設置延長	2-500x95x1960	m	134.2	
遮音壁設置工	(標準)	m ²	129.4	
	2-500x95x1060 (鋼材)	m ²	2.1	

6号橋 上部排水装置 (その6)

S=1:10

取付金具詳細

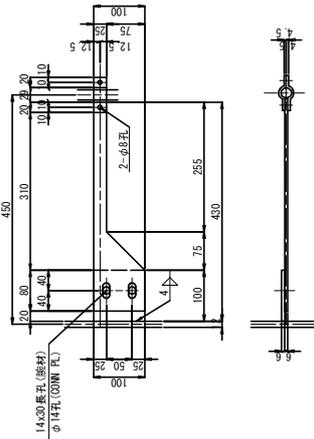
(S) ~ (SS) (製作数: n)



- ※ 1 - PL 100 x 6 x 100 (SM400M)
- 1 - FB 100 x 6 x 100
- 2 - BN M12 x 40 (2-ナフ)
- 4 - BN M12 x 35 (2-ナフ)

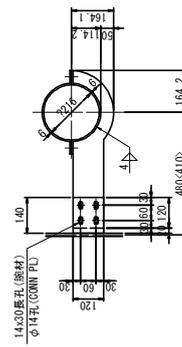
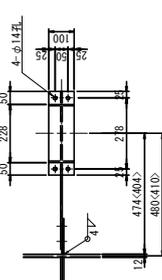
LL1	LL2	LL3	n
S1	468	328	1
S2	510	370	1
S3	455.2	315	1
S4	460	340	5
S5	509.9	460	1
S6	452.1	312	1
S7	455.4	315	1
S8	410	270	5

(S) S=1:5 (製作数: 4)



- ※ 1 - PL 100 x 6 x 100 (SM400M)
- 2 - BN M12 x 35 (2-ナフ)
- 1 - PL 100 x 6 x 410
- 2 - BN M6 x 30 (2-ナフ)

(B1) <(B2)> (製作数: 37(41))

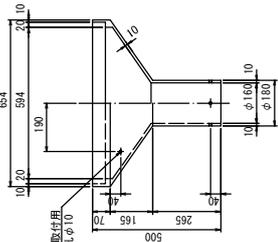


(B3) ~ (B7) (製作数: n)

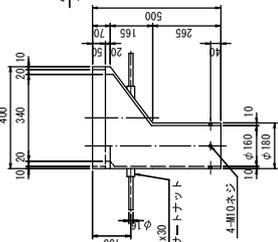
排水桧詳細

(製作数: 各1)

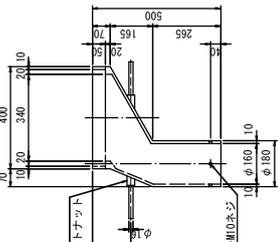
DL1, DR1, DR2用



DL2, DL3, DR3 ~ DR6用

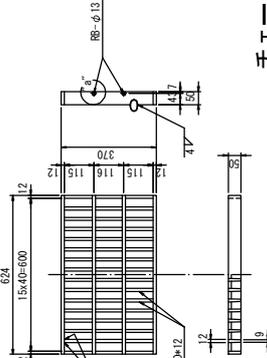


DL4 ~ DL6用

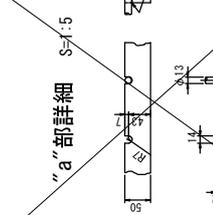


桧蓋詳細図

Biss (M10x30) 詳細図 S=1:1



チェーン取付用ボルト詳細図 S=1:1

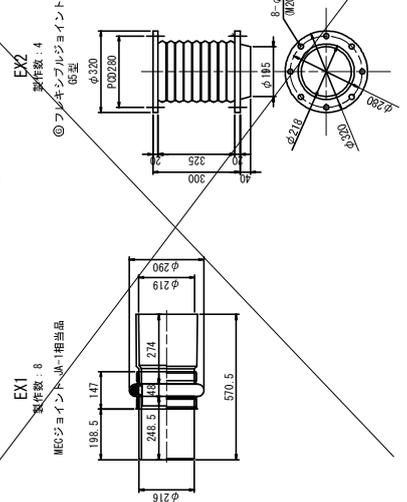


注記
 1. 特記な素材質は、全てSS400とする。
 2. リボルト付蓋以外のナットは全て締めナットを併用すること。
 3. ※印以外の部材は、各で塗装確認のしきとする。
 蓋の付着量は、JIS B0641 H025とする。
 但し、ボルト・ナット及び幅厚6.0mm未満の部材はH025とする。

種別	品名	材質	数量	重量	備考
1	本体	F2250	1	56.5	重粘メッキ
2	グレーチング	SS400	1	30.0	重粘メッキ
3	ビス	SS400	4	0.1	重粘メッキ
4	チェーン取付ボルト	SS400	1	0.1	重粘メッキ
5	チェーン	SS400	1	0.2	重粘メッキ

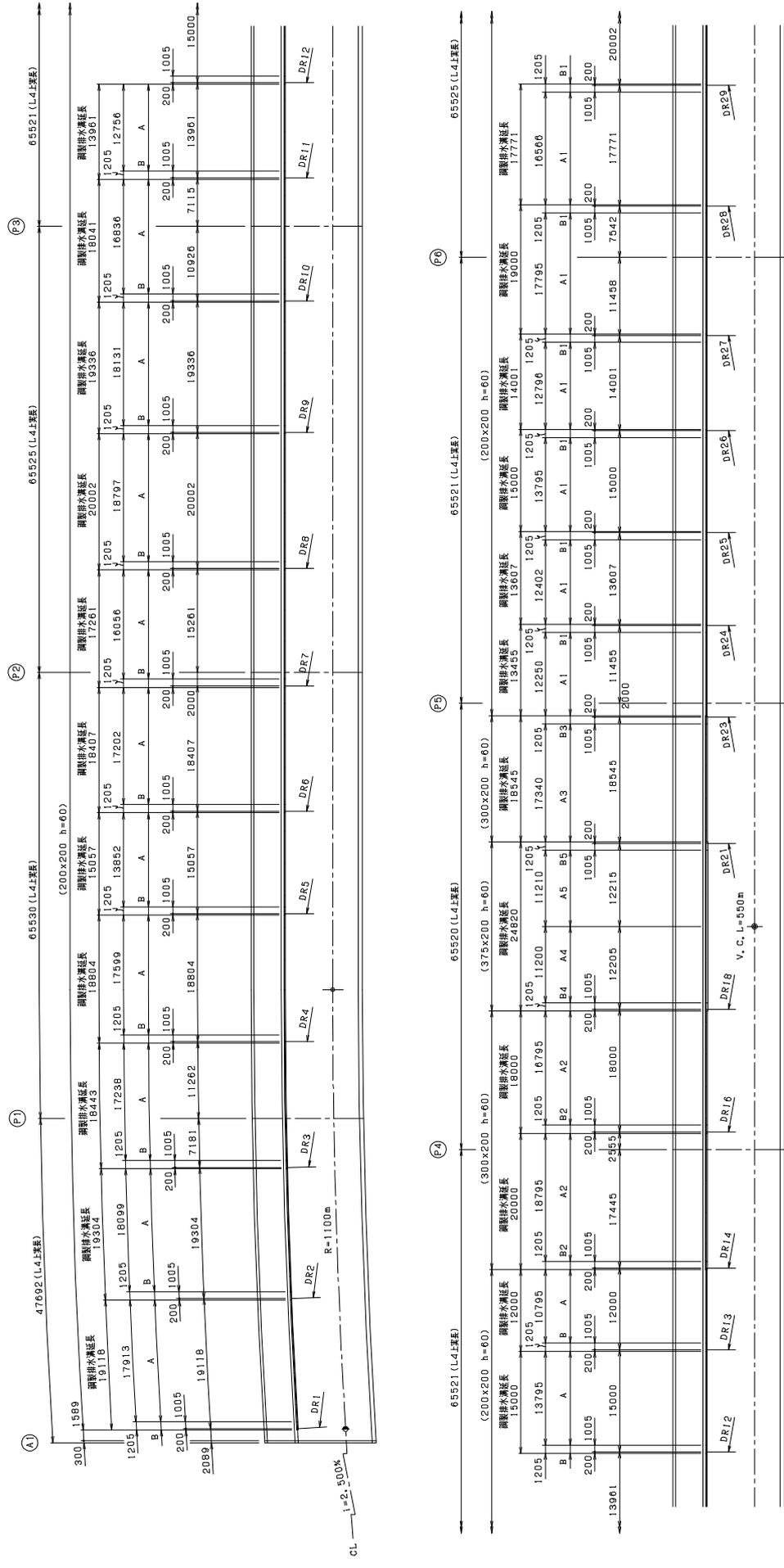
1種分合計 86.9kg

伸縮継手詳細



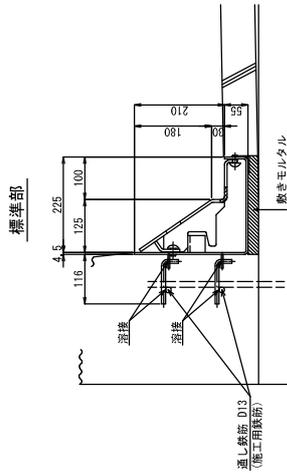
鋼製排水溝 (その1)

鋼製排水溝設置図 S-1/300 ※ 鋼製排水溝延長は実長寸法を示す。(断面は縮小)

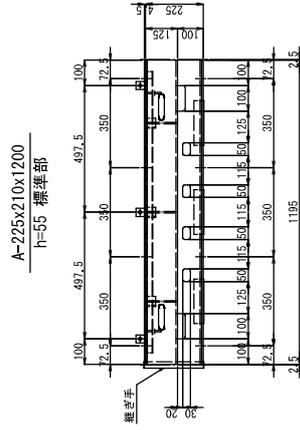


鋼製排水溝 (その2)

鋼製排水溝断面図 S=1:6



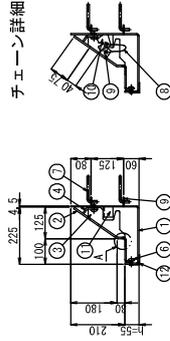
鋼製排水溝詳細図 S=1:10



A部詳細図

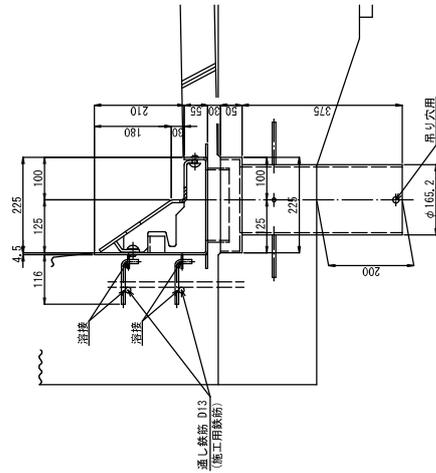


チェーン詳細



鋼製排水溝断面図 S=1:6

流末部 Dr1.Dr2



材料表 A-225x210x1200 h=55

符号	寸法	重量 (kg)
1	I-PL 540.5x4.5x1195	23.2
2	I-PL 368.5x6.0x1195	20.2
3	Z-PL 142x6.0x117	1.02
4	I-PL 71x6.0x1105	3.48
5	I-PL 25x6.0x546.5	0.32
6	Z-Bolt M12x18 (角種丸頭ボルト) (4.6)	0.24
7	F-RB φ9x135	0.40
8	I-Chain φ4.200 シヤックル付 (SUS)	0.11
9	F-PL 32x4.5x32	0.28
10	Z-PL 50x4.5x56	0.13
11	Z-L 40x40.5x40	0.35
12	Z-L 40x40.3x175	0.96
	継ぎ手 φ重量	50.7
	φ重量	42.3

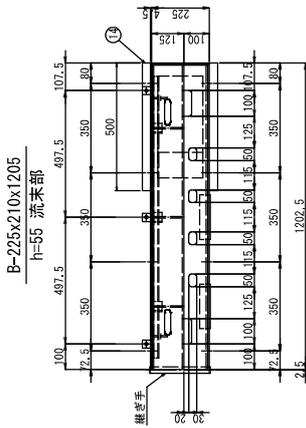
※ A1-225x210x1200 h=55・・・50.7kg (42.3kg/m)
A1は、A1に対して欄外とする。

注記)
1. 特記な素材種は全てSS400とする。
2. 平法表記のPLは、FBを含む。
3. アンカーバーは欄外とする。

工事名	主庫地方道排水溝取付外構除排詳細設計委託
図面名	鋼製排水溝 (その2)
印刷年月日	平成31年1月
縮尺	図示
図面番号	29 / 66
会社名	株式会社 CFC
事業者名	茨木土木事務所

鋼製排水溝 (その3)

鋼製排水溝詳細図 S=1:10



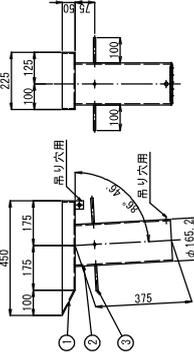
材料表 B-225x210x1205 h=55

符号	寸法	重量 (kg)
1	1=PL 549.5x4.5x1202.5 (End PL付)	24.3
2	1=PL 388.5x6.0x1195	20.2
3	3=PL 142x6.0x117	1.02
4	1=PL 71x6.0x1105	3.48
5	1=PL 25x2.0x549.5	0.32
6	8=Bolt 鋼12x18 (角継手用ボルト) (4, 6)	0.24
7	6=RB φ9x135	0.40
8	1=20mm φ4x200 シヤワフル付 (SS)	0.11
9	7=PL 32x4.5x32	0.28
10	2=PL 50x4.5x55	0.13
11	3=L 40x40x5x40	0.35
12	2=L 40x40x3x175	0.64
13	PL 400x175x60x4.5	2.24
14	2=PL 32x4.5x500	1.14
総重量		54.9
n重量		45.6

※ B1-225x210x1205 h=55・・・54.9kg (45.6kg/m)
B1は、Bに対して隣対称とする。

流末管詳細図 S=1:10

流末管 Dr1

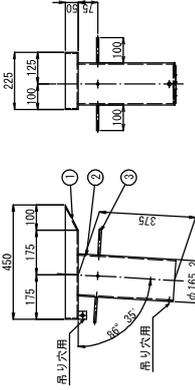


材料表 流末管 Dr1

符号	寸法	重量 (kg)
1	PL 450x25x50x4.5	5.49
2	1=RP φ165.2x5.150A (SOP)	7.43
3	4=RB φ9x100	0.20
総重量		13.1

流末管詳細図 S=1:10

流末管 Dr2

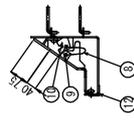


材料表 流末管 Dr2

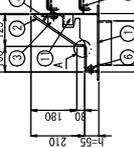
符号	寸法	重量 (kg)
1	PL 450x25x50x4.5	5.49
2	1=RP φ165.2x5.150A (SOP)	7.43
3	4=RB φ9x100	0.20
総重量		13.1

注記
1. 特記な素材質は全てSS400とする。
2. 寸法表記のPLは、円を含む。
3. アンカー「A」は隣区とする。

チエーン詳細



A部詳細図

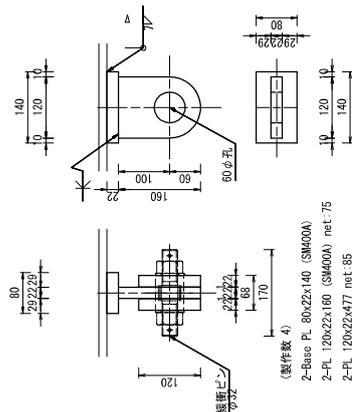


※ 二点鎖線は取外管を示す。

工事名	主要地方道茨水橋面外周改修設計委託
図面名	鋼製排水溝 (その3)
作成年月日	平成21年1月
縮尺	図面番号 30 / 65
会社名	株式会社 C P C
事業番号	茨木土木事務所

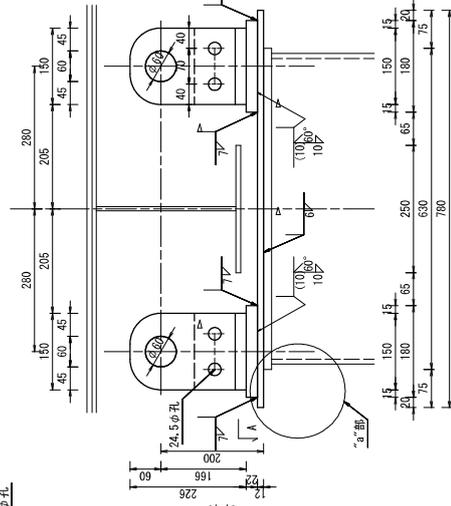
江の木歩道橋 落橋防止構造 (その2) S=1:5

落橋防止装置 type-A

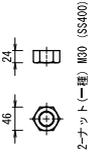
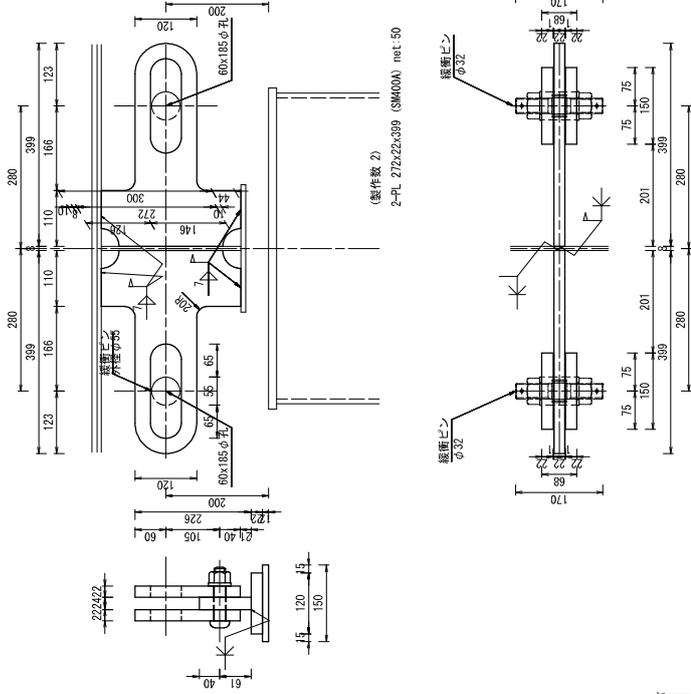


落橋防止装置 type-B

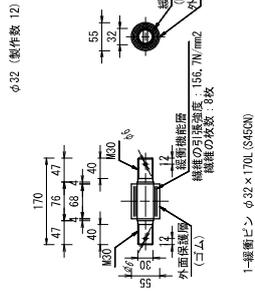
脚付ブラケット



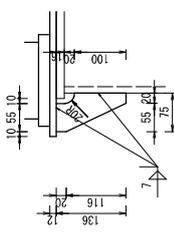
桁付ブラケット



縁衝ピン詳細



"a"部詳細

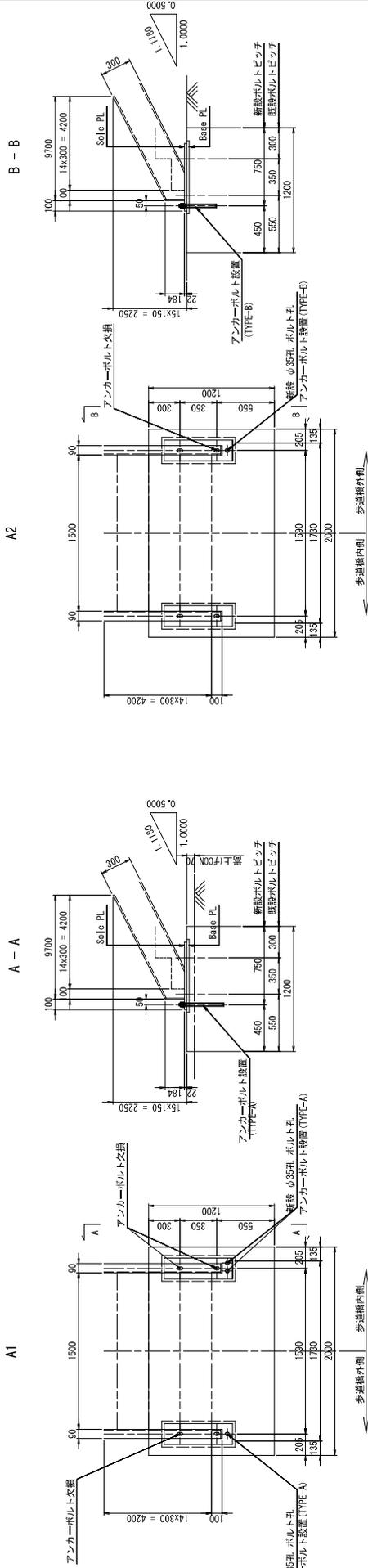


- 注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. 特記なきスカラーラップは、全て65とする。
 3. 寸法のない明洗消接の表示のある箇所は、完全溶込み溶接(P)を用いること。
部分溶込み溶接(P)のルート間隔は全て0mmとする。
 4. 鋼材加工及びブラケットの取付位置等は、現地調査の上、最終決定すること。
 5. 寸法を変更する場合は、必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
 6. 縁衝ピンのピン本体形状は、現地調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じてピン本体の応力計算を行うこと。
なお、ピン本体と縁衝部は加硫接着したものを使用すること。
- 縁衝ピンの縁衝部の形状は、現地調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて縁衝部の応力計算を行うこと。

平成 29 年度	図面番号	5	13
事業名	江の木歩道橋建設工事		
路線名	一般国道423号		
工事名			
施工地名	吹田市内江の木町地区		
図面名	落橋防止構造 (その2) 1/5		
大阪府茨木土木事務所			

江の木歩道橋 階段部支承補強工 S=1:20

A1, A2 階段部

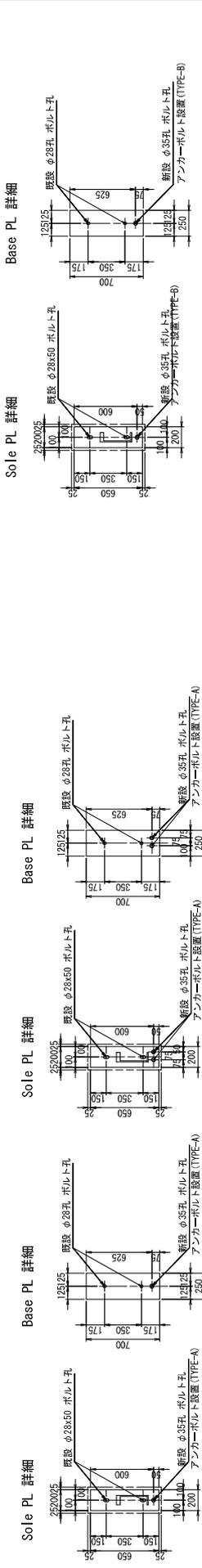


A1 左側

A1 右側

A2 左側

A2 右側

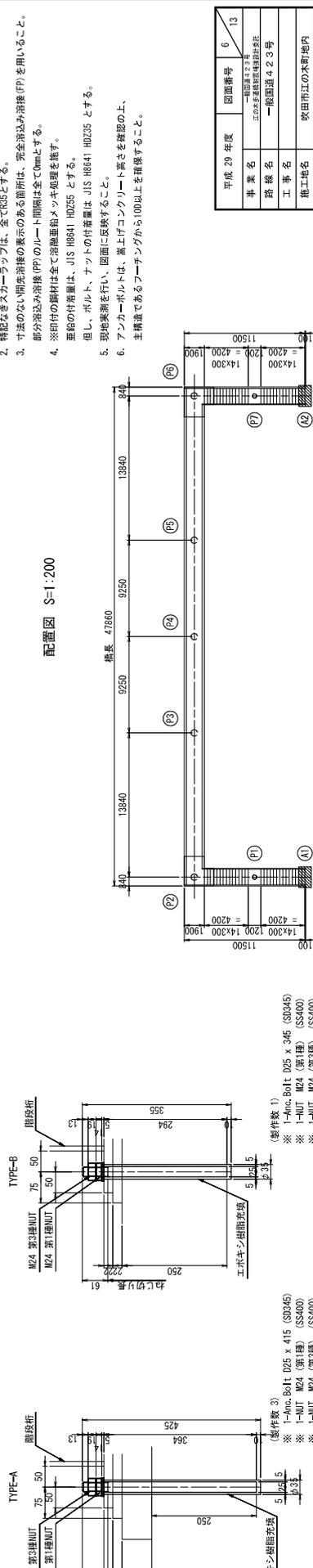


A1 左側

A1 右側

A2 左側

A2 右側



A1 左側

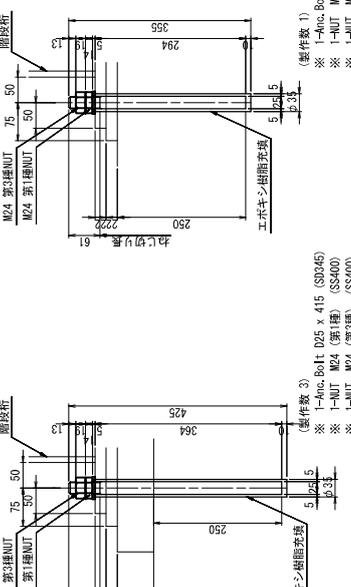
A1 右側

A2 左側

A2 右側

アンカーボルト詳細 S=1:5

配置図 S=1:200



注記
 1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. 特記なきスカーフは、全てR5とする。
 3. 寸法のない開金継ぎの表示のある箇所は、完全溶込み溶接(WP)を用いること。
 4. ※印付の鋼材は全て溶融重合ポリアミド樹脂を使用する。
 5. 垂鉛の付着量は、JIS H8641 H0Z55とする。
 6. アンカーボルトは、現場実測を行い、図面に反映すること。
 7. アンカーボルトは、嵩上げコンクリート高さを算定の上、主構造であるワーキングから100以上を確保すること。

- ※ 製作数 1)
- ※ 1-1-NUT M24 (新3種) (SS400)
- ※ 1-1-NUT M24 (新1種) (SS400)
- ※ 1-1-産金 M24 (SS400)

- ※ 製作数 2)
- ※ 1-1-NUT M24 (新3種) (SS400)
- ※ 1-1-NUT M24 (新1種) (SS400)
- ※ 1-1-産金 M24 (SS400)

- ※ 製作数 3)
- ※ 1-1-NUT M24 (新3種) (SS400)
- ※ 1-1-NUT M24 (新1種) (SS400)
- ※ 1-1-産金 M24 (SS400)

平成 29 年度	図面番号	6	13
事業名	一般国道423号		
路線名	一般国道423号		
工事名	吹田市江の木町地区		
施工地	階段部支承補強工		
図面名	階段部支承補強工	1/20	

大阪府茨木土木事務所

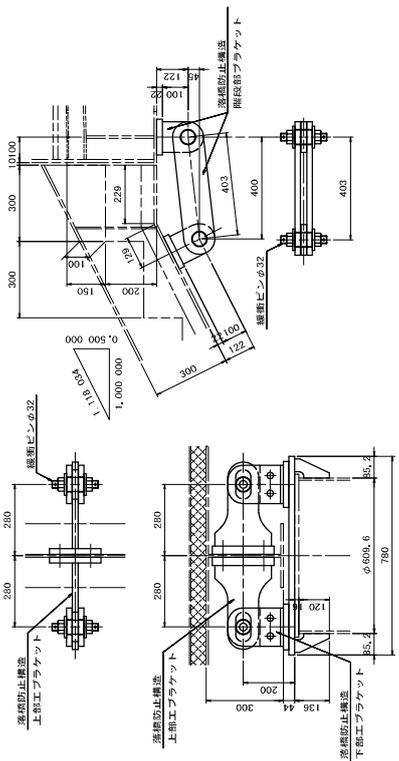
落橋防止システム詳細図(その1) S=1:10

P2, P6橋脚部

落橋防止構造

階段部

通路部

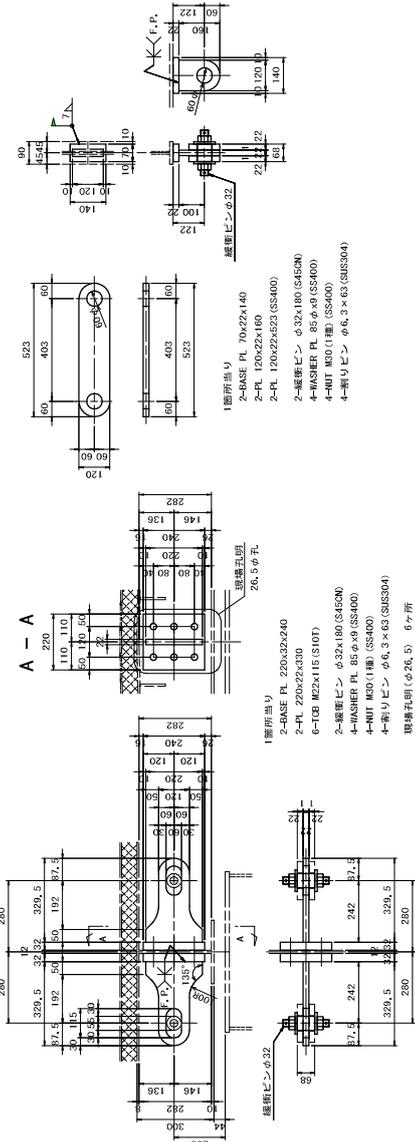


上部エブラケット

階段部ブラケット

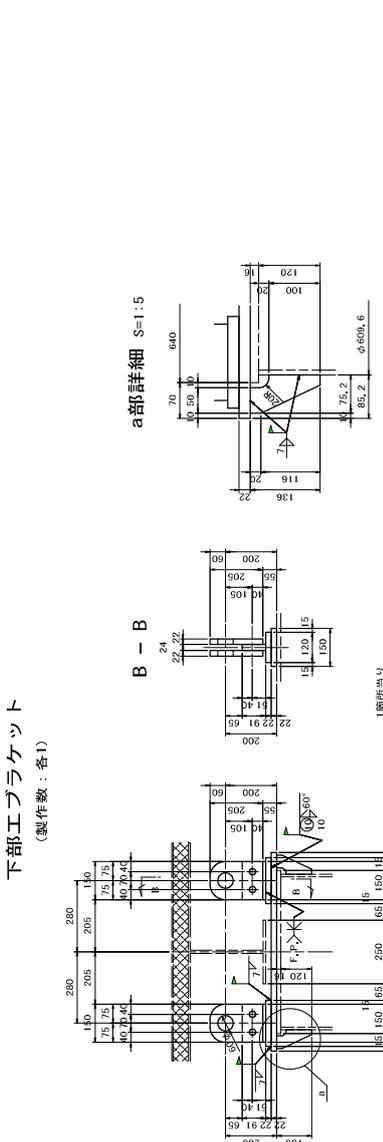
(製作数: 各2)

(製作数: 各1)

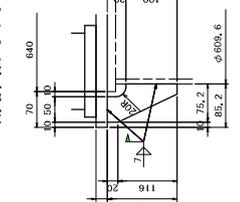


下部エブラケット

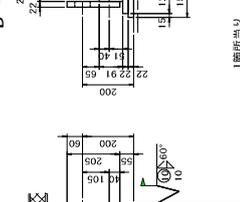
(製作数: 各1)



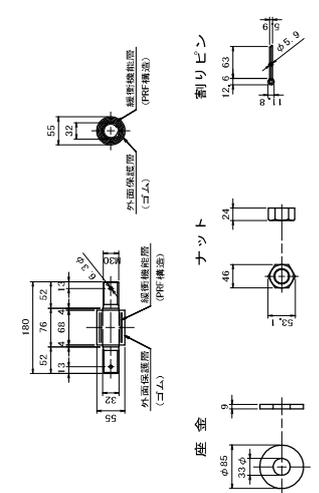
a部詳細 S=1:5



B-B



緩衝ピン詳細 S=1:5



注記
 1. 本図面は、既存資料を基に現場計画やスケールアップ等にて図化したものである。
 2. 詳細な寸法等は不明箇所がある為、必要に応じて設計等を表裏すること。
 3. 特記なき材質は、全てSM400とする。
 4. *印は、TCE M22(S10T)を示す。

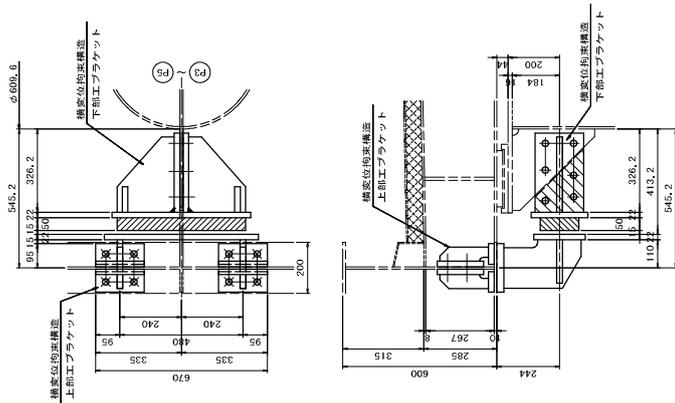
年度	30年度	図面番号	
事業名	一般国道4.2号等	製作者	豊田建設事務所設計室
路線名	一般国道4.2号	工事名	
施工地	吹田市豊津町地内	図面名	詳細設計図(10) 橋脚
図面名	詳細設計図(10) 橋脚	図面	図併

大阪府茨木事務所

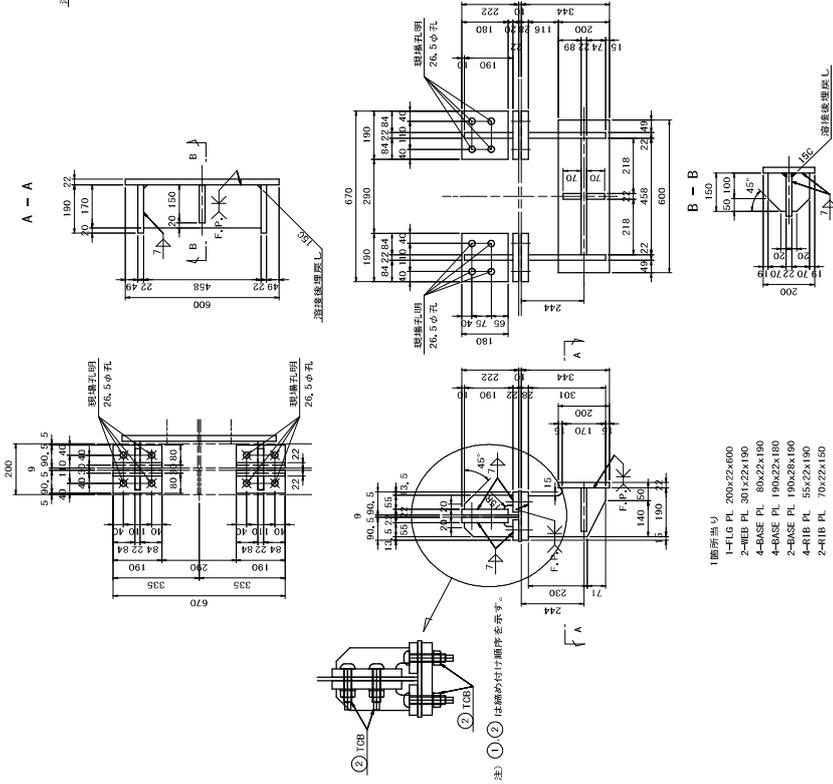
落橋防止システム詳細図(その2) S=1:10

P3~P5橋脚部 横変位拘束構造

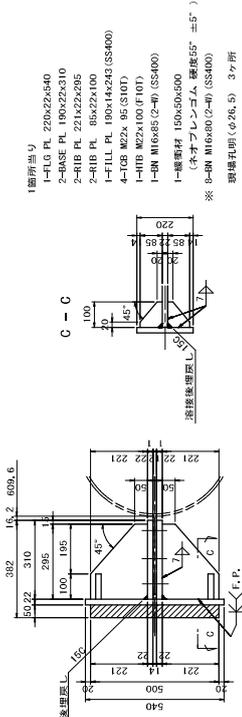
平面図



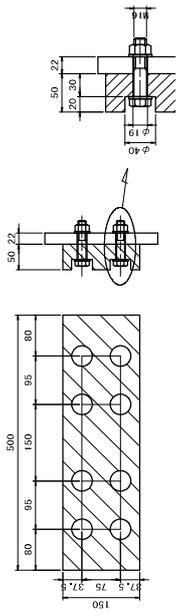
上部エブラケット詳細図
(製作数:各2)



下部エブラケット詳細図
(製作数:各2)



緩衝材詳細 S=1:5



- 1箇所当り
- 1-FLG PL 200x22x600
 - 2-MEB PL 301x22x190
 - 4-BASE PL 80x22x190
 - 4-FILL PL 190x22x190
 - 2-RIB PL 190x22x190
 - 2-RIB PL 55x22x190
 - 1-RIB PL 170x22x458
 - 4-TCB M22x 95(S10T)
 - 8-TCB M22x 90(S10T)
- 取付孔(φ26.5) 16ヶ所

注記

1. 本図面は、既得資料を基に現地計測やスケールアップ等にて図化したものである。
2. 詳細な寸法等に不明箇所がある為、必要に応じて再計測等を実施すること。
3. 特記なき材料は、全てSM400とする。
4. *印は、TCB M22(S10T)を示す。
5. **印は、RIB M22(F10T)を示す。
6. ※印材料は、全て防錆面銀メッキを施す。

面物の付着量は、JIS H 8641 MZ35とする。

年度	30年度	図面番号	
事業名	一般国道4.2.3号		
路線名	豊後川橋脚部補修工事		
工種名	一般国道4.2.3号		
施工地名	吹田市豊津町地内		
図面名	詳細設計図(10) 橋脚 図併		

大阪府茨木土木事務所

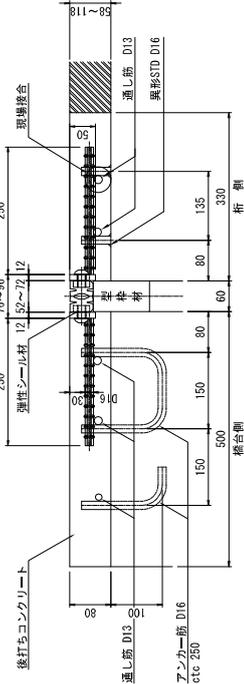
伸縮継手詳細図 (その2)

上流側

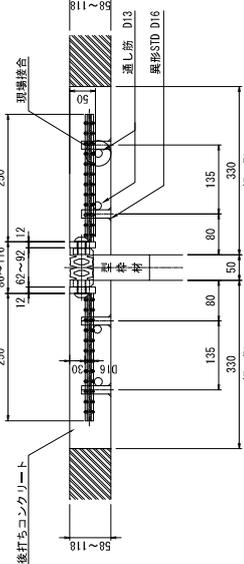
伸縮継手断面図 (参考図)

S=1:5

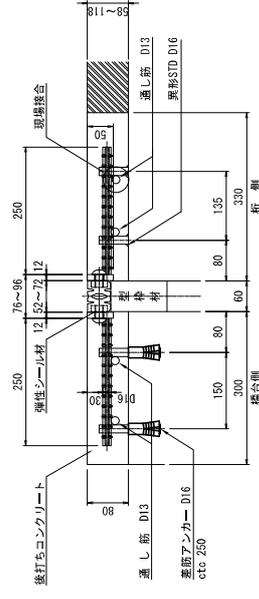
プロフジョイントN x 型-20用 同等品以上
A1, A2部 歩道部 新設



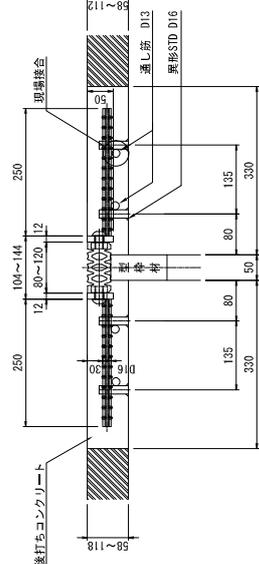
プロフジョイントN x 型-30用 同等品以上
P3部 歩道部



プロフジョイントN x 型-20用 同等品以上
A1, A2部 歩道部 既設



プロフジョイントN x 型-40用 同等品以上
P4部 歩道部



伸縮装置の現地設置基準

伸縮装置タイプ	実設時温度t(°C)	伸縮ハットシール設置幅 A(mm)
プロフジョイントN x 型-20用	t<15	20±15
プロフジョイントN x 型-30用	15~25	64
プロフジョイントN x 型-40用	25~35	62
プロフジョイントN x 型-50用	35~45	81
プロフジョイントN x 型-60用	45~55	77
プロフジョイントN x 型-70用	55~65	106
プロフジョイントN x 型-80用	65~75	100
プロフジョイントN x 型-90用	75~85	94

※実設時温度は現地での平均気温

材料表

名称	材質	A1, A2部	P1, P5, P6部	P2部	P3部	P4部	備考	出荷マーク
プロフジョイントN x 型-20用 (歩道用)	SS400 合成ゴム	2,000 m					22, 1kg/m	F1(A1, A2)
同等品以上 (歩道用)	S0345	8×2,000 m					伸縮本体に原組込し出荷	F2(A1, A2)
プロフジョイントN x 型-20用 (通し筋 D13)	S0345	1×2,590 m						
プロフジョイントN x 型-30用 (歩道用)	SS400 合成ゴム	2,000 m	1,570 m				22, 1kg/m	M1(P1, P2, P3, P4)
同等品以上 (歩道用)	S0345	2,000 m	2,000 m				伸縮本体に原組込し出荷	M2(P1, P2, P3, P4)
プロフジョイントN x 型-40用 (歩道用)	SS400 合成ゴム	2,000 m	4×2,000 m				22, 1kg/m	M3(P2, P3, P4)
同等品以上 (歩道用)	S0345	8×2,000 m	4×2,000 m				伸縮本体に原組込し出荷	M4(P2, P3, P4)
プロフジョイントN x 型-30用 (歩道用)	SS400 合成ゴム			2,000 m			22, 1kg/m	M1(P3)
同等品以上 (歩道用)	S0345			2,000 m			伸縮本体に原組込し出荷	M2(P3)
プロフジョイントN x 型-40用 (歩道用)	SS400 合成ゴム			8×2,000 m			23, 0.6kg/m	M1(P4)
同等品以上 (歩道用)	S0345			8×2,000 m			伸縮本体に原組込し出荷	M2(P4)
後打ちコンクリート	コンクリート			4×1,570 m			14, 200 m	
弾性シャール材	弾性シャール材			4×2,000 m				
通し筋 D13	通し筋 D13			0.700 m	0.700 m	0.700 m		ワレット付
異形STD D16	異形STD D16			0.88 m	0.88 m	0.88 m		ワレット付
アンカー筋 D16	アンカー筋 D16			0.75 m	0.88 m	0.88 m		ワレット付
鋼台側	鋼台側	34 本	68 本	60 本	68 本	60 本	460 本	※1
歩道側	歩道側	10 本	10 本	24 本	24 本	24 本	20 本	
鋼台側	鋼台側	10 本	10 本	24 本	24 本	24 本	20 本	
歩道側	歩道側	12 本	12 本	24 本	24 本	24 本	24 本	
鋼台側	鋼台側	0.254 m ²	0.232 m ²	0.200 m ²	0.232 m ²	0.200 m ²	1.836 m ²	
歩道側	歩道側	0.254 m ²	0.232 m ²	0.200 m ²	0.232 m ²	0.200 m ²	1.836 m ²	

※() 内寸法はP2を示す。

※1 伸縮装置の高さを調整後、所定高さに現地で切替する。

※2 地震シール材施工と伸縮継手部コンクリート面への塗布に利用。

※3 鋼台のコンクリート強度が24(N/mm²)以上を要する場合は、後打ちコンクリート強度は鋼台のコンクリート強度以上とする。

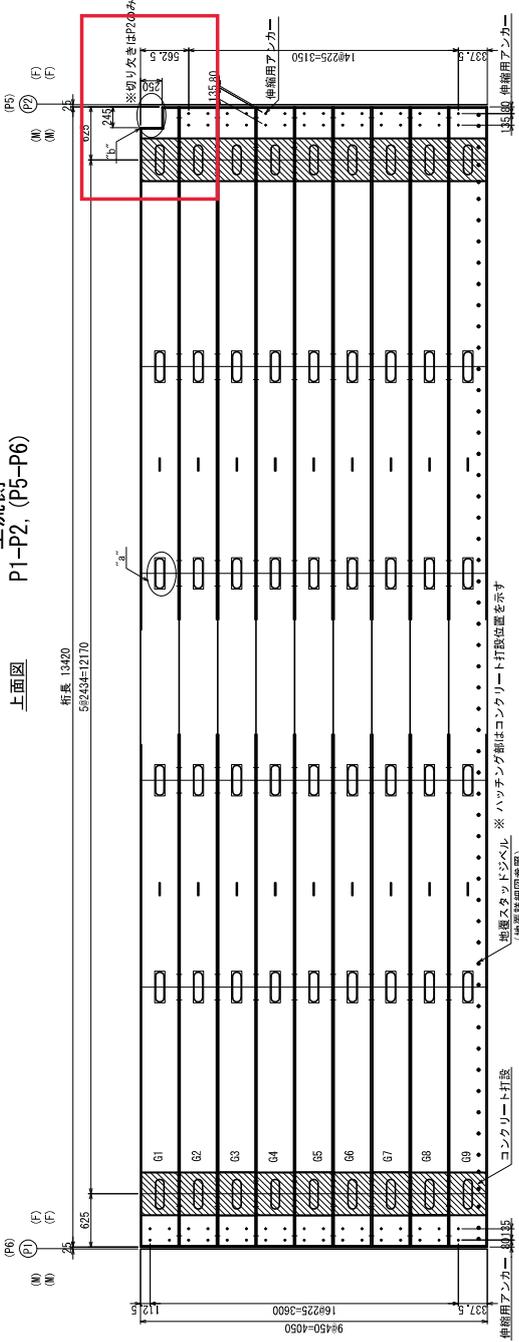
※4 木部は、仕様を指定するものであり、製品を指定するものではない。

※本工事は、上流側のみを対象とする。

年度		計画年度
平成30~31年度	計画年度	
事業名	大阪府表木土木事務所	
図面名	伸縮継手詳細図 (その2)	
施工地名	枚田川南高浜河内	
工事業	新設橋脚補修工事	
図面番	図示	
面積	図示	
縮尺	図示	

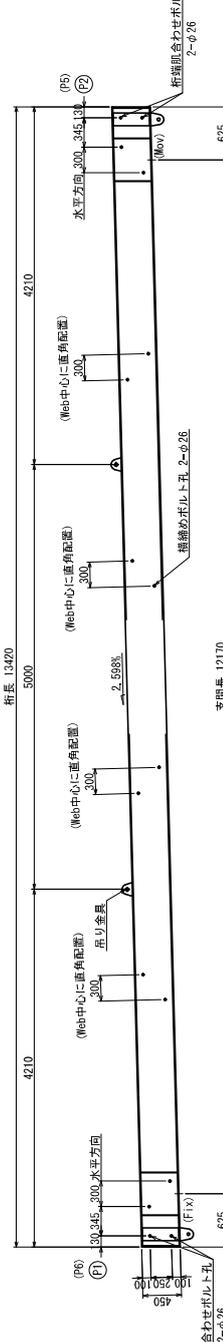
パネル詳細図 (その1) S=1:30

上面図
上流側
P1-P2, (P5-P6)

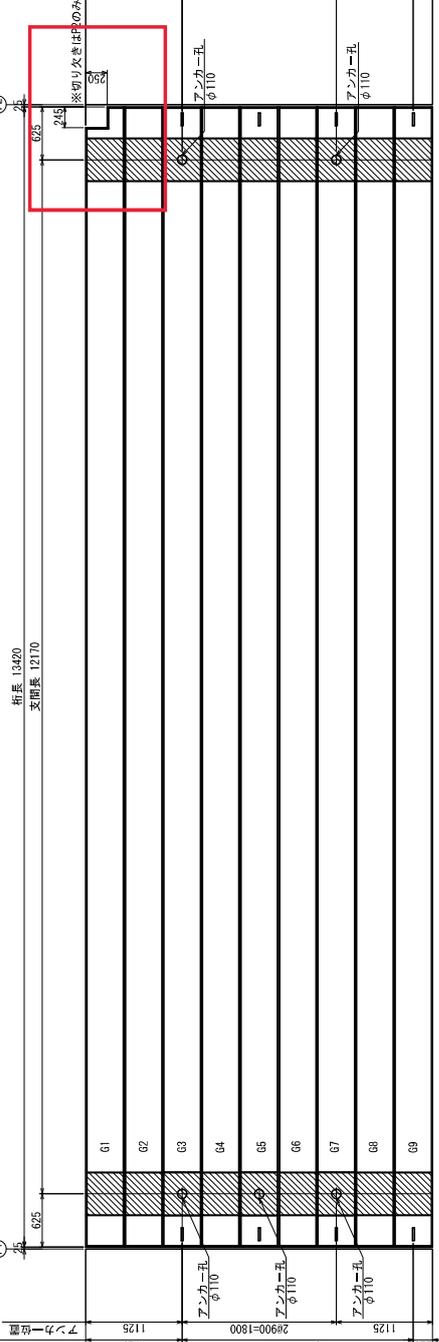


上面図

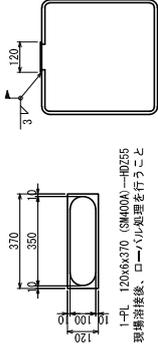
側面図



下面図

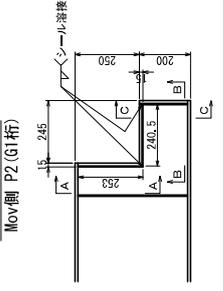


"a" 部詳細 S=1:10

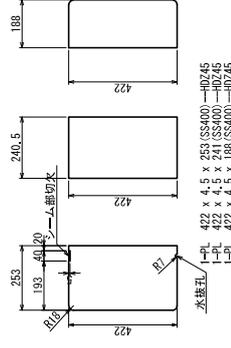


1-PL 120x6x370 (SM400A)-HD25
現場溶接後、ローバル処理を行うこと

"D" 部詳細 S=1:10



A-A B-B C-C



主桁関連全体数量

- 9-□ 450x450x12x 13437 (BGR285)-HD255
- 仕切板(端) 47(48)-PL 422 x 4.5 x 422 (SS400)-HD245-桁端部のみ亜鉛メッキ
- 仕切板(中央部) 6-PL 422 x 6.0 x 422 (SS400)
- 仕切板(切り欠き部) 110-PL 422 x 4.5 x 253 (SS400)-HD245
- 仕切板(切り欠き部) 110-PL 422 x 4.5 x 241 (SS400)-HD245
- 仕切板(切り欠き部) 110-PL 422 x 4.5 x 188 (SS400)-HD245
- 仕切板伸え(端) 30-3B D13 x 500 (SD345)
- 仕切板伸え(中央部) 6-3B D13 x 684 (SD345)
- 桁端部ボルト 90-3N M22x70 (SS400) (Rc=Nut: 2-Master Ft)-HD235
- 桁端部ボルト 32-3N M22x70 (SS400) (Rc=Nut: 2-Master Ft)-HD235
- ボルト締付具 30-PL 120x6x370 (SM400A)-HD255
- ソールプレート 6-PL 150x20x390 (SM400A)-HD255

※1内はP5-P6部間の数量を示す。

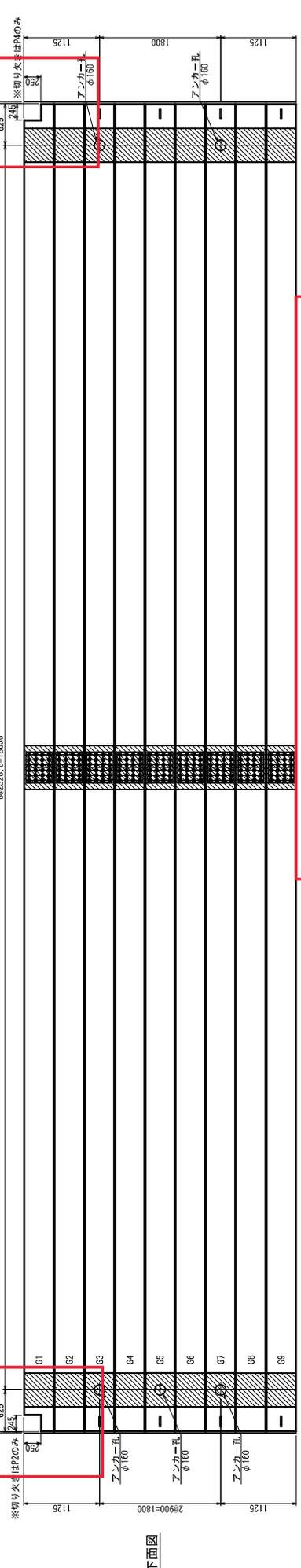
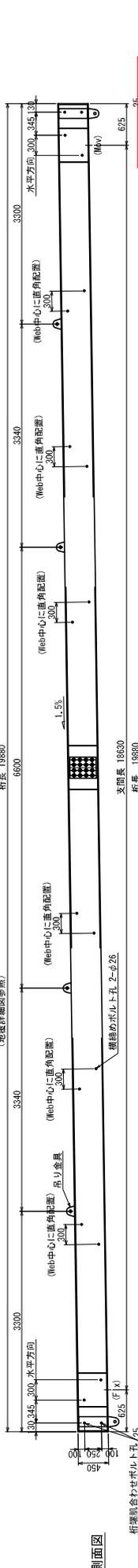
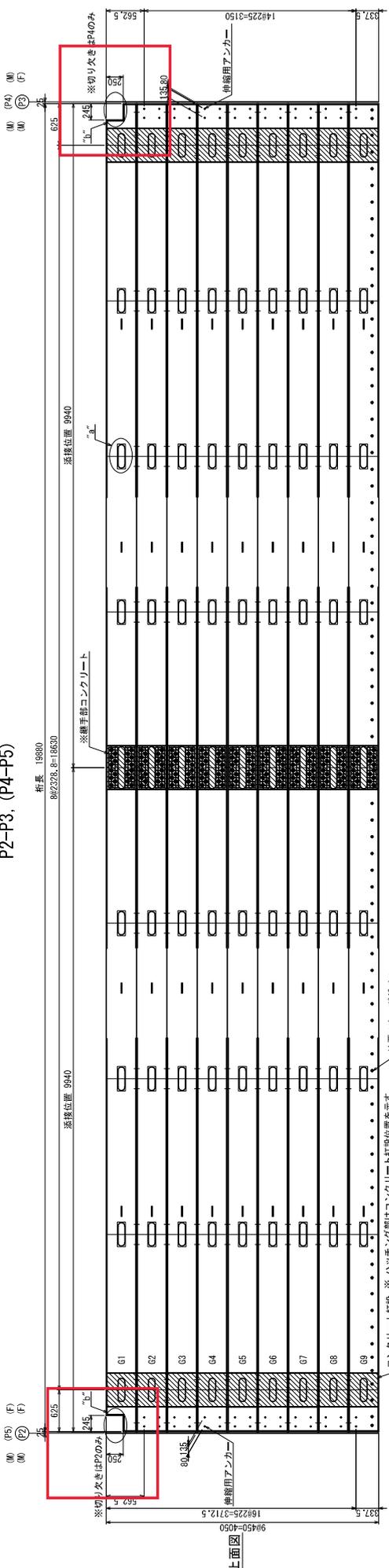
※本工事は、上流側のみを対象とする。

年度	平成30~31年度		
事業名	大阪府 河川改修事業	河川番号	大阪府 河川改修事業
工事名	大阪府 河川改修事業 新設橋梁建設工事	工事番号	大阪府 河川改修事業 新設橋梁建設工事
施工地名	大阪府 河川改修事業	河川名	大阪府 河川改修事業
図面名	パネル詳細図 (その1)	図面番号	大阪府 河川改修事業 新設橋梁建設工事
図示	図示	図示	図示

注) 1. パネル詳細図(その2.3)も参照のこと。

パネル詳細図 (その1) S=1:30

上流側 P2-P3, (P4-P5)

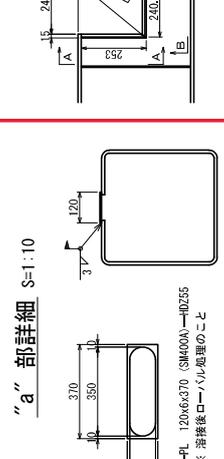
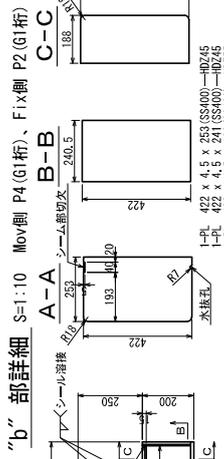


※本工事は、上流側のみを対象とする。

事業名	一般国道 福岡県道
路線名	福岡県道 福岡県道
工事名	福岡県道 福岡県道
施工地名	福岡県道 福岡県道
図面名	パネル詳細図 (その1)
図尺	1/30
図示	図示

注

1.ハケル詳細図 (その1.3.4)も参照のこと。

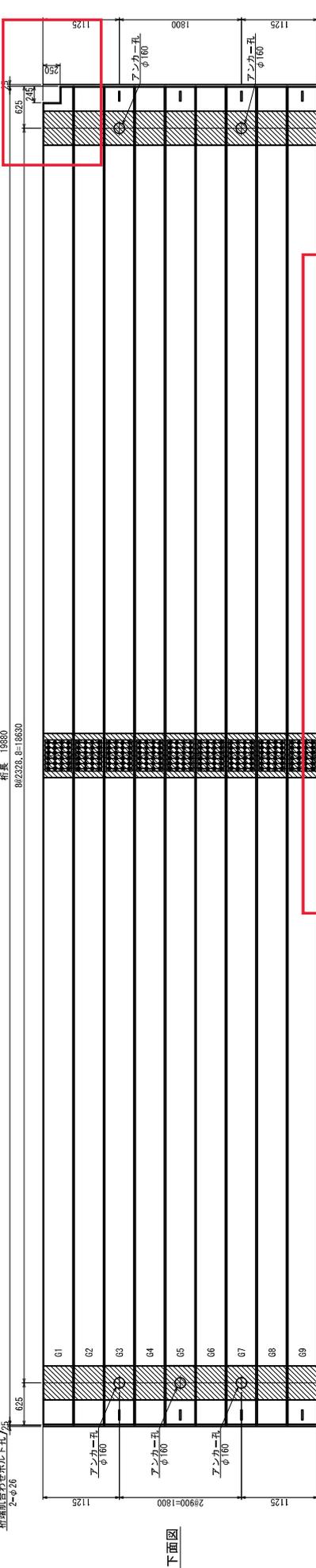
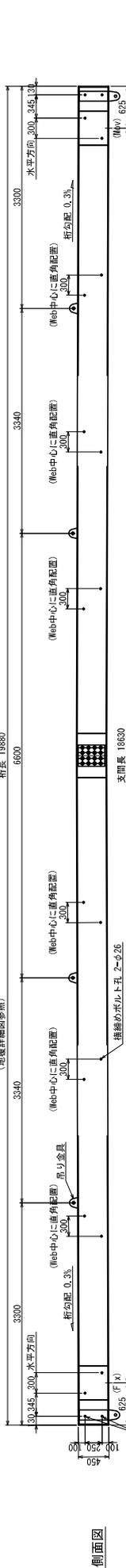
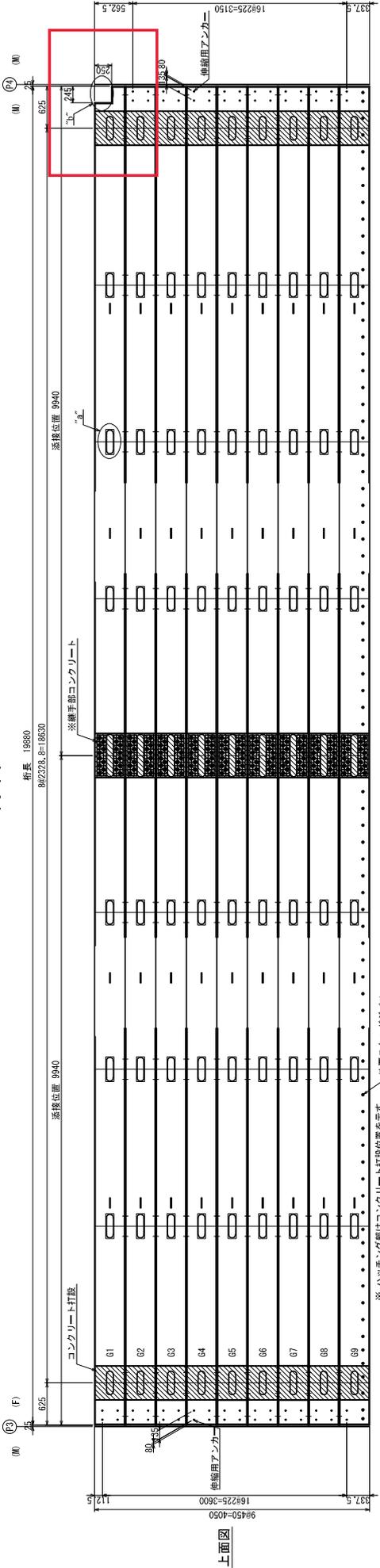


主材関連全体数量

主筋	18-口 450x50x12x 9948 (B0295) →HD255
仕切板(縦)	47-PL 422 x 4.5 x 422 (SS400) →HD245
仕切板(横)	6-PL 422 x 4.5 x 422 (SS400) →HD245
仕切板(切り欠き部)	1-PL 422 x 4.5 x 241 (SS400) →HD245
仕切板(切欠き部)	1-PL 422 x 4.5 x 241 (SS400) →HD245
仕切板(溶接部)	30-JB D13 x 500 (SD345)
仕切板挿入(鋼)	6-JB D13 x 685 (SD345)
仕切板挿入(Fix側アンカー部)	28-RN M22x70 (SS400) (HLR-Nut, 2-Washer付) →HD235
継手ボルト	32-RN M22x70 (SS400) (HLR-Nut, 2-Washer付) →HD235
ボルト締め用ナット	3P-FL 120x72x137 (SM400N) →HD255
ボルト締め用ワッシャー	3P-FL 120x72x137 (SM400N) →HD255
ソールプレート	18-5016 FL 220x236x30 (SM400N) →HD255

パネル詳細図 (その1) S=1:30

上流側
P3-P4



主桁部全体数量

主桁	18-□ 150X450X12-9941 (R6295)-H0255
仕切版(横)	47-PL 422 x 4.5 x 422 (SS400)-H0245
仕切版(縦)	6-PL 422 x 6 x 422 (SS400)-H0245
仕切版(切り欠き部)	1-PL 422 x 4.5 x 253 (SS400)-H0245
仕切版(切り欠き部)	1-PL 422 x 4.5 x 241 (SS400)-H0245
仕切版(切り欠き部)	1-PL 422 x 4.5 x 188 (SS400)-H0245
仕切版(切欠き部)	18-PL 422 x 4.5 x 427 (SS400)-H0245
仕切版(切欠き部)	30-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)
仕切版(切欠き部)	6-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)
仕切版(切欠き部)	128-BR M22X70 (SS400) (UL-Kit. 2-Washer付)-H0235
仕切版(切欠き部)	32-BR M22X70 (SS400) (UL-Kit. 2-Washer付)-H0235
仕切版(切欠き部)	54-PL 120X6370 (SM400A)-H0255
仕切版(切欠き部)	18-54le PL 220X45X390 (SM400A)-H0255

※ 溶接後ローバー処理のこと

1-RL 120X6370 (SM400A)-H0255

2-RL 422 x 4.5 x 253 (SS400)-H0245

3-PL 422 x 4.5 x 188 (SS400)-H0245

4-PL 422 x 4.5 x 188 (SS400)-H0245

5-PL 422 x 4.5 x 188 (SS400)-H0245

6-PL 422 x 4.5 x 253 (SS400)-H0245

7-PL 422 x 4.5 x 241 (SS400)-H0245

8-PL 422 x 4.5 x 188 (SS400)-H0245

9-PL 422 x 4.5 x 427 (SS400)-H0245

10-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

11-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

12-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

13-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

14-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

15-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

16-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

17-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

18-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

19-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

20-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

21-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

22-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

23-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

24-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

25-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

26-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

27-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

28-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

29-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

30-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

31-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

32-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

33-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

34-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

35-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

36-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

37-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

38-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

39-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

40-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

41-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

42-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

43-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

44-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

45-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

46-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

47-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

48-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

49-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

50-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

51-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

52-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

53-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

54-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

55-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

56-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

57-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

58-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

59-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

60-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

61-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

62-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

63-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

64-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

65-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

66-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

67-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

68-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

69-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

70-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

71-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

72-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

73-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

74-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

75-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

76-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

77-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

78-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

79-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

80-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

81-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

82-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

83-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

84-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

85-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

86-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

87-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

88-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

89-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

90-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

91-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

92-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

93-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

94-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

95-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

96-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

97-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

98-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

99-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

100-PL 422 x 4.5 x 500 (S3045)

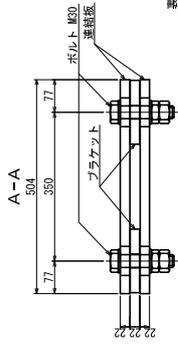
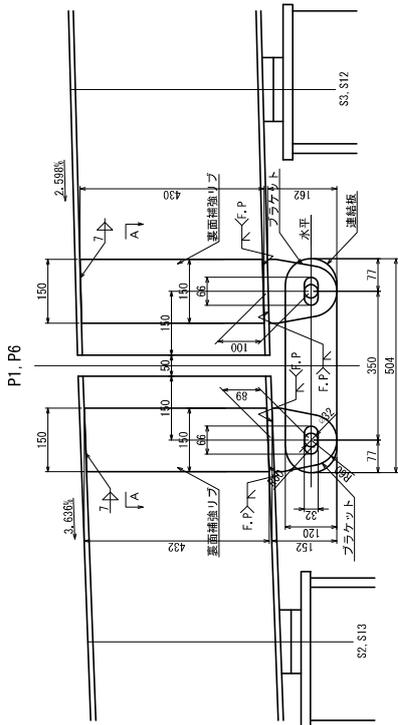
事業名	平成30~31年度
図面番号	
事業名	一般国道 福岡県道
図面名	福岡県道 福岡県道
工事名	福岡県道 福岡県道
施工地名	福岡県道 福岡県道
図面名	パネル詳細図
図示	図示

大阪府土木事務所

落橋防止構造詳細図

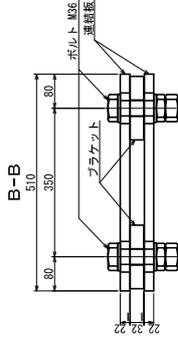
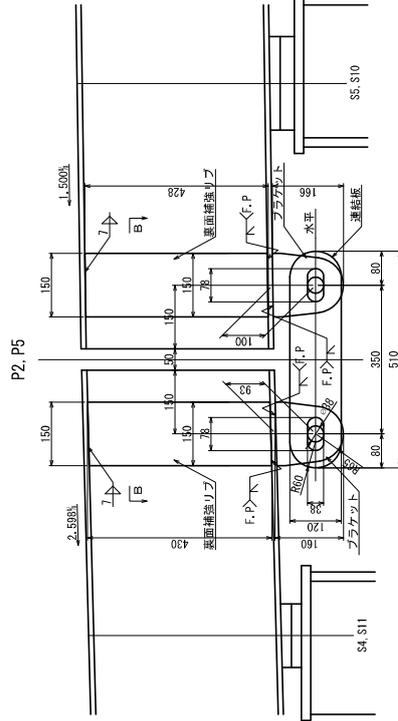
上流側

側面図 S=1:6



製作数：4 / 1橋脚当り
 連結板 2-PL 120 x 22 x 504 (SM400A)→HD255
 ブラケット 1-PL 163 x 32 x 150 (SM400A)→HD255-S2, S12側
 表面補強リブ 1-PL 163 x 32 x 150 (SM400A)→HD255-S2, S12側
 裏面補強リブ 1-PL 428 x 32 x 150 (SM400A)→HD255-S3, S14側
 2-BN M30x130 (S35GN) (1-Nut1種, 3種, 2-Washer付)→HD235

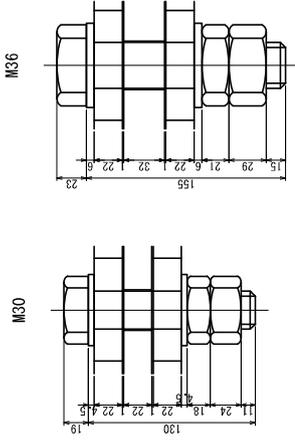
※ ブラケット、裏面補強リブは桁の中心に設置のこと



製作数：4 / 1橋脚当り
 連結板 2-PL 120 x 22 x 510 (SM400A)→HD255
 ブラケット 1-PL 163 x 32 x 150 (SM400A)→HD255-S4, S11側
 表面補強リブ 1-PL 163 x 32 x 150 (SM400A)→HD255-S4, S11側
 裏面補強リブ 1-PL 428 x 32 x 150 (SM400A)→HD255-S5, S10側
 2-BN M36x155 (S35GN) (1-Nut1種, 3種, 2-Washer付)→HD235

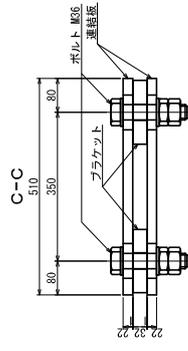
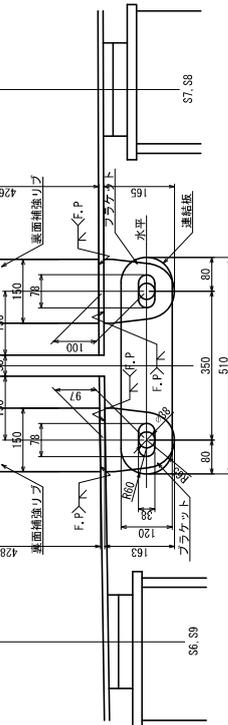
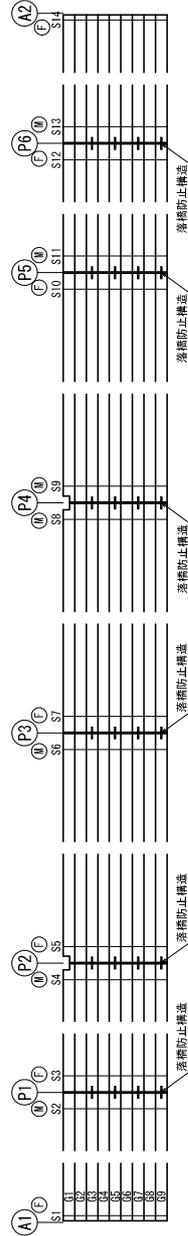
※ ブラケット、裏面補強リブは桁の中心に設置のこと

連結ボルト詳細図 S=1:2



※ 連結ボルトはブラケットと連結板間を脱け締め付けないこと。

配置図



製作数：4 / 1橋脚当り
 連結板 2-PL 120 x 22 x 510 (SM400A)→HD255
 ブラケット 1-PL 163 x 32 x 150 (SM400A)→HD255-S6, S9側
 表面補強リブ 1-PL 163 x 32 x 150 (SM400A)→HD255-S7, S8側
 裏面補強リブ 1-PL 428 x 32 x 150 (SM400A)→HD255-S7, S8側
 2-BN M36x155 (S35GN) (1-Nut1種, 3種, 2-Washer付)→HD235

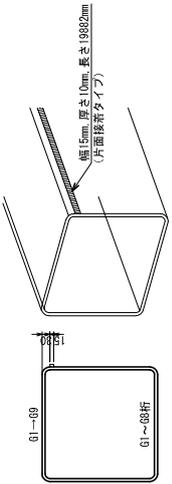
※ ブラケット、裏面補強リブは桁の中心に設置のこと

※本工事は、上流側の片名を対象とする。

年度	平成30～31年度
図面番号	
事業名	大阪府表木土木事務所
図様名	一般河川 福山河川事務所
別名	福山川 上流部 落橋防止工事業
工事名	新設橋脚部 落橋防止工事業
施工地名	秋田南高井町橋内
図面名	落橋防止構造詳細図
尺	四尺

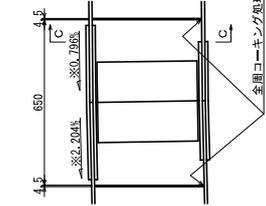
パネル詳細図 (その3)

隙間テープ S=1:10



※ G9材充填きき差に張り上図位置に隙間テープを貼付付ける。
 ※ 片側のみ(右側)に貼り付ける。
 ※ めっさ処理後に接着すること。

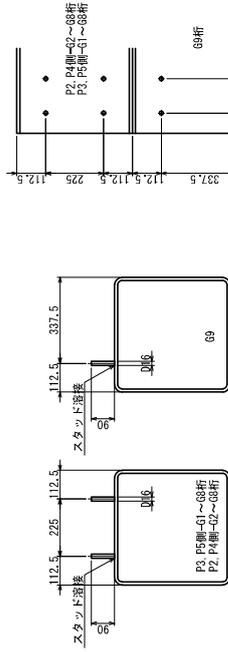
添接部仕切板 S=1:10



2-PL 422 x 4.5 x 422 (S3400)
 ※ 製作時桁勾配を示す。(完成時1.5%)

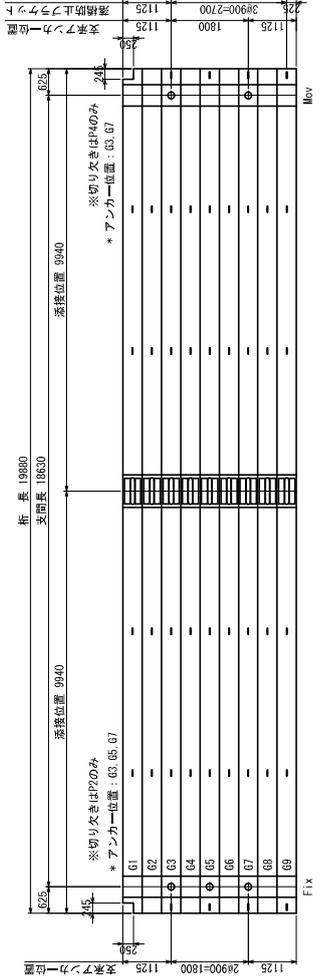
伸縮用異形STD S=1:10

* 上面を除く3面中央付近に高溶接を行う
 【現場でコンクリート打設時に水抜き孔をコーキング実施】

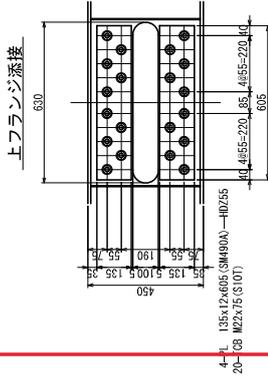


全体木数 G4=異形STD D16x97 (S3445相当) →HDZ55
 【伸縮装置の高さを調整後、所定高さに均勢切断する。】

配置図

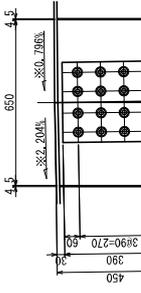


添接部詳細図 S=1:10



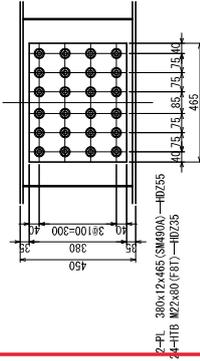
4-PL 135x12x605 (SM490A) →HDZ55
 20-G8 M22x7.5 (S107)

腹板添接



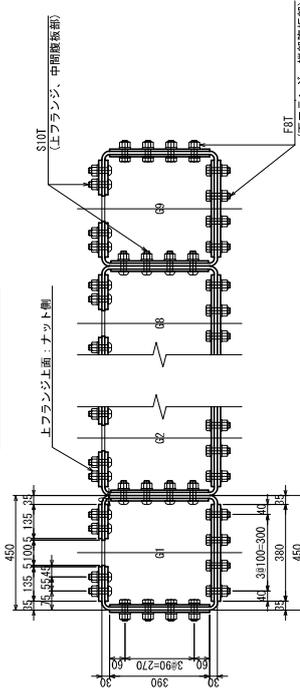
中間縦接部
 2-PL 390x9x315 (SM490A) →HDZ55
 16-G8 M22x80 (S107)
 ※ 製作時桁勾配を示す。(完成時1.5%)

下フランジ添接



2-PL 380x12x465 (SM490A) →HDZ55
 14-HTB M22x80 (F8T) →HDZ35

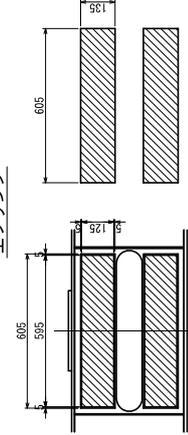
添接部断面図



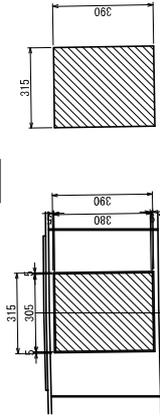
※ 摩擦接合面は表面積さが60mm以上となるようプラストにより処理を行うこと。
 ※ 摩擦接合面及び穴心ト孔のめっさのたまりは取り除くこと。
 ※ プラスト処理の範囲は接合の境界から5mm程度内側の領域とする。

摩擦接合処理

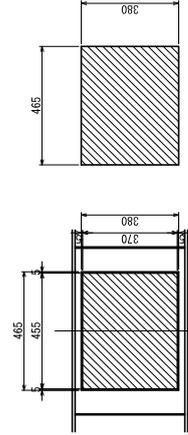
角鋼管添接部 上フランジ 添接板



腹板



下フランジ



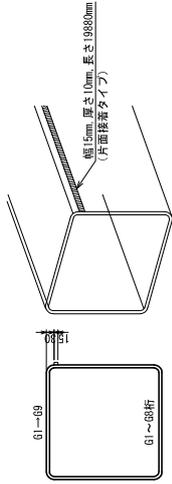
※本工事は、上流側のみを対象とする。

年度	平成30~31年度
事業名	一般国道 福岡湾岸線 福岡県 北九州市 若狭山 支庁名 新築延長区間建設費 工事名
施工地名	牧田川湾岸線内
図面名	パネル詳細図 (その3)
図尺	図示
作成	大阪府土木事務所

注) 1.パネル詳細図(その1.2.4)も参照のこと。

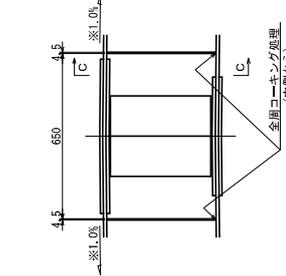
パネル詳細図 (その3)

隙間テープ S=1:10



※ 0.9mm厚の養生紙を貼り付け、隙間テープを上図位置に貼付し、端部テープを貼り付ける。
 ※ 片側のみ(右側)に貼り付ける。
 ※ 現場で施工後に貼付すること。

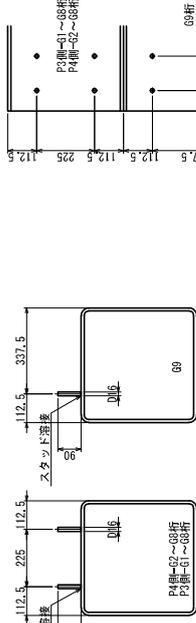
添接部仕切板 S=1:10



※ 金型コーキング処理 (内側から)
 2-P、422 x 4.5 x 422 (SS400)
 ※ 製作時斜勾配を示す。(完成時0.3%)

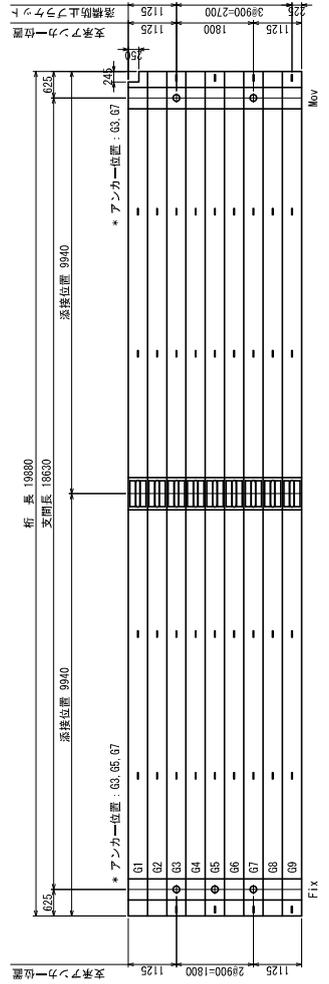
※ 上面を敷く3面中央部に点溶接を行う
 【 現場でコンクリート打設時に水抜き孔をコーキング実施 】

伸縮用異形STD S=1:10

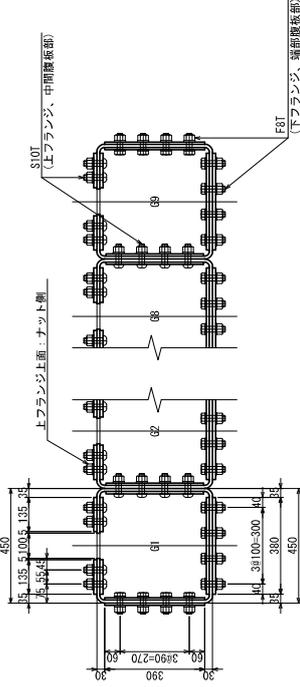


※ 全体本数 G4-異形STD 016x30(30345相当) → HD255
 【 伸縮設置の高き調整後、所定高さに現場切替する。 】

配置図

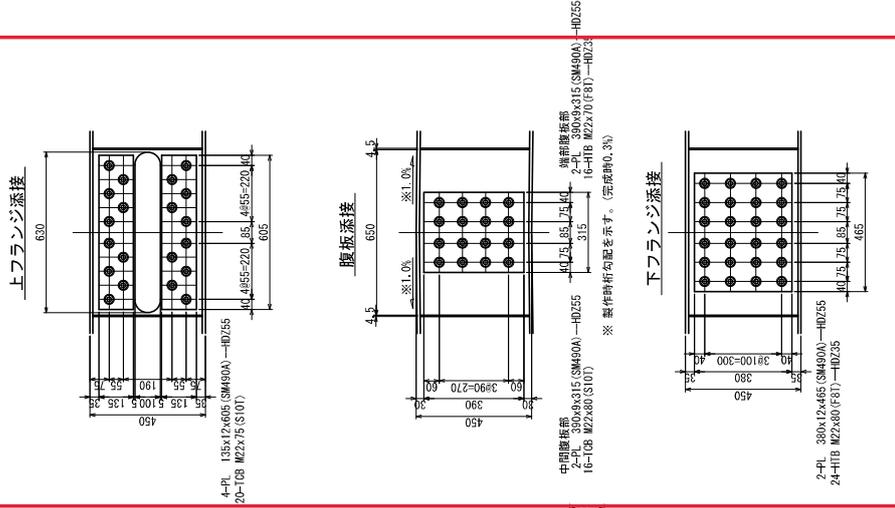


添接部断面図



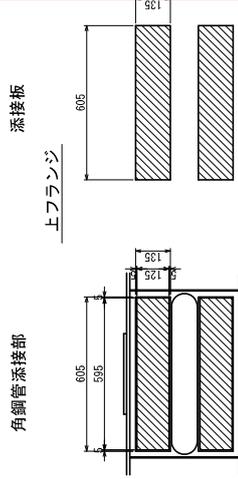
※ 摩擦接合面は表面積さが600mm²以上となるようフラストにより処理を行うこと。
 ※ 摩擦接合面及びパネル孔のめり込みは取り除くこと。
 ※ プラスト処理の範囲は縁から5mm程度内側の領域とする。

添接部詳細図 S=1:10

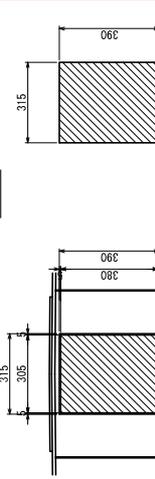


注) 1.パネル詳細図(その1,2,4)も参照のこと。

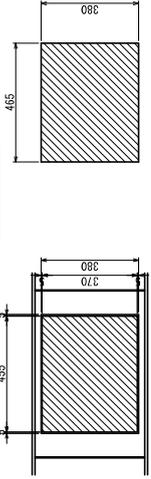
摩擦接合処理



腹板



下フランジ



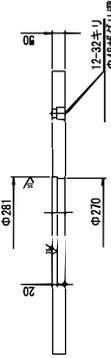
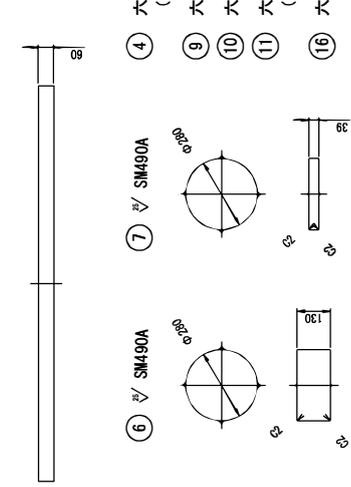
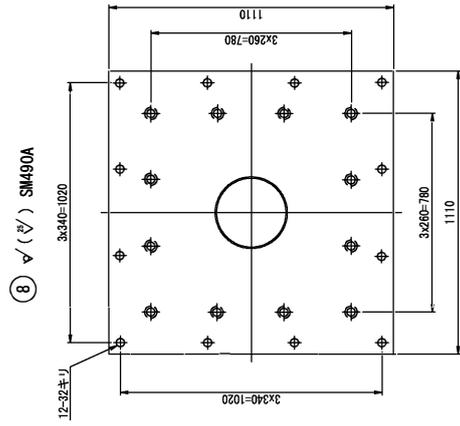
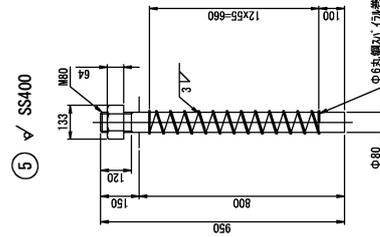
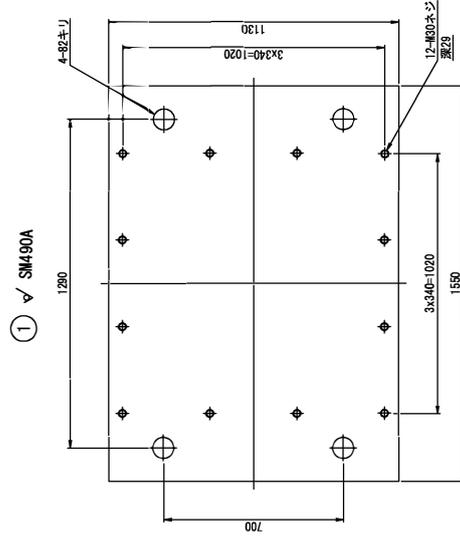
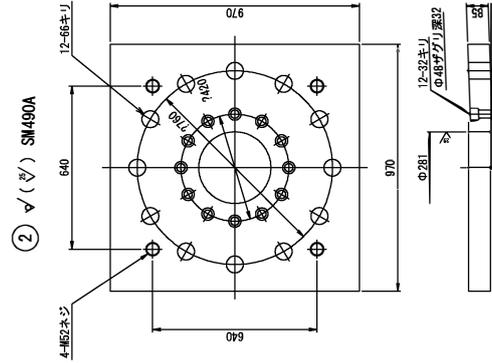
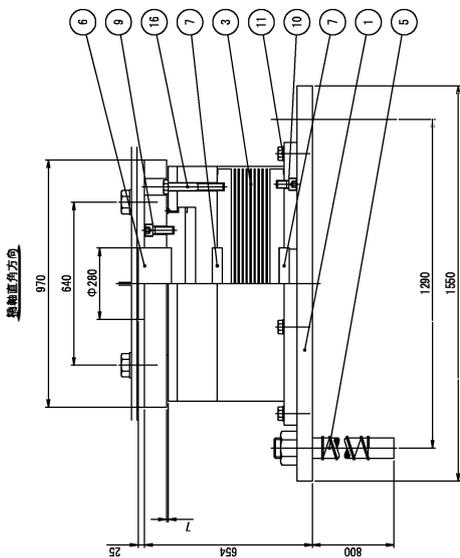
摩擦接合面 (片側) プラスト処理

事業名	平成30~31年度	図面番号	
図録名	一般財団 福山県建設事務所	図名	図示
工事名	福山県 志賀郡 志賀町 新築 新築 志賀町 志賀町 志賀町	尺	
施工地名	新築 新築 新築 新築 新築 新築	尺	
図面名	板田高野町 板田町 板田町 板田町 板田町 板田町	尺	

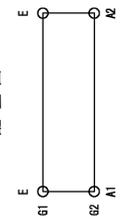
大阪府表土木事務所

A1・A2 支承詳細図 (その1) S=1:10

軸直方図



配置図



- ④ 六角ボルト 中 M52x 8.8 (平座金付き)
- ⑨ 六角穴付ボルト M30x80 10.9
- ⑩ 六角穴付ボルト M30x45 10.9
- ⑪ 六角ボルト 中 M30x80 8.8 (平座金付き)
- ⑯ 六角ボルト 中 M30x215 8.8

免震支承設計条件

全反力	R	2600 kN
死荷重反力	Rd	1700 kN
機軸方向水平力 (地震時)	Rh1e	2050 kN
機軸直交方向水平力 (地震時)	Rh2e	1800 kN
上揚力 (地震時)	V	510 kN
移動		
最大変位量 (地震時)	UB	± 227 mm
せん断弾性係数	G _e	1.2 N/mm ²
破断ひずみ	γ _U	550 %
試験変位量	ΔL	± 193 mm
等価剛性	K _G	8.884 kN/mm
等価減衰定数	h _B	16.9 %
許容せん断ひずみ	γ _S	250 %
2次形状係数	S ₂	8.18
照査荷重	R _L	500 kN
照査荷重時圧縮変位量	δ _{cl}	0.051 mm
支承部支持条件		

機軸方向：免震 機軸直交方向：免震

材料表

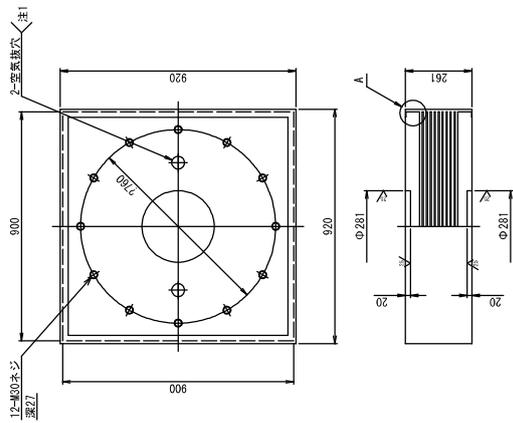
部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
①	ベースプレート	SM490A	1	813.1	
②	上蓋	SM490A	1	543.9	
③	ゴム	NR-S-3500A	1	1047.5	
④	六角ボルト座金	SS400	4	14.8	JIS B 1180
⑤	アンカーボルトナット	SS400	4	163.4	
⑥	せん断キ	SM490A	2	37.7	
⑦	下蓋	SM490A	1	449.8	
⑧	六角穴付ボルト		12	8.4	JIS B 1176
⑨	六角穴付ボルト		12	6.3	JIS B 1176
⑩	六角ボルト座金		12	8.6	JIS B 1180
⑪	ボルト	SM490A	1	852.9	
⑫	中間プレート	S45C	1	136.6	
⑬	ゴムプレート	クロロプレンゴム	1	14.7	田嶋リンク付
⑭	ゴムプレート	SM490A	1	163.7	JIS B 1180
⑮	六角ボルト		12	16.9	JIS B 1180
⑯	シールリング	クロロプレンゴム	1	0.1	
全重量				4341.2 (kg)	
一般外面の防食処理					
溶融亜鉛めっき 材料表記番の○印部品をのぞくこと。					
付着量550g/㎡以上、350g/㎡以上(ほか別)					

注1) 製作会社において、不要な場合は取付は行わずともよい。
 注2) 必要に応じて吊り用のネジ穴を設けてもよい。
 注3) ゴム支承の上下鋼版露出部は、有難シクリッチャポイント処理とする。
 注4) 六角穴付ボルトは黒色酸化皮膜処理ボルトを使用し、締付け後、高濃度亜鉛めっきを施すこと。
 注5) 部番④の六角ボルト・座金の重量は、参考値とする。
 注6) ゴム背面は、クロロスルホン化ポリエチレン系塗料 (K-Oat-R) を塗布すること。

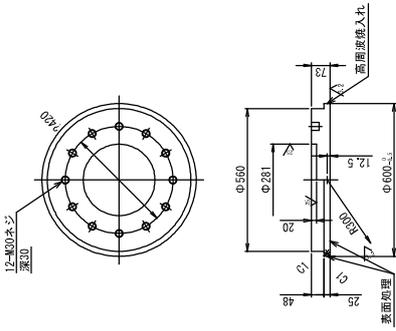
工事名	主要地方道茨城県同体同協同体設計委託
図面名	A1・A2 支承詳細図 (その1)
作成年月	平成31年1月
縮尺	図面番号 22 / 66
会社名	株式会社 C P C
専業者名	茨木土木事務所

A1・A2 支承詳細図 (その2) S=1:10

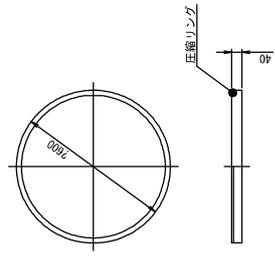
③ (V) HDR-S・SM490A・SS400



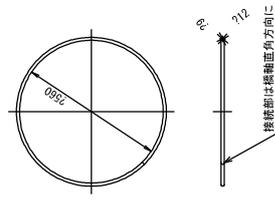
⑬ (V) S45CN



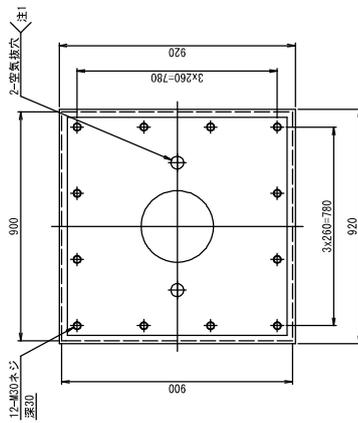
⑭ (V) クロプロレングム



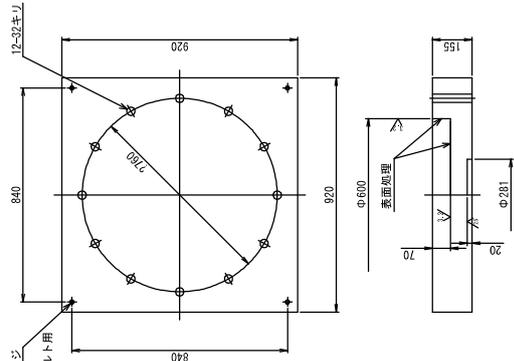
⑰ (V) クロプロレングム



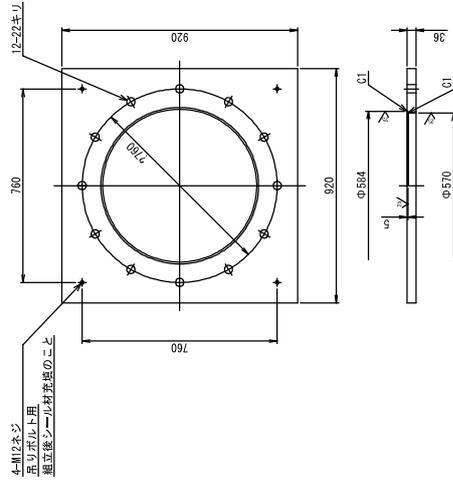
⑫ (V) SM490A



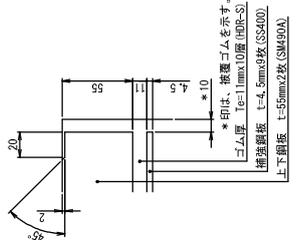
⑫ (V) SM490A



⑮ (V) SM490A



A部詳細図 S=1:2

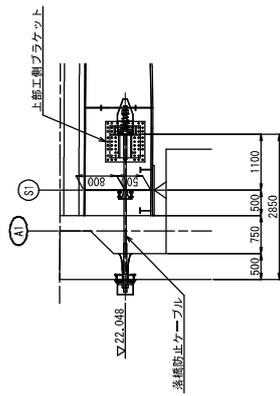


*印は、接着剤を示す。
 □△厚さ t=1mm、t=0.9mm (HDR-S)
 補強鋼板 t=4, 5mm (S45CN)
 上下鋼板 t=55mm (2枚 (SM490A))

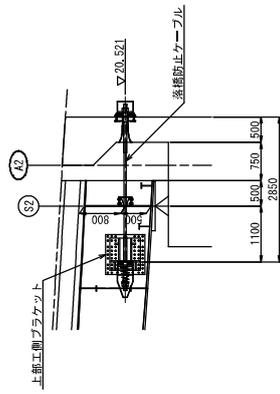
工事名	主要地方道茨城県回廊外環状線建設設計委託		
図面名	A1・A2 支承詳細図 (その2)		
作成年月日	平成21年1月	図面番号	23 / 66
縮尺	図示	株式会社	CPC
会社名	株式会社 茨木土木事務所		

落橋防止構造(その1) S=1:50

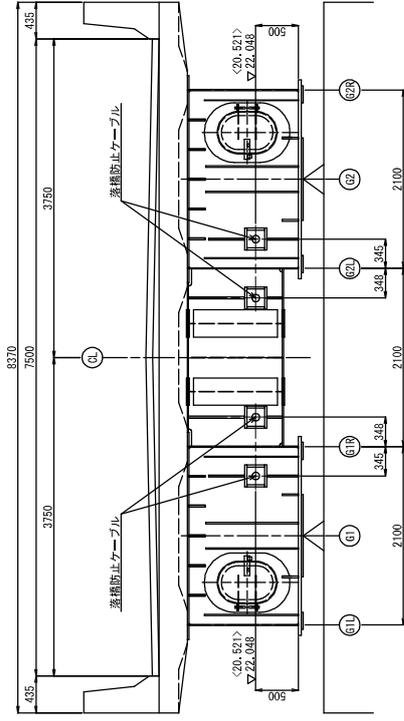
A1 (S1) 側
側面図



A2 (S2) 側
側面図

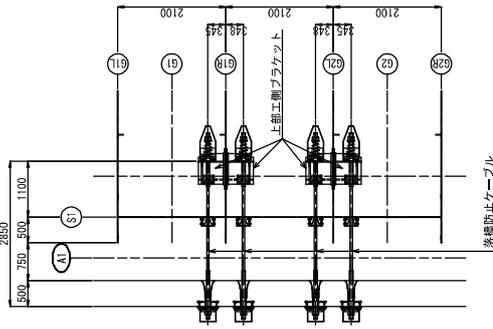


S1, S2上 断面図 S=1:30

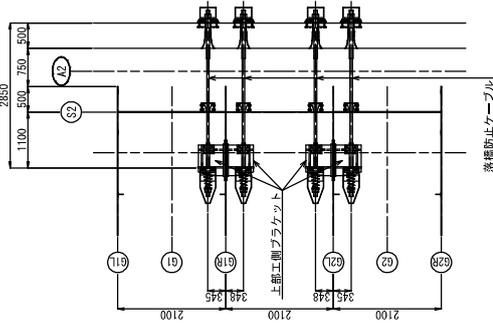


注) $\langle \rangle$は、仮欄を示す。

平面図



平面図



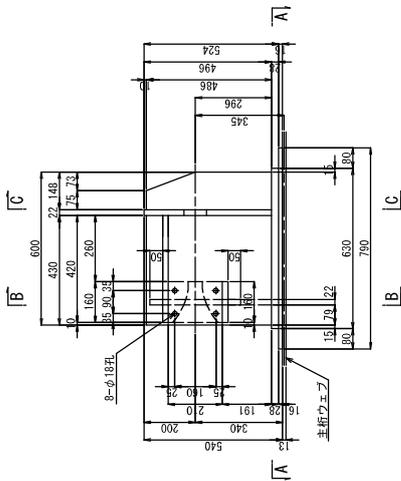
注記)
1. 連続ケーブルの製作は、現場にて取付間
距離を確認のうえ、おこなうこと。

工事名	主要河川治水事業(国)外構設群設計委託		
図面名	落橋防止構造(その1)		
作成年月日	平成21年1月		
縮尺	図示	図面番号	24 / 66
会社名	株式会社 CFC		
事業番号	茨木土木事務所		

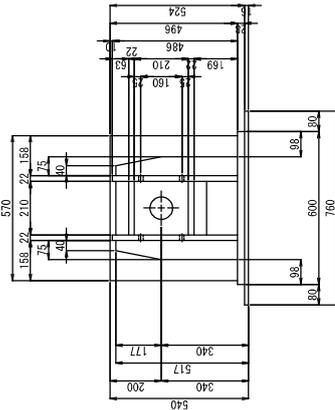
落橋防止構造 (その2) S=1:10 ブラケット詳細図

側面図

箱内側

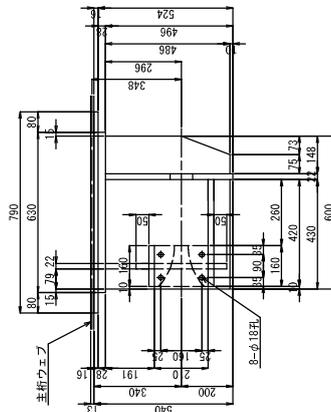


B - B

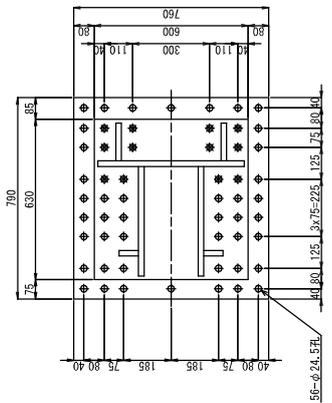


C - C

箱外側



A - A



箱外
ブラケット1基当り (製作数: 4基)

- 2-PL 148x22x486 (SM490BW)
- 2-PL 430x22x486 (SM490BW)
- 2-PL 75x22x517 (SM490BW)
- 2-PL 50x22x210 (SM490BW)
- 1-PL 210x22x420 (SM490BW)
- 1-PL 160x22x210 (SM490BW)
- 1-PL 496x22x570 (SM490BW)
- 1-PL 600x28x630 (SM490BW)
- 1-PL 790x16x760 (SM490BW)

箱内
ブラケット1基当り (製作数: 4基)

- 2-PL 148x22x486
- 2-PL 430x22x486
- 2-PL 75x22x517
- 2-PL 50x22x210
- 1-PL 210x22x420
- 1-PL 160x22x210
- 1-PL 496x22x570
- 1-PL 600x28x630
- 1-PL 790x16x760 (SM490YA)

ブラケット2基当り (製作数: 4基)

- 12-T08 M2x145 (S10TH)
- 16-T08 M2x140 (S10TH)
- 28-T08 M2x 80 (S10TH)

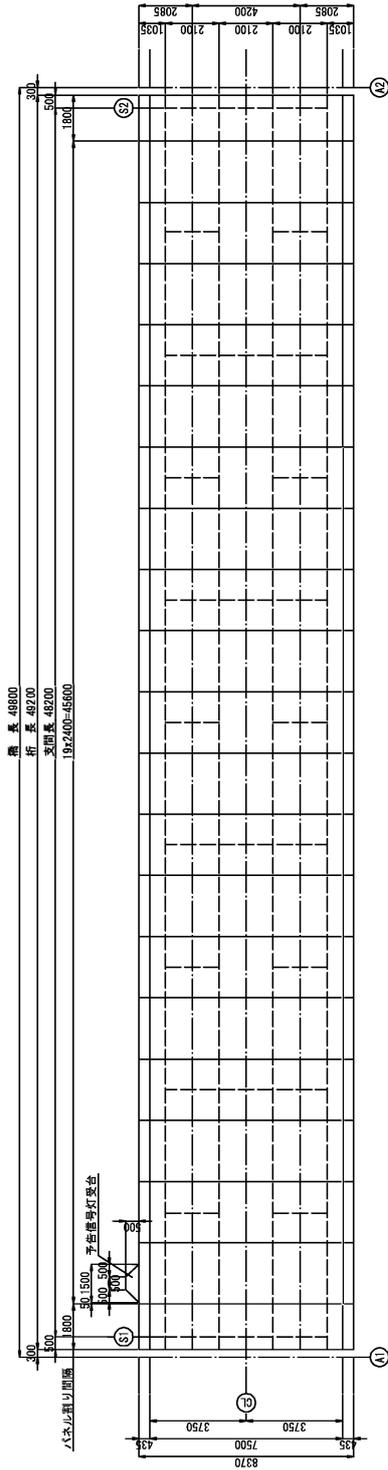
注記)

1. 特記なき材質は全てSM490Bとする。
2. 溶接点前には全て溶接後処理とする。
3. 8φの高カボルトは2ヶ所とする。

工事名	主要河川治水事業(橋脚)橋脚基礎設計委託		
図面名	落橋防止構造 (その2)		
作成年月日	平成21年1月		
縮尺	図示	図面番号	25 / 20
会社名	株式会社 C P C		
事業所名	茨木土木事務所		

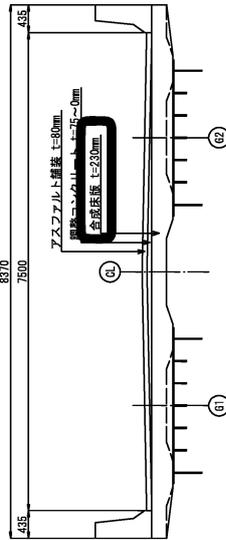
合成床版パネル割付図 S=1:100

平面図

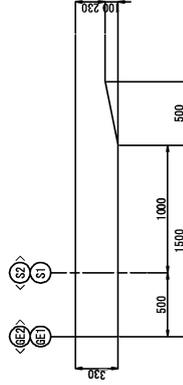


断面図 S=1:40

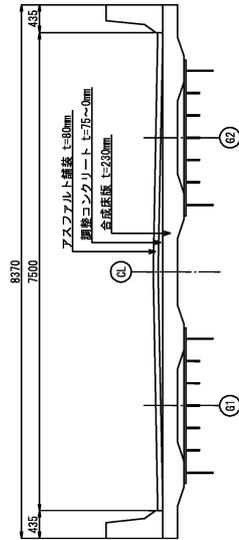
端支点部 S1, S2



端部打ち下ろし部側面図 S=1:20



一般部



非鋼材数量総括表

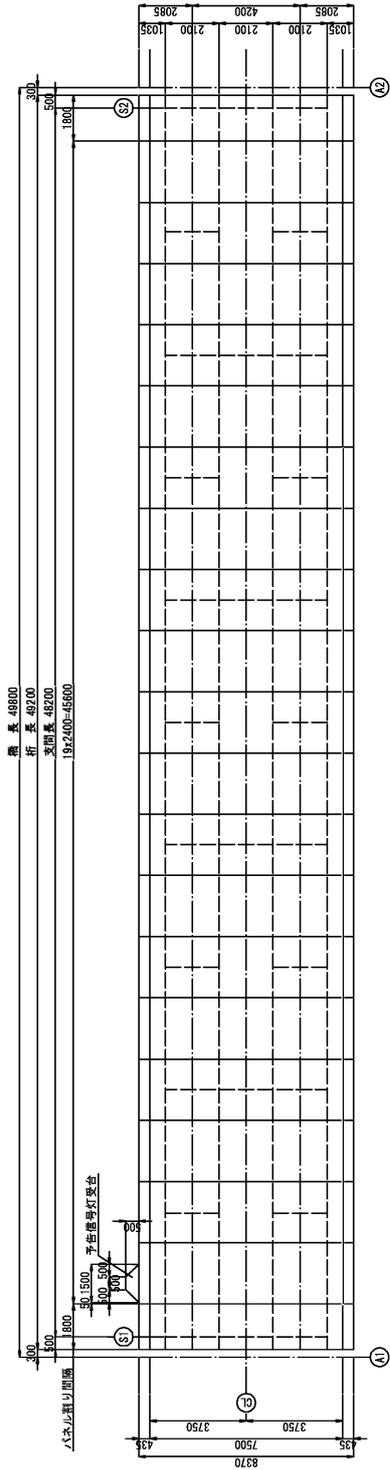
品名	単位	数量	備注
床面積	m ²	411.8	
アスファルト舗装面積	m ²	389.0	t=80mm
防水層面積	m ²	389.0	シート系
鉄筋制コンクリート体積	m ³	106.1	σok=30N/mm ²
パネル敷	20	20	(2.4mm)
パネル敷	パネル	394	
シール材延長	m	194	主桁上シール材
側板延長	m	48	合成床版側部シール材
端部延長	m	48	R側 (H=1.130m)
シール材延長	m	197	合成床版と鋼筋加部シール材

- 注記)
1. 排水装置やその他の構面工との取り合いを考慮してパネル割付をすること。
 2. 床版コンクリートの設計強度は $\sigma_{ok}=30N/mm^2$ とする。(既製コンクリート)
 3. 床版設置方法は、架設方法を確認のうえ決定すること。
 4. 床版パネルの防錆は「塗装仕様」とする。
 5. 鉄筋の材質は全てS5045とし、全てエポキシ樹脂塗料を使用する。

工事名	合成床版パネル割付図		
図面名	合成床版パネル割付図	作成年月日	平成21年1月
縮尺	図面番号	19 / 66	
会社名	株式会社	CPC	
事業者名	香木土木事務所		

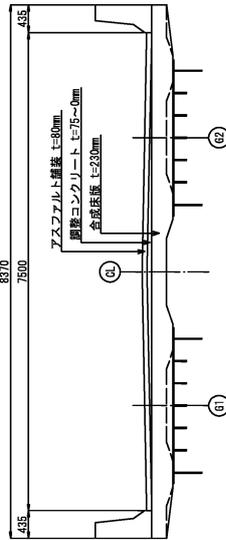
合成床版パネル割付図 S=1:100

平面図

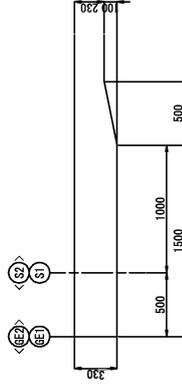


断面図 S=1:40

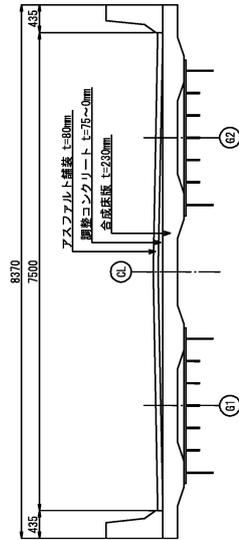
端支点部 S1, S2



端部打ち下ろし部側面図 S=1:20



一般部



非鋼材数量総括表

項目	単位	数量	備考
床面積	m ²	411.8	
アスファルト舗装面積	m ²	389.0	t=80mm
防水層面積	m ²	389.0	シート系
床版鋼コンクリート体積	m ³	106.1	σok=30N/mm ²
パネル数	パネル	20	(2.4m幅)
シール材長さ	主桁上シール材	m	394
鋼筋長さ	L側 (H= 1,130 m)	m	49
	R側 (H= 1,130 m)	m	49
シール材長さ	合成床版と鋼筋版合部シール材	m	197

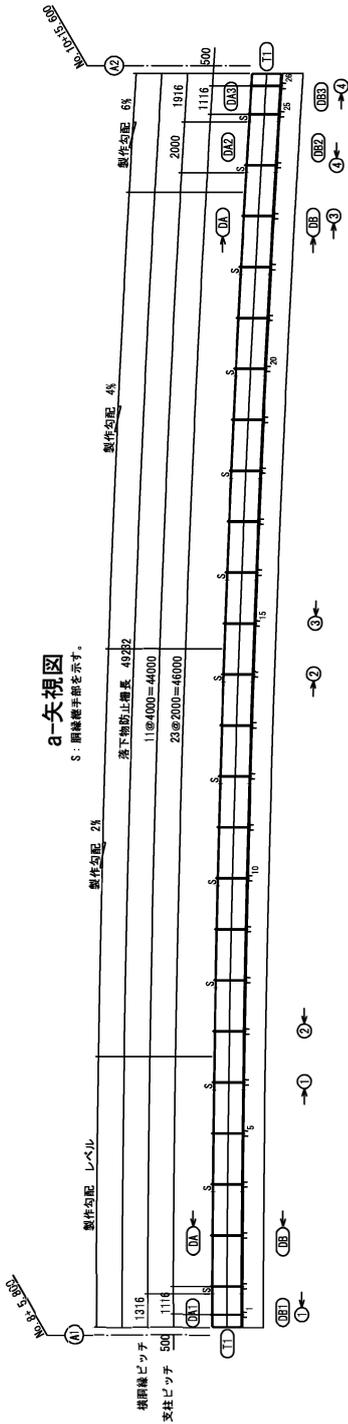
- 注記)
1. 排水装置やその他の構面工との取り合いを考慮してパネル割付をすること。
 2. 床版コンクリートの設計強度は $\sigma_{ok}=30N/mm^2$ とする。(既製コンクリート)
 3. 床版設置方法は、架設方法を確認のうえ決定すること。
 4. 床版パネルの防錆は「塗装仕様」とする。
 5. 鉄筋の材質は全てS5045とし、全てエポキシ樹脂塗料を使用する。

工事名	合成床版パネル割付		
図面名	合成床版パネル割付図		
作成年月日	平成31年1月		
縮尺	図面番号	19 / 66	
会社名	株式会社	CPC	
事業者名	香木土木事務所		

落下物防止柵(その1) S=1:100

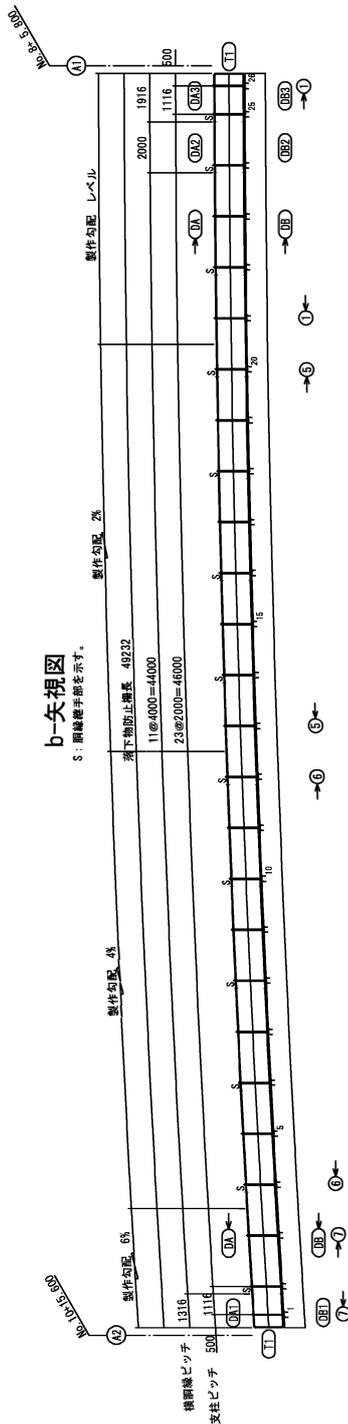
a-矢视图

S: 間隔標準部を示す。



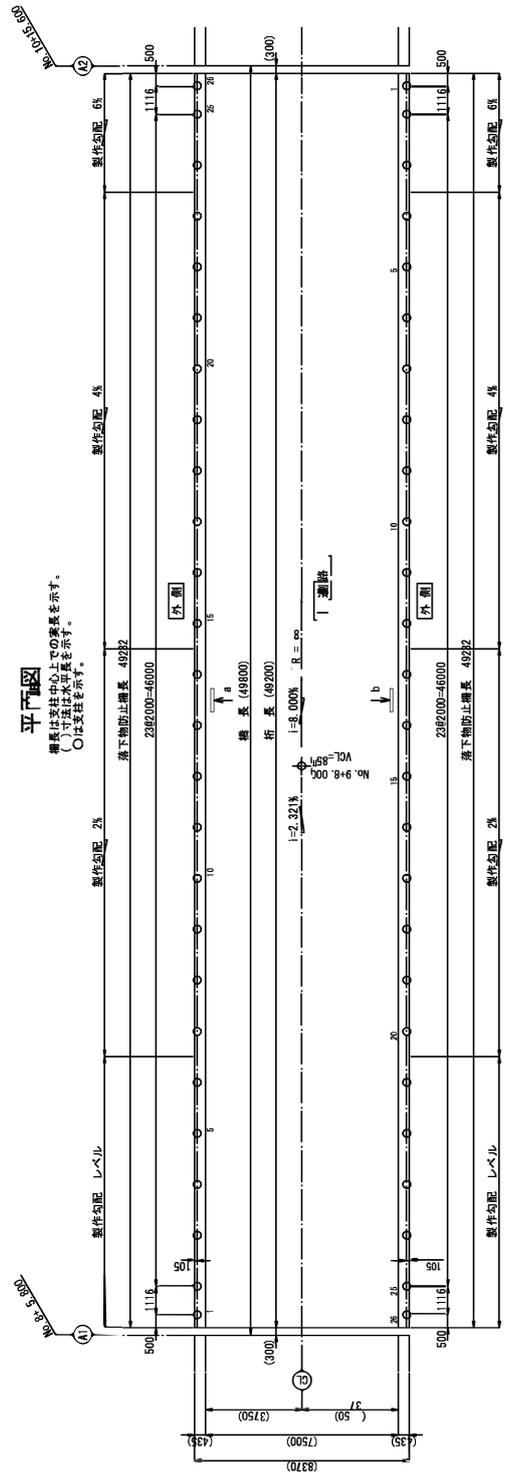
b-矢视图

S: 間隔標準部を示す。



平面図

欄長は支柱中心上下の位置を示す。
()内は支柱は水当量を示す。
○は支柱を示す。



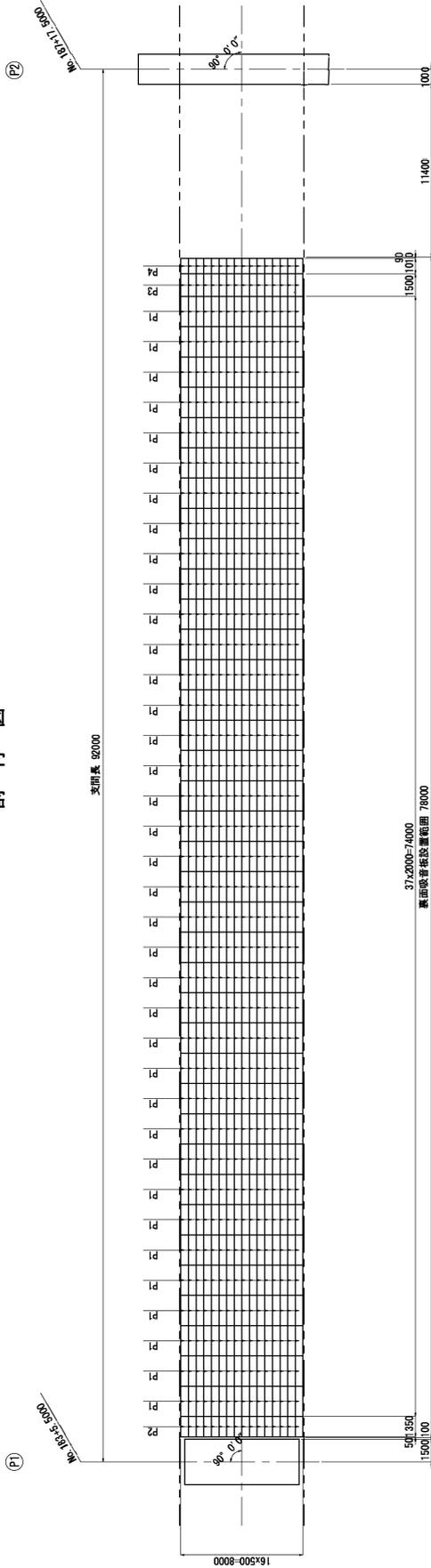
- = マーキング =
- ① : 支柱
- ② : 上段横柵線
- ③ : 下段横柵線
- ④ : 窓柵線
- ⑤ : 柵端しきり
- ⑥ : 柵端プレート

注記) 1. a-矢视图, b-矢视图は、道端側から見た図とする。

工事名	主要地方道茨城県川崎町小幡町線設計委託		
図面名	落下物防止柵(その1)		
作成年月日	平成31年1月	図面番号	34 / 66
編尺	図示	株式会社	CPC
会社名	茨城土木事務所		

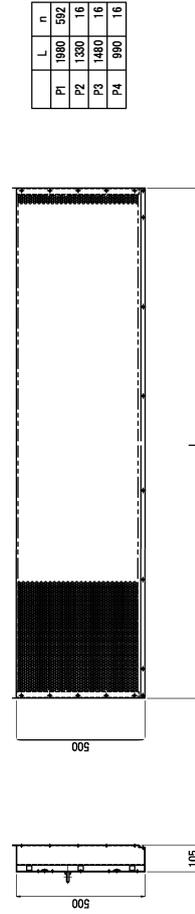
裏面吸音板詳細図 S=1:150

割付図



裏面吸音板外形詳細図 S=1:10

(製作数 n組)

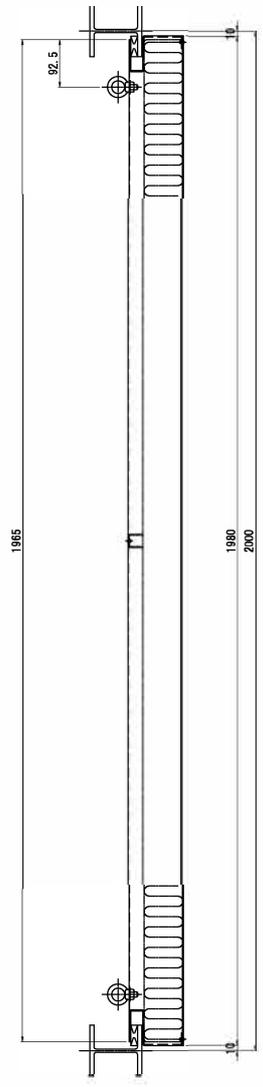


※裏面吸音板は、溝継ぎし込み方式（ホルトレス）とする。

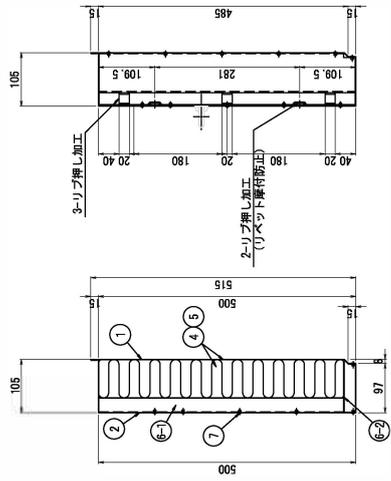
平成27年度	図面番号	108 / 130
路線名	都市計画道路十三高槻線	
業務名	畑作農機具・畑作正統3丁防蝕	
場所	裏面吸音板詳細図	
図面名	裏面吸音板詳細図	S=1:150
大阪府茨木土木事務所		

裏面吸音板標準構造図 (その1) S=1:5

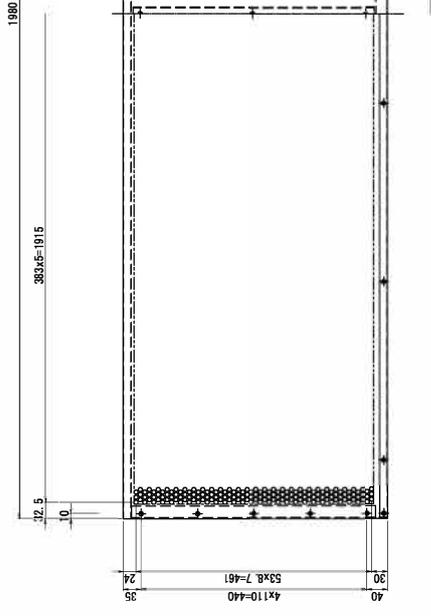
平面図



断面詳細図

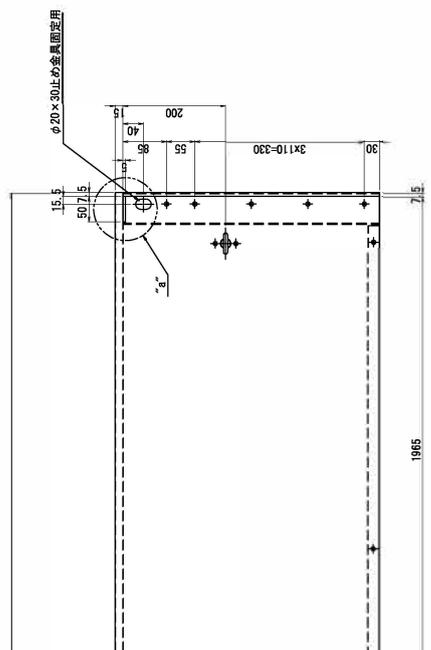


側面図

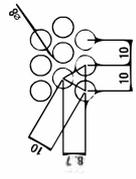


正面図

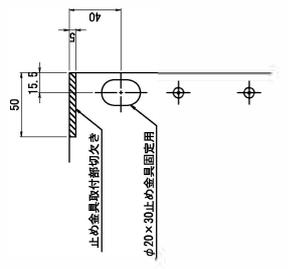
背面図



パンチング詳細 S=1:1



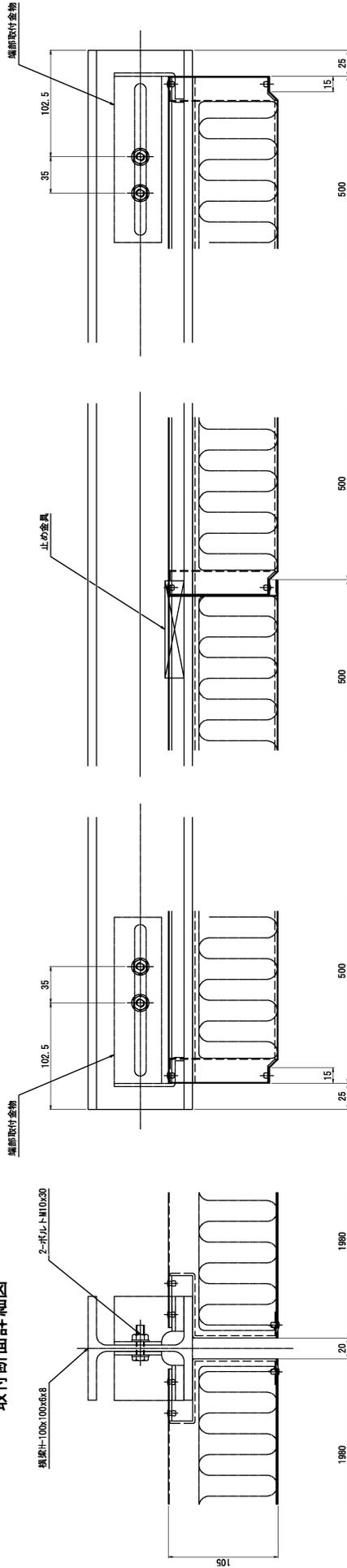
"a"部詳細図 S=1:2



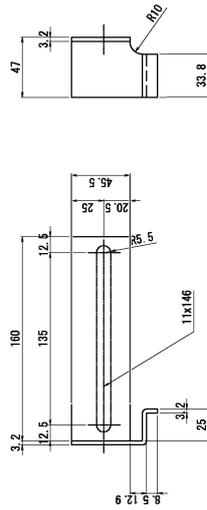
平成27年度	109	図面番号	130
路線名	都市計画道路十三高槻線		
業務名	都市計画道路十三高槻線		
場所	都市計画道路十三高槻線		
図面名	裏面吸音板標準構造図 (その1) 裏面 S=1:5		
大阪府茨木土木事務所			

裏面吸音板端部取付金物詳細図 S=1:2

取付断面詳細図



端部取付金物詳細図 (+-100m/m対応型)

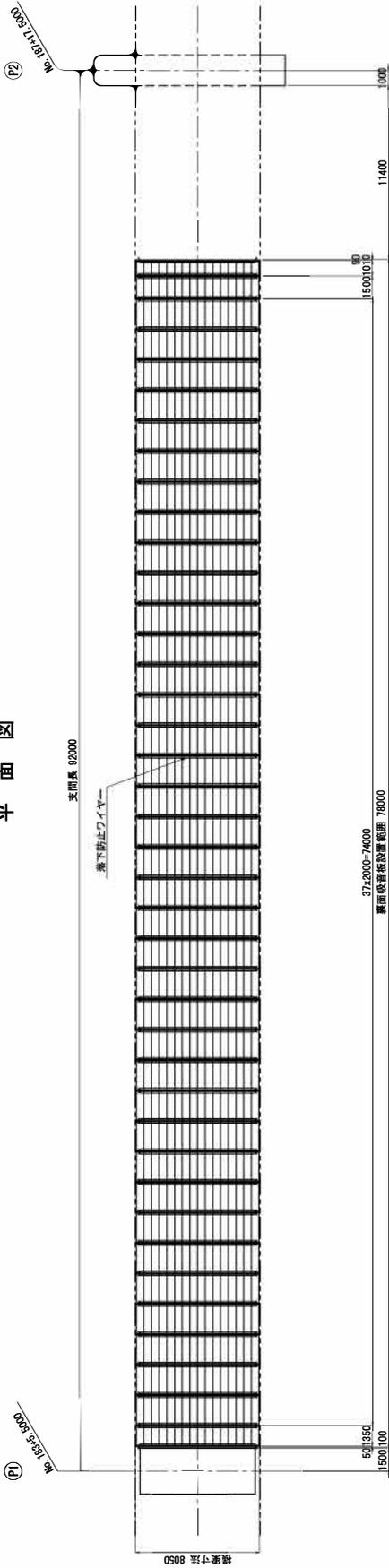


数量表 (1箇所あたり)			
品名	規格	寸法	材質
端部取付金物	2=ポルトメント	t=3.2 NO.45 11x146x20	SUS304
止め金具	—	—	—
単位数量	単位重量	単位長さ	単位面積
1	—	1	—
1	—	2	—
1	—	2	—

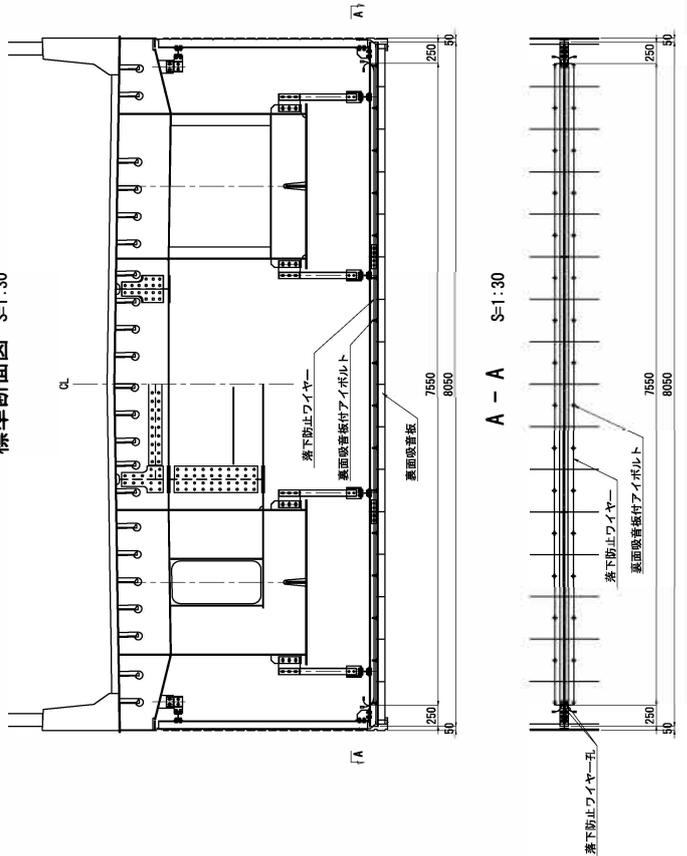
平成27年度	図面番号	111 / 130
路線名	都市計画道路十三高槻線	
業務名	—	
場所	畑津町駅前~畑津町駅前3丁目	
図面名	—	S=1.2
大阪府茨木土木事務所		

裏面吸音板落下防止ワイヤー詳細図 S=1:150

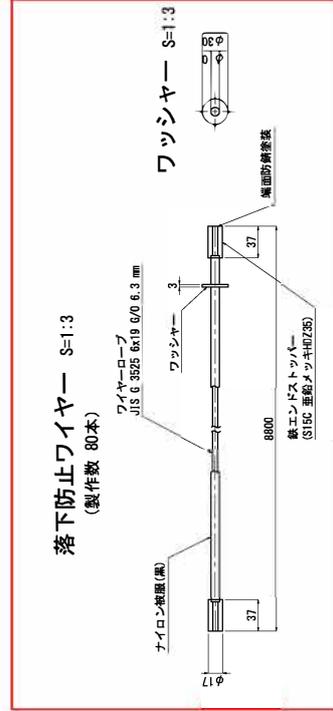
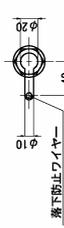
平面図



標準断面図 S=1:30



落下防止ワイヤー取付詳細 S=1:3

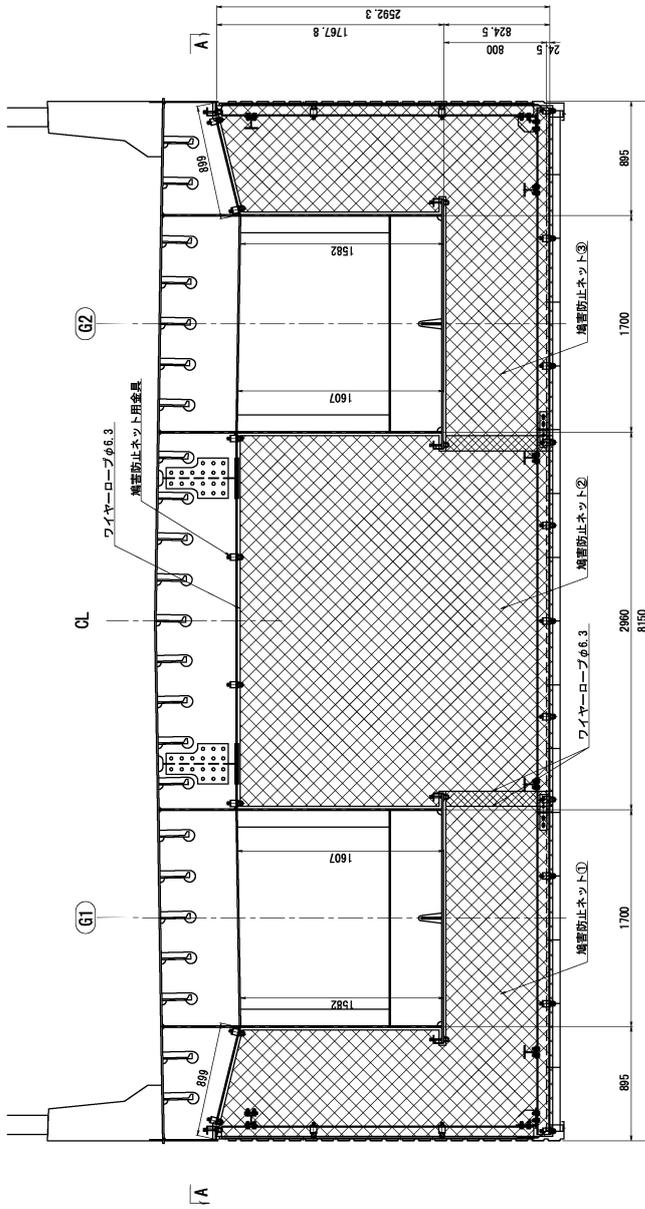


注記)

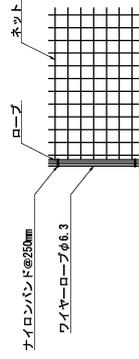
1. 特記なき材料はすべてSS400とする。
2. 特記なき材料は、別冊取組めつきを施す。
付数量は、以下の通りとする。
ボルト・ナット: JIS B8641 H1225
ワッシャー: JIS B8641 H1225
3. 普通ボルトは全て締め止めアットを使用する。

平成27年度	図面番号	112 / 130
路線名	都市計画道路十三高槻線	
業務名	改修工事-改修前工事	
場所	東淀川地区	
図面名	裏面吸音板付アイボルト S=1:150	
大阪府茨木土木事務所		

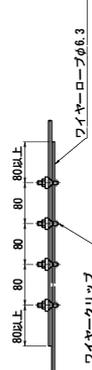
裏面吸音板起点側端部鳩害防止ネット詳細図 S=1:20



ネット取付詳細 S=1:5



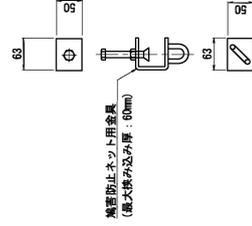
ワイヤーロープ固定詳細 S=1:5



数量集計表

項目	目	単位	数量	備考
ネット	(2990mm×8150mm) (標準仕様)	m ²	14.1	
ワイヤーロープφ6.3 (0x19 0.0) (ナイロン樹脂)	m	25.9	JIS G 3295	
鳩害防止ネット用金具	個	29	消熱亜鉛メッキ	1箇所当り

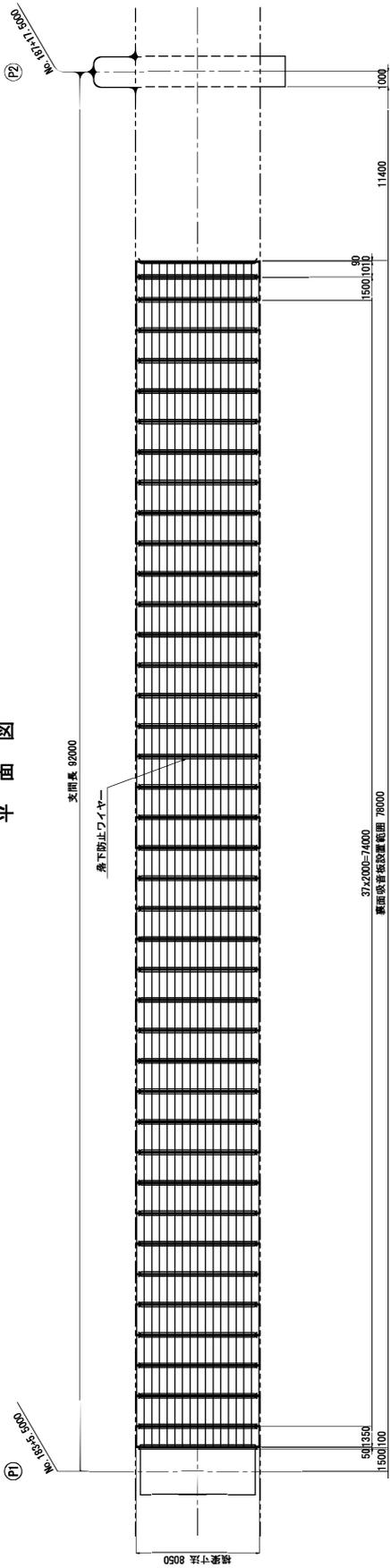
鳩害防止ネット用金具詳細 S=1:5



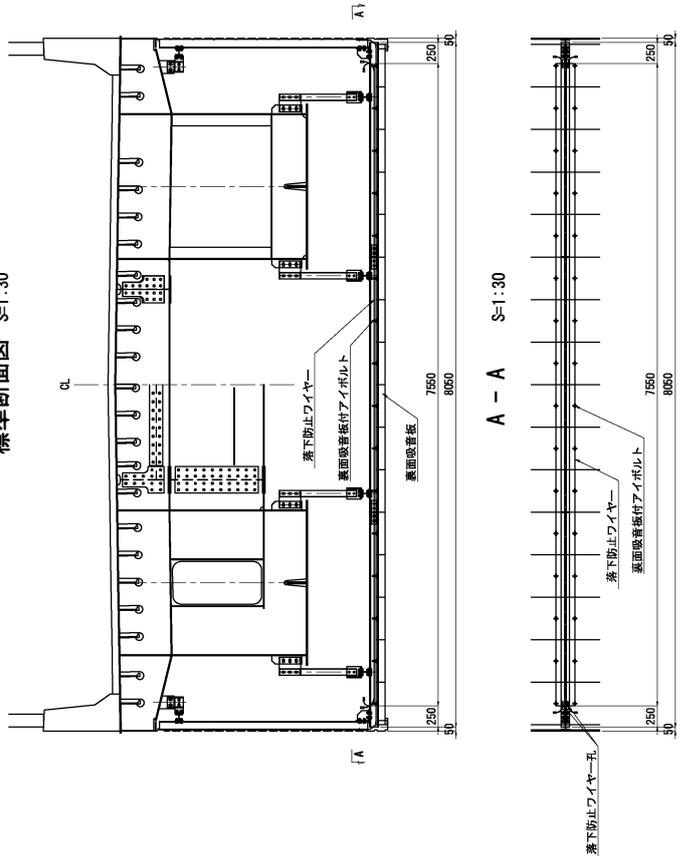
平成27年度	図面番号	116 / 130
路線名	都市計画道路十三高槻線	
業務名	都市計画道路十三高槻線B700号	
場所	都市計画道路十三高槻線B700号	
図面名	都市計画道路十三高槻線B700号	
大阪府茨木土木事務所		

裏面吸音板落下防止ワイヤー詳細図 S=1:150

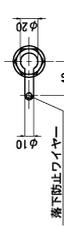
平面図



標準断面図 S=1:30

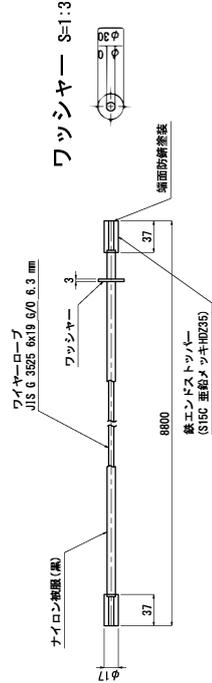


落下防止ワイヤー取付詳細 S=1:3



82-8N M16 x 40 (UN, 2NPT)

落下防止ワイヤー S=1:3
(製作数 80本)



ワッシャー S=1:3



注記)

1. 特記なき材料質はすべてSS400とする。
2. 特記なき材料は、別冊垂吊めっきを施す。付数量は、以下の通りとする。
3. 普通ボルトは全て締めアットを使用する。

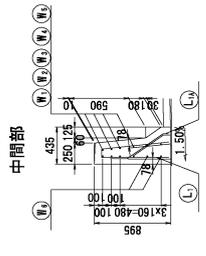
ボルト・ナット：JIS H8641 H0235
 鋼 棒：JIS H8641 H0235

平成27年度	図面番号	112 / 130
路線名	都市計画道路十三高槻線	
業務名	旭林建設株式会社 旭林建設 旭林建設 旭林建設	
場所	旭林建設株式会社 旭林建設 旭林建設 旭林建設	
図面名	裏面吸音板付アイボルト S=1:150	
大阪府茨木土木事務所		

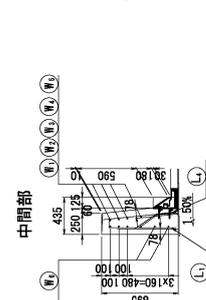
壁高欄 (その3) S=1:30

断面図

一般部



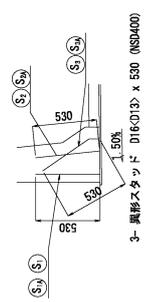
鋼製排水溝部



鉄筋表 (L1側、R1側各箇所)

種別	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位重量 (kgf/m)	1本当り重量 (kgf)	量	備
L1	D13	1650	1148	0.995	1.144	1.84	1883
L1A	D13	810	595	0.995	0.81	482	1
L2	D16	1650	378	1.56	2.57	971	1
L3	D16	780	194	1.56	1.22	237	1
L4	D13	730	553	0.995	0.73	404	1
L5	D13	4625	16	0.995	4.60	74	1
R2	D13	9000	128	0.995	9.75	1248	1
R3	D13	4800	8	0.995	4.78	38	1
R4	D13	6800	8	0.995	6.77	54	1
R5	D13	9450	8	0.995	9.40	75	1
R6-1	D13	12000	64	0.995	11.94	764	1
R6-2	D13	5660	4	0.995	5.63	23	1
鉄筋重量合計						1427	kef
D16						5045	kef
D13						6472	kef
合計							

異形スタッド



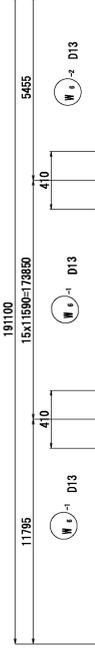
1148-D13x1670

378-D16x1670

194-D16x790

194-D16x820

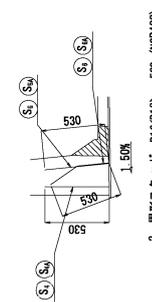
553-D13x720



異形スタッド 鉄筋表 (L1側、R1側各箇所)

種別	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位重量 (kgf/m)	1本当り重量 (kgf)	量	備
S1	D13	530	595	0.995	0.53	315	1
S1A	D16	530	184	1.56	0.83	153	1
S2	D13	530	595	0.995	0.53	315	1
S2A	D16	530	184	1.56	0.83	153	1
S3	D13	530	595	0.995	0.53	315	1
S3A	D16	530	184	1.56	0.83	153	1
S4	D16	530	184	1.56	0.83	161	1
S4A	D13	530	553	0.995	0.53	293	1
S5	D16	530	184	1.56	0.83	161	1
S5A	D13	530	553	0.995	0.53	293	1
S6	D16	530	184	1.56	0.83	161	1
S6A	D13	530	553	0.995	0.53	293	1
鉄筋重量合計						942	kef
D16						1824	kef
D13						2766	kef
合計							

鋼製排水溝部



3- 異形スタッド D16-D13 x 530 (NSD400)

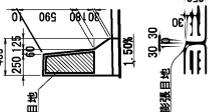
595-D13 x 530 (NSD400)

194-D16 x 530 (NSD400)

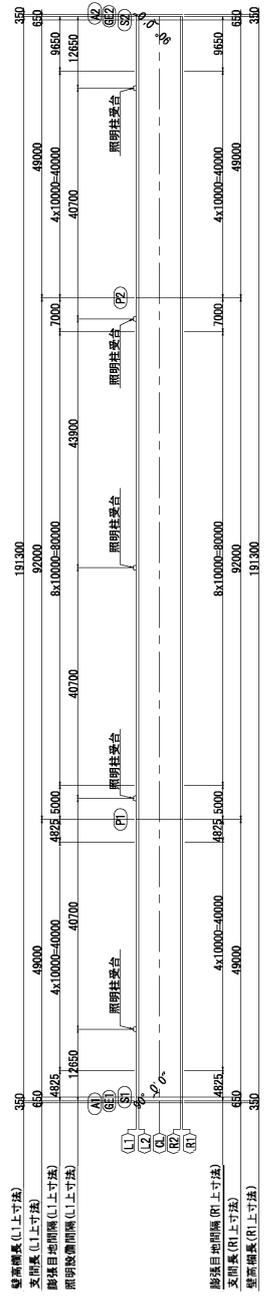
194-D16 x 530 (NSD400)

553-D13 x 530 (NSD400)

目地詳細図



配置図



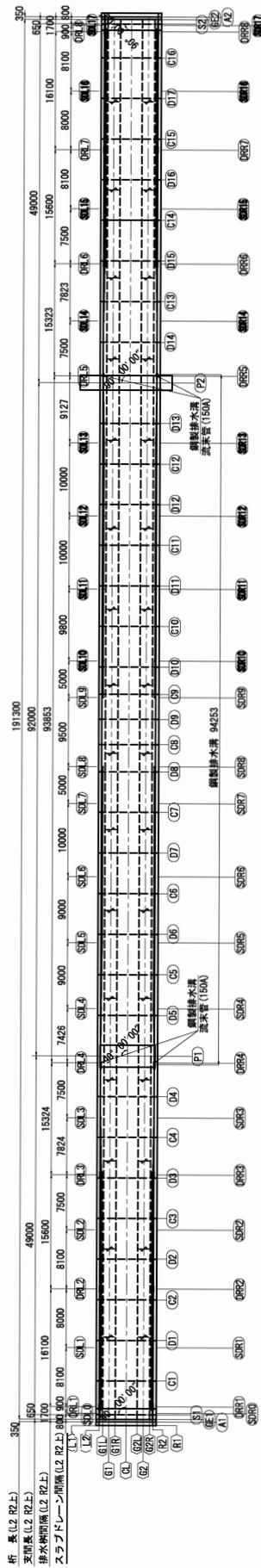
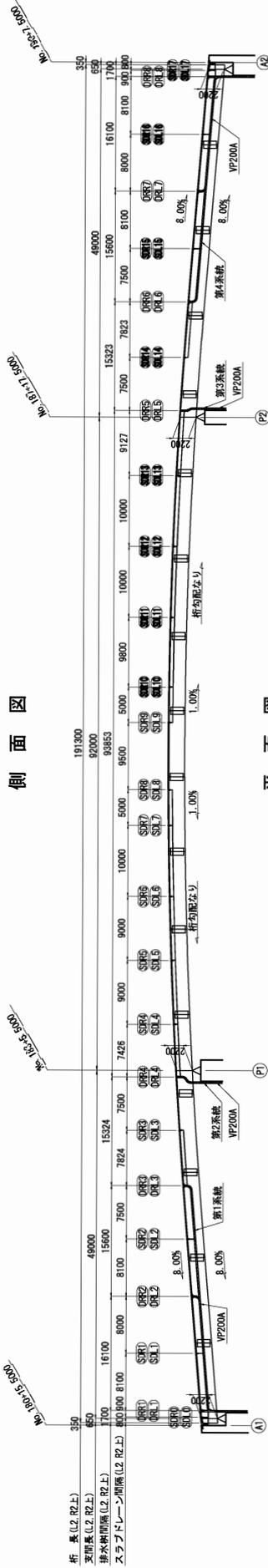
壁高欄天端詳細 S=1:10



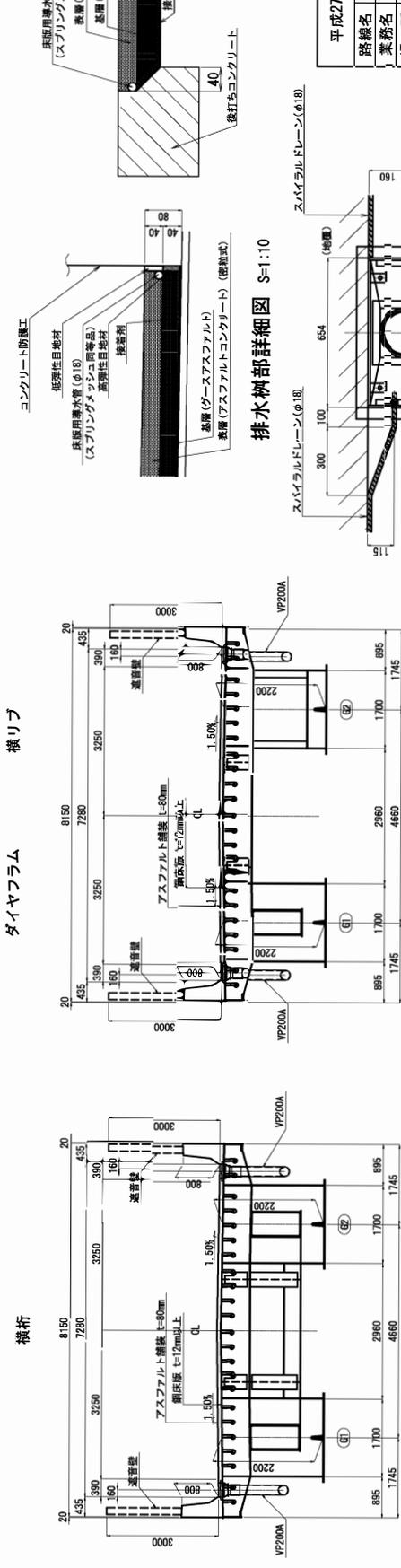
注記
1. 特記の材料等は全て以下の通りとする。
鉄筋 S10345
異形スタッド鉄筋 NSD400
コンクリート強度: $\text{rock} > 24 \text{N/mm}^2$
2. 鋼製排水溝は手前近辺の異形スタッドより
は、排水溝部は、手前近辺の異形スタッドより
すること。異形スタッドは取付部除くとする。

平成27年度	図面番号	59 / 130
業務名	都市計画道路十三高線線	
場所	鶴岡緑地公園駅前直江町	
図面名	鋼製排水溝 (その3)	異形 S=1:30
大阪府茨木土木事務所		

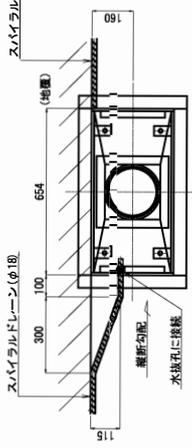
上部工排水装置 (その1) S=1:300



断面図 S=1:50



排水桝部詳細図 S=1:10



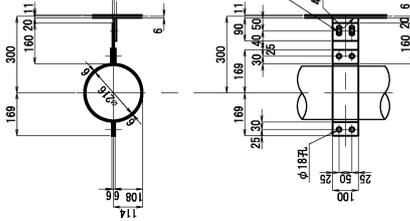
平成27年度	図面番号	68	130
路線名	都市計画道路十三高線		
場所	新大阪駅南側-新大塚駅間		
図面名	上部工排水装置 (その1) 側面図	S=1:300	
大阪府 土木事務所			

上部工排水装置 (その8) S-1:10

取付金具詳細図

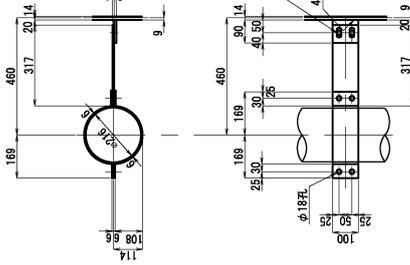
(S1)

製作数：8個



(S2)

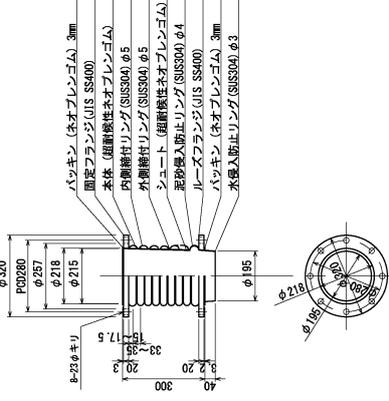
製作数：8個



伸縮管詳細

(EX1)

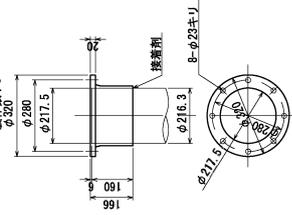
製作数：8



16-BN M20x75 (1-冊、1-SNF付)

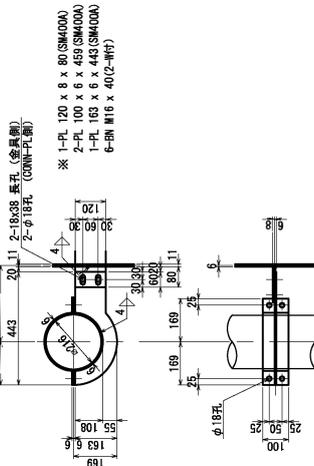
VP用継手フランジ

JIA SKタイプ 材質PVC
 重量 3.4kgf
 製作数：8



(B1)

製作数：84個



- 注) 1. 特記なき材質は全てSS400とする。
 2. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
 至靴の付着量は、JIS H 8641 HDZ35~HD55とする。
 但し、鋼材については、
 板厚 6mm以上の鋼材及び形鋼並びに高力ボルト等はHD255
 板厚 3.2mm以上6mm以下の鋼材はHD245
 板厚 3.2mm未満の鋼材及びボルトナット類
 はHD235とする。
 3. ナットは、全て噛み止めナットを使用すること。

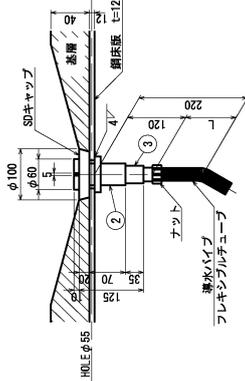
平成27年度	図面番号	75 / 130
路線名	都市計画道路十三高槻線	
業務名	都市計画道路十三高槻線	
場所	東淀川地区(その8)B1	
図面名	上部工排水装置 (その8) B1	S-1:10

大阪府茨木土木事務所

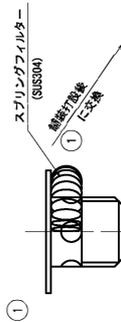
上部工排水装置 (その12) S=1:5

スラブレドレーン詳細

製作数: 36組



注 配
 施工時は、Sドキャップを締め打設後①に交換する。
 ②は工場で預検とし、③を現場で検検とする。
 締め打設後①を換装する。



スラブレドレーン部材表

部 材 名	寸 法	備 考
本体構成部品 ①	φ34.0 x 35	鋼管(亜鉛メッキ仕上)キャップ付(2.3kg/φ60)
本体構成部品 ②	φ42.7 x 70	鋼管(亜鉛メッキ仕上)付 ば 付(12t x φ70)
本体構成部品 ③	φ40.0 x 80	樹脂性
目張り筋はフィルタ-		スプリングフィルタ- (SUS304)
Sドキャップ (備換用)	φ100 x 45	60タイロン 34グラシアファイバ-

橋面排水管接続部詳細

ソケット詳細図

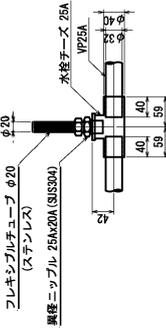
異径ニップル水栓ソケット 25A

製作数: 8組



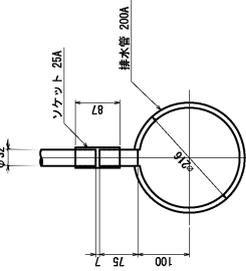
異径ニップル水栓チーzus 25A

製作数: 20組



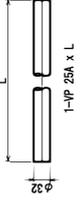
排水管接続部

製作数: 12組



直管詳細図

製作数: 10本



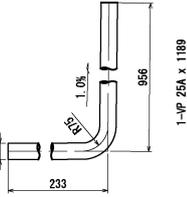
製作数: 4本



L	n
① 4000	34
② 3477	2
③ 3228	2
④ 856	2
⑤ 852	2
⑥ 1969	2
⑦ 1706	4
⑧ 3000	2
⑨ 3028	2
⑩ 1750	2
⑪ 1953	2
⑫ 1957	2
⑬ 928	2
⑭ 689	4

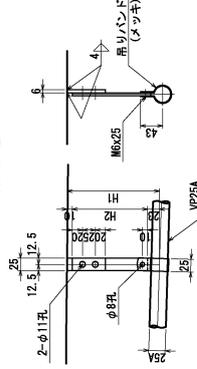
加工詳細

製作数: 4本

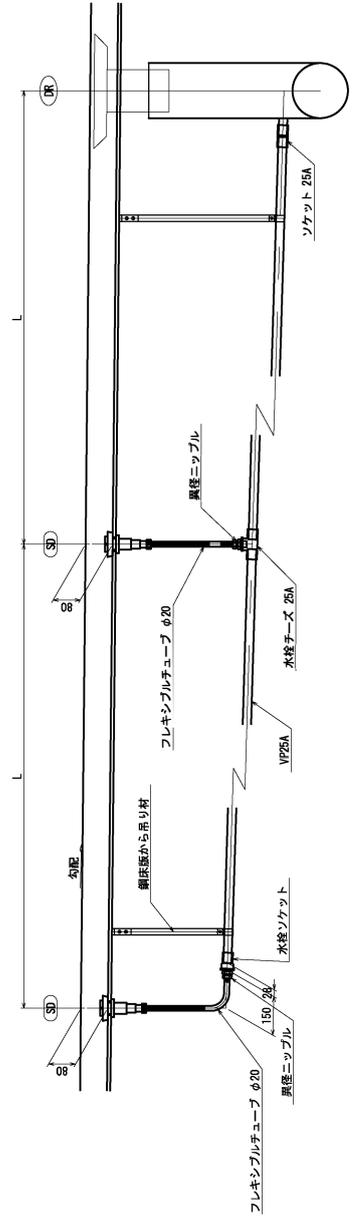


取付金具詳細図 (VP25A)

製作数: 11組



水抜き管接続詳細 (標準部) S=1:10



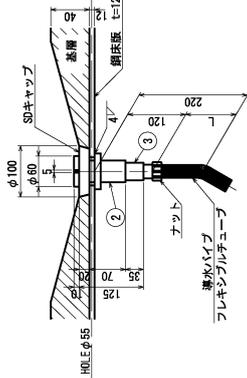
注
 1. 特記な材料等は全てSS400とする。
 2. ※印以外の部材は、全て消磁処理メッキ処理とする。
 面取の付着量は、JIS H 8641 H025~H25とする。
 但し、鋼材については、
 板厚 6mm以上の鋼材及び形鋼並びに高カボルト等はH025
 板厚 3.2mm以上6mm以下の部材はH025
 はH025とする。
 3. ナットは、全て締め止めナットを使用すること。

平成27年度	図面番号	79	130
路線名	都市計画道路	十三高槻線	
業務名	現場	新大阪駅～新大塚駅	
場所	上り線	(その12) S=1:5	
図面名	大阪府茨木土木事務所		

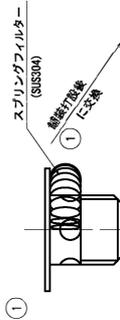
上部工排水装置 (その12) S=1:5

スラブレドレーン詳細

製作数: 36組



注 配
 施工時は、Sドキャップを継ぎ目打設後①に交換する。
 ②は工場で溶接とし、③を現場で溶接とする。
 溶接部については、直継①を換装する。



スラブレドレーン部材表

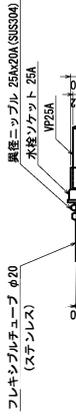
部 材 名	寸 法	備 考
本体構成部品 ①	φ34.0 x 35	鋼管(亜鉛メッキ仕上)付(2.3kg/φ60)
本体構成部品 ②	φ42.7 x 70	鋼管(亜鉛メッキ仕上)付 付(12t x φ70)
本体構成部品 ③	φ40.0 x 80	樹脂性
目張り筋はフィルター		スプリングフィルター (SUS304)
Sドキャップ (亜鉛メッキ)	φ100 x 45	60タイロン 34グラスマスファイバー

橋面排水管接続部詳細

ソケット詳細図

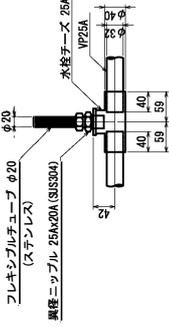
異径ニップル水栓ソケット 25A

製作数: 8組



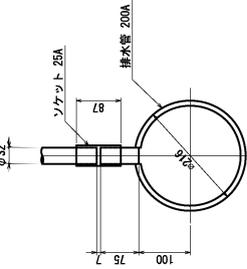
異径ニップル水栓チーーズ 25A

製作数: 20組



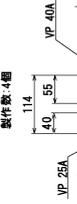
排水管接続部

製作数: 12組



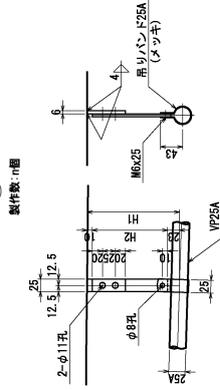
径違いソケット VP 40x25

製作数: 4組

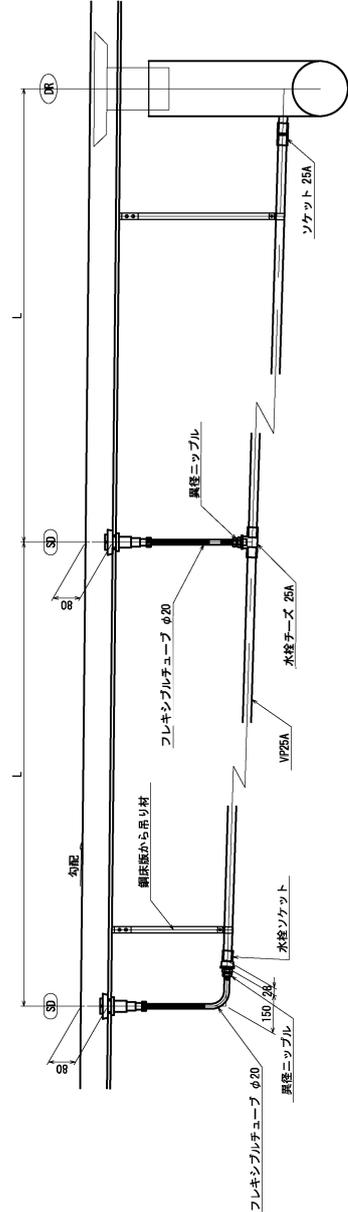


取付金具詳細図 (VP25A)

製作数: 11組

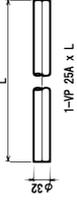


水抜き管接続詳細 (標準部) S=1:10



直管詳細図

製作数: 10本



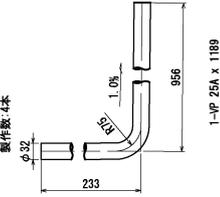
製作数: 4本



L	n
① 4000	34
② 3477	2
③ 3228	2
④ 956	2
⑤ 952	2
⑥ 1969	2
⑦ 1706	4
⑧ 3000	2
⑨ 3028	2
⑩ 1750	2
⑪ 1953	2
⑫ 1957	2
⑬ 928	2
⑭ 699	4

加工詳細

製作数: 4本



品名	H1	H2	n
①	688	655	104
②	686	653	40
③	683	650	22
④	684	651	6
⑤	685	652	6
⑥	681	648	2
⑦	678	645	2
⑧	692	649	2
⑨	795	762	4
⑩	818	785	4
⑪	963	930	4
⑫	981	948	4

1組当り
 1-φ 25x6x 75 (SM400A)
 1-φ 25x6x 12
 2-φ M8x25 (1-4本)
 1-φ バンド25A (M8x25付)

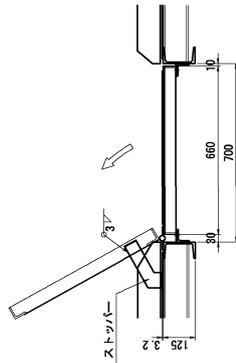
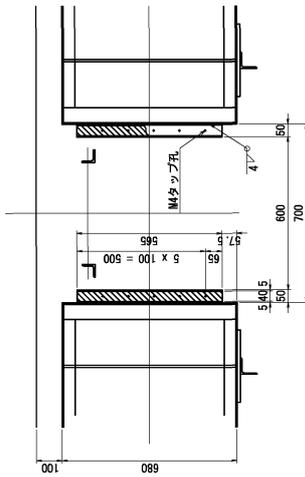
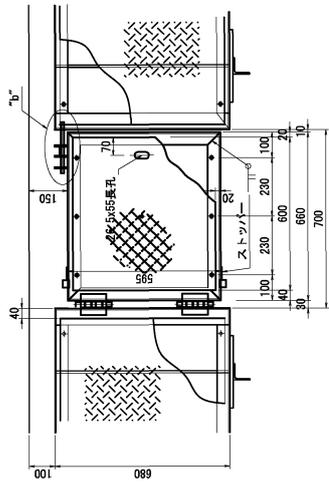
注
 1. 特記な材料等は全てSS400とする。
 2. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
 亜鉛の付着量は、JIS H 8641 H025~H25とする。
 但し、鋼材については、
 板厚 6mm以上の鋼材及び形鋼並びに高カボルト等はH025
 板厚 3.2mm以上6mm以下の部材はH025
 はH025とする。
 3. ナットは、全て締め止めナットを使用すること。

平成27年度	図面番号	79	130
路線名	都市計画道路十三高槻線		
業務名	道路維持・補修工事		
場所	上野原地区(その12)R1		
図面名	S=1:5		
大阪府茨木土木事務所			

下部工検査路(その6) S=1:10

マンホール詳細

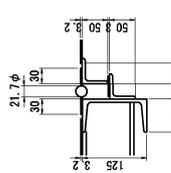
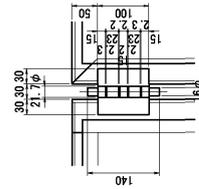
製作数: 3



- 2 - L 50 x 50 x 6 x 60
- 2 - L 50 x 50 x 6 x 56
- 1 - 鋼PI 55 x 3.2 x 600 (SS400相当品)
- 6 - B.N M10 x 30 (Z-材)

- 1 - L 50 x 50 x 6 x 56
- 1 - 鋼L (エチレンプロピレンゴム)
- 1 - 鋼L 40 x 3 x 56
- 5 - 鋼ネジ M4 x 8
- 2 - F.B 50 x 6 x 50
- 1 - F.B 50 x 6 x 50

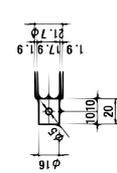
蝶番詳細 S=1:5



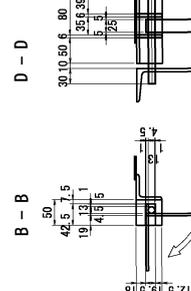
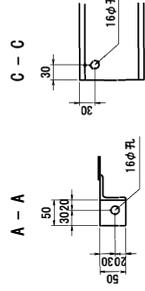
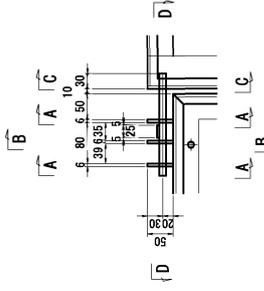
1箇所当り部材(設置数: 2箇所)

- 2 - PI 30 x 3.2 x 100 (SM400A)
- 3 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 15 (STR400)
- 2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 23 (STR400)
- 1 - RB φ18 x 140 (SS400)
- 2 - 割りピン φ5 x 36 (SBRM8)

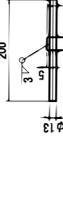
ピン端部詳細 S=1:2



"D"部詳細 S=1:5



マンホール鍵詳細 S=1:5



- 1 - RB φ13 x 200
- 1 - FB 25 x 4.5 x 130

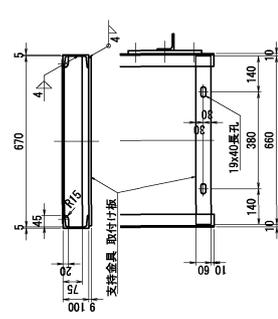
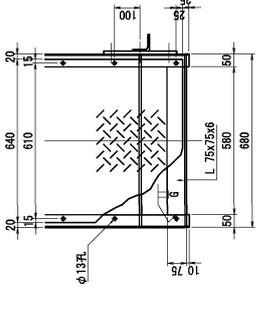
割りピン詳細 S=1:2



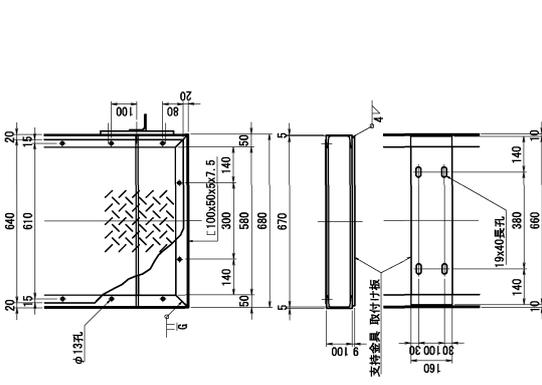
- 1箇所当り部材(設置数: 2箇所)
- 1 - PI 25 x 4.5 x 60 (SM400A)
 - 1 - PI 20 x 4.5 x 71 (SM400A)
 - 1 - 鋼L 25 x 3 x 60 (エチレンプロピレンゴム)
 - 2 - 鋼ネジ M4 x 6

歩廊端部詳細

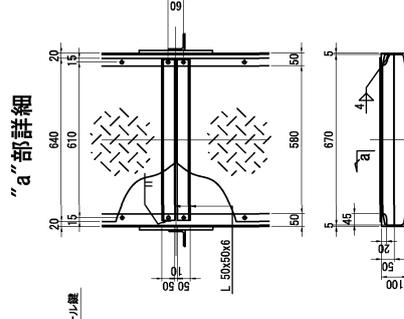
架け遣い部



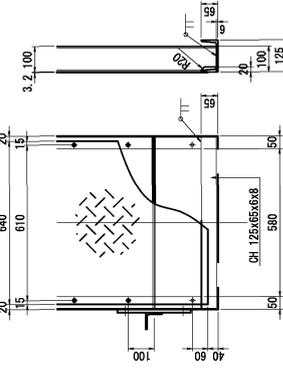
端部



"a"部詳細



マンホール部

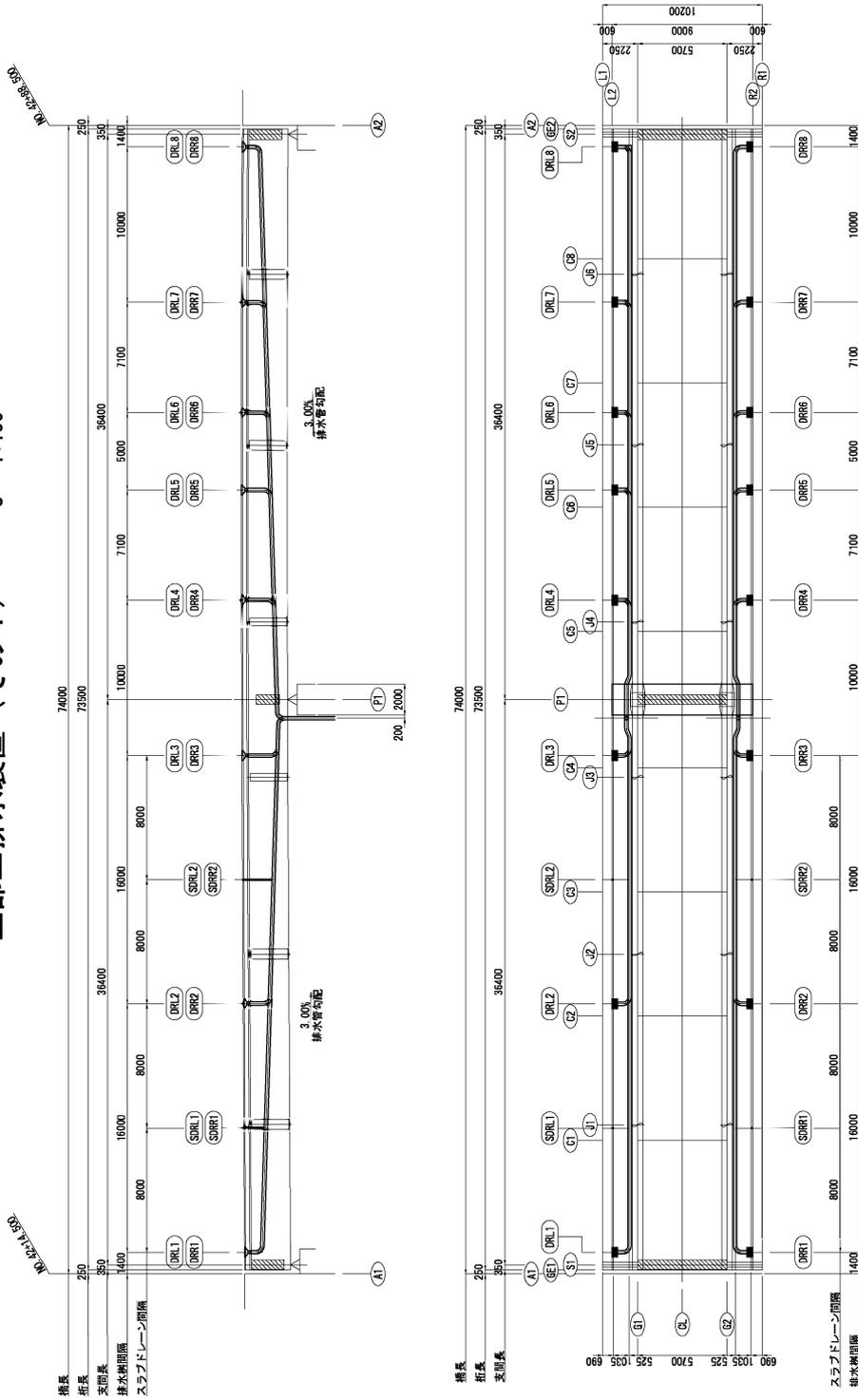


- 注記
1. 特記な部材等は、全てSS400とする。
 2. リボルト付き以外のナットは、全て締め止めナットを使用すること。
 3. 部材は、全て溶接部をメッキ処理とする。並記の寸重量は、JIS H 8041 HDZ35~HDZ55とする。並記の寸重は、JIS H 8041 HDZ35~HDZ55とする。

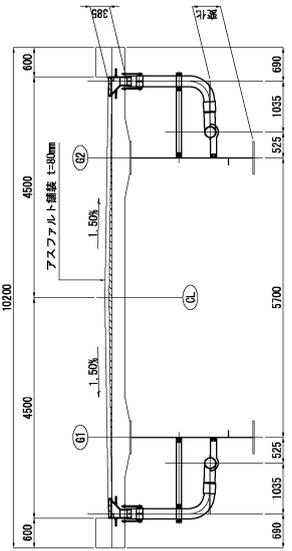
並記の寸重は、JIS H 8041 HDZ35~HDZ55とする。並記の寸重は、JIS H 8041 HDZ35~HDZ55とする。

平成27年度	図面番号	/
路線名	都市計画道路十三高根線	
業務名		
場所	東淀川河川敷・東淀川河川敷3丁目	
図面名	下部工検査路(その6)	冊子 S=1:10
大阪府茨木土木事務所		

上部工排水装置 (その1) S = 1:150



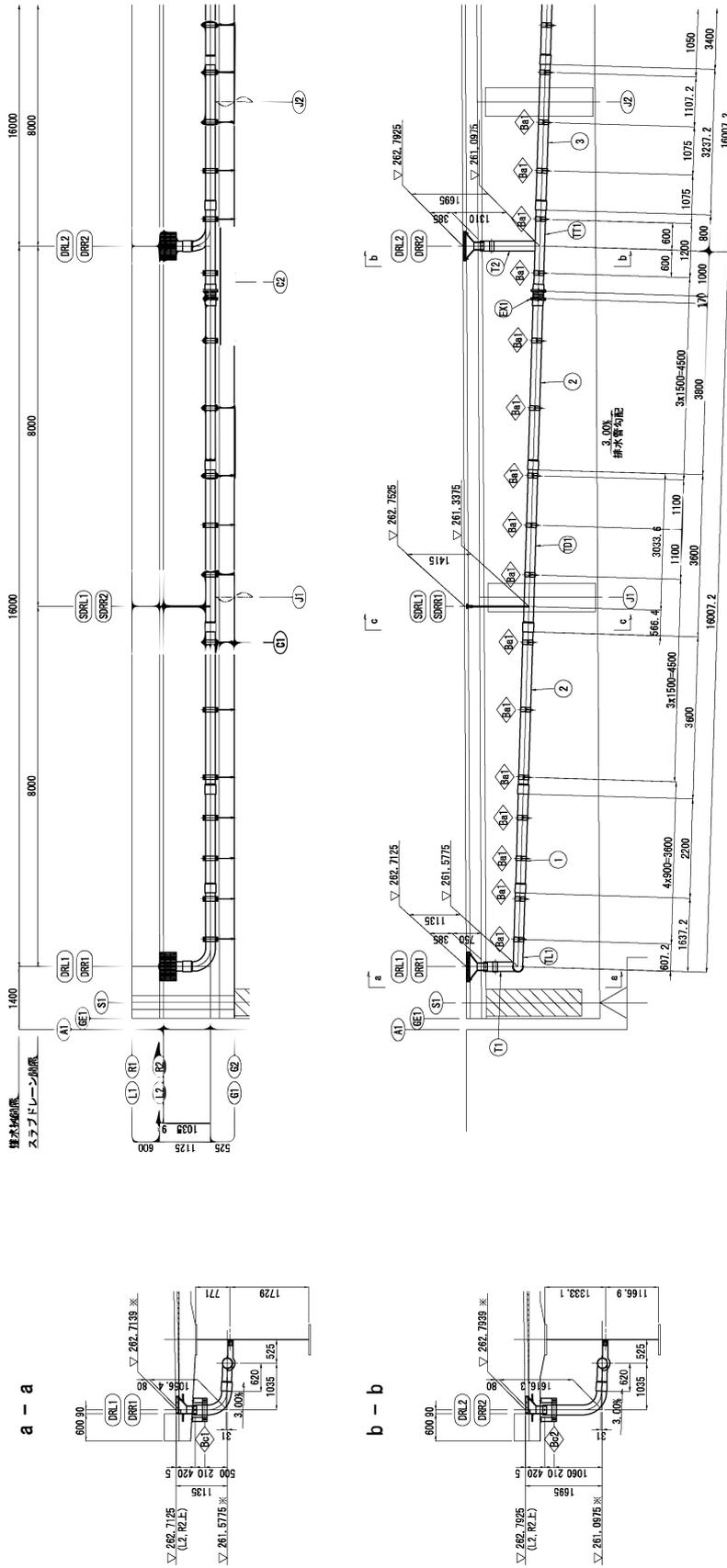
断面図 S=1:150



注 1. 図中は、L1に線挿入とする。

年度	平成27年	番号	38/153
別冊名	一般国道(新)371号		
工事名	(仮称)小笠原谷橋梁修繕設計委託		
所属地名	河内長野市天見地区内		
図面名	上部工排水装置 (その1)		
縮尺	図示 作成年月 平成29年2月		
大阪府河内土木事務所			

上部工排水装置 (その2) S = 1:50



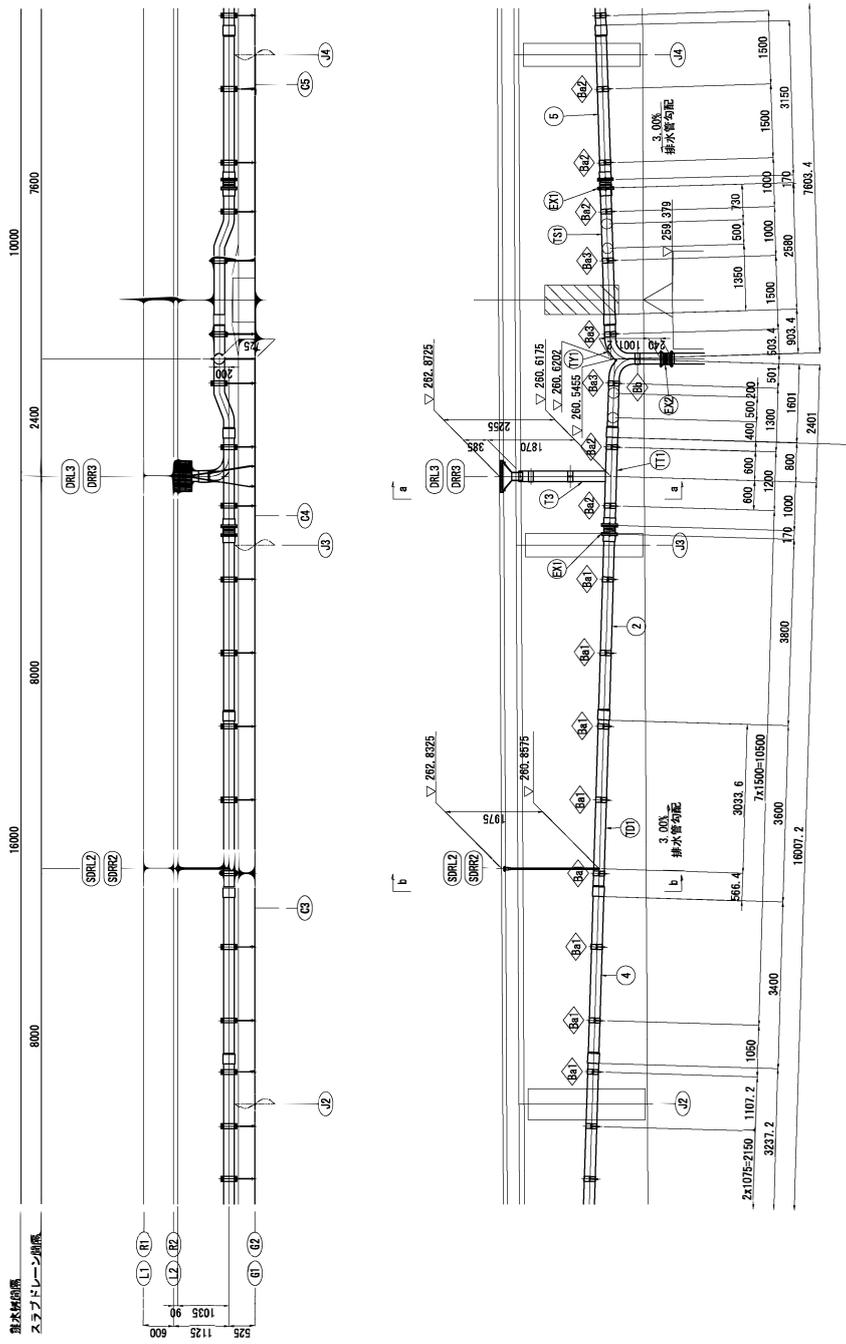
神筋管	取付金具
EX1	取付金具
VP用Sフランジ	取付金具
知工管	取付金具
T1	取付金具
T2	取付金具
T3	取付金具
T4	取付金具
T5	取付金具
T6	取付金具

排水管	排水管
1	2
2	3
3	4
4	5
5	6
6	7
7	8
8	9
9	10
10	11
11	12
12	13
13	14
14	15
15	16
16	17
17	18
18	19
19	20
20	21
21	22
22	23
23	24
24	25
25	26
26	27
27	28
28	29
29	30
30	31
31	32
32	33
33	34
34	35
35	36
36	37
37	38
38	39
39	40
40	41
41	42
42	43
43	44
44	45
45	46
46	47
47	48
48	49
49	50
50	51
51	52
52	53
53	54
54	55
55	56
56	57
57	58
58	59
59	60
60	61
61	62
62	63
63	64
64	65
65	66
66	67
67	68
68	69
69	70
70	71
71	72
72	73
73	74
74	75
75	76
76	77
77	78
78	79
79	80
80	81
81	82
82	83
83	84
84	85
85	86
86	87
87	88
88	89
89	90
90	91
91	92
92	93
93	94
94	95
95	96
96	97
97	98
98	99
99	100

年度	平成27年	番号	39/153
図面名	一般国道(新)371号		
工事名	(仮称)小笠原谷橋梁補修設計委託		
所属地名	河内長野市天見地区		
図面名	上部工排水装置(その2)		
縮尺	1:50 作成年月 平成29年2月		
大阪府河内郡田上町事務所			

注 記
1. ※印付欄高は、排水管中心の欄高を示す。

上部工排水装置 (その3) S = 1:50

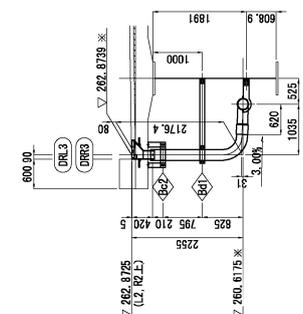


- 排水管量 (L側点側)
- 2 2-UP 200A x 380 (スリーブ付)
- 4 2-UP 200A x 380 (スリーブ付)
- 5 2-UP 200A x 315 (スリーブ付)

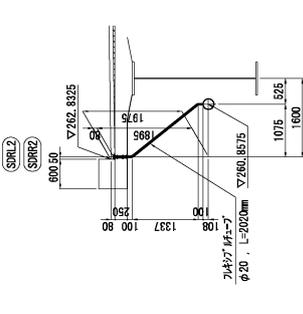
- 伸縮管
- 4 (E)
- VP用ISフランジ : 8個

- 取付金具
- 16個
- 10個
- 6個
- 2個
- 2個

a - a



b - b



年度	平成27年	番号	40/153
引当名	一般国道(新)371号		
工事名	(仮称)小笠原谷線養蜂園設計委託		
所属地名	河内長野市天見町内		
図面名	上部工排水装置(その3)		
縮尺	1:50 作成年月 平成29年2月		
大阪府河内土木事務所			

注 記
1. ※印付欄高は、排水管中心の高さを示す。

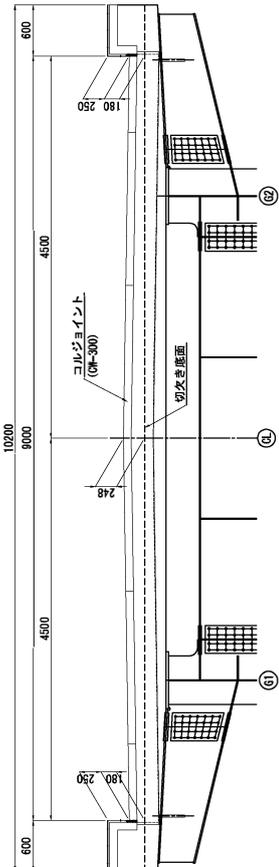
伸縮継手装置 (その1)

(A1) (A2)

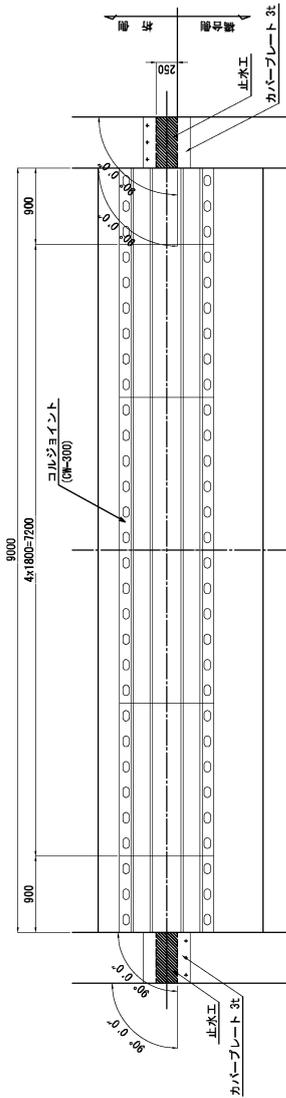
(二次止水対策済)

S = 1:30

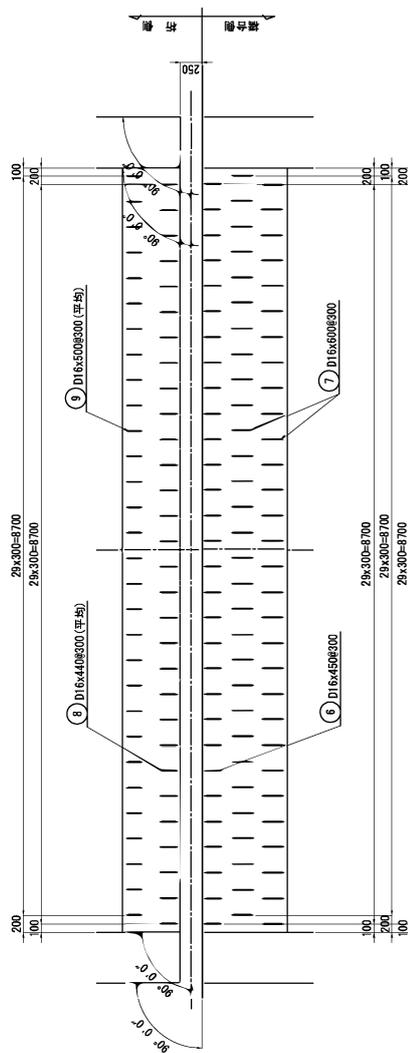
横断面図



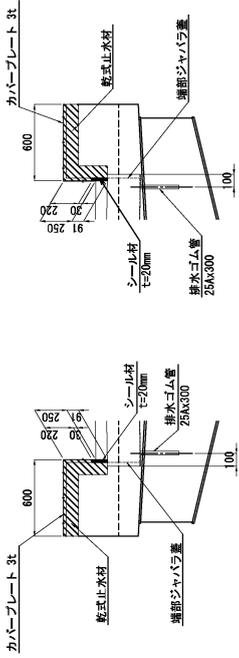
伸縮装置平面割付図



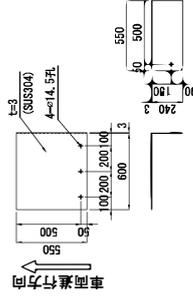
補強鉄筋⑥⑦⑧⑨平面割付図



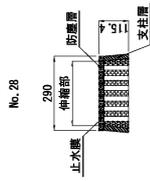
地覆部止水工 S=1:20



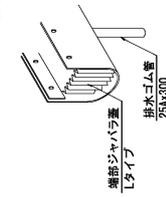
カバプレート詳細図 S=1:20
(製作数: 2)



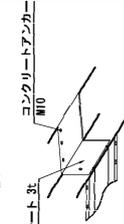
乾式止水材 S=1:10
No. 28



端部ジャバラ蓋詳細図

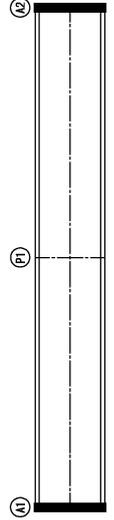


地覆部姿図



注記
1. 各部詳細図及び材料表は、「伸縮装置詳細図(その2)参照。」

配置図



年度	平成27年	番号	53/153
路線	名	一般国道(第)371号	
工事名	(仮称)小笠原谷橋式詳細設計委託		
所属地名	市内長野市見地内		
図面名	伸縮継手装置(その1)		
縮尺	図示	作成年月	平成29年2月
大野保富田林土木事務所			

伸縮継手装置 (その2)

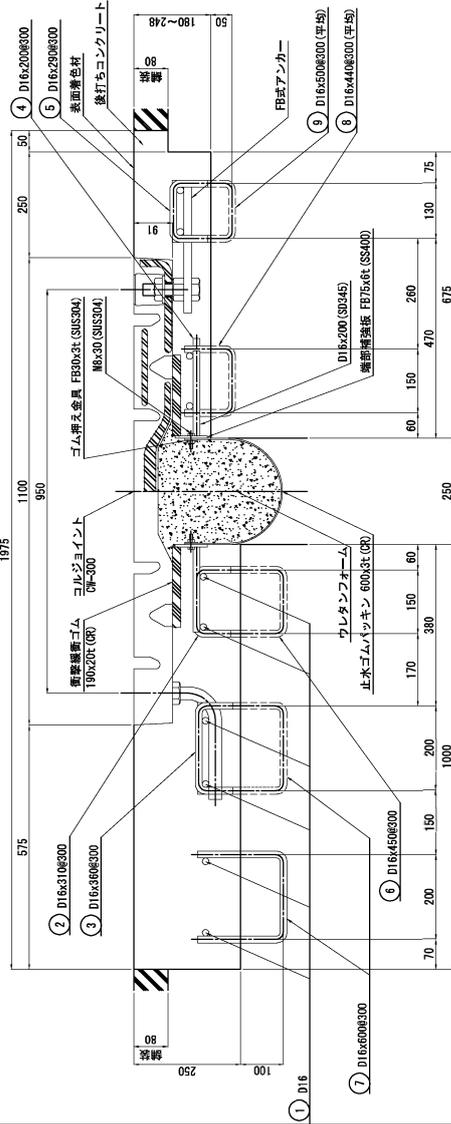
S = 1:6

材料表

品名	仕様規格	単位	A1	A2	備考
コルジョイント	CM-300(重量 452.0kg/1.5m)	m	9.000	9.000	本体
アンカーボルト	φ30	Set	30	30	
円形アンカー	M30	Set	30	30	
2液シーラント	ジョイント用	kg	78.6	78.6	2液シーラント 8.7%R/m
補強鉄筋	① 10-D16R950	kg	15	15	
	② 30-D16x310	kg	140	140	
	③ 30-D16x360	kg	17	17	
	④ 30-D16x200	kg	9	9	
	⑤ 30-D16x290	kg	14	14	
	⑥ 30-D16x450	kg	21	21	下部工施工
	⑦ 60-D16x600	kg	56	56	下部工施工
	⑧ 30-D16x440(平場)	kg	21	21	上部工施工
	⑨ 30-D16x500(平場)	kg	23	23	上部工施工
	鉄打ちコンクリート	生コンクリート(特強)	m ³	2.9	2.9
表面着色剤	3.0kg/m ²	kg	23.6	23.6	
床面補強板	F.B 75x6t	m	18.000	18.000	D167アンカー付(ゴム押え等兼用)
橋脚補強板	190 x 20t	m	18.000	18.000	
止水ゴムパッキン	600 x 3t	m	9.100	9.100	補強材入り
ウレタンフォーム	400 x 300	m	9.100	9.100	
ウレタンフォーム	Lタイプ	枚	2	2	
排水ゴム管	25A x 300	本	2	2	
地覆部シール工	乾式止水材	m	1.9	1.9	No. 28
カーボグレート	シール材	L	1.2	1.2	t=20mm
コンクリートアンカー	550 x 940 x 3t	枚	2	2	SS504
コンクリートアンカー	M10	本	8	8	ホールインアンカー

断面図

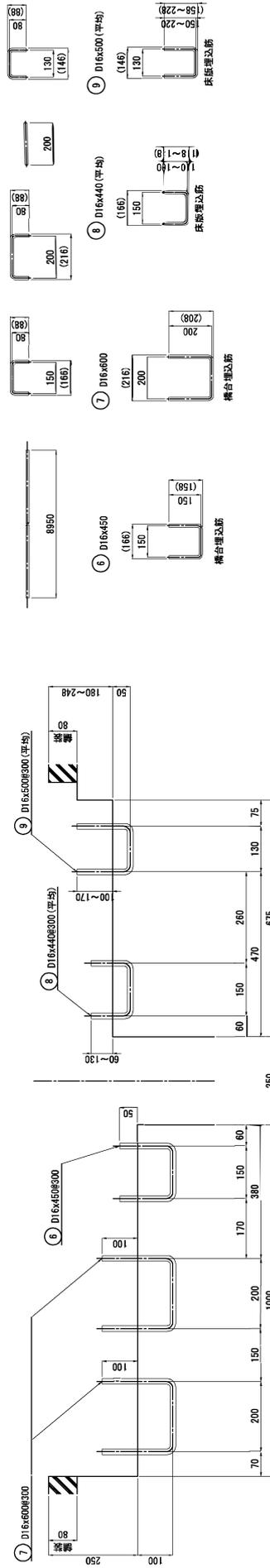
析削



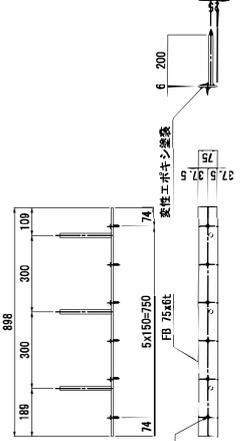
析削

床版箱抜及び補強鉄筋 ⑥⑦⑧⑨ 設置図

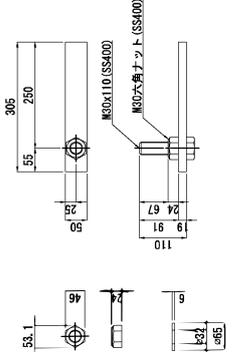
橋台側



端部補強板 S=1:10



FB式アンカー

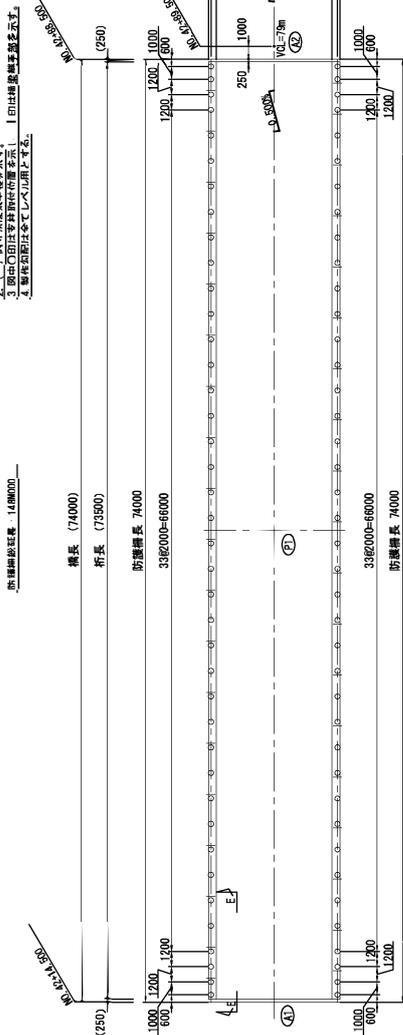


- 注記
- 配置図は、「伸縮装置詳細図(その1)」参照。
 - 橋の発生の経時変化による影響を考慮して必要な初任載重を確保した状態で伸縮継手装置を設定する必要がある。
(予備筋可能な伸縮継手装置を考慮すること。)
 - 雨水等の浸水に対して防水性を有するものとする。
(2次止水対策を施した伸縮継手装置とする。)
 - 施工、維持管理及び構体の容積さに配慮した構造とする。
(伸縮継手本体のみ取替え可能なアンカーボルト、ナット、ワッシャー方式の伸縮継手装置とする。)

年度	平成27年	番号	54/153
路線名	一般国道(第)371号		
工事名	(仮称)小笠原谷橋床補強設計委託		
所属地名	河内長野市元見地内		
図面名	伸縮継手装置 (その2)		
縮尺	図示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

防護柵

平面図 S=1/200



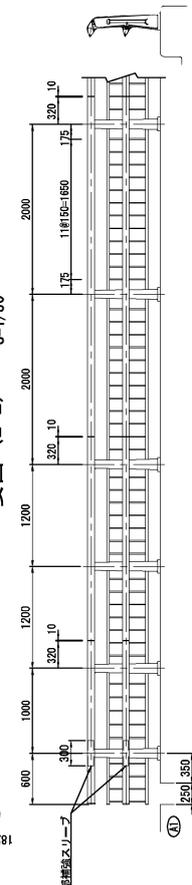
注

1. 出入口にはアンカープレートを取り付け、固定してください。
2. 出入口は本取付金具を使用してください。
3. 出入口は必ずステンレス製とします。

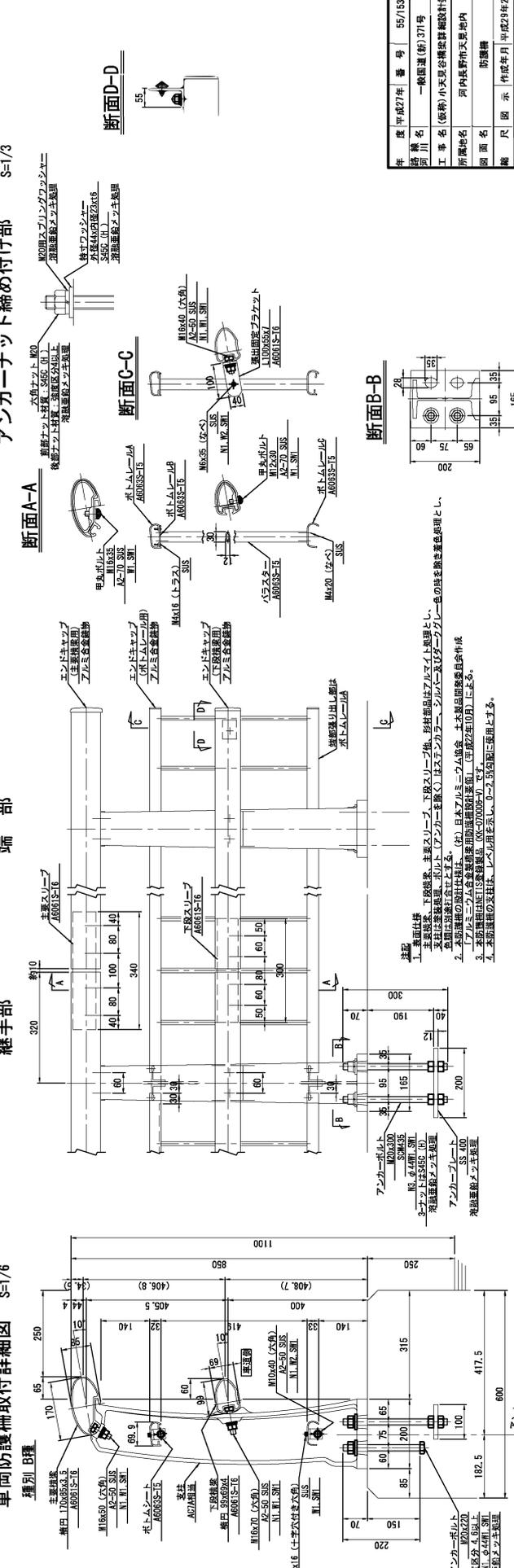
材料表

新機	名称	仕様	数量	標準重量	材	備
1	主要構造	3990.0	3	4.925	A6061S-16	170x65x3.5
2	下段横梁	3990.0	3	3.394	A6061S-16	99x48x4
3	支柱	340.0	6	10.02	A6061S-16	
4	主要スリーブ	340.0	3	4.677	A6061S-16	
5	下段スリーブ	300.0	3	3.195	A6061S-16	
6	ボトムレール	1940.0	6	1.145	A6061S-16	70x32
7	ボトムレール	1880.0	6	0.461	A6061S-16	57x3
8	ボトムレール	1940.0	6	0.928	A6061S-16	70x32
9	ボトムプレート	421.0	72	0.399	A6061S-16	30x12
10	ボトムプレート	36.0	24	1.171	A6061S-16	L-47x40
11	ボトムプレート			0.11	A2-70 SUS	W1.SPH
12	六角ボルト			0.05	A2-70 SUS	W1.SPH
13	六角ボルト			0.17	A2-70 SUS	W1.SPH
14	六角ボルト			0.20	A2-70 SUS	W1.SPH
15	六角ボルト			0.06	A2-70 SUS	W1.SPH
16	六角ボルト			0.04	SUS	W1.SPH
17	六角ボルト			0.04	SUS	W1.SPH
18	六角ボルト			0.02	SUS	W1.SPH
19	六角ボルト			0.88	S2MA55	W1.φ44x1.SPH
20	六角ボルト			0.88	8.2規格S4.6以上	W1.φ44x1.SPH
21	六角ボルト			1.88	S2400	100x20x12
				総重量	247.2kg/1m	
				積当り	20.6kg/m	(欄間は除く)

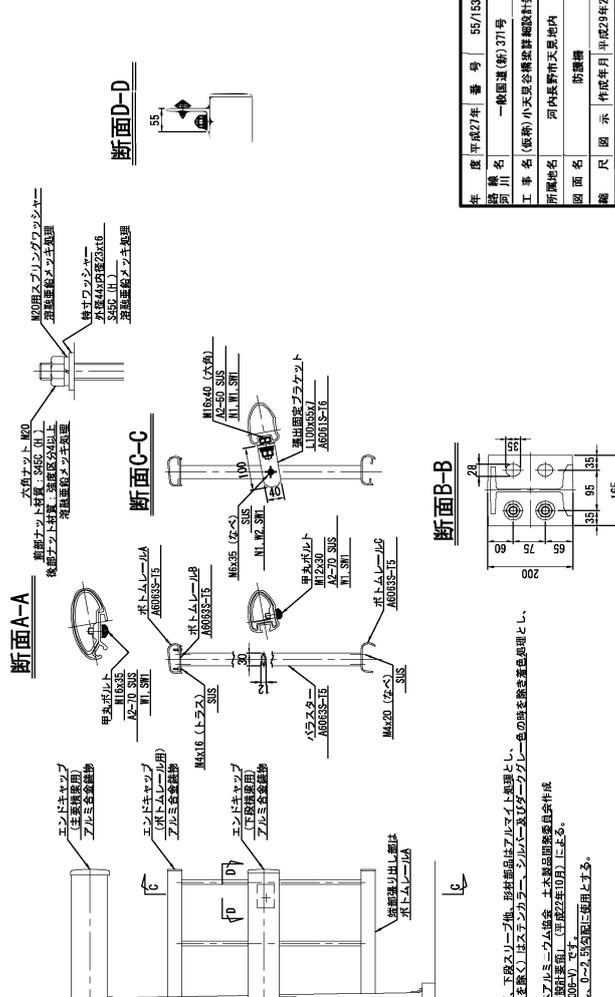
姿図 (E-E) S=1/30



高欄兼用
車両防護柵取付詳細図 S=1/6



アンカープレート締め付け部 S=1/3

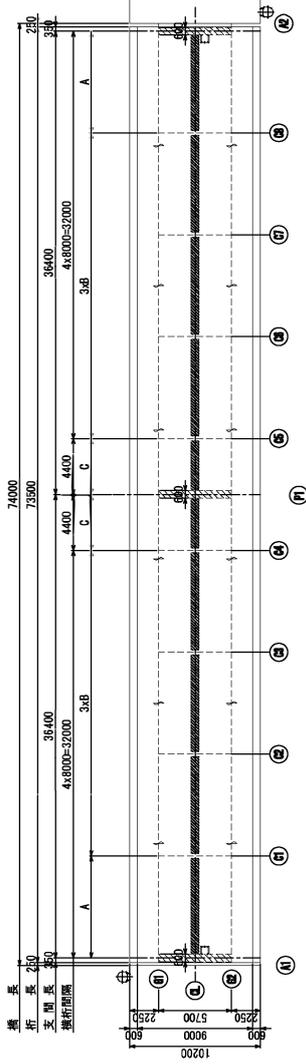


コンクリート強度 σ_{ck}≥21N/mm² 以上

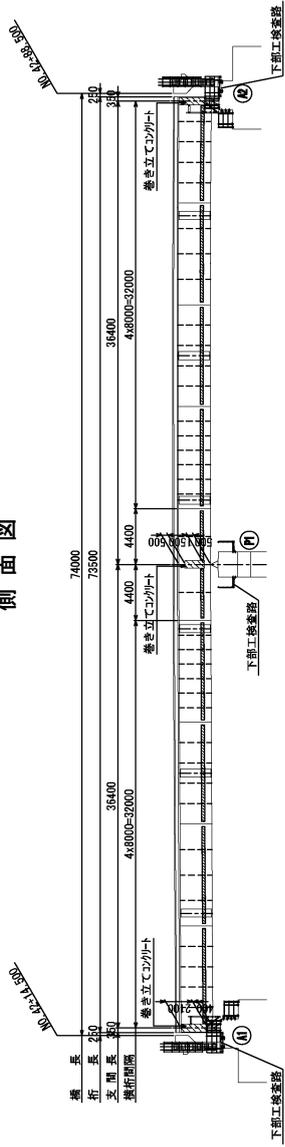
年 度	平成27年	番 号	55/153
図 名	一般国道(第)371号		
工 事 名	小笠原谷橋改修詳細設計書		
所 属 地 名	河内長野市大見地内		
図 面 名	防護柵		
縮 尺	図 示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

上部工検査路 (その1) S = 1:200

平面図



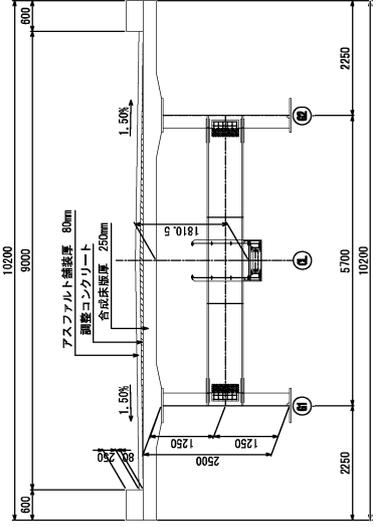
側面図



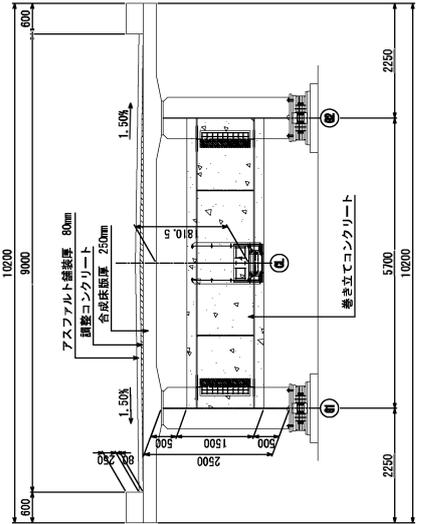
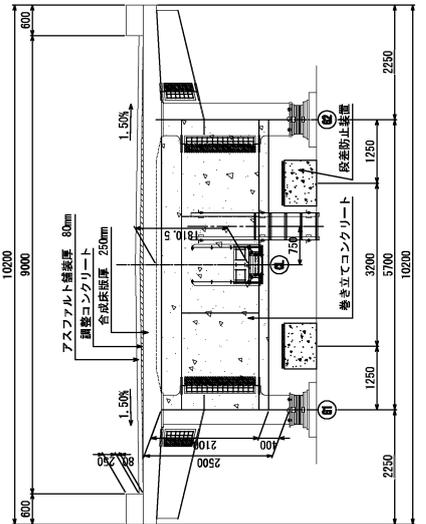
タイプ	数量	長さ
A	2	7450
B	6	7600
C	2	3850
合計	10	

断面図 S = 1:50

中間支点部 P1



端支点部 S1, S2

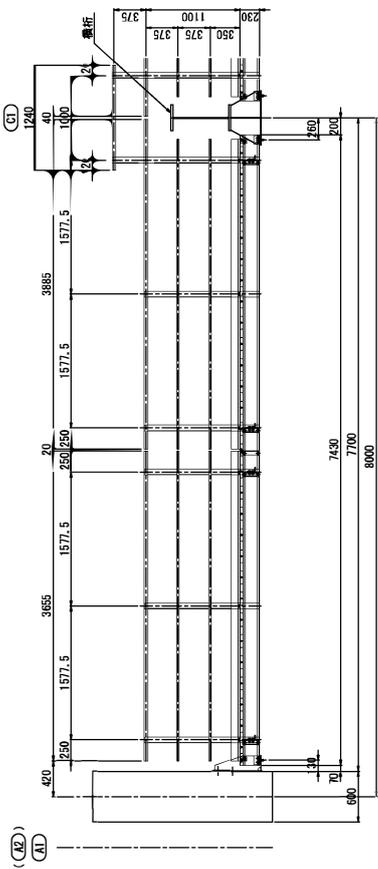


年度	平成27年	番号	26/153
路線名	肥後川		
工事名	一般国道(船)371号		
所属地名	河内長野市天見地区		
図面名	上部工検査路(その1)		
縮尺	作成年月	平成29年2月	
大阪信富田林土木事務所			

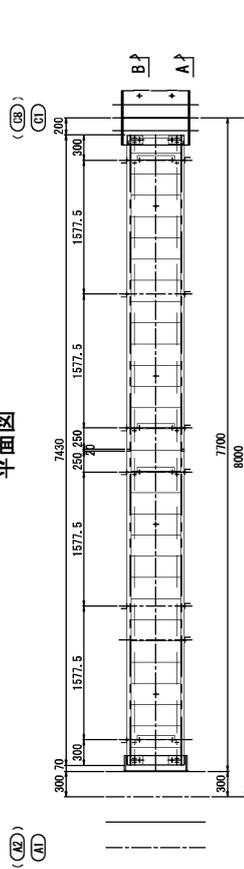
上部工検査路 (その2) S = 1:30
端支点部

タイプ A

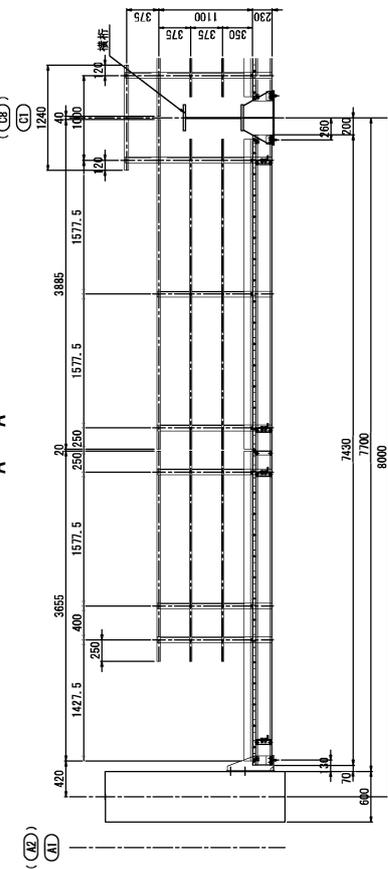
B - B



平面図

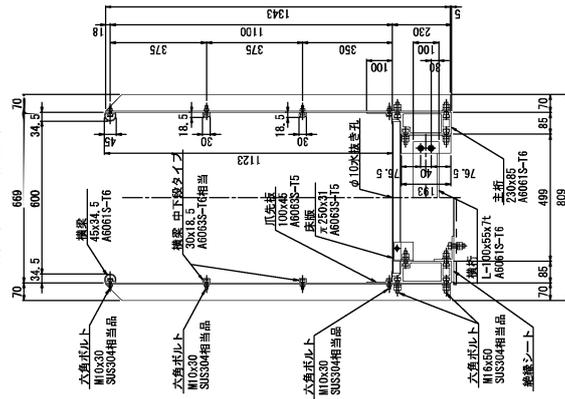


A - A



標準断面図 S=1:10

端部 支柱部



- 注記)
- 1. 本検査路の床面処理はアルマイト(シルバー色)とする。
 - 2. ボルト、ナットは塩害対策処理を施すこと。
 - 3. ナットはダブルナット部を除き締め付けナットとする。

年度	平成27年	番号	27/153
川名	一般国道(第)371号		
工事名	(仮)小文字原谷橋算出設計委託		
所在地	河内長野市天見地区		
図面名	上部工検査路(その2)		
縮尺	表示	作成年月	平成27年2月
大阪府富田土木事務所			

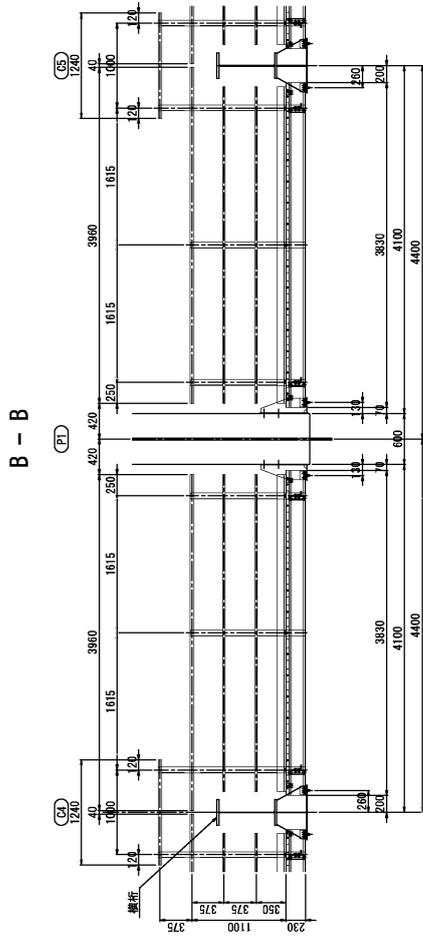
上部工検査路 (その3) S = 1:30

中間支点部

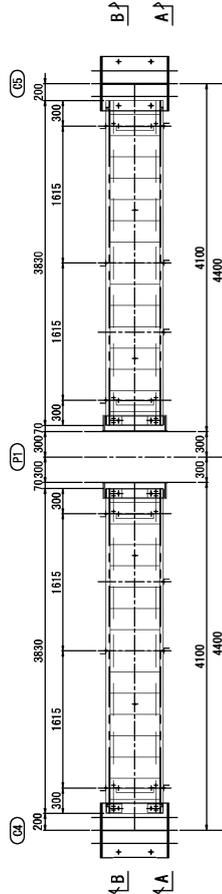
タイプ C

B - B

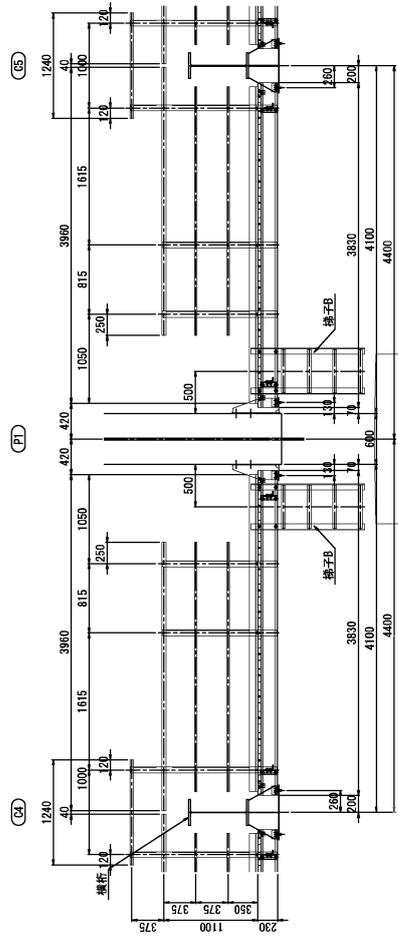
タイプ C



平面図

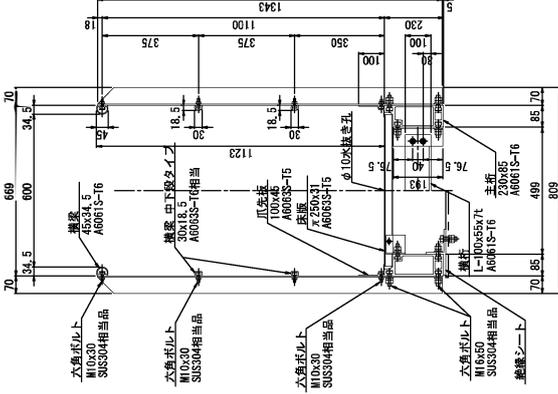


A - A



標準断面図 S=1:10

端部 支柱部



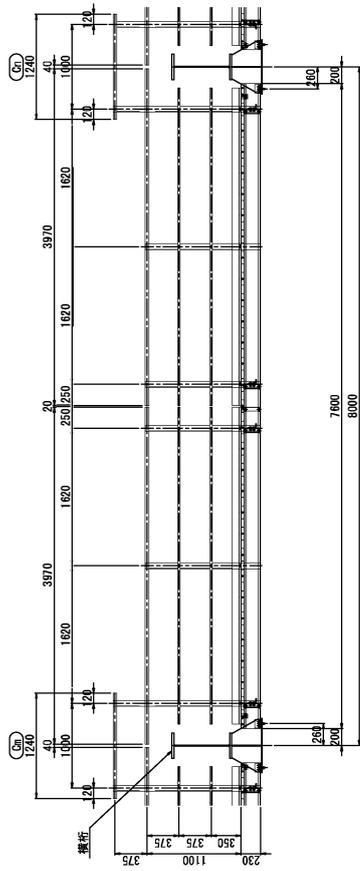
年度	平成27年	番号	28/153
路線名	一般国道(第)371号		
工事名	(仮称)小笠原谷橋架設詳細設計委託		
所在地	河内長野市天見地区		
図面名	上部工検査路(その3)		
縮尺	図示		
作成年月	平成27年2月		
大塚信富田林土木事務所			

注記)
 1. 本検査路の断面図はアルマイト(シルバー色)とする。
 2. ボルト、ピス類は塩害対策を施すこと。
 3. ナットはダブルナット締め止めとする。

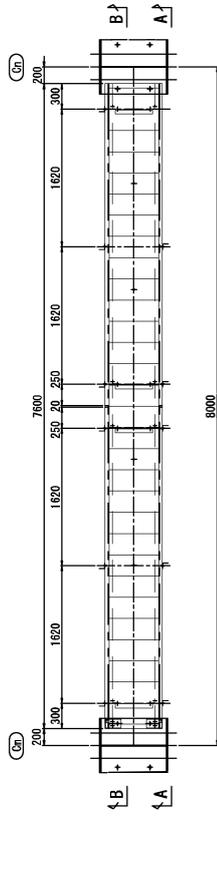
上部工検査路 (その4) S = 1:30
中間部

タイプ B

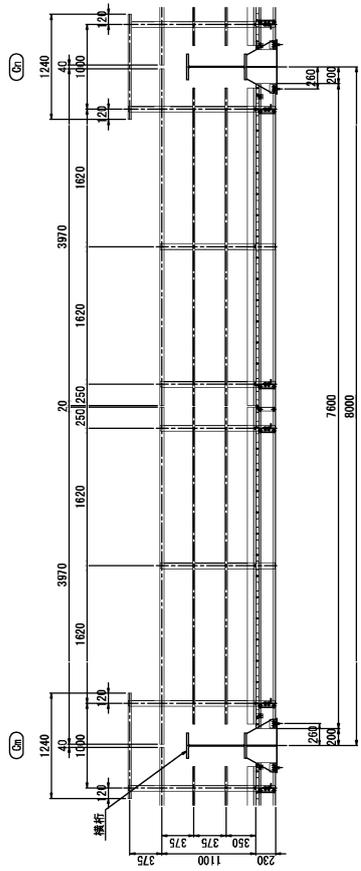
B - B



平面図

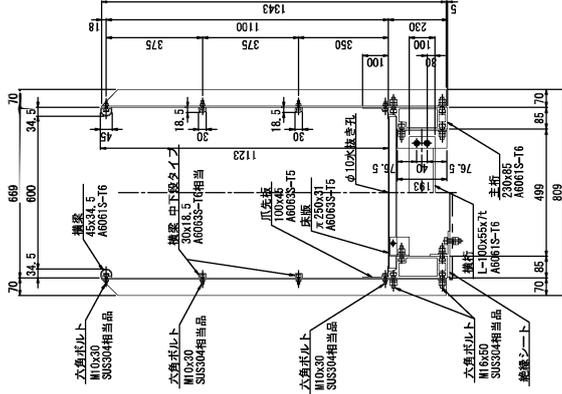


A - A



標準断面図 S=1:10

端部 支柱部



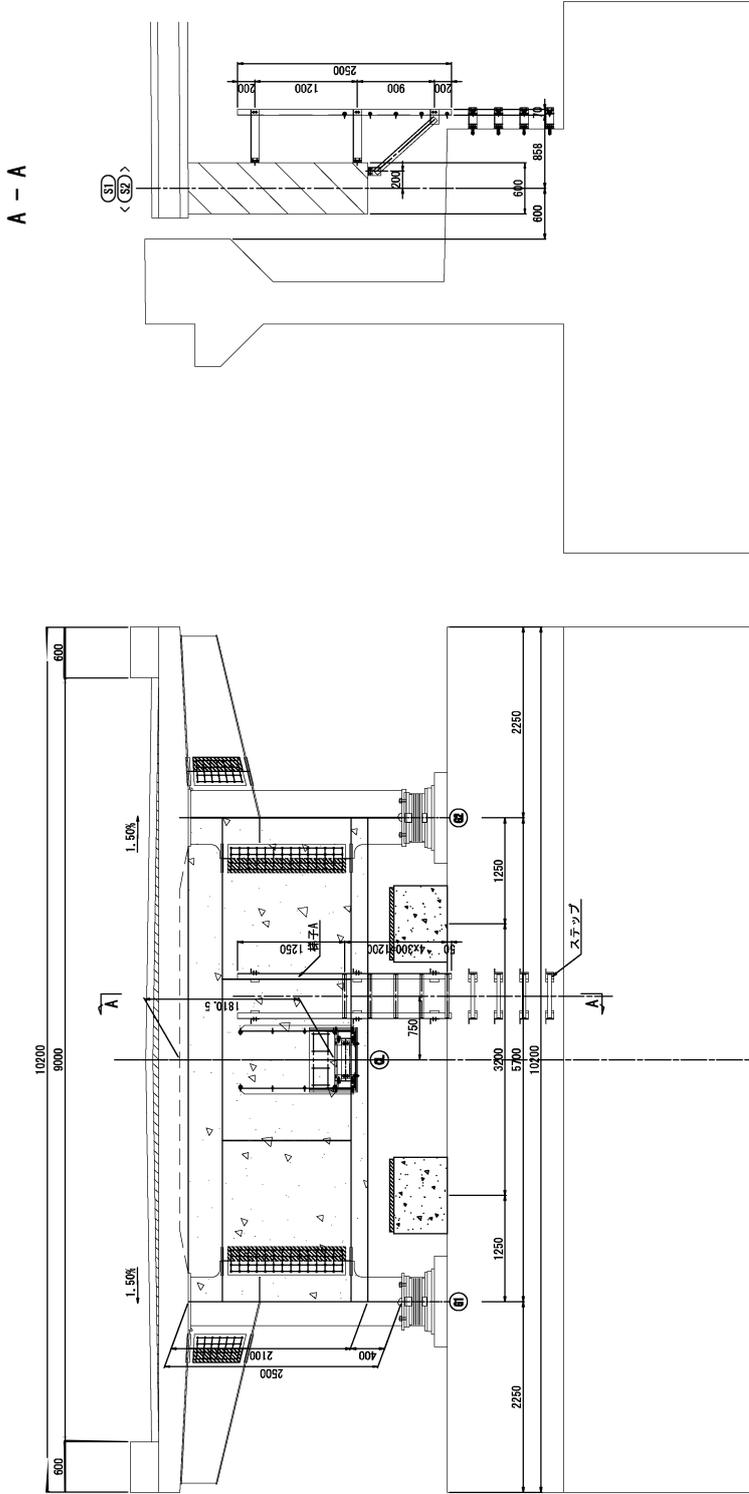
年度	平成27年	番号	29/153
路線名	一般国道(第371号)		
工事名	(仮称)小笠原線算定概設計委託		
所在地名	河内長野市天見地内		
図面名	上部工検査路(その4)		
縮尺	図示	作成年月	平成27年2月
			大塚信富 田林土木事務所

注記)
1. 本検査路の床面処理はアルマイト(シルバー色)とする。
2. ボルト、ナットは塩害対策処理を施すこと。
3. ナットはダブルナット部を除き締めナットとする。

上部工検査路 (その5) S = 1:30

端支点上横桁部

S1, <S2>

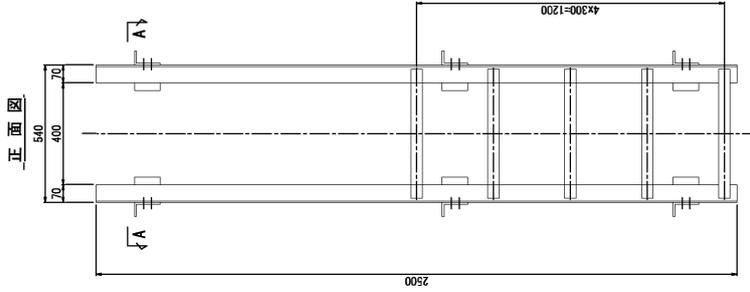


注記)
1. 本図はS1側を示しており、
S2側のステップ段数は、3段である。

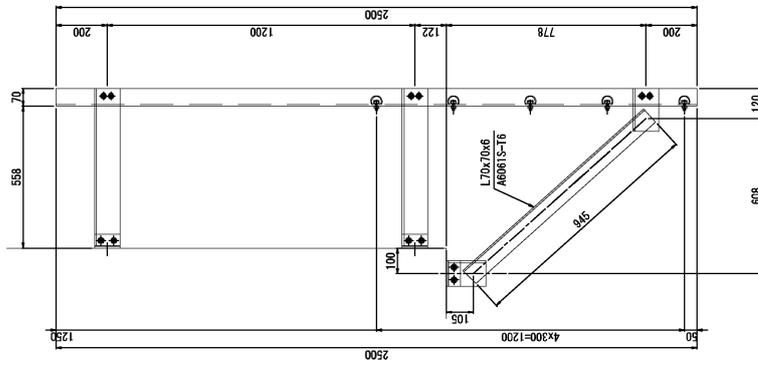
年度	平成27年	番号	30/153
図名	一般国道(幹)371号		
工事名	(仮称)小笠原谷橋架設詳細設計委託		
所在地	河内長野市天見地区内		
図面名	上部工検査路(その5)		
縮尺	1:30	作成年月	平成29年2月
大阪信富田林土木事務所			

上部工検査路 (その6) S = 1:10

梯子A
製作数:2組

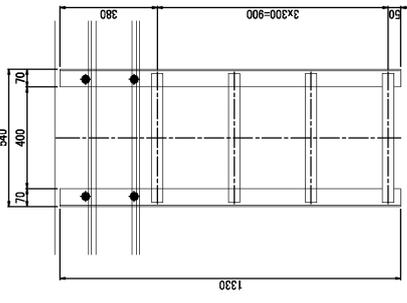


側面図

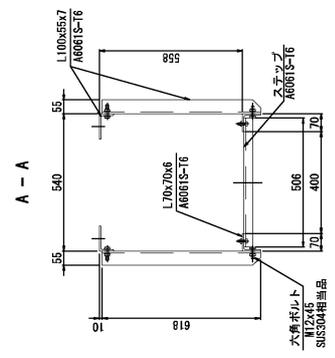
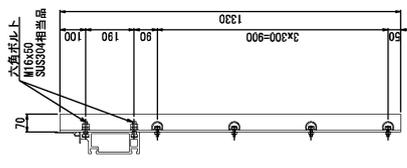


梯子B
製作数:2組

正面図



側面図



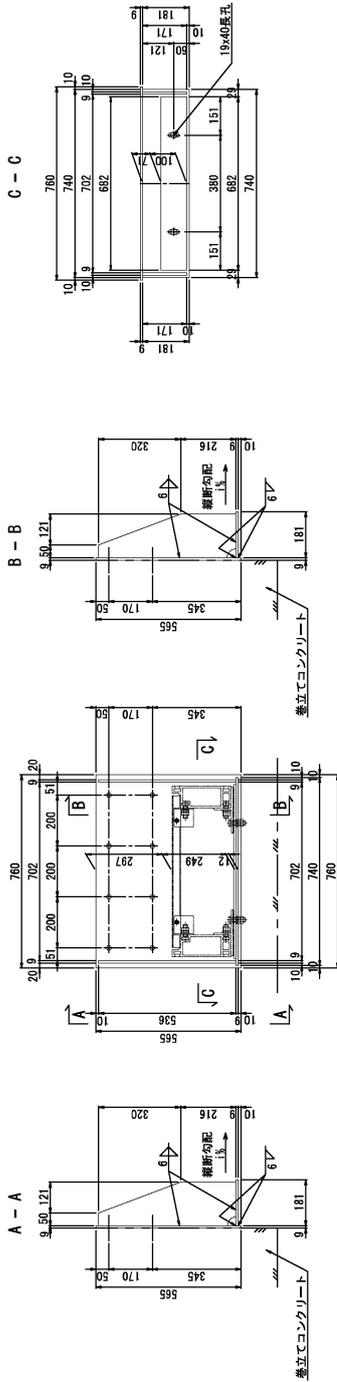
- 注記)
1. 本検査路の取組手順はアルマイト(シルバー色)とする。
 2. ボルト、ピナールは必ず取組手順を遵守すること。
 3. ナットはダブルナット部を除き締め止めナットとする。
 4. ボルトの取組は、取組順序表に従うこと。

年度	平成27年	番号	31/7153
発注者	一般国道(特)371号		
工事名	(仮称)川東区谷郷区計画設計委託		
所在地	河内長野市天見地区		
図面名	上部工検査路(その6)		
縮尺	1:10	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

上部工検査路 (その7) S = 1:10

巻立て部受け台詳細

S1, S2, P1 製作数: 4組

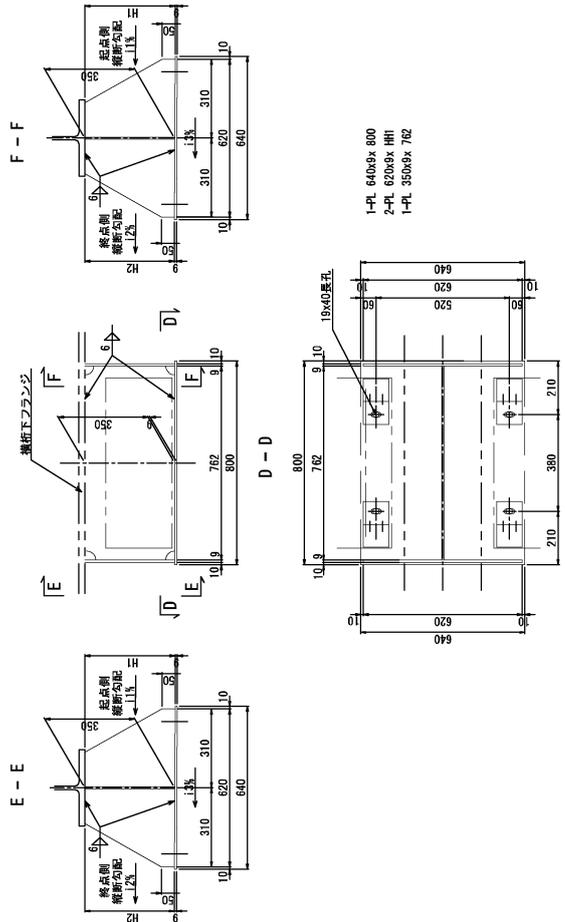


	i %
S1	0.500
P1	0.483
F1	0.388
S2	-0.531

- * 1 - PL 565 x 9 x 760 (SM400A)
- * 2 - PL 168 x 9 x 536 (SM400A)
- * 1 - PL 181 x 9 x 740 (SM400A)
- * 1 - PL 100 x 9 x 682 (SM400A)
- * 8 - ANC M16 x 100 (N1, 3N1, 5N1付) (SS400H準品)

中間横桁部受け台詳細

製作数: 8組



- 1-PL 640x9 x 800
- 2-PL 620x9 x 800
- 1-PL 350x9 x 762

- 注記
1. 特記なき材質は、全てSM400準とする。
 2. ※印内の部材は、全て面粉メッキ仕上げとする。
運動の付帯量は、JIS H8841 HD25とする。
但し、振厚3.2mm以上、6mm未満の部材はHD245とし、ボルト・ナットおよび振厚3.2mm未満の部材は、HD25とする。
 3. ボルトの取付位置は、現場調査後決定のこと。
 4. ナットは全て、締め止めナットを使用すること。
 5. 本図の受け台(横桁)はアルミ検査路範囲外とする。

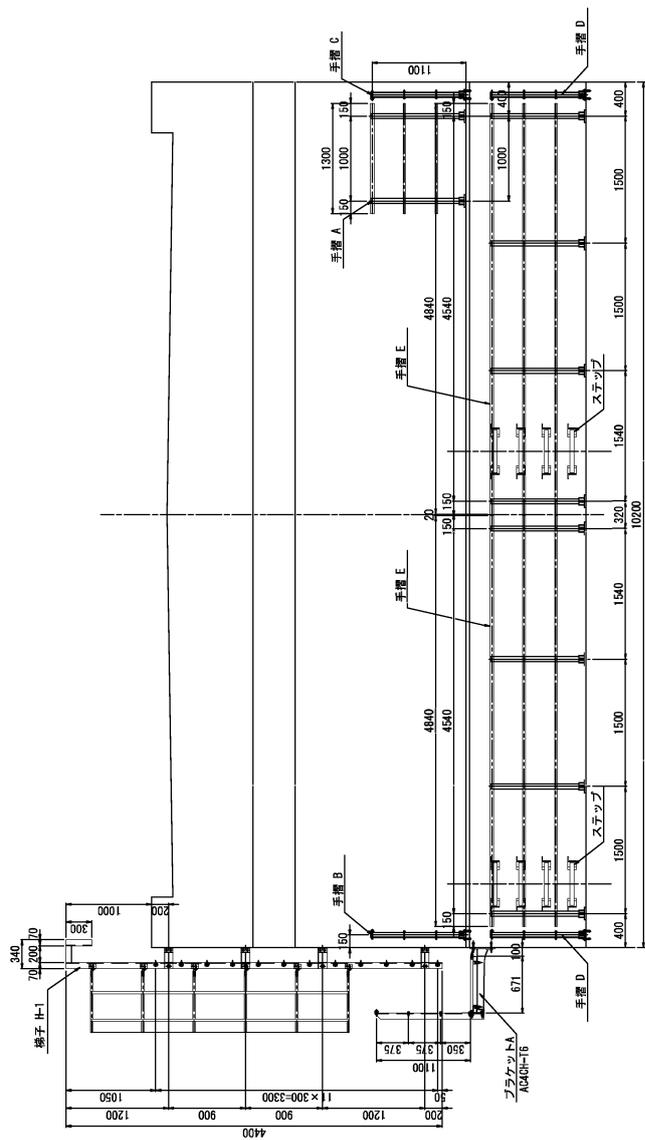
	11 %	12 %	13 %	14 %	15 %	16 %	17 %	18 %	19 %	20 %
C1	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500
C2	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500
C3	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500
C4	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500
C5	0.388	0.388	0.388	0.388	0.388	0.388	0.388	0.388	0.388	0.388
C6	0.199	-0.044	0.078	0.178	0.289	0.388	0.488	0.588	0.688	0.788
C7	-0.289	-0.531	-0.773	-1.015	-1.257	-1.500	-1.742	-1.985	-2.227	-2.470
C8	-0.289	-0.531	-0.773	-1.015	-1.257	-1.500	-1.742	-1.985	-2.227	-2.470

注) 13%は、11%と15%の平均値とする。

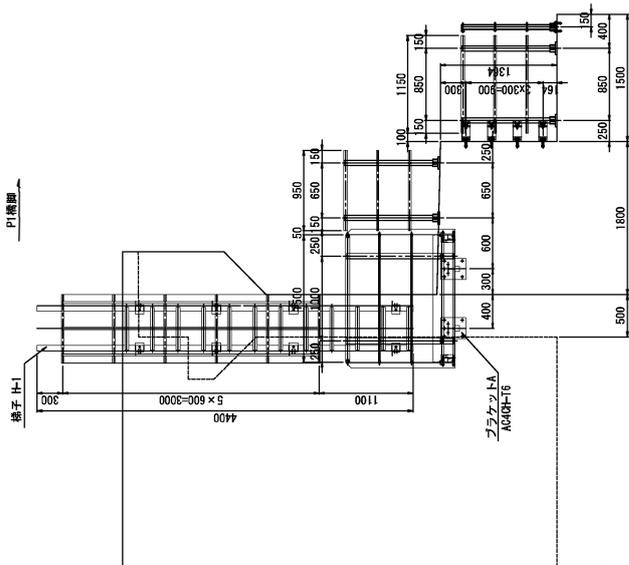
年度	平成27年	番号	32/153
路線名	一般国道(船)371号		
工事名	(仮称)小笠原線東部延伸区画設計委託		
所在地	河内長野市天見地区		
図面名	上部工検査路(その7)		
縮尺	1:10	作成年月	平成27年2月
大阪信富田林土木事務所			

下部工検査路 (その1) S = 1:30
A1橋台

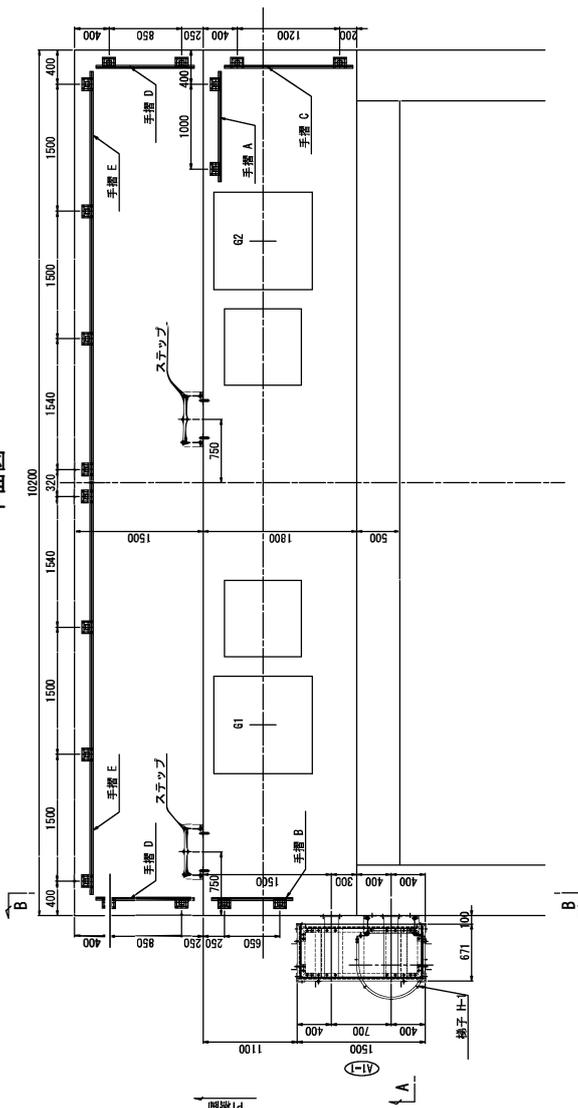
A - A



B - B



平面図



【検査部ユニット総括表】

ユニット番号	ユニット長 (mm)	ユニット幅 (mm)	ユニット数 (本)
1 A1-I	1500	971	1

【フラケット総括表】

フラケット番号	フラケット長 (mm)	フラケット幅 (mm)	フラケット数 (本)
1 フラケットA	2	10	10

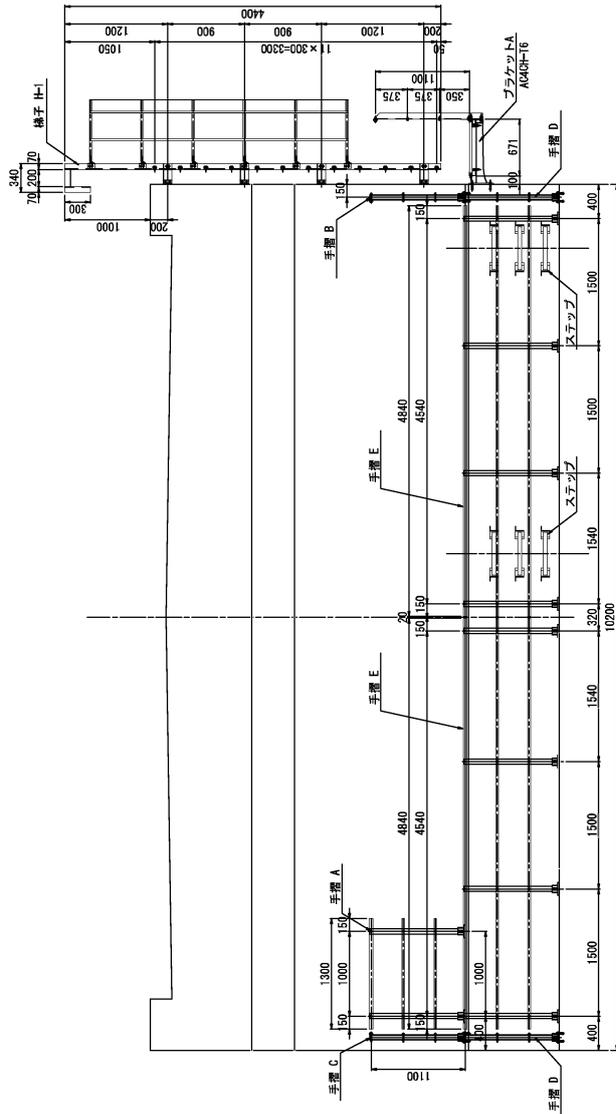
【梯子総括表】

梯子番号	梯子長 (mm)	梯子幅 (mm)	梯子数 (本)
1 梯子	1	8	8
2 手摺	7	72	72
3 ステップ	8	16	16

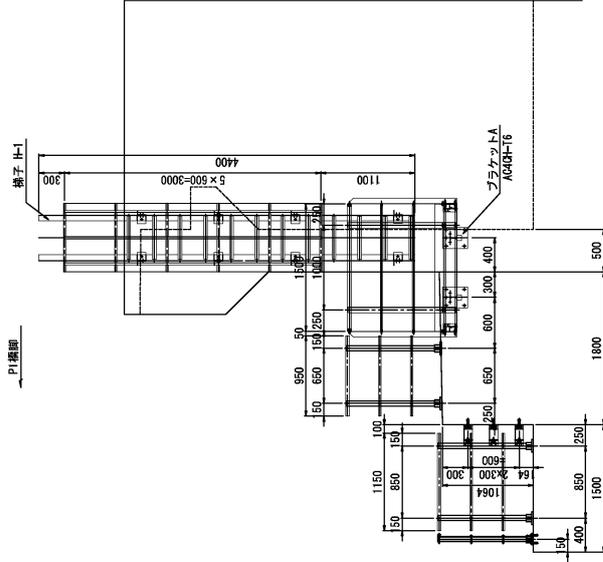
年度	平成27年	番号	33/153
図面名	一般国道(船)371号		
工事名	(仮称)小笠原線東部延伸計画		
所在地	河内長野市天見地区内		
図面名	下部工検査路(その1)		
縮尺	1:30	作成年月	平成29年2月
大阪信富田林土木事務所			

下部工検査路 (その2) S = 1:30
A2橋台

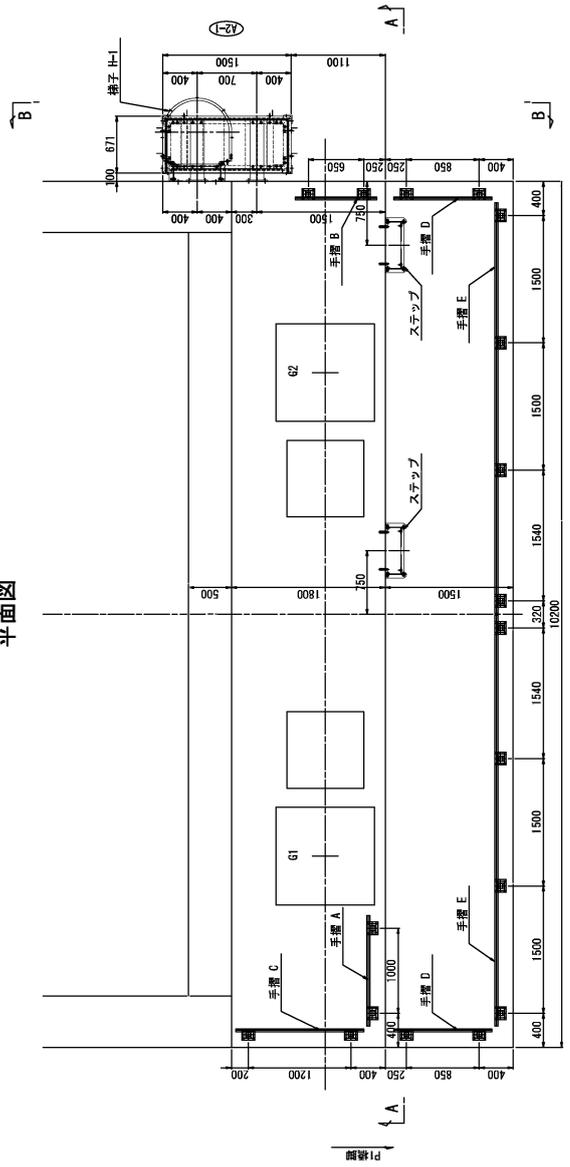
A-A



B-B



平面図



【検査路ユニット総括表】

ユニット番号	ユニット長 (mm)	ユニット幅 (mm)	ユニット数 (本)
1/A2-1	1500	671	1

【プラケット総括表】

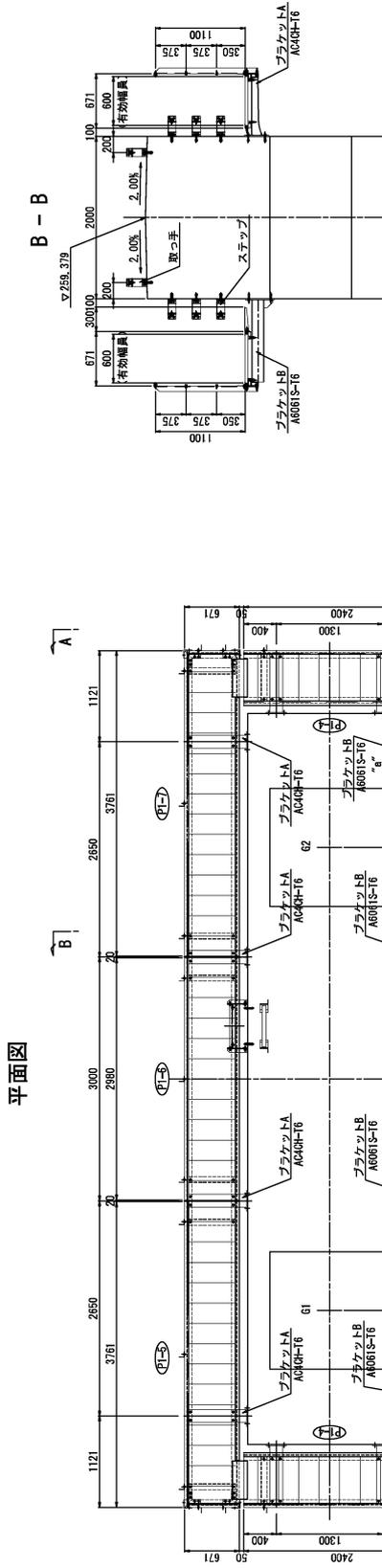
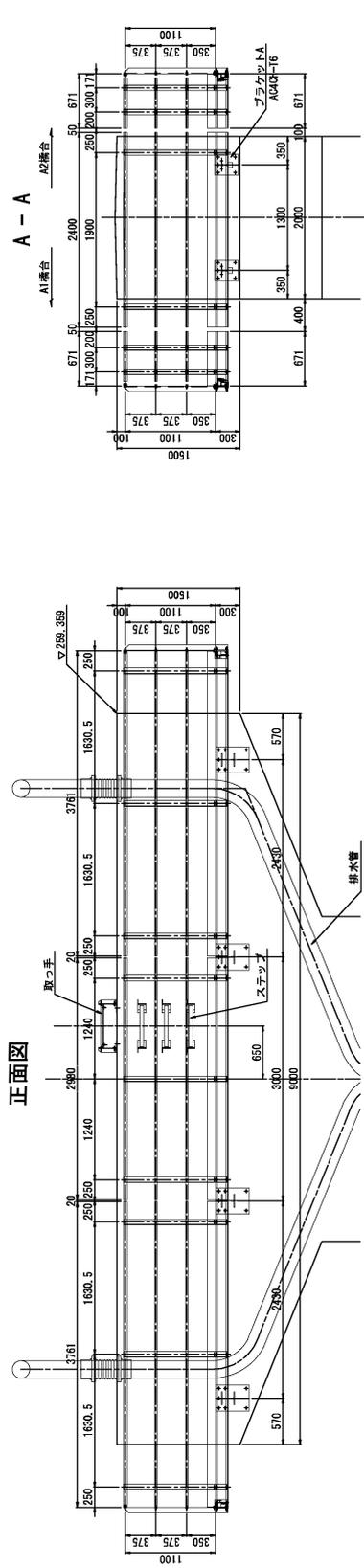
プラケット番号	プラケット長 (mm)	アンカー本数 (本)
1/プラケットA	2	10

【梯子総括表】

梯子番号	梯子長 (mm)	アンカー本数 (本)
1/梯子	1	8
2/梯子	7	72
3/ステップ	6	12

年度	平成27年	番号	34/153
図面名	一般国道(幹)371号		
工事名	((仮称))小笠原谷橋架設詳細設計委託		
所在地	河内長野市天見地区		
図面名	下部工検査路(その2)		
縮尺	1:30	作成年月	平成29年2月
大阪信富田林土木事務所			

下部工検査路 (その3) S = 1:30 P1橋脚



【検査用ユニット総括表】

ユニット番号	ユニット長 (mm)	ユニット幅 (mm)	ユニット数
1 P1-1	3761	971	1
2 P1-2	2980	971	1
3 P1-3	3761	971	1
4 P1-4	2400	671	2
5 P1-5	3761	671	1
6 P1-6	2980	671	1
7 P1-7	3761	671	1

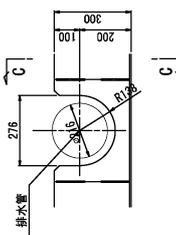
【プラケット総括表】

プラケット数 (本)	アンカー本数 (本)
1 プラケットA	8
2 プラケットB	4

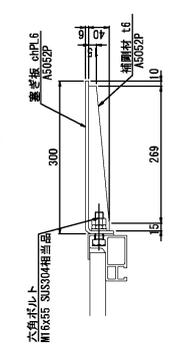
【様子総括表】

様子	様子数 (mm)	アンカー本数 (本)
1 ステップ	6	12
2 取っ手	2	4

「a」部詳細 S=1:10



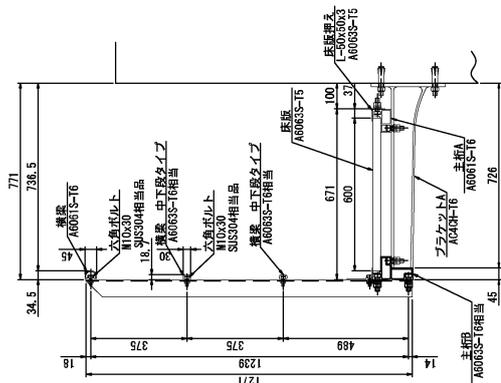
塞ぎ板詳細 S=1:5
C-C



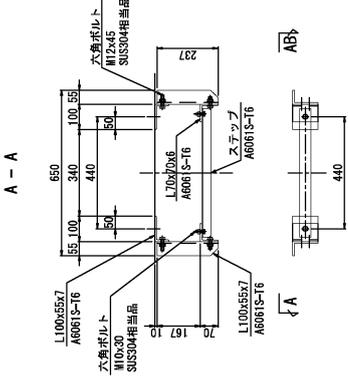
年度	平成27年	番号	35/153
図名	図川	一般国道(橋)371号	
工事名	(仮称)小沢原谷橋改修計画設計委託		
所属地名	河内長野市天見地区		
図面名	下部工検査路(その3)		
縮尺	図示	作成年月	平成29年2月
大阪信富田林土木事務所			

下部工検査路 (その4) S = 1:10

標準断面図

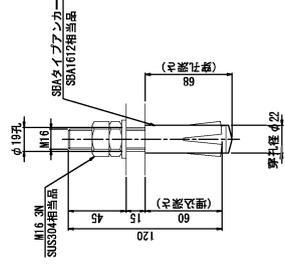


ステップ、取っ手詳細

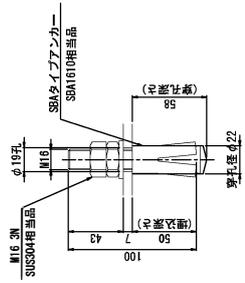


アンカー S=1:2

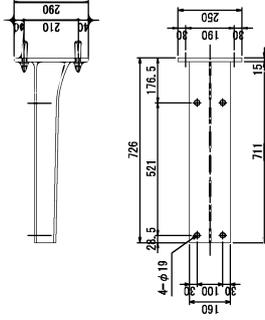
プレート用



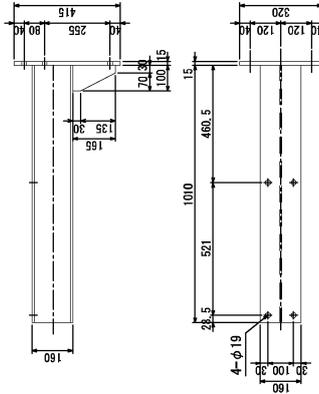
ステップ、取っ手用



ブラケットA

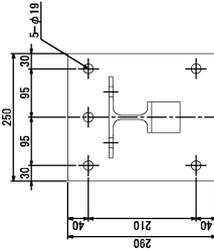


ブラケットB

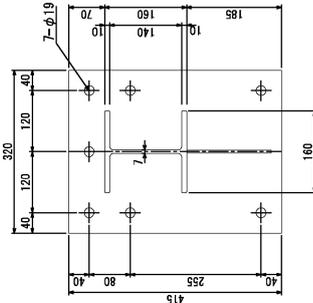


ブラケットベース S=1:5

ブラケットA



ブラケットB

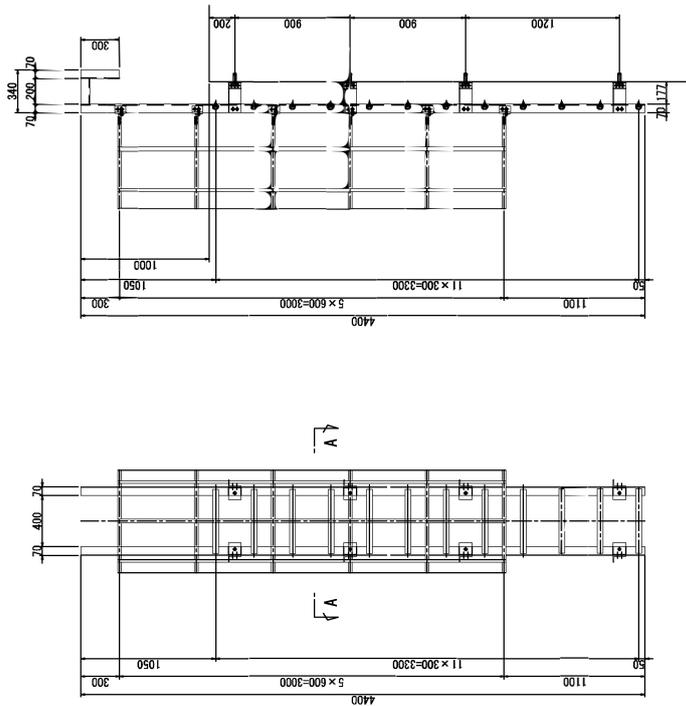


注記
 1. 本検査路の基礎処理はアルマイト (Znニッケルペースト) とする。
 但し、プレート、補脚材は塗膜処理とする。
 2. ボルト、ビス類は腐食対策を要すること。
 3. ナットはダブルナット部を施し止めナットとする。
 4. 部材はすべて現場発注品、製作のこと。

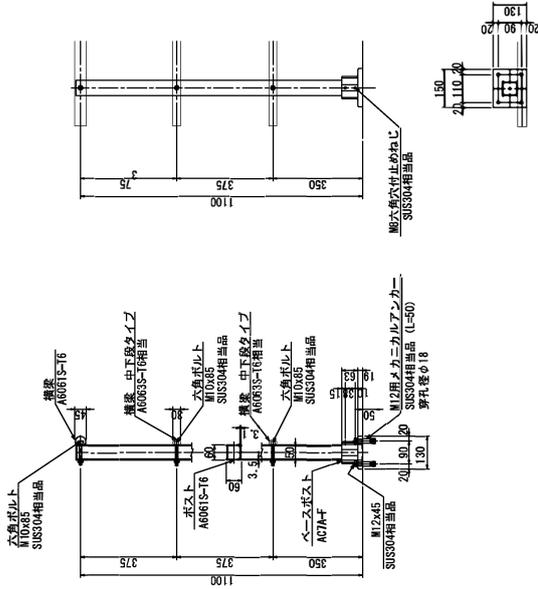
年度	平成27年	番号	36/153
橋脚名	一般国道(幹)371号		
工事名	(既設)小沢原谷橋架設詳細設計委託		
所属地名	河内長野市天見地区		
図面名	下部工検査路(その4)		
縮尺	図示	作成年月	平成29年2月
大阪信富田林土木事務所			

下部工検査路 (その5) S = 1:20

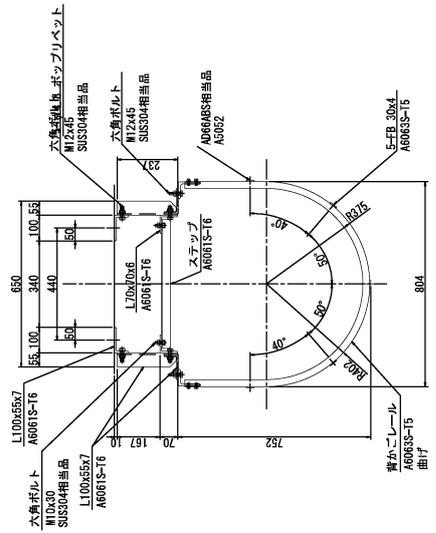
昇降梯子 H-1



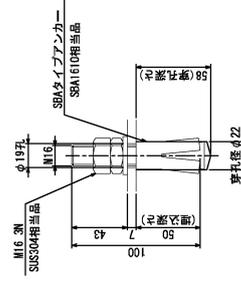
手摺 詳細 S=1:10



A - A S=1:10



アンカー S=1:2



- 注記
1. 梯子、手摺の表面処理はアルマイト (A2 シルバー色) とする。
 2. ボルト、ナットは検査対象処理を施すこと。
 3. ナットは分付ナット部名称を必ず止めナットとする。
 4. 部材はすべて現場実測後、製作のこと。

年度	平成27年	番号	37/153
図名	一般図 (輸) 371号		
工事名	(仮称)小笠原谷線東部延伸区画設計委託		
所在地	河内長野市天見地区内		
図面名	下部工検査路 (その5)		
縮尺	図示	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

支承 (その1)

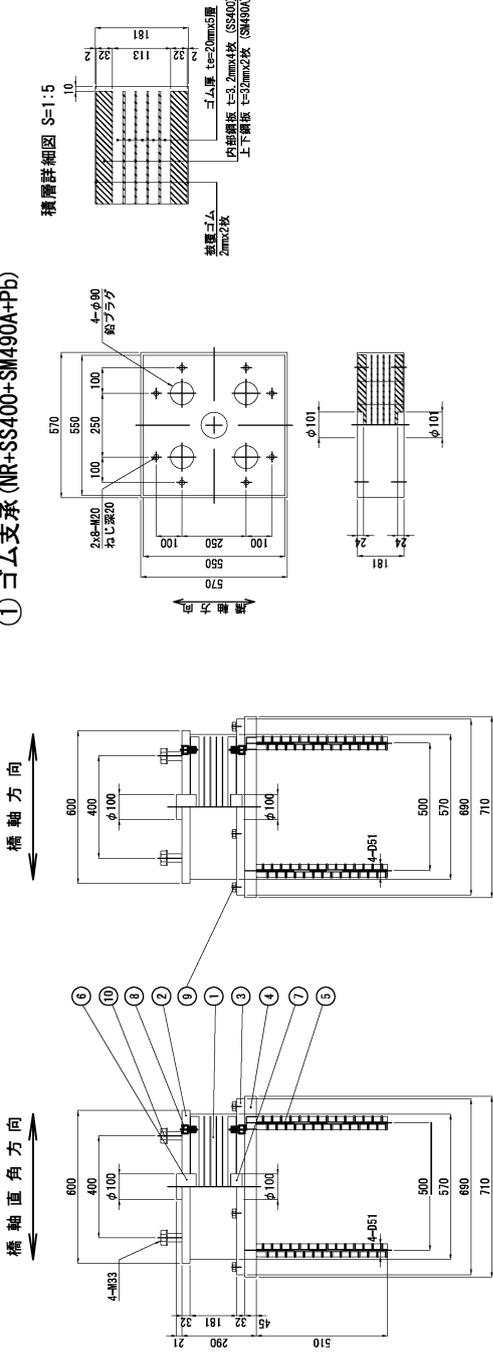
S = 1:10

A1, A2

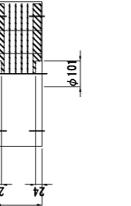
設計条件

支承タイプ	レベル2対応支承 仮置
最大反力	F_{max2} 1800 KN
最大反力	F_{max2} 1200 KN
最大抗荷重反力	P_g 1000 KN
最大抗荷重反力	F_{L1} 800 KN
照査荷重時変位量 (R _{L1} /2)	δ_{L1} 0.56 mm
回転変位量	δ_r 0.92 mm
二次形状係数	SZ 5.50
許容せん断ひずみ	γ_{88} 33.9 %
許容せん断ひずみ	ΔL_1 21.8 mm
水平変位許容量	ΔL_2 218 mm
水位変動量	U_g 190 mm
試験変位量 (1.75%)	175 mm
性能等価減衰定数	K _E 3.134 kN/mm
圧縮ばね定数	K _V 21.8 %
	785 kN/mm

① ゴム支承 (NR+SS400+SM490A+Pb)



② 上巻 (SM490A)



③ 下巻 (SM490A)



④ ベースプレート (SM490A)



⑤ アンカーボルト (SD345)



⑥ 上側せん断キー (SM490A)



⑦ 下側せん断キー (SM490A)



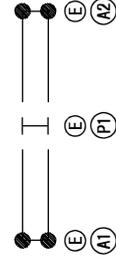
材料表 (1支承当り)

材料	品名	材質	規格	単位	備考
1	ゴム支承	NR+SS400+SM490A	1	264.0	0.6=1.0N/mm ²
2	上巻	SM490A	1	81.2	
3	下巻	SM490A	1	115.8	
4	ベースプレート	SM490A	1	175.8	
5	アンカーボルト	SD345	4	35.0	
6	上側せん断キー	SM490A	1	4.7	
7	下側せん断キー	SM490A	1	2.8	
8	六角穴付ボルト		16	2.2	
9	六角ボルト		12	2.6	照査付き
10	セットボルト		4		照査付き
	全重量 (kg)			689.1	

注1. OP印はS C Gのマーク仕様とする (中質量350kg/㎡以上とする)
 注2. 前巻8は黒色酸化皮膜処理とし、締付け後黒色皮膜処理を要する
 注3. ゴム支承本体の重量は参考重量とする
 注4. 吊り作業用として必要に応じたラップ加工を施してよい。

- ⑧ 六角穴付ボルト M20x30 強度区分 12.9
- ⑨ 六角ボルト M20x55 強度区分 8.8 平盛金 2H
- ⑩ セットボルト M33xL 強度区分 8.8 平盛金 2H

配置図



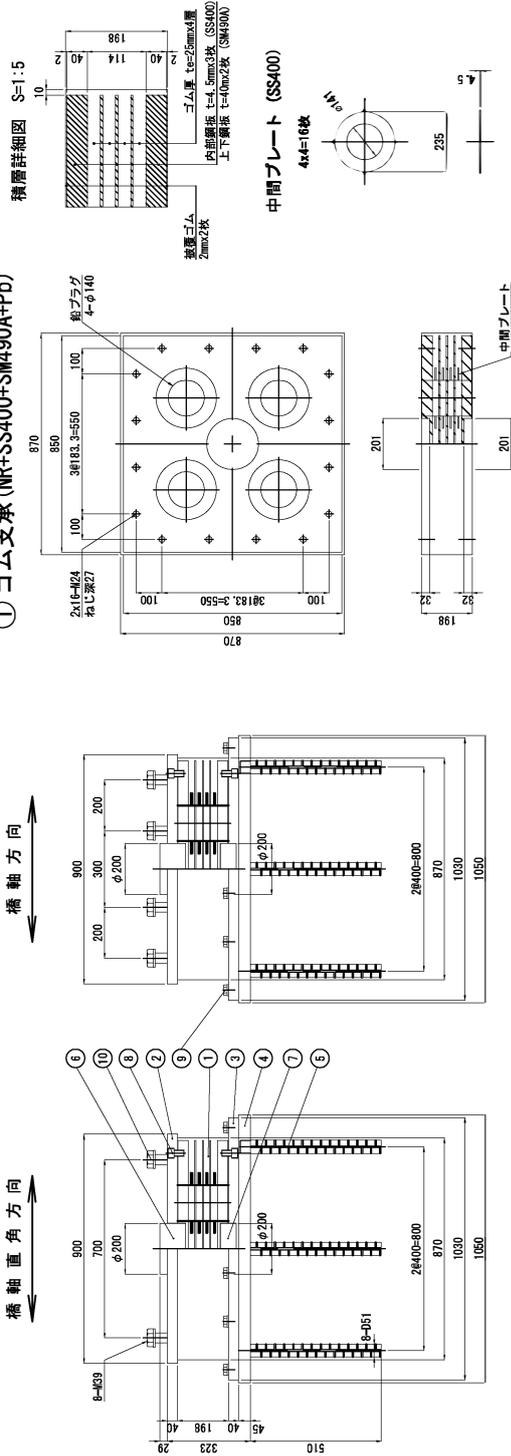
年度	平成27年	番号	487/153
路線名	京浜東北線(新)371号		
工事名	(仮称)小笠原谷橋架設詳細設計業務		
所属地名	河内長野市丸見地区		
図面名	支承 (その1)		
概尺図示	作成年月平成29年2月		
	大塚信富田村土木事務所		

支承 (その2)

S = 1:10

① ゴム支承 (NR+SS400+SM490A+Pb)

P1



設計条件

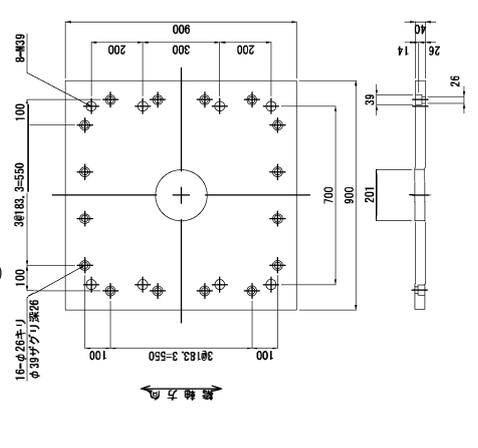
支来タイプ	レベル2対応支来 変遷
最大反力	Rmax2 4570 KN
最大反力 回転応用	Rmax2 3570 KN
最大死荷重反力	Rd 3000 KN
最大活荷重反力	Rd1 — KN
固定荷重位置 (B1+1/2)	δc1 — mm
回転位置	δ1 0.94 mm
二次形状係数	S2 8.50
許容せん断ひずみ	γsp 11.4 %
滑降	ΔL1 0 mm
滑降方向	ΔLe1 110 mm
地盤	滑降方向 角 ΔLe2 175 mm
試験位置 (17.5%)	UB 8.81 KN/mm
性等価剛性	KB 19.3 %
能率	KB 2775 KN/mm
圧縮ひずみ	Kv —

材料表 (1支承当り)

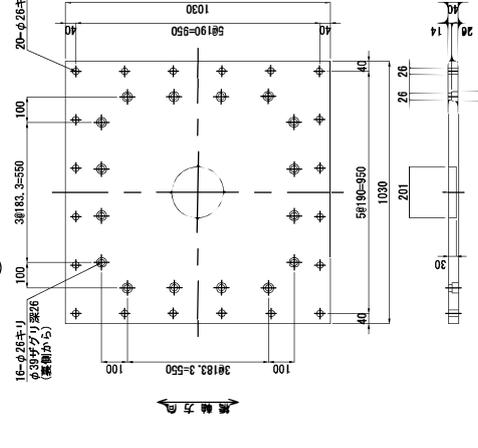
順番	品名	材質	個数	重量 (kg)	備考
1	ゴム支承	NR+SS400+SM490A	1	731.4 (B=1.2M/mm ²)	
2	上蓋	SM490A	1	236.5	
3	下蓋	SM490A	1	317.5	
4	ベースプレート	SM490A	1	382.9	
5	アンカーボルト	SD345	8	70.0	
6	上側せん断キ	SM490A	1	24.9	
7	下側せん断キ	SM490A	1	15.0	
8	六角穴付ボルト	SM490A	20	7.2	平座金付き
9	六角ボルト	—	8	—	平座金付き
10	セットボルト	—	8	—	平座金付き
全重量 (kg)			1793.4		

注1. O印はS6めった仕様とする (付着量350g/2辺 以内)
 注2. 鉛線は黒色用化程度は鉛線とし、材料検査票添付を義務とする
 注3. ゴム支承本体の重量は参考値とする
 注4. 吊り作業用として必要に応じてトップ加工を施すこと

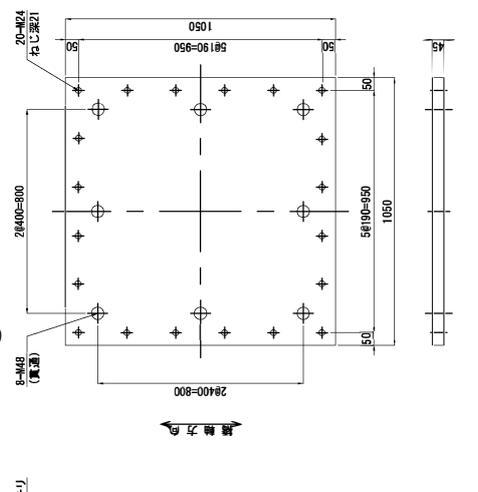
② 上蓋 (SM490A)



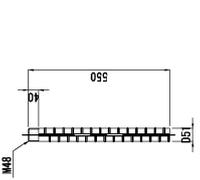
③ 下蓋 (SM490A)



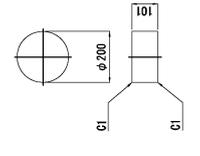
④ ベースプレート (SM490A)



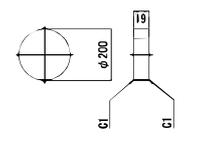
⑤ アンカーボルト (SD345)



⑥ 上側せん断キ (SM490A)

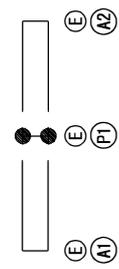


⑦ 下側せん断キ (SM490A)



- ⑧ 六角穴付ボルト M24x40 強度区分 10.9
- ⑨ 六角ボルト M24x65 強度区分 8.8 平座金 22H
- ⑩ セットボルト M39xL 強度区分 8.8 平座金 22H

配置図

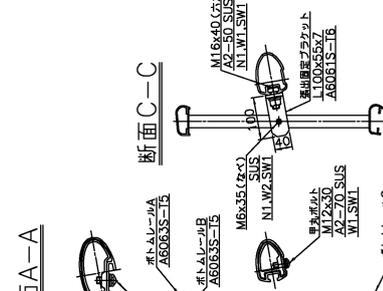


年度	平成27年	番号	50/153
図名	一般選定(新)371号		
作成者	(登録)小沢京彦 設計監理設計委託		
所屬地名	河内長野市天見地内		
図面名	支承 (その2)		
欄尺	図示	作成年月	平成26年2月
大阪府豊田林土木事務所			

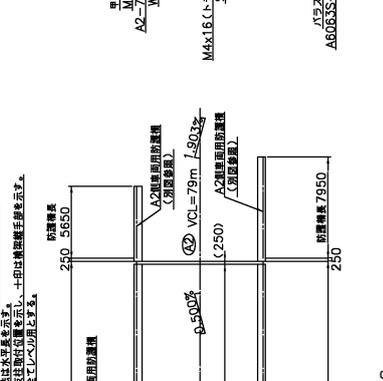
A1 橋台防護柵

材質表

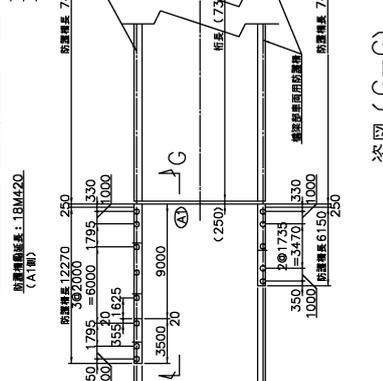
部材	仕様	寸法	重量	質量	材料	備
1	主桁	90.0	3	4.925	S90	A6061S-16
2	下段横梁	3930.0	3	3.394	40.6	A6061S-16
3					60.1	AC7材鋼管
4	支柱	10.02	6	4.687	4.8	A6061S-16
5	上段スリーブ	340.0	3	3.195	2.8	A6061S-16
6	下段スリーブ	300.0	3	1.145	2.22	A6061S-16
7	ボトスリーブ	1940.0	6	0.461	5.2	A6061S-16
8	ボトスリーブ	1880.0	6	0.461	5.2	A6061S-16
9	ボトスリーブ	1940.0	6	0.928	10.8	A6061S-16
10	ボトスリーブ	421.0	72	0.858	11.5	A6061S-16
11	ボトスリーブ	30.0	24	1.171	0.11	A6061S-16
12	ボトスリーブ	116x35	12		0.5	A2-70 SUS
13	ボトスリーブ	112x30	12		0.05	A2-70 SUS
14	ボトスリーブ	116x50	12		0.17	A2-70 SUS
15	ボトスリーブ	116x70	12		0.40	A2-70 SUS
16	ボトスリーブ	110x40	12		0.05	A2-70 SUS
17	ボトスリーブ	165x16	24		0.004	0.1 SUS
18	ボトスリーブ	165x16	45		0.002	0.1 SUS
19	ボトスリーブ	116x40	12		0.02	0.1 SUS
20	ボトスリーブ	116x40	12		0.02	0.1 SUS
21	ボトスリーブ	165x16	6		1.88	11.3 SS500
質量					247.2kg/12M	
重量					20.6kg/M(欄柵仕様)	



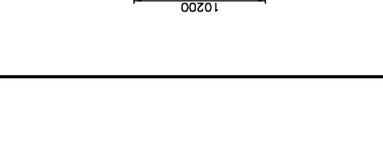
断面 A-A



断面 C-C



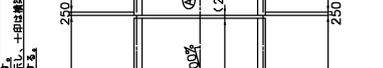
断面 D-D



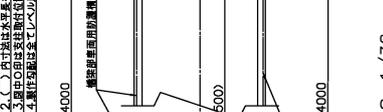
断面 E-E



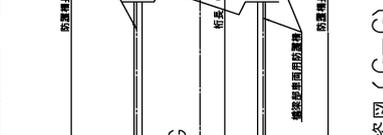
断面 F-F



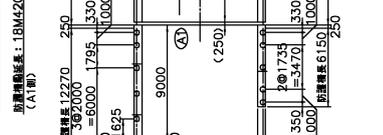
断面 G-G



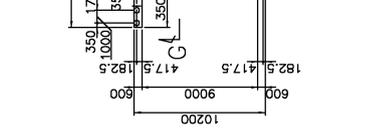
断面 H-H



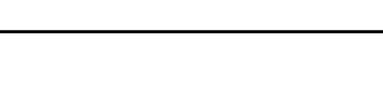
断面 I-I



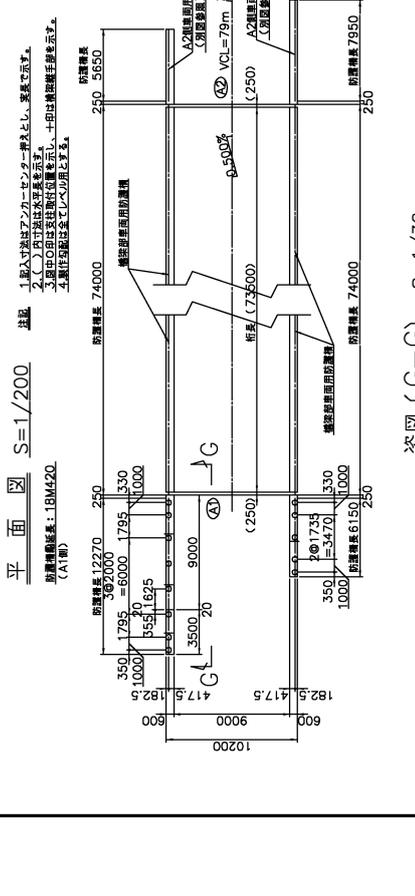
断面 J-J



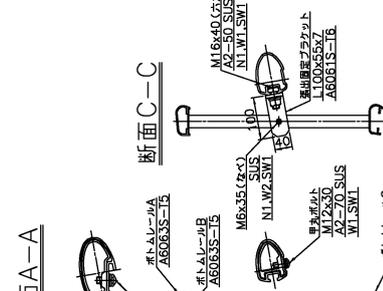
断面 K-K



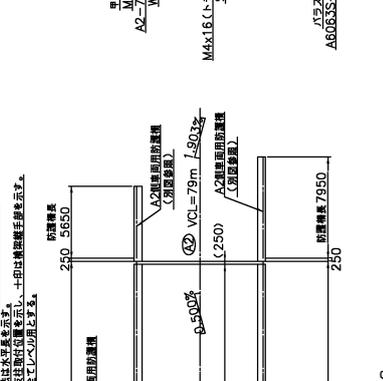
断面 L-L



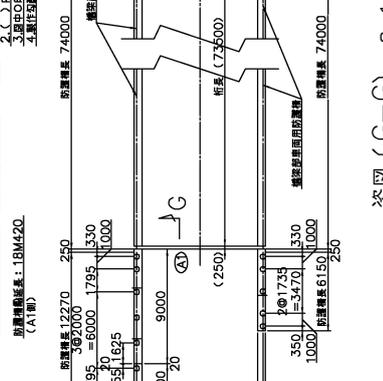
立面図 S=1/200



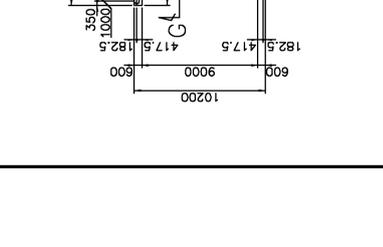
立面図 S=1/30



立面図 S=1/6



立面図 S=1/30



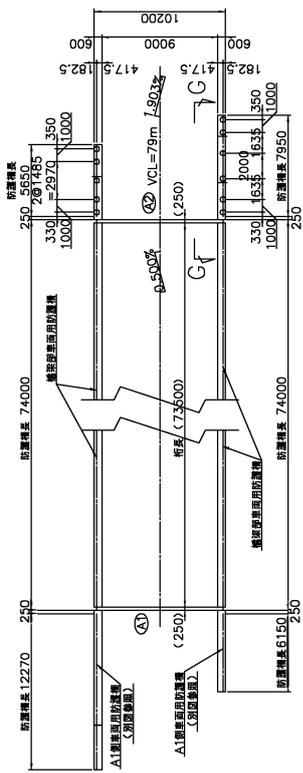
立面図 S=1/6

高橋兼用車面防護柵取付詳細図 S=1/6

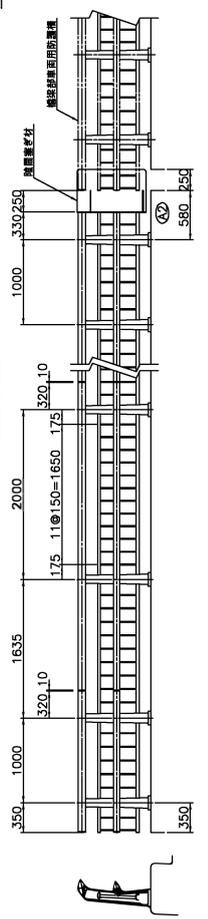
高橋兼用車面防護柵	取付部	仕様	寸法	重量	質量	材料	備
1	ボトスリーブ	M16x40 (寸法)	40			A2-50 SUS	
2	ボトスリーブ	M16x50 (寸法)	50			A2-50 SUS	
3	ボトスリーブ	M16x70 (寸法)	70			A2-50 SUS	
4	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
5	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
6	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
7	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
8	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
9	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
10	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
11	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
12	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
13	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
14	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
15	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
16	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
17	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
18	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
19	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
20	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
21	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
22	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
23	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
24	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
25	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
26	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
27	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
28	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
29	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
30	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
31	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
32	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
33	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
34	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
35	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
36	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
37	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
38	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
39	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
40	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
41	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
42	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
43	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
44	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
45	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
46	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
47	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
48	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
49	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
50	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
51	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
52	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
53	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
54	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
55	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
56	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
57	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
58	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
59	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
60	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
61	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
62	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
63	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
64	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
65	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
66	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
67	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
68	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
69	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
70	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
71	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
72	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
73	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
74	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
75	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
76	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
77	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
78	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
79	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
80	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
81	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
82	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
83	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
84	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
85	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
86	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
87	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
88	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
89	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
90	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
91	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
92	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
93	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
94	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
95	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
96	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
97	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
98	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
99	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
100	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
101	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
102	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
103	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
104	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
105	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
106	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
107	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
108	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
109	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	
110	ボトスリーブ	M16x35 (寸法)	35			A2-50 SUS	</

A2橋台防護柵

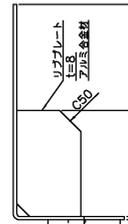
平面図 S=1/200
 規格 1. 取入寸法はアンカーセンター間とし、長さで表示。
 2. () 内寸法は表示する。
 3. 矢印は取付位置を示す。
 4. 矢印は取付位置を示す。
 5. 矢印は取付位置を示す。



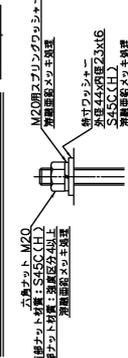
姿図 (G-G) S=1/30



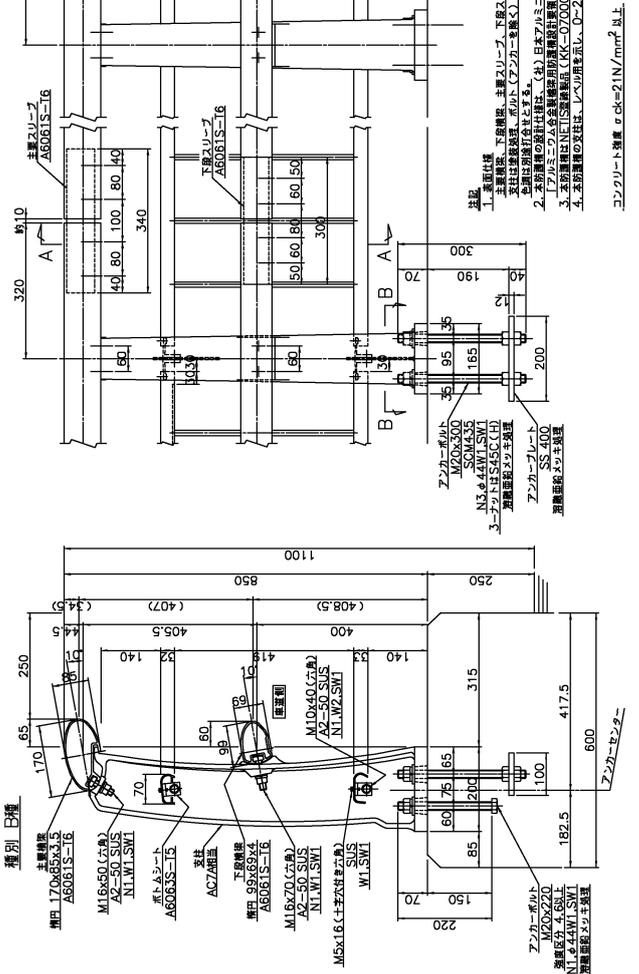
矢視 F-F



アンカーナット締め付け部 S=1/3



高欄兼用車面防護柵取付詳細図 S=1/6



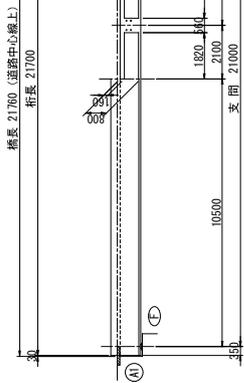
材料表

部材	名	数	寸法	重量	1本当	材	備	
1	上端横梁	3	4.925	19.65	59.0	A6061S-T6	170x85x3.5	
2	下端横梁	3	3.294	13.54	40.6	A6061S-T6	93x69x4	
3	支柱	6	10.02	60.1	AC7材			
4	上端スリーブ	3	3.400	4.667	4.8	A6061S-T6		
5	下端スリーブ	3	3.195	3.96	2.8	A6061S-T6		
6	ボトスリーブA	194.0	2.22	1.145	2.3	A6063S-T5	70x32	
7	ボトスリーブB	186.0	0.87	0.461	5.2	A6063S-T5	57x3	
8	ボトスリーブC	194.0	0.923	1.80	10.8	A6063S-T5	70x32	
9	ボトスリーブD	421.0	0.368	0.16	11.5	A6063S-T5	30x12	
10	ボトスリーブE	30.0	2.4	1.171	0.04	1.0	A6063S-T5	I-47x40
11	ボトスリーブF	12	M16x35	12	0.05	0.8	A2-70 SUS	WT.SWT
12	ボトスリーブG	12	M12x30	12	0.02	0.6	A2-70 SUS	WT.SWT
13	ボトスリーブH	12	M16x50	12	0.17	2.0	A2-70 SUS	N1.W1.SWT
14	ボトスリーブI	12	M16x70	12	0.40	2.4	A2-70 SUS	N1.W1.SWT
15	ボトスリーブJ	12	M10x40	12	0.08	0.7	A2-50 SUS	N1.W2.SWT
16	ボトスリーブK	24	M8x16	24	0.004	0.1	SUS	WT.SWT
17	ボトスリーブL	288	M4x20	288	0.002	0.6	SUS	
18	ボトスリーブM	48	M4x16	48	0.002	0.1	SUS	
19	ボトスリーブN	48	M3x8	48	0.002	0.1	SUS	
20	ボトスリーブO	12	M20x20	12	0.88	8.2	鋼板A6063H	110x140x1.SWT
21	ボトスリーブP	6	t=12	1.68	11.3	SS400	100x200x12	
重量					247.2kg/12M			
重量					20.6kg/M (欄柵仕様)			

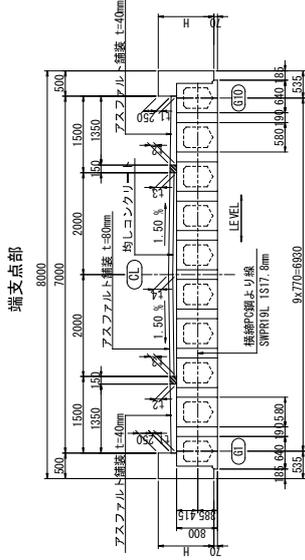
年度	平成27年	番号	106/153
所属	河川	一般国道(新)37号	
工事名	(修)小矢野合流部排水設計委託		
所在地	河内郡市川町		
図面名	A2橋台防護柵		
縮尺	1/100	作成年月	平成29年2月
大阪府富田林土木事務所			

管理橋 上部構造一般図

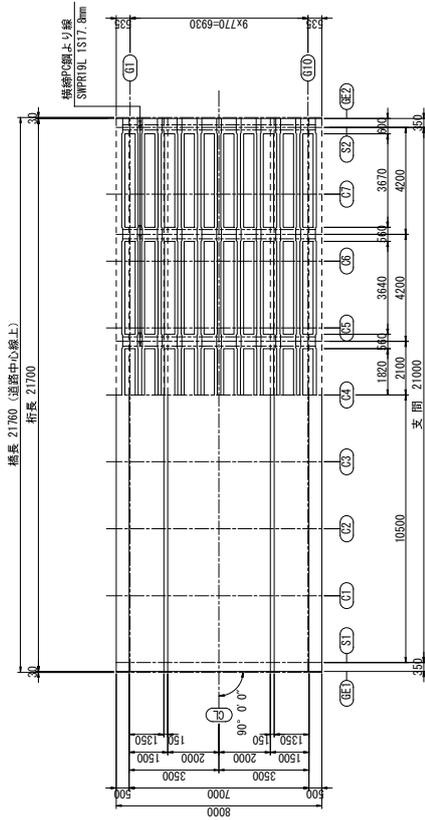
側面図 S=1/100



断面図 S=1/50



平面図 S=1/100



設計条件

種別	プレストレストコンクリート連続橋
型式	プレテンション方式収縮補収橋
活荷重	A活荷重
衝撃係数	1.0/(25+1)=1.03
橋長	21,700 m (道路中心線上)
支間長	21,000 m
支間幅	21,000 m
斜角	A1軸 90°0'0"、A2軸 90°00'00"

材料強度及び許容応力度

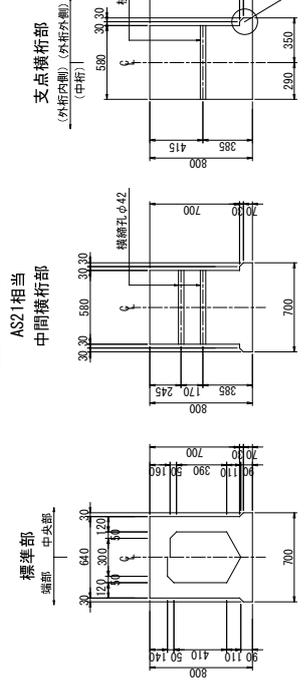
コンクリート	単位	主桁	床版・横桁
設計基準強度	N/mm ²	50.0	30.0
プレストレスト			
導入時圧縮強度	N/mm ²	35.0	25.0
導入直後	N/mm ²	20.0	15.0
設計荷重	N/mm ²	16.0	12.0
死荷重時	N/mm ²	-1.80	0.00
設計荷重	N/mm ²	-1.80	0.00
終局時	N/mm ²	6.00	4.00
平均せん断応力度	N/mm ²	-1.70	-0.80
設計せん断時	N/mm ²	-1.50	-1.10
終局時	N/mm ²	-2.30	-1.70
設計せん断時	N/mm ²	-2.80	-2.20
P C 鋼材			
SMP PFB	SMP R19L	1S15.2	1S17.8
引張強度	N/mm ²	1850	1850
降伏点応力度	N/mm ²	1600	1600
導入時	N/mm ²	1440	1440
導入直後	N/mm ²	1285	1285
設計荷重	N/mm ²	1110	1110
鉄伏点応力度			
主桁	N/mm ²	345.0	—
床版	N/mm ²	140.0	—
横桁	N/mm ²	200.0	—

地震コンクリート強度 $\sigma_{ck}=24 \text{ N/mm}^2$

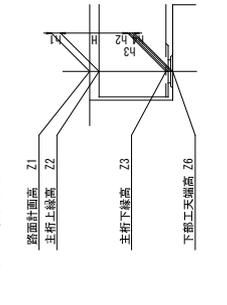
舗装厚・地覆高表

項目	S1	S2	S3	S4	S5	S6	S7	S8
GE1	108	104	86	70	61	58	70	86
T1	108	104	86	70	61	58	70	86
L2	128	125	106	90	81	78	81	90
L3	130	127	108	93	83	80	83	93
L4	160	157	138	123	113	110	113	123
H	1088	1094	1066	1050	1041	1038	1041	1050

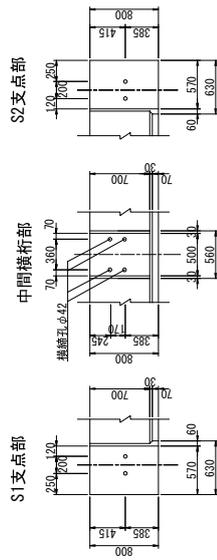
主桁断面図 S=1/20



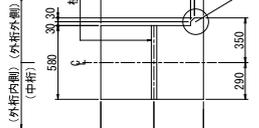
支保部構造高表



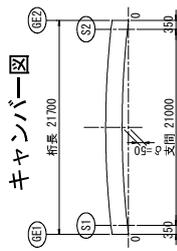
横縮め位置詳細図 S=1/30



支保部



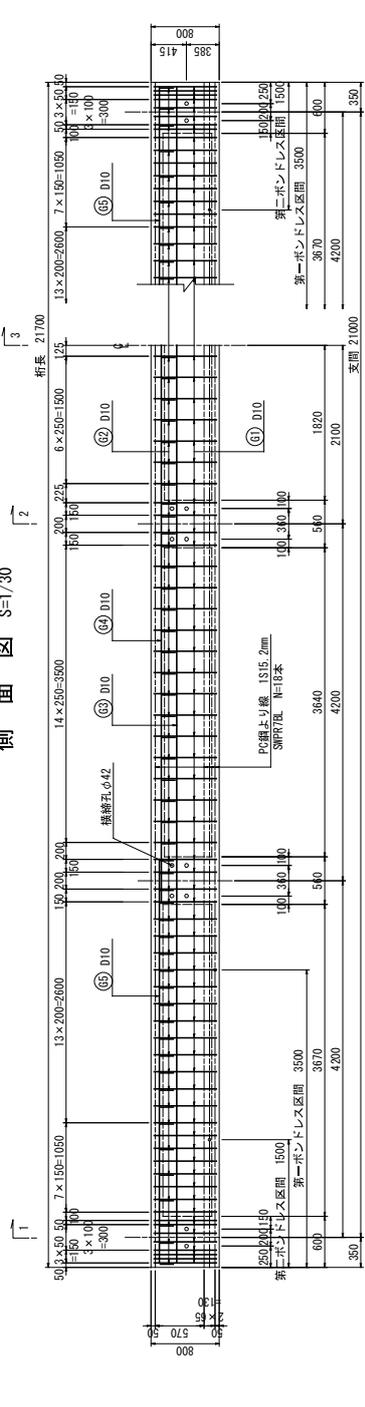
AS21相当 中間横桁部



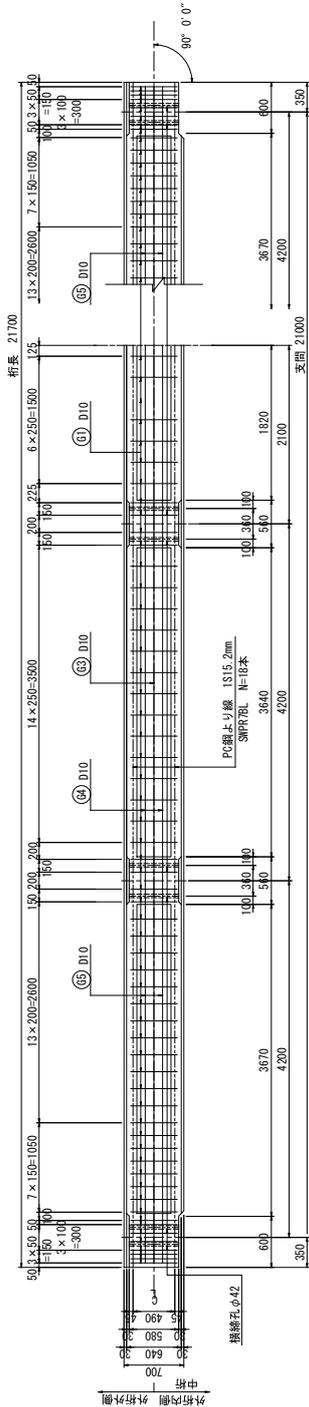
は、主桁製作後90日以上の養生期間を経た後、架設に当たっては、各工場のより測定結果を基として、設計計画に合うように、舗装厚等を調整する必要がある。

管理橋 主桁配筋図

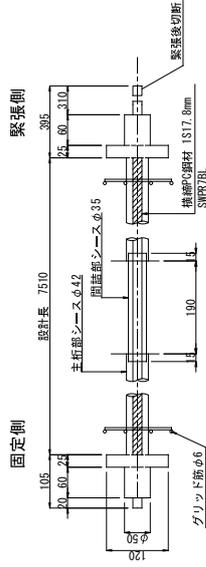
側面図 S=1/30



平面図 S=1/30



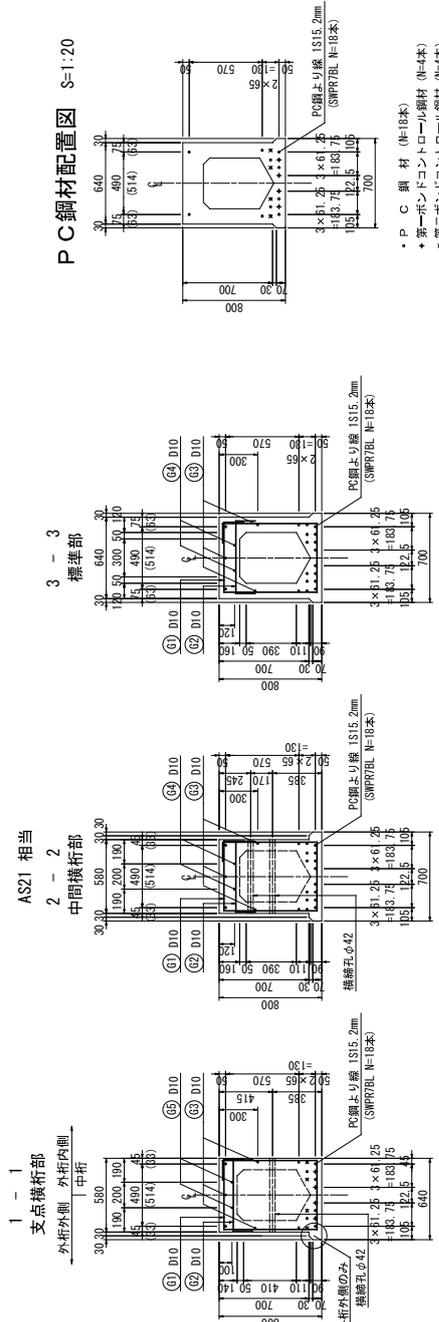
横締定着詳細図 S=1/5



鉄筋表 (主桁1本当り)

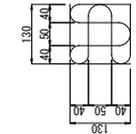
記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	備 考
G1	D10	2830	114	0.560	1.58	180	□
2	"	840	96	"	0.47	45	□
3	"	21800	3	"	12.26	37	—
4	"	13350	2	"	7.48	15	—
5	"	4770	4	"	2.67	11	—
	φ6	1200	20	0.222	0.27	5	■
主桁本当り							D10 288 kg
主桁全 10本							合計 2880 kg
グリッド筋							φ6 5 kg
外桁至 2本							10 kg

断面図 S=1/20



※ () 内寸法は、最下段及び最上段以外のPC鋼より縁の水平距離を示す。

グリッド筋

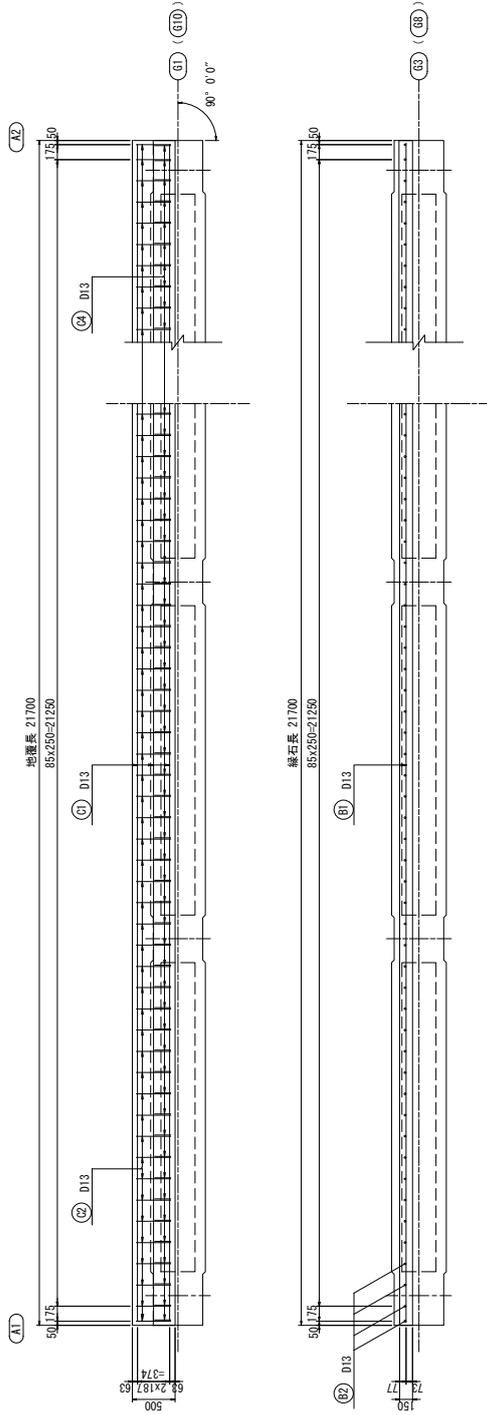


20 - φ6 X 1200 (外桁のみ)

注) 横締めは、フレシネ工法を参照したものである。

管理橋 地覆配筋図

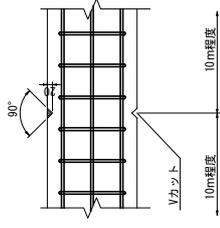
平面図 S=1/30



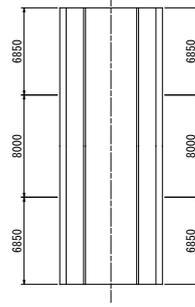
鉄筋表 (1階当り)

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	備考
地覆							
C 1	D13	22040	18	0.995	21.93	395	→
2	"	1700	176	"	1.69	297	← (平均長)
3	"	630	176	"	0.62	111	← (平均長)
4	"	1390	176	"	1.38	243	← (平均長)
				SD345	D13	243	kg (主筋除込筋)
					D13	803	kg
					合計	1046	kg
緑石(場所打ち部)							
E 1	D13	22040	2	0.995	21.93	44	→
2	"	350	176	"	0.35	62	← (主筋除込)
				SD345	D13	62	kg (主筋除込筋)
					D13	44	kg
					合計	106	kg

Vカット詳細図 S=1/20

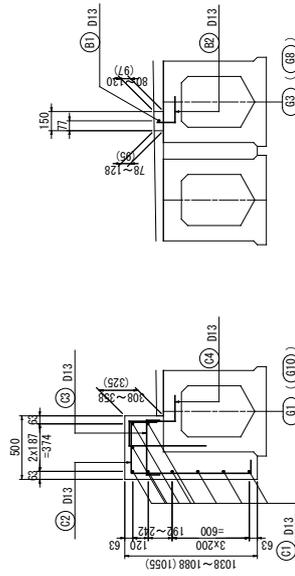


地震Vカット位置図

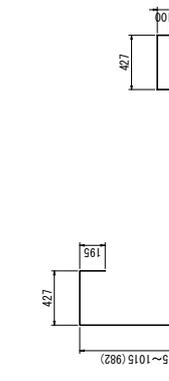


断面図 S=1/20

緑石(場所打ち部)



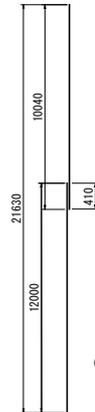
地覆部



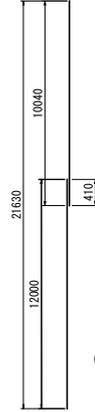
(C2) 176 - D13 x 1700 (平均長)

(C3) 176 - D13 x 630

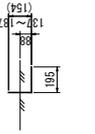
(C4) 176 - D13 x 1390 (平均長)



(B1) 18 - D13 x 22040



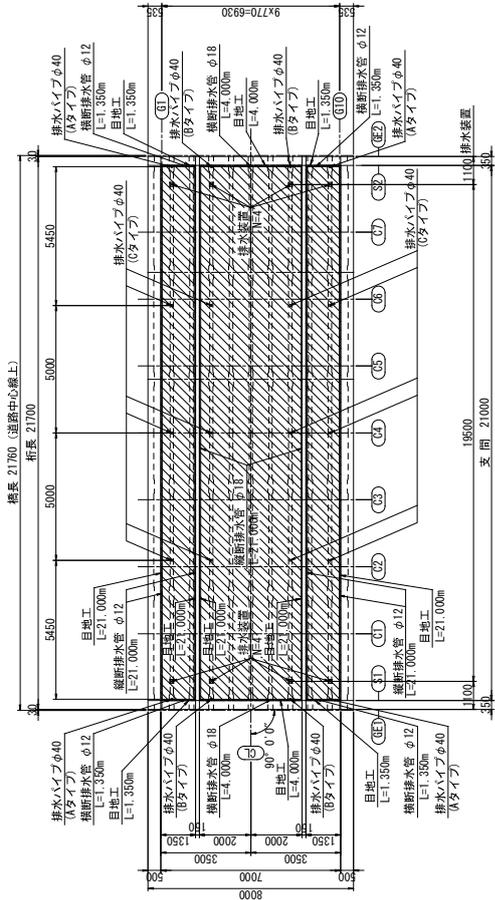
(B2) 2 - D13 x 22040



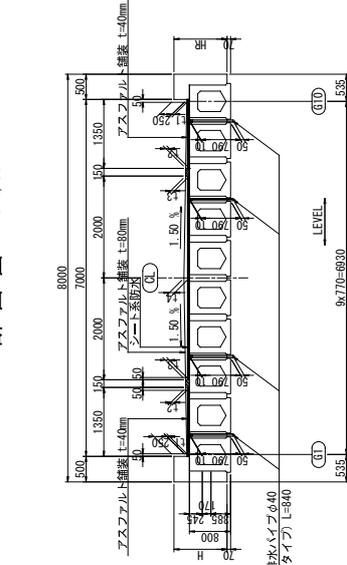
(B3) 176 - D13 x 350 (平均長)

管理橋 橋面防水詳細図

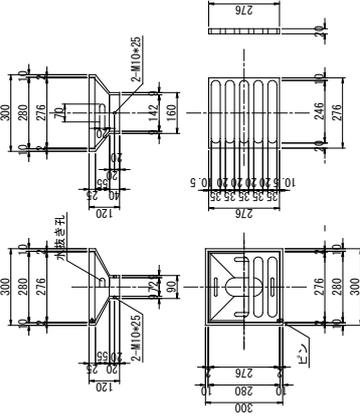
平面図 S=1/100



断面図 S=1/50



排水装置 S=1/10



※ふたはボルトによる取付けとする。

排水装置 (VP150)

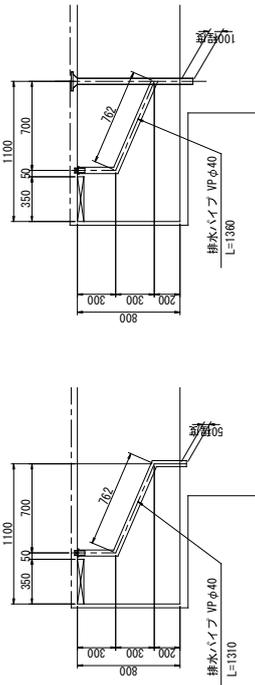
舗装厚・地覆高さ (単位: mm)

	E1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	S2	E2	平均
T1	108	104	86	70	61	58	61	70	86	104	108	76
T2	128	125	106	90	81	78	81	90	106	125	128	95
T3	130	127	108	93	83	80	83	93	108	127	130	97
T4	160	157	138	123	113	110	113	123	138	157	160	127
H	1088	1084	1066	1050	1041	1038	1041	1050	1066	1084	1088	1055

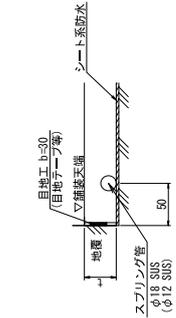
□は シート系防水を示す。

排水パイプ取付図 S=1/20

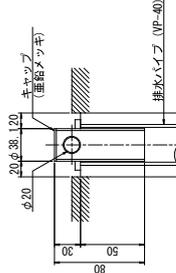
歩道用 Aタイプ
車道部 Bタイプ



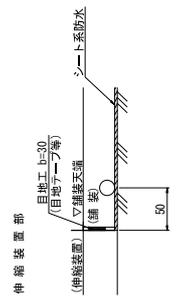
縦断排水, 地覆部防水詳細図



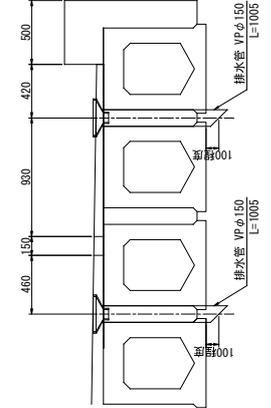
排水パイプ詳細図 S=1/2



横断排水, 端部防水詳細図



排水装置取付図 S=1/20



材料表 (1ヶ所当り)

品名	材質	数量	質量(kg)	備考
本体	F280	1	12.9	
ボルト	SS400	2	0.1	亜鉛メッキ
ボルト	SS400	2	0.1	亜鉛メッキ
橋分合計			13.1	kg/個

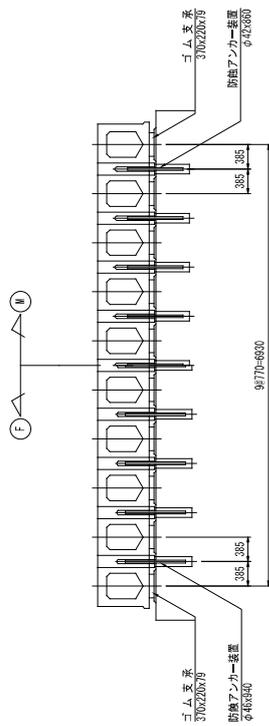
材料表

名称	規格・寸法	単位	数量	備考
防水層	シート系	m ²	84.0	車道部
スプリング管	φ18	m	56.7	歩道部
	φ12	m	89.4	歩道部
目地工	目地テープφ30	m	139.4	
	亜鉛メッキ	個	20	
排水パイプ (VP40)	Aタイプ L=1300	m	5.2	N=4
	Cタイプ L=840	m	10.1	N=12

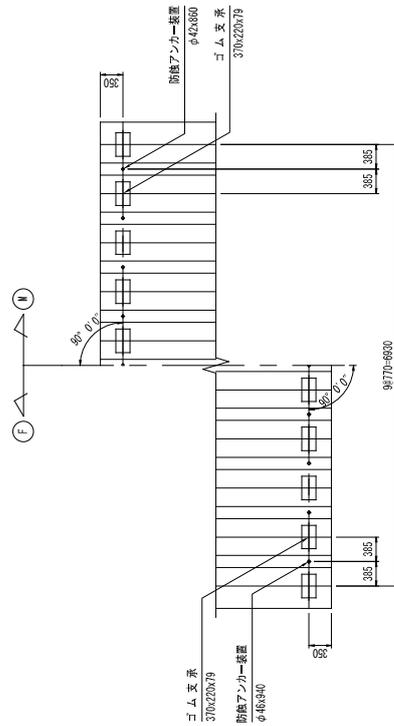
※伸縮装置を後施工する場合は遮断シートが必要。

管理橋 支承詳細図

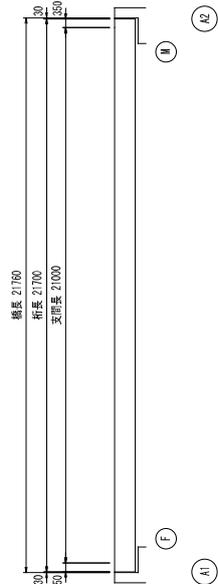
断面図 S=1:40



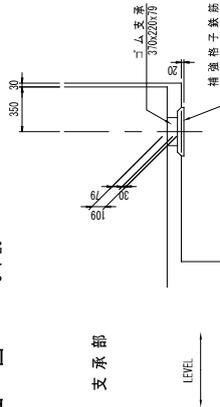
平面図 S=1:40



配置図 S=1:100



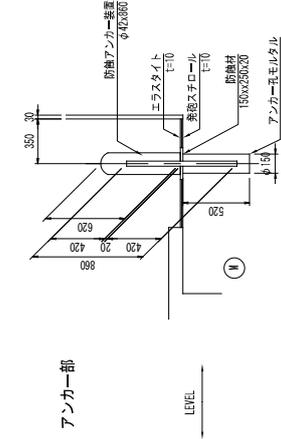
側面図 S=1:20



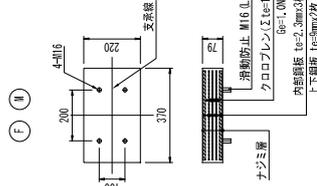
支承部

LEVEL

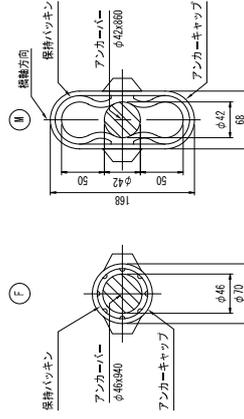
アンカー部



ゴム支承 S=1:10



アンカーキャップ S=1:3



材料表

名称	寸法	材質	単価	数量		備考
				Fix	Mo	
ゴム支承	370x220x79	図示	枚	10	10	
防振アンカー装置	φ46x840	S355K10/FRP/ステンレス印刷 ステンレス	根	9	9	
防振材	□150x220	GSスポンジ	枚	9	9	
補強鉄筋子鉄筋	φ42x880	SS045	kg	26.0	26.0	D10x60x50
管理モルタル		興収橋モルタル	m ³	0.090	0.090	
アンカーモルタル		興収橋モルタル	m ³	0.082	0.077	

§ 1 数量総括表

(その 1)

工種	種 別	仕 様	単 位	数 量	摘 要	
主桁製作工	プレテン桁購入工	AS21準用	本	10	L= 21.700 m	
	コンクリート	$\sigma_{ck}=50N/mm^2$	m ³	74.4	V= 7.434 m ³ /本	
			〃	—	V= 7.441 m ³ /本	
	質 量		t	185.9	W= 18.585 t/本	
			〃	—	W= 18.603 t/本	
	型 枠	側 枠	m ²	353.6		
			m ²	9.3		
			m ²	329.2		
	鉄 筋	SD345 D10	kg	2880		
	P C鋼より線	SWPR7BL 1S15.2	延長	m	3906.0	
質量			kg	4300.5		
ボンドレス鋼材		m	400.0			
横締めシース	Φ42	m	116.0			
横組工	コンクリート	$\sigma_{ck}=30N/mm^2$	m ³	19.8		
	型 枠	間詰め型枠	m ²	12.9		
		横桁型枠	〃	4.9		
	P C鋼材	P C鋼より線	SWPR19L 1S17.8	延長	m	150.2
				質量	kg	248.1
		シース	φ35	m	39.6	
		グラウト	φ35	m	150.2	
		定着具	1S17.8用 標準プレート	組	40	θ=90° 00' 00"
		ケーブル組立工	1S17.8用	m	150.2	
		緊張工	1S17.8用	本	20	
側部足場工		m	43.5			
地覆工	コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	m ³	14.0		
	型 枠		m ²	69.347		
	鉄 筋	SD345	D13	kg	243	主桁埋込筋
			D13	〃	803	
			合計	〃	1046	
Vカット		箇所	4			

中桁
外桁
中桁
外桁

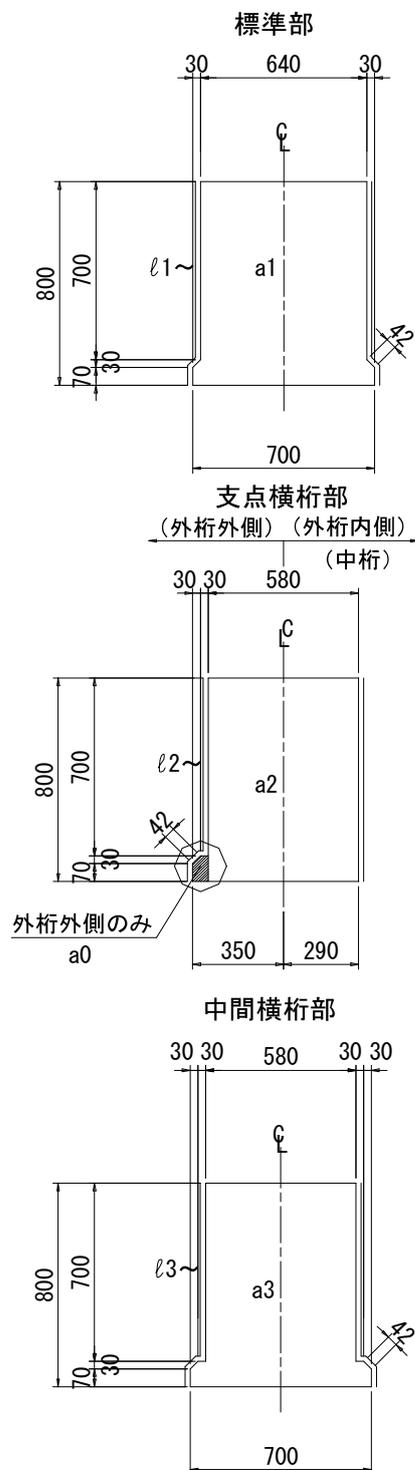
桁1本当り数量

種 別	仕 様	単 位	数 量			
			中 桁	外 桁	合 計	
プレテン桁購入	JIS5373-2004 AS21準用	本	8	2	10	
コンクリート	$\sigma_{ck}=50\text{N/mm}^2$	m ³	7.434	7.441	74.354	
質 量		t	18.585	18.603	185.886	
型 枠	側 枠	m ²	35.346	35.396	353.560	
	端 枠	m ²	0.928	0.939	9.302	
	内 型 枠	m ²	32.921	32.921	329.210	
鉄 筋	SD345 D10	kg	288	288	2880	
P C 鋼 よ り 線	SWPR7BL 1S15.2	延 長	m	390.600	390.600	3906.000
		質 量	kg	430.051	430.051	4300.510
	ボンドレス鋼材	m	40.000	40.000	400.000	
横 締 め シ ー ス	$\phi 42$	m	11.600	11.600	116.000	

§ 2 主桁製作工

2. 1 プレテン桁購入工

AS21準用



断面積

$$a_1 = 0.640 \times 0.700 + \frac{1}{2} \times (0.640 + 0.700) \times 0.030 + 0.700 \times 0.070 = 0.5171 \text{ m}^2$$

周長

$$l_1 = (0.700 + 0.042 + 0.070) \times 2 = 1.624 \text{ m}$$

断面積

$$a_2 = 0.580 \times 0.800 = 0.4640 \text{ m}^2$$

$$a_0 = 0.060 \times 0.100 - \frac{1}{2} \times 0.030 \times 0.030 = 0.0056 \text{ m}^2$$

周長

$$l_2 = 0.800 + 0.800 = 1.600 \text{ m}$$

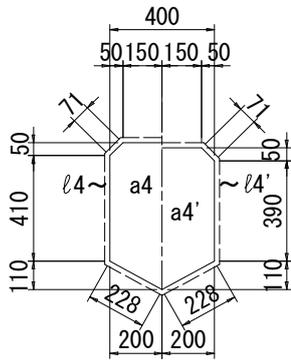
$$l_2' = 0.700 + 0.030 + 0.042 + 0.070 + 0.800 = 1.642 \text{ m}$$

断面積

$$a_3 = 0.580 \times 0.700 + \frac{1}{2} \times (0.640 + 0.700) \times 0.030 + 0.700 \times 0.070 = 0.4751 \text{ m}^2$$

周長

$$l_3 = (0.700 + 0.030 + 0.042 + 0.070) \times 2 = 1.684 \text{ m}$$



断面積

$$\begin{aligned}
 a4 &= 0.400 \times 0.570 \\
 &\quad - 0.050 \times 0.050 \\
 &\quad - 0.200 \times 0.110 \\
 &= 0.2035 \text{ m}^2 \\
 a4' &= 0.400 \times 0.550 \\
 &\quad - 0.050 \times 0.050 \\
 &\quad - 0.200 \times 0.110 \\
 &= 0.1955 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

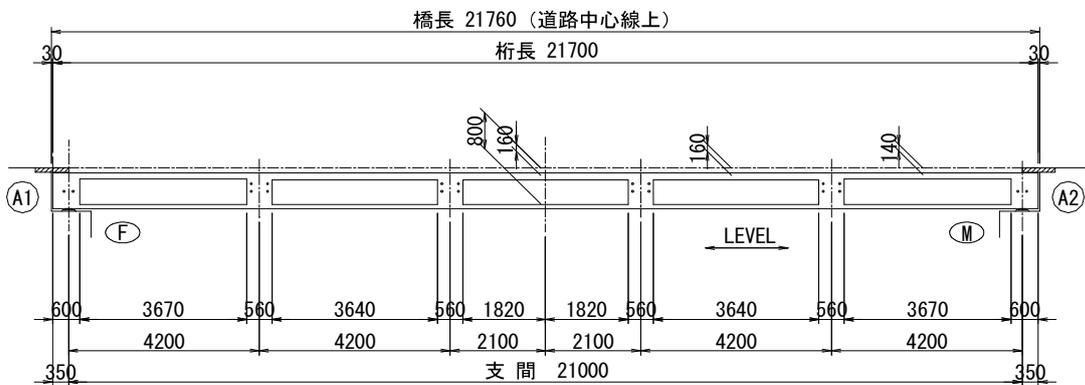
周長

$$\begin{aligned}
 l4 &= (0.150 + 0.071 \\
 &\quad + 0.410 + 0.228) \times 2 \\
 &= 1.718 \text{ m} \\
 l4' &= (0.150 + 0.071 \\
 &\quad + 0.390 + 0.228) \times 2 \\
 &= 1.678 \text{ m}
 \end{aligned}$$

桁本数

$$N = 10 \text{ 本}$$

斜 比 : 1.000000



2. 2 コンクリート ($\sigma_{ck} = 50\text{N/mm}^2$)

中 桁

標準部

$$V1 = \overset{a1}{0.5171} \times \left\{ \overset{\text{桁長}}{21.700} - \left(\overset{\text{支点横桁厚}}{0.600} \times 2 + \overset{\text{中間横桁厚}}{0.560} \times 4 \right) \right\} = 9.442 \text{ m}^3$$

支点横桁部

$$V2 = \overset{a2}{0.4640} \times \overset{\text{支点横桁厚}}{0.600} \times 2 = 0.557 \text{ m}^3$$

中間横桁部

$$V3 = \overset{a3}{0.4751} \times \overset{\text{中間横桁厚}}{0.560} \times 4 = 1.064 \text{ m}^3$$

ボイド控除部

$$- V4 = \overset{a4}{0.2035} \times 3.670 \times 2 = -1.494 \text{ m}^3$$

$$- V4 = \overset{a4'}{0.1955} \times (3.640 + 1.820) \times 2 = -2.135 \text{ m}^3$$

$$\underline{\underline{\Sigma V = 7.434 \text{ m}^3}}$$

1 本当たり体積

中 桁

$$V = 7.434 = 7.434 \text{ m}^3 / \text{本}$$

外 桁

$$V = 7.434 + \overset{a0}{0.0056} \times \overset{\text{支点横桁厚}}{0.600} \times 2 = 7.441 \text{ m}^3 / \text{本}$$

1 本当たり質量

中 桁

$$W = \overset{\Sigma V}{7.434} \times \overset{\text{単位質量}}{2.5} = 18.585 \text{ t} / \text{本}$$

外 桁

$$W = \overset{\Sigma V}{7.441} \times \overset{\text{単位質量}}{2.5} = 18.603 \text{ t} / \text{本}$$

1 橋当り

$$\Sigma V = \overset{V}{7.434} \times \overset{\text{中桁本数}}{8} + \overset{V}{7.441} \times \overset{\text{外桁本数}}{2} = 74.354 \text{ m}^3 / \text{橋}$$

$$\Sigma W = \overset{w}{18.585} \times \overset{\text{中桁本数}}{8} + \overset{w}{18.603} \times \overset{\text{外桁本数}}{2} = 185.886 \text{ t} / \text{橋}$$

2. 3 型 枠

2. 3. 1 側 枠

中 桁

標準部

$$A1 = \overset{l1}{1.624} \times \left\{ \overset{\text{桁長}}{21.700} - \left(\overset{\text{支点横桁厚}}{0.600} \times 2 + \overset{\text{中間横桁厚}}{0.560} \times 4 \right) \right\} = 29.654 \text{ m}^2$$

支点横桁部

$$A2 = \overset{l2}{1.600} \times \overset{\text{支点横桁厚}}{0.600} \times 2 = 1.920 \text{ m}^2$$

中間横桁部

$$A3 = \overset{l3}{1.684} \times \overset{\text{中間横桁厚}}{0.560} \times 4 = 3.772 \text{ m}^2$$

$$\frac{\Sigma A1}{\Sigma A1} = \frac{29.654}{35.346} \text{ m}^2$$

中桁 1 本当たり

$$\Sigma A = \overset{\Sigma A1}{35.346} = 35.346 \text{ m}^2 / \text{本}$$

外 桁

$$\Sigma A2 = \overset{\Sigma A1}{35.346} + \left(\overset{l2'}{1.642} - \overset{l2}{1.600} \right) \times \overset{\text{支点横桁厚}}{0.600} \times 2 = 35.396 \text{ m}^2 / \text{本}$$

1 橋当り

$$\Sigma A = \overset{\Sigma A1}{35.346} \times \overset{\text{中桁本数}}{8} + \overset{\Sigma A2}{35.396} \times \overset{\text{外桁本数}}{2} = 353.560 \text{ m}^2 / \text{橋}$$

2. 3. 2 端 枠

中 桁

$$A1 = \overset{a2}{0.4640} \times \overset{\text{斜 比}}{1.000000} \times 2 = 0.928 \text{ m}^2$$

外 桁

$$A2 = \left(\overset{a2}{0.4640} + \overset{a0}{0.0056} \right) \times \overset{\text{斜 比}}{1.000000} \times 2 = 0.939 \text{ m}^2$$

1 橋当り

$$\Sigma A = \overset{\Sigma A1}{0.928} \times \overset{\text{中桁本数}}{8} + \overset{\Sigma A2}{0.939} \times \overset{\text{外桁本数}}{2} = 9.302 \text{ m}^2 / \text{橋}$$

2. 3. 3 内型枠

$$A1 = \overset{a4}{0.2035} \times \overset{\text{斜 比}}{1.000000} \times 2 \times 2$$

$$+ \overset{l4}{1.718} \times \overset{\text{ボイド長}}{3.670} \times 2 = 13.424 \text{ m}^2$$

$$A2 = \overset{a4'}{0.1955} \times \overset{\text{斜 比}}{1.000000} \times 2 \times 3$$

$$+ \overset{l4'}{1.678} \times \overset{\text{ボイド長}}{3.640} \times 3 = 19.497 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A1 = 32.921 \text{ m}^2$$

1 橋当り

$$\Sigma A = \overset{A}{32.921} \times \overset{\text{桁本数}}{10} = 329.210 \text{ m}^2 / \text{橋}$$

2. 4 鉄 筋 (SD345)

D10 288 kg/本

1 橋当り

$$\Sigma W = \overset{w}{288} \times \overset{\text{桁本数}}{10} = 2880 \text{ kg / 橋}$$

2. 5 PC鋼より線 (SWPR7BL 1S15.2) W = 1.101 kg/m

1) 鋼材長

$$L = \overset{\text{実桁長}}{21.700} \times \overset{\text{鋼材本数}}{18} = 390.600 \text{ m}$$

$$\Sigma L = \overset{L}{390.600} \times \overset{\text{桁本数}}{10} = 3906.000 \text{ m / 橋}$$

2) 鋼材質量

$$W = \overset{L}{390.600} \times \overset{\text{単位質量}}{1.101} = 430.051 \text{ kg}$$

$$\Sigma W = \overset{L}{430.051} \times \overset{\text{桁本数}}{10} = 4300.510 \text{ kg / 橋}$$

3) ボンドレス鋼材長

$$L = \overset{\text{ボンドレス長}}{3.500} \times \overset{\text{鋼材本数}}{4} \times \overset{\text{ヶ所数}}{2} + \overset{\text{ボンドレス長}}{1.500} \times \overset{\text{鋼材本数}}{4} \times \overset{\text{ヶ所数}}{2} = 40.000 \text{ m}$$

$$\Sigma L = \overset{L}{40.000} \times \overset{\text{桁本数}}{10} = 400.000 \text{ m / 橋}$$

2. 6 横締めシース (φ 42)

中 桁

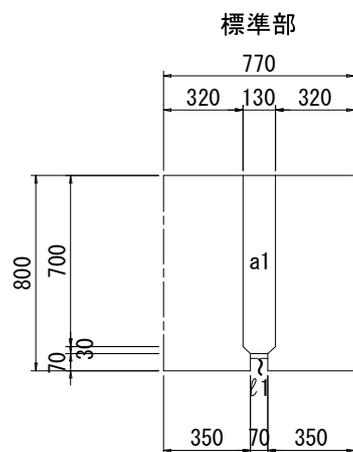
$$L = \overset{\text{ウェブ幅}}{0.580} \times \overset{\text{斜 比}}{1.000000} \\ \times \left(\overset{\text{本数}}{2} \times \overset{\text{ヶ所数}}{2} + \overset{\text{本数}}{4} \times \overset{\text{ヶ所数}}{4} \right) = 11.600 \text{ m}$$

外 桁

$$L = \overset{\text{ウェブ幅}}{0.580} \times \overset{\text{斜 比}}{1.000000} \\ \times \left(\overset{\text{本数}}{2} \times \overset{\text{ヶ所数}}{2} + \overset{\text{本数}}{4} \times \overset{\text{ヶ所数}}{4} \right) = 11.600 \text{ m}$$

$$\Sigma L = \overset{L}{11.600} \times \overset{\text{中桁本数}}{8} + \overset{L}{11.600} \times \overset{\text{外桁本数}}{2} = 116.000 \text{ m /橋}$$

§ 3 横 組 工

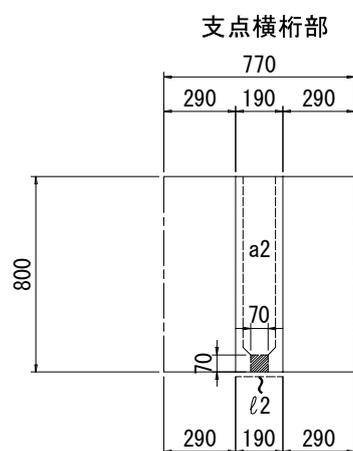


断面積

$$a1 = 0.130 \times 0.730 - 0.030 \times 0.030 = 0.0940 \text{ m}^2$$

周 長

$$l1 = 0.070 \text{ m}$$

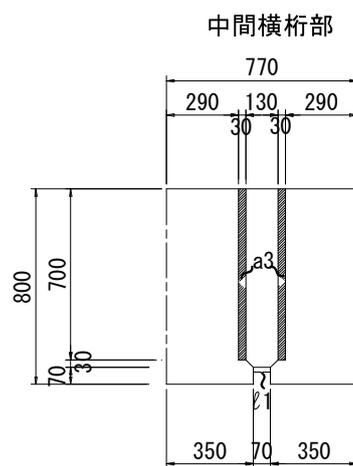


断面積

$$a2 = 0.190 \times 0.800 = 0.1520 \text{ m}^2$$

周 長

$$l2 = 0.190 \text{ m}$$



断面積

$$a3 = 0.030 \times 0.700 \times 2 = 0.0420 \text{ m}^2$$

3. 1 コンクリート ($\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$)

標準部

$$V1 = \overset{\text{a1}}{0.0940} \times \left(\overset{\text{桁長}}{21.700} - \overset{\text{支点横桁厚}}{0.600} \times 2 \right) \times \overset{\text{桁間数}}{9} = 17.343 \text{ m}^3$$

支点横桁部

$$V2 = \overset{\text{a2}}{0.1520} \times \overset{\text{支点横桁厚}}{0.600} \times 2 \times \overset{\text{桁間数}}{9} = 1.642 \text{ m}^3$$

中間横桁部

$$V3 = \overset{\text{a3}}{0.0420} \times \overset{\text{中間横桁厚}}{0.560} \times 4 \times \overset{\text{桁間数}}{9} = 0.847 \text{ m}^3$$

$$\underline{\Sigma V = 19.832 \text{ m}^3}$$

3. 2 型 枠

3. 2. 1 間詰型枠

$$A = \overset{\text{l1}}{0.070} \times \left(\overset{\text{桁長}}{21.700} - \overset{\text{支点横桁厚}}{0.600} \times 2 \right) \times \overset{\text{桁間数}}{9} = 12.915 \text{ m}^2$$

3. 2. 2 横桁型枠

$$A1 = \overset{\text{l2}}{0.190} \times \overset{\text{支点横桁厚}}{0.600} \times 2 \times \overset{\text{桁間数}}{9} = 2.052 \text{ m}^2$$

$$A2 = \left(\overset{\text{a2}}{0.1520} + \overset{\text{l1}}{0.070} \times \overset{\text{l1}}{0.070} \right) \times 2 \times \overset{\text{桁間数}}{9}$$

$$\times \overset{\text{斜 比}}{1.000000} = 2.824 \text{ m}^2$$

$$\underline{\Sigma A = 4.876 \text{ m}^2}$$

3. 3 PC鋼より線

SWPR19L 1S17.8 (余長を含まず) (W= 1.652 kg/m)

延長

標準部

$$L = \overset{\text{鋼材長}}{7.510} \times \overset{\text{本数}}{20} = 150.200 \text{ m}$$

質量

標準部

$$W = 150.200 \times 1.652 = 248.130 \text{ kg}$$

3. 4 シース ($\phi 35$)

$$L = \left(\overset{\text{本数}}{0.015} + \overset{\text{桁間数}}{0.190} + \overset{\text{本数}}{0.015} \right) \times 20 \times 9 = 39.600 \text{ m}$$

3. 5 グラウト

$$L = \quad \quad \quad = 150.200 \text{ m}$$

3. 6 定着具 (標準プレート $\theta = 90^\circ 00' 00''$)

$$N = \overset{\text{本数}}{20} \times 2 = 40 \text{ 組}$$

3. 7 ケーブル組立工

$$L = 150.200 \text{ m}$$

3. 8 緊張工

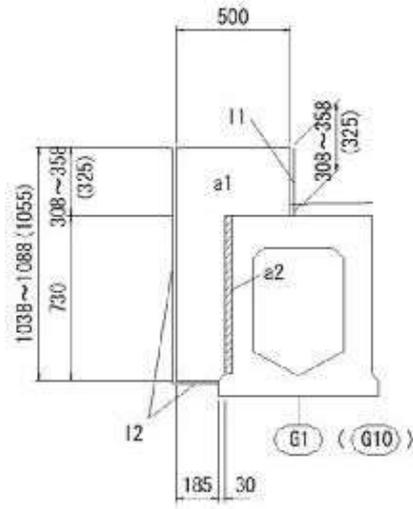
$$N = \quad \quad \quad = 20 \text{ 本}$$

3. 9 側部足場工

$$L = \overset{\text{橋長}}{21.760} \times 2 = 43.520 \text{ m}$$

§ 4 地 覆 工

断面形状



$$\text{地覆長} = 21.700 \text{ m}$$

平均地覆高の計算

$$\text{左側} = \text{舗装計算よりL2(平均)} + 250 = 0.325 \text{ m}$$

$$\text{右側} = \text{舗装計算よりL2(平均)} + 250 = 0.325 \text{ m}$$

断面積

$$a1 = 0.325 \times 0.500 + 0.215 \times 0.730 - 1/2 \times 0.030 \times 0.030 = 0.3190 \text{ m}^2$$

$$a2 = 0.700 \times 0.030 = 0.0210 \text{ m}^2$$

周長

$$l1 = 0.325 \text{ m}$$

$$l2 = 1.055 + 0.185 = 1.240 \text{ m}$$

4. 1 コンクリート ($\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$)

$$V1 = \overset{a1}{0.3190} \times \overset{\text{地覆長}}{21.700} \times 2 = 13.845 \text{ m}^3$$

$$V2 = \overset{a2}{0.0210} \times \left(\overset{\text{端横桁幅}}{0.600} \times \overset{\text{ヶ所数}}{4} + \overset{\text{中間横桁幅}}{0.560} \times \overset{\text{ヶ所数}}{8} \right) = 0.144 \text{ m}^3$$

$$\underline{\Sigma V = 13.989 \text{ m}^3}$$

4. 2 型 枠

$$A1 = \overset{l1}{0.325} \times \overset{\text{地覆長}}{21.700} \times 2 = 14.105 \text{ m}^2$$

$$A2 = \overset{l2}{1.240} \times \overset{\text{地覆長}}{21.700} \times 2 = 53.816 \text{ m}^2$$

$$A3 = \left(\overset{\text{桁端部}}{0.358} \times \overset{a2}{0.500} + \overset{\text{斜 比}}{0.215} \times 0.730 - 1/2 \times 0.030 \right. \\ \left. \times 0.030 + 0.0210 \right) \times 1.000000 \times 4 = 1.4260 \text{ m}^2$$

$$\underline{\Sigma A = 69.347 \text{ m}^2}$$

4. 3 鉄 筋 (SD345)

D13	243 kg	(桁埋込筋)
D13	803 kg	
合 計	1046 kg	

4. 4 Vカット

$$N = 4 \text{ ヶ所}$$

下流管理橋 上部構造一般図

設計条件

構造形式	ポストテンション方式PC連続桁橋(セグメント工法)
橋長	27,100m
桁間	26,300m
橋員構成	0.500m×3,000m+0.500m+4,000m
桁重	A活荷重
衝撃係数	1=20/(50+SPAN) (T桁重) 1=10/(25+SPAN) (L桁重)
斜角	右 90° 00' 00" 左 90° 00' 00"

材料強度及び許容応力度

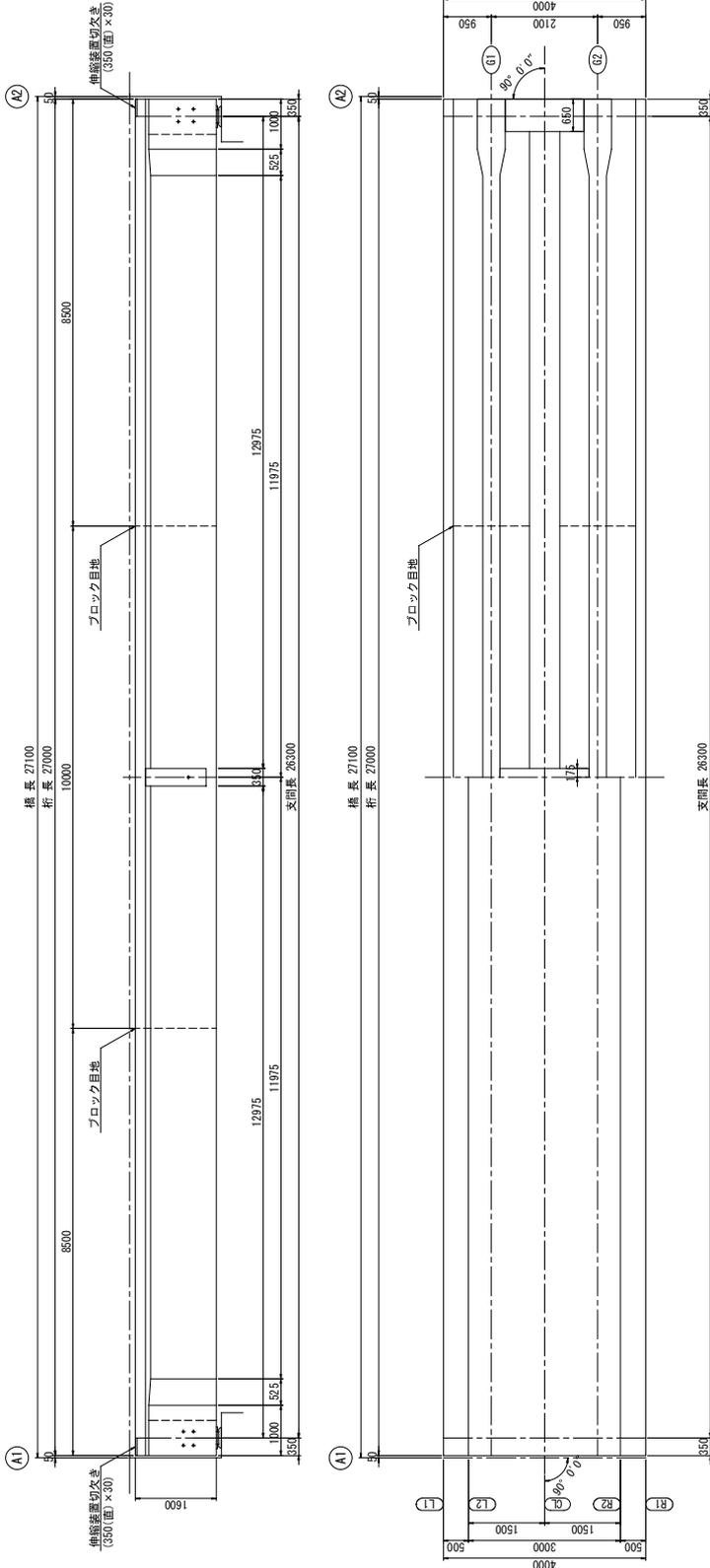
コンクリート	単位	主桁	橋脚打ち
設計基準強度	N/mm ²	50.00	30.00
プレストレス導入直後	"	21.00	14.00
圧縮応力度	"	16.00	11.00
設計荷重時	"	-1.80	0.00
プレストレス導入直後	"	0.00	0.00
許容曲げ	"	-1.80	0.00
引張応力度	"	0.00	0.00
全死荷重時	"	0.65	0.45
設計荷重時	"	6.00	4.00
終局荷重時	"	-1.20	-0.80
平均せん断	"	6.80	4.80
応力度	"	-1.70	-1.10
死荷重時	"	-1.50	-1.10
死荷重時(せん断+ねじり)	"	-2.30	-1.70
許容引張	"	-2.80	-2.20
応力度	"	35.00	25.00
プレストレス導入時圧縮強度	"		

PC鋼材	単位	主桁	橋脚底版
PC鋼材の種類		12S12用 S19.3	
PC鋼材の材質		SPRFBIL SPRFBIL	
引張強度	N/mm ²	1850.0	1950.0
降伏点応力度	"	1600.0	1600.0
許容引張応力度	"	1110.0	1110.0
設計荷重時	"	1295.0	1295.0
プレストレス導入直後	"	1440.0	1440.0
緊張作業時	"		

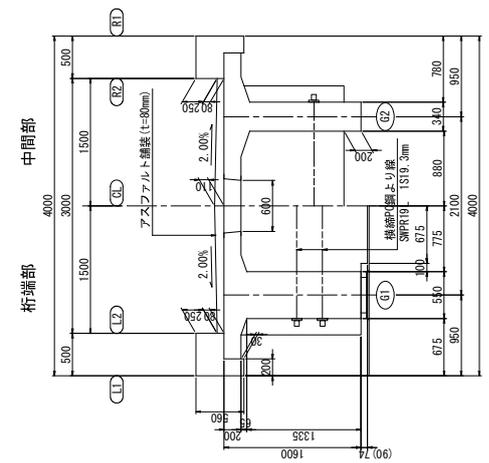
鉄筋	単位	一般	床版
降伏引張応力度	N/mm ²	S10245	S10245
降伏点応力度	"	180.0	140.0
許容引張応力度	"	345.0	345.0

※ 床版の許容値については、140N/mm²に引いて20N/mm²程度余裕を持たせる。

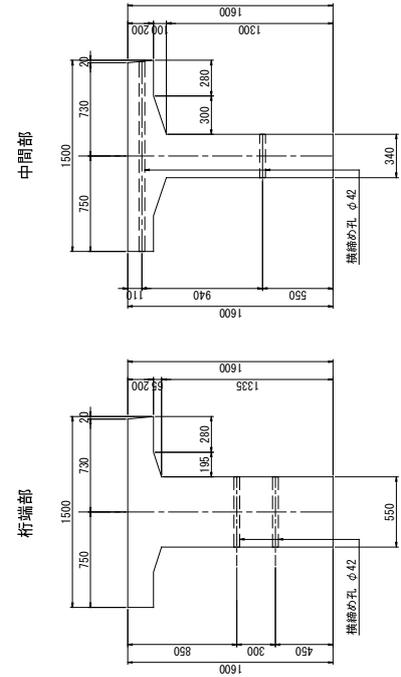
側面図 S=1:50



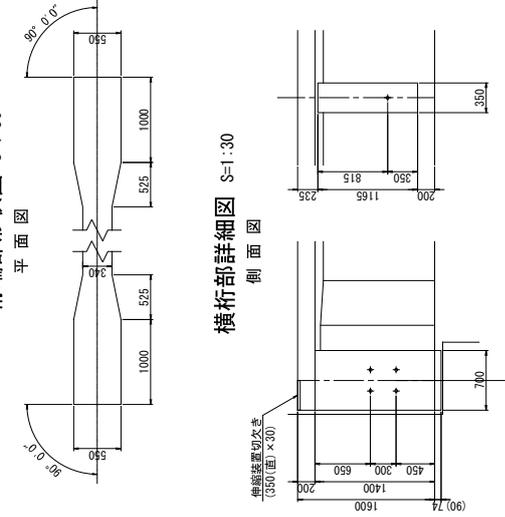
断面図 S=1:30



主桁断面図 S=1:20



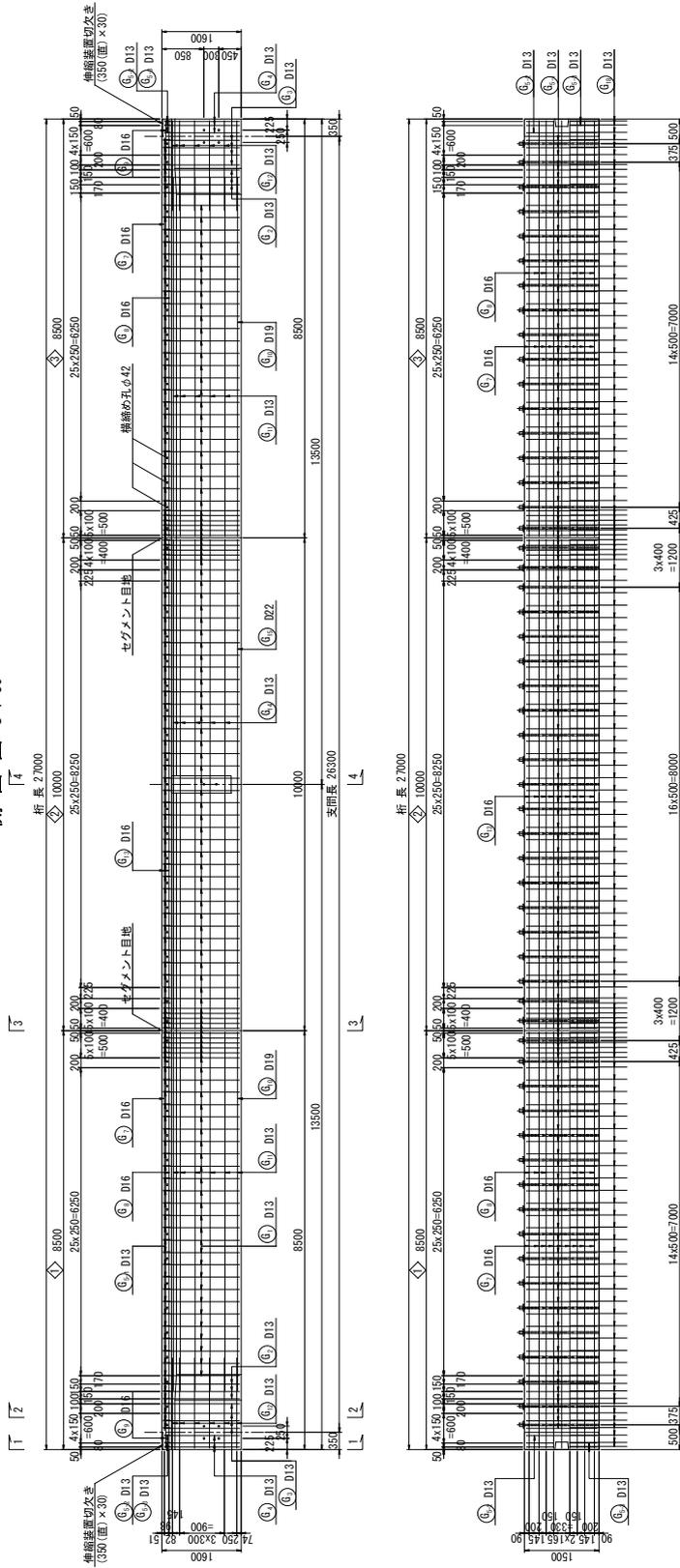
桁端部形状図 S=1:30



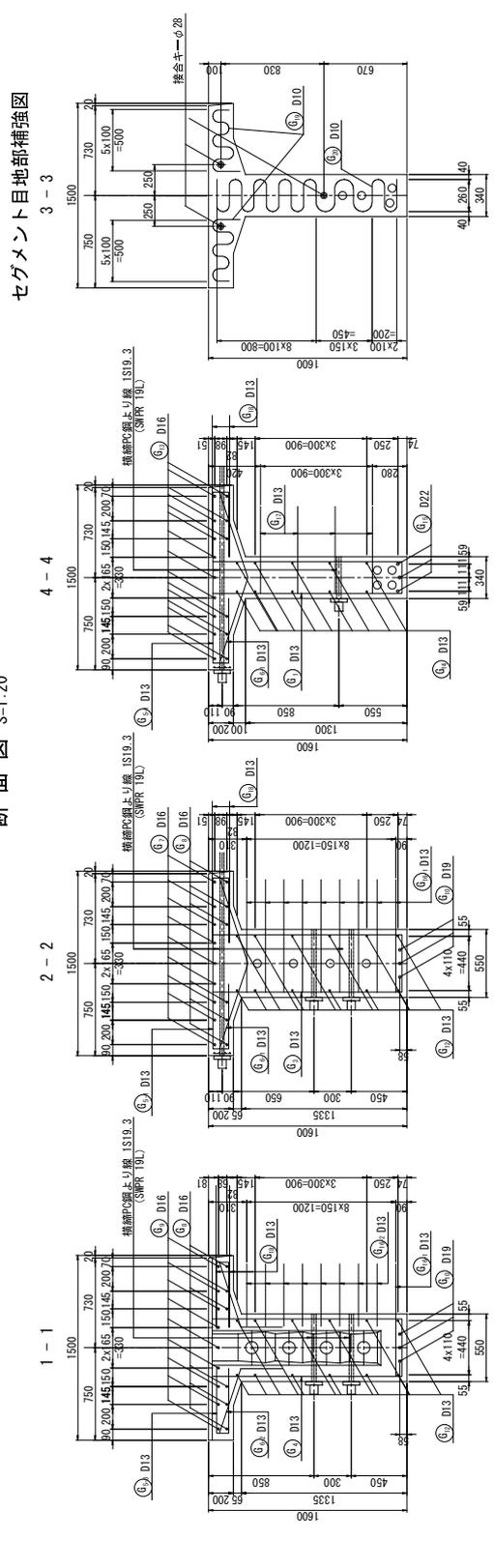
注記: () 内寸法は2側の数値を示す。

下流管理橋 主桁配筋図 (その1)

側面図 S=1:50



断面図 S=1:20



セグメント目地部補強図

3-3

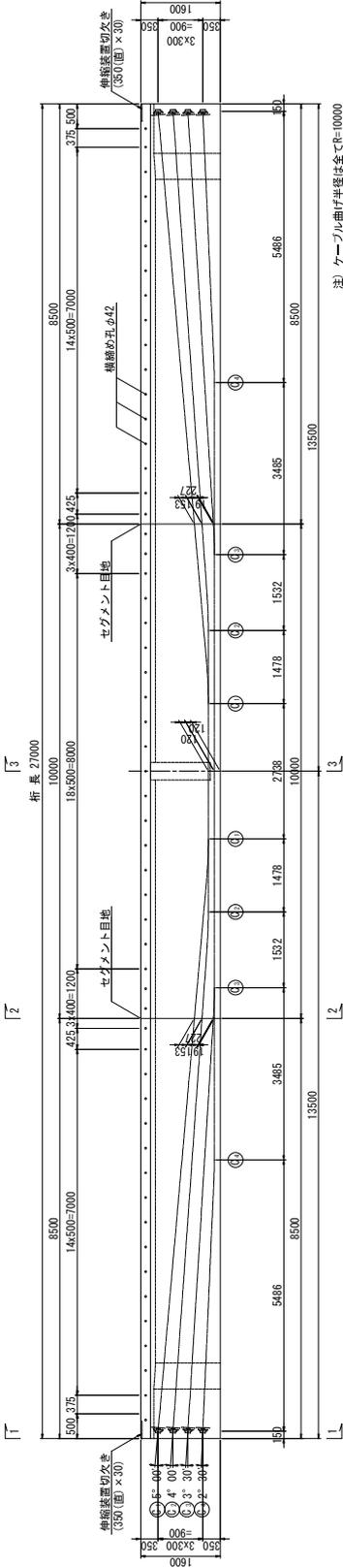
4-4

2-2

1-1

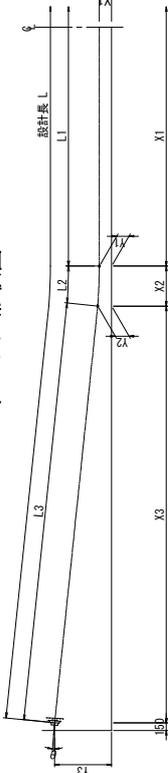
下流管理橋 PC鋼材配置図

側面図 S=1:50



注) ケーブル曲げ半径は全てR=10000

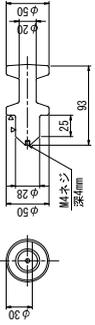
ケーブル形状図



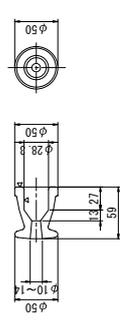
接合キー詳細図 S=1:3

φ28

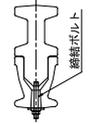
オス型キー



メス型キー



桁接合時



接合キー材料表 φ28 (一相当たり)

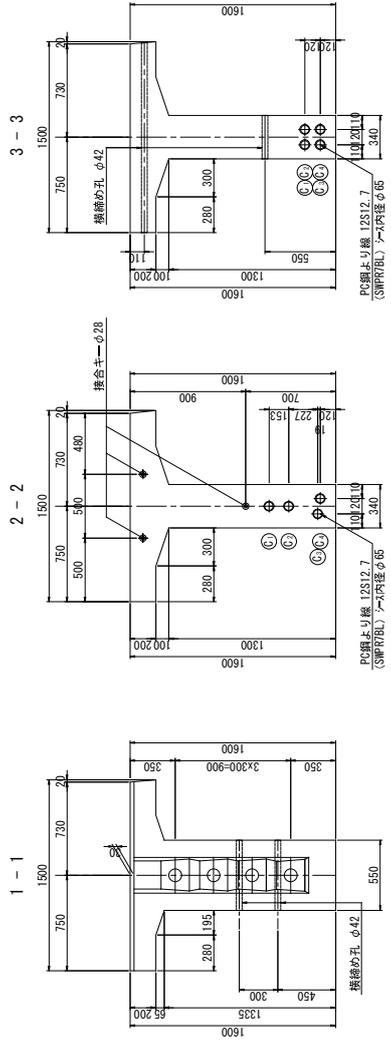
名称	材質	数量	概要
オス型キーφ28用	FO450	1	
メス型キーφ28用	FO450	1	
ボルト M4	SS400	1	両端本切り
ナット M4	SS400	2	
スプリングワッシャー	SS400	2	
匯金	ナイロン樹脂	1	

ケーブル形状表 (桁1本当り)

ケーブル番号	X1	Y1	X2	Y2	X3	Y3	R	θ	L1	L2	L3	設計長L	概要
C1	2738	240	872	278	11109	1250	10000	5° 00' 00"	2738	873	11152	26787	
C2	5695	240	688	264	9885	950	10000	4° 00' 00"	5695	688	9829	26749	
C3	8758	120	610	139	8360	650	10000	3° 30' 00"	8758	611	8376	26732	
C4	15728	120	436	130	5950	350	10000	2° 30' 00"	15728	436	5655	26710	
												106.976 m	

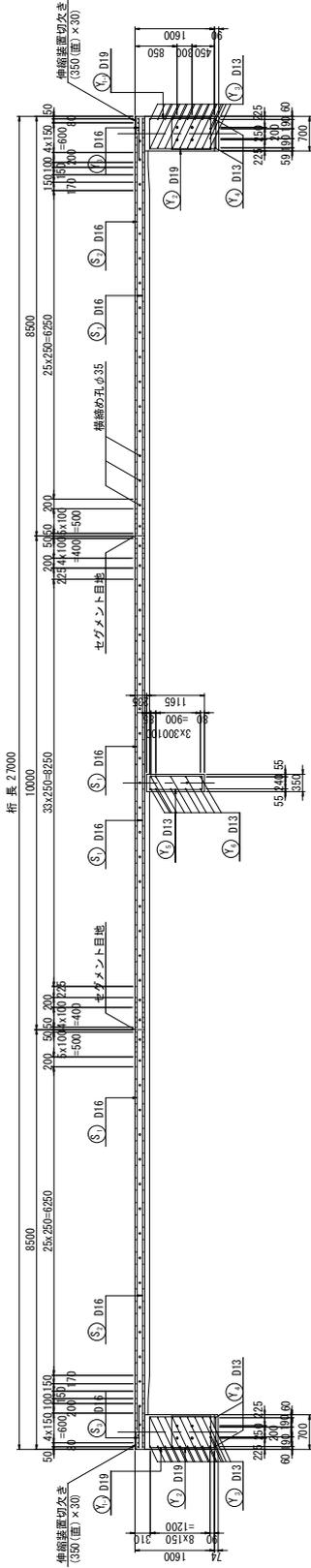
鋼材質量 W = 180.376 × 9.238 = 1675.3 kg

主桁断面図 S=1:20

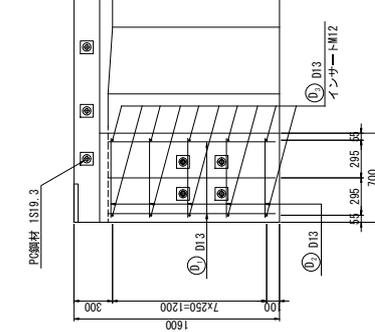


下流管理橋 横組配筋図 (その1)

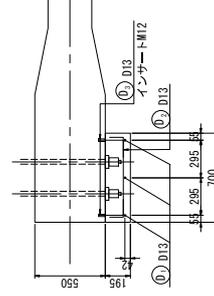
側面図 S=1:50



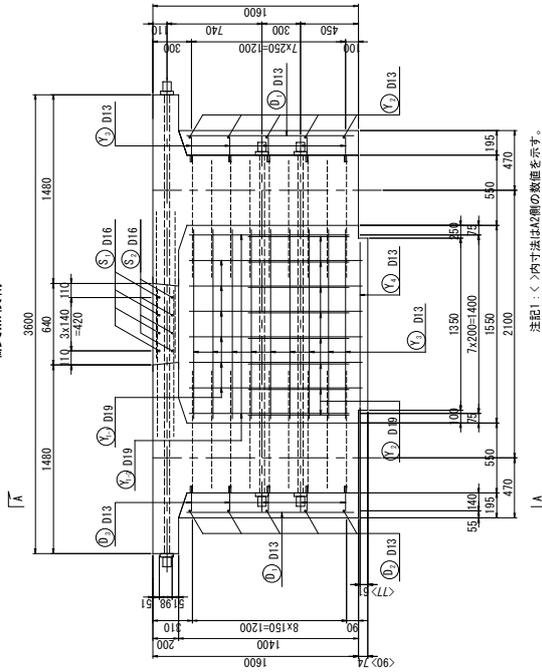
ダイヤラム詳細図 (A-A) 側面図 S=1:20



平面図

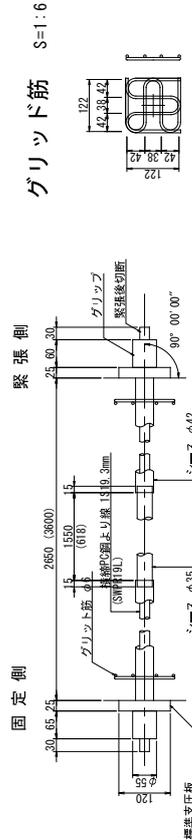


断面図 S=1:20 端支点横桁



注記1: < >内寸法はM2間の数値を示す。

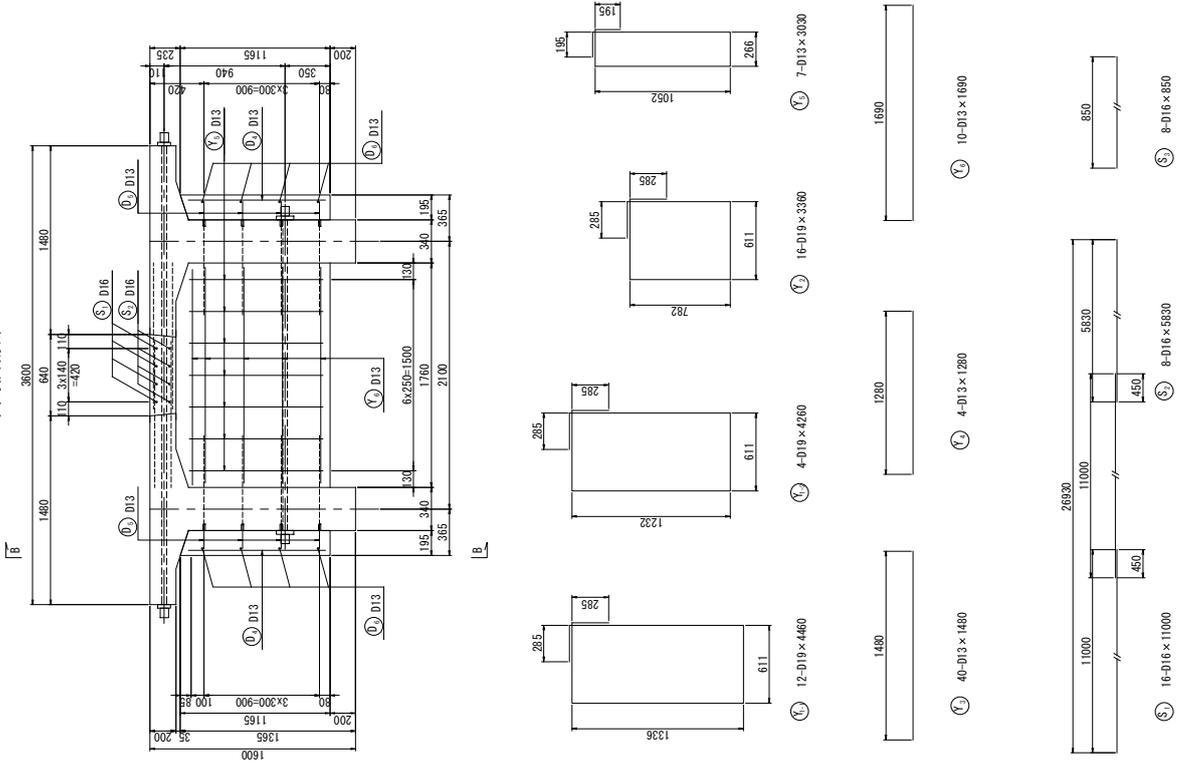
横組定着具詳細図 S=1:6



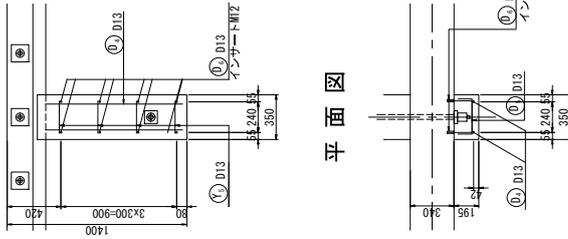
注記2: ()内寸法は採振部の数値を示す。
2-φ64.90 (1ヶ所当り)

下流管理橋 横組配筋図 (その2)

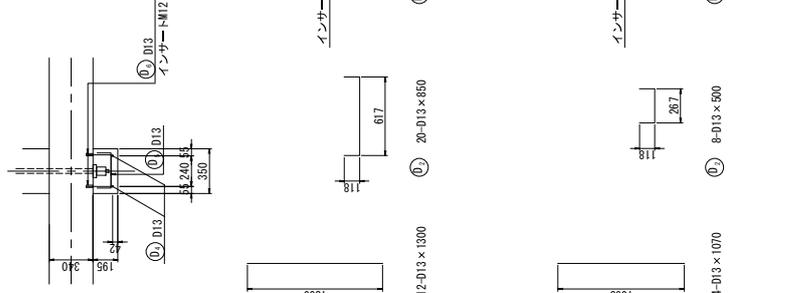
断面図 S=1:20
中間横桁部



ダイヤフラム詳細図 S=1:20
側面図 (B-B)



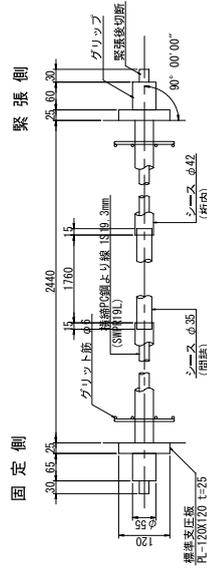
平面図



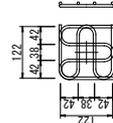
鉄筋表 (1橋当り)

部号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	形状	摘要
S-1	D16	11000	16	1.560	171.6	275	—	—
2	D16	5630	8	1.590	9.09	73	—	—
3	D16	850	8	1.590	1.33	11	—	—
Y-1-1	D19	4460	12	2.250	10.04	120	□	—
1-2	D19	4260	4	2.250	9.59	38	—	—
2	D19	3360	16	2.250	7.56	121	—	—
3	D13	1460	40	0.995	1.47	59	—	—
4	D13	1260	4	0.995	1.27	5	—	—
5	D13	3030	7	0.995	3.01	21	—	—
6	D13	1680	10	0.995	1.68	17	—	—
D-1	D13	1300	12	0.995	1.29	15	—	—
2	D13	850	20	0.995	0.85	17	—	—
3	D13	280	40	0.995	0.28	11	—	(6本12本)
4	D13	1070	4	0.995	1.06	4	—	—
5	D13	500	8	0.995	0.50	4	—	—
6	D13	280	16	0.995	0.28	4	—	(6本12本)
インカー-TM12 M12 N=50個								
D19 279 Kg								
D16 399 Kg								
D13 157 Kg								
合計 795 Kg								

横組定着具詳細図 S=1:6



グリッド筋 S=1:6

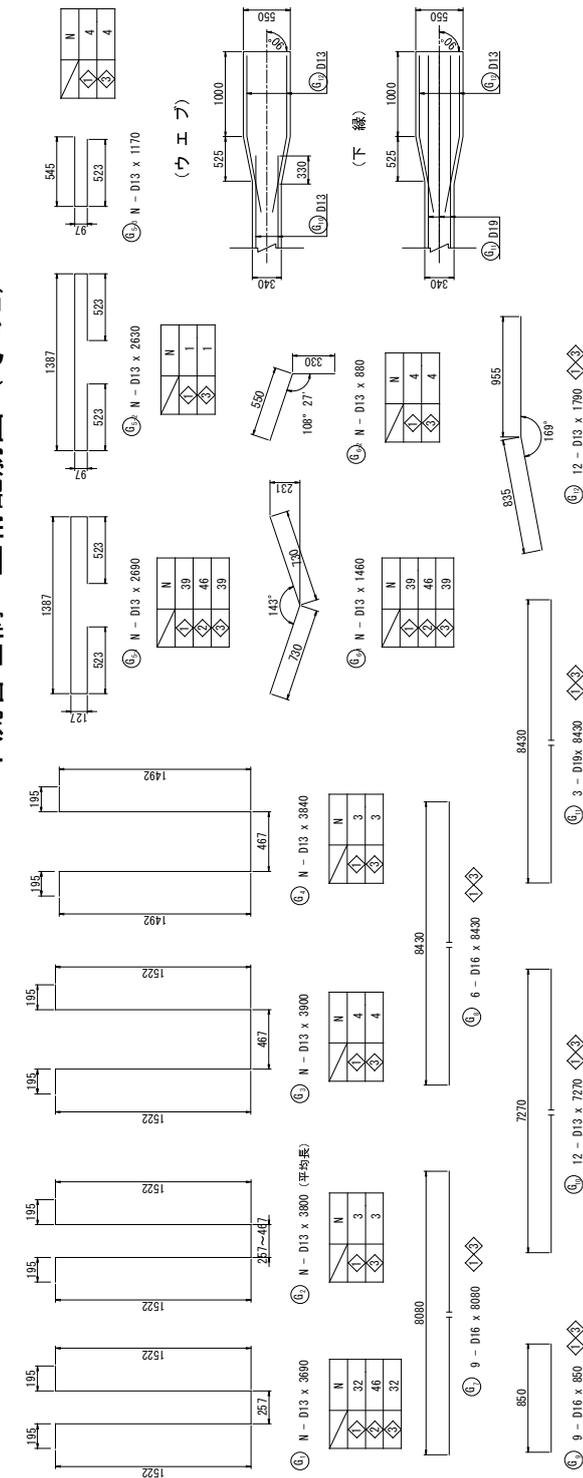


2-φ6@900 (1ヶ所当り)

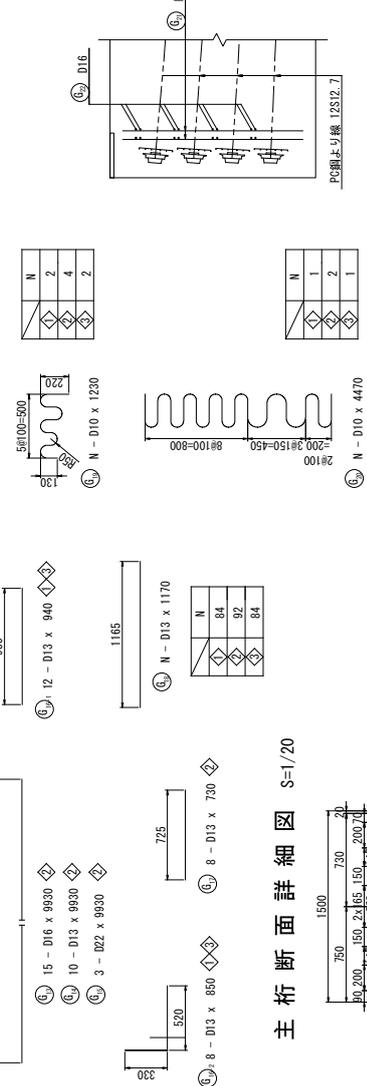
下流管理橋 主桁配筋図 (その2)

(桁当り)

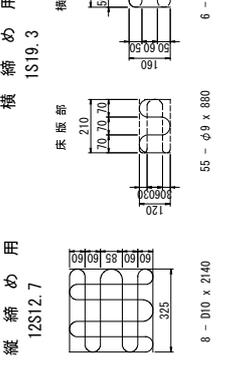
部号	径	長さ	本数	単位質量	本桁当り質量	質量	概要
① プロック	6-1	D13	3890	32	0.995	3.67	117
	2	D13	3800	3	0.995	3.78	11
	3	D13	3900	4	0.995	3.88	16
	4	D13	3800	3	0.995	3.82	11
	5-1	D13	2690	39	0.995	2.68	105
	5-2	D13	2630	1	0.995	2.62	3
	5-3	D13	1170	4	0.995	1.16	5
	6-1	D13	1460	39	0.995	1.45	57
	6-2	D13	880	4	0.995	0.88	4
	7	D16	880	4	1.560	12.80	113
	8	D16	8430	6	1.560	13.15	79
	9	D16	850	9	1.560	1.33	12
10	D13	7270	12	0.995	7.23	87	
11	D19	6430	3	2.250	18.97	57	
12	D13	1790	12	0.995	1.78	21	
16-1	D13	940	12	0.995	0.94	11	
16-2	D13	850	8	0.995	0.85	7	
18	D13	1170	84	0.995	1.16	97	
19	D10	1230	2	0.560	0.69	1	
20	D10	4470	1	0.560	2.50	3	
21	D16	3070	4	1.560	4.79	19	
22	D16	620	12	1.560	0.97	12	
23	D13	400	10	0.995	0.40	4	
H.1	D16	1200	16	1.560	1.87	30	
2	D13	960	8	0.995	0.96	8	
3	D13	960	8	0.995	0.96	8	
						898	kg
						D.19	57
						D.16	265
						D.13	572
						D.10	4
						合計	898
						D.22	91
						D.16	232
						D.13	571
						D.10	8
						合計	902
						D.22	91
						D.19	114
						D.16	762
						D.13	1715
						D.10	16
						合計	2638



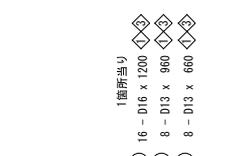
縦筋ケーブル補強



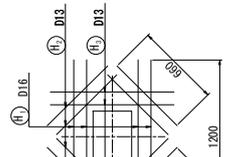
グリット筋



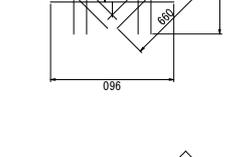
縦筋ケーブル補強



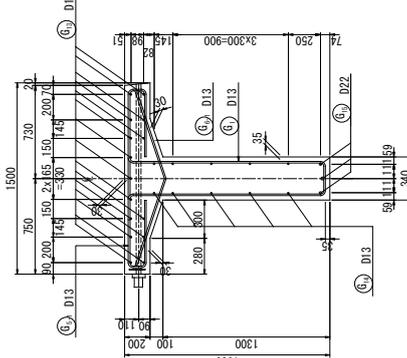
排水補強筋



脊座補強筋

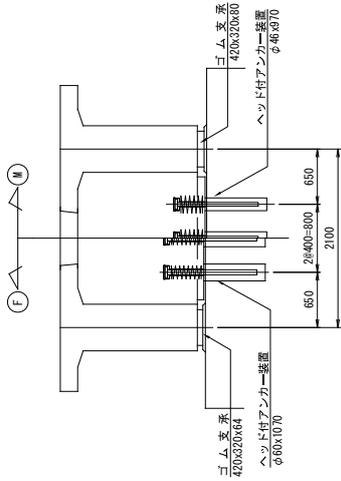


主桁断面詳細図 S=1/20

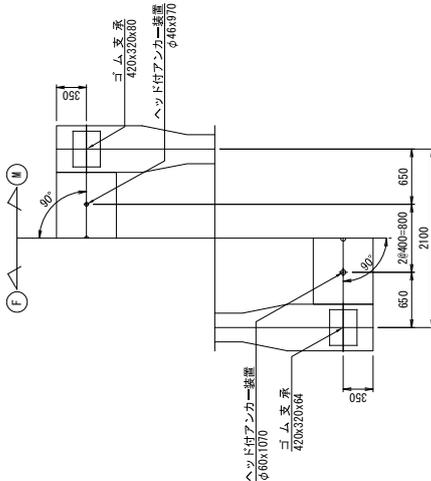


下流管理橋 支承詳細図

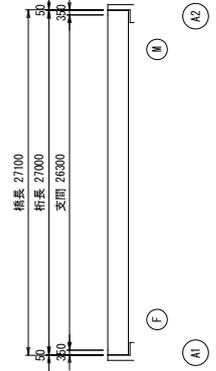
断面図 S = 1:30



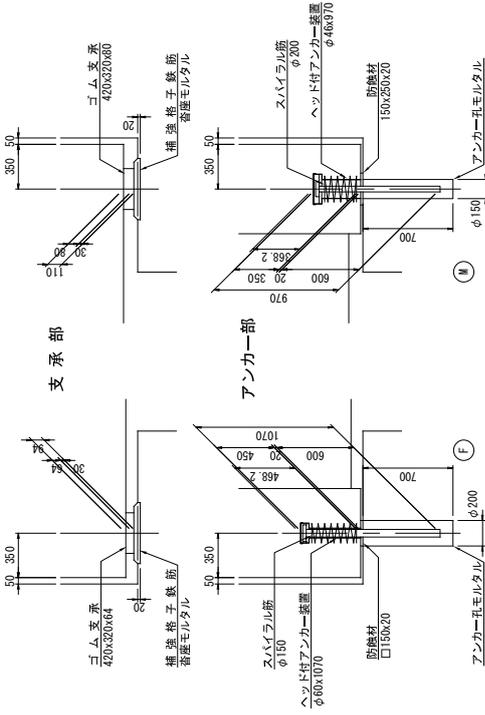
平面図 S = 1:30



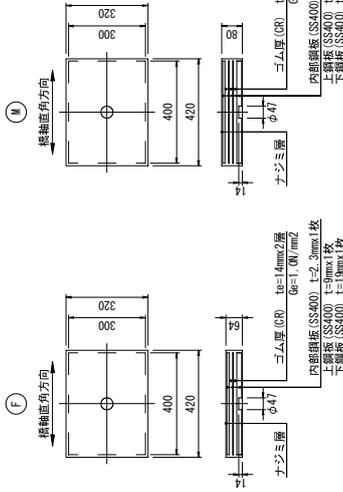
配置図 S = 1:200



側面図 S = 1:20



ゴム支承 S = 1:10



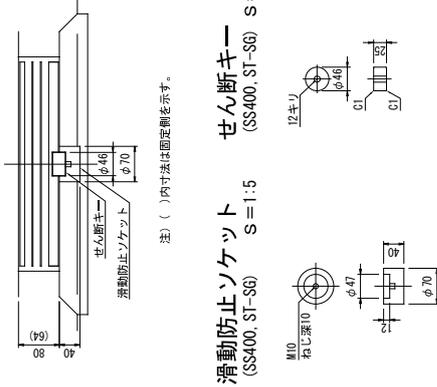
材料表

名称	寸法	材質	単位	数量	備考
ゴム支承	420x320x80	国産	枚	2	DSFハット、滑動防止装置付
"	420x320x64	"	枚	2	"
ヘッド付アンカー装置	M40	下巻参照	組	3	ST-S6
"	F60	"	枚	3	"
防熱材	150x250x20	CRスポンジ	枚	3	"
"	□150x20	"	枚	3	"
補強格子鉄筋	500x400	SJ345	kg	10.0	10.0
普通モルタル			m ³	0.026	0.026
アンカー孔モルタル			m ³	0.061	0.034
				0.085	

ヘッド付アンカー材料表(1組当り)

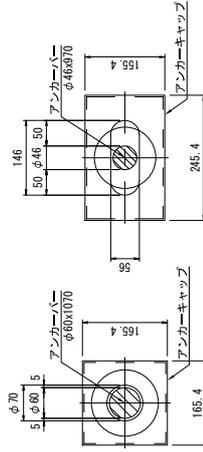
名称	材質	数量	備考
アンカーバー	SS35N	1	ST-S6
アンカーキャップ	SS400	1	ST-S6
支圧板	SM400A	1	ST-S6
セット用スポンジ	CRスポンジ	1	
スハイラル筋	SR235	1	

取付詳細図 S = 1:5



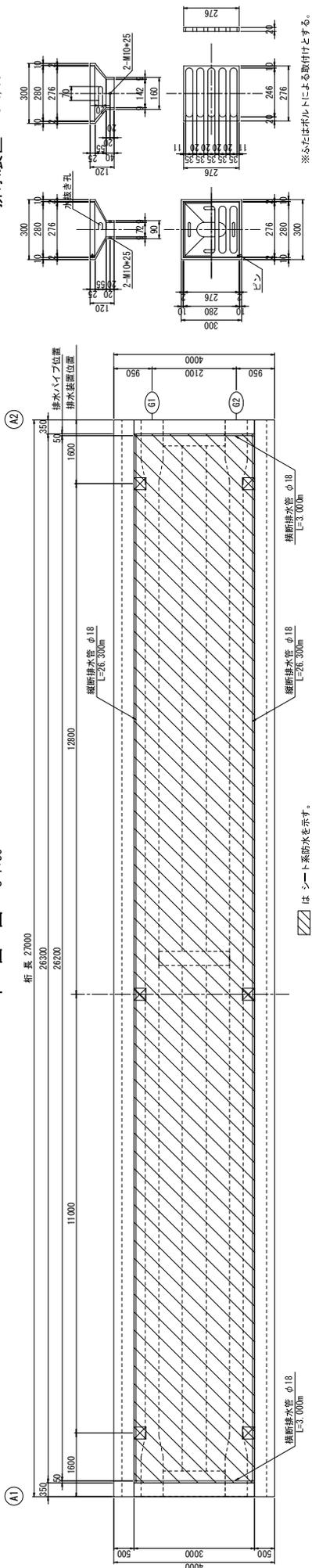
滑動防止ソケット S = 1:5
(SS400, ST-S6)

ヘッド付アンカー装置 S = 1:5

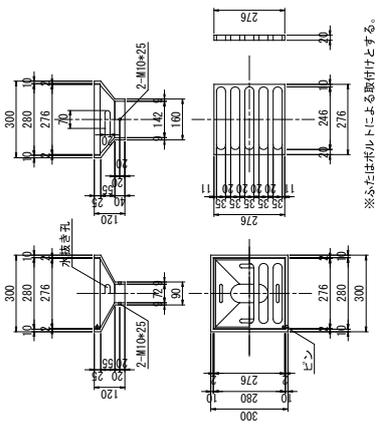


下流管理橋 橋面防水詳細図

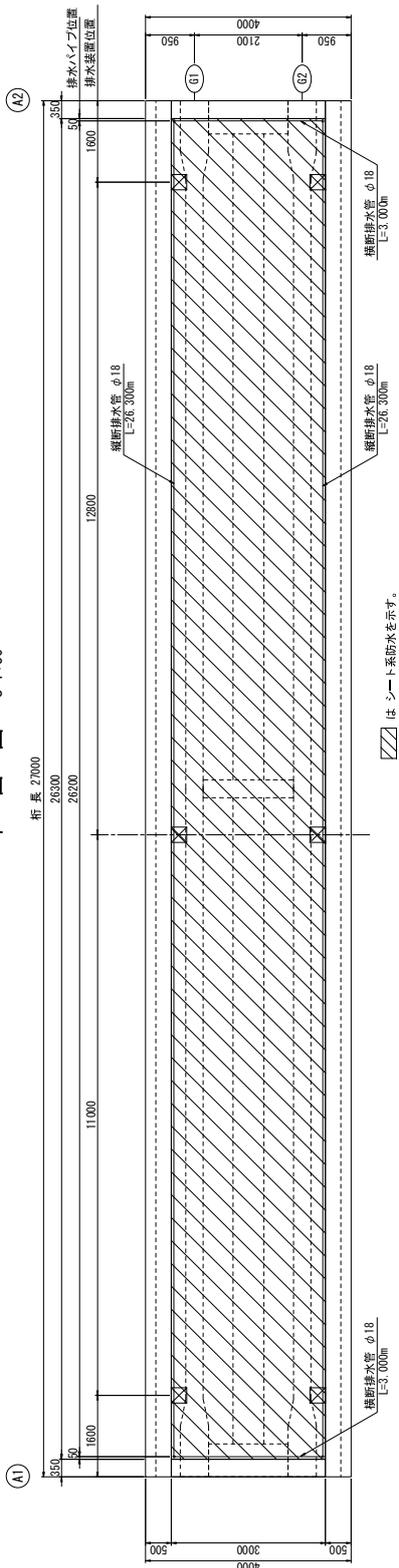
平面図 S=1.50



排水装置 S=1/10

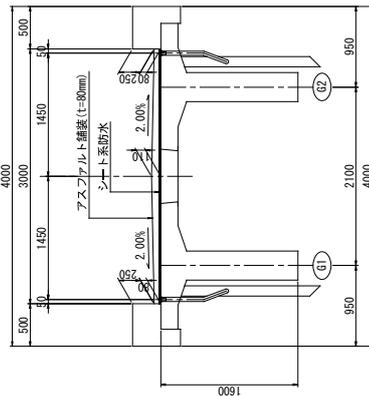


※ふたはボルトによる取付けとする。

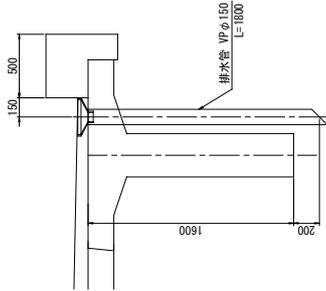


ハatched area is sheet waterproofing.

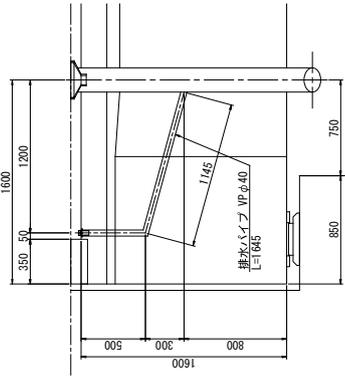
断面図 S=1:30



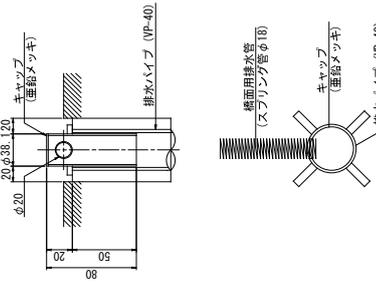
排水装置取付図 S=1/20



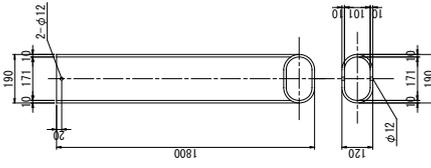
排水パイプ取付図 S=1/20



排水パイプ詳細図 S=1/2



排水装置 (VP150)

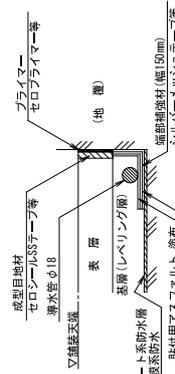


材料表

品名	材質	数量	質量(kg)	備考
本体	F0250	1	24.4	
ボルト	SS400	2	0.1	垂筋メッキ
ボルト	SS400	2	0.1	垂筋メッキ
1.細分合計			24.6 kg/組	

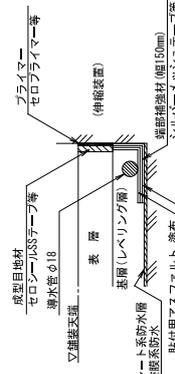
(1ヶ所当り)

縦断排水、地覆部防水詳細図



※ 防水層は、基礎部まで立ち上げる。
※ 目地材は、基礎部に設置する。
※ スパイラルパイプは、基礎部に設置する。

横断排水、端部防水詳細図

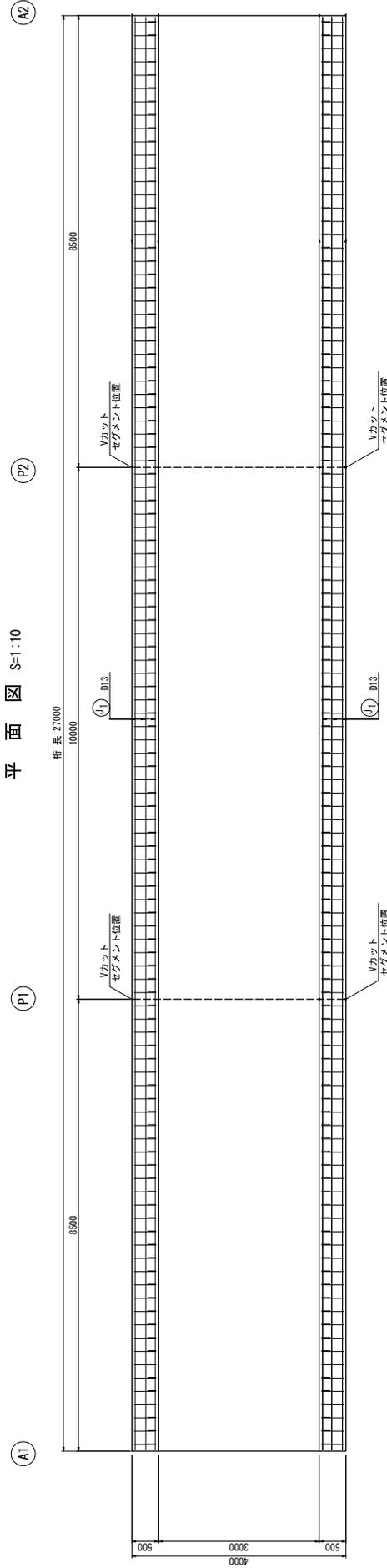


※ 防水層は、基礎部まで立ち上げる。
※ 目地材は、基礎部に設置する。
※ スパイラルパイプは、基礎部に設置する。

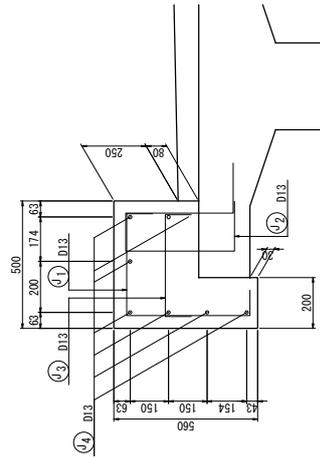
材料表

名称	規格寸法	単位	数量	備考
防水層	シート系	m ²	78.9	
排水管	φ18	m	58.6	
成型目地材	セロハンASテープ等	m	58.6	
側部補修材(幅150mm)	シルバーマッシュフェーシング等	m	58.6	
プライマー	垂筋メッキ	個	4	
排水パイプ (VP40)	Aタイプ L=1310	m	6.6	N=4

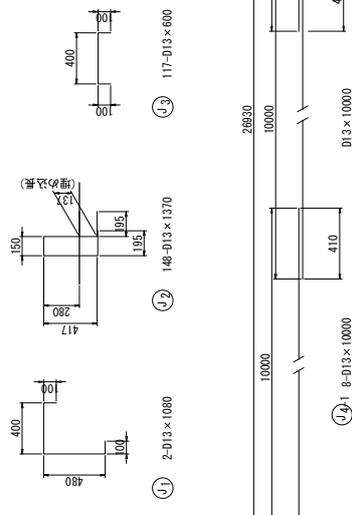
下流管理橋 地覆配筋図



断面図 S=1:10

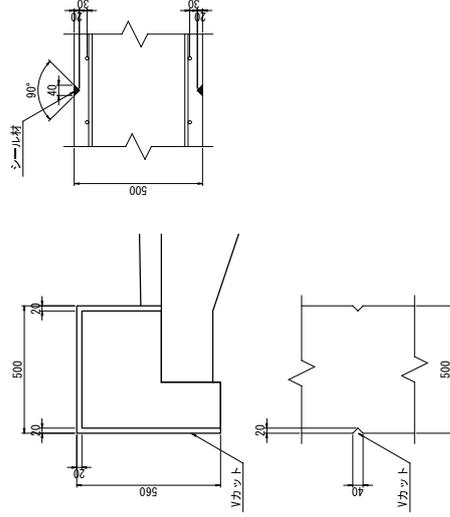


加工図 S=1:20



Vカット詳細図 S=1:10

断面図



鉄筋表

(1橋当り)

記号	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	単位長さ当たり質量 (kg/本)	質量 (kg)	形状	摘要	
J-1	D13	10000	146	0.995	1.07	127	□		
2	"	1370	148	"	1.19	176	□		
3	"	600	117	"	0.50	59	□		
4-1	"	10000	28	"	9.95	279	—		
4-2	"	7750	14	"	7.71	108	—		
							D13	953 kg	
							D13	428 kg	
							主桁埋込鉄筋		
							合計		1381 kg

主桁埋込鉄筋

§ 1. 数量総括表

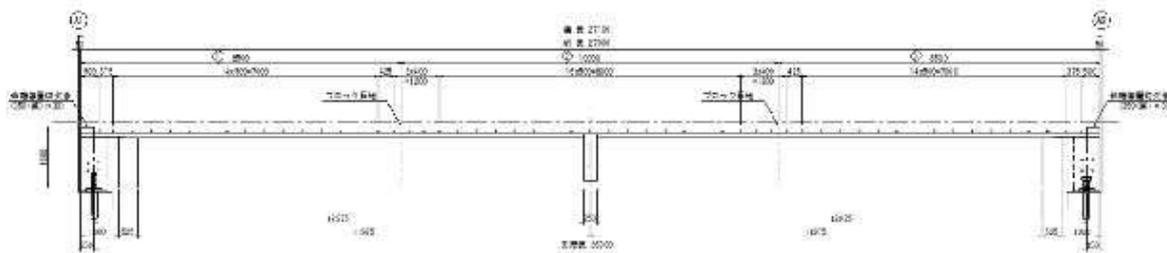
1.1 数量総括表

種別	項目	仕様	単位	数量	摘要	
主 桁 工	ポステンT桁 桁高=2.30m	外桁	本	2		
		中桁	本			
		計	本	2		
	コンクリート	$\sigma_{ck}=50N/mm^2$	m ³	44.8		
	質量	主桁総質量	t	112.0		
	型 枠	側型枠		m ²	225.7	
		端型枠		m ²	4.3	
		合計		m ²	230.0	
		底板		m ²	29.7	
	仕切板		m ²	3.2	セグメント目地部	
	接合キー	φ28	組	12.0	〃	
	接着材		m ²	3.2	〃	
	引 張 P C 鋼 材	PC鋼より線	SWPR7BL 12S12.7B	kg	1987.2	
		シース	φ70	m	214.0	
		グラウト	φ70	m	214.0	
		定着具	12S12.7B用	組	16	グリット筋含む
		緊張工	12S12.7B(両引き)	ケーブル	8	
横締孔用シース	φ42	m	173.4	埋込みシース		
鉄 筋	D25	SD345	kg	0		
	D22	〃	kg	91		
	D19	〃	kg	114		
	D16	〃	kg	762		
	小計	〃	kg	967	D16~D25	
	D13	〃	kg	1715		
	D10	〃	kg	16		
	合計	〃	kg	2698		

1.2 主桁数量集計表

種別	項目	仕様	単位	数量		摘要	
				外桁	中桁		
主 桁 工	ポステンT桁 桁高=1.60m	外桁	本	2			
		中桁	本		-		
	コンクリート	$\sigma_{ck}=50\text{N/mm}^2$	m^3	22.408			
	質量	主桁質量	t	56.020			
	型 枠	側型枠		m^2	112.832		
		端型枠		m^2	2.161		
		合計		m^2	114.993		
		底板		m^2	14.850		
	仕切板		m^2	1.608		セグメント目地部	
	接合キー	$\phi 28$	組	6		〃	
	接着材		m^2	1.608		〃	
	引 張 P C 鋼 材	PC鋼より線	SWPR7BL 12S12.7B	kg	993.612		
		シース	$\phi 70$	m	106.978		
		グラウト	$\phi 70$	m	106.978		
		定着具	12S12.7B用	組	8		クリット筋含む
		緊張工	12S12.7B(両引き)	ケーブル	4		
	横締孔用シース	$\phi 42$	m	86.690		埋込みシース	
	鉄 筋	D25	SD345	kg			
		D22	〃	kg	91		
D19		〃	kg	114			
D16		〃	kg	762			
小計		〃	kg	967		D16~D25	
D13		〃	kg	1715			
D10		〃	kg	16			
合計	〃	kg	2698				

§2 主桁製作工（主桁1本当たり）



①・③. セグメント

標準部 L1 = 8.500 - 支点部 1.000 - 拡幅部 0.525 = 6.975 m

拡幅部 L2 = 0.525 = 0.525 m

支点部 L3 = 1.000 = 1.000 m

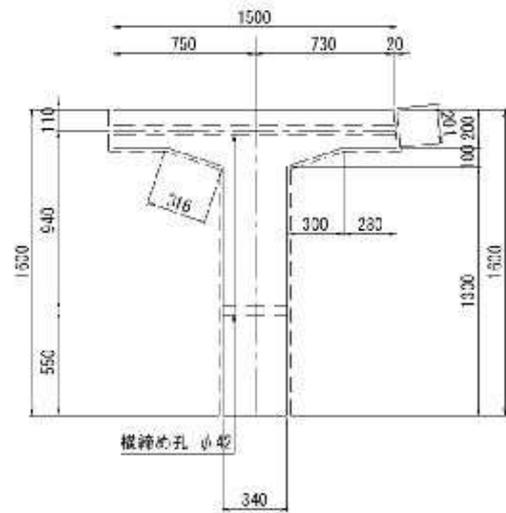
②. セグメント

標準部 L1 = 10.000 = 10.000 m

斜比 $\theta = 90^\circ 00' 00$ ($\alpha=1.00000$)

- ・各断面積 及び 周長の計算

標準部



断面積

$$A1 = 1.500 \times 0.200 - 1/2 \times 0.020 \times 0.200 = 0.2980 \text{ m}^2$$

$$A2 = 1/2 \times (0.940 + 0.340) \times 0.100 = 0.0640 \text{ m}^2$$

$$A3 = 0.340 \times 1.300 = 0.4420 \text{ m}^2$$

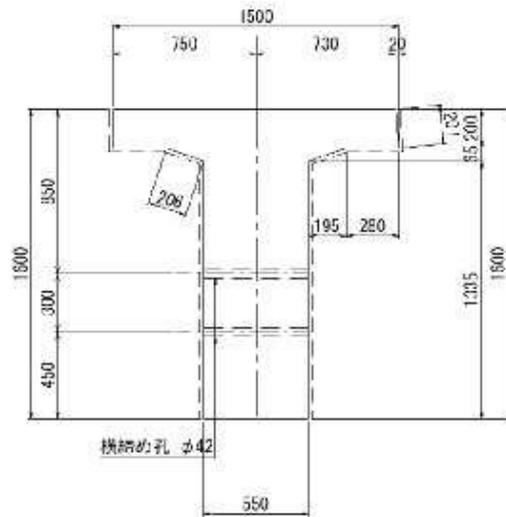
$$\text{外桁 } \Sigma a = 0.8040 \text{ m}^2$$

周長

外桁

$$I1 = (0.280 + 0.316 + 1.300) \times 2 + 0.200 + 0.201 = 4.193 \text{ m}$$

桁端部



断面積

$$A1 = 1.500 \times 0.200 - 1/2 \times 0.020 \times 0.200 = 0.2980 \text{ m}^2$$

$$A2 = 1/2 \times (0.940 + 0.550) \times 0.065 = 0.0484 \text{ m}^2$$

$$A3 = 0.550 \times 1.335 = 0.7343 \text{ m}^2$$

外桁 $\Sigma a = 1.0807 \text{ m}^2$

周長

外桁

$$I1 = \frac{(0.280 + 0.206 + 1.335)}{2} + 0.200 + 0.201 = 4.043 \text{ m}$$

2.1 コンクリート ($\sigma_{ck} = 50\text{N/mm}^2$)

・ ①・③. セグメント

$$\text{標準部 } V1 = 0.8040 \times 6.975 = 5.608 \text{ m}^3$$

$$\text{拡幅部 } V2 = 1/2 \times (0.8040 + 1.0807) \times 0.525 = 0.495 \text{ m}^3$$

$$\text{支点部 } V3 = 1.0807 \times 1.000 - 1.480 = 1.081 \text{ m}^3$$

$$\text{外桁1本当り } \Sigma V = 7.184 \text{ m}^3$$

・ ②. セグメント

$$\text{標準部 } V1 = 0.8040 \times 10.000 = \frac{8.040 \text{ m}^3}{\text{外桁1本当り}}$$

外桁1本当り

$$V = 7.184 \times 2 + 8.040 = 22.408 \text{ m}^3$$

1橋当り

$$V = 22.408 \times 2 = 44.816 \text{ m}^3$$

主桁質量 ($\gamma = 2.5 \text{ t/m}^3$)

セグメント当たり質量 (外桁)

・ ①・③. セグメント $W = 7.184 \times 2.5 = 17.960 \text{ t/セグメント}$

・ ②. セグメント $W = 8.040 \times 2.5 = 20.100 \text{ t/セグメント}$

$$\text{外桁合計 } \Sigma W = 17.960 \times 2 + 20.100 = 56.020 \text{ t/本}$$

1橋当り

$$W = 56.020 \times 2 = 112.040 \text{ t}$$

2.2 型 枠

側 枠

- ・ ①・③. セグメント

標準部

$$A1 = 4.193 \times 6.975 = 29.246 \text{ m}^2$$

拡幅部

$$A2 = 1/2 \times (4.193 + 4.043) \times 0.525 = 2.162 \text{ m}^2$$

横桁部

$$A3 = 4.043 \times 1.000 = 4.043 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 35.451 \text{ m}^2$$

- ・ ②セグメント

標準部

$$A1 = 4.193 \times 10.000 = 41.930 \text{ m}^2$$

外桁1本当り

$$V = 35.451 \times 2 + 41.930 = 112.832 \text{ m}^2$$

1橋当り

$$V = 112.832 \times 2 = 225.664 \text{ m}^3$$

棲 枠

- ・ 外 桁

$$A = 1.0807 \times 2 \times 1.00000 = 2.161 \text{ m}^2$$

仕切板

- ・ 外 桁

$$A = 0.8040 \times 2 = 1.608 \text{ m}^2$$

底 枠

- ・ 外 桁

$$A = 0.550 \times 27.000 = 14.850 \text{ m}^2$$

2.3 鉄筋 (SD345)

外桁 (1本当り) (図面参照)

D22	91	kg
D19	114	kg
D16	762	kg
D13	1715	kg
D10	16	kg
合計	2698	kg

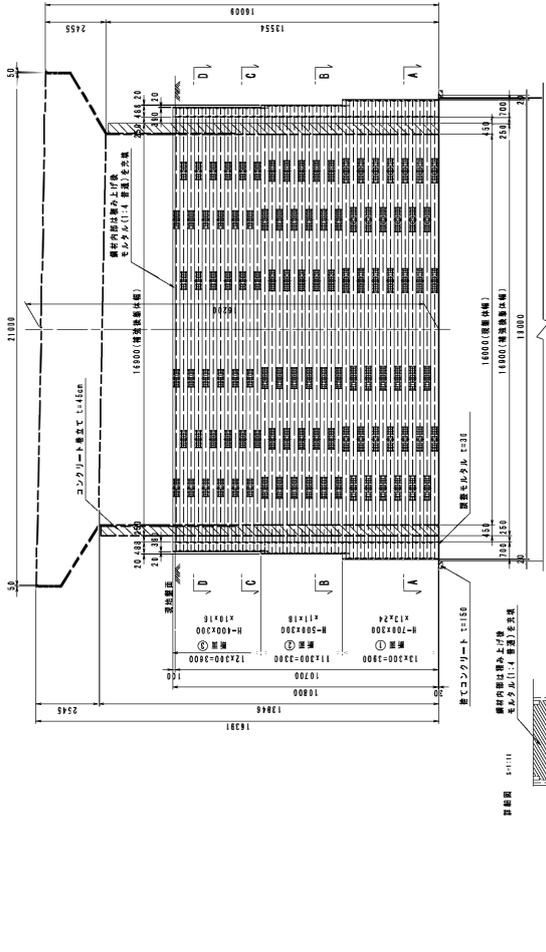
2.4 PC鋼より線 (SWPR7BL 12S12.7mm N = 4本) (図面参照)

- 設計長 $L1 = 106.978 \text{ m} = 106.978 \text{ m}$
- 1) 設計質量 $W1 = 106.978 \times 9.288 = 993.612 \text{ kg}$
- 2) シース (φ70mm)
 $L = L1 = 106.978 \text{ m}$
- 3) グラウト
 $L = L1 = 106.978 \text{ m}$
- 4) 定着具 (12S12.7mm 用) グリッド筋含む
 $N = 4 \times 2 = 8 \text{ 組}$
- 5) 緊張本数 (両引き)
 $N = 4 \text{ 本}$
- 6) ケーブル組立工
 $L = L1 = 106.978 \text{ m}$
- 7) 横締用シース (φ42mm)
 外桁 $L = 1.490 \times 55 + 0.550 \times 8 + 0.340 \times 1 = 86.690 \text{ m}$
- 8) 接着剤
 外桁 $A = 0.8040 \times 2 = 1.608 \text{ m}^2$
- 9) 接合キー (φ28mm)
 外桁 $N = 3 \times 2 = 6 \text{ 組}$

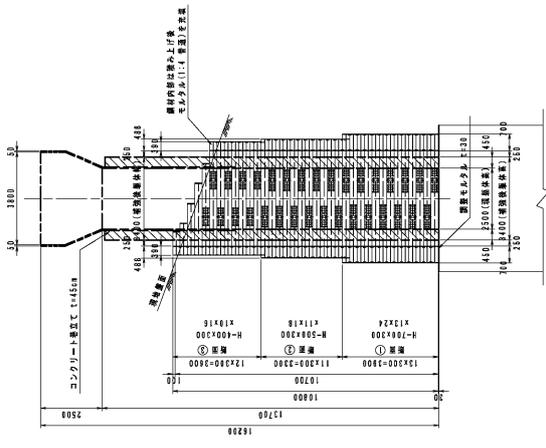
P8橋脚管構造図

S=1:100

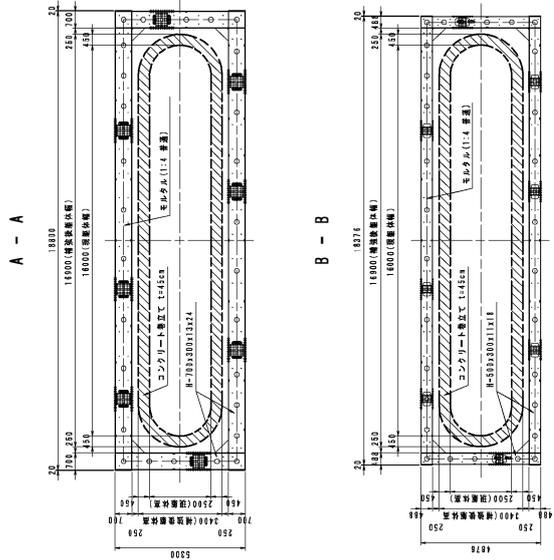
正面図



側面図



平面図

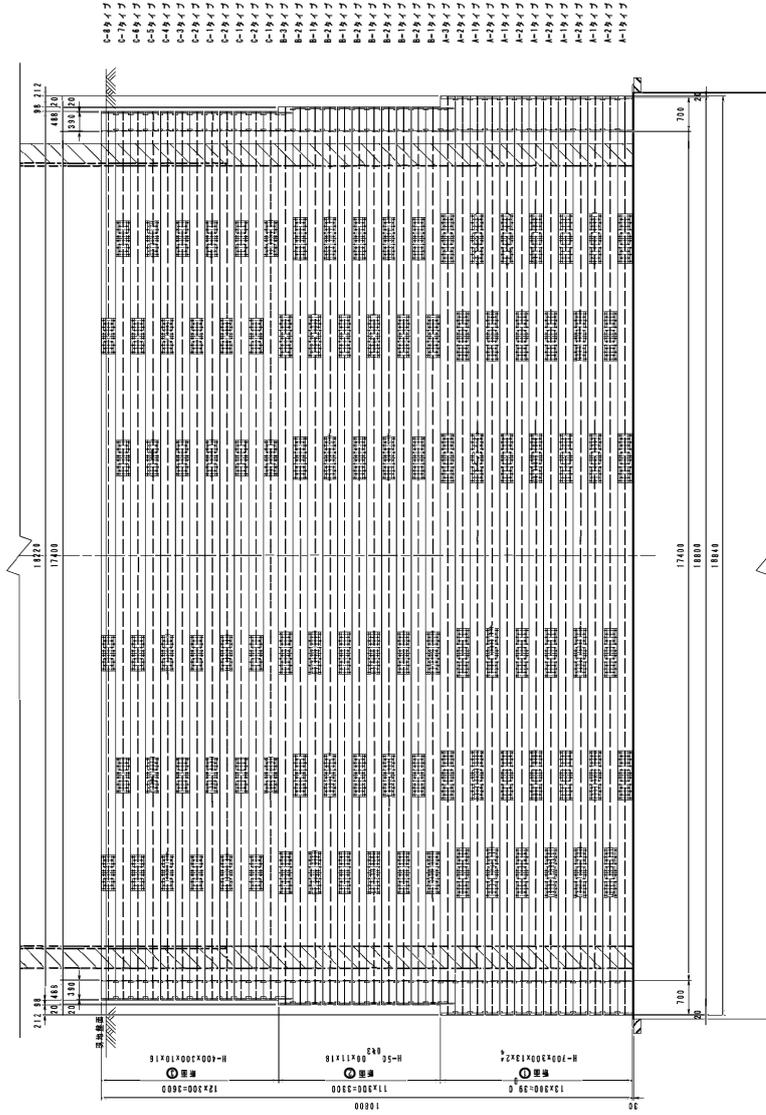


工事名	工事
図号	P8橋脚管構造図
図名	熊本県道第10号東之川21号
設計者	平成23年3月
設計年月	別冊地名標高 夏川河川事務所 印

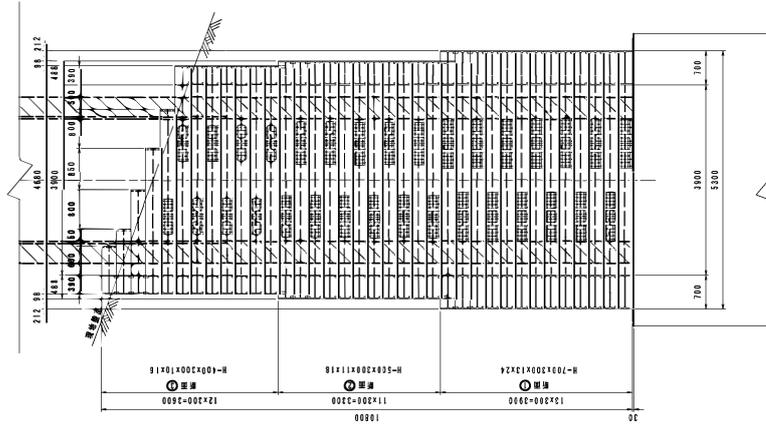
P8橋脚給水管詳細図(その1)

S=1:50

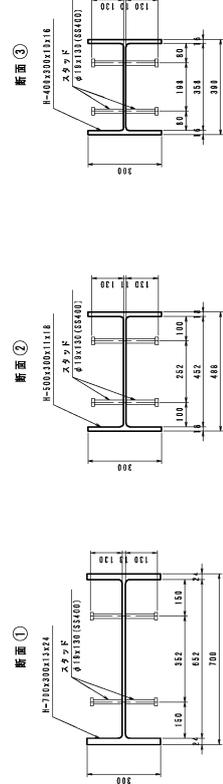
正面図



側面図



断面図 S=1:10



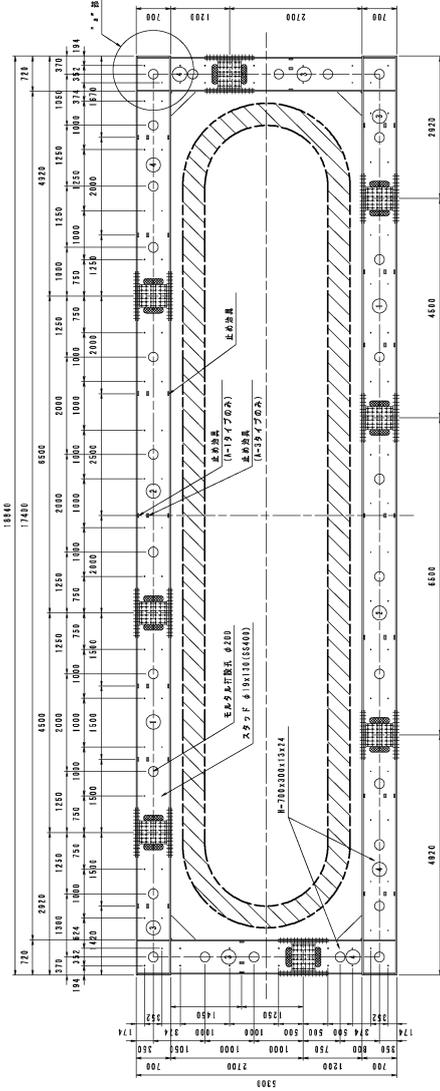
- 注記:
1. 併記の各材料は全てJIS規格とする。
 2. 併記の各材料は全て熱間鍍鋼材とする。
 3. 鋼材は16.1664とし、引張強さは400.255とする。
 4. 鋼材は16.1664とし、引張強さは400.255とする。
 5. 鋼材は16.1664とし、引張強さは400.255とする。
 6. 鋼材は16.1664とし、引張強さは400.255とする。
 7. 鋼材は16.1664とし、引張強さは400.255とする。
 8. 鋼材は16.1664とし、引張強さは400.255とする。
 9. 鋼材は16.1664とし、引張強さは400.255とする。
 10. 鋼材は16.1664とし、引張強さは400.255とする。

工事名	工事
図名	P8橋脚給水管詳細図(その1)
縮尺	縮尺 1/50 (1/50 縮尺 1/50)
設計年月	平成 23 年 3 月
出図者	川口河川事務所

P8橋脚給水管詳細図(その2)

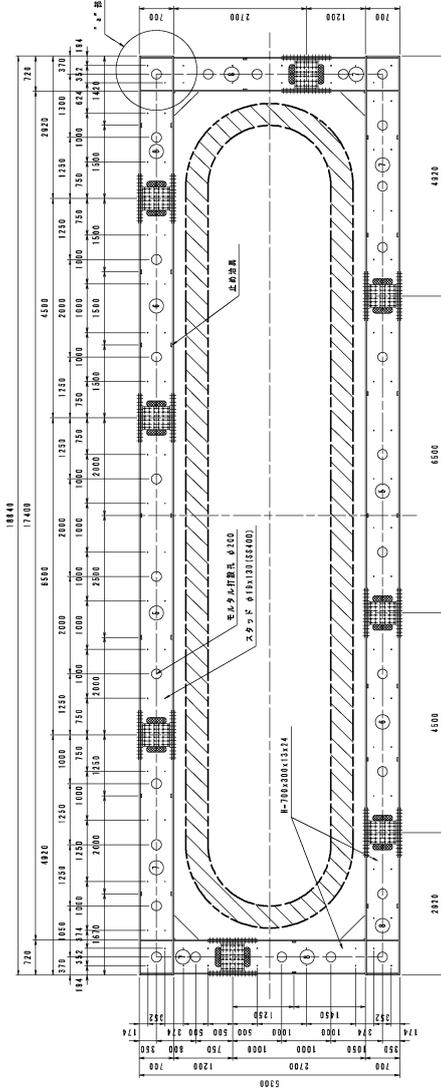
S=1:50
平面図

A-1, A-2タイプ



- A-1タイプ
標準深さ: 6
- ① 標準深さ: 1
 - 1-H 700x300x1324x4500
 - 14-S1100 φ19x130(55400)
 - 2-PL 35x30x100(58400)
 - 2-PL 35x44x191(58400)
 - ② 標準深さ: 2
 - 1-H 700x300x1324x4500
 - 24-S1100 φ19x130(55400)
 - 2-PL 35x30x100(58400)
 - 2-PL 35x44x191(58400)
 - ③ 標準深さ: 3
 - 1-H 700x300x1324x4500
 - 1-H 700x300x1324x4500
 - 1-H 700x300x1324x4500
 - 24-S1100 φ19x130(55400)
 - 2-PL 35x30x100(58400)
 - 2-PL 35x44x191(58400)
 - 4-PL 144x24x4552

A-2タイプ



- A-2タイプ
標準深さ: 6
- ① 標準深さ: 2
 - 1-H 700x300x1324x4500
 - 24-S1100 φ19x130(55400)
 - 4-PL 35x30x100(58400)
 - ② 標準深さ: 3
 - 1-H 700x300x1324x4500
 - 16-S1100 φ19x130(55400)
 - 4-PL 35x30x100(58400)
 - ③ 標準深さ: 4
 - 1-H 700x300x1324x4500
 - 1-H 700x300x1324x4500
 - 1-H 700x300x1324x4500
 - 24-S1100 φ19x130(55400)
 - 1-PL 500x13500
 - 1-PL 500x13500
 - 4-PL 144x24x4552

注記:
 1. 鋼板は必要部分に於てS400とす。
 2. 鋼板は必要部分に於てS400とす。
 3. 鋼板は必要部分に於てS400とす。
 4. 鋼板は必要部分に於てS400とす。
 5. 必要部分に於てS400とす。
 6. 鋼板は必要部分に於てS400とす。
 7. 鋼板は必要部分に於てS400とす。

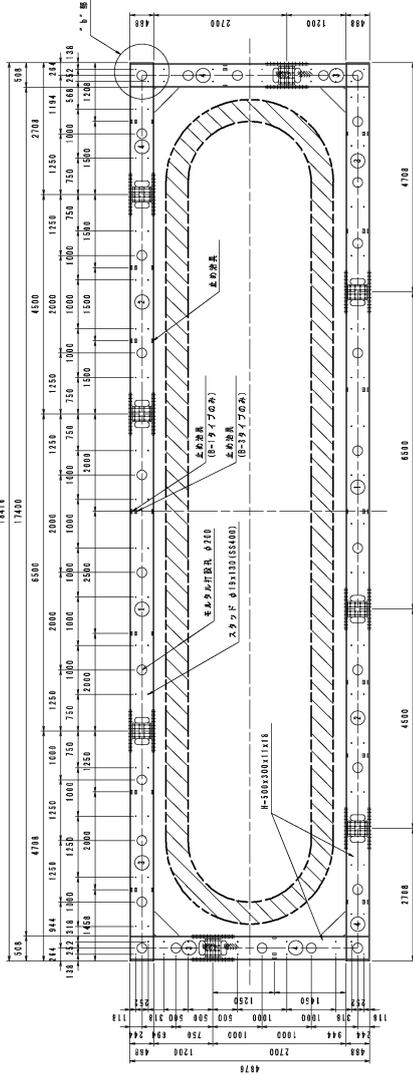
工事名	工事
図面名	P8橋脚給水管詳細図(その2)
縮尺	S=1:50 原簿番号(作業之件) 30
設計年月	平成 30 年 3 月
出図者	名 堀 橋 本 宮 川 河 川 事 務 所 印

P8橋脚給水管詳細図(その3)

平面図

S=1:50

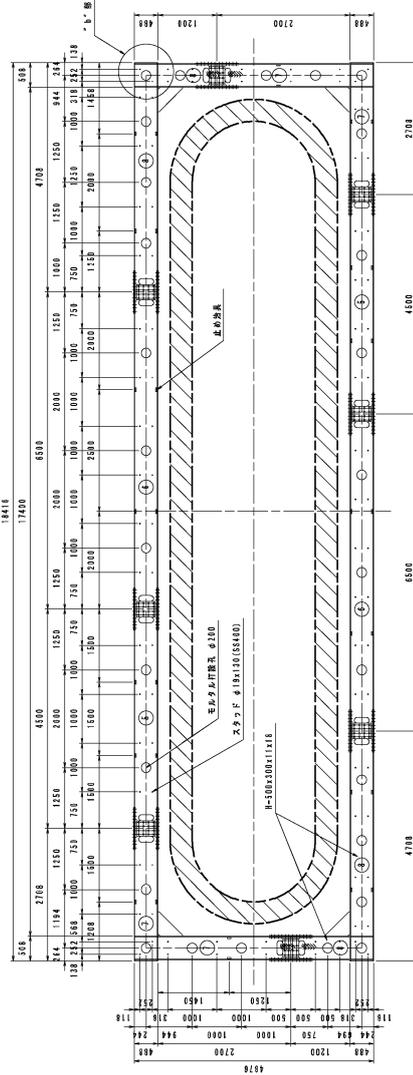
B-1, B-3タイプ



- B-1タイプ**
断面数:5
- ① 断面数:2
1-H 508x306x11x16x4500
2-H 508x306x11x16x4500
2-PL 73x200x100(58400)
4-PL 73x200x100(58400)
 - ② 断面数:2
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
4-PL 73x200x100(58400)
 - ③ 断面数:2
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
4-PL 73x200x100(58400)
 - ④ 断面数:2
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
4-PL 73x200x100(58400)

- B-2タイプ**
断面数:1
- ① 断面数:2
1-H 508x306x11x16x4500
2-H 508x306x11x16x4500
2-PL 73x200x100(58400)
2-PL 73x200x100(58400)
 - ② 断面数:2
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
2-PL 73x200x100(58400)
2-PL 73x200x100(58400)
 - ③ 断面数:2
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
2-PL 73x200x100(58400)
2-PL 73x200x100(58400)
 - ④ 断面数:2
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
2-PL 73x200x100(58400)
2-PL 73x200x100(58400)

B-2タイプ



- B-2タイプ**
断面数:3
- ① 断面数:2
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
2-PL 73x200x100(58400)
4-PL 73x200x100(58400)
 - ② 断面数:2
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
2-PL 73x200x100(58400)
2-PL 73x200x100(58400)
 - ③ 断面数:2
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
2-PL 73x200x100(58400)
2-PL 73x200x100(58400)
 - ④ 断面数:2
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
2-PL 73x200x100(58400)
2-PL 73x200x100(58400)

- B-2タイプ**
断面数:1
- ① 断面数:2
1-H 508x306x11x16x4500
2-H 508x306x11x16x4500
2-PL 73x200x100(58400)
2-PL 73x200x100(58400)
 - ② 断面数:2
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
2-PL 73x200x100(58400)
2-PL 73x200x100(58400)
 - ③ 断面数:2
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
2-PL 73x200x100(58400)
2-PL 73x200x100(58400)
 - ④ 断面数:2
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
1-H 508x306x11x16x4500
2-PL 73x200x100(58400)
2-PL 73x200x100(58400)

注記:
1. 鋼筋は各材許容応力以下に設計する。
2. 鋼筋は各材許容応力以下に設計する。
3. 鋼筋は各材許容応力以下に設計する。
4. 鋼筋は各材許容応力以下に設計する。
5. 鋼筋は各材許容応力以下に設計する。
6. 鋼筋は各材許容応力以下に設計する。
7. 鋼筋は各材許容応力以下に設計する。

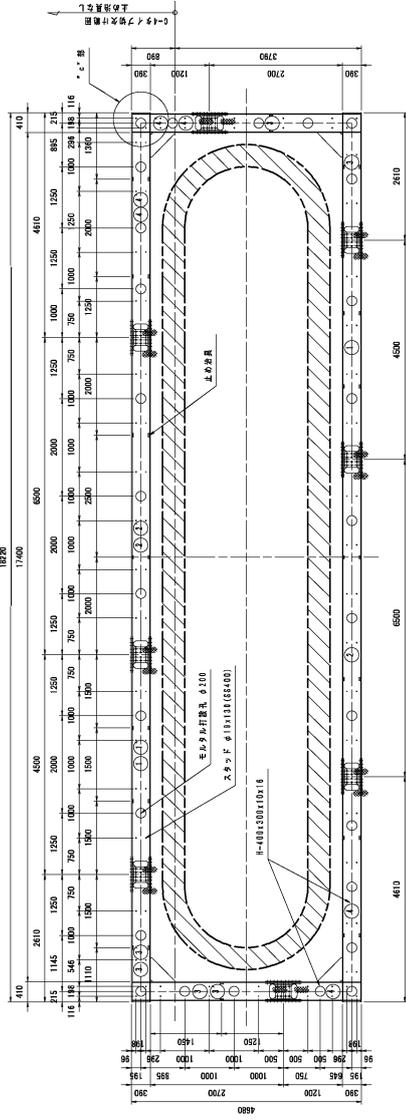
工事名	工事
期決	P8橋脚給水管(その3)
期決	平成30年3月
設計年月	平成30年3月
出図者	住友建設株式会社

P8橋脚給水管詳細図(その4)

平面図

S=1:50

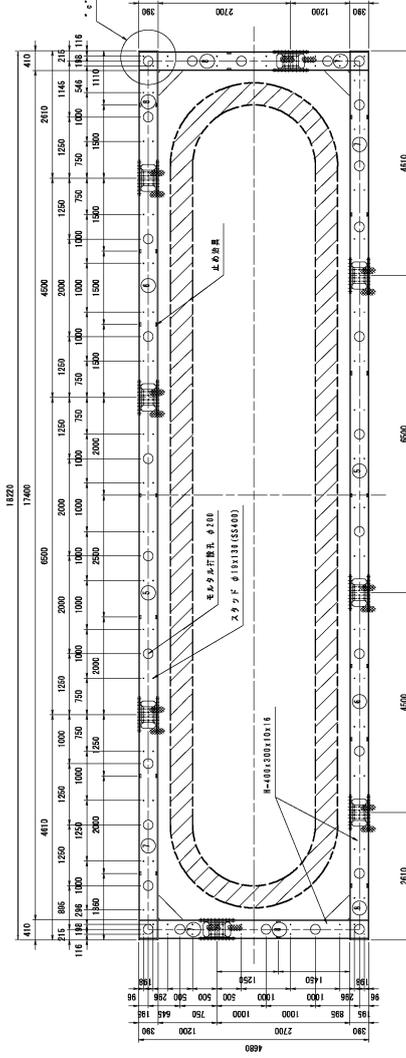
0-1,0-3タイプ



0-1タイプ

- ① 断面数:1
 1-# 400x300x10x18x4500
 2-# 400x300x10x18x2700
 4-PL 75x30x10(584000)(C=4タイプ毎分け数量なし)
- ② 断面数:2
 1-# 400x300x10x18x6500
 2-# 400x300x10x18x2700
 4-PL 75x30x10(584000)
- ③ 断面数:3
 1-# 400x300x10x18x2100
 1-# 400x300x10x18x2700
 2-# 400x300x10x18x5400
 4-PL 75x30x10(584000)
 4-PL 145x16x358
- ④ 断面数:3
 1-# 400x300x10x18x4510
 1-# 400x300x10x18x2700
 1-# 400x300x10x18x2700
 4-PL 75x30x10(584000)
 4-PL 500x10x500
 4-PL 145x16x358

0-2タイプ



0-2タイプ

- ① 断面数:1
 1-# 400x300x10x18x4500
 1-# 400x300x10x18x2700
 4-PL 75x30x10(584000)
- ② 断面数:2
 1-# 400x300x10x18x4110
 1-# 400x300x10x18x1500
 2-# 400x300x10x18x2700
 4-PL 75x30x10(584000)
 4-PL 145x16x358
- ③ 断面数:3
 1-# 400x300x10x18x2100
 1-# 400x300x10x18x2700
 1-# 400x300x10x18x2700
 1-PL 500x10x500
 4-PL 145x16x358

注記:
 1. 押込み部は本図で示す通りとする。
 2. 押込み部はスラッフは2枚とする。
 3. 押込み部は本図で示す通りとする。
 4. 止め具はφ100(φ110)とする。
 5. 止め具はφ100(φ110)とする。
 6. 止め具はφ100(φ110)とする。
 7. 止め具はφ100(φ110)とする。

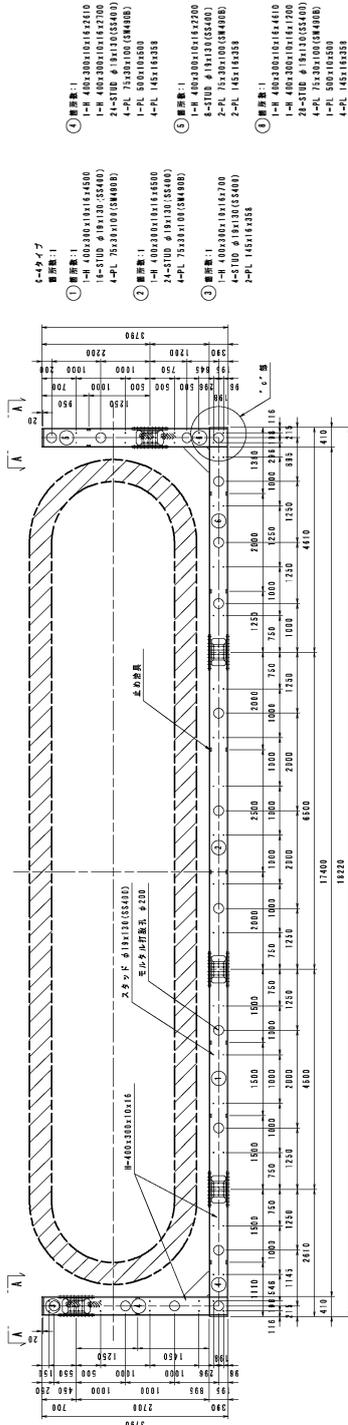
工事名	工事
橋脚名	P8橋脚給水管(その4)
橋脚尺	6x1.50 断面番号(14 第 2 作 3)
設計年月	平成 33 年 3 月
設計者	近畿地方建設局 河川事務所

P8橋脚給管詳細図(その5)

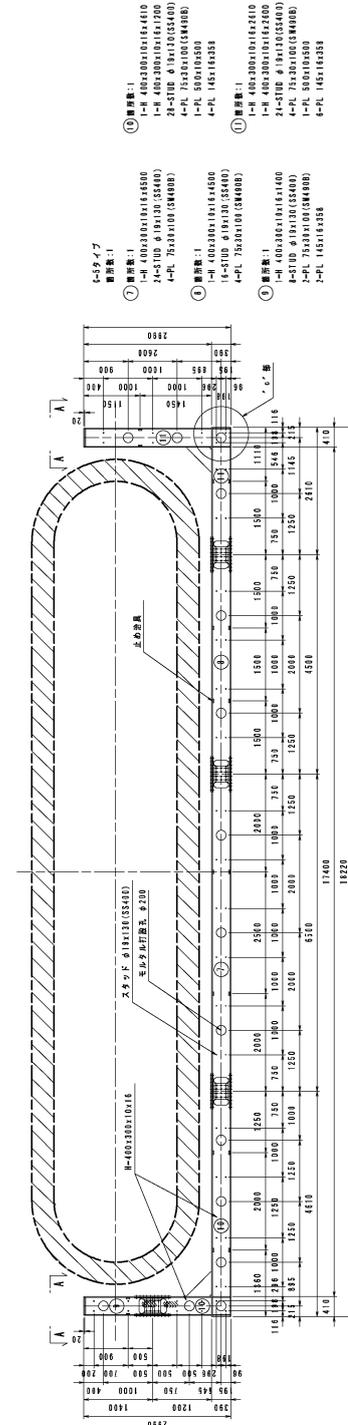
S=1:50

平面図

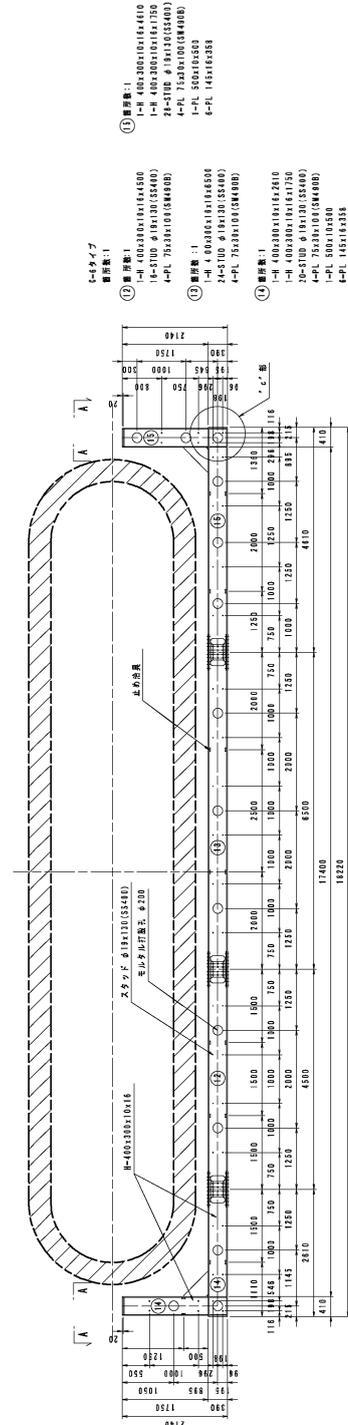
0-4タイプ



0-5タイプ



0-6タイプ



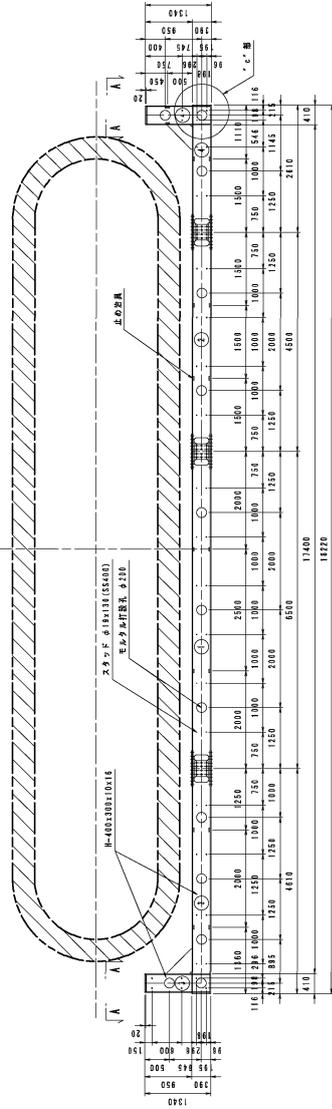
注記:
1. 鋼筋は各材表に示す通りとする。
2. 鋼筋は各材表に示す通りとする。
3. 鋼筋は各材表に示す通りとする。
4. 鋼筋は各材表に示す通りとする。
5. 鋼筋は各材表に示す通りとする。
6. 鋼筋は各材表に示す通りとする。
7. 鋼筋は各材表に示す通りとする。

工 事 名	工 事
橋 梁 名	P8橋脚給管詳細図(その5)
橋 梁 区	5-1:50 橋 梁 区 別(1)第 2 号 第 1 号
製 図 年 月	平成 23 年 3 月
近 畿 地 方 道 路 局 河 川 河 岸 部 画 印	

P8橋脚給水管詳細図(その6) S=1:50

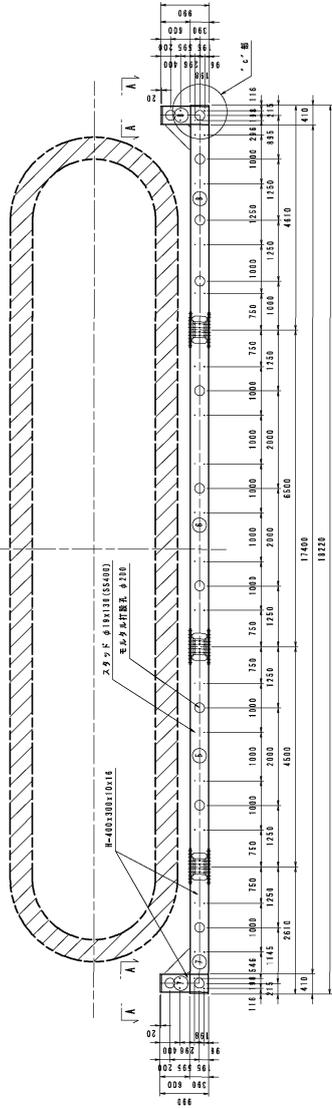
平面図

C-7タイプ



- C-7タイプ
 ① 鋼筋表-1
 1-H 400x200x18x16(4600)
 2-S 100 φ18x131(55400)
 4-PL 75x101(38400)
- ② 鋼筋表-1
 1-H 400x200x18x16(4600)
 2-S 100 φ18x131(55400)
 4-PL 75x101(38400)
- ③ 鋼筋表-1
 1-H 400x200x18x16(4616)
 2-S 100 φ18x131(55400)
 4-PL 75x101(38400)

C-8タイプ



- C-8タイプ
 ① 鋼筋表-1
 1-H 400x200x18x16(4600)
 2-S 100 φ18x131(55400)
 4-PL 75x101(38400)
- ② 鋼筋表-1
 1-H 400x200x18x16(4600)
 2-S 100 φ18x131(55400)
 4-PL 75x101(38400)
- ③ 鋼筋表-1
 1-H 400x200x18x16(4616)
 2-S 100 φ18x131(55400)
 4-PL 75x101(38400)

記号:
 1. 鋼筋は全断面はS400とする。
 2. 鋼筋はスカラーアップはS432とする。
 3. 鋼筋は全断面はS400とする。
 4. 中央部はR27(1/1)とする。
 5. 止め鋼筋はブローキックとする。
 6. 鋼筋はS400とする。
 7. 鋼筋はS400とする。
 8. 鋼筋はS400とする。
 9. 鋼筋はS400とする。
 10. 鋼筋はS400とする。
 11. 鋼筋はS400とする。
 12. 鋼筋はS400とする。
 13. 鋼筋はS400とする。
 14. 鋼筋はS400とする。
 15. 鋼筋はS400とする。
 16. 鋼筋はS400とする。
 17. 鋼筋はS400とする。
 18. 鋼筋はS400とする。
 19. 鋼筋はS400とする。
 20. 鋼筋はS400とする。
 21. 鋼筋はS400とする。
 22. 鋼筋はS400とする。
 23. 鋼筋はS400とする。
 24. 鋼筋はS400とする。
 25. 鋼筋はS400とする。
 26. 鋼筋はS400とする。
 27. 鋼筋はS400とする。
 28. 鋼筋はS400とする。
 29. 鋼筋はS400とする。
 30. 鋼筋はS400とする。
 31. 鋼筋はS400とする。
 32. 鋼筋はS400とする。
 33. 鋼筋はS400とする。
 34. 鋼筋はS400とする。
 35. 鋼筋はS400とする。
 36. 鋼筋はS400とする。
 37. 鋼筋はS400とする。
 38. 鋼筋はS400とする。
 39. 鋼筋はS400とする。
 40. 鋼筋はS400とする。
 41. 鋼筋はS400とする。
 42. 鋼筋はS400とする。
 43. 鋼筋はS400とする。
 44. 鋼筋はS400とする。
 45. 鋼筋はS400とする。
 46. 鋼筋はS400とする。
 47. 鋼筋はS400とする。
 48. 鋼筋はS400とする。
 49. 鋼筋はS400とする。
 50. 鋼筋はS400とする。
 51. 鋼筋はS400とする。
 52. 鋼筋はS400とする。
 53. 鋼筋はS400とする。
 54. 鋼筋はS400とする。
 55. 鋼筋はS400とする。
 56. 鋼筋はS400とする。
 57. 鋼筋はS400とする。
 58. 鋼筋はS400とする。
 59. 鋼筋はS400とする。
 60. 鋼筋はS400とする。
 61. 鋼筋はS400とする。
 62. 鋼筋はS400とする。
 63. 鋼筋はS400とする。
 64. 鋼筋はS400とする。
 65. 鋼筋はS400とする。
 66. 鋼筋はS400とする。
 67. 鋼筋はS400とする。
 68. 鋼筋はS400とする。
 69. 鋼筋はS400とする。
 70. 鋼筋はS400とする。
 71. 鋼筋はS400とする。
 72. 鋼筋はS400とする。
 73. 鋼筋はS400とする。
 74. 鋼筋はS400とする。
 75. 鋼筋はS400とする。
 76. 鋼筋はS400とする。
 77. 鋼筋はS400とする。
 78. 鋼筋はS400とする。
 79. 鋼筋はS400とする。
 80. 鋼筋はS400とする。
 81. 鋼筋はS400とする。
 82. 鋼筋はS400とする。
 83. 鋼筋はS400とする。
 84. 鋼筋はS400とする。
 85. 鋼筋はS400とする。
 86. 鋼筋はS400とする。
 87. 鋼筋はS400とする。
 88. 鋼筋はS400とする。
 89. 鋼筋はS400とする。
 90. 鋼筋はS400とする。
 91. 鋼筋はS400とする。
 92. 鋼筋はS400とする。
 93. 鋼筋はS400とする。
 94. 鋼筋はS400とする。
 95. 鋼筋はS400とする。
 96. 鋼筋はS400とする。
 97. 鋼筋はS400とする。
 98. 鋼筋はS400とする。
 99. 鋼筋はS400とする。
 100. 鋼筋はS400とする。

工事名	工事
図面名	P8橋脚給水管詳細図(その6)
縮尺	S=1:50 原簿番号(住工)第14
設計年月	平成 33 年 7 月
出図者	住友建設 富山 富山事務所
印	

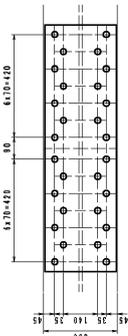
P8橋脚給水管詳細図(その7)

S=1:10

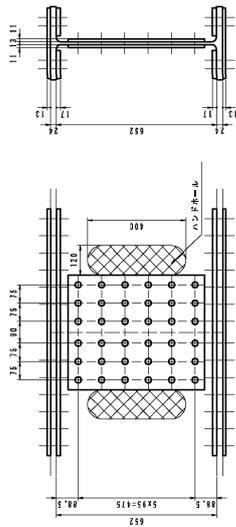
添接詳細図

断面①

標準寸法:104

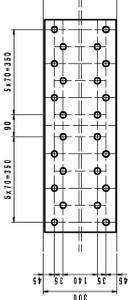


1標準筋
2-S PL 200x13x100
4-S PL 115x7x100
5R-HB R22x45(RFT)
2-S PL 115x7x100
3R-HB R22x35(RFT)

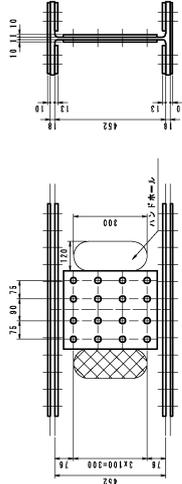


断面②

標準寸法:88

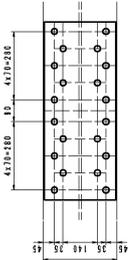


1標準筋
2-S PL 200x13x70
4-S PL 115x7x70
4R-HB R22x45(RFT)
2-S PL 115x7x70
1R-HB R22x35(RFT)

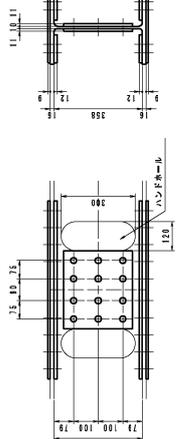


断面③

標準寸法:74



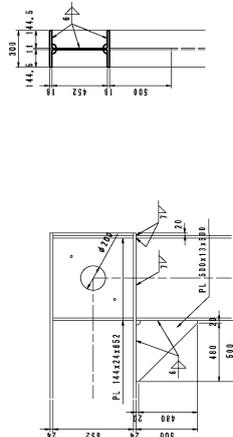
1標準筋
2-S PL 200x13x70
4-S PL 115x7x70
4R-HB R22x45(RFT)
2-S PL 115x7x70
1R-HB R22x35(RFT)



3) 基本部分の継ぎ目には継ぎ目とする。
なお、フランジは標準から、継ぎ目上は
から継ぎ目とする。

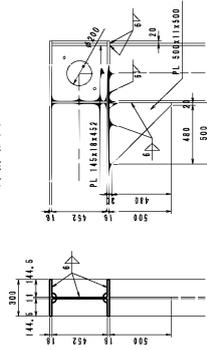
断面a

高詳細図 S=1:20



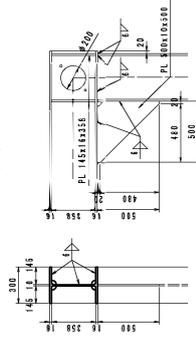
断面b

高詳細図 S=1:20

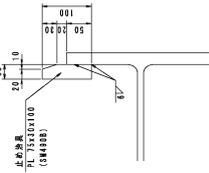


断面c

高詳細図 S=1:20

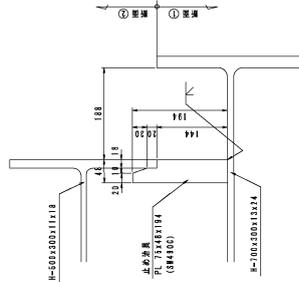


一般部

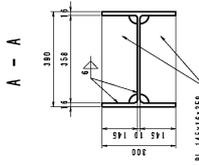
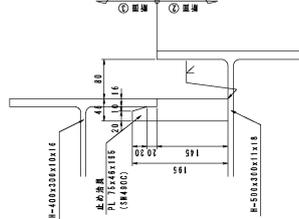


止め具詳細図 S=1:5

断面①と② 閉外側フランジ部



断面②と③ 閉外側フランジ部



- 注記:
1. 押込み部はすべてR40とする。
 2. 押込み部はすべてラップはR33とする。
 3. 押込み部はすべて接合部はすべて接合部とする。
 4. 中、下部はR22(RFT)とする。
 5. 止め具はフランジ部はすべて標準とする。

工事名	工事
調査名	P8橋脚給水管詳細図(その7)
調査日	調査年度(月)10年 2月 13
設計年月	平成 13年 3月
出図者名	橋本 寛
出図者名	野村 川 事務所
出図者名	印

5分速硬化型エポキシ樹脂系接着剤



ボンド クイックメンダー

[2液等量混合型]

ボンド クイックメンダーは、エポキシ樹脂を主成分とする2液等量混合型の速硬化型接着・充てん剤です。広範囲の硬質材を強力に接着する汎用型で、各種機械器具や家具、建具、各種構造物等の緊急補修、接着・充てんなどにすぐれた威力を発揮します。

JAIA-002397 F☆☆☆☆
JAIA-400968 4VOC基準適合

■用途

- 金属製機械や器具類の緊急接着補修、ひび割れの充てん補修
 - キャスティング時における大・小の穴埋め
 - 建築工事全般における緊急接着工事
モザイクタイルやガラス装飾品、照明器具類の接着・補修。ステンレスやアルミ建材の接着。大理石、テラゾー、レンガ、ブロック、木レンガ、ノンスリップ、スレート、アンカーピンなどの接着
 - 電気機器に
各種部品の絶縁接着。マグネットとフレームボビン、ダストコア、モーターコアなどの接着
 - 木工関係
ダボ・ホゾなどの接着や各種応急補修に
 - 工芸品・装飾品の接着
 - 高速道路・鉄道などの緊急補修
 - 家具・床タイル、床材、壁材などの接着・補修
 - コンクリートひび割れ注入時の目詰めシール、注入用座金の接着
- ※アクリル、ABS、硬質塩化ビニルにはボンド プライマー 80を使用してください。
 ※ポリエチレン、ポリプロピレン、軟質塩化ビニル、ナイロン、シリコーン樹脂、フッ素樹脂、ゴム、皮革には適しません。
 ※常時水がかかる箇所や、接着後水中浸せきする用途には適しません。

■特長

- 速硬化**：混合後、5分で硬化を開始し15分でほぼ硬化、60分で実用強度に達します。完全硬化は約12時間です。(20℃の場合)
- 接着性**：広範囲の硬質材に優れた接着性を発揮します。
- 充てん接着可能**：溶剤を含まないため、硬化後の体積収縮がほとんどなく、充てん接着ができます。
- 作業性**：使いやすい等量混合型で、壁面でもダレがほとんどありません。

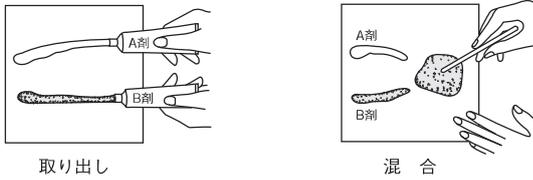
■性状

項目	A 剤(主 剤)	B 剤(硬 化 剤)
主 成 分	エポキシ樹脂	ポリチオール 三級アミン
外 観	白色ペースト状	黒色ペースト状
混 合 粘 度	約200Pa・s [23℃]	
混 合 比	主剤：硬化剤＝ 1：1 (質量比)	
比 重	1.50±0.05	
可 使 時 間	約4分 (20℃、20g)	

※数値は規格値ではありません。

■使用方法

- ①接着面の汚れ、サビ、油分などを取り除き、よく乾燥させてください。
- ②A剤およびB剤から必要量だけ等量(1:1)で取り出し、ヘラなどで充分に混合してください。



一度に混合する量は、可使時間以内に使いきれぬ量にしてください。

- ③接着面に充分に塗布し、すぐにはり合わせてください。凹凸面やすき間の多い箇所の接着には両面に塗布します。なお、すき間の充てんには、接着剤を奥まで充分に押し込んでください。作業は可使時間内に完了してください。多量に使用する場合は、混合しやすいヘラなどを使いすばやく混合してください。
- ④はり合わせた後は、動かないように治具や圧縮具などで最低固定時間以上固定してください。

鋼板同士の引張せん断接着強さにおける目安

項目	冬(5℃)	春・秋(20℃)	夏(30℃)
可使時間	15分以内	4分以内	3分以内
最低固定時間	60分以上	15分以上	10分以上
3N/mm ² に達する時間	約3時間	約60分	約60分
10N/mm ² に達する時間	約3日	約6時間	約6時間

※一度に多量に混合すると、大量発熱して時間が短くなります。

■技術データ

各種材質に対する引張せん断接着強さ(測定値例)

被着材	表面処理	接着強さ(N/mm ²)
鋼—鋼 (SS400)	サンドブラスト(A-120)	25.4
	なし	7.1
ステンレス—ステンレス (SUS304)	サンドブラスト(A-120)	22.1
	なし	4.6
アルミニウム—アルミニウム (A1050P)	サンドブラスト(A-120)	10.5
	なし	3.2
硬質塩ビ—硬質塩ビ	プライマー 80	3.4
ABS—ABS	プライマー 80	5.1*
ポリカーボネート—ポリカーボネート	サンドペーパー(A-120)	1.5

※養生：23±1℃、7日間
 試験方法：JIS K 6850に準拠
 ※は材料破壊を示す

■梱包容量

- ボンド クイックメンダー：
1kgセット(主剤：500g、硬化剤：500g)
…… 6セット/1ケース
- ボンド クイックメンダー：
500gセット(主剤：250g、硬化剤：250g)
……10セット/1ケース

■警告

健康に有害な物質を含有しています。かぶれやすい物質です。

■注意事項

本品は皮フに付着したり蒸気を吸入すると、かぶれ、中毒やその他の健康障害を起こす恐れがあります。下記の注意事項を守って取り扱ってください。

- 所定の用途以外には使用しない。●作業場所は充分に換気する。●取り扱い中は皮フにふれないように注意し、保護具を着用する。●取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行う。●作業衣などに付着した場合は、すみやかにその汚れをよく落とす。●皮フに付着した場合はすみやかにふき取り、石ケンと水でよく洗い落とす。痛みや外観に変化がある場合には医師の診察を受ける。●蒸気などを吸い気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にする。必要に応じ医師の診察を受ける。●眼に入った場合は多量の水で洗い、必要に応じ医師の診察を受ける。●保管条件：2～40℃。開封後はすみやかに使いきる。●廃液は法令に従って処理すること。

※使用にあたっては、製品安全データシート(MSDS)をお読みください。
 ※本品は使用方法・使用条件によって本来の性能を発揮できない場合があります。事前に目的の用途に適合するか必ず確認の上、ご使用ください。
 ※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいますようお願いいたします。(記載の性状等は2011年2月現在のものです。不明の点はお問い合わせ願います。)

国際単位系(SI)による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa・s、1kgf・cm=9.8×10⁻²J、1MPa=1N/mm²です。1N/mm²は約10.2kgf/cm²に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

コニシ株式会社 <http://www.bond.co.jp/>

大阪本社 / 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-1(北浜TNKビル) TEL06(6228)2961
 東京本社 / 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-3(竹橋スクエア) TEL03(5259)5737

名古屋支店 TEL052(262)8173 仙台営業所 TEL022(211)5031 南関東営業所 TEL045(663)3184 広島営業所 TEL082(507)1911
 福岡支店 TEL092(551)1764 北関東営業所 TEL027(324)3002 金沢営業所 TEL076(223)1565 高松営業所 TEL087(835)2020
 札幌支店 TEL011(731)0351

◎ はく落防止工法

ハイブリッドシート工法

① ハイブリッドシート工法とは

ハイブリッドシート工法は、コンクリートのはく落防止工法の1つです。はく落防止性能に優れた3軸ビロンメッシュを織り込んだ、特殊ラミネートシート(ショーボンドHBシート)を「貼るだけ」で、耐候性に優れたはく落防止工が施工できます。

高品質で均一な施工ができ、工期短縮にもつながる、優れた工法です。



② 主な特長

ハイブリッドシート工法は以下の特長を有しています。

1. コンクリート片のはく落対策工法です。

優れたはく落防止性能を有し、現場施工日数が短縮できる工法です。

2. 劣化(塩害・中性化)対策もできます。

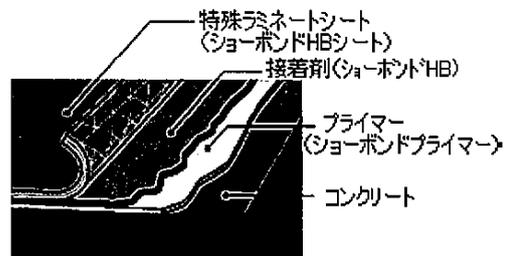
コンクリート保護塗装と同じように、塩害や中性化の抑制性能を併せ持った工法です。

3. はがさずに、そのまま重ねて補強できます。

将来、鋼板接着やCFRP接着で補強するときに、当初施工が無駄になりません。

4. 工期短縮…従来工法と比べ、交通規制日数が約半分になります。

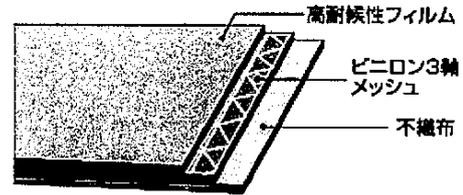
道路上で交通規制を行う跨道橋、高架橋など、迅速施工が求められる箇所で威力を発揮します。



③ HBシートの構造・特徴

コンクリート表面にHBシートを接着剤で貼る工法です。

HBシートは、コンクリートのはく落防止機能を備え、耐候性に優れた特殊ラミネートシートです。従来工法の工程を凝縮したシートなので、現場での施工が早くて品質が安定します。



●従来工法

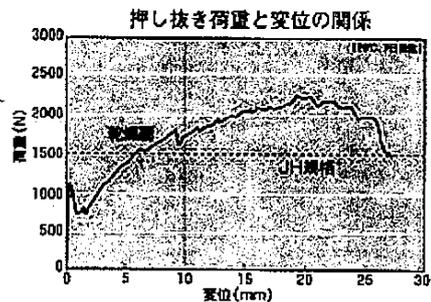
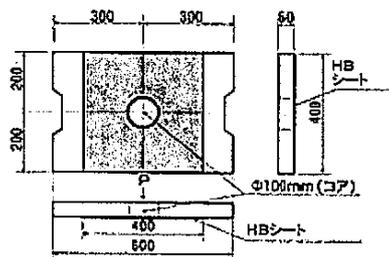


●ハイブリッドシート工法



④ 試験結果など

押し抜き試験の結果から、ハイブリッドシート工法の優れたはく落防止効果が確認されています。



また、技術審査証明(第0014号)により、以下の性能を有していることが証明されました。

1. 目標とした、コンクリート片のはく落防止性能を有している。
2. 目標とした、コンクリート構造物への劣化因子侵入抑制性能を有している。
3. 目標とした、耐久性能を有している。
4. 目標とした、再補修性能を有している。
5. 目標とした、工期の短縮が図れる。

■開発目標

(1) コンクリートのはく落防止性能

- ・荷重: 変位10mm以上で1.5kN以上(押し抜き試験)
- ・伸び: 0.6mm以上(ひび割れ追従性試験)

(2) 劣化因子侵入抑制性能

- ・塩化物イオン透過量: 0.005mg/cm²・日以下
- ・酸素透過量: 5.0×10⁻²mg/cm²・日以下
- ・水蒸気透過量: 5.0mg/cm²・日以下
- ・中性化深さ: 1mm以下(中性化阻止性試験)

(3) 耐久性能

- ・促進耐候性試験2000時間後の付着強さ:1.5N/mm²以上であり、3000時間後に外観変状がないこと
- ・耐アルカリ性試験後の付着強さ:1.5N/mm²以上であり、外観変状がないこと
- ・凍結融解試験300サイクル後の相対動弾性係数:60%以上

(4) 再補修性能

- ・部分破損した場合、その箇所に再度ラミネートシートを重ね貼りすることにより、破損前と同等の性能に回復できること

(5) 工期短縮

- ・現場積層型と比較して、現場作業の工程数を概ね半減し、工期の短縮が図れること

⑤ 使用材料

ハイブリッドシート工法で使用する材料は以下のとおりです。

- ・ショーボンドHBシート
- ・ショーボンドHBプライマー
- ・ショーボンドHB

⑥ 施工実績

本工法は、多くの実績を持ち、信頼性の高い工法です。

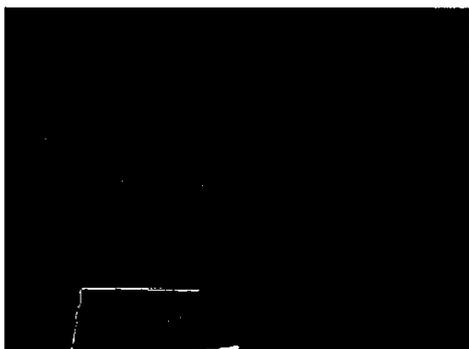
10件未満

10~100件

100~1000件

1000件以上

⑦ 写真など



⑧ お問い合わせ

ハイブリッドシート工法は、国土交通省新技術情報提供システム(NETIS)に登録されています(TH-010017-V)。

ハイブリッドシート工法は、技術審査証明を取得しました。(道路保全技術センター:第0014号)

ハイブリッドシート工法に関するお問い合わせは、弊社各営業所までお願いします。



SHO-BOND CORPORATION

系 統	2液溶剤型エポキシ樹脂系プライマー
特 長	1) 浸透性に優れ、コンクリート表面を強固にする。 2) 湿潤コンクリート、亜鉛めっき鋼板との付着性に優れる。 3) 耐水、耐アルカリ性に優れる。
用 途	1) コンクリート保護工法用プライマー
配 合 比	主 剤：硬化剤 = 1：1（重量比）
荷 姿	10kgセット（主剤／5.00kg、硬化剤／5.00kg）
外 観 性 状	主 剤…無色透明液状 硬化剤…淡褐色液状 混合物…淡褐色液状

可 使 時 間
塗 装 間 隔

温 度 [°C]	5	10	20	30	
可 使 時 間 [時 間]	10	8	6	4	
塗 装 間 隔	最 短 [時 間]	8	6	2	1
	最 長 [日]	7	7	7	7

比 重	1.00±0.10（液比重）
標 準 塗 布 量	0.1kg/m ²
貯 蔵 保 証 期 間	12か月（未使用、冷暗所保存）
消 防 法 に よ る 区 分	主 剤 危 険 物 第 4 類 第 1 石 油 類 硬 化 剤 危 険 物 第 4 類 第 1 石 油 類
日 本 接 着 剤 工 業 会 ソルベムアルテッド 製 品 登 録	J A I A - 0 0 2 9 0 5 F ☆ ☆ ☆ ☆

使 用 方 法	1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。 2) 均一になるまで混合攪拌する。 3) 刷毛、ローラー等で塗布する。
---------	--

使 用 上 の 注 意	1) 接着面の表面処理を十分に行う。（レイタンス、汚れ、水分の除去） 2) 原則として気温5℃以下、湿度85%以上、雨天時、結露時の塗装は避ける。 3) 可使時間内に塗装作業を終了する。 4) 換気のよい場所で取り扱い、火気厳禁とする。 5) 容器はその都度密栓する。
-------------	--

△ 注 意

1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。
2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
4. 詳細については製品安全データシート（MSDS）を参照してください。

- 系 統 2液無溶剤型エポキシ樹脂系プライマー
- 特 長 1) コンクリート湿潤面や鋼材に対する接着性に優れている。
2) 極めて粘度が低く、微細なひび割れ(0.2mm以下)への含浸性に優れている。
- 用 途 1) 旧日本道路公団、構造物施工管理要領「はく落防止性能の照査基準」適合
ハイブリッドシート工法用プライマー
- 配 合 比 主 剤 : 硬化剤 = 2 : 1 (重量比)
- 荷 姿 1kgセット (主剤/0.67kg、硬化剤/0.33kg)
10kgセット (主剤/6.67kg、硬化剤/3.33kg)
- 外 観 性 状 主 剤…無色透明液状
硬化剤…淡黄色透明液状
混合物…淡黄色透明液状
- 可 使 時 間
- | タ イ プ | 通 年 用 | | | |
|-------------|-------|-----|----|----|
| | 5 | 10 | 20 | 30 |
| 温 度 [°C] | | | | |
| 可 使 時 間 [分] | 210 | 140 | 60 | 40 |
- 比 重 1.15 (硬化物)
- 標 準 塗 布 量 0.15kg/m² (刷毛、ローラー)
- 貯 蔵 保 証 期 間 12か月 (未使用、冷暗所保存)
- 消 防 法 に よ る 区 分 主 剤 危 険 物 第 4 類 第 3 石 油 類
硬化剤 危 険 物 第 4 類 第 3 石 油 類
- 使 用 方 法 1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。
2) 主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。
3) 刷毛、ローラーで塗布する。
- 使 用 上 の 注 意 1) 接着面の表面処理を十分に行う (レイタンス、汚れ、水分の除去)
2) 主剤と硬化剤の混合攪拌時、空気を巻き込まないように、低速で攪拌を行う。
3) 可使時間内に作業を終了する。
4) シンナーや水を混入して使用しない。

 注 意
--

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。 2. 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。 3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。 4. 詳細については製品安全データシート (MSDS) を参照してください。 |
|---|

- 系 統 2液型エポキシ樹脂系接着剤
- 特 長 1) 適度な揺変性を有し、作業性に優れる。
2) HBシート、HBテープの含浸接着性に優れる。
- 用 途 1) 旧日本道路公団、構造物施工管理要領「はく落防止性能の照査基準」適合ハイブリッドシート工法に使用する接着剤
2) 社団法人 日本鉄道施設協会「東海道新幹線鉄筋コンクリート構造物、コンクリート保護材」A種、C種適合ハイブリッドシート工法に使用する接着剤
3) HBテープに使用する接着剤
- 配 合 比 主 剤：硬化剤 = 3：1 (重量比)
- 荷 姿 3kgセット (主剤/2.25kg、硬化剤/0.75kg)
10kgセット (主剤/7.50kg、硬化剤/2.50kg)
- 外 観 性 状 主 剤…白色グリース状
硬化剤…黒色グリース状
混合物…灰色グリース状
- 可 使 時 間
- | タ イ プ | 冬 用 (W) | | 夏 用 (S) | |
|----------|---------|----|---------|----|
| 温 度 [°C] | 5 | 15 | 20 | 30 |
| 可使時間 [分] | 100 | 40 | 60 | 20 |
- 比 重 1.15 (硬化物)
- 標 準 使 用 量 1.0kg/m²
- 貯 蔵 保 証 期 間 12か月 (未使用、冷暗所保存)
- 消 防 法 に よ る 区 分 主 剤 指定可燃物 合成樹脂類 (その他のもの)
硬化剤 指定可燃物 合成樹脂類 (その他のもの)
- 使 用 方 法 1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。
2) 主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。
3) ハイブリッドシート工法の施工マニュアルを熟読し、施工する。
- 使 用 上 の 注 意 1) 接着面の表面処理を十分に行う。(レイタンス、汚れ、水分の除去)
2) グリース状なので、混合むらがないように十分に混合攪拌する。
3) 可使時間内に作業を終了する。
4) シンナーや水を混入して使用しない。
5) ハイブリッドシート工法では、貼り付け1回当たりの必要量を確認すると同時に、可使時間内に、含浸・接着作業を終了する。

⚠ 注 意

- 健康上、注意を要する物質を含有しています。
- 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
- 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
- 詳細については製品安全データシート (MSDS) を参照してください。

製品規格表

製品名 ショーボンド HBシート

試験項目	試験方法	試験条件	単位	規格値
外観	目視	20℃	—	きず、剥がれ、変色の ないこと
質量	JIS L1096	20℃	g/m ²	150 以上
引張強さ	JIS L1096	20℃ *	N/25mm	200 以上

* 試験片 25mm 幅の中央に補強繊維 1 本を含む

HBシート-01

製品規格表

製品名 ショーボンド HBシート (Jタイプ)

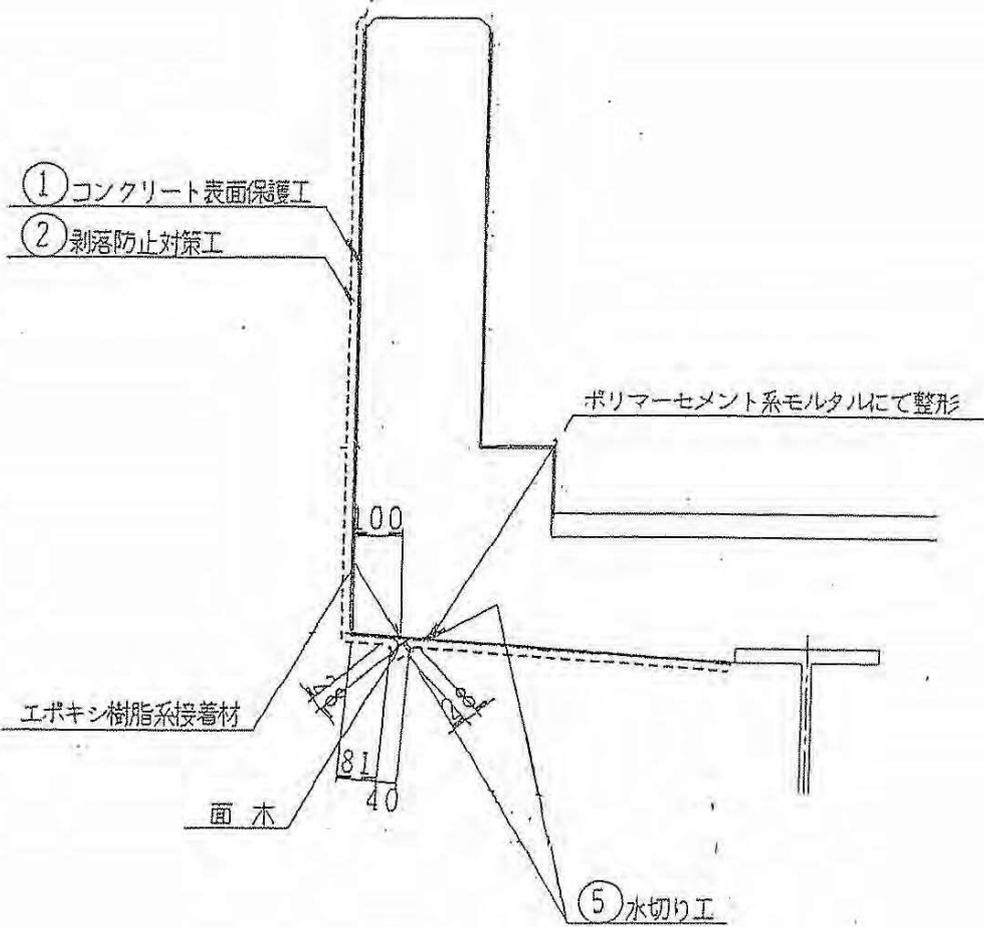
試験項目	試験方法	試験条件	単位	規格値
外観	目視	20℃	—	きず、しわ、剥がれ、変色のないこと
質量	JIS L1096	20℃ *1	g/m ²	165 以上
引張強さ	JIS L1096	20℃ *2	N/15mm	300 以上

*1 保護フィルムを含まない

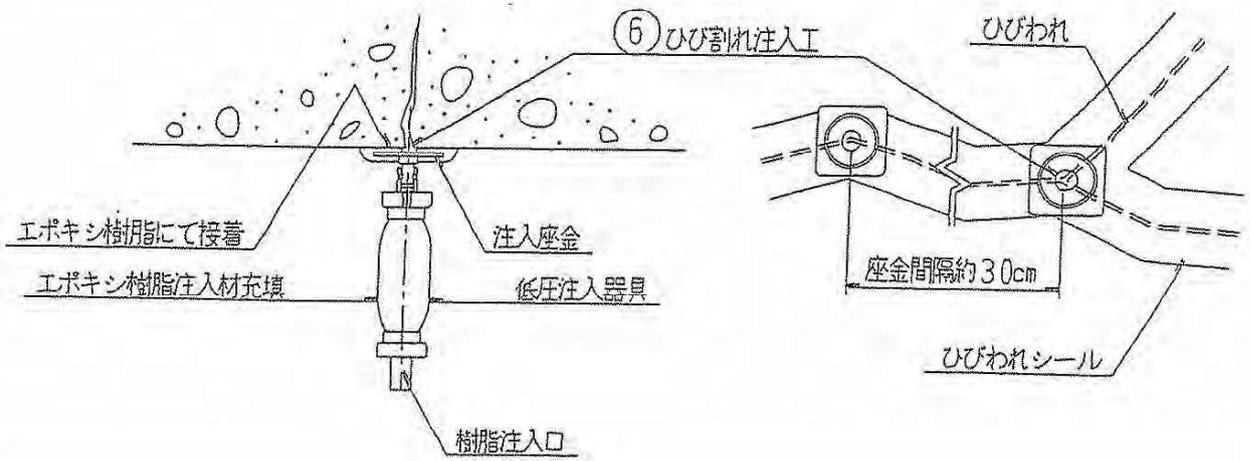
*2 試験片 15mm 幅の中央に補強繊維 2 本を含む

HBシート (Jタイプ) - 00

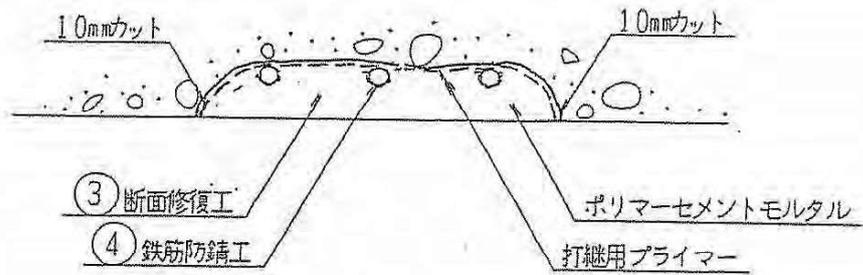
コンクリート剥落防止対策工の種別（工法概要図）



ひびわれ注入詳細図

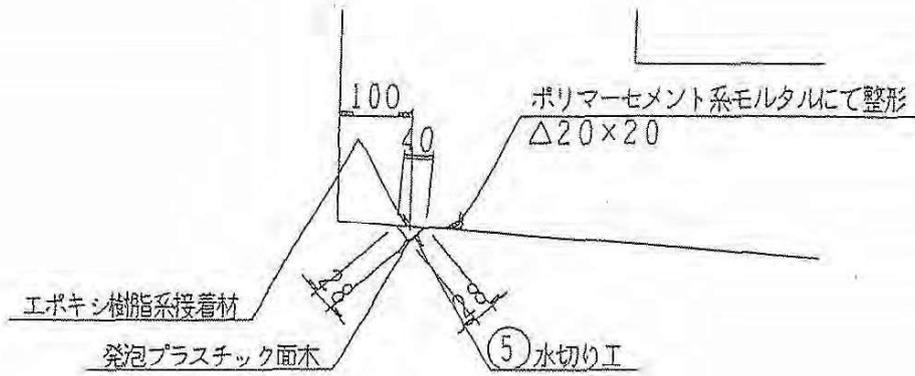


断面復旧工詳細図



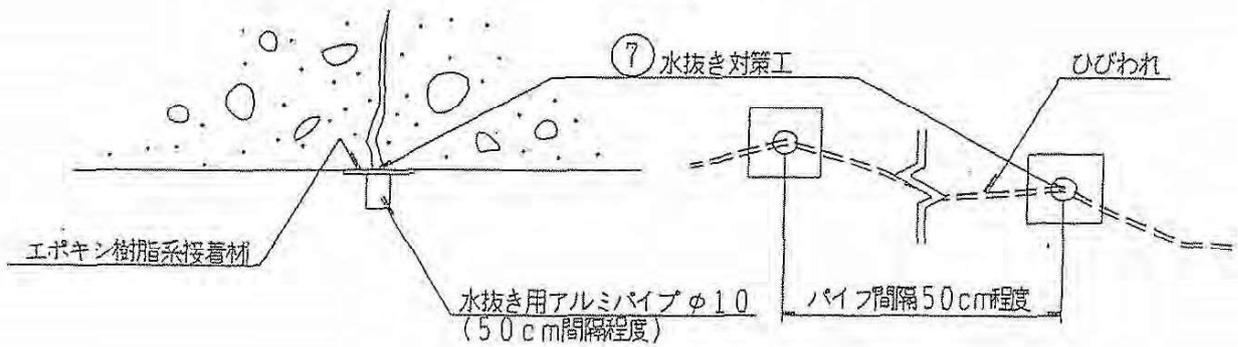
- 注) 1 既設鉄筋は下地処理後、防錆材を塗布すること。
 2 既設と補修境界部に10mm深さのカッターを入れること。

水切り工詳細図

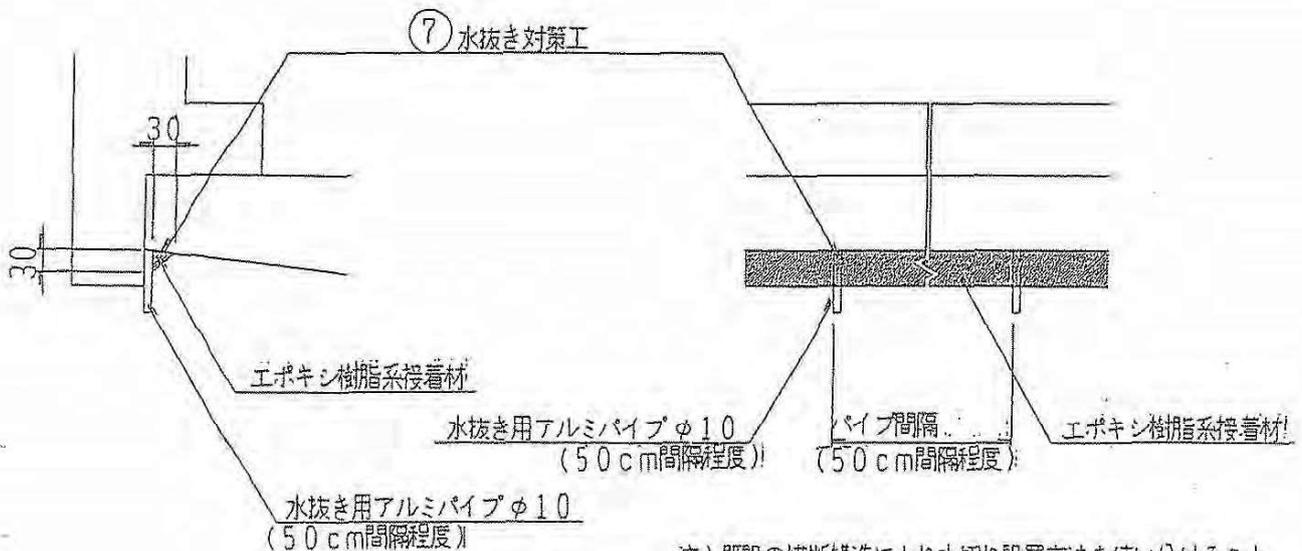


水抜きパイプ設置詳細図

(漏水を伴うひび割れや打ち継ぎ目部)



(既設の水切り部に沿って水抜きパイプを設置する場合)



注) 既設の横断構造により水切り設置方法を使い分けること



無機系はく落防止システム 「レジガードMHシステム」発売

－2004年4月5日リリース－

大日本塗料株式会社(本社大阪市、豊松正文社長)は、コンクリート構造物からのコンクリート剥落によって引き起こされる事故や災害を未然に防ぐために、無機系はく落防止システム「レジガードMHシステム」を発売した。

同社は既に発売している有機系はく落防止システムの技術を応用展開し、材料コストの削減と工程短縮が可能な無機系はく落防止システム「レジガードMHシステム」を開発した。

同システムはプライマーから上塗りまでの品揃えにより発売以来高い市場競争力を有している。今後は有機と無機の両システムの特長を生かし実績の無かった部位への採用に向けて注力していく。

(レジガードMHシステム各製品の機能と特長)

【レジガードMHプライマー】

- ・コンクリートに含浸し確実に付着する。
- ・乾燥が早い。20℃では最短2時間で次工程作業が可能。

【レジガードMHボンド】

- ・ビニロンメッシュと一体化してはく落防止機能を発揮する。
- ・施工性の良いポリマーセメントのため硬化、物性発現までの期間が短い。

【レジガードMH中塗りグレー】

- ・仕上がり外観性を向上させ外界からの腐食因子遮断機能を有する。
- ・架橋型水系エポキシ樹脂塗料のためボンドの物性低下を抑制し高耐久性の溶剤形上塗りを塗装できる。

【レジガードMH上塗り】

- ・高耐候性と各種腐食因子に対し高遮断機能を持つ。
- ・耐候性促進テストで3000時間をクリアーできるシリコン変性アクリル樹脂上塗り塗料。

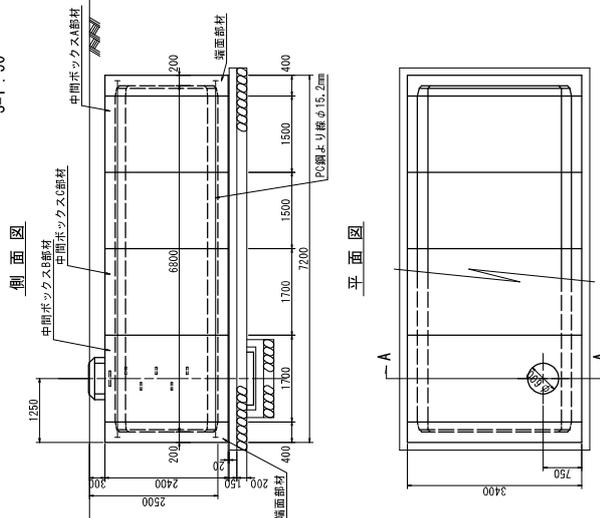
(用 途) コンクリート構造物

(お問い合わせ)

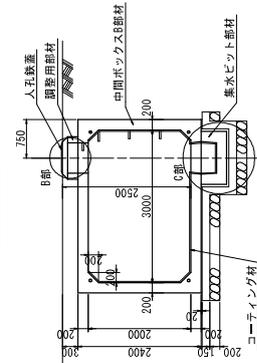
- ・ 一般塗料部構造物塗料グループ (東京) 03-5710-4502
(大阪) 06-6466-6626
- ・ 塗料相談室(フリーコール) 0088-22-1641

防火水槽構造図

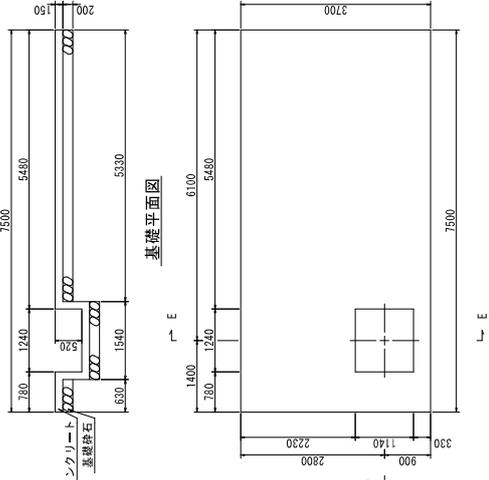
組立図 S=1:50



A-A 断面図



基礎図 S=1:50



止水仕様(防水工)材料表

種別	算式	数量
コーティング材	$(2.80 \times 2.40 + 4.00 \times 2.00 + 2.00 \times 2.00) \times 2 \times 2.7 \times 1.2$	61.0 m ²
コーキング材 1	$(2.80 \times 2.40 + 4.00 \times 2.00 + 2.00 \times 2.00) \times 2 \times 1.5 \times (0.04 + 0.15)$	49.7 m
中間ボックス、上面部材	$(2.80 \times 2.40 + 4.00 \times 2.00) \times 5 \times 0.04 \times 1$	51.3 m
シール材	$(4.00 \times 2.00) \times 2 \times 1$	3.6 m
調整用部材	$(2.80 \times 2.40 + 2.00 \times 2.00) \times 2 \times 1$	4.7 m
コーキング材 1	$(0.04 \times 2.40 + 0.07 \times 2.40 + 0.07 \times 2.40) \times 4$	0.001 m ³
バックアップ	$(2.80 \times 2.40 + 4.00 \times 2.00 + 2.00 \times 2.00) \times 4 \times 7$	47 m

基礎数量表

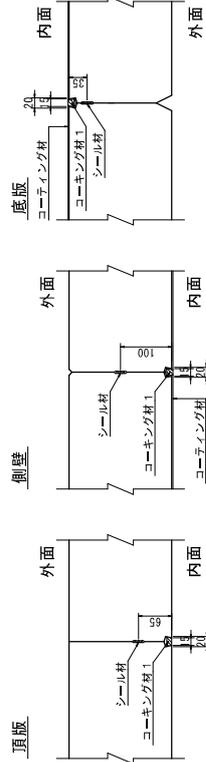
種別	算式	数量	備考
基礎コンクリート	$(2.80 \times 2.40 + 1.44 \times 2.00 + 0.16 \times 2.00) \times 1.5$	4.581 m ³	σck=18.0 N/mm ²
基礎砕石	$(2.80 \times 2.40 + 1.44 \times 2.00 + 0.16 \times 2.00) \times 1.5 \times 0.15 \times 0.52$	8.334 m ³	
基礎砕石	$2.7 \times 2.7 \times 0.2$	0.461 m ³	
鉄モルタル	$(2.80 \times 2.40 + 1.44 \times 2.00 + 0.16 \times 2.00)$	0.461 m ³	

防火水槽明細書

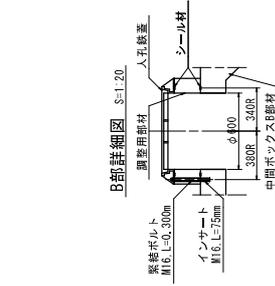
型式番号	防火水槽型式	
型式記号	140-1-A-3, 0/1.0	
容量	40.16 m ³	
設計所重	10.0 kN/m ²	
設置場所	1 型	
土被り厚	0.300 m	
形状	縦横ボックスカルバート型	
材料	規格または算式	
中間ボックスB部材	3.4m x 2.4m x 1.5m	2 個
中間ボックスC部材	3.4m x 2.4m x 1.7m	1 個
中間ボックスE部材	3.4m x 2.4m x 1.7m	1 個
上面部材	3.4m x 2.4m x 0.4m	2 個
集水ピット部材	PH50 (1.04m x 1.04m x 0.50m)	1 個
調整用部材	φ0.83m, R1200	1 個
PC鋼より線	φ15.2mm, L=7.8m	4 本, SPR75
定着具	アンカープレート、グリッド	8 組, 縦面部材用
グラウト	0.123 x 0.07 x 0.07 x 0.08 x 0.07 x 0.07 x 0.08	0.047 m ³ , σck=30 N/mm ²
緊締ボルト	M16 L=0.300m (ナット、垫金付)	3 組
人孔鉄蓋	φ600	1 組
六角ボルト	M20 L=200mm (ワッシャー付)	4 組
GキャップE	-	8 組

※内面防水は、コーティング仕様とする。
※日本消防設備安全センターの認定品である。

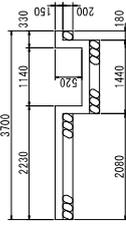
継手部詳細図 S=1:5



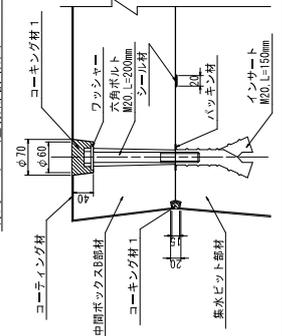
B部詳細図 S=1:20



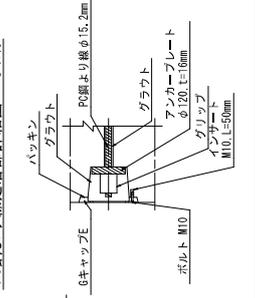
E-E 断面図



集水ピット連結部詳細図 S=1:5



PC鋼より線定着部詳細図 S=1:10

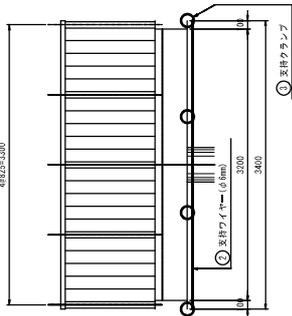
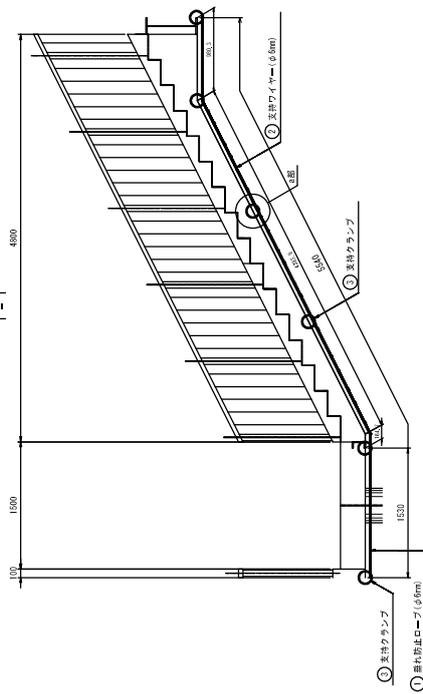


剥落防止ネット工計画図

(海側)

断面図 S=1:30

3-3



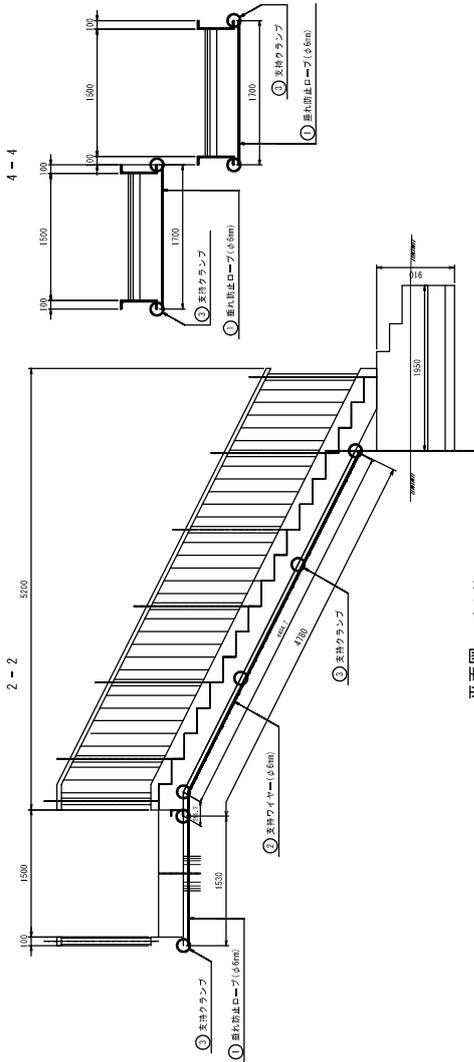
a部詳細

剥落防止ネット標準材料表

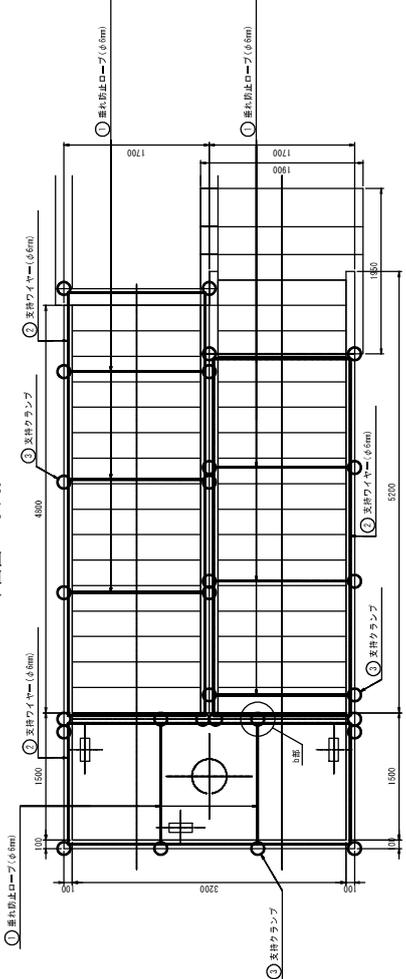
番号	材料名称	方法	材質	単位	数量	備考
①	垂直防止ロープ	φ4.5(三つ打毛)	ナイロン 6mm	n	13.6	縦長中歩道橋
②	支持ワイヤー	φ8(4φ6×2)	JIS S 3525 (種ナッキ)	n	31.3	縦長中歩道橋
③	支持クランプ			個	28	縦長中歩道橋
④	別注式打込みアンカー	W10×10		本		
⑤	支持ワイヤースト	鋼線(名目径10mm)		個		
⑥	接続器具	φ8 (径長50mm)	AK 1001	個	6	縦長中歩道橋
⑦	ワイヤークリップ	φ8 (径長50mm)	JIS S 2009 ネットキ	個	24	縦長中歩道橋
⑧	横め込みロープ	φ4.5(三つ打毛)		本		
⑨	用器ロープ	φ4.5(三つ打毛)		n	31.3	縦長中歩道橋
⑩	剥落防止ネット	10mm目合い(素) 1500E:2本 10mm目	ナイロン(防着立工) 1500E:2本 10mm目	m ²	22.7	縦長中歩道橋
⑪	平歩接続材	13株×30	発泡スチレン	n		
⑫	発泡スチレン接続材		エポキシ樹脂接着剤	n		

b部詳細

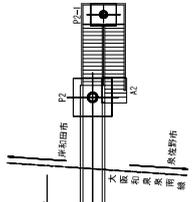
支持ワイヤー終末処理詳細



平面図 S=1:30



位置図 S=1:200



注:この図面は、標準仕様および種別一級品を以て構成方法を例示したものである。

縦長中歩道橋
剥落防止ネット工数量表

単位	数量	合計
上段	m ² 9.4	
下段	m ² 8.1	
側面部	m ² 5.2	
合計	m ² 22.7	

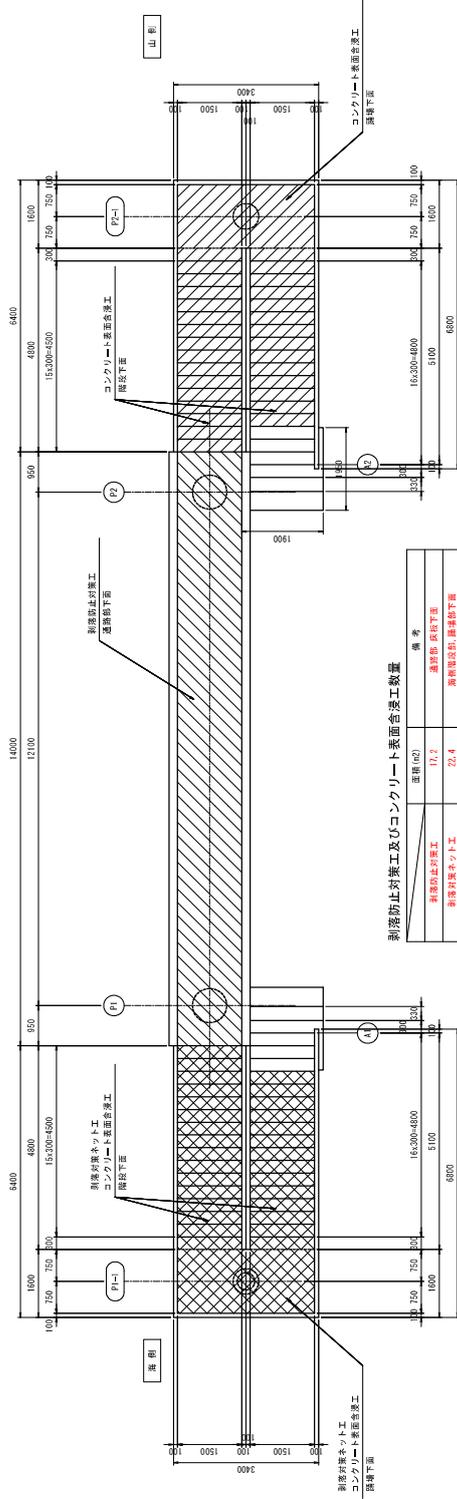
図面名称	数量	単位	備考
剥落防止ネット工	1	枚	
支持ワイヤー	1	巻	
支持クランプ	1	個	
接続器具	1	個	
ワイヤークリップ	1	個	
ネット用器ロープ	1	巻	

補修詳細図(その1)

S=1:60

剥落防止対策工及びコンクリート表面合浸工

平面図

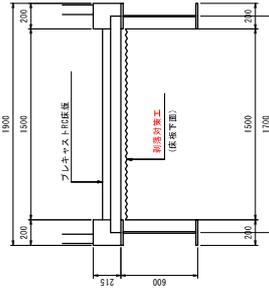


剥落防止対策工及びコンクリート表面合浸工数量

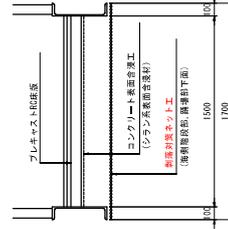
項目(㎡)	単価	備考
剥落防止対策工	17.2	透層部、底層下面
剥落防止対策工	22.4	透層部、底層下面
コンクリート表面合浸工	35.2	シラン系浸透防水剤、塗布(1層) 標準使用量 0.3リットル/㎡

断面図 S=1:20

通路部

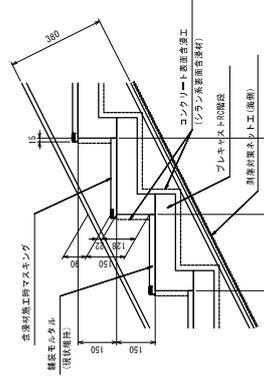


階段部、踊り場部



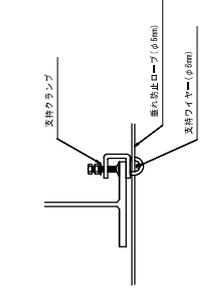
剥落対策工詳細図

コンクリート表面合浸工詳細図

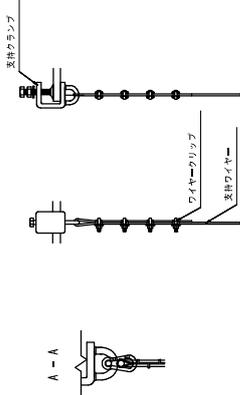


剥落防止ネット詳細図

支持クランプ取付要領



支持ワイヤー終末処理詳細



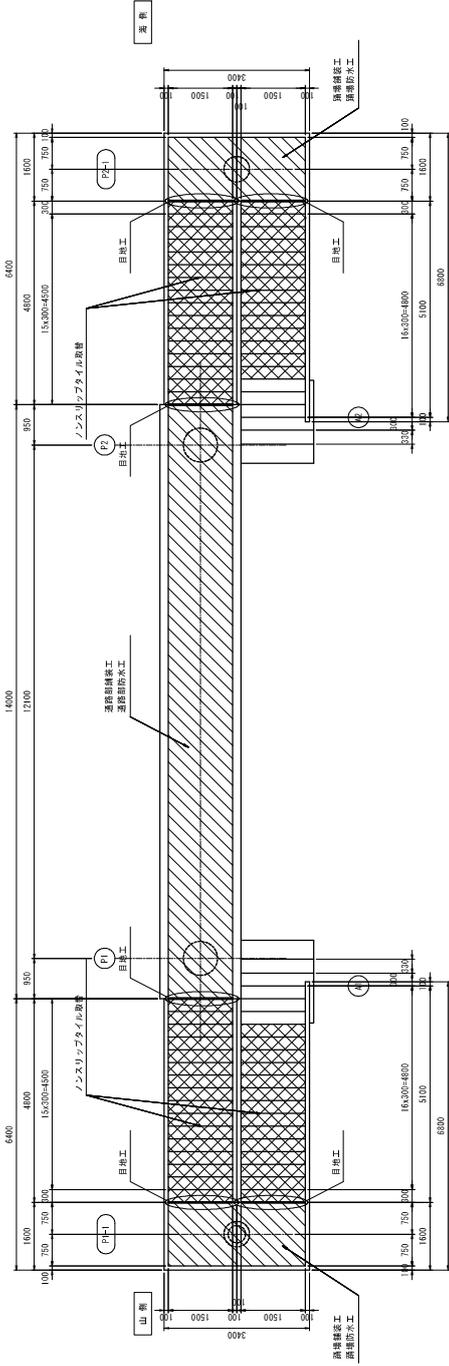
図番	図名	図尺	番	号
作成	作成者	承認者	承認日	年月日
設計	設計者	監理者	監理日	年月日
施工	施工者	検査者	検査日	年月日

補修詳細図(その2)

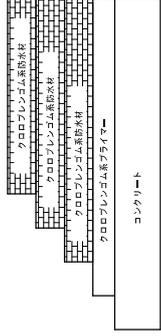
S=1:60

橋面防水工及びノンスリップタイル取替工

平面図



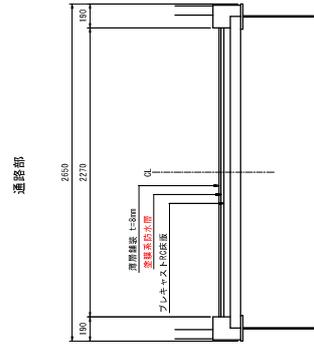
塗膜系床版防水層(ゴム溶剤型)の層構成



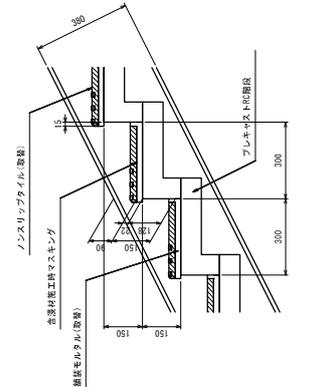
エポキシ樹脂薄層の層構成



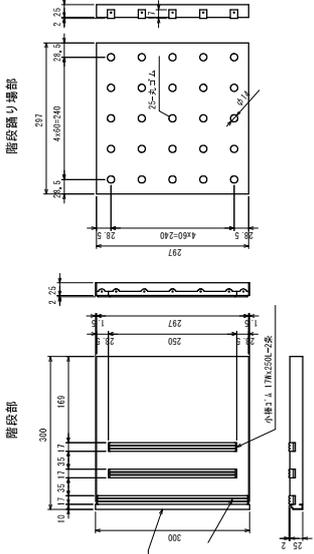
防水層範囲 S=1:20



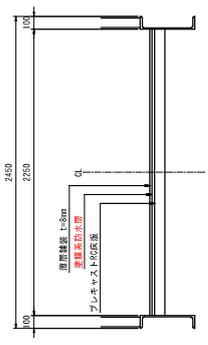
ノンスリップタイル取替工詳細図 S=1:10



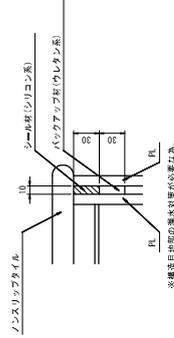
ノンスリップタイル詳細図 S=1:5



隅部



階段取付部目地工詳細 S=1:3



※構造物周囲の漏水対策が必要な為、
埋設時と同等の目地工を再施工する。

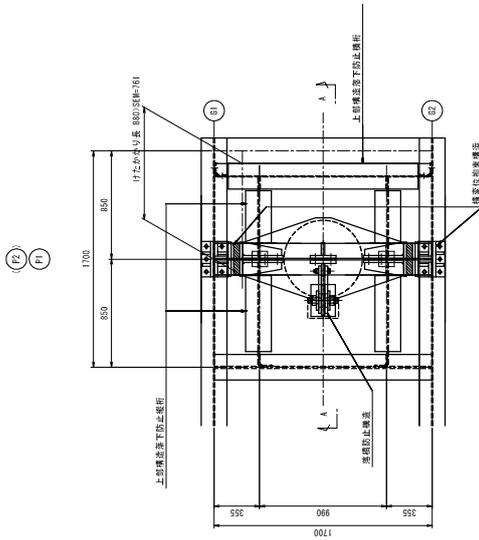
注記
1.補修箇所は、必ず現況確認の上で施工を行うこと。
2.施工に関しては、必ず現況にて補修箇所及び数量
を確認の上で行うこと。

図番	図名	図号	年月
01	橋面補修工事	01	10/10
02	橋面補修工事	02	10/10
03	橋面補修工事	03	10/10
04	橋面補修工事	04	10/10
05	橋面補修工事	05	10/10
06	橋面補修工事	06	10/10
07	橋面補修工事	07	10/10
08	橋面補修工事	08	10/10
09	橋面補修工事	09	10/10
10	橋面補修工事	10	10/10

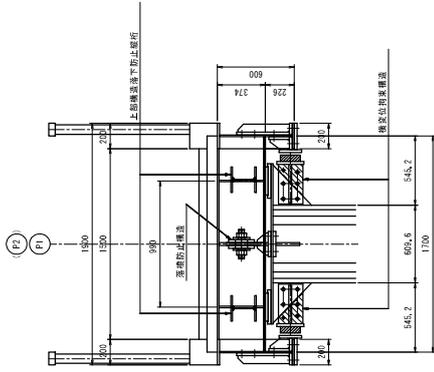
麻生中歩道橋 落橋防止システム構造図

S=1:20

平面図



支点上断面図



塗装仕様

一般部外面塗装仕様

(C-5 塗装系)



高ガボルト連結部塗装仕様

(F-11 塗装系)

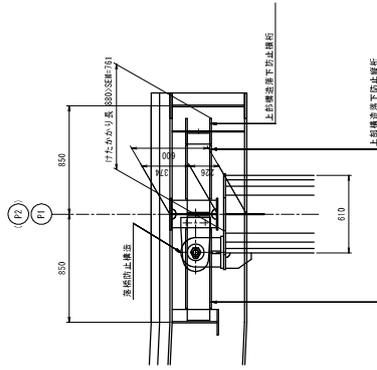


溶接部塗装仕様

(F-13 塗装系)



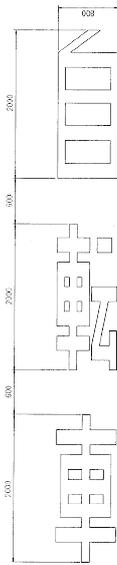
A-A



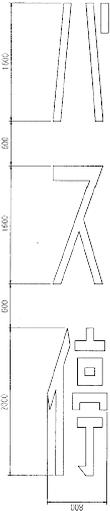
図名	図番	縮尺	単位	備考
麻生中歩道橋				
作成者	大塚製作所(株)麻生中			
図番	主筋配置図 大塚製作所			
設計者	麻生中歩道橋			
監理者	麻生中歩道橋			
図面	図 1			
縮尺	1/20			
単位	mm			
備考	大塚製作所(株)麻生中			

注記
1. 落橋防止システムを設けるうえで、排水管が邪魔がある場合は撤去、覆田を行うこと。

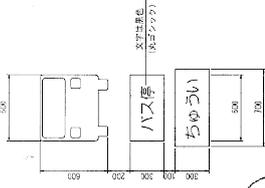
自転車文字 S=1:30
文字：白



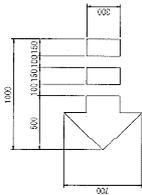
バス停文字 S=1:30
文字：白



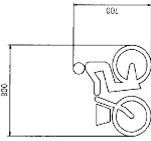
バス停注記記号 S=1:20
文字：青
下地：青



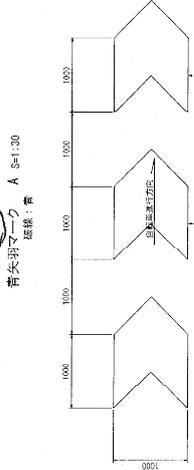
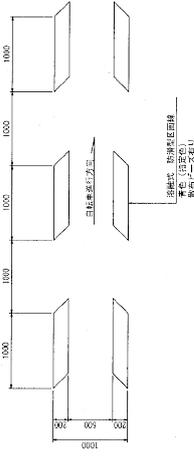
矢印 S=1:20
文字：白



自転車記号 S=1:20
記号：白



青本羽マーク B S=1:30
図様：青



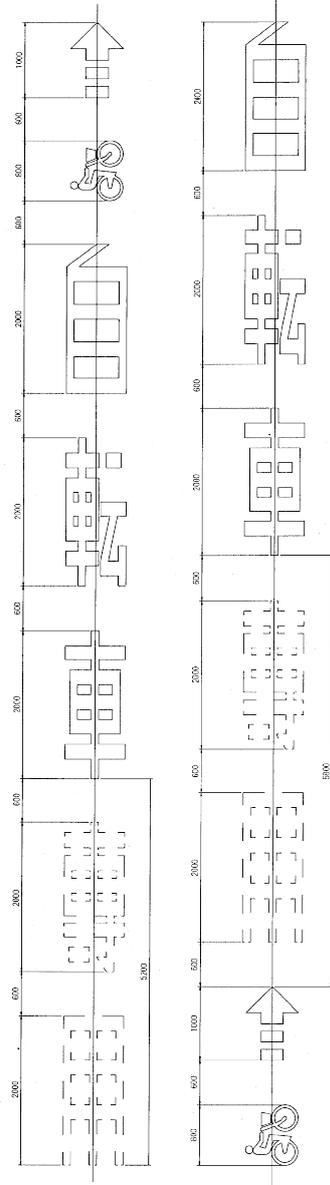
羽マーク 羽の長さを調整する
青印 (羽の長さを調整する)
羽の長さを調整する

1

3

2

文字記号配置図 S=1:30



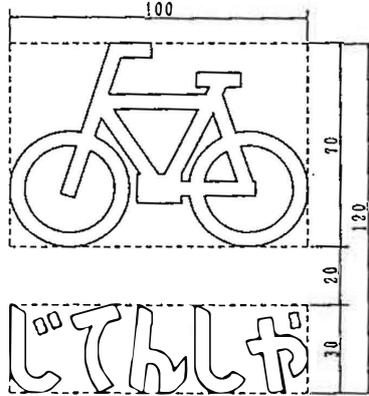
工事名				
場所				
図面名称	構造図 (1)			
縮尺	図示			
年月				
日				
年	平成25年			
月				

自転車図示標示と文字標示の組合せ

(東京警視庁指定)

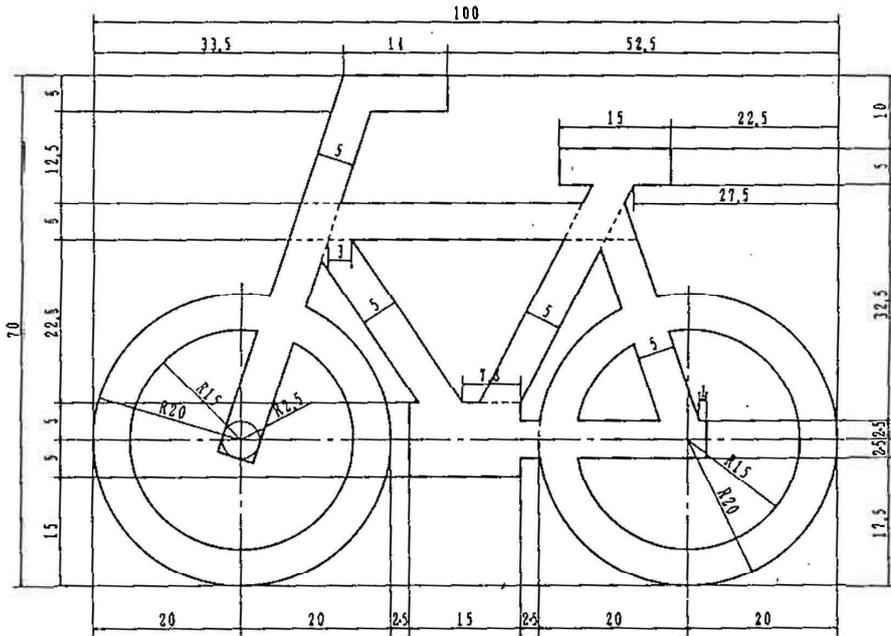
$L_e=2.27m$

$L_p=2.6m$



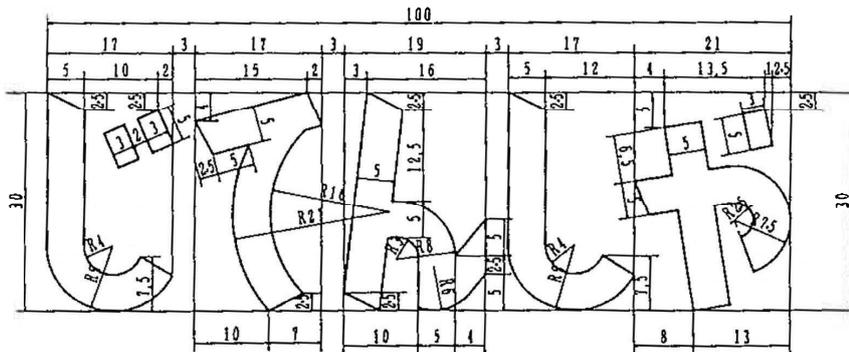
$L_e=1.53m$

$L_p=1.8m$



$L_e=0.74m$

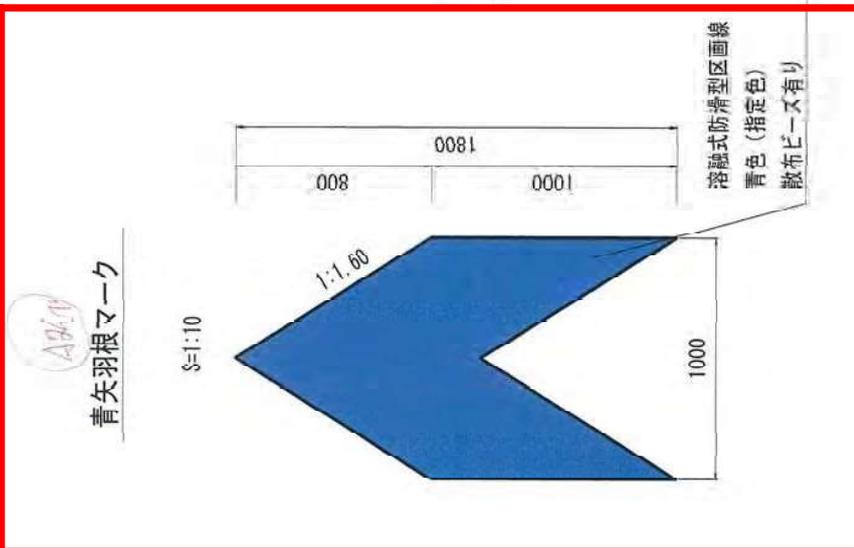
$L_p=0.8m$



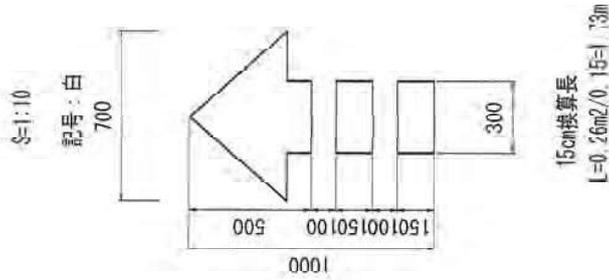
矢羽根等寸法図

Aタイプ

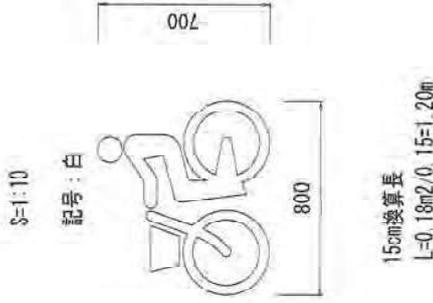
青矢羽根マーク



矢印



自転車マーク



逆走防止看板



備考：矢羽根、自転車マーク、印字などは、次の資料による。

○3号仕様

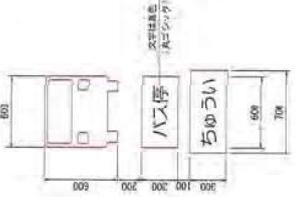
- 標高線：1.0m間隔（区間で体積が異なる利用種別間にはライン間隔が0.5m）
 - 交差点線：2.0m間隔（自転車通行手続を完了した交差点設計の時は、0.07m）
 - 形状：溶融式工法が基本
- 併設マーク、矢印
- 標高線：2.0m間隔（区間で体積が異なる利用種別間にはライン間隔が1.0m）
 - 交差点線：交差点形状に併設設置（完全に位置が異なる利用種別間にはライン間隔が1.0m）
 - 形状：溶融式工法が基本

年度	平成25年度	計画年度	25年度
工事名	自転車専用区画設置工事		
工事箇所	高士木事務所周辺地区内		
図面名	矢羽根等寸法図		
冊子	1/200	作成年月日	平成25年7月

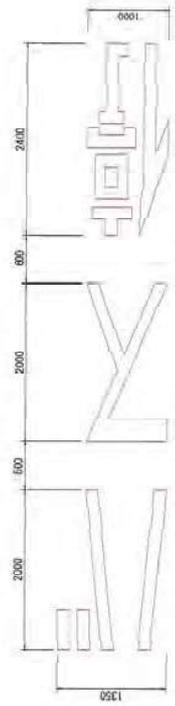
大阪府 高士木事務所

富山台地区(富山台茶山台線) 構造図(1)

バス停注意記号(標準) S=1.20
 記号: 白
 文字: 黒

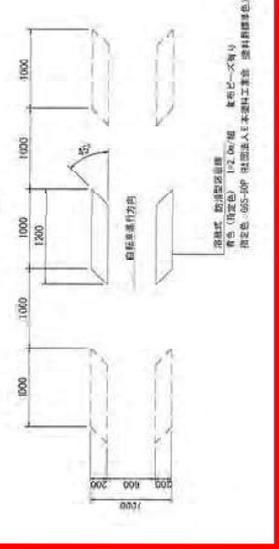


バス停文字(標準) S=1.30
 文字: 白

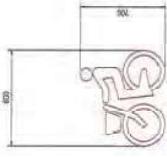


Le=16.5m
 Lp=19.8m
 (3文字)

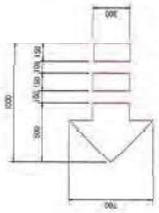
矢羽標B(標準) S=1.30
 記号(指定色)



自転車記号(標準) S=1.20
 記号: 白

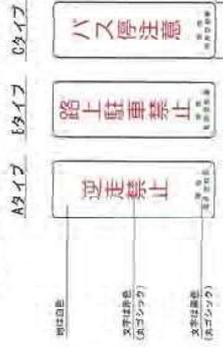


矢印 S=1.30
 文字: 白



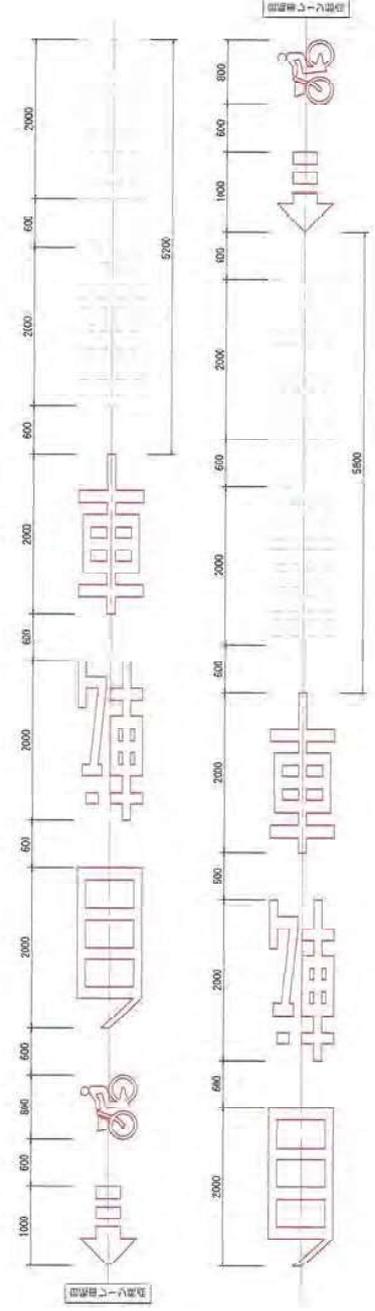
Le=1.7m
 Lp=2.1m

注意看板(標準) S=1.15
 W500mm×H1000mm×厚み0.5mm
 アルミニウム製、熱入プレス、ステンレスバンド2点固定



Aタイプ Bタイプ Cタイプ

文字記号配置図(標準) S=1.30



路面着色(標準) (参考) ※自転車レーン幅員1.5mの場合
 樹脂系すべり止め舗装 RPN-501
 指定色: R65-GP (社団法人日本塗料工業会 塗料標準色)

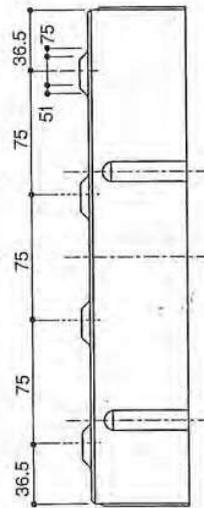
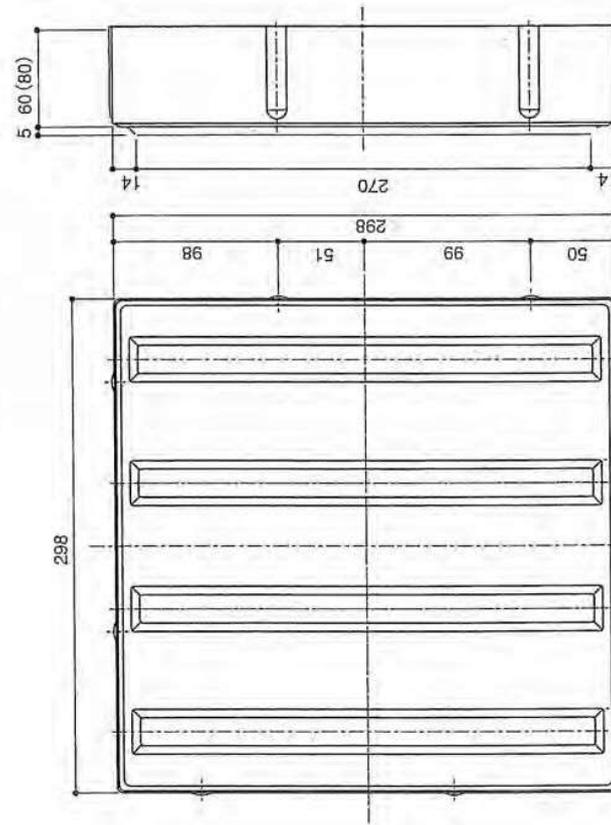
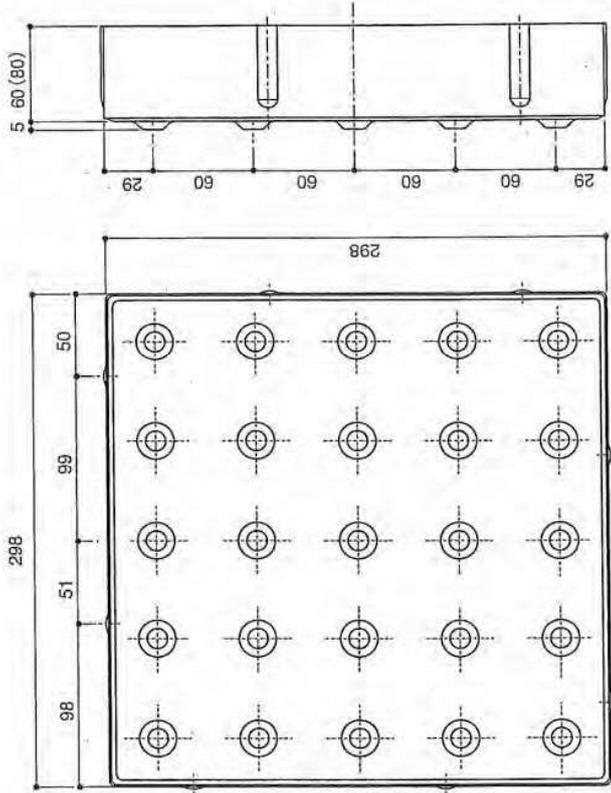


※用紙サイズがA3の場合、縮尺は表示の1/2
 工名: 富山台地区(富山台茶山台線)自転車専用道路環境整備工事
 場所: 【富山台地区】南富山台線か

図面名称	構造図(1)	図番	1/9
縮尺	表示	製	
検		保	
査		長	
監		理	
理		者	
作		図	
者		名	
作		日	

平成28年11月 自転車環境整備課

15



位置表示平板 NO. 03-2 (乾式成型不透水タイプ)
NO. 04-2 (乾式成型透水タイプ)

誘導表示平板 NO. 03-1 (乾式成型不透水タイプ)
NO. 04-1 (乾式成型透水タイプ)

警告
 施工の際は部材の固定を確実に行ってください。
 固定が十分でないとき、倒壊、欠落等の危険があります。

*JIS T9251:2001 による

File name	Dim
Scale=1/5	視覚障害者用誘導ブロック (乾式成型透水・不透水タイプ)

耐久性にすぐれた点字シートの貼付施工タイプ

ステップガイド点字シート

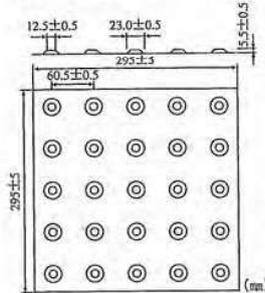
下地塗料（アクリライトVH-Y）を塗布したあと、点字シートを設置する貼付タイプで、きれいに仕上がり、耐久性・強度ともにすぐれています。

点状 ● 輪荷重による変形がなく、路面の凹凸にも追随し、美しく仕上げることができます。

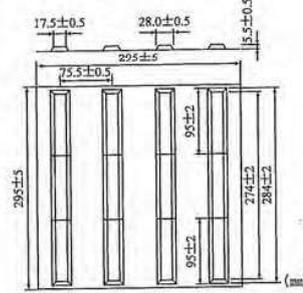
線状 ● 輪荷重による変形がなく、狭い現場にも対応でき、しかもガス・水道工事などの道路復旧も容易に行えます。

形状・寸法及びその配列 ※製品寸法

●TJタイプ



●SJタイプ



設置方法

下地施工

マスキング後、下地塗料をコテ等で塗布します。



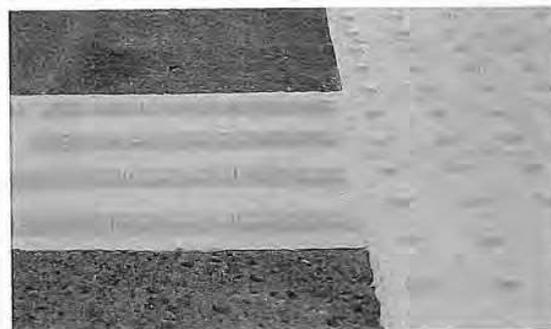
点字シート貼付

点字シートを貼付した後、刷毛等でなじませます。



完成

すみやかにテープを除去し、下地塗料の硬化を確認し、トップコートを上塗りして完成です。



製品規格

●点字シート

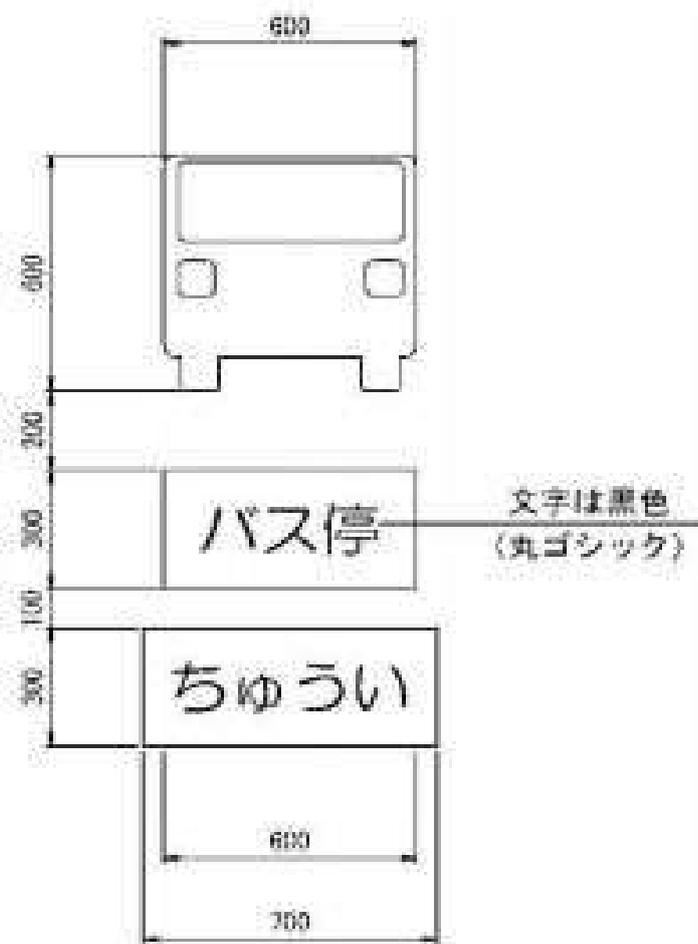
項目	品質規格
密度 (23℃)	1.7 ± 0.2 g/cm ³
圧縮強さ (23℃)	0.802kN/cm ² 以上
曲げ強度 (23℃)	4.903MPa以上
引張強度 (23℃)	2.942MPa以上
耐摩耗性	200mg以下
すべり抵抗値	50 (BPN) 以上
耐候性	暴露12ヶ月の試験でしわ、割れを認めないこと
色相 (色差)	標準黄色見本との色差 (ΔE) 3.0以内

●アクリライトVH-Y

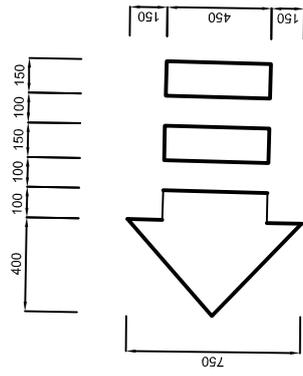
項目	品質規格
密度 (23℃)	1.7 ± 0.2 g/cm ³
可使時間 (23℃)	5~15分
硬化時間 (23℃)	45分以内
圧縮強さ (23℃)	0.802kN/cm ² 以上
粘度 (23℃)	3,000~7,000Pa·s
引張接着強さ	0.049kN/cm ² 以上
耐候性	暴露12ヶ月の試験でしわ、割れを認めないこと
色相 (色差)	標準黄色見本との色差 (ΔE) 3.0以内

●色 黄色を標準色とする。

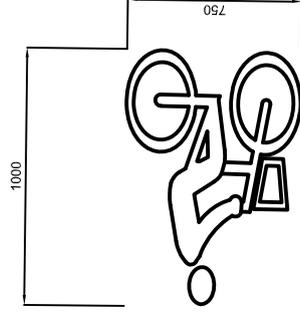
[日塗工No.22-80V (No.308) マンセル値(参考) 2.5Y8/12]



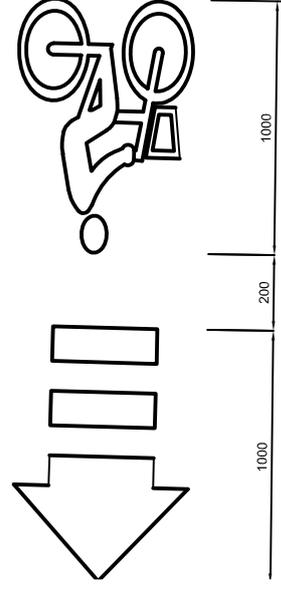
矢印



ピクト



15cm換算延長
 $L=0.33/0.15 \times 1.2$
 $=2.64\text{m/箇所}$

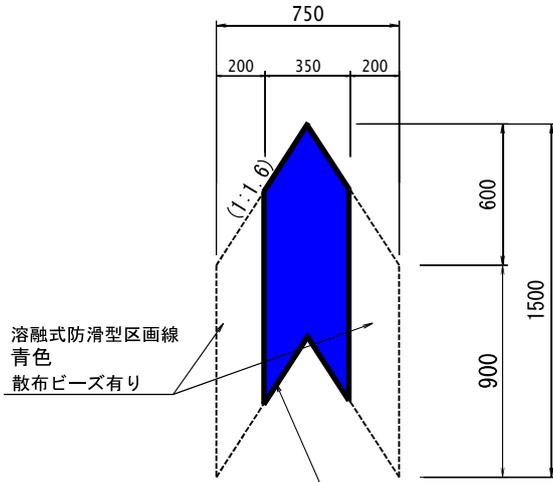


自転車マーク (矢印およびピクト)
(大阪府自転車通行空間法定外表示実施要領 (改定版) H29.3版)

【青矢羽マーク概要】

・「排水性舗装の場合」と「排水性舗装でない場合」2種類の材工含む見積りを願います。
 (別添「薄層カラー舗装の工法比較表」の囲い箇所を参考願います。工法は、1.塗布工法 塗布式と2.排水性トップコート工法 ※1をとします。)

・幅0.35mの青矢羽とする。



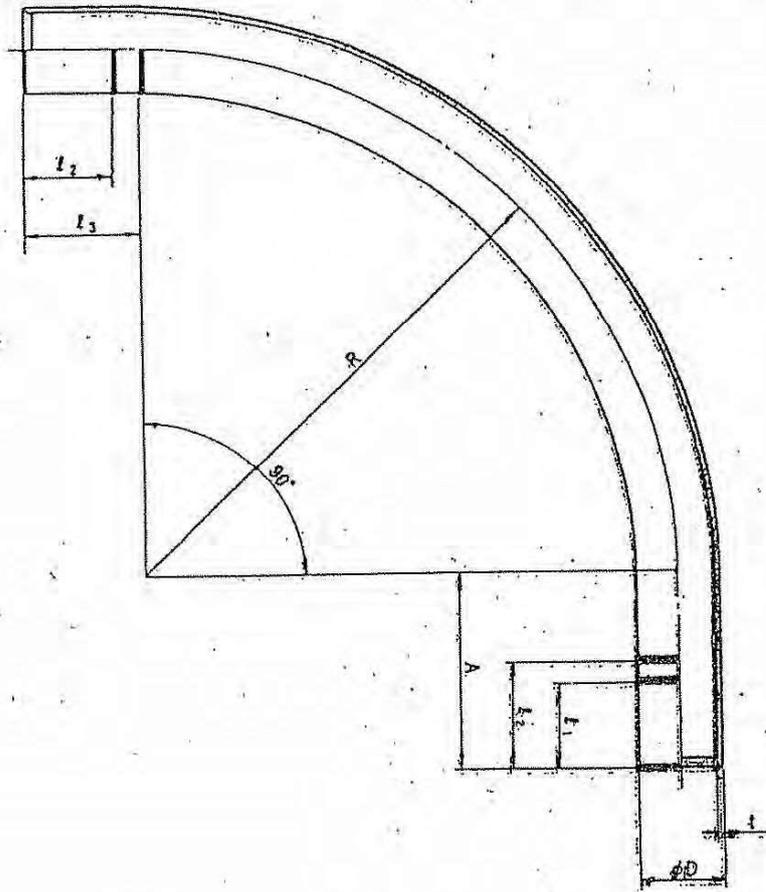
密粒舗装部：薄層舗装工（塗布工法 塗布式）青 0.3～0.5mm
 排水性舗装部：薄層舗装工（排水性トップコート工法）青 0.3～0.5mm

※実線で囲った箇所が、今回の見積依頼内容です

施工規模について

	施工延長 (km)	個数	
		密粒 (個)	排水性 (個)
①	3	260	470
②	3	360	340

電共 PV管



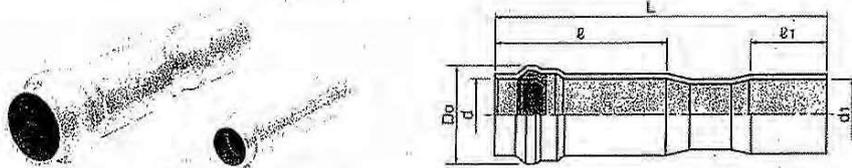
単位：mm

対象品	呼び径	ID	t	A	L ₁	L ₂	L ₃	R
	25	34.0±0.3	3.0±0.30	400	65	85	115	500
	50	50.0±0.5	4.5±0.40	400	100	120	150	500
	75	96.0±0.6	6.5±0.55	400	130	150	190	1000

備考：クボク規制品。

Vカンツギテ (ビニル管差込み継手)

品番8082



単位:mm

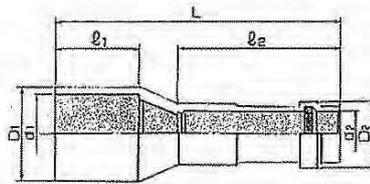
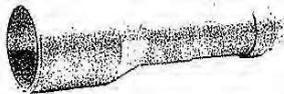
呼び径	ゴム輪受口部			接着受口部		全長 L (参考)
	D ₀ (参考)	d (基本寸法)	l (標準)	d ₁ (基本寸法)	l ₁ (標準)	
25	50	34.6	115	34.55	40	163
No. 13	84	61.0	144	60.8	63	277
No. 12	129	97.3	175	96.8	75	257

備考: 1. 呼び径75は、日本通信電材(株)製で、上図と形状が異なります。
2. 呼び径25は、上図と形状が異なります。

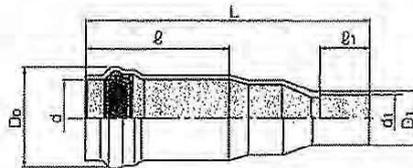
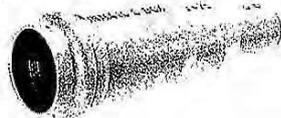
異径管差込み継手

品番8711

(25mm-50mm)



(75mm-50mm)



(25mm-50mm)

単位:mm

接着受口部			ゴム輪受口部			全長 L (参考)
D ₁ (参考)	d ₁ (基本寸法)	l ₁ (標準)	D ₂ (参考)	d ₂ (基本寸法)	l ₂ (標準)	
70	60.8	63	50	34.6	122.5	214.5

(75mm-50mm)

単位:mm

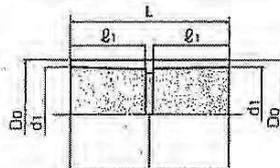
ゴム輪受口部			接着受口部			全長 L (参考)
D ₀ (参考)	d (基本寸法)	l (標準)	D ₁ (参考)	d ₁ (基本寸法)	l ₁ (標準)	
129	97.3	182	70	60.8	63	360

備考: ゴム輪は75mm差込み継手硬質塩化ビニル管 (P-Vカン) のゴム輪と同じです。

75mmビニル管ソケット

品番8080

日本通信電材(株)製



単位:mm

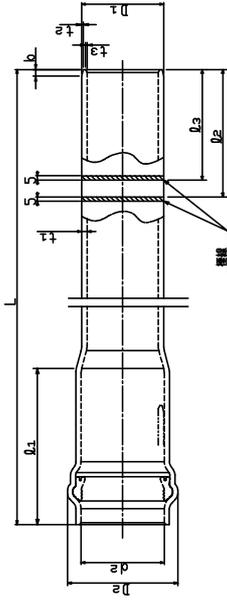
呼び径	D ₀ (参考)	d ₁ (基本寸法)	l ₁ (標準)	全長 L (参考)
75	110	96.8	75	157

※管枕などの関連部材はP.33以降に掲載しています。

管路材構造図(3)

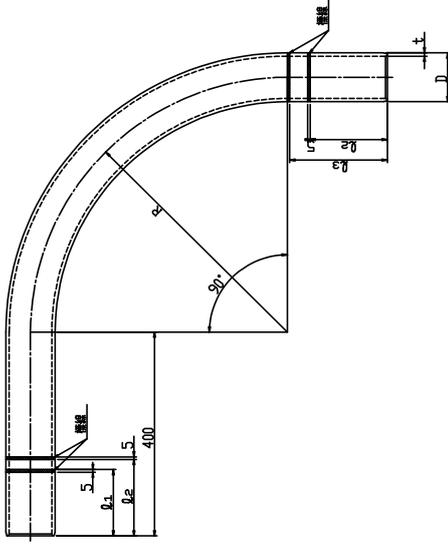
(通信、道路用PV管)

直管



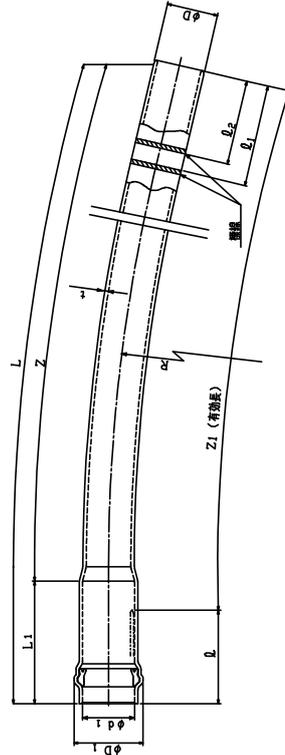
呼び径	管体部			管口部				参考質量 kg/本				
	L	D1	t1	D2	d	b	t					
25	4075	34	3.0	50	34.6	115	6	85	65	1.5	1.0	1.8
50	4110	60	4.5	84	61.0	144	6	120	100	1.5	1.5	4.7
75	5690	96	6.5	129	97.3	182	8	150	130	2.0	2.0	15.0

90P-V曲管



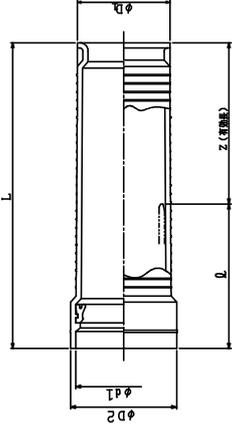
呼び径	単位:mm				
	D	t	d1	d2	R
25	34	3.0	65	85	115
50	60	4.5	100	120	150
75	96	6.5	130	150	190

曲管



呼び径	単位:mm										
	D	D1	d1	L	L1	Z	Z1	t	d2	R	
50	60	84	61.0	1110	144	966	1000	4.5	110	120	100
75	96	129	97.3	1140	182	958	1000	6.5	140	150	130

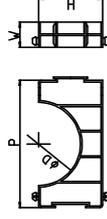
ダクトスリーブ



呼び径	単位:mm			
	φD1	φD2	φd1	L
25	28	36.5	37.0	258
50	78	83	85.3	325
75	110	124	112.0	360

管枕

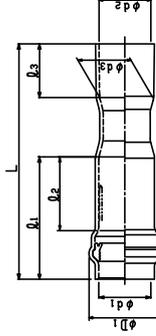
P-V管φ75用



呼び径	単位:mm			
	D	P	W	H
75×130P	97	130	30	65
50×95P	61	95	30	47.5

※ 管枕の設置間隔は、管径1本当たり2ヶ所設置を標準とする。

V管P継手



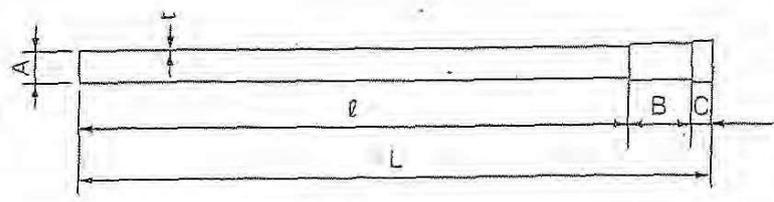
呼び径	単位:mm						
	L	D1	d1	d2	d3	d1	d2
50	277	84	61.0	60.3	59.2	144	63
75	257	129	97.3	96.8	94.9	175	75

※ 当該図面は、製品の概略形状を示すものであり寸法値は参考とする。

年 度	平成	年 度	号 数	32/53
図 録 名	都市計画道路 枚方大和田線 外			
工 事 名	管 材			
所在地名	枚方市 藤子作東町 外			
図面種別	管 材 構 造 図 (3)			
縮 尺	1:20	作 業	年 月	平成18年3月
大阪府枚方土木事務所				

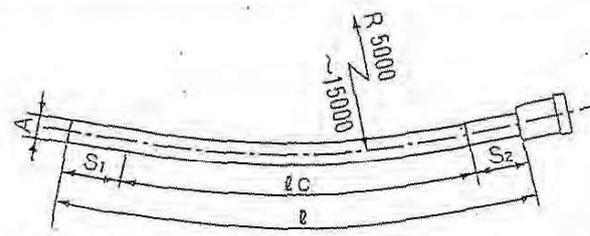
1 軽量ケーブル保護鋼管(KGP)直管

寸法単位：mm



管の呼び径	寸法		接合部		有効長	全長	重量 kg/本
	管の外径 A	管の肉厚 t	B	C	l	L	
80	89.1	3.0	150	75	3,500	3,725	25.3
100	114.3	3.0	150	75	3,500	3,700	32.3
125	139.8	3.0	175	75	3,500	3,750	40.5
150	165.2	3.3	250	60	3,500	3,810	53.0

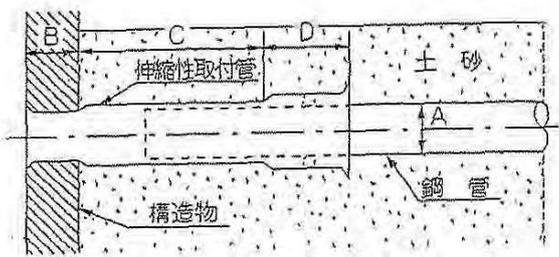
2 軽量ケーブル保護鋼管(KGP)曲管



管の呼び径	寸法		直線部		曲線部	有効長 l
	管の外径 A	S1	S2	lc		
80	89.1	325	175	1,000	1,500	
100	114.3	325	175	1,000	1,500	
125	139.8	325	175	1,000	1,500	
150	165.2	600	600	800	2,000	

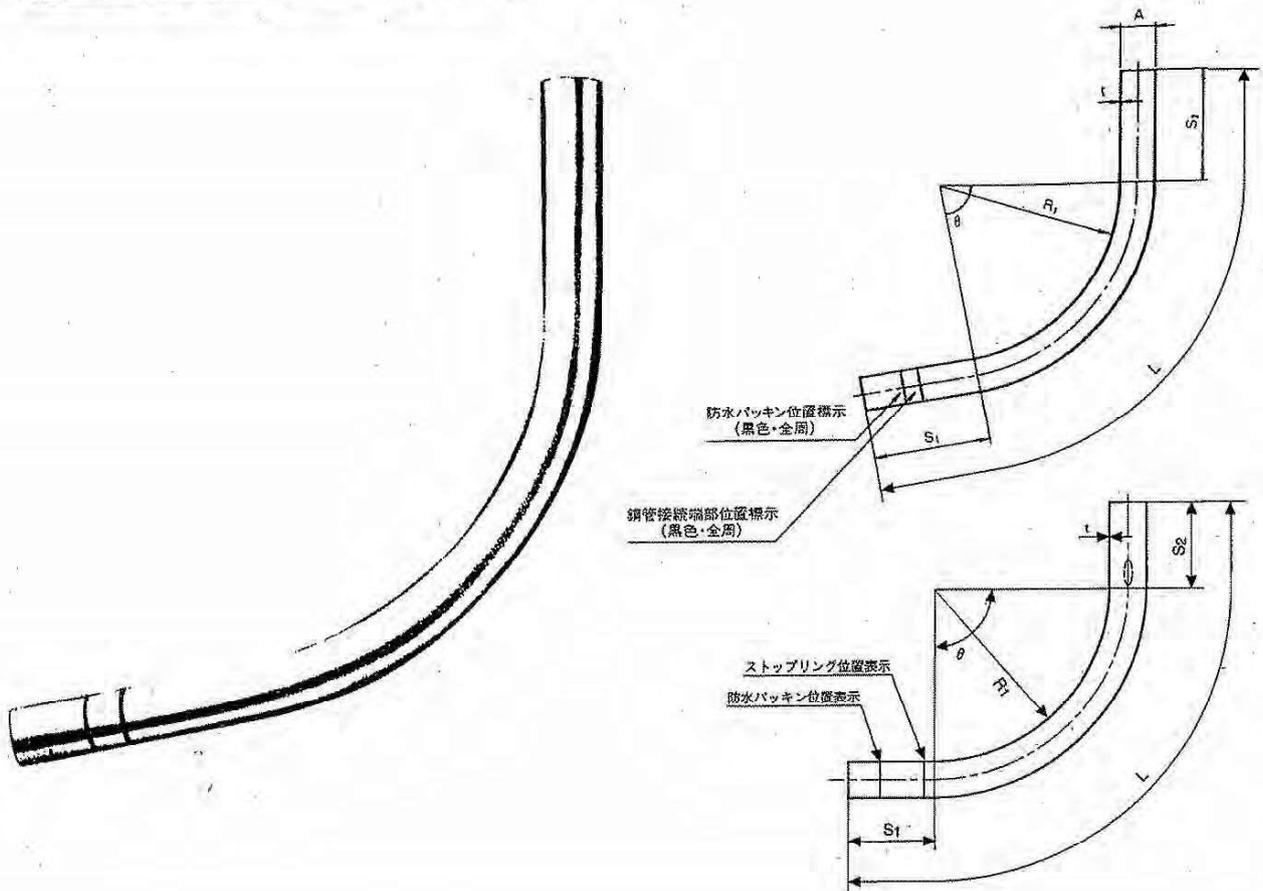
ケーブル保護伸縮性取付管(GPI)

単位mm



管の呼び径	接続鋼管の外径	構造物取付部	伸縮部	防水パッキン移動部
	A	B	C	D
80	89.1	140	450	225
100	114.3	140	450	225
125	139.8	140	475	225

ケーブル保護ベンド管



寸法表

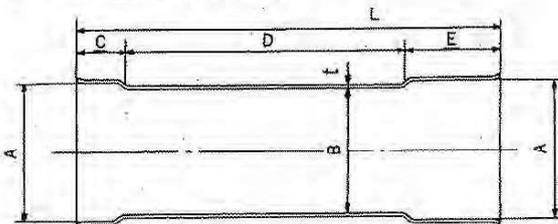
単位: mm

商品コード	管の呼び径	寸法		直線部		曲げ半径	曲げ角度	管の厚さ	有効長 L	メッキ付着量 g/m ²	概算重量 (メッキ含み) kg/m	規格仕様 関係電力	
		A	S ₁	S ₂	R ₁	θ°	t						
No.7 50730	80	89.1	300	300	600	600	90	2.3	1,612	600	5.2	関西 CCBOX	
50737													
No.6 50630	100	114.3	300	300	600	600	90	2.6	1,632	600	7.5	関西 CCBOX	
													50637
													53380
50056	125	139.8	500	500	800	80	80	3.0	2,215	600	10.8	関西 CCBOX 受注生産扱い	
													50057
													50058
													50066
56050	125	131.4	500	300	800	88	3.2	2,130	600	10.7	中部		
特注	80	89.1	300	300	1,300	90	3.3	2,642	600	7.4	中国 受注生産扱い		
53490	100	114.3	500	500				3,042		9.5			
53690	150	165.2	800	800				3,642		13.9			
55030	100	114.3	250	250	1,200	90	3.3	600	1,385	600	7.4	四国 受注生産扱い	
									55040				
									55050				
55080	150	165.2	310	310	1,200	90	3.3	600	2,542	600	13.9	四国 受注生産扱い	
									55090				
									55100				
53570	80	89.1	500	500	1,200	90	3	2,885	550	7.4	北陸 受注生産扱い		
53560	100	114.3								8.6			
53550	125	139.8								10.8			

(注) ベンド部については、ご要望に応じた半径(500R以上)、角度(θ)に加工いたします。

鋼管用継手

ケーブル保護鋼管用継手A



寸法表

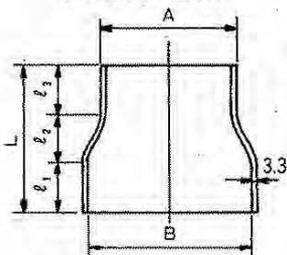
単位: mm

No. 9
No. 8

商品コード	管の呼び径	寸法	A	B	C	D	E	t	L	規格仕様 関係電力
50740	80		96.0	91.2	40	200	80	2.3	320	関西 CCBOX
50640	100		123.4	116.4	50	250	100	2.6	400	関西 CCBOX
50082	125		152.0	142.0	50	300	100	3.3	450	関西 CCBOX

(注) 継手には、各サイズに応じた防水パッキン、ストップリングが2組宛付属しています。(P30・31)
配管用炭素鋼管 (SGP) とケーブル保護鋼管 (KGP) の外径が同じですのでSGPとの接続も可能です。

ケーブル保護鋼管用継手B (立上り管用)



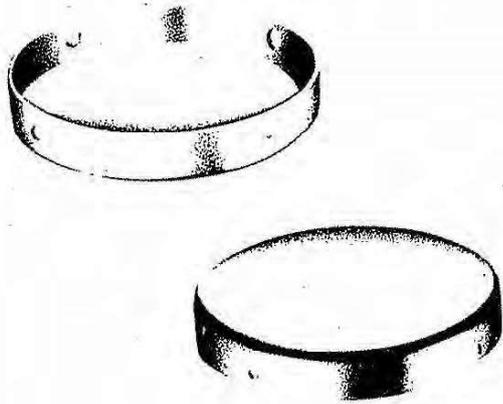
寸法表

単位: mm

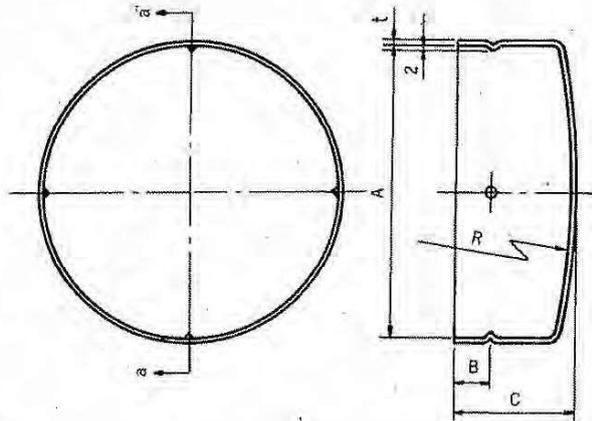
商品コード	管の呼び径	寸法	A	B	ϕ_1	ϕ_2	ϕ_3	L	規格仕様 関係電力
50090	125-100		114.3	142	40	40	40	120	関西

鋼管用キャップ

鉄製キャップ



a-a' 断面



寸法表

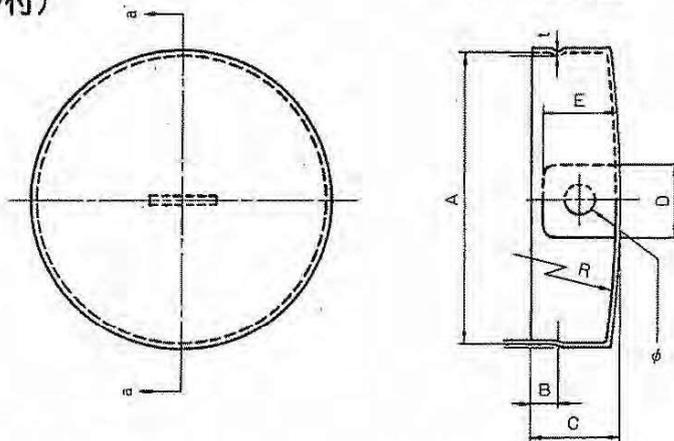
単位: mm

No. 15
No. 14

商品コード	管の呼び径	寸法	A	B	C	t	R	規格仕様 関係電力
56500	80		92	10	30	1.6	300	関 西
56520	100		118	15	50	1.6	300	
50120	125		142	10	30	1.6	300	関 西
53330	150		168	15	50	1.6	600	

鉄製キャップ(フック付)
(ケーブル引込用呼び線引留フック付)

a-a' 断面



寸法表

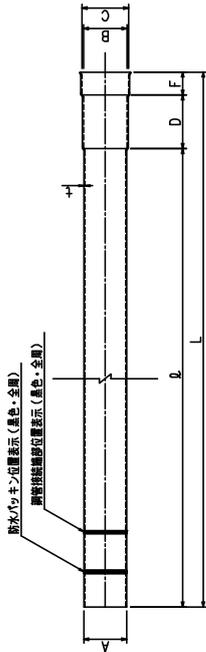
単位: mm

商品コード	管の呼び径	寸法	A	B	C	D	E	t	R	φ
56501	80		92	10	30	40	40	1.6	300	18
56521	100		118	15	50	40	40	1.6	500	18
56510	125		142	10	30	40	40	1.6	300	18
53331	150		168	15	50	40	40	1.6	600	18

管路材構造図(1)

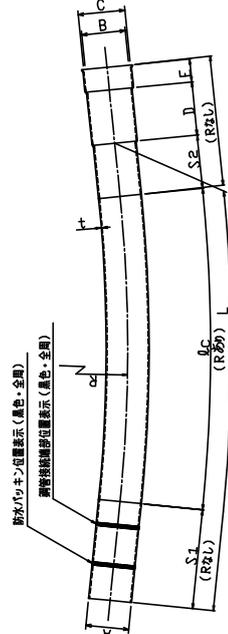
(電力用亜鉛メッキ鋼管)

直管



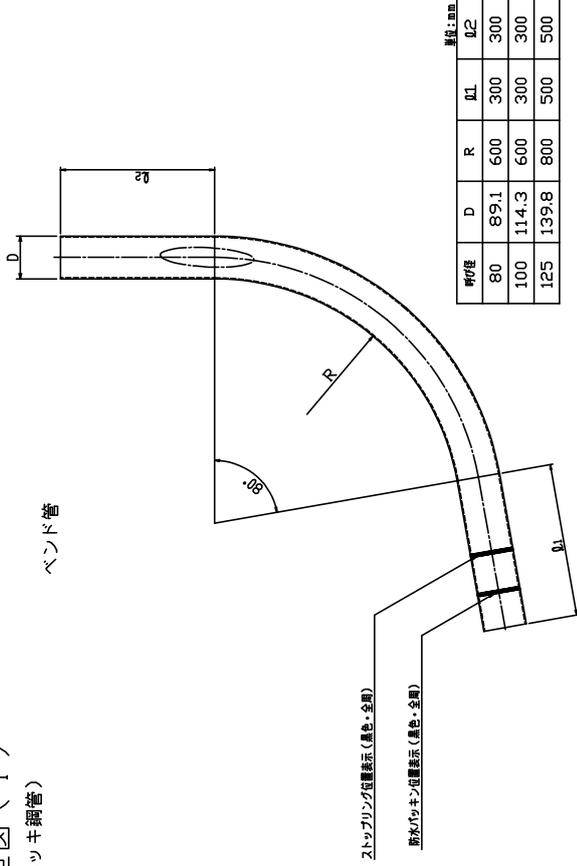
寸法 呼び径	接合部					管の長さ		有効長さ		管の長さ		めね付数量 g/m ²
	A	B	C	D	E	t	L	全長	L	全長		
80	89.1	91.2	96.0	150	75	3.0	3725	3750	3500	600		
100	114.3	116.4	123.4	150	75		3700	3750	3500	550		
125	139.8	142.0	152.0	175	75		3750	3750	3500	600		

曲管



寸法 呼び径	接合部					管の長さ		有効長さ	
	A	B	C	D	E	S1	S2	t	L
80	89.1	91.2	96.0	150	75	325	175	3.0	1500
100	114.3	116.4	123.4	150	75				
125	139.8	142.0	152.0	175	75				

バンド管



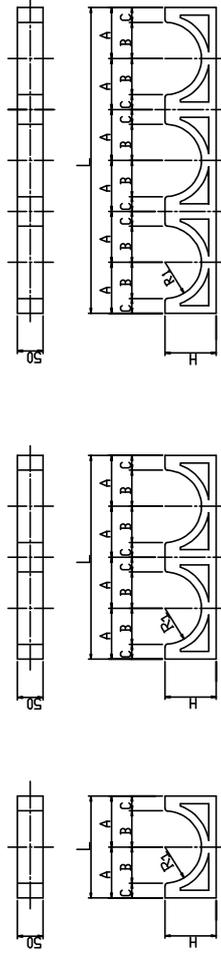
呼び径	D	R	R1	R2	L1	L2
80	89.1	600	300	300	300	300
100	114.3	600	300	300	300	300
125	139.8	800	500	500	500	500

管枕

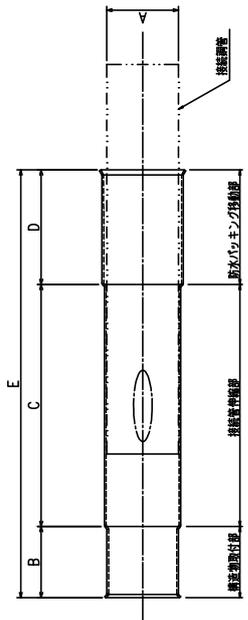
1 A

2 A

3 A



伸縮性取付管(ダクトスリーブ)



呼び径	寸法									
	A	B	C	H	L	R1	R2			
125	1 A	95	71	24	85	190	71			
	2 A	95	71	24	85	380	71			
	3 A	95	71	24	85	570	71			

※ 管枕の設置間隔は、管径1本当り2ヶ所設置を標準とする。

寸法 呼び径	接合部				鋼管接続部				防水パッキン付鋼管			
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
80	89.1	140	450	225	815							
100	114.3	140	450	225	815							
125	139.8	140	475	225	840							

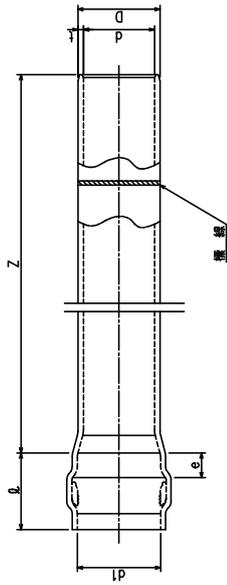
年度	平成	30/53
路線名	伊勢丹線 伊勢丹線外	
工事名	伊勢丹線 伊勢丹線外	
所在地	伊勢丹線 伊勢丹線外	
図面番号	伊勢丹線 伊勢丹線外	
編入	1/20	第18号
作成	伊勢丹線 伊勢丹線外	
事務所	大阪府伊勢丹土木事務所	

※ 当該図面は、製品の概略形状を示すものであり寸法値は参考とする。

管路材構造図(2)

(電力用合成樹脂管)

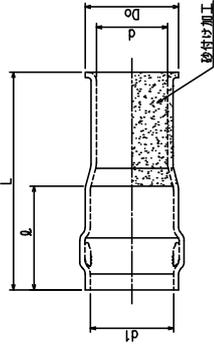
直管



単位: mm

呼び径	D	d	d1	t	ℓ	e	Z
75	89.0	77	90.2	5.9	125	61	5000
100	114.0	100	115.5	7.1	135	64	5000
125	142.5	125	144.2	8.5	140	67	

ダクトスリーブ

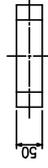


単位: mm

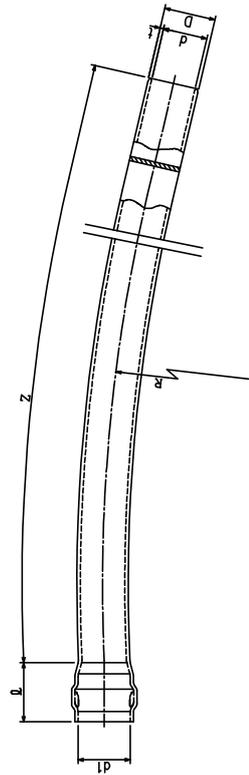
呼び径	d1	d	Do	ℓ	Z
75	90.2	77	100	260	450
100	115.5	100	130	280	450
125	142.5	125	165	295	

直管

管枕



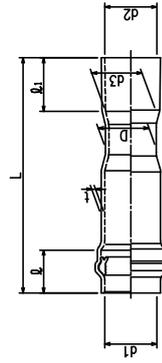
曲管



単位: mm

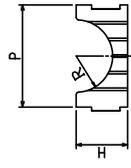
呼び径	D	d	d1	t	ℓ	e	Z	R
75	89.0	77	90.2	5.9	125	61	5000	10000
100	114.0	100	115.5	7.1	135	64	1000	
125	142.5	125	144.2	8.5	140	67		

異種管継手



単位: mm

呼び径	L	ℓ	d1	D	d2	d3	t
75	400	120	150	89.0	91.3	89.3	5.9
100	655	130	210	114.0	117.7	113.5	7.1
125	655	135	210	142.5	142.4	138.2	8.5



単位: mm

呼び径	形状	R	P	H
100	1A	71.5	185	92.5
125	1A	71.5	185	92.5

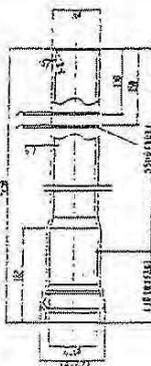
※ 管枕の設置間隔は、管路1本当り2ヶ所設置を標準とする。

※ 当該図面は、製品の概略形状を示すものであり寸法値は参考とする。

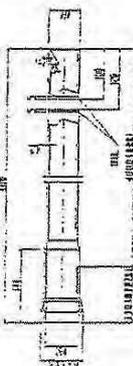
年 度	平成	31	年 次	31/53
路線名	御所計画道路 枚方大和田線 外			
工事名	枚方市 藤子作線 外			
所在地	管枕材構造図(2)			
図面番号	1:20	1/2	1/2	平成18年3月
編 入	大阪府枚方土木事務所			

PV管 構造図-2

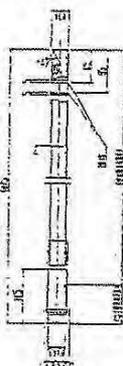
直管 (50VA型) (50VA-PV-F3)



直管 (75VA型) (75VA-PV-F3)



直管 (100VA型) (100VA-PV-F3)

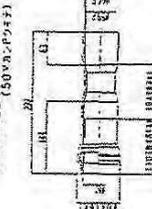


V管P継手

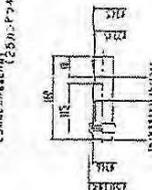
(50VA型) (50VA-PV-F3)



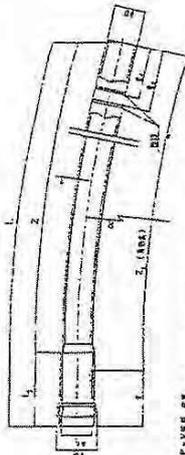
(50VA型) (50VA-PV-F3)



(250VA型) (250VA-PV-F3)



曲管 (50VA型) (50VA-PV-F1)

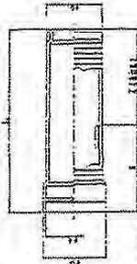


P-VER 50

規格	D	G	J	L	Z	Z	L	L	Z	L	Z	L	Z	L	Z
50	80	80	80	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110
75	80	120	120	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110	110

マフトスリーブ

(50VA型) (50VA-PV-F2)
(75VA型) (75VA-PV-F2)



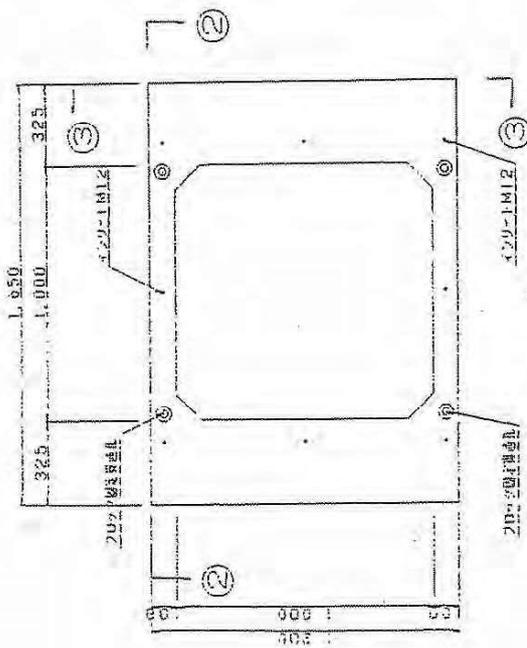
規格	AN	4N	4L	L	Z	L	Z	L	Z
25	48	52	40	4208	118	113			
50	76	82	63	325	100	110			
75	110	124	112	300	100	170			

図面番号	18/24
製図者	鈴木 浩一
承認者	野村 浩一
発行年月	昭和 50年
発行所	東京電機工業 (株) 本社
図名	真空管用PV管
図尺	1/2

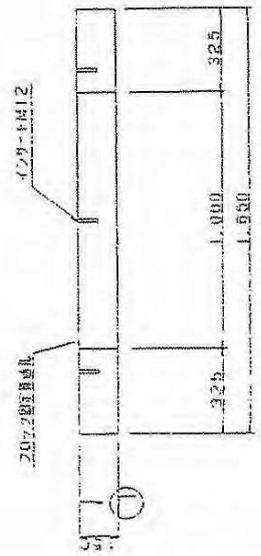
機器据付用ブロック (I-100) 構造図 S-1/10

平面図

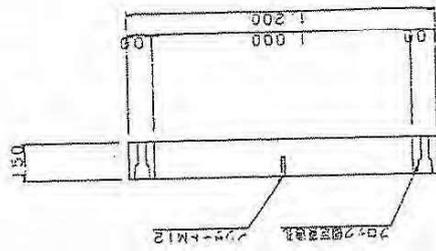
① - ①



② - ②

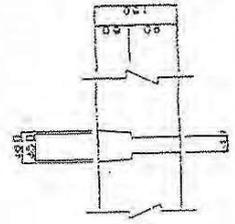


③ - ③



ブロック固定貫通孔詳細図

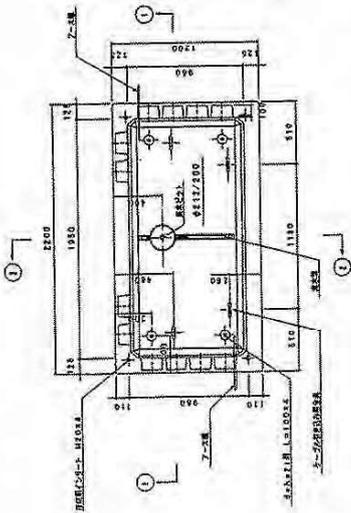
S-1/15



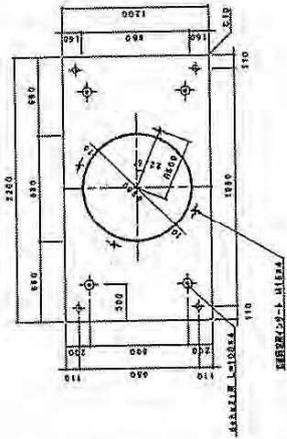
平成 14 年度	図 番 号	10/24
事業 号	一 般 財 政 補 助 金	
機 関 名	地 方 特 別 政 府 立 本 (郡 市 区)	
工 務 系	人 工 地 理 計 画 部 2 課	
施 工 機 名	建設(2527)1-1001 図	S-1/10
図 番 名	006	1/1

電力用鋼構造図 (1) S=1:20
(プレハブ基礎2型 950x1950x1100)

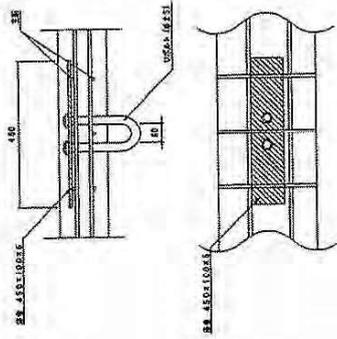
3-3断面図



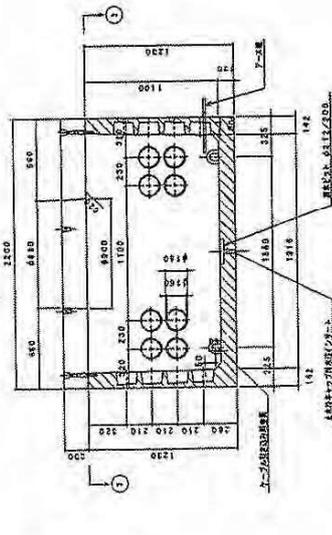
全面取付ブロック (SB-B型)



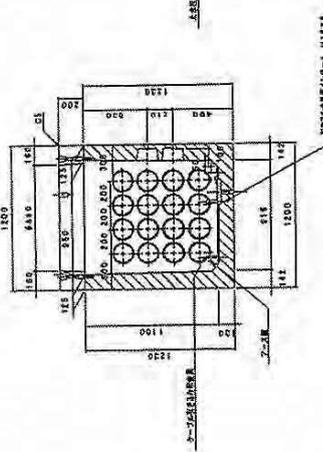
ケーブル引入孔金具取付詳細図 S=1:5



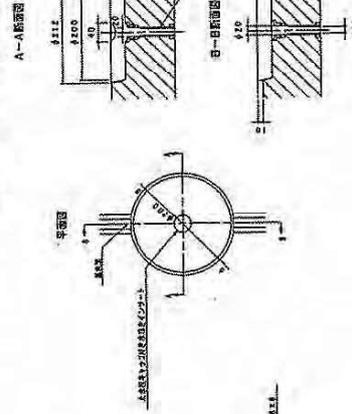
1-1断面図



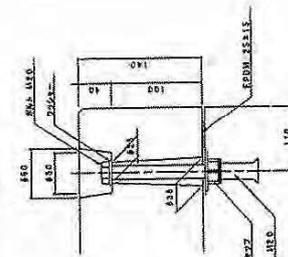
2-2断面図



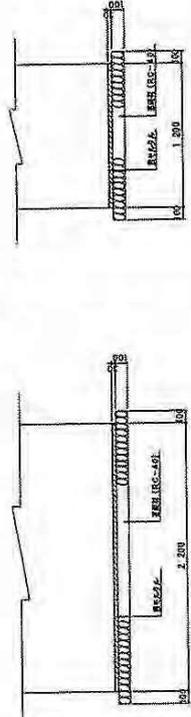
鉄水ピット鉛詳細図 S=1:5



接線部詳細図 S=1:3



基礎工



茨友 (2)

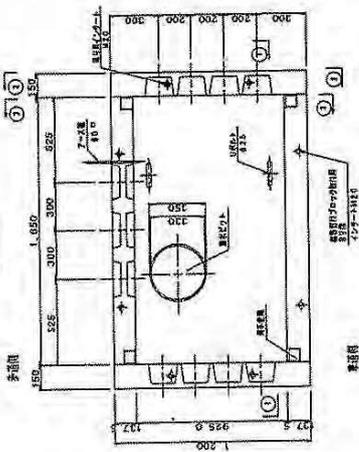
設計者	上野 隆夫
監理者	上野 隆夫
製図者	上野 隆夫
校核者	上野 隆夫
承認者	上野 隆夫
製図日	昭和50年11月30日

寸法	1950
高さ	1200
重量	1015
材料	RC
仕様	RC
備考	

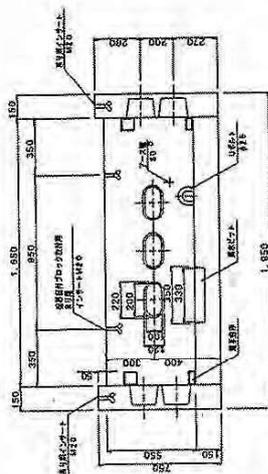
※ 鉄水ピット (構造) の取付位置は、現場实际情况により変更される。基礎工の取付位置は、現場实际情况により変更される。

電力用機構造図 (1) S=1:1.15
 プレハブ基礎1型 900×1650×550

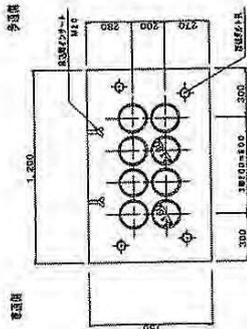
①-① 断面図



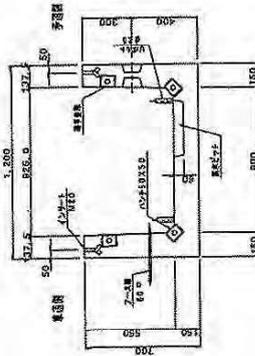
①-① 断面図



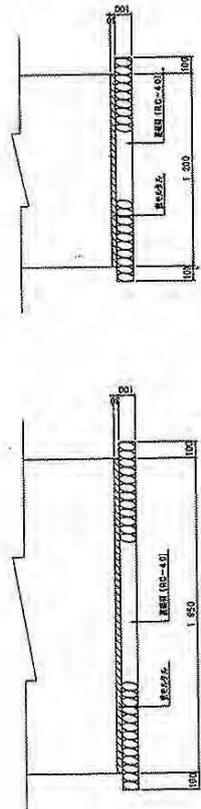
②-② 断面図



②-② 断面図



基礎工



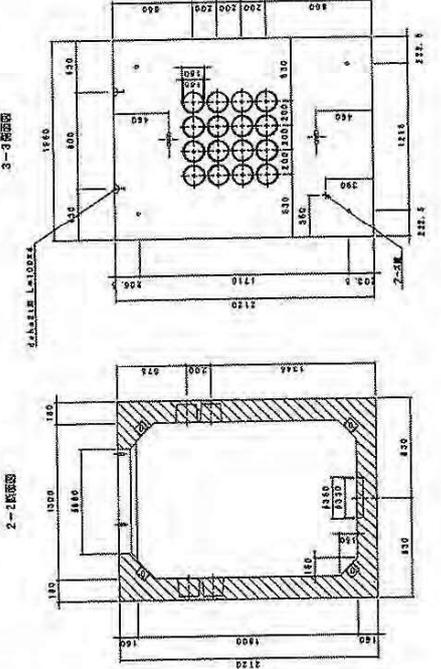
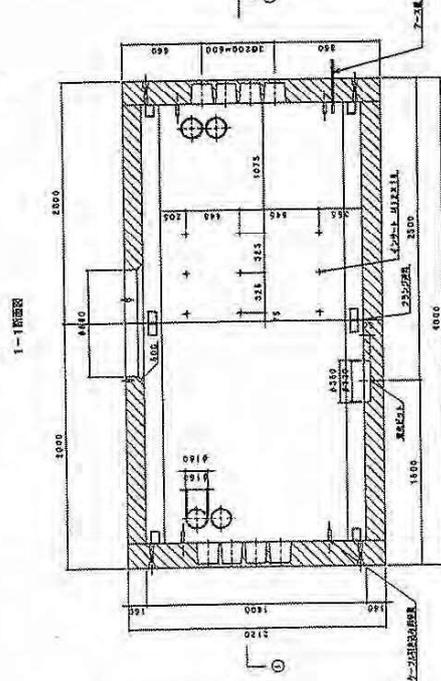
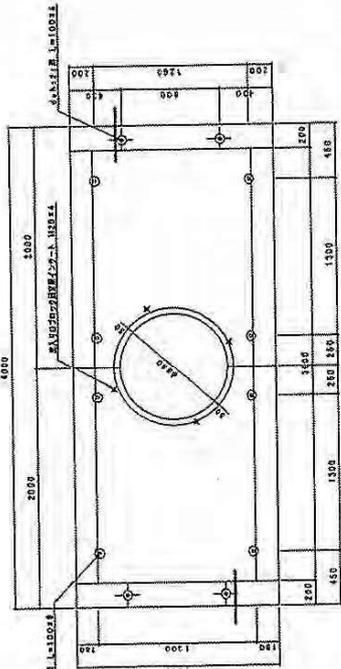
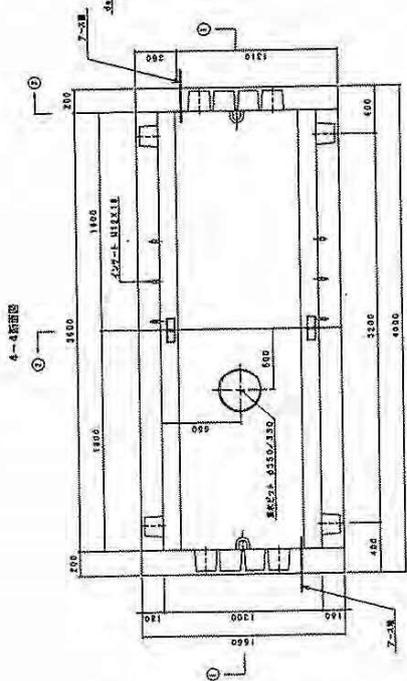
設計条件	
容積率	24.5% (P=50%)
建築係率	1=0.1
土圧係数	k=0.308
溝深	0.25m
構造	鉄筋コンクリート基礎
供用圧力図	
設計活荷重	σ _{ok} = 30N/mm ²
設計恒荷重	σ _{perm} = 11N/mm ²
設計耐力	f _s = 0.5N/mm ²
引張耐力	σ _{perm} = 150N/mm ²

① 設計条件は、基礎の設計に準じて決定したものと見做す。
 ② 基礎の設計は、基礎の設計に準じて決定したものと見做す。

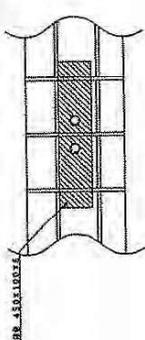
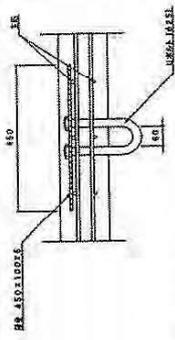
茨交 ③

姓名	番号	14/21
菅野 尚		
工務部		
所長		
担当		
設計		
校核		
確認		
承認		
電力用機構造図 (1)		

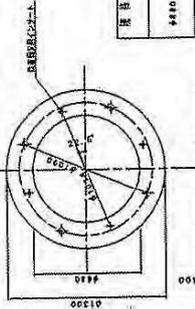
電力用材構造図 (3) S=1:2.0
(プルバネ孔 1300×3600×1800)
平面図



ケーブル引込金具取付詳細図 S=1:5



出入口7. ロック詳細図



項目	単位	数量
ボルト	個	155
ナット	個	155
ワッシャー	個	240
スペーサー	個	300
ボルト	個	720



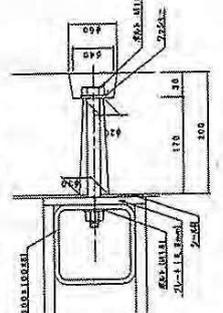
ロック付状態

項目	単位	数量
ボルト	個	155
ナット	個	155
ワッシャー	個	240
スペーサー	個	300
ボルト	個	720

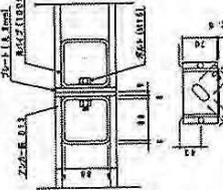
仕様条件

引張強さ	T-25 P=100KN/㎡
厚さ	T-25 P=50KN/㎡
圧縮強さ	P=0.4
弾性係数	E=207.4
最小寸法	0.6m
構造形式	鉄骨コンクリート構造
使用材料	S355, S1355, S460
設計者	○
承認者	○

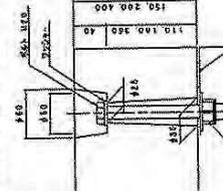
構造図 S=1:3



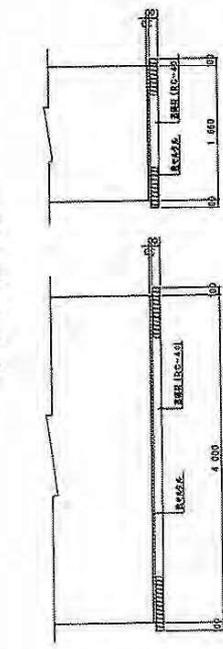
7.7断面図 S=1:5



出入口7.7断面図 S=1:5



基礎工 S=1:30

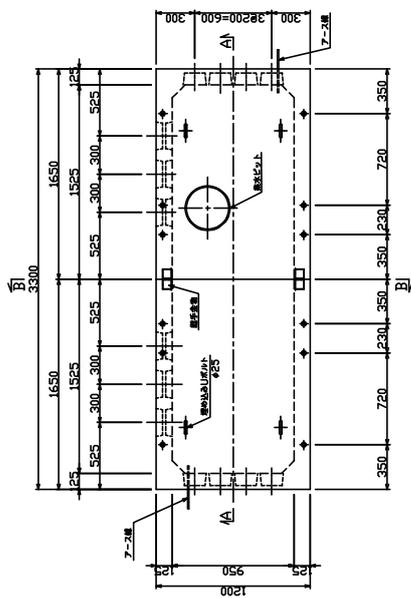


炭交 (4)

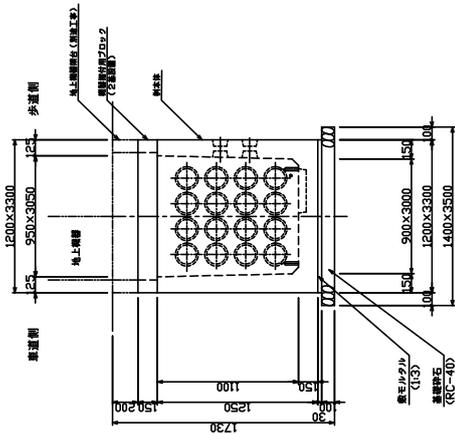
図名	電力用材構造図 (3)
図番	
設計者	
承認者	
作成	11/30

E 1 樹構造図 S=1:20
(950×3050×1100 機器枠)

平面図

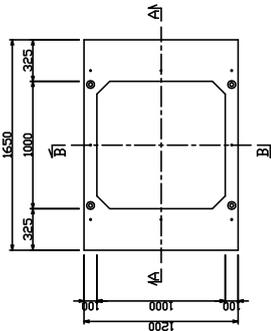


設置断面図

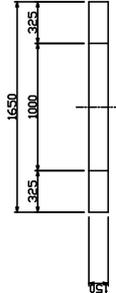


機器据付用ブロック

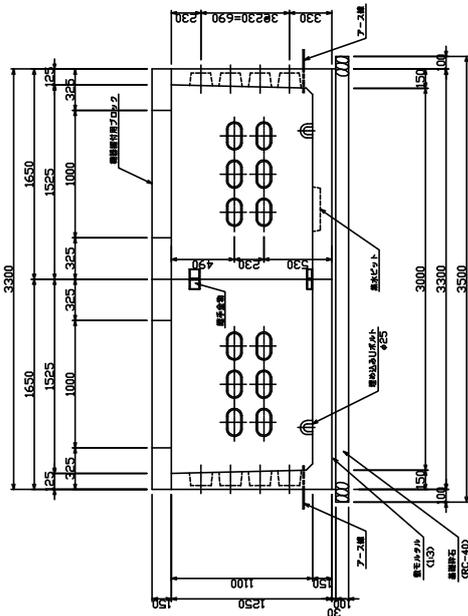
平面図



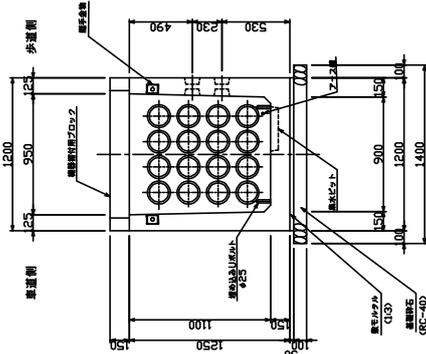
A - A 断面図



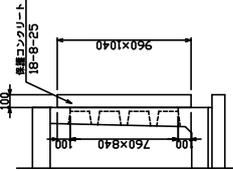
A - A 断面図



B - B 断面図



保護コンクリート



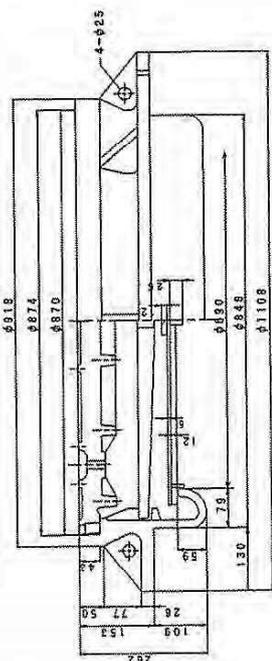
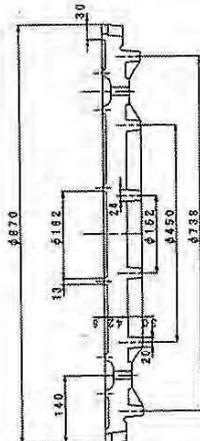
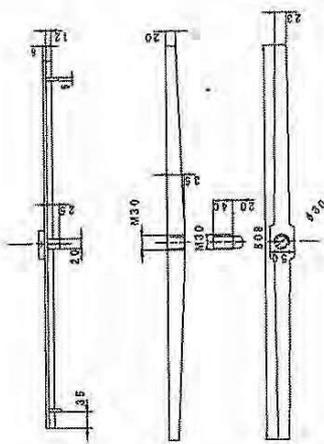
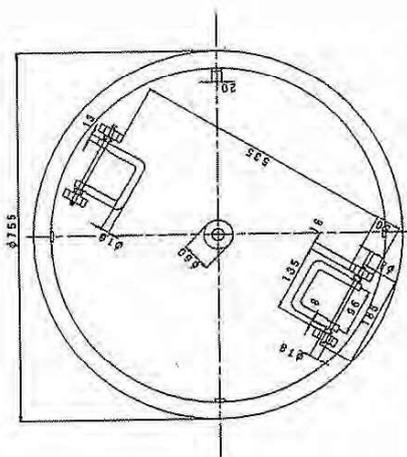
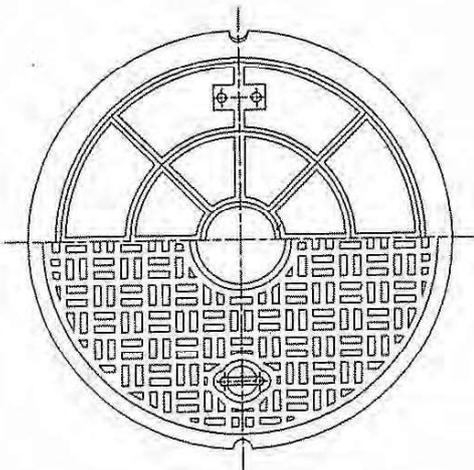
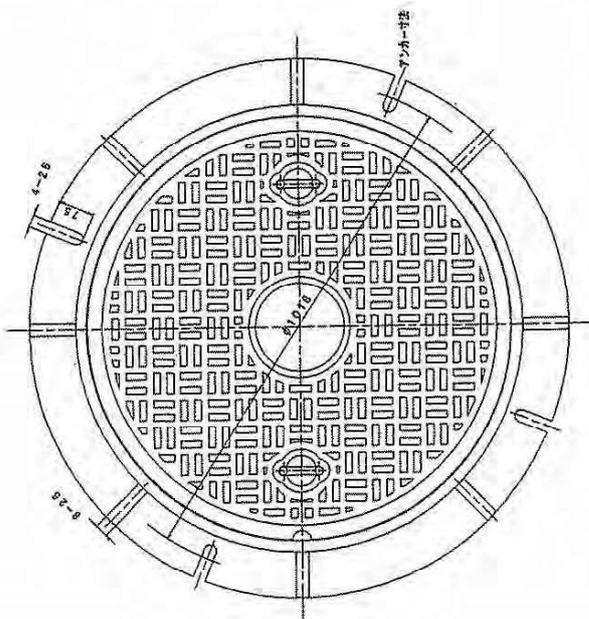
設計条件

樹種	2.45M (G=5000)
樹高	樹高 1 = 0.1
樹幹直径	樹幹直径 1 = 0.1
土質	土質 1 = 0.30m
土質	土質 2 = 0.30m
土質	土質 3 = 0.30m
土質	土質 4 = 0.30m
土質	土質 5 = 0.30m
土質	土質 6 = 0.30m
土質	土質 7 = 0.30m
土質	土質 8 = 0.30m
土質	土質 9 = 0.30m
土質	土質 10 = 0.30m
土質	土質 11 = 0.30m
土質	土質 12 = 0.30m
土質	土質 13 = 0.30m
土質	土質 14 = 0.30m
土質	土質 15 = 0.30m
土質	土質 16 = 0.30m
土質	土質 17 = 0.30m
土質	土質 18 = 0.30m
土質	土質 19 = 0.30m
土質	土質 20 = 0.30m

※ 特記事項
1. 樹本体のフェース幅2ヶ所に、A種及びB種樹種に対応する樹幹径φL-75cmの深さ以上に設置すること。
(100以下)

年度	平成	年度	番号	34/53
路線名	御所計画道路 枚方大和蒲田線 外			
工事名	枚方市 様子作道町 外			
所在地	E11線沿道			
図面種別	E11線沿道			
縮尺	1:20	発行	年月	平成18年3月
大阪府枚方土木事務所				

電力用材蓋構造図 S=1:1.5
(歩道・車道部兼用)



質量表	
上面	220kg
下面 (付録部分)	250kg

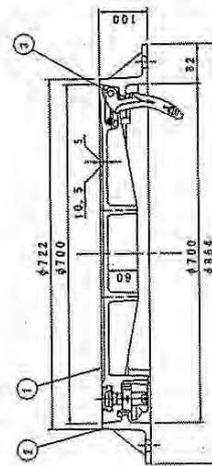
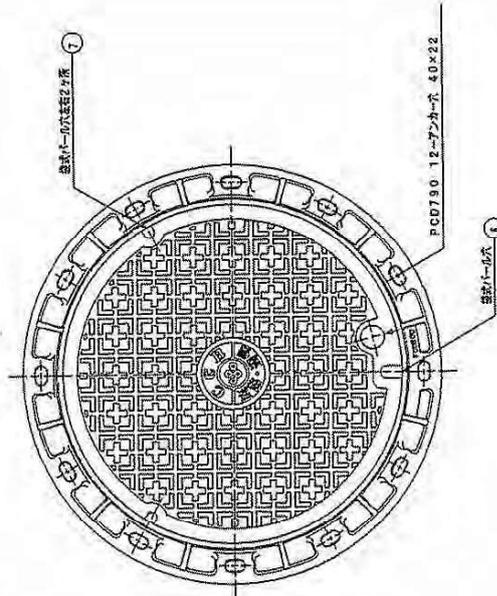
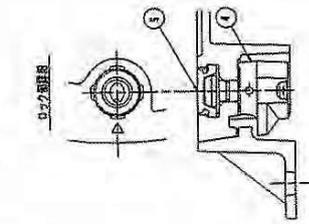
規格表	245KN (25t)
規格表	鋼板厚8SKN (10t)
規格表	L=820mm
規格表	規格表 (FC)



表交 ⑦

年度	11/30
図名	
図号	
規格	
製図者	
検査者	
承認者	
備考	

道路及び通信用樹蓋構造図 S=1:5
(車道部)



記号 用: 基準用 Y-25
 使用量: 98KN (101)
 使用量: 0.4
 使用量: 700kg以上

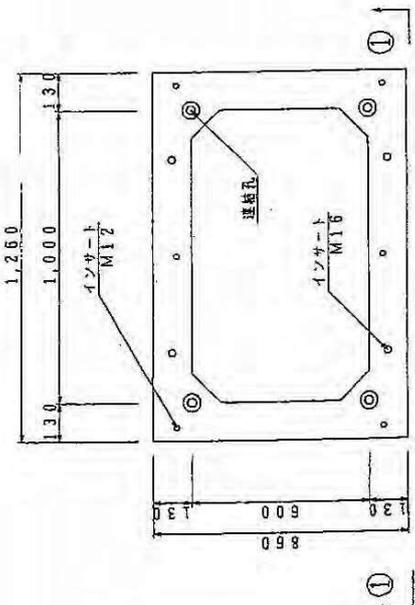
品名	数量	単位	材料	規格	備考
1	1	個	FCD700	1	
2	1	個	FCD600	1	
3	1	個	FCD500	1	
4	1	個	ロック機構	O-85	
5	1	個	ゴムキャップ	R-1	
6	1	個	ゴムキャップ	CR	
7	1	個	ゴムキャップ	CR	

変更 (8)

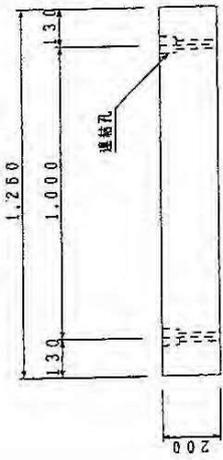
変更	年月	20/30
設計		
製図		
検査		
承認		
図名	道路及び通信用樹蓋構造図	
図尺	1:5	単位: mm

③
5 - 15
機器据付けブロックS-100
(H=200)

平面図

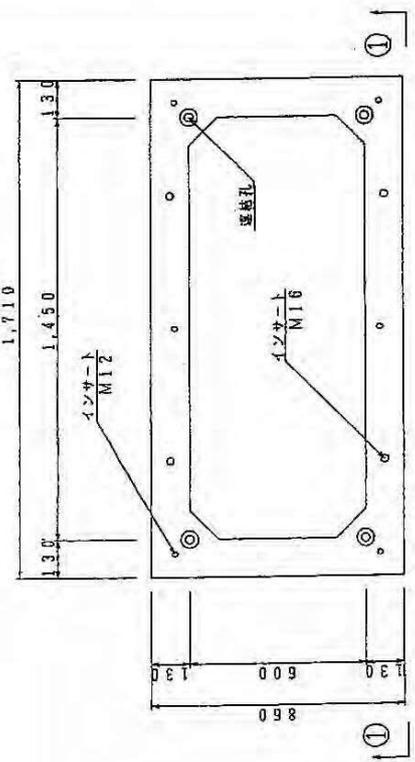


正面図 ①-①

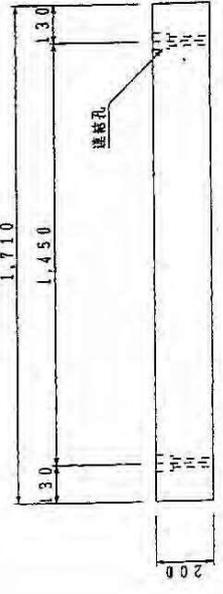


5 - 16
機器据付けブロックS-145
(H=200)

平面図



正面図 ①-①



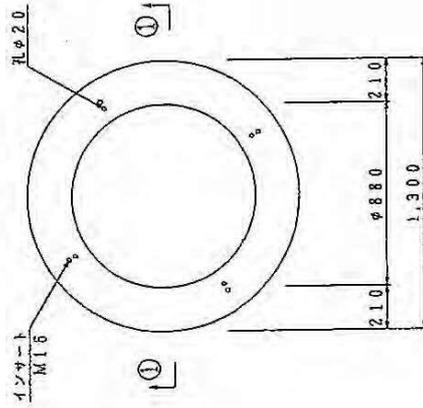
4

首座ブロック (配電用)

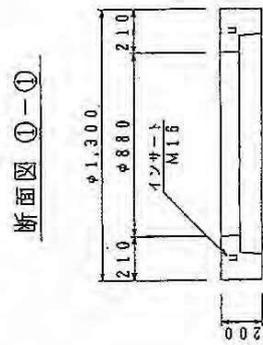
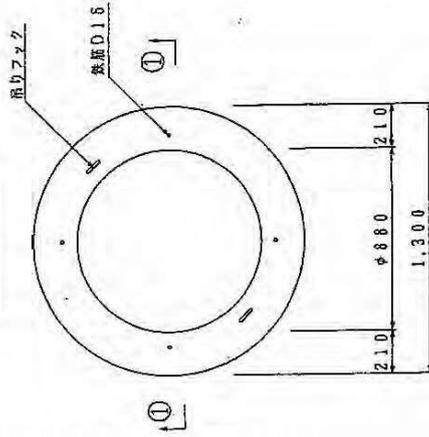
8 - 17 8 - 18 8 - 19
(H=400, 600, 800用)

8 - 16
(H=200用)

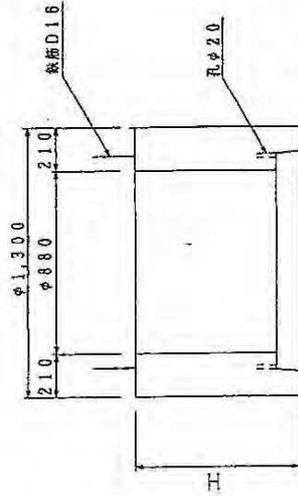
平面図



平面図



断面図 ①-①

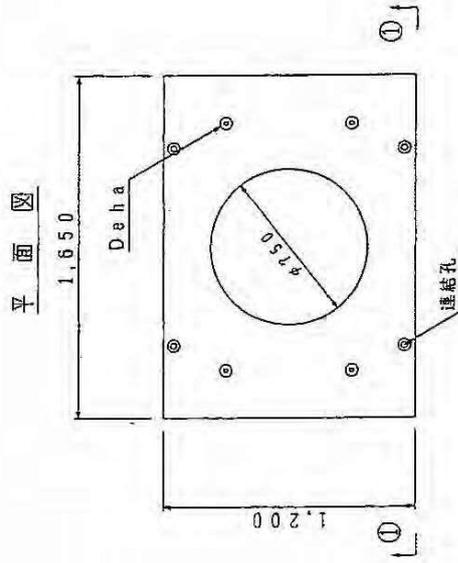


*但し、H=400, 600, 800

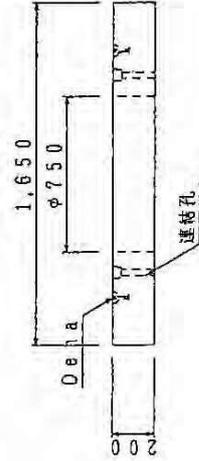
5

金蓋取付用ブロックI-100(φ750)構造図

1 - 24

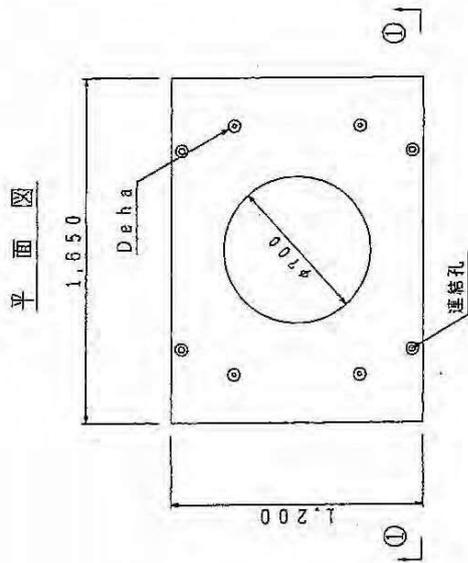


正面図 ①-①

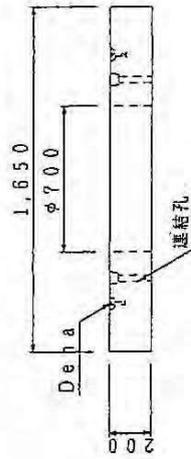


金蓋取付用ブロックI-100(φ700)構造図

1 - 23



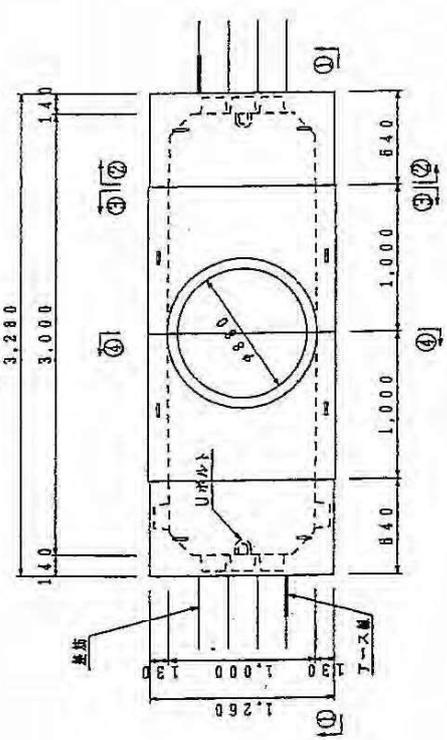
正面図 ①-①



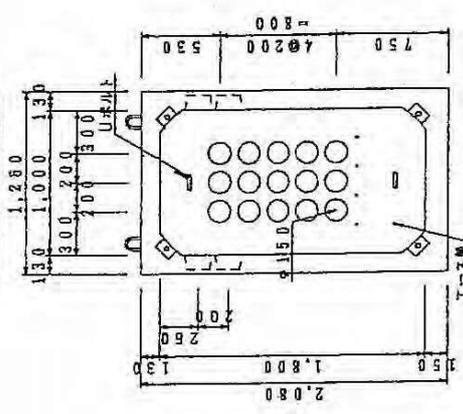
⑥ プレハブ人孔A5型構造図
1.0X1.8X3.0m

設計条件	
活荷重	245kN (P=50kN)
覆土厚	算定1.1, 歩建1=1.1
土圧係数	k=0.5
土盛り	0.4m~2.0m
構造	除筋コンクリート構造構造 (許容応力度)
コンクリート	設計圧縮強度 $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ 引張強度 $\sigma_{tk}=11\text{N/mm}^2$
鉄筋	許容応力度 $\sigma_{st}=0.5\text{N/mm}^2$ 引張強度 $\sigma_{tk}=180\text{N/mm}^2$

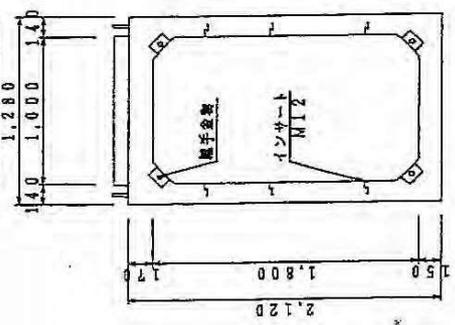
平面図



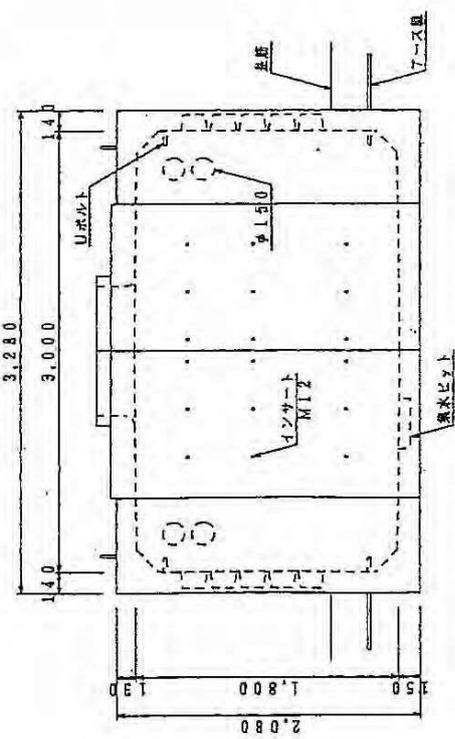
断面②-②



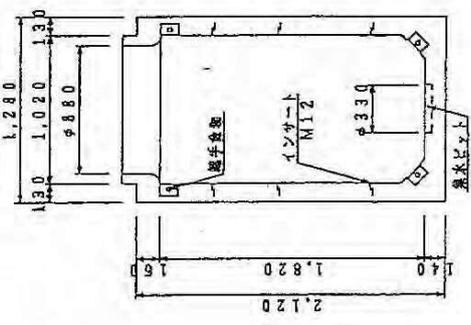
断面③-③



側面図 ①-①

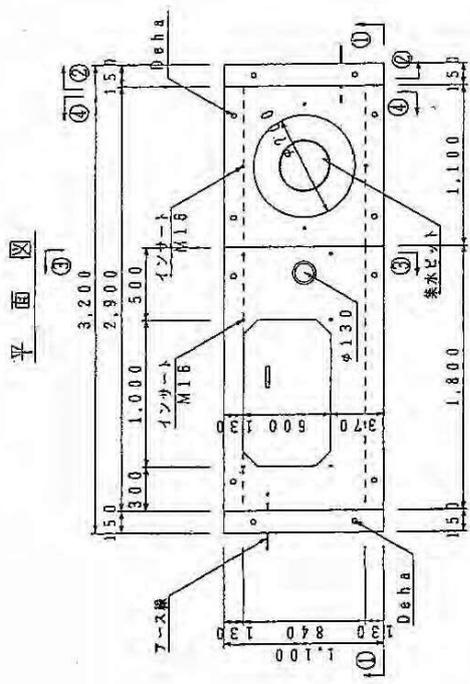


断面④-④

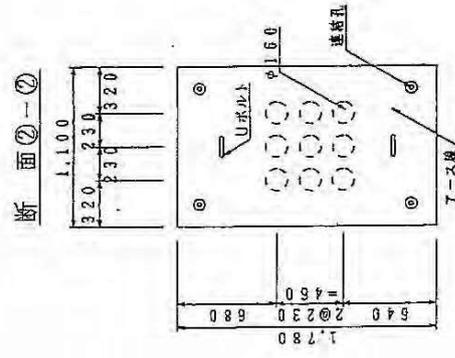


プレハブ基礎 S1 型

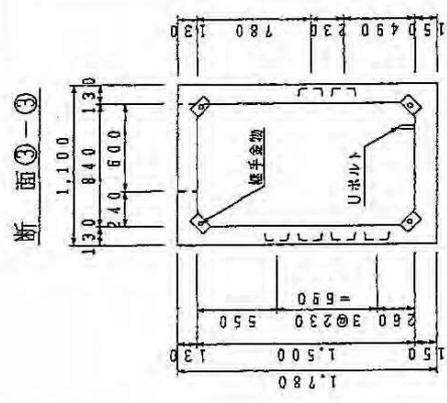
設計条件	
活荷重	245kN (P=50kN)
耐震係数	歩道: 1=0.1
土圧係数	k=0.5
土被り	0.30m
構造	鉄筋コンクリート部形構造
(許容応力度)	
コンク	設計許容強度 $\sigma_{ti} = 3.0 \text{ N/mm}^2$
リート	曲げ圧縮応力度 $\sigma_{ci} = 1.1 \text{ N/mm}^2$
引張	許容応力度 $\sigma_{ti} = 0.5 \text{ N/mm}^2$
鉄筋	引張応力度 $\sigma_{si} = 18.0 \text{ N/mm}^2$



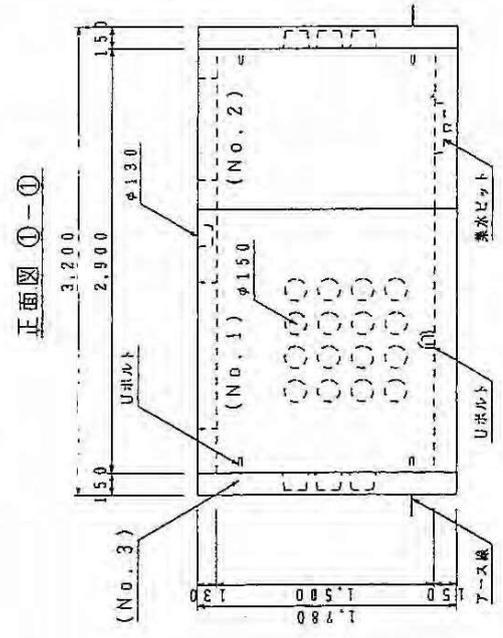
平面図



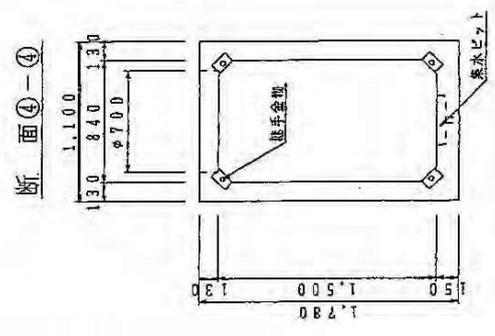
断面図 ②-②



断面図 ③-③



正面図 ①-①



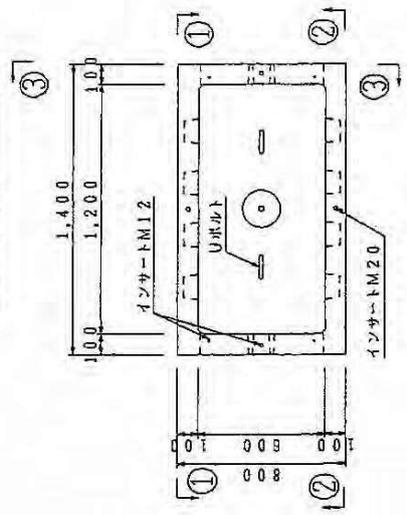
断面図 ④-④

⑧

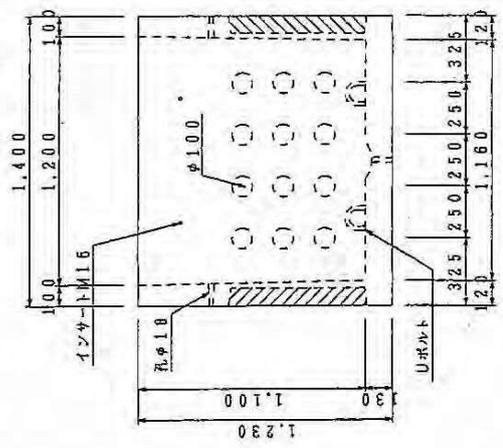
通信用ハンドホール (Type 14) 構造図

設計条件	
送電重量	24.5kW (P=50kW)
折減係数	乗運: 1=0.4
土圧係数	k=0.308
土質	0.15m
構造	鉄筋コンクリート型構造
(許容応力度)	
コンクリート設計強度	$\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$
コンクリート引張強度	$\sigma_{ct} = 1.1 \text{ N/mm}^2$
鉄筋引張強度	$\sigma_{sk} = 180 \text{ N/mm}^2$

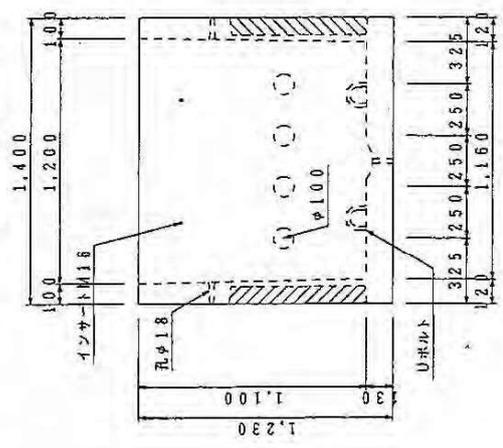
平面図



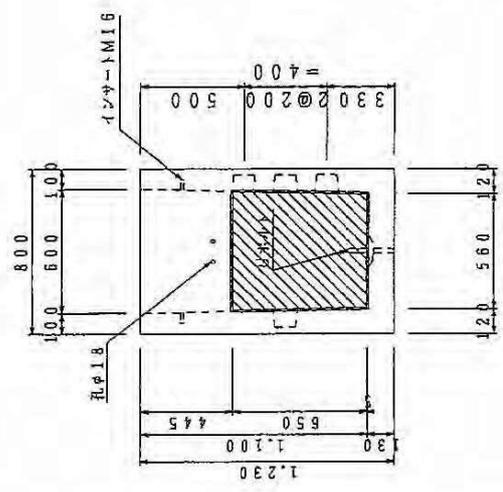
正面図 ①-①



正面図 ②-②

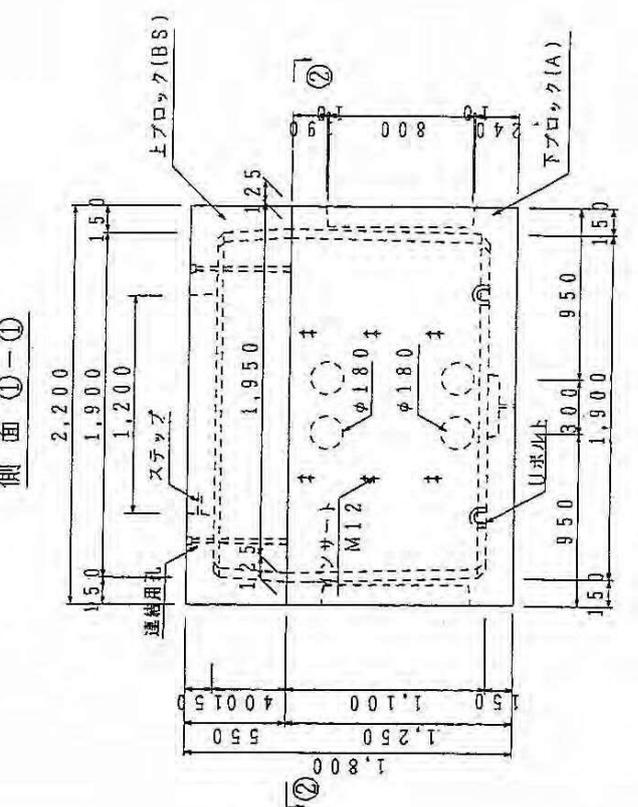
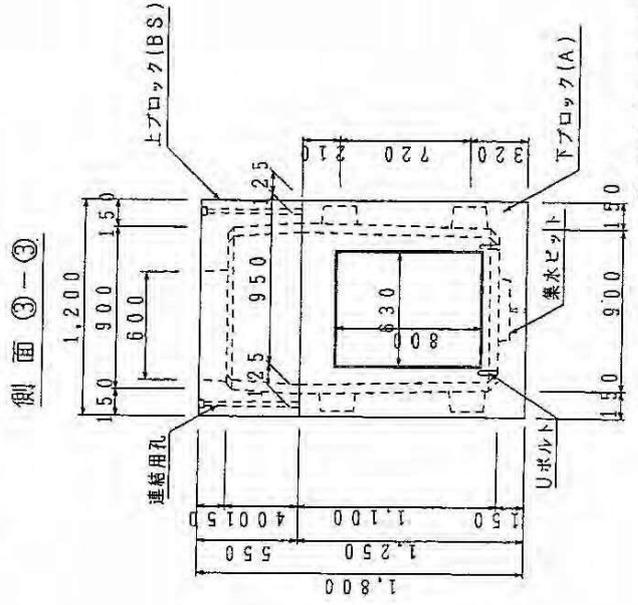
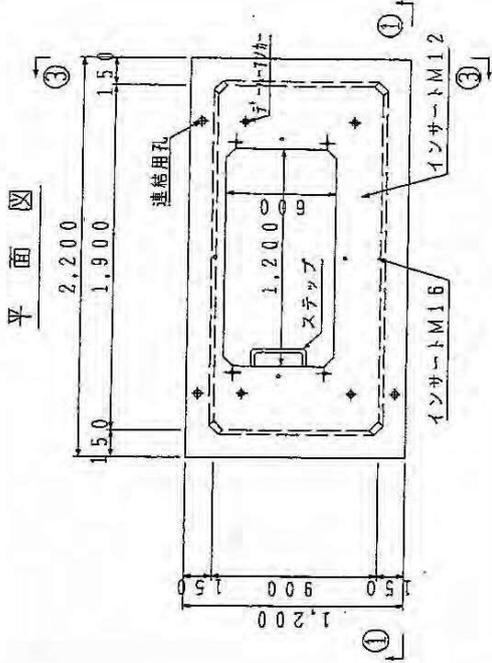
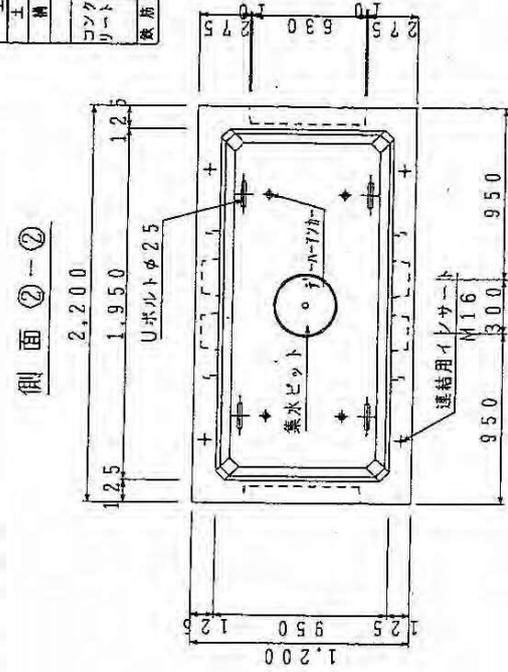


側面 ③-③



9) T 桁 (Type-4) 構造図

設計条件	
活荷重	245kN (P=50kN)
衝撃係数	歩道: $k=0.1$, 車道: $k=0.4$
土圧係数	$k=0.50$
土質	
構造	(許容応力度)
コンクリート	設計基準強度 $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
リート	曲げ圧縮応力度 $\sigma_{ct}=11\text{N/mm}^2$
	剪断応力度 $\tau_t=0.5\text{N/mm}^2$
鉄筋	引張応力度 $\sigma_{st}=180\text{N/mm}^2$



株式会社 日本ネットワークサポート

電カケーブル用

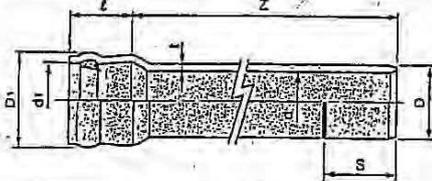
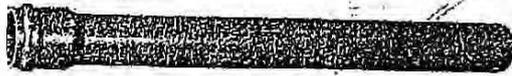
電共 MCEP-SVP管

SVP

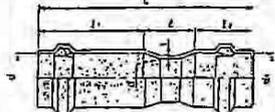
Super Impact Vinyl Pipe

耐熱・耐衝撃性硬質塩化ビニル管 SVP

RR直管

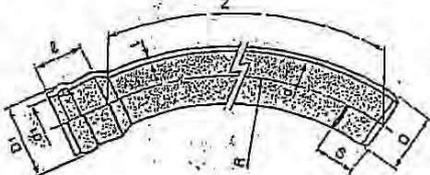


ヤリトリ継手

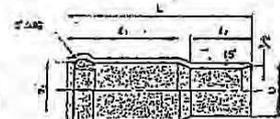


寸法	φ75	φ100	φ125	φ150	φ175	φ200	φ225	φ250	φ275	φ300
長さ	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200
外径	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300
内径	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240
壁厚	7.5	10	12.5	15	17.5	20	22.5	25	27.5	30
重量	1.2	1.8	2.4	3.0	3.6	4.2	4.8	5.4	6.0	6.6

RR曲管



伸縮吸収継手



寸法	φ75	φ100	φ125	φ150	φ175	φ200	φ225	φ250	φ275	φ300
長さ	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200
外径	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300
内径	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240
壁厚	7.5	10	12.5	15	17.5	20	22.5	25	27.5	30
重量	1.2	1.8	2.4	3.0	3.6	4.2	4.8	5.4	6.0	6.6

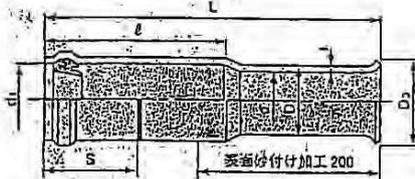
寸法	φ75	φ100	φ125	φ150	φ175	φ200	φ225	φ250	φ275	φ300
長さ	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200
外径	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300
内径	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240
壁厚	7.5	10	12.5	15	17.5	20	22.5	25	27.5	30
重量	1.2	1.8	2.4	3.0	3.6	4.2	4.8	5.4	6.0	6.6

鋼管用異種継手



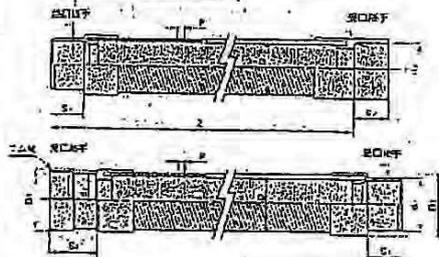
寸法	φ75	φ100	φ125	φ150	φ175	φ200	φ225	φ250	φ275	φ300
長さ	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200
外径	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300
内径	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240
壁厚	7.5	10	12.5	15	17.5	20	22.5	25	27.5	30
重量	1.2	1.8	2.4	3.0	3.6	4.2	4.8	5.4	6.0	6.6

ダクトスリーブ



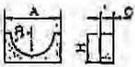
寸法	φ75	φ100	φ125	φ150	φ175	φ200	φ225	φ250	φ275	φ300
長さ	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200
外径	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300
内径	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240
壁厚	7.5	10	12.5	15	17.5	20	22.5	25	27.5	30
重量	1.2	1.8	2.4	3.0	3.6	4.2	4.8	5.4	6.0	6.6

EFVP



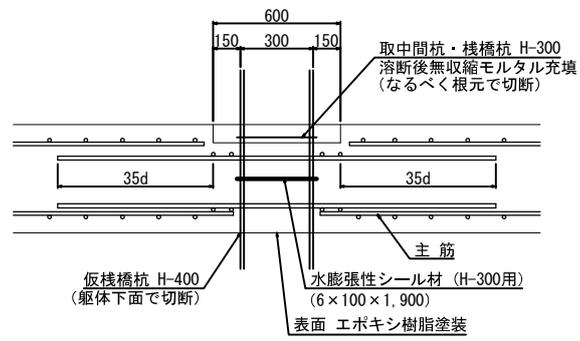
寸法	φ75	φ100	φ125	φ150	φ175	φ200	φ225	φ250	φ275	φ300
長さ	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200
外径	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300
内径	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240
壁厚	7.5	10	12.5	15	17.5	20	22.5	25	27.5	30
重量	1.2	1.8	2.4	3.0	3.6	4.2	4.8	5.4	6.0	6.6

管台

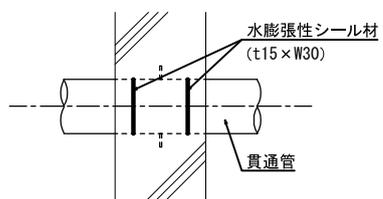


寸法	φ75	φ100	φ125	φ150	φ175	φ200	φ225	φ250	φ275	φ300
長さ	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200
外径	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300
内径	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240
壁厚	7.5	10	12.5	15	17.5	20	22.5	25	27.5	30
重量	1.2	1.8	2.4	3.0	3.6	4.2	4.8	5.4	6.0	6.6

H鋼躯体貫通部処理

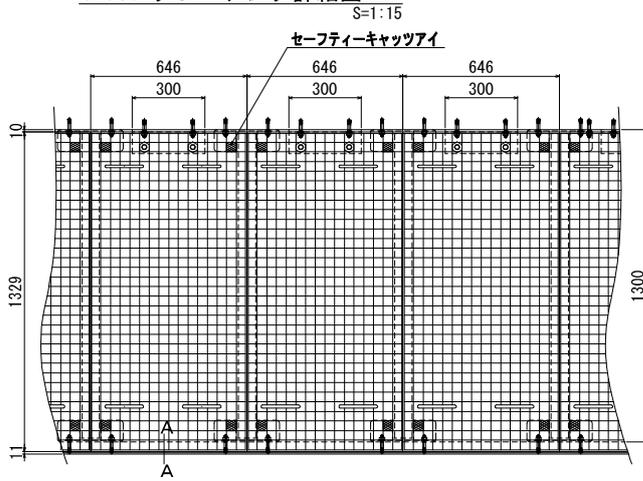


貫通管廻り止水工法

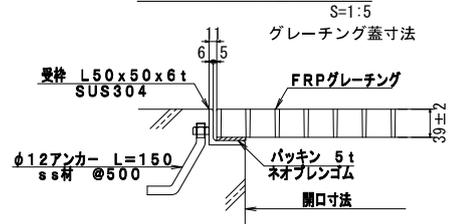


FRPグレーチング

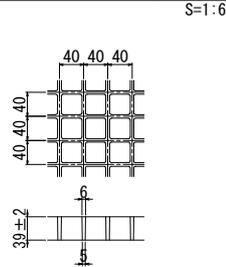
FRPグレーチング詳細図



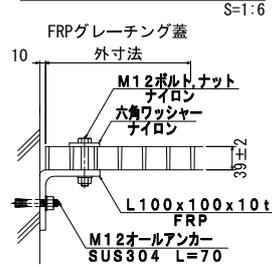
A-A断面詳細図



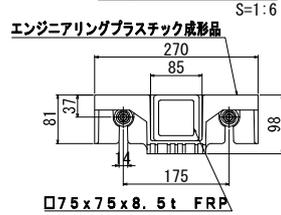
FRPグレーチング詳細図



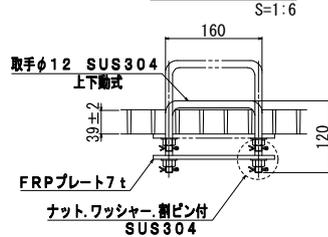
本体固定部断面詳細図



補強材受詳細図



取手詳細図

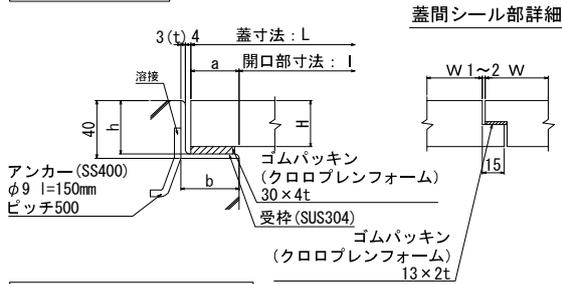


※指示なき公差は以下とする。

0~ 50	±1
51~100	±2
101~	±3

合成木材蓋：単板蓋タイプ

蓋型式：タイプI

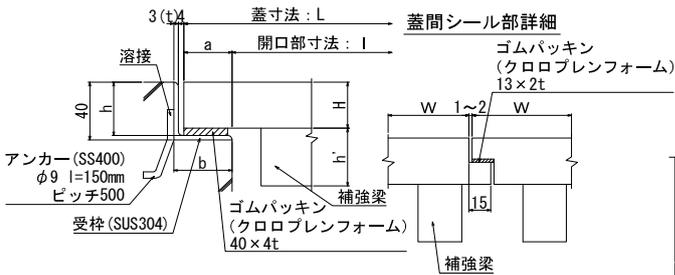


合成木製蓋（単板蓋タイプ）形式選定表

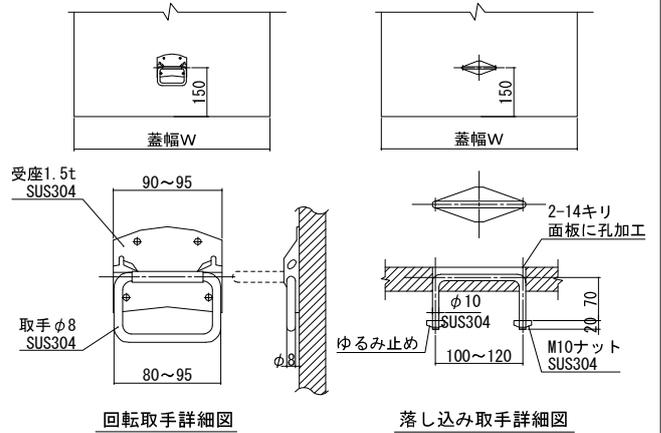
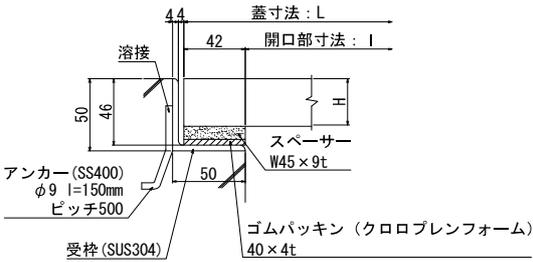
タイプ区分	蓋形式 (L×W×H)	開口部寸法 l (mm)	受枠寸法					参考蓋重量 (kg/m ²)
			a	h	h'	b	t	
I	① (~1066) × 600 × 33.5	~1000	33	37	-	40	3	20
	② (1067~1266) × 600 × 33.5	1001~1200	33	37	-	40	3	22
II 補強梁付	③ (1267~1666) × 600 × 33.5	1201~1600	33	37	40	40	3	23
	④ (1667~2066) × 600 × 33.5	1601~2000	33	37	60	40	3	24

- 注 1) 受枠寸法のhにはパッキン厚を含む。
 2) 蓋幅は、標準600mmとし、調整用は300~600mmとする。
 3) 受枠がL50×50×4tの場合、蓋裏面にスペーサー(W45×9t)を接着して対応する。(参考図-1参照)
 4) タイプ②については、補強梁付きも可能とする。(タイプI参照)

蓋型式：タイプII
単板蓋（補強梁付きの場合）



参考図-1
単板蓋（受枠50mmの場合）

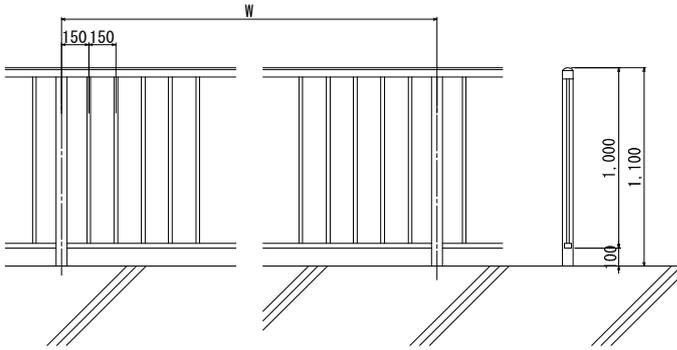


合成木材蓋 リスト

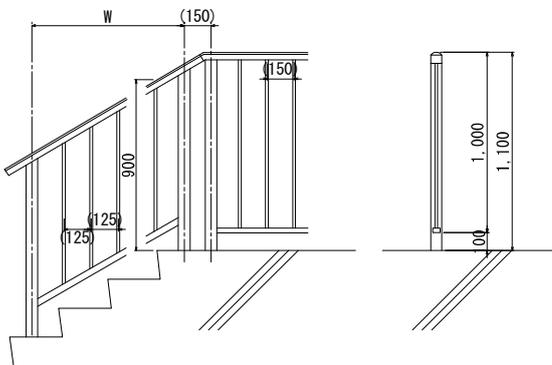
	F-1, F-3	F-2	F-4
開口寸法	1500 × 1500	2000 × 2500	1450 × 2550
蓋割付			

手すり：アルミニウム製（取合い）

アルミニウム製手すり（一般部）

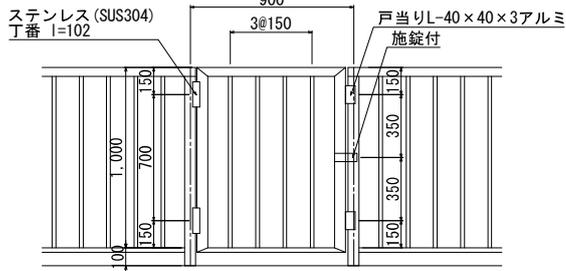


アルミニウム製手すり（階段部）



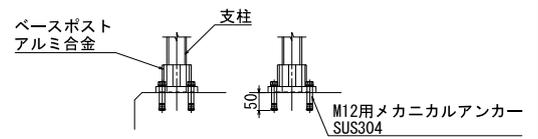
傾斜部と水平取合いは参考とする。

手すり用扉



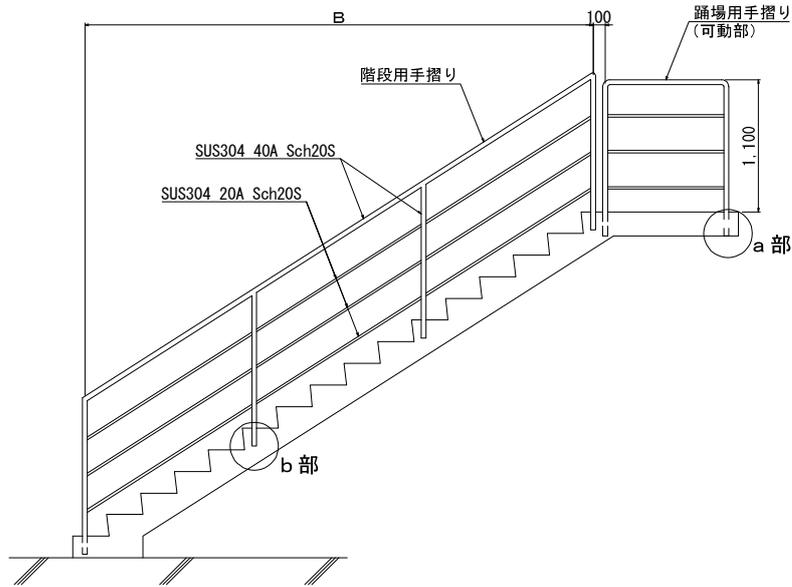
柱脚の定着方法

ベースポストタイプ

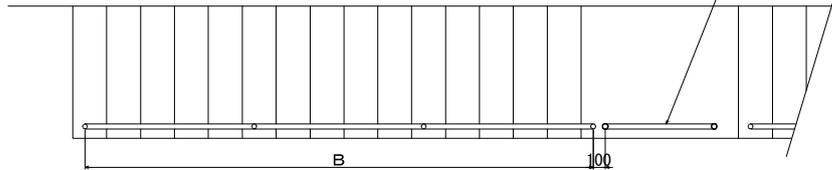


池内階段手摺り (SUS304)

断面図
S=1:30

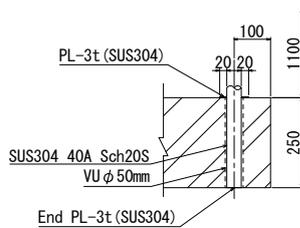


平面図
S=1:30



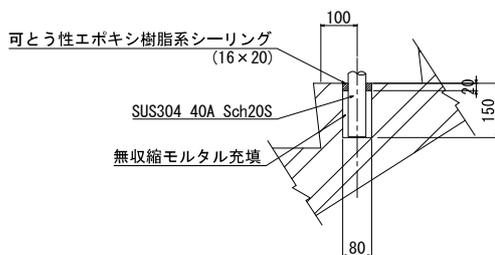
a部詳細図 (可動部)

S=1:10



b部詳細図 (固定部)

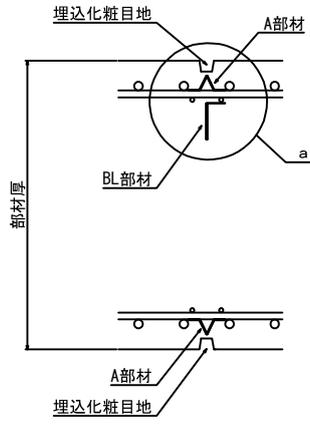
S=1:10



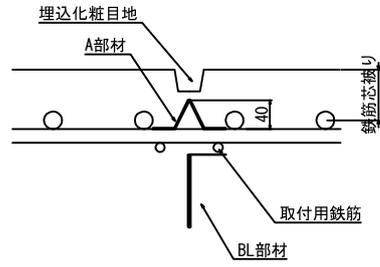
- ・手摺りのスパンは2m未満とする。
- ・手摺りの支柱は $B < 4m$ のとき1本、 $B \geq 4m$ のときは2本とし、支柱間隔は均等割とする。

誘発目地

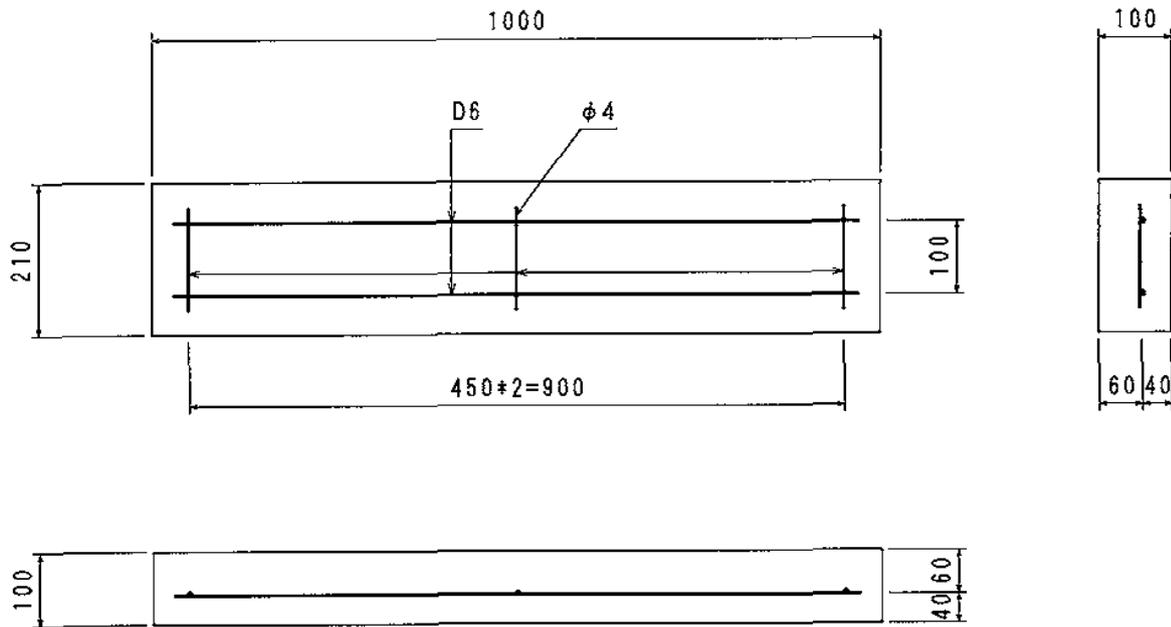
壁部断面図



a部詳細図



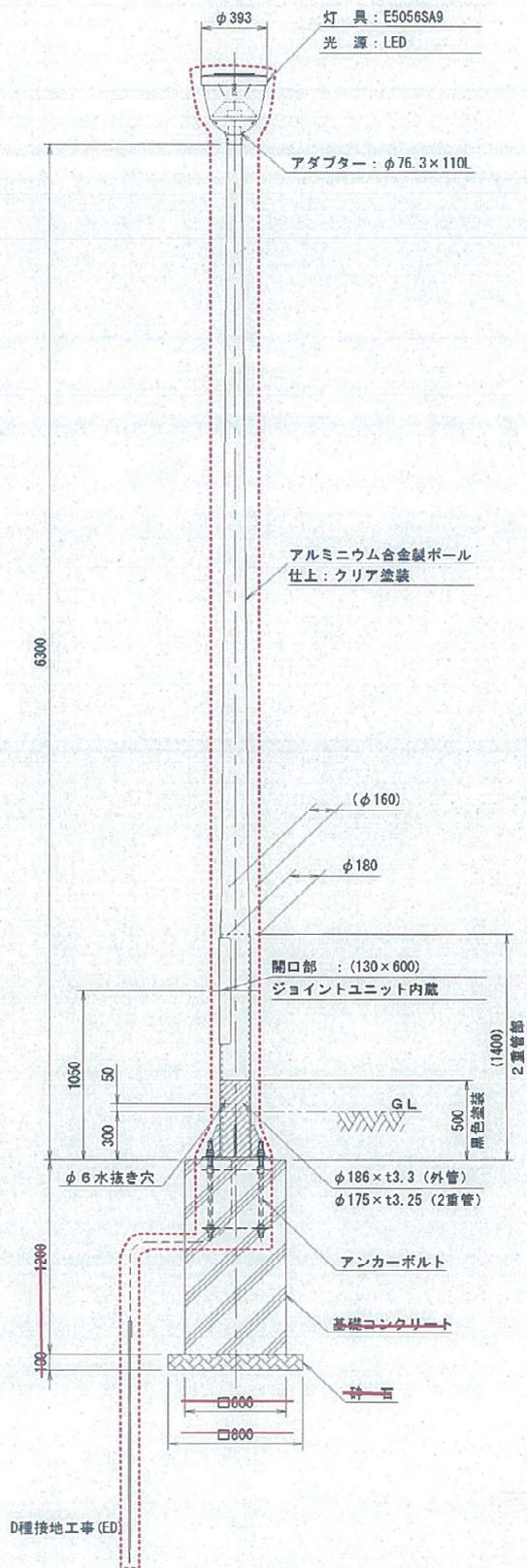
基礎ブロック 210*1000*100



参考重量	51	kg
縮尺	S=1/10	

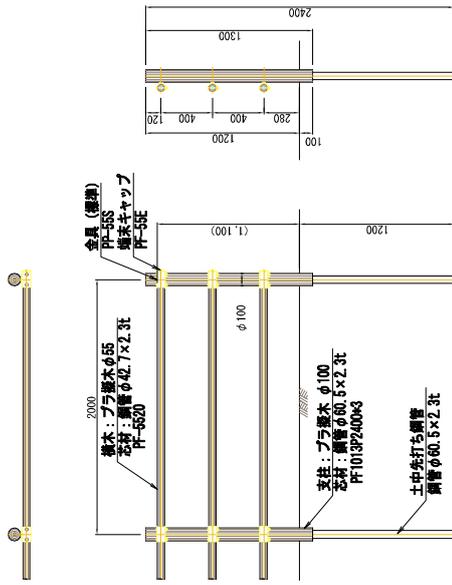
名称 基礎ブロック 210*1000*100

照明灯



取付里道 構造図

転落防止柵 S=1:20

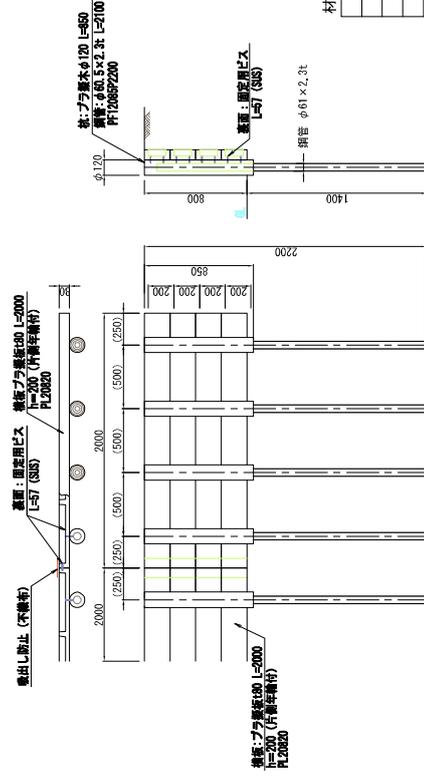


材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
転落防止柵	ブラ幅H1000	■	10.00	土中用

土留め工 S=1:20

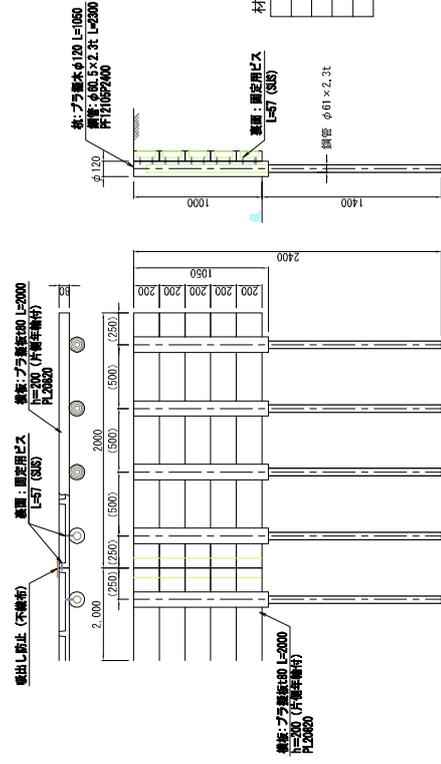
土留め工 (A)



材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
横板	ブラ幅H800 L=2000	枚	20.00	
杭	ブラ幅H120 L=450	本	20.00	
鋼管	φ60.5x2.3t L=2100	本	20.00	

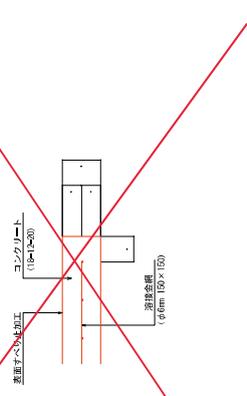
土留め工 (B)



材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
横板	ブラ幅H800 L=2000	枚	20.00	
杭	ブラ幅H120 L=1850	本	20.00	
鋼管	φ60.5x2.3t L=2000	本	20.00	

コンクリート舗装構成図 S=1:10



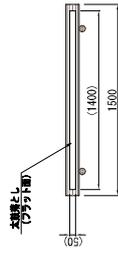
階段工構造図(6)

階段工(R)

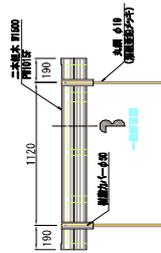
S=1:20

標準図

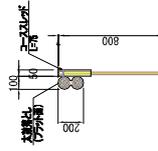
平面図



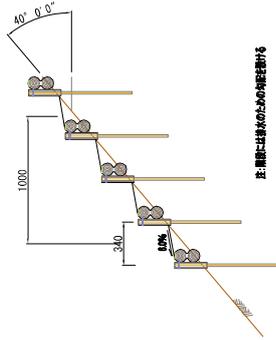
正面図



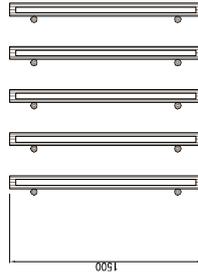
断面図



側面図

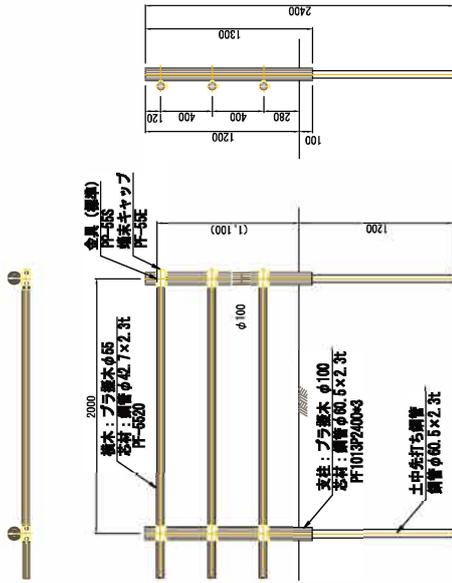


平面図



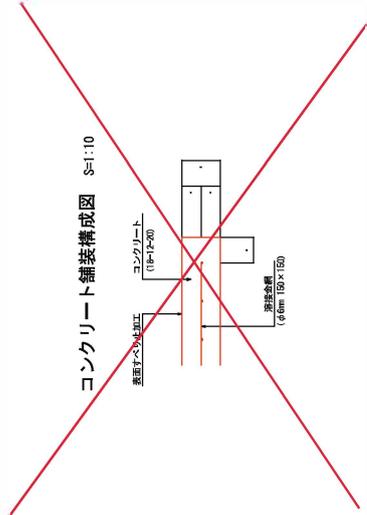
取付里道 構造図

転落防止柵 S=1:20



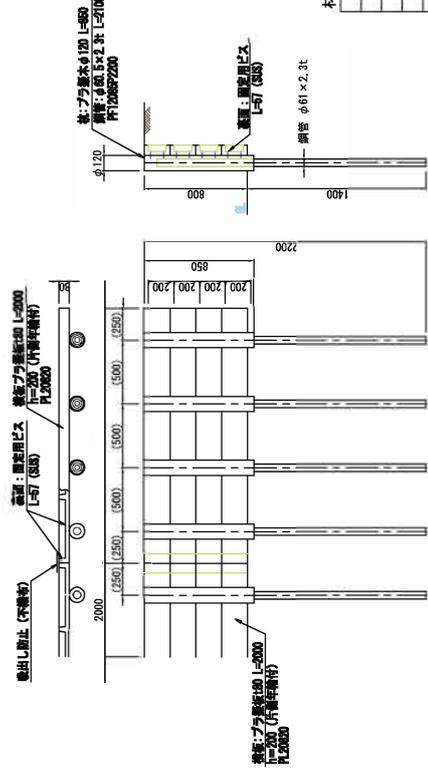
材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
転落防止柵	プラ型木φ100	m	10.00	土中用



土留め工 S=1:20

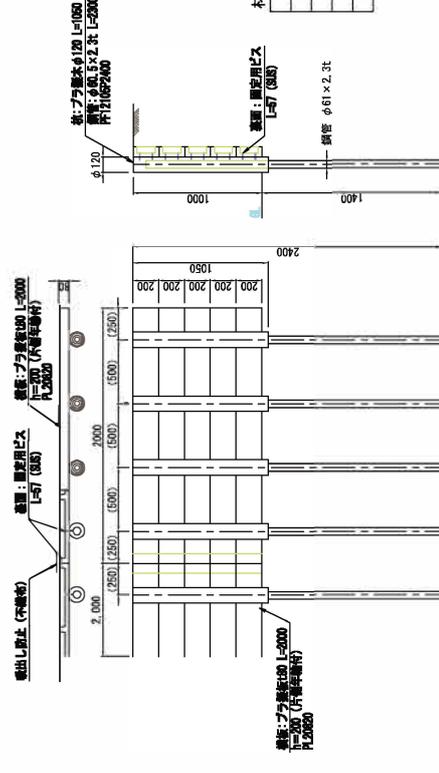
土留め工 (A)



材料表 10m当り

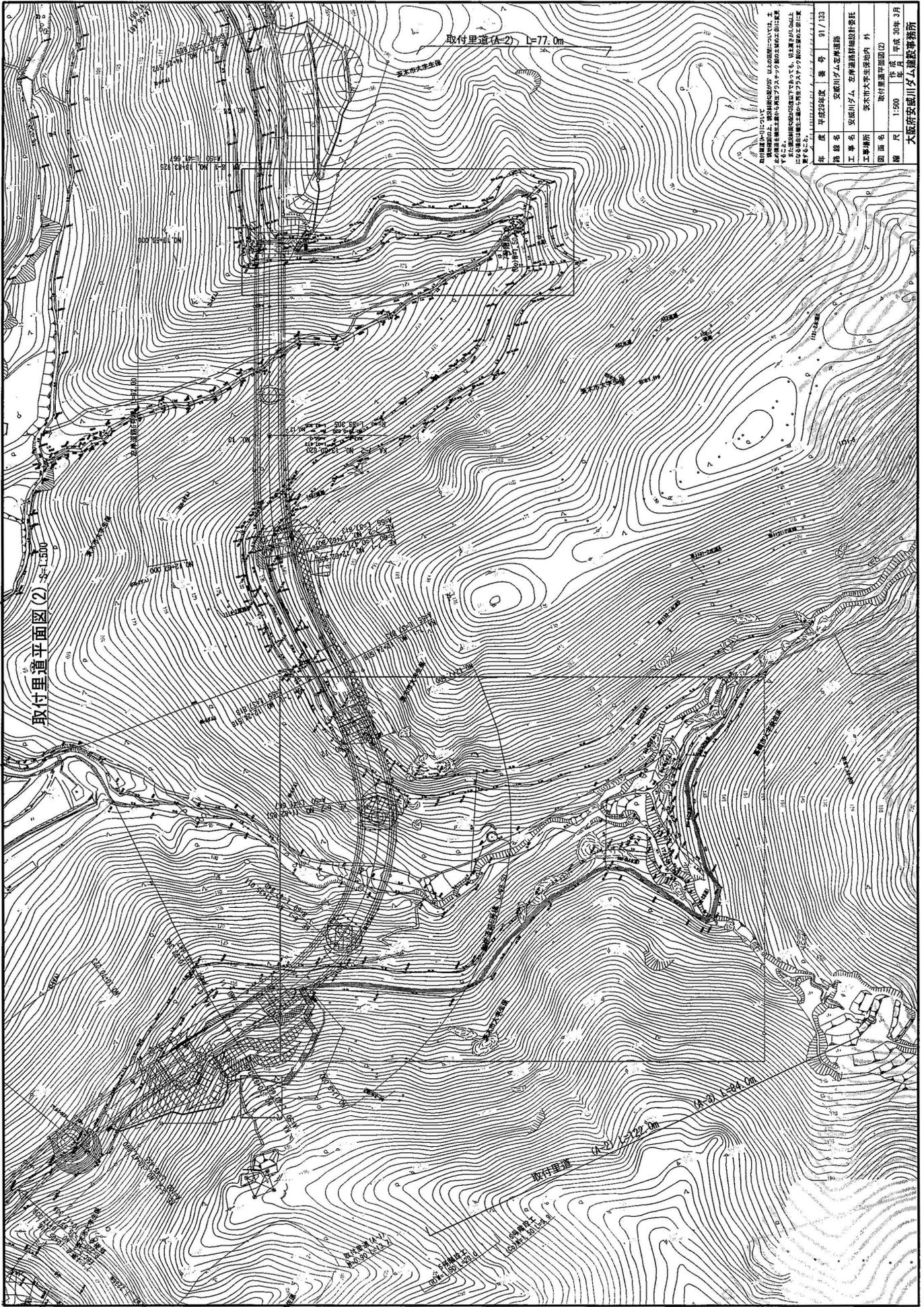
名称	規格	単位	数量	備考
横板	プラ型木φ120 L=450	枚	20.00	
杭	プラ型木φ120 L=450	本	20.00	
鋼管	φ61.5×2.3t L=2100	本	20.00	

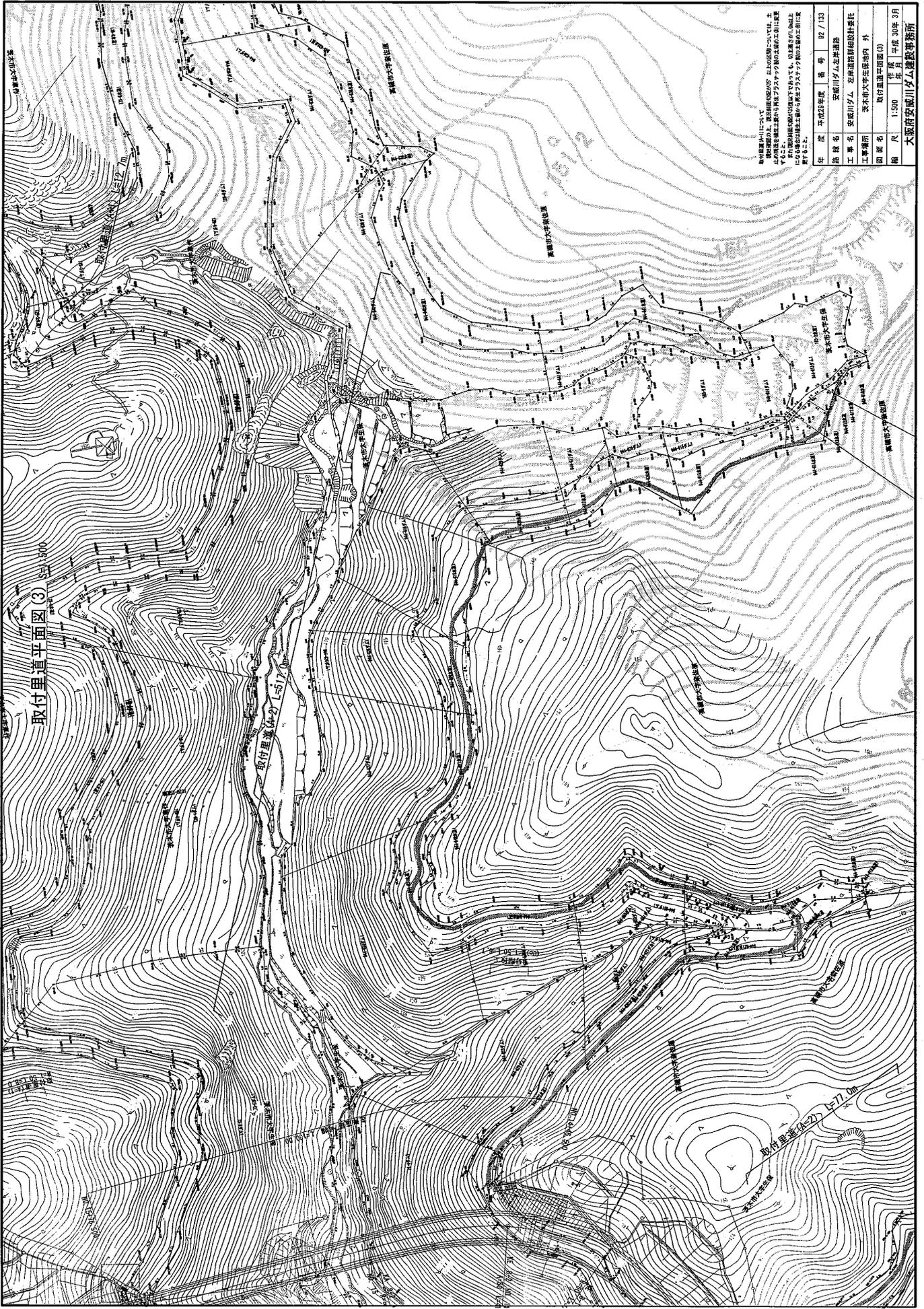
土留め工 (B)



材料表 10m当り

名称	規格	単位	数量	備考
横板	プラ型木φ120 L=1050	枚	20.00	
杭	プラ型木φ120 L=1050	本	20.00	
鋼管	φ61.5×2.3t L=2300	本	20.00	





取付里道(水勾) L=517.00m
 取付里道(水勾) L=71.00m

年度	平成29年度	番号	第 7 / 133
路線名	安威川ダム左岸道路		
工事名	安威川ダム左岸道路建設設計委託		
工事場所	茨城県水戸市玉造町内 外		
図面名	取付里道平面図(3)		
縮尺	1:500		
作成	平成 30年 3月		
担当者	吉 員		
大府町安威川ダム建設事務所			

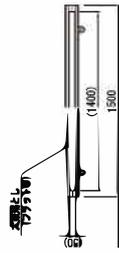
階段工構造図(6)

階段工(R)

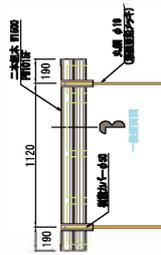
S=1:20

標準図

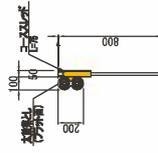
平面図



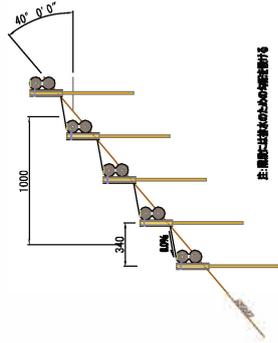
正面図



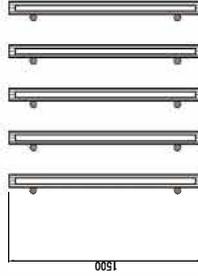
断面図



側面図



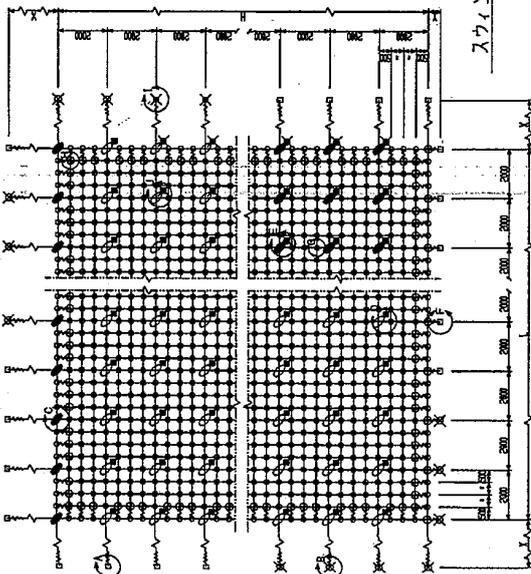
平面図



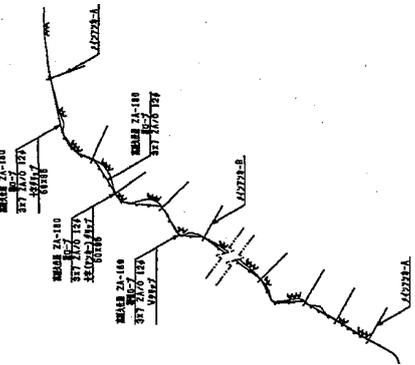
年度	平成28年度	番号	104 / 133
路線名	安福川左岸歩道		
工事名	安福川左岸歩道補修設計委託		
工事場所	茨城県大子町保内 外		
図面名	階段工構造図(6)		
縮尺	1:20	作図	平成 30年 3月
大塚株式会社 大塚事務所			

ロープ伏工構造図

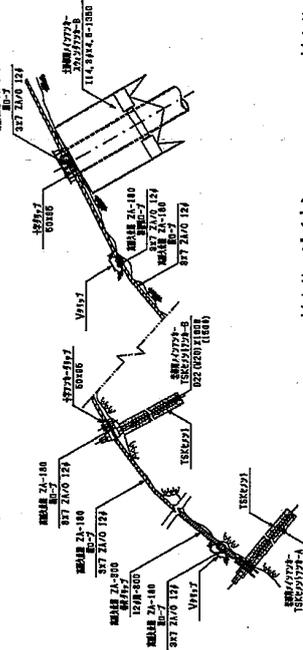
標準構造展開図
S=1/100



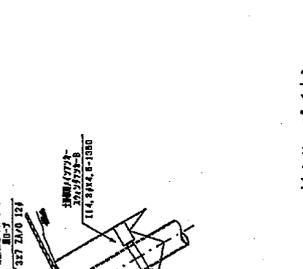
横断面
S=1/100



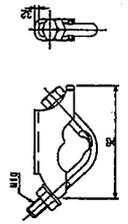
D・F部詳細図
S=1/10



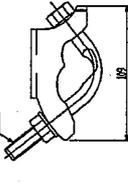
E・G部詳細図
S=1/10



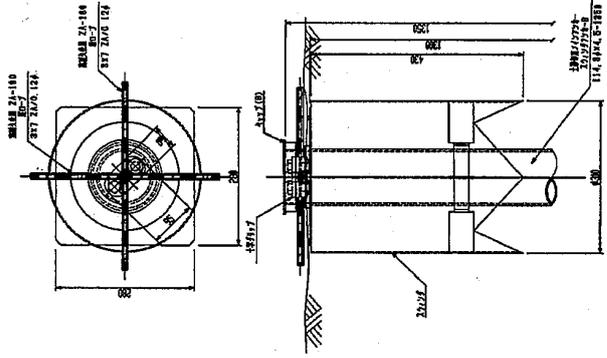
Vクリップ(小)
S=1/2 (08)



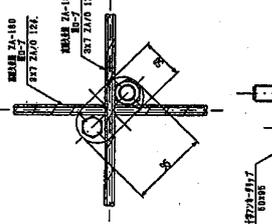
Vクリップ(大)
S=1/2 (08)



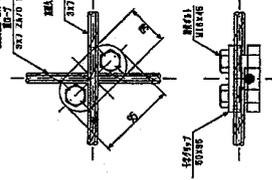
スワンソングソッカー詳細図
S=1/5 (50)



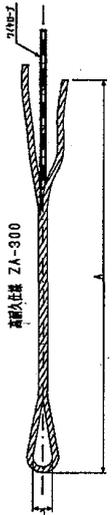
十字アンカーグリップ
S=1/3 (08)



十字グリップ
S=1/3 (08)



巻付グリップ
S=1/5



寸法表

品名	規格	寸法	単位	備註
巻付グリップ	ZA-300	φ300	個	
十字アンカーグリップ	ZA-100	φ100	個	
十字グリップ	ZA-100	φ100	個	
Vクリップ(小)	ZA-100	φ100	個	
Vクリップ(大)	ZA-100	φ100	個	

高耐久仕様「亜鉛-10%アルミ合金めっき(ジノカーメット)」
ロープ、巻付グリップは、高耐久仕様として、亜鉛-10%アルミ合金めっきを施しております。
なお、7/8インチ、クリップ類(φ60)は特注品(3500円)は、別途見積りさせていただきます。

注: 十字グリップ、十字アンカーグリップは、高耐久仕様として、亜鉛-10%アルミ合金めっきを施しております。
また、7/8インチ、クリップ類(φ60)は特注品(3500円)は、別途見積りさせていただきます。

部品明細表

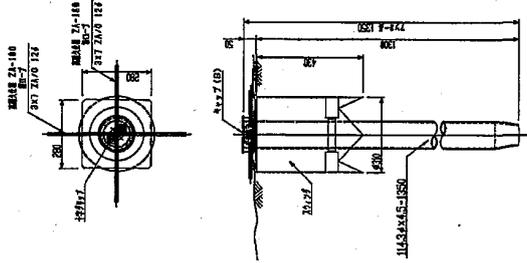
品名	仕様	数量	単位	備註
5本用、10本用ロープ	3x7 ZA/0 124 (ZA-18)	100	個	
巻付グリップ	φ300	100	個	
十字アンカーグリップ	φ100	100	個	
十字グリップ	φ100	100	個	
Vクリップ(小)	φ100	100	個	
Vクリップ(大)	φ100	100	個	
スワンソングソッカー	φ100	100	個	
標準用部材	φ100	100	個	
TSKロープクリップ	φ100	100	個	
TSKロープクリップ	φ100	100	個	

※ 表記なき部材は全て亜鉛めっき仕様の仕立とする。

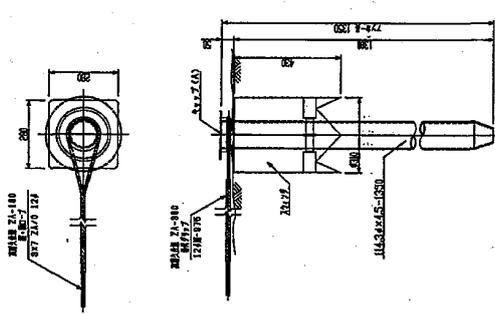
年度	21	事業名	
階層名		工費名	ロープ伏工構造図
階層名		面名	
階層名		面名	
作成日	平成 年 月 日	番号	15/23

ロープ伏工構造図

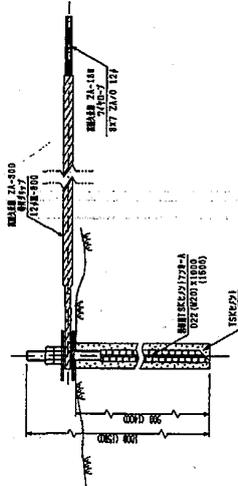
土砂部用
スライダアンカー-25B
S=1/10 (E線)



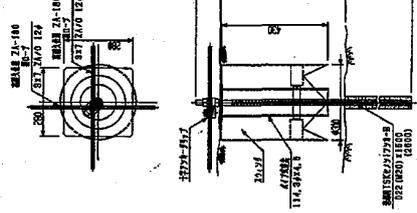
土砂部用
スライダアンカー-25A
S=1/10 (B線)



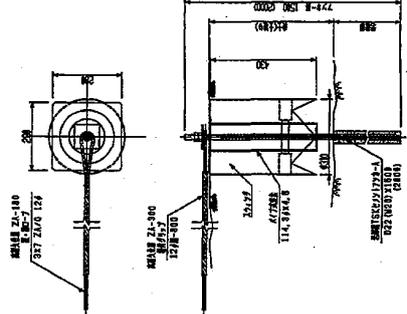
岩部用TSKセメントアンカー-A
S=1/6 (A線)



土締め部用
TSKセメントアンカー-B
S=1/10 (C線)



土締め部用
TSKセメントアンカー-A
S=1/10 (D線)



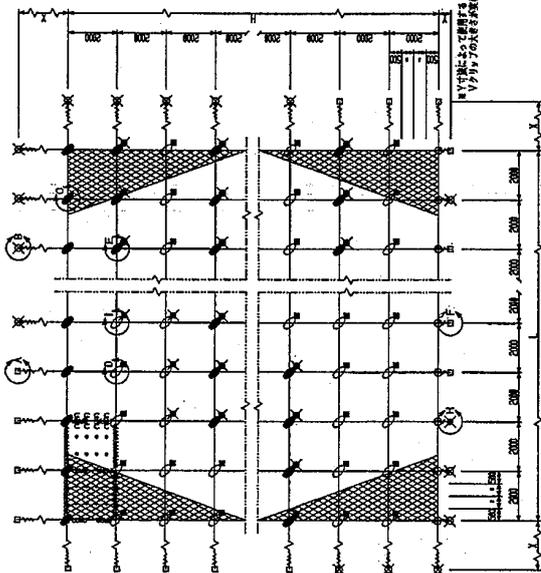
* 表記なき部材は全て図録めっき仕様とする。

高耐久仕様「面給-10kgアルミ合金めっき(ジソノカーボールめっき)」
ロープ、巻付ワイヤは、高耐久仕様として、面給-10kgアルミ合金めっきを施しています。
ただし、アンカー、ワイヤは、面給-10kgアルミ合金めっきを施していません。

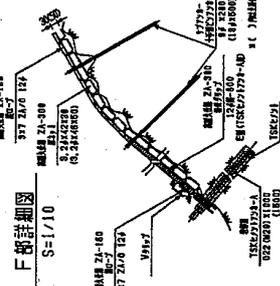
年度	21	事業名	
階級名		工番号	
工番号		図面名	ロープ伏工構造図(A)
図面名		縮尺	図示
縮尺		作成月日	平成 年 月
作成月日		図示	16
図示		巻号	23

ロープ伏工構造図

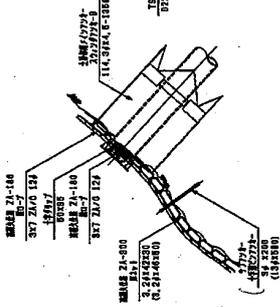
標準構造展開図 S=1/100



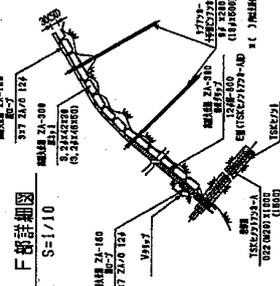
F部詳細図 S=1/10



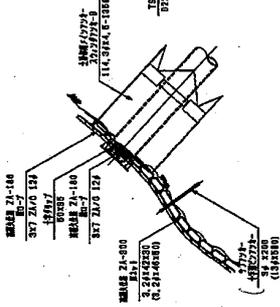
D部詳細図 S=1/10



E部詳細図 S=1/10



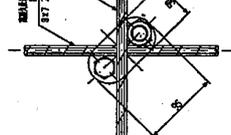
D部詳細図 S=1/10



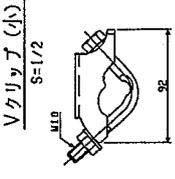
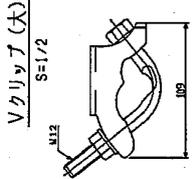
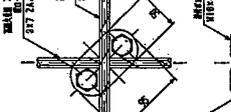
スウィングアンカー詳細図 S=1/5 (E部)



十字アンカーグリッブ S=1/3 (D部)



十字グリッブ S=1/3 (C部)

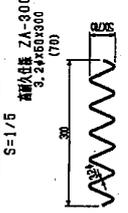


部品明細表

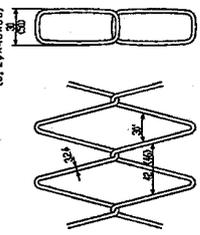
品名	数量	寸法 (mm)	規格
厚ネット	3, 24x42x30	3, 24x42x30	ZA-300
主(・)部-7	3x7 ZA/0	12φ	(ZA-180)
系用	022 (M20) x1000		
TSKロープリフト用-A	022 (M20) x1500		
系用	022 (M20) x1000		
TSKロープリフト用-B	022 (M20) x1500		
主用	11.4, 3φx4, 6-1380		
主用	310x430		
主用	11.4, 3φx4, 6-1380		
主用	310x430		
主用	12φ	800	(ZA-300)
主用	12φ	875	(ZA-300)
主用	9x200		
主用	13φx300		
主用	13φx500		
主用	6.1x18x600		
主用	CS 4, 05x108		
主用	CS 3, 24x92		
主用	3, 24x70x300		(ZA-300)
主用	12φ	50x36	(ZA-300)
主用	022 (M20) x1500		
主用	310x430		
主用	022 (M20) x2000		
主用	310x430		
主用	022 (M20) x2000		
主用	310x430		

品名	数量	寸法 (mm)	規格
厚ネット	3, 24x42x30	3, 24x42x30	ZA-300
主(・)部-7	3x7 ZA/0	12φ	(ZA-180)
系用	022 (M20) x1000		
TSKロープリフト用-A	022 (M20) x1500		
系用	022 (M20) x1000		
TSKロープリフト用-B	022 (M20) x1500		
主用	11.4, 3φx4, 6-1380		
主用	310x430		
主用	11.4, 3φx4, 6-1380		
主用	310x430		
主用	12φ	800	(ZA-300)
主用	12φ	875	(ZA-300)
主用	9x200		
主用	13φx300		
主用	13φx500		
主用	6.1x18x600		
主用	CS 4, 05x108		
主用	CS 3, 24x92		
主用	3, 24x70x300		(ZA-300)
主用	12φ	50x36	(ZA-300)
主用	022 (M20) x1500		
主用	310x430		
主用	022 (M20) x2000		
主用	310x430		

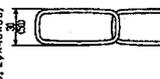
結合コイル S=1/5



厚ネット S=1/2

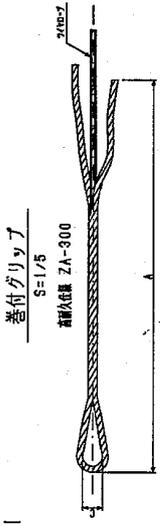


高耐久仕様 ZA-300



寸法表

品名	数量	寸法 (mm)	規格
厚ネット	3	24x42x30	ZA-300
主(・)部-7	3x7	ZA/0	12φ (ZA-180)
系用	022	(M20) x1000	
TSKロープリフト用-A	022	(M20) x1500	
系用	022	(M20) x1000	
TSKロープリフト用-B	022	(M20) x1500	
主用	11.4, 3φx4, 6-1380		
主用	310x430		
主用	11.4, 3φx4, 6-1380		
主用	310x430		
主用	12φ	800	(ZA-300)
主用	12φ	875	(ZA-300)
主用	9x200		
主用	13φx300		
主用	13φx500		
主用	6.1x18x600		
主用	CS 4, 05x108		
主用	CS 3, 24x92		
主用	3, 24x70x300		(ZA-300)
主用	12φ	50x36	(ZA-300)
主用	022 (M20) x1500		
主用	310x430		
主用	022 (M20) x2000		
主用	310x430		



注1: 十字グリッブ及び十字アンカーグリッブの取付位置は、本図の取付位置に準じてください。
注2: 十字グリッブ及び十字アンカーグリッブの取付位置は、本図の取付位置に準じてください。
注3: 十字グリッブ及び十字アンカーグリッブの取付位置は、本図の取付位置に準じてください。

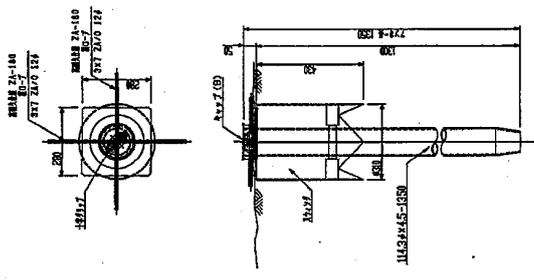
高耐久仕様「面積-10倍7形ミ合めつき(リソカーめつき)」
ロープ、材料グリッブは、高耐久仕様として、面積-10倍7形ミ合めつきを求めています。
ただし、フック、クリップ類(ゆがみ許容長350mm)は、標準品を求めています。

年度	21	20
所属名		
工務名		
印刷名		
縮尺		
面示		
番号		
作成日	平成 年 月	18 23

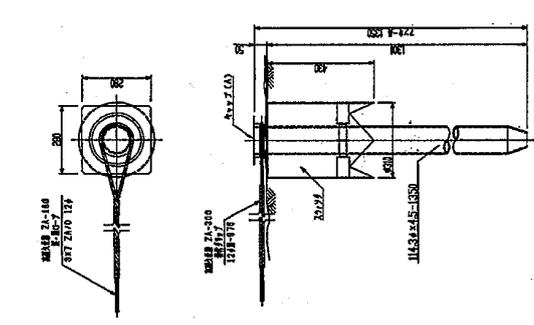
* 表記なき部材は全て面積めつき仕様とする。

ロープ伏工構造図

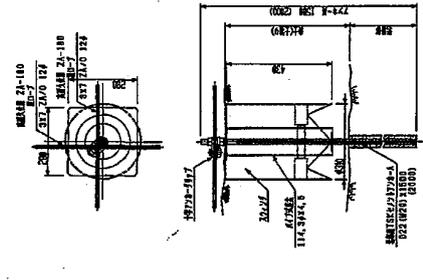
土砂部用
スライダアソカ-25B
S=1/10 (E形)



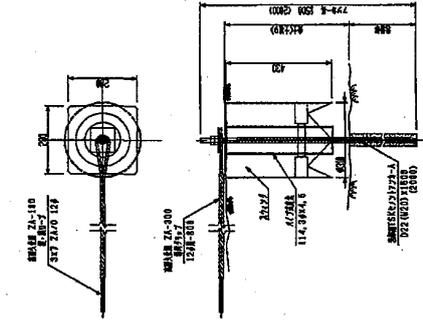
土砂部用
スライダアソカ-25A
S=1/10 (B形)



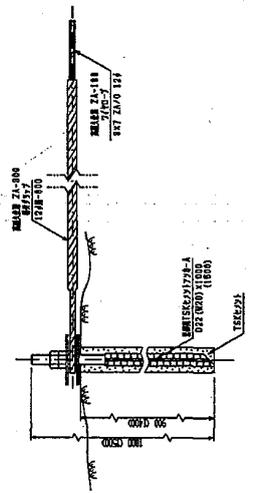
土被り部用
TSKセメントアソカ-B
S=1/10 (F形)



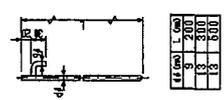
土被り部用
TSKセメントアソカ-A
S=1/10 (H形)



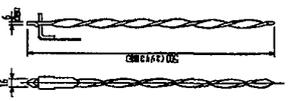
岩部用TSKセメントアソカ-A
S=1/5 (AR)



サアソカ-
十字形アソカ-
S=1/5



サアソカ-
TSKネジリアソカ-
S=1/5



1	1.50
2	2.00
3	3.00
4	5.00

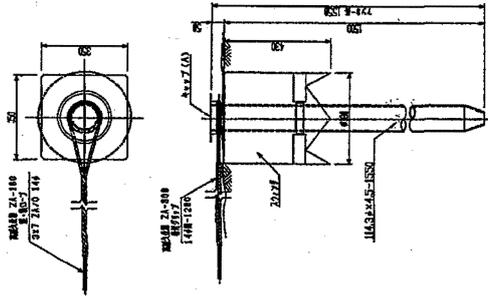
※ 表記なき部材は全て亜鉛めっき仕様とする。

補綴仕様「亜鉛-10%アルミニウム合金めっき（ソノカ-めっき）」
ロープ、索材クリップは、補綴仕様として、亜鉛-10%アルミニウム合金めっきめっきをしております。
ただし、ソノカ-クリップ類（めっき仕様品350g/m²）は、防腐処理済みとしております。

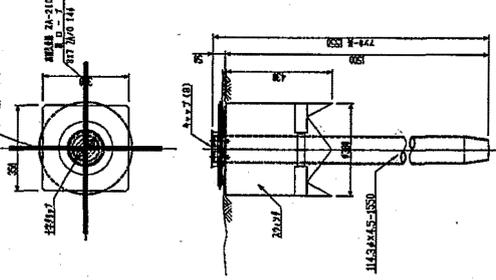
年度	21	事業名	
図名		工率名	
図面名		図面名	ロープ伏工構造図
縮尺		冊数	冊数
作成月日	平成 年 月 日	19	23

ロープ伏工構造図

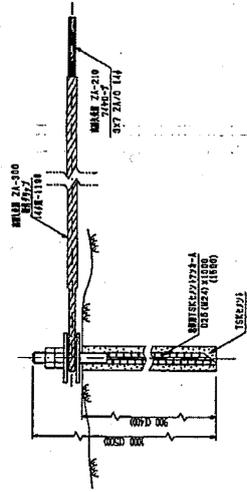
土砂部用
スライダアンカー-35A
S=1/10 (B部)



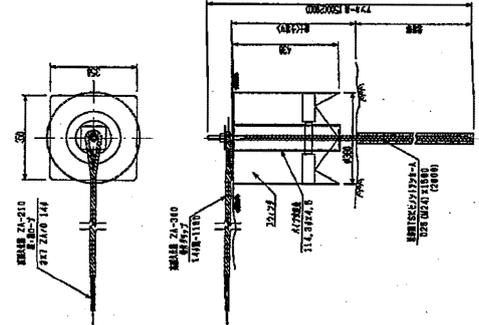
土砂部用
スライダアンカー-35B
S=1/10 (B部)



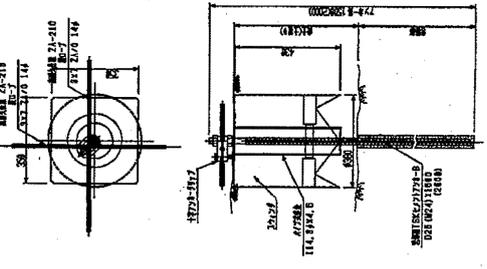
岩部用TSKセメントアンカー-A
S=1/8 (A部)



土盛り部用
TSKセメントアンカー-A
S=1/10 (I部)



土盛り部用
TSKセメントアンカー-B
S=1/10 (I部)



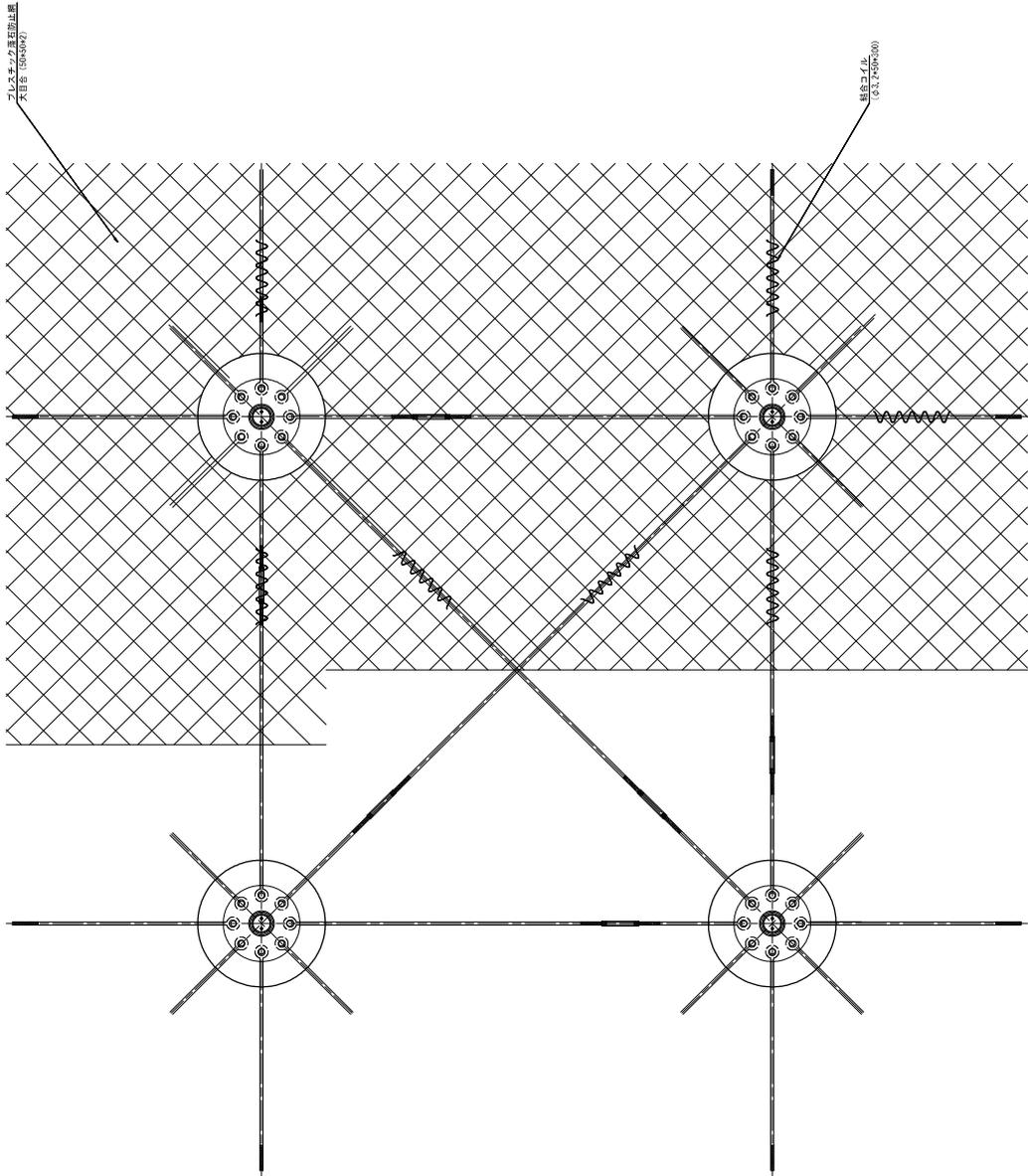
* 表記なき部材は全て面納めつき仕様とする。

高層ビル用「面納め-1047」ミ合金めっき（シンカーめっき）
ロープ、巻取りワイヤは、高層ビル用として、要請-1047の合金めっきをとりつけます。
なお、ワイヤ、ワイヤの構造は、高層ビル用として、要請-1047の合金めっきをとりつけます。

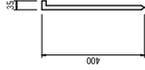
年 度	21	事業名	
図 録 名		工 業 名	
工 業 名		図 示 名	ロープ伏工構造図
図 示 名		番 号	
備 尺		作成月 日	平成 年 月 22
作 成 日			23

地山補強土工詳細図(その6)(参考図)

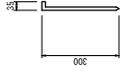
正面図 S=1:10



アンカーピン S=1:10
D16 L=400
30本/100m²



補助アンカーピン S=1:10
D13 L=300
150本/100m²



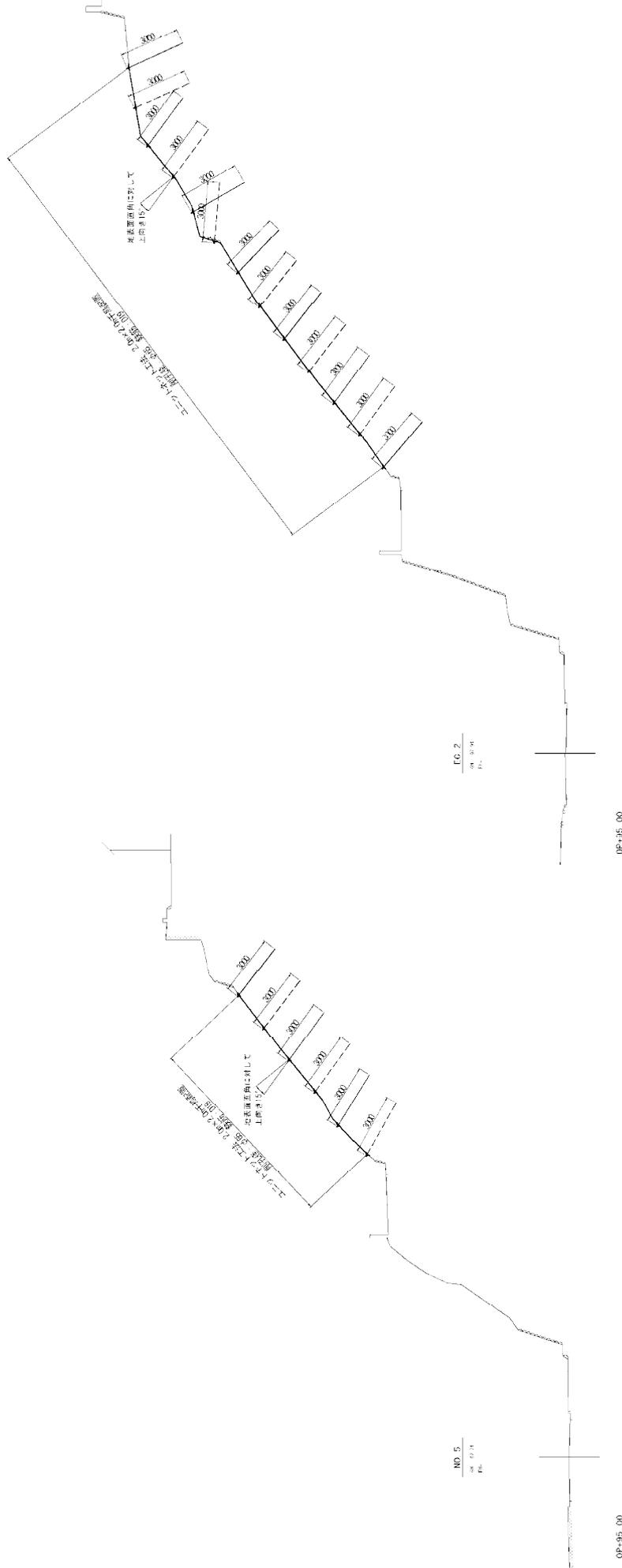
結合コイル S=1:10
φ3, 2x50x300
2個/運算距離1本



※ 立本等がある場合は、立本部分の層を取り取り、立本部分の網はアンカーピンで止めること。

※ 本図は(株)相模エンジニアリングの製品により構築しているが、築物の製品を指定するものではない。

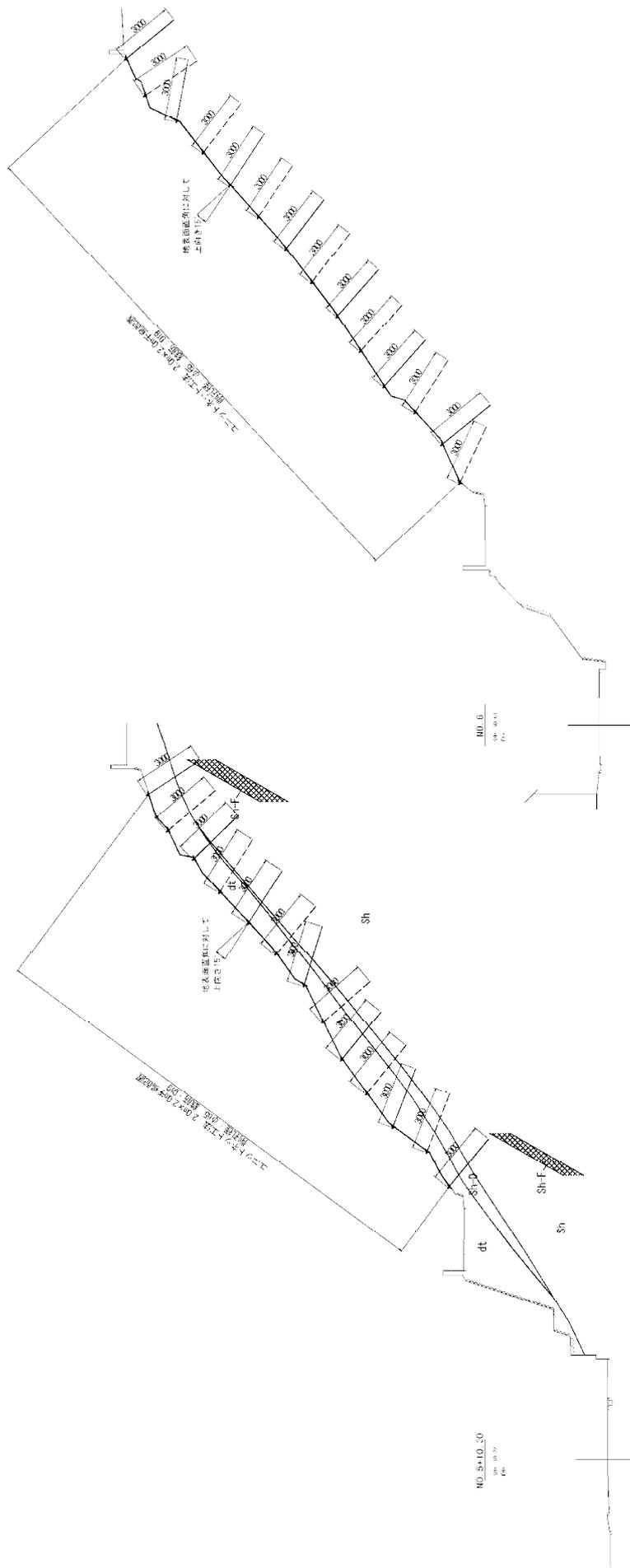
ユニットネット横断面図(2ブロック) (2/6)



※補強材の打設角度は地表直角度に対して上向き15°とする。
ただし水平から下向き5°より小さくなる場合は、水平から下向き5°とする。

業社名	東海建設株式会社	図面番号	09/40
業社住所	〒100-0001 東京都千代田区外		
工事名	ユニットネット構造部材の打設		
図面名	ユニットネット構造部材の打設		
作成年月	平成20年3月	図	1/100
大 阪 府 池 田 工 事 務 所			

ユニットネット横断面図(2ブロック) (3/6)



0P-95_00

0P-95_00

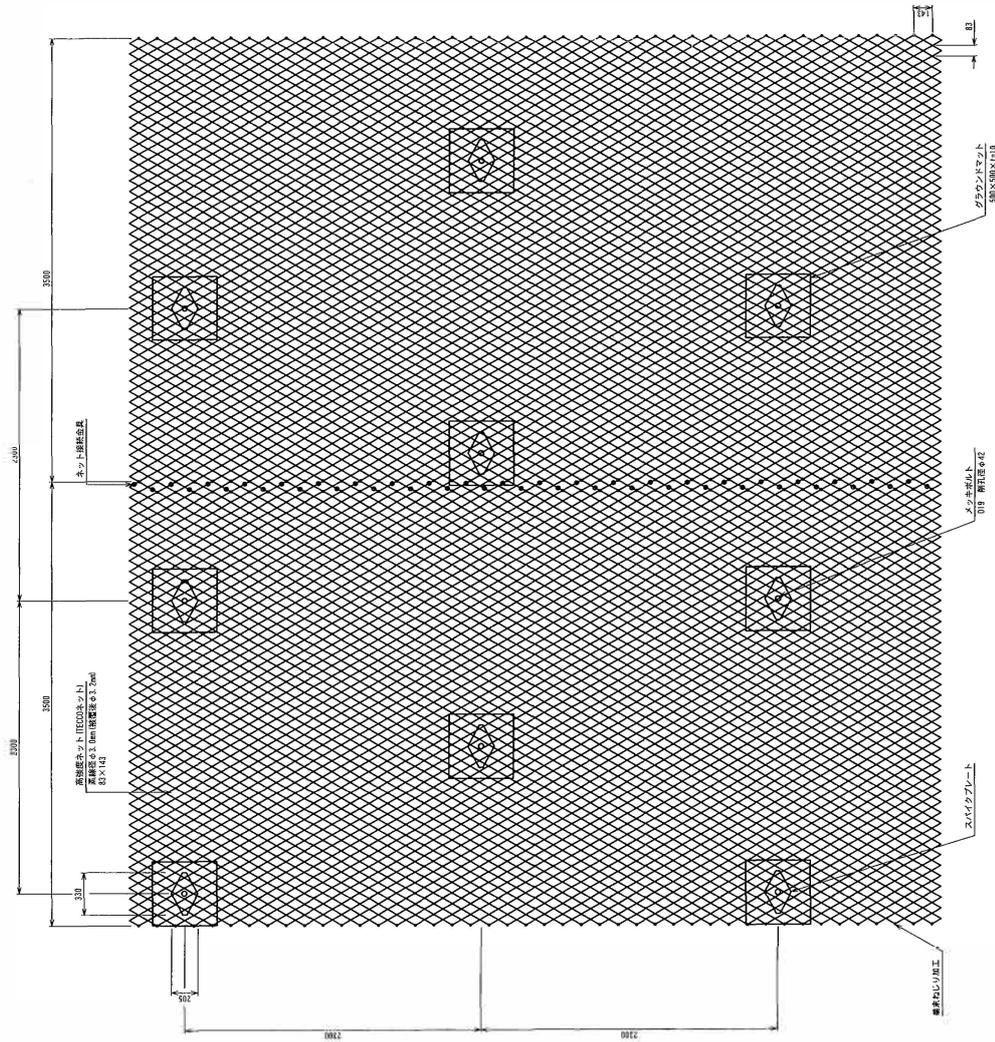
業社名	東海建設株式会社	図面番号	19/40
業社住所	東京都葛飾区一丁目地内 外		
工事名	ユニットネット構築工事(ブロック)		
作成年月	平成30年3月	図面	1/100

大塚建設株式会社

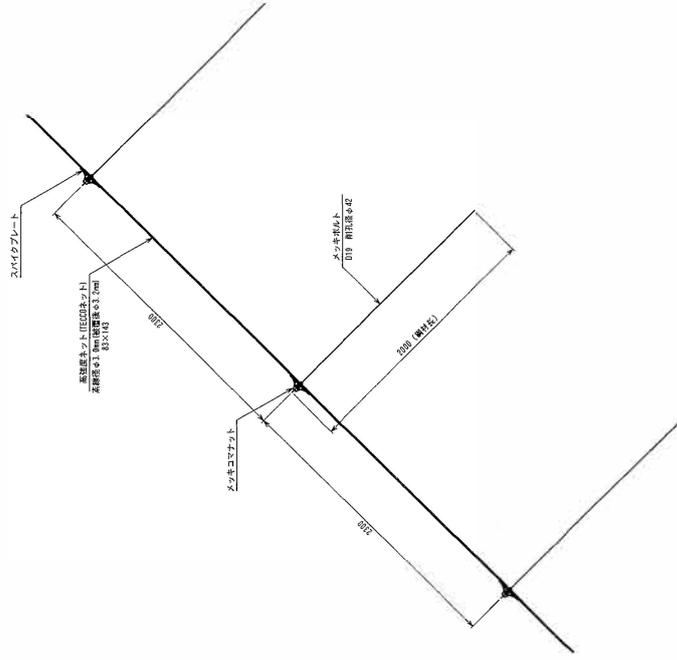
※補強材の打設角度は地表面直角に対して上向き15°とする。
 ただし水平から下向き5°より小さくなる場合は、水平から下向き5°とする。

パワーネット工法 構造図 (参考図)

展開図 S=1/20



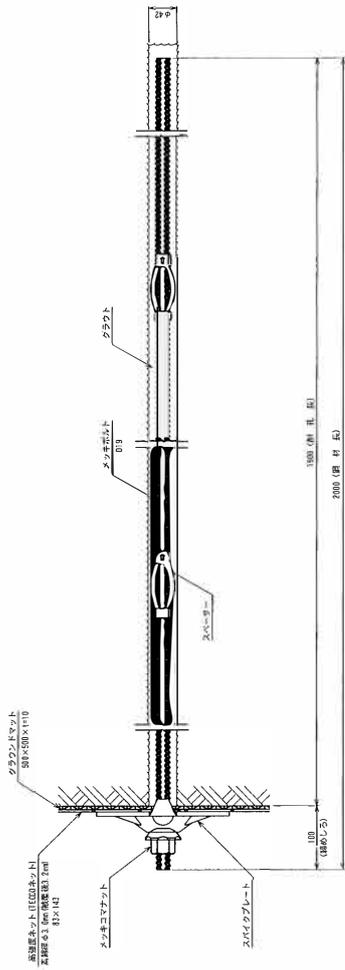
標準断面図 S=1/20



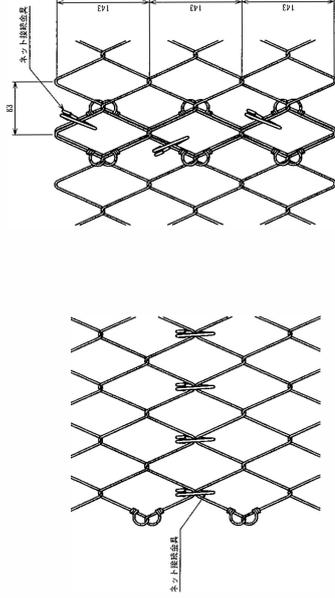
年度	H30	図面番号
発注者	主要地方道大阪府機軸	
発注名	主要地方道大宮支線新外環状道路建設費	
発注場所	大阪府大東市中部内町	
図面名	パワーネット構造図(参考図)	
縮尺	S=1/20	
大阪府 後方土木事務所		

パワーネット工法 詳細図 (参考図)

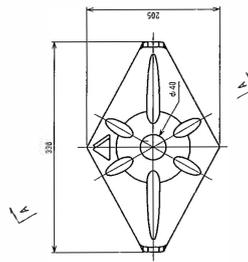
メッキボルト全体図 S=1/4



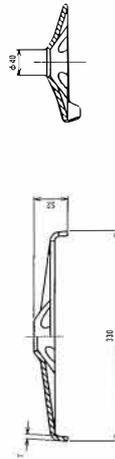
接続例 S=1/4



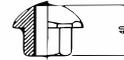
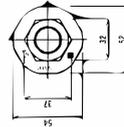
スパイクプレート S=1/4
P33/40N



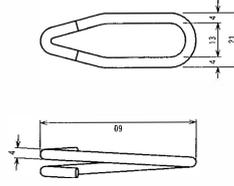
A-A断面図



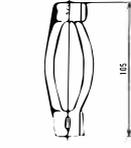
メッキコモナット (D19用) S=1/2



ネット接続金具 S=1/1



スペーサーD19-45 S=1/2
(電気メッキ)



年度	H30	図面番号	
発注者	住友物産株式会社 大阪生機線		
委託名	住友物産株式会社 大阪生機線 電線防振装置工事		
委託場所	大阪府大阪市中央区		
図面名	パワーネット詳細図(参考図)		
縮尺	S=図示		
大阪府 住友物産株式会社 事務所			